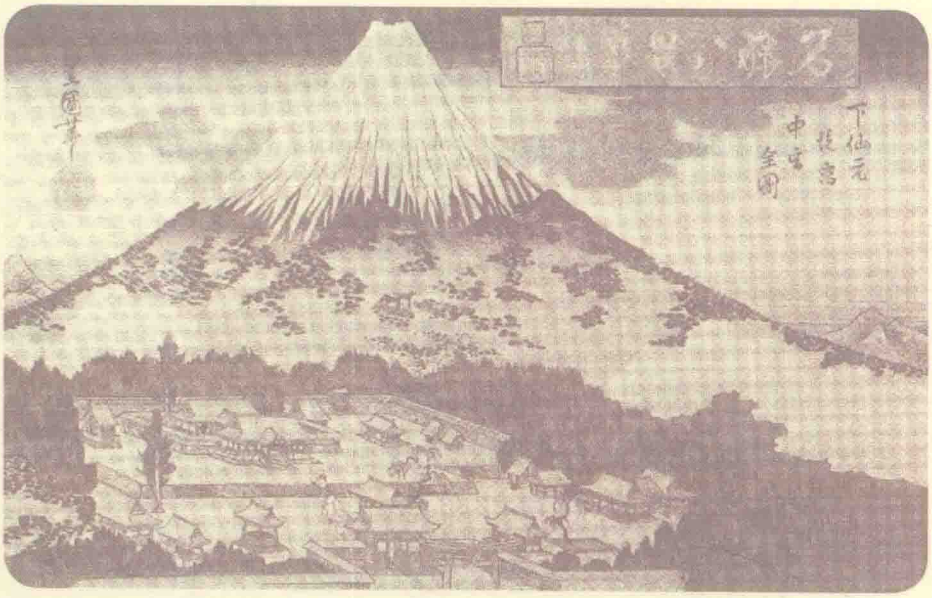
日本漢文史籍叢刊

第五輯

地理

二



上海交通大學出版社
SHANGHAI JIAO TONG UNIVERSITY PRESS

第二册目録（總第122册）

桂華園 著

皇國郡名志

明治四年（一八七一）東京府萬笈閣刊本

據明治四年（一八七一）
東京府萬笈閣刊本影印

桂華園編輯
大月忠興校正

皇國郡名志

東京書肆　萬笈閣發行

自序

一日義兄高橋張陽の東谿翁の携
全圖を携て其理を明細に然も其の如くに
大部なれは 請ふ 簡略にし 併て 其の
大略を記し小冊とし 皇國郡名志と題して 或る
世に廣く是を知らしめんと 信友の肆
萬笈閣の需に應し 是を梓に 鏤む 願くは
同好の 君子 第一の 發兌を 贊助 あらむ事を

明治四年 未のとし 仲夏

桂花園藤原守光誌

凡例

一 此書國郡全圖ノ要ヲ摘抄シ郡名ノ音訓ハ片假名ヲ副ス

一 國名ノ上層ニ其國石高ノ大約并近時州郡ノ分割ヲ載ス

一 下ノ細書ハ藩縣ノ地名并宿驛其他有名ノ地ヲ畧記ス

一 郡名下地名ノ標符□ハ藩地城地○ハ縣∧ハ陣屋廿ハ元関所ノアリシ地・ハ宿驛印シナキハ有名ノ村落△ハ神社佛宇名所舊蹟山川等ナリ

一 三都ニカヽル所ハ小名多キ故合印ヲ省テ巨細ニ記ス

一 各國ノ末ニ古今郡數ノ差別且郡ノ別名ヲ記ス

一 各郡ノ末ニ其郡ノ大小方位ノ大旨ヲ記ス

一 新ニ藩地トナリシ所并藩名ノ改稱ハ之ヲ其郡ノ上ニ記ス

一 北海道ノ郡名ハ之ヲ附録ニ出ス

一 上層ノ白紙ハ補注ヲ加フル便ニ備フ

皇國郡名志

東京桂華園主人編輯

京二条御城本願寺ハ愛宕郡有壬生島原ハ葛野郡也
愛宕山ハ葛野郡
宇治ハ久世郡
久世ハ乙訓郡

山城國 八郡

乙訓（オトクニ） 久我 岩倉 久世 向日町 神足 山崎 淀川ニ添テ摂丹界郡

葛野（カトノ） 洛西八九条東寺島原壬生金閣嵯峨清滝高雄 愛宕山梅津樫原 国中ノ郡也

愛宕（オタギ） 洛中ヨリ東ハ粟田口白川西ハ二条御城北野本願寺南ハ七条限 北ハ叡山迄 江丹界郡

山城 一

紀伊（キイ） 伏見 [淀] 竹田 上鳥羽 国中ノ郡也

宇治（ウジ） 日ノ岡 御陵 上醍醐 大塚 追分 江界郡

久世（クセ） 宇治 長沼 国中ノ郡也

綴喜（ツヽキ） 玉水 八幡 橋本 河界ノ郡

相樂（サガラク） 木津 大河原 北カサキ 伊賀大和界

大和國 十五郡

新庄改[櫛羅]

添上（ソフノカミ） 奈良 [小泉] [柳生] 古市 野田 川上町 櫟本 大柳生 シヒトキ 城界郡

添下 [郡山] 尼ケ辻 小泉 城界郡

平群（ヘグリ） 竜田 會嶺 法隆寺 信貴山 生駒山 河界郡

廣瀬（ヒロセ） 箸尾 薬井 国中小郡

葛上（カツラキノカミ） 五条 金剛山 河界郡

葛下 タカロ 竹内 達磨寺 河界郡

大和 二

吉野宇陀ハ市ノ間ニ中宮與云処一村城上郡ニ属ス

忍海（オシノミ） 葛上下ノ間ニ有テ至テ小郡ニテ駅町無 河界

宇智（ウチ） 五条 宇野 待乳茶屋 紀河界郡

吉野（ヨシノ） 吉野 上市 下市 六田 樫垣本 洞川 天川 壺内 湯本 勢紀界大和半国一郡

宇陀（ウダ） 灰原 山辺 赤埴 田口 桃股 伊賀伊勢界郡

城上（シキノカミ） 初瀬 千乙寺 三輪 [柳本] [芝村] 国中郡

城下 二階堂 国中郡

高市（タケチ）　［高取］　土佐町　八木　国中郡

山邊（ヤマノヘ）　大野　丹波市　三本松　伊賀界

十市（トイチ）　櫻井　田原本　多武峯　国中郡

河内國　舊十四郡　今十六郡

錦部（ニシゴリ）　錦部　富市　天野　正成首冢　紀泉界郡

石川（イシカハ）　上太子　荒田新町　千早正成墓　和界郡

古市（フルチ）　古市　誉田八幡　国中小郡

安宿（ヤスカヘ）　玉手山　国分川　飛鳥　駅町無レ　和界小郡

大縣（オホカタ）　駅無レ　亀瀬嶺　和界小郡

髙安（タカヤス）　駅無レ　大照高座　十三嶺　恋ノ淵　和界小郡

河内（カフチ）　峠　鷲尾山　玉串川　和界小郡

讃良（サラ）　駅町無レ　飯盛山　和界小郡

淀川ノ碊島ハ攝ノ島上郡ニ屬ス

茨田（コムタ）　枚方　佐田　守口　新町　泥町　淀川源ノ郡也

交野（カタノ）　楠葉　王仁墓　国見山　金川　和城界郡

若江（ワカエ）　八尾　国中小郡

澁川（シブカハ）　駅町無シ　長谷川　攝界小郡

志紀（シキ）　駅町無シ　道明寺　国中小郡

丹南（タヂヒノミナミ）　［丹南］［狹山］　岩室　藤井寺　国中ヨリ泉界

丹ノ北　大和川　攝界小郡

八上（ヤカミ）　福町　攝泉界小郡

今増八上郡為丹北ヲ分チテ南北

和泉國　舊三郡　今四郡

大鳥（オフトリ）　堺　大鳥　石津上下　湊　モツ　泉式部　行基出生地　攝河界

和泉（イツミ）　［伯太］　横山　大津　信田森　牛タキ山　河紀界ヨリ海貫

日根（ヒネ） 山口 山中 信達 市場 貝掛 青池 蟻通社 紀界西海向郡

泉南（イツミノミナミ） 岸和田 貝塚 麻湯 牛滝川 紀界ヨリ海貫

今増泉南郡

攝津國

十二郡

住吉（スミヨシ） 住吉 同社 安立町 平野 大念仏 河泉界郡

能勢（ノセ） 地黄 吉野 妙見宮 丹界郡

東成（ヒカシナリ） 大坂御城ヨリ上町玉造天王寺茶臼山 河界淀川ニ添

西成 大坂船場 島ノ内 長柄 曽根崎 江口 大坂西海ニ向

島上（シマノカミ） 高槻 芥川 磯島 丹城界ヨリ淀川ニ至

島ノ下 吹田 茨田 郡山 国見 清坂 勝尾寺 丹界郡

豊島（テシマ） 瀬川 池田 清明塚 麻田 国中郡

河邊（カハノヘ） 尼崎 神嵜 伊丹 昆湯 小濱 銀山 国サキ 柏原 大井 丹界ヨリ海ニ貫

武庫（ムコ） 西宮 中村 蛭子社 海ニ付郡

兎原（ウハラ） 生田 ミカゲ 布引滝 右弁

八部（ヤツヘ） 兵庫 田井畑 小川 廣野 熊梅 生田社一二ノ谷 スマ寺 アツモリ塔 播界海付

有馬（アリマ） 岩谷 大川セ 新町 湯本町 温泉 舟坂 三田 生瀬 母子 丹播界

舊有百濟郡今省之

伊賀國

四郡

阿拝（アベ） 阿保 伊世地 七見峠 長田川 和界ヨリ勢界貫

山田 山田 平田町 平松 勢界郡

伊賀（イカ） 上野 濃人町 丸柱 佐那具 中柘 島ヶ原 三本松 城江界

名張（ナハリ） 名張 名ヶ川 黒田川 勢和界

伊勢國

十三郡

桑名（クハナ） 桑名 長島 別島地 多度社 尾ニ向ヒ入江ニ付

員辨（ヰナヘ）　駅町無シ　江濃界

朝明（アサケ）　富田　ヤキ蛤　アサケ川　江界ヨリ海ニ貫

三重（ミヘ）　四日市　追分　[江弧野]　三重川　江界ヨリ海ニ貫

河曲（カハハ）　[神戸]　神戸ノ辺小郡

鈴鹿（スヽカ）　石薬師　庄野　関　[鈴山]　坂下　国中ヨリ江伊賀界

奄藝（アムキ）　上野　白子　一身田　久保田　摘原　国中ヨリ海ニ出

安濃（アノ）　[津]　前田　椋本　長野　伊賀界ヨリ海貫

壹志（イツシ）　六野　雲津　月本　六間　小杉　八太　大ノキ　ヤヤベト　[久居]　同北ヘ　和伊賀界ヨリ海貫

多氣（タケ）　明星　相可　大風　阿保　三瀬　瀧谷ヘ　橋本山　和界ヨリ海ニ貫

飯高（イヽタカ）　松阪　大石　滝野　仁柿　宮前　波瀬　和州陀　二茶　一志郡ノ内一ナル　和界ヨリ海ニ貫

度會（ワタライ）　宇治　内宮　山田　外宮　小畑　池辺　田丸　狗野　アソ　真弓　長島　度會　紀界ヨリ海ニ出志ニ至ル

飯野（イヽノ）　七見　櫛田　ヲル　松阪ト明星ノ間小郡

志摩國　二郡

答志（タフシ）　[鳥羽]　塩屋　合坂　本郷　磯辺　同社　勢界ヨリ東北ノ海向

英虞（アゴ）　駅無シ　南出崎郡

尾張國　八郡

中島（ナカシマ）　起　萩原　稲葉　一ノ宮　中野　去処美濃ニカル　濃界木曽川添

葉栗（ハクリ）　北方　濃界木曽川小郡

丹羽（ニハ）　[犬山]　楽田　善師ノ　入鹿池　国中ヨリ木曽川

春日部（カスカイ）　清須　小牧　勝川　坂下　内津　清須ヨリ濃ニノ界

愛智（アイチ）　[名古屋]　宮　熱田社　山崎　鳴海　三界ヨリ海貫

智多（チタ）　亀崎　半田　大野　横須賀　三界

海東（アマヘノヒカシ）　津島　佐屋　神守　万場　西海ノ向郡

海西　勢ノ長島ニ并テ小島也　駅無シ　大川中島一郡也

寶原

今海部分ケ為東西、舊山田郡今省之、又春日部ヲ今作春日井ニ

參河國

八郡

碧海（アヲミ） 刈谷 池鯉鮒 中島 矢矧川 尾張堺川矢ハギ川ノ間

賀茂（カモ） 挙母 衣里 明智 上伊保 足助 ガオ 白川 市野 松平 尾濃界

額田（ヌカタ） 岡崎 藤川 奥殿 英平 国中郡

幡豆（ハツ） 西尾 菱池 吉良庄 南海向郡

半原 吉田 豊橋

寶飯（ホイ） 上東 大木 御油 赤坂 豊川 形原 蒲形 国中ヨリ入江向

設樂（シタラ） 新城 杏井田 門谷 鳳来寺 追分 机場 左六良谷 下利 アス川 岩村 川手 濃信遠界郡

八名（ヤナ） 大野 須山 大平 高瀬 板シャ川 遠界

渥美（アツミ） 吉田 田原 二川 南出崎郡

遠江國

十四郡

濱名（ハマナ） 荒井 廿 白スカ 本坂 三ヶ日 三界郡

敷智（フチ） 濱松 マイ坂 遠池 味方原 南海向

豊田（トヨタ） 川合 神沢 熊村 石打 雲名 二股 西カレイ 光明山 四十八セ 度市川 国中ヨリ三界ニ至

引佐（イナサ） 氣和廿 鳳来寺山 三界

麁玉（アラタマ） 驛無シ 国中小郡

長上（ナガノカミ） 小郡天龍川下西添処

長下 天竜 掛塚 長ノ上ニツヾク

磐田（イハタ） 見付 中泉 廿五ケ村限リ 国中小郡

山香（ヤマカ） 森町 国中小郡

周智（スチ） 天宮 秋葉 大滝 市村 山住 同社 水サクボ 信界

山名（ヤマナ） 袋井 海ニ付小郡

佐野（サノ） 掛川 日坂 小夜中山 国中

城飼（キカフ） 横須賀 佐倉池 小笠山 日坂ヨリ出ル八海出

府中改【静岡】

駿河國

七郡

蓁原(ハンハラ)　相良　金谷　高クマ　シトロ　上長尾　大町
駿信界大井川ニ添テ海ニ至

志太(シタ)　泉　桒山　御室
遠信甲界大井川上

益頭(マシツ)　島田　藤枝
大井川下海ニ至

有度(ウト)　【田中】　岡部　丸子　ウツノ山　アベ川
府中ト藤枝間小郡

安倍(アヘ)　久能　【府中】　三保　清水　芦久保
国中

廬原(イホハラ)　岩淵　蒲原　由井　沖津　江尻　松野　獅子原
甲界海ニ貫

冨士(フシ)　吉原　北山　スヘテ不二山廻テ村カズ少
甲界海ニ貫

駿東(スントウ)　原　【沼津】　カウ山　須走　松山　浮島原
豆相甲ノ界

舊駿河今作駿東ニ

伊豆國

舊三郡
今四郡

田方(タカタ)　韮山　北条　蛭子島　天城山
国中

那賀(ナカ)　松崎　ユナ
西海入江ノ口

加茂(カモ)　伊豆山　熱海　網代　伊東　外浦　下田　手石　笹原　山中
相界ヨリ東南海ニ向

君澤(クンタク)　三島　守久須　上肥　江梨　三津
此郡海辺ヨリ東海道ヘ貫ル今貫[illegible]駿ノ界ス

今君澤郡加

甲斐國

四郡

山梨(ヤマナシ)　府中　国府　石和　勝沼　霍ナ　黒川　三日市場　天目山　善光寺　生沢川
武信界

八代(ヤツシロ)　岩間　黒沢　市川　上向山　古関　市場　藤代　黒駒　笛吹川
駿界

巨麻(コマ)　万沢　南部　下山　サル石　鰍沢　韮崎　岩州丁　台原　教来石　釜無川　身延山
駿信界

都留(ツル)　藤木　黒沼　初カ　岩殿　大月　猿橋　花日　ツル川　下谷　上吉田　山中池
武相駿[illegible]行

相模國

舊八郡
今九郡

曽我ハ余綾郡
中村ハ足柄上ニ入

足柄上(アシカラノカミ)　酒匂川　関本　矢倉沢廿　足柄　道了権現
駿甲界ヨリ海ニ貫

足柄下　【小田原】　湯本　箱根廿　土肥　根府川廿
豆駿ノ界山々一圓

餘綾（ヨロキ） 川原 大磯 香津 一ノ宮 海辺ニ付小郡

大住（オホスミ） 馬入 駿河町 平塚 厚木 伊セ原 坪内 萩原 御馬 大山 国中ヨリ海ニ出

愛甲（アイコウ） エチ 三増 荻井 久保沢 ハン原 スカヤ 荻分 金田［荻串］ 武界

高座（タカクラ） シナノ坂 戸塚 藤沢 小和田 茅ケキ 早川 国分 武界ヨリ海ニ貫

鎌倉（カマクラ） 雪下 雀ヶ岡 江ノ島 武界ヨリ南海ニ貫街道ヨリ東南方也

御浦（ミウラ） 和田 野島 衣笠 浦河 長屋 林 南海出崎一円ニ三浦郡

津久（ツク） 関野 吉趣 小原 青原 鼠坂 武界北方ノ郡

今加津久郡

金沢改［六浦］

武藏國

舊二十一郡
今二十二郡

久良（クラキ） 金沢 街道ヨリ少シ東南ノ方 相界南出崎

都筑（ツヽキ） 程ヶ谷ヨリ西ノ方ワツカ也 相界小郡

多磨（タマ） 中野 高井戸 石原 府中 八王子 玉川 駒木埜 小仏廿 日野 相界大郡

郡界ニ曲直有江戸近在ワツカノ処界有其荒増ヲ是ニ記赤羽根川ヲ荏原郡豊島郡ノ界トイヘトモ広尾原豊沢村ハ豊島ニ入白銀目黒ハ荏原郡也青山宮益町豊島ニテ用水ヲヘタチテ上目黒ハ荏原ニ属都テ渋谷郷大方ハ豊島也上中下北沢ヲ荏原ノ限トス高井戸ハ多磨郡也柏木鳴子町ハ豊島ニテ中野村ハ多磨ニ属比企高麗大里横見男衾児玉ハ

橘樹（タチハナ） 神戸 神奈川 川崎 小杉 溝口 国中玉川ノ下南ノ方

荏原（エハラ） 六郷 大森 品川 北沢 二子渡 目黒 池上 江戸赤羽根川ヨリ南ノ方ヨリ西ノ方ニ廻ル海ニ向郡

豊島（トシマ） 江戸東ハ角田川西ハ代々木幡ヶ谷鳴子町南ハ芝増上寺北ハ板橋練馬 荒川ヨリ南ノ方 国中郡

足立（アタチ） 千住 草加 越谷 粕部 杉戸 幸手 栗橋廿 騎西 蕨 浦和 上尾 大宮 桶川 鴻巣 葛飾新座ノ間

新座（ニイクラ） 白子 膝折 大和田 曽根 野火留 国中小郡

入間（イルマ） 藤久保 大井［川越］ 武蔵野 入間川 国中

国比企ハ名二ヶ村人ハ六七ヶ村在テ皆小郡也右等ノ類諸国ニ多シ推テ可知

高麗（コマ） 高ハキ 大イロ イカ 此三ヶ村限 国中小郡

比企（ヒキ） 関山 ホマ 二ヶ村限 国中小郡

横見（ヨコミ） 松山 前島 吹上 エノキト クケ ハラワ 日吉見山 国中小郡

埼玉（サイタマ） ［忍］ 行田 アラキ ［岩槻］ 新江廿 御関所内限 上毛界

大里（ヲホサト） 熊谷 麻濱 大倉 上田 スカヤ 国中

男衾（ヲブスマ） 畠山 鉢形 二ヶ村限 国中極小郡

幡羅（ハタラ）　長井　一村限　上野界極小郡

榛澤（ハンザハ）　深谷　岡部　上毛界倉ヶ野街

那珂（ナカ）　十べ田　飯塚　廣木　ヨリ井　国中小郡藤岡街

児玉（コタマ）　平井　一村限山中　上界

賀美（カミ）　八幡　本庄　上界倉ヶ野街

秩父（チヽブ）　チサン　カケモリ　小河内　水尾　藤倉　三峯山　甲信上界大郡山地也

葛飾（カツシカ）　江戸深川本所　新宿　二合半　金町ニ有　松戸ナリ　小岩ニ有　市川ナリ　中川ナリ　利根川角田川ノ間有郡ナリ

松戸市川ハ下サ国ナレモ御関所ノ称ヲノ様ヨリ此ニ出松戸御関所分前村也市川ハ小岩村也

今加葛飾郡

安房國　四郡

平群（ヘクリ）　勝山　保田　米沢　岡本　本名　リウサキ　岩井　大房　上サ界内海ニ向

勝山改　加知山

安房（アハ）　北条　宮山　洲崎　川名　藤原　綾濱　真倉　滝七　白八マ　那古　神余　西ノ出崎郡

朝夷（アサヒナ）　平館　乙浦　白子　松田　アミ　ヒニヱ　白渚　海發　磯村　セト　ゴウト　南出崎郡

長尾

花房

長狭（ナガサ）　東条　小湊　内浦　天津　濱萩　清澄　清水　平塚　小松原　上サ界東海向

上總國　舊十一郡　今九郡

市原（イチハラ）　八幡　五井　姉ヶ崎　今富　笠森　小知　岡井　鶴牧　下サ村田川ヲ郡界トス入江向

前間　寉舞

武射（ムザ）　上氣　一村限山地也　下サ界小郡

柴山

埴生（ハニフ）　長南　清水寺　塩井　荏村　国中郡

望陀（モウダ）　久留里　木更津　吾妻　ナラハ　黒玉　釜生　四方木　房界入江向

櫻井

周淮（スヱ）　飯野　鹿山　百首　カナヘ　宮津　房界天羽郡ヲマトイテ内海ニ向

天羽（アマハ）　金谷　天神山　佐貫　コイト　房界小郡

小久保

夷灊（イスミ）　イレミ小沼　小田喜　今留　マリヤ　松野　上野　久留里　タイ宿　市阪　滑川　大沢　沖津　守屋　オソリ　松江　勝浦　江波　中原　内野　雄井　ミクツ　岩崎　温石　ツセ　長世　山田　新田　万喜　ヲ池　岩井　小濱　下サ界一国四分一郡

長柄（ナカラ）　高師　茂原　ホシノフ　大アミ　帆立　一ノ宮　玉前社　白鳥沼　東海ニ向

山邉（ヤマノベ）　横紫　東金　流山　ナルト　野田　小西　宮作　成東　下サ界

大網

舊有海上𠱑𫝆二郡今減之

下總國　十一郡

千葉（チハ）　野田　小弓　馬加　檢見川　寒川　曽我野　濱野　千葉　山家　大和田　池田　生実　上サ界

印幡（インハ）　佐倉　木原　大サハ　臼井　日理　船穂　岩留　言美　八代　村神　国中ヨリ上サ界

迊瑳（サフサ）　八日市場　飯高　多古　椿　中村　内山　大寺　矢立浦　東海ニ向

相馬（サウマ）　相馬　島手　大井　小山　瓦代　長ヲキ　フカハ　布佐　安彦　白井　荒木　常界

結城（ユウキ）　結城　諸川　カヤヘ　仁連　山川　武井　飯沼　常野ノ界

猿島（サルシマ）　諸川　中田　磯部　佐川埜　野木　塔田　高根　堺　宮　上毛下野界

海上（ウナカミ）　小見川　銚子　佐川　野尾　飯沼　大倉　椿新田　横根　大坊崎　常界坂東太郎ニ添テ東海ニ向

香取（カトリ）　香取　同社　音川　津宮　佐原　滑尸　神崎　大和田　高野　多古　髙岡　小見川　常界

埴生（ハニフ）　酒々井　成田　木下　風大森　寺台　外島　八日市　門間　常界

豊田（トヨタ）　岡田　マウヤ　飯猪　赤法花　常界小郡

府中改 志筑　石岡

谷田部

葛飾（カトシカ）　関宿　吉川　松戸　市川　行徳　舟橋　鴻臺　八幡　釜谷　古河　利根川ヲ武ノ界トス

常陸國　十一郡

新治（ニヒハル）　上ルヤ　土浦　国中小郡

真壁（マカヘ）　下舘　マカヘ　久下田　羽黒　下妻　下毛界

筑波（ツクハ）　田下　荒川　藤代　大曽根　下妻　筑波ツクハ山　キヌ川　サノ川　下サ界

河内（カフチ）　アチキ　竜ケ崎　牛久　若森　下サ界

信太（シヽタ）　江戸崎　イナ石　女男川　下サ界

茨城（ムハラキ）　水戸　宍戸　ナ生　夏目　磯濱　長岡　勝台　岩舟　笠間　スカ田　小幡　下毛界ヨリ東海ニ至ル

行方（ナメカタ）　麻生　国中ヨリ東海ニ至

鹿島（カシマ）　谷田部　息栖　鹿島　同社　坂東太郎ヲ下サ界トス

那珂（ナカ）　比藤　長倉　下毛界小郡

久慈（クジ）　大田　大橋　月折山　男体山　奥ト下毛トノ界ヨリ東海ニ貫

仁壽改 要路

多珂（タカ）　介川　アタコ　足洗　平湾　小ツマ　新町　大北川　松岡　奥界ヨリ東海ニ貫

近江國

十二郡

滋賀（シカ）　膳所　大津　追分　山中　坂本　途中　衣川　堅田　比良　白鬚社　石山　三井寺　湖西城界

栗本（クリモト）　目川　草津　勢田　湖南城界

野洲（ヤス）　水部　御殿　守山　三上　三上山　湖東

蒲生（カモフ）　田津畑　日野　見カケ　武佐　八幡　鏡　勢界ヨリ東湖ニ貫

山上改 吉見

神崎（カンサキ）　伊庭　エチ川　勢界ヨリ細長湖貫

愛智（エチ）　駅町無之　神崎ニ並共小郡

犬上（イヌカミ）　彦根　高宮　勢界ヨリ東湖ニ貫

坂田（サカタ）　長濱　宮川　鳥井本　番場　柏原　醒ガ井　藤川　春照　小谷　伊吹山　濃界湖貫

浅井（アサイ）　木邸　駅町無之　湖ヲ隔テ越前ニ添テ　野口　梅津　濃界ヨリ湖ニ貫

伊香（イカコ）　金井原　中河内　塔市　柳ガセ　木本　余吾湖　濃越界

高島（タカシマ）　朽木　小入谷　大溝　河原市　今津　森西　追分　湖西丹若界

甲賀（コウカ）　石部　大野　水口　野川　仁正寺　土山　山中　信楽　伊賀伊セノ界

美濃國

舊十八郡　今二十一郡

多藝（タキ）　高田　舟付　養老滝　勢江方ニ寄テ国中ニ有

石津（イシツ）　高須　川戸　勢江ニ付テ多藝ニ並郡

不破（フハ）　赤坂　垂井　関ケ原　今須　子モノ語　江界

野村

安八（アハチ）　大垣　左渡　墨股　今毛　国中

池田（イケタ）　岡村　横山　江界

大野（オホノ）　揖尾　谷汲　杉原　越前界

本巣（モトス）　越波　上秦　シエミ　河戸　越前界

席田（ムシロタ）　駅町無之五六ケ村限　国中小郡

厚見（アツミ）　加納　左波　岐阜　国中小郡

各務（カヽミ） 駅町無し 尾界木曽川付小郡

山縣（ヤマカタ） 高富 越前界小郡

武藝（ムゲ） 門原 関 河知 金山 越前界

郡上（グジヤウ） 鷲見 前谷 二日町 三日市 八幡 法寺丸 外原 鎌辺 飛越前界

賀茂（カモ） 勝山 太田 白川 国中

可兒（カニ） 池田 ミタケ 金山 伏見 上田 尾界

土岐（トキ） 釜戸 大クテ 高山 細クテ 尾界

恵奈（アナ） 岩村 苗木 上野 カシモ 竹折 大井 中津川 落合 串原 阿妻 飛信三ノ界

方縣（カタカタ） 駅町無し 国中小郡

海西（クミニシ） 秋江 尾ノ木曽川ニ添小郡

葉栗（ハクリ） 笠松 竹ケ鼻 尾ノ木曽川ニ添

中島（ナカシマ） 駒塚 大浦 尾並ノ木曽川ヲ越テ尾張ニ入之

今加海西葉栗中島ノ三郡ヲ

飛驒國

舊三郡 今四郡

大野（オホノ） 高山 月瀬 コウヤ 増島 芦谷 小阪町 上山田 八日町 三河原 落合 古川 黒川 大島 信界ノ越中貫半国一郡也

荒城（アラキ） 下湯 舟渡町 千貫橋 小豆沢 谷村 越中界

益田（マスタ） 下原町 小津原 下呂 美信界

大原（オホハラ） 牛首 角成 小白川 美加越前中四回ノ料

今加大原郡

信濃國

十郡

伊那（イナ） 飯田 伊那 宮田 片桐 市田 八重河内 新野 伏地 平田 浪合 高遠 セイナイミ廿 一ノ瀬廿 駒場 土石 山本 甲駿遠三国ノ界

諏訪（スハ） 高島 渋湯 下ス八 スハ湖 同社 甲界

筑摩（ツクマ） 松本 光馬 塩尻 麻績 上市 福島 馬コメ 妻コメ 青柳 カリヤ原 ソマ原 宮越 二子川 西野 加村

上松 スワフ 野尻 ミトノ
木曽川 ミタケ川 ミタケ山
国中ヨリ美飛ノ界ニ至

安曇（アヅミ） ホタレ沢 池田 大町 飯盛 横川 キカベ 新田
保高
飛越中後ノ界

更級（サラシナ） イトリ山 追分 丹波島
中野
国中

埴科（ハニシナ） [松代] 屋代 坂城
サクラ山
国中

水内（ミノチ） [飯山] トクヲ ムレ井 柏原 野尻
善光寺 戸隠山
越後界

高井（タカイ） [須坂] 田中 ミクミツ
上毛越後界

小縣（チイサカタ） [上田] 田中 下和田 中之条
国中郡

佐久（サク） [小諸] 塩ナタ [岩村田] 軽井沢 追分 八幡
望月 千隈川原
上武甲界

上野國

十四郡

碓氷（ウスイ） [安中] 松井田 戸倉 モロタ 権現町 ミクミ
碓氷 横川廿 鳥川
信界

片岡（カタヲカ） 駅町ナシ
国中

甘楽（カムラ） 白井 砥沢 下仁田 宮崎 [七日市] [小幡]
妙義山
信界

多胡（タコ） 小幡
国中小郡

緑野（ミトノ） 駅町無シ
武界カンナ川ニ添小郡

那波（ナハ） [厩橋] 伊香保 玉村 芝廿
国中

群馬（クルマ） [高崎] 板鼻 倉ヶ野 岩鼻
国中利根川ヲ横キル

吾妻（アガツマ） 草津 長原 川原 大戸 塚原
永井廿
信越後界

利根（トネ） [沼田] 戸倉 利根川源
高科川
越後下毛奥ノ界

勢多（セタ） 黒川
下毛界

佐位（サイ） [伊勢崎]
国中小郡

新田（ニイタ） 木崎 太田 新田庄
下毛界

山田（ヤマタ） 桐生
下毛界小郡

邑楽（オハラキ） [館林] 矢木 板倉
武界カンナ川ニ添小郡

下野國

九郡

下野 陸奥

足利（アシカヾ） [足利] [佐野] 上毛ノ界

梁田（ヤナタ） 川崎 梁田 上界足利ニ並小郡

安蘇（アソ） 栃木 合戦場 野上 足尾 上毛界

都賀（トカ） [壬生] 三レ木 鹿沼 文挾 国中

寒川（サムカ） 飯田 小山 新田 石橋 宮田 飯塚 下サ上毛界

那須（ナス） [烏山] 福原 [黒羽] 那須原 芦野 鍋掛 佐久山 [大田原] 殺生石 常奥界

河内（カフチ） 鉢石 大ウリ 大原 藤原 [宇都宮] 日光 日光山 上毛奥界

塩屋（シホノヤ） 徳二良 今市 氏家 [喜連川] 国中ヨリ奥界

芳賀（ハカ） 鬼怒神 逆宮 真岡 茂木 高田 専修寺 常ト下サ界

廿五

陸奥國

陸奥国ヲ分割シテ磐城岩代陸前陸中陸奥ノ五国ト為ス
白川、石川、田村、菊多、標葉、行方、宇多、楢葉、亘理、磐前、刈田、伊具ノ十四郡ハ磐城国ニ属ス

舊三十五郡
今五十一郡

白川（シラカハ） 白川 塙 [棚倉] 矢ツキ 常下毛界

黒川（クロカハ） 新町 国中小郡

會津、大沼、耶麻、河沼、安達、安積、信夫、伊達ノ九郡ハ岩代国ニ属ス
柴田、名取、宮城、黒川、加美、志太、遠田、栗原、玉造、登米、桃生、牡鹿、本吉、[illegible]ノ十四郡ハ陸前国ニ属ス
磐井、[illegible]、和賀、[illegible]、閉伊、[illegible]ノ[illegible]郡ハ陸中国ニ属ス
二戸、三戸、北、津軽ノ[illegible]郡ハ陸奥国ニ属ス

磐瀬（イハセ） 小塩 長沼 根田 踏セ クリ石 黒川 下毛界

宮城（ミヤキノ） [仙臺] 松島 能根 石ノ巻 高木 玉川 末ノ松山 塩竈社 壺碑 東海ニ向郡

會津（アイツ） 五十里 横川 田島 串谷 大門川 上出古川 関山 若松 赤井 御代 上毛下毛ノ界郡

耶麻（ヤマ） 檜原 猪苗代湖 塙井 羽ノ界會津川添

安積（アサカ） サヽ川 日和田 アサカ沼 国中

安達（アタチ） [二本松] 温石町 アタチカ原 国中

廿六

柴田（シハタ） 金カセ 柴田 舟廻 野尻 羽界

刈田（カツタ） 白石 斉川 粟折 羽界

遠田（トホタ） 志太郡ト入込界不詳 国中小郡

名取（ナトリ） カサ崎 岩沼 中田 武隈松 名トリ川 東海ニ向郡

信夫（シノフ） 福島 瀬上 八丁目 李平 関 羽界

菊多（キクタ） [泉] ナメ川 東海小郡

阿曽沼ノ續ニ津川湯口其外十三ヶ村越後蒲原郡ノ内也

標葉（シハ）　熊川　東海ニ向小郡
阿曽沼（アソヌマ）　野沢　野尻　ヤナタ　越後蒲原界
行方（ナメカタ）　高野宿　原町　東海郡
磐井（イハイ）　一ノ関　鳥海　田代　正法寺　羽界
和賀（ワカ）　橘村　鬼柳　越中島　和加川　羽界
稗継（ヒヘツキ）　馬場　花巻　豊沢川　国中

亘理（ワタリ）　新濱　阿武隈川下　東海郡
玉造（タマツクリ）　駅町無之二ヶ村限　国中
賀美（カミ）　駅町無之　国中
志太（シタ）　三本松　国中右三郡共小シ
栗原（クリハラ）　原前　亀上　新屋　月立　沢辺　一ノ関　三ノ関　羽界
江刺（エサシ）　江刺　国中

膽澤（イサハ）　前沢　金崎　下風江　伊吹川　膽沢　羽界
登米（トヨメ）　新谷　根原　登米　国中小郡
牡鹿（ヲシカ）　東海金花山ニ續出崎ニテ至テ小郡
鹿角（カトノ）　花輪　松山　羽界
階上（シナカミ）　階下　軽井沢　鹿七川　羽界
津輕（ツカル）　弘前　黒石　碇関　津軽　岩崎　浪岡　川和沢　小湊　青森　新城　蓬田　三馬ヤ　小泊　北海松前向郡

宇多（ウタ）　中村　駒峯　東海郡
伊具（イク）　丸森　角田　舟岡　国中
本吉（モトヨシ）　十三濱　津谷　柳津　東海郡
石川（イシカハ）　竹貫　浅川　国中
大沼（オホヌマ）　野尻　大倉　界沢　越後界
斯波（シハ）　郡山　国中小郡

磐前（イハサキ）　湯本　ワタト　[湯長谷]　東海郡

磐城（イハキ）　[平]　小名　久濱　東海

伊達（ダテ）　新舘　松沢　梁川　国中

閉伊（ヘイ）　遠野　富田　十布ノスカ㟨　東海

桃生（モノフ）　湊　東ノ出崎小郡

氣仙（ケセ）　竹駒　廣㟨　東海

守山改[松川]

楢葉（ナラハ）　木戸　上河内　東海

田村（タムラ）　[三春]　守山　蓬田　国中

磐手（イハテ）　盛岡　大南部　八ニ六　温泉　鶯宿梅　羽界

二戸（ニノヘ）　一ノ戸　金田市　国中

三戸（サンノヘ）　浅水　五ノ戸　六ノ戸　[八ノ戸]　北海ニ寄

九戸（クノヘ）　久慈　三崎　[斗南]　北海ニ寄

北郡（キタゴホリ）　傳法寺　[七戸]　野辺池　小仏　田名部　矢尾崎　九サウ泊　佐井　外南部　北海松前ニ向

舊有邑麻　長岡　新田　小田ノ四郡今省之而加楢葉田村　磐手　二戸　三戸　九戸　北郡ノ七郡ノ

又河内　大名門　郡載　金原　星河　高野　稻牧ノ

七郡　界未考

延喜式有三十五郡無大沼郡和名鈔ニ為三十六郡ト

出羽國　舊十一郡　今十二郡

出羽国ヲ分割シテ羽前羽後ノ二国ト為ス　置賜村山最上田川ノ四郡ハ羽前国ニ属ス

最上（モガミ）　[新庄]　釜山　舟方　清水　相貝　板ニキ越　奥界

村山（ムラヤマ）　小松　関根　[天童]　立岡　古口　砥地　海塩　川口　長崎　[上山]　最上川　奥界

置賜（オイダミ）　[米沢]　関　稻日　赤湯　小岩沢　萩生　小坂　口沢　玉川　夕岡文珠　奥越後界

飽海秋田由利雄勝山本平鹿仙北ノ六郡ハ羽後国ニ属ス

[岩崎]

雄勝（カツ）　院内　湯沢　小野小町古跡　奥界

平鹿（ヒラカ）　横手　国中山ナ小郡

山本（サモト）　角舘　生保内　金沢　六郷　大田　刈和野　田沢　上檜内　奥界

松山改[松山領]

飽海（アクミ）　亀カサキ　田麦畑　志津　丸岡　清川　山寺　[松山]　坂田　小砂川　吹浦　湯殿山　羽黒　鳥海山　西海向

廣改大泉　　□島

豊島トヨシマ　䏻
国中山ニ小郡

田河タカハ　尾国　鼠崎
海端小郡

秋田アイタ　[久保田]　大久保　森岡　篠部　大舘　小繫　荷上場
綴子　八泉　男鹿嶋
西海出崎郡

檜原ヒハラ　八幡代　笠彩　八森　岩舘
本荘西海ニ向

由利ユリ　[本庄]　[亀田]　汲庭　芹田　松崎　長濱　塩ノ上端
西海向

今増　檜原由利ノ二郡　舊有出羽郡　今省之
豊島一名田河遊郡

若狭國　三郡

遠敷オニフ　[小濱]　中村　上手ヨリ日笠　熊川升
若州浦
江丹ノ界

大飯イタ　木郷　青戸　高濱　笠原　川上
丹波丹後界

三方ミカタ　佐垣　左田　氣山　三方
越前界

越前國　舊六郡　今十郡

敦賀ツルカ　敦賀　山中　贄口　疋田　湯川　八ニ原
常宮浦
江若界

敦賀改　[鞠山]

丹生ニフ　府中　上鯖江　宿浦　今宿
西海ニ向郡

今立イマタテ　ヌルミ　[鯖江]
江美界山郡

足羽アスハ　[福井]　淺水　舟橋
西海ニ向

大野オホノ　[大野]　勝山　市原　野原
加美飛ノ界

坂井サカイ　松齡　南条ヨリ流ル　白鬼女川下
西北海ニ向小郡

南條ナンデウ　鯖波　脇本　湯尾　今庄　二屋
河野　板取
江界ヨリ海ニ出

今北イマキタ　アサフ
美界小郡ハハカリ

吉田ヨシダ　松岡　竹田　丸山
永平寺
加界

坂北サカキタ　[丸岡]　長崎　三国　金津　細呂木
吉崎
加界北海ニ向

今加南條　今北吉田坂北四郡
舊有　黒田池上榊田　三郡今省之界不考

加賀國　四郡

江沼エヌマ　大内　[大聖寺]　立花　イリ橋　作見　山中
下瀬
越前界ヨリ海ニ至

能美（ノミ） 小松 安宅 湊 月津 寺井 海辺ヨリ山ニ掛ル郡
加賀（カヽ） 一乗寺 竹橋 津幡 森下 能越中界
石川 金沢 泉寺町 野々市 松任 柏野 水島 木滑 剣 新谷 湯下 折 尾曽根 白山 越中界ヨリ海ニ貫
羽咋（ハグヒ） 味守 河尻 今濱 一ノ宮 福浦 阿武浦 加界ヨリ西海ニ向

能登國

四郡

能登（ノト） 七尾 栖浦 大野木 佐波 東海向郡

鳳至（フヽシ） 道下 鳳至 輪島 河井 小田屋 時国 宇出津 由井 東海ヨリ西北ノ海ニ貫
珠洲（スヽ） 飯田町 正院町 三崎 東北ノ海ヘ出崎郡
能登郡一ニ曰鹿島郡ト

越中國

四郡

礪波（トナミ） 西赤尾 城端 小股 今石動 一ノ岡 庄 福光 佳井 加界
射水（イミヅ） 三戸田 小杉 下村 大渡 氷見 高岡 股村 能界

婦負 高尾 飛界山小郡
新川（ニイカハ） 黒川 東岩セ 四カケ 湯川 西水橋 美女杉 伏拜 タニサイ坂 富山 中ノ原 室坐 滑川 魚津 三日市 浦山
舟見 泊 堺町 立山 同社 越後界

糸魚川改 青海

越後國

舊七郡
今八郡

頸城（クヒキ） 糸魚川 鬼谷 能生 名立 有馬川 長濱 今町 クロ井 柿崎 松ヶ崎 高田 関山 山洞 市振 遠海 関川 信越中界
古志（コシ） 妙見 ツナヤ 長岡 見付 長沢 大自川 国中郡

三島（ミシマ） 山田 弘智法印古セキ 寺坂 北海小郡
魚沼（ノヌノ） 浅見 三股 湯沢 塩沢 赤沢 五日市 堀内 上奥界
蒲原（カンハラ） 黒水 村松 栖目木 芝山 荒屋 カチ 中条 新発田 五十セキ フレヤ 黒川 三日市 奥界
奥ノ分阿曽沼郡ニ入込 會津川下ヘ津川 湯口共外十三ヶ村有
沼垂（ヌタリ） 弥彦 赤塚 新浮 沼タリ 松嵜 篠ロ濱 桃崎 北海端通細長郡
石船（イハフネ） 黒川 ヒラ 村上 瀬波 武動 大沢 大股 羽界
苅羽（カリハ） 鯨波 柏崎 椎谷 石地 出雲崎 妙法寺 国中西海ニ向

今加茂羽郡

佐渡國　三郡

羽茂（ハモチ）　小木　金山　赤岩　赤泊　城山　高崎　佐渡　東海辺ヨリ細長南ニ出岬

雑太（サハタ）　羽田　摺川　石花　二見　沢崎　カウヤ町　西南郡

加茂（カモ）　文　小田　鷲崎　吉井　金北山　大野　順徳院陵　水津　湊　夷　北海ニ向郡

丹波國　六郡

亀山改 [亀岡]

桑田（クハタ）　本目　鳥羽　[亀山]　穴太　板橋　城摂界江若（モカヽル）

船井（フナイ）　[園部]　須知　檜山　水呑　下関　国中郡

多紀（タキ）　[篠山]　市原　古市　福住　籾井　摂界

氷上（ヒカミ）　竹田　小高　追入　[柏原]　遠坂　国中ヨリ但播界ニ至

天田（アマタ）　[福知山]　生野　国中

何鹿（イカルカ）　[綾部]　物野辺　梅迫　[山家]　丹後界

田辺改舞鶴

丹後國　五郡

加佐(カサ)　由良　川尻　中山　市場　松尾　田辺　白鳥　丹波界

與謝(ヨサ)　仏谷　加悦　岩屋　引木　経岬　水江　浦島　文殊　宮津　座頭ヨリ　但馬ヨリ東北海濱

丹波(タンバ)　御成　峰山　長岡　同中

竹野(タカノ)　溜日　多賀　浦島社　西北海辺小郡

熊野(クマノ)　久美浜　佐野

丹後但馬　三十六

丹波郡一ニ曰中郡ト

但馬國　八郡

朝來(アサコ)　竹田　和田山　ハサマ　白井　丹播界

養父(ヤフ)　尾崎　高柳　網場　タカタ　国中ヨリ播界ニ至

出石(イツシ)　岩井ヤ　山下　出石　大谷　久畑　大河内　出谷　藤森　丹波丹後界

氣多(ケタ)　三原　松岡　国中

村岡

城崎(キサキ)　豊岡　森津　湯島　温泉　氣比　丹後界

美含(ミクミ)　余部　矢田　矢坂　北海郡

二方(フタカタ)　湯村　諸寄　同界西北海辺

七美(シツミ)　大久保　福岡　村岡　百姓町　和田

因幡國　舊七郡　今八郡

法美(ホフミ)　サクラ谷　百谷　山根　上地　但界

但馬因幡　三十七

八上(ヤカミ)　河上　舟岡　徳谷町　袋原　鹿野　水谷　国中ヨリ作伯界ニ至ル

智頭(チツ)　駒帰　鷹野　作界

邑美(オツミ)　鳥取　安国　吉川　国中ヨリ北海ニ向

高草(タカクサ)　吉岡　尾崎　母里　加賀　国中ヨリ北海ニ向

氣多(ケタ)　田原　ミウホウ　青屋　青屋町　鹿野　伯界

八東(ヤトウ)　福井　安井　徳丸　若桜　吉川　討来　落折　但播界

岩井　湯町　細川　浦住　但界海ニ向

舊有臣濃郡今省之而加八東岩井二郡

伯耆國　六郡

河村　穴鴨　木地山　本泉　長瀬　吉原　泊　作因界東海ニ向

久米　湯関　倉吉町　吉川　作界ヨリ東海ニ貫

八橋　今西　八橋野　赤塚　夕子　八橋町　作界ヨリ海ニ貫

汗入　本宮　日原　逢坂　淀江　作界ヨリ北海ニ貫

會見　米子　二部　山市場　舟上　外江　雲界西北海出崎

日野　生山町　多里　黒坂　溝口　根尾　坂屋原　沓掛　三平　木谷　作備中後雲ノ四国ニ接ス

出雲國　十郡

意宇　三日市　湯町　伊井川　湖水ヨリ入海ニ属ス

能義　廣瀬　母里　八杉　伯界

島根　松江　雲津　三保関　東北ノ出崎

秋鹿　塩津　佐田　北海ト湖間楯縫ニ並小郡

楯縫　平田　十六島　右ニ並郡

出雲　杵築　大社　素娥　弁慶古跡鰐淵寺　宇竜　日御崎社　西北海ニ出張ル

神門　妙見　山口　今市　奥田儀　石界小郡

飯石　大津　鍋賀　上熊谷　赤穴　備後石界

仁多　堅田　横川上　長谷原　備後界

大原　諏訪　国中小郡

石見國　六郡

安濃　河合　吉永　志学　雲界

邇摩　福田　荻町　仁万　宅野　北海向

那賀　濱田　今市　三隅　周布　小濱　長沢　長濱　江田町　美濃ヨリ西北海ニ貫

邑知(オホチ) 市木 日貫 中野 久喜 大林 百石 藝界

鹿足(カノアシ) 津和野 日原 星坂 撥追 枕瀬 防長藝三国界

美濃(ミノ) 濱瀬 益田 高津山 津田 藝界ヨリ西北ノ海ニ貫

隠岐國

四郡

知夫(チブリ) 知夫 黒木御所後醍醐帝行在 一郡ノ小島也

海部(アマベ) 北方 後鳥羽帝古跡同社 一郡ノ小島也

周吉(スキ) 湊 府中 津井 東南北ニ出張ル

隠地(ヲチ) 都万 西海ニ向

播磨國

舊十二郡 今十六郡

明石(アカシ) [明石] 人丸社 大久保 摂界淡路島ニ向

賀古(カコ) 高畑 野口 土田 南海小郡

三木(ミナキ) 北荻原 摂界

赤穂(アカホ) [赤穂] 東有年 西ウ子 備前界

佐用(サヨ) [三日月] 佐用 平フク 作界小郡

多可(タカ) 野村 想社 丹但界

揖西(イヒホノニシ) [竜野] 室津 片島 正条 千本 赤穂ニ並郡

揖東 新宮 [林田] 石倉 山田 揖西ニ並

餝西(シカマノニシ) 手野 書写山 揖東神西ノ間細長ク海ニ至ル

餝東 餝万津 [姫路] 御着 南海ニ向

神西(カンサキノニシ) 真弓 但界

神東 [福本] 粟加 国中

賀西(カモノニシ) 法花山 八昌 但界

賀東 [小野] 坂本 [三草] 丹界

印南(イナミ) 福泊 志方 加古川 高砂社 曽根社 石宝殿 南海郡

御調(ミツキ)　尾ノ道　三原　藝界南海ニ向
世羅(セラ)　甲山　藝界
三谿(ミタニ)　古金　国中
三次(ミツギ)　三次　藝石雲三国界

安藝國　八郡

山縣(ヤマカタ)　大塚　有田　石界

佐西(サイキノニシ)　小方　玖波　宮内　草津　宮島　防界南海ニ向
佐東(サイキノヒカシ)　[廣島]　南海郡
安北(アキノキタ)　可部　上深川　国中
安南　海田市　廣島ニ並
高田(タカタ)　吉田　石備後界
賀茂(カモ)　西条　音頭島也　南海

吉野(ヨシノ)　坂根　因播界
今久米　勝田　各分南北テ加吉野郡

備前國　舊八郡　今九郡

和氣(ワケ)　畠田町　伊部　梨町　塩田町　片上　八木山　三石　作播界
磐梨(イハナシ)　畠田　国中
邑久(オホク)　牛窓　神崎　正浦　山田　笠加新町　南海郡

赤坂(アカサカ)　白石　スサイ町　作界
上道(カムミチ)　駅町無之　国中郡
上東(カムツミチノヒカシ)　西大寺　藤井　上道ニ並
御野(ミノ)　[岡山]　大多井　国中
津高(ツタカ)　金川　建部　備中界細長ク通ル郡
兒島(コシマ)　下津井　藤戸　常山　此郡備前地ヲ離テ備中ニ續　岡山ヘ近向島也

今増 上東郡

備中國 舊九郡 今十郡

都宇（ツウ） 早島 備前兒島郡ニ繞小郡

窪屋（クホヤ） 倉敷 浦 河辺 南海ニ向

加夜（カヤ） 吉備宮 [庭瀬]二[足守] 大井 備前界

下道（シモツミチ） 中村 大掛 山田町 [岡田] 国中

[生坂]

備中 四十四

淺口（アサクチ） 黒崎 窪屋ニ並南海ニ向

[鴨方]

小田（ヲタ） 笠岡 笠岡町 国中

後月（シツキ） 七日市 高屋 備後界

哲多（テタ） [成羽] 青木 天神山 備後伯界

英賀（アカ） [覺] 弓弦 刑部 作界

上房（カミツフサ） [松山] 平川 国中

松山改[高梁]

今加 上房郡

備後國 十四郡

安那（ヤスナ） 駅町無シ 備中界

深津（フカツ） [福山] 神ナヘ 備中界東南海ニ向

神石（カメシ） 駅町無シ 国中郡

奴可（ヌカ） 東條 伯界

備後 四十五

沼隈（ヌノクマ） 今津 鞆町 南海郡

品治（ホンチ） 駅町無シ 国中

葦田（アシタ） 駅町無シ 国中

甲奴（カウヌ） 駅町無シ 国中

三上（ミカミ） 庄原 国中

恵蘇（エソ） 駅町無シ 雲界

御調（ミツギ）　尾ノ道　三原　藝界南海ニ向

世羅（セラ）　甲山　藝界

三谿（ミタニ）　吉舍　国中

三次（ミツギ）　三次　藝石雲三国界

安藝國　八郡

山縣（ヤマガタ）　大塚　有田　石界

佐西（サイキノニシ）　小方　玖波　宮内　草津　宮島　防界南海向

佐東（サイキノヒカシ）　[嚴島]　南海郡

安北（アキノキタ）　可部　上深川　国中

安南　海田市　廣島ニ並

高田（タカタ）　吉田　石備後界

賀茂（カモ）　西条　音頭島也　南海

沙田（マスタ）　忠海　又タ本　本郷　備後界

周防國　六郡

大島（オホシマ）　大島　一郡ノ島也

熊毛（クマケ）　室津　室積　南海郡

玖珂（クカ）　[岩国]　廣七　高守　玖珂本郷　椙野　小瀬　錦タイ橋　東海向

都濃（ツノ）　[徳山]　夜市　富田　下松　花園　峠市　今市　奥大町　国中

佐波（サハ）　宮市　富海　仁保　国中

吉敷（ヨシキ）　[山口]　山口　小郡　小股　宮市　大海　長界

長門國　舊六郡　今八郡

厚西（アツサニシ）　吉田本郷　厚狭　南海ニ向

厚東　本山　舟木　山中　加川　宇部　防及南海

豊西（トヨラノニシ）　川棚　西海ニ向

長府改 豊浦

豊東（トヨヒガシ）　下ノ関 長府 清末　卯月　西山中　南海ニ向

大津（オホツ）　狭山　正明市　中村　西北海ニ向

美禰（ミネ）　大嶺　長登町　国中ヨリ防界ニ至

阿武（アム）　萩　三見　大井　木与　總江　須佐　江崎　下田方　明水　生雲　坐波　阿武松原　石防界北海ニ向

豊田（トヨタ）　西市　鳴戸　西海ニ向

今厚狭豊浦各分東西ヲ舊有見島郡今省之ヲ加豊田郡

紀伊國

七郡

伊都（イト）　廣口　大畑　大野　橋本　尭　二尊院　紙谷　花坂　高野山　和河界

那賀（ナカ）　志賀　大津　高野辻　粉川寺　根来山　泉界

名草（ナクサ）　和歌山　八軒屋　岩手　泉界

海部（アマ）　加田　粟島社　和哥ノ浦　紀ノ川　有田郡ヲ越テ六七郷在家此郡ニ属　西北ノ海ニ向

世ニ粟島ハ名草郡ト云傳有氏海部郡ニアリ尚土地人ニ尋テ宜可考

在田（アリタ）　カモ谷　ヒハリ山　和界ヨリ細長ク海ニ貫

日高（ヒタカ）　印南　小松原　日高川　道成寺　在田ニ並

牟婁（ムロ）　田辺　近並　发心門　本宮　泉式部　白川塔　請川　小口　富山　阿滝　ミロツ　里浦　有田浦　塩見崎　字ラカ　ツクイ　新宮　那智山　ミワサキ　三熊野社　有馬　新鹿　三鬼　ゾワレ　馬瀬　カウ村　伊和界ヨリ東南西ノ海ニ貫紀ノ国七分郡也

淡路國

二郡

津名（ツナ）　須本　由良　竹口　クスホ　岩屋　トノ田　都志　摂播ニ向

三原（ミハラ）　三原　松本　福良　宍川　× 地ナ　阿波ノ向

阿波國

舊九郡　今十一郡

阿波（アハ）　脇町　讃界小郡

美馬（ミマ）　駅町無レ　土界ヨリ讃界ニ貫

三好（ミヨシ）　大西町　佐野　豫讃ノ界

麻殖（ヲヱ）　多野　麻殖東西　国中ヨリ土界ニ至

名東（ナヒガシ）　徳島　ソラモト　東海郡

名ノ西（クニサキ）　国中
勝浦（カツウラ）　勝浦　小松島　東北ノ海ニ向
那賀（ナカ）　島尻へ　富岡町　椿泊　東海ニ向
板東（イタノヒガシ）　木津へ　吹田　大坂　岡崎　大小鳴戸　淡路ニ向
板ノ西　駅町無シ　讃界
海部（アマヘ）　院喰　岩本へ　トモ町　中村　七郡ヨリ南海ニ臨

今増海部郡而板野ヲ分東西ニ

讃岐國　舊十一郡　今十二郡

大内（オホウチ）　板本　引田　窪羽　阿界東海ニ向
寒川（サムカハ）　大窪　志度　阿界ヨリ北海ニ貫
三木（ミキ）　駅町無シ　五剣山　八栗山　阿界ヨリ北海ニ貫
山田（ヤマタ）　武例　檀浦　八島　次信基　向ニ小豆島アリ　国中ヨリ北海ニ至

香東（カハノヒカシ）　高松　矢原　阿界北海ニ至
香ノ西　香西　国中ヨリ海ニ至小郡
那珂（ナカ）　丸亀　多度津　白方　上村　金毘羅　阿界ヨリ西海ニ至
阿野（アノ）　ハウ埼　崇徳院陵　阿界ヨリ備海ニ向
三野（ミノ）　下麻　本山　弥谷　阿界ヨリ西海ニ向
多度（タト）　屏風浦　多度津　小郡

刈田（カリタ）　ミノ浦　阿豫界
鵜足（ウタリ）　駅町無シ　那珂郡ニ並国中ヲ横キル

今分香川東西ニ

伊豫國　十四郡

宇摩（ウマ）　長洲　ヨキ　土阿讃界ヨリ東海向
新居（ニイイ）　西条　三島　大町　大山祇社　土界ヨリ東海ニ向

周敷(スフ) 小松 左同

桒村(クハムラ) 駅町無之 小郡

越智(ヲチ) 今治 新田義助墓 国中ヨリ東海向

野間(ノマ) 宮崎ハナ 五六ケ村限リ 今治ニ並小郡

風早(カサハヤ) 北条 小郡

和氣(ワケ) 三津 小郡

温泉(ユ) 松山 道後湯 小郡

久米(クメ) 駅町無之 国中小郡

浮穴(ウキアナ) 隈町 土界小郡

伊豫 小川 イヨノ冨士山トモ云也 西北ノ海向小郡

喜多(キタ) 大洲 長濱 新谷 田子 宇和ト浮穴ノ間ニ有郡

宇和(ウワ) 宇和島 吉田 吉田 城下町 上界西南海ニ向

土佐國 七郡

安藝(アキ) 田浦 竹セレキ 安田川 ?川 安藝 東寺 山寺 阿界

香美(カミ) 窪田 ワレキ 別府 物部川 阿界

長岡(ナカヲカ) 夕子サキ 本山 豫界

土佐 高知 寺川 豫界

吾川(アカハ) 池川 国中ヲ抜キシ小郡

高岡(タカヲカ) 焼山 花山帝陵 上カヤ 才津 窪川 ヲハラ 右ニ同

幡多(ハタ) 下山 宿毛 中村 伊田 南出崎

筑前國 十五郡

怡土(イト) 吉井 深江 肥界小郡

志摩(シマ) 今宿 怡土ニ並出崎

早良(サハラ) 此ノ松原 福岡 志ノ下ニ有

那珂（ナカ）　博多　箱崎　八幡社　早良福岡ニ並

席田（ムロタ）　青柳　外二ケ村　国中小郡

糟屋（カスヤ）　駅町無し　香椎宮　箱崎ニ並出崎

宗像（ムナカタ）　赤間　モロミ川　鐘岬　北ノ出崎

鞍手（クラテ）　初瀬　此一村限　小郡

嘉麻（カマ）　大隈　豊前界小郡

穂波（ホナミ）　此郡山ハカリニテ漸二ケ村　国中

上座（カミツアサクラ）　駅町無し　三ケ村限　豊前後筑後三国界ニテ小郡

下座　駅町無し　筑後界秋月ニ並

御笠（ミカサ）　宰府　天神社　肥前筑後界

遠賀（ヲカ）　木屋瀬　黒崎　豊前小倉界

夜須（ヤス）　[秋月]　野町　筑後界

筑後國　十郡

御原（ミハラ）　松崎　肥前筑前界

生葉（イクハ）　然山　高井岳　山ハカリ在郷無し　筑前豊後界

竹野（タケノ）　福口ク　一ケ村山ハカリ　筑前界

山本（ヤマモト）　浦村　十ヽヤ　山ハカリ　筑前界

御井（ミイ）　田主丸　吉井　二ケ村山斗　善道寺　筑前界

[三池]

三瀦（ミムマ）　[久留米]　酒見　敵久　筑後川ニ添テ肥前界

上妻（カムツマ）　朽米　山ハカリ　国中

下妻　内屋　矢部川　肥後界

山門（ヤマト）　江浦　[柳川]　西南海向

三毛（ミケ）　駅町無し　肥後界西南海ニ向

豊前國　八郡

小倉改 豊津
千束

田河（タカハ） 猪膝 △彦山權現 山ガカリ 筑前界

企救（キク） 川原市 石ワリ 小倉 内裏 門司 筑前界長門内海ニ向

京都（ミヤコ） 刈田 △ツナシキ天神 企救ニ並郡

仲津（ナカツ） 山ガカリ 三ケ村 △彦山ヨリ出ル川郡ノ中央ニ流 国中細ク長シ

築城（ツイキ） 山バカリ 在郷無シ 国中

上毛（カムツケ） 松江一村限 △高瀬川 下毛ニツヽク郡

下毛 中津 大郡ナレ氏山ガカリニテ村弖少シ 豊後界ヨリ海ニ貫

宇佐（ウサ） 森沢 宇佐 △八幡社 豊後界

豊後國 八郡

日高（ヒタカ） 梅野 へ豆町 へ限町 ○日田 肥後筑前後豊前四国ニ掛然レ氏小郡也

球珠（クス） 森 豊前界ヨリ肥後界ヘ貫小郡

直入（ナライリ） へ白丹町 久住 へ竹田 岡 田代 へ岩戸川 日肥後界

大野（オホノ） 岡 駅町無シ △舟岡川 国中小郡

海部（アマヘ） 佐伯 板関 臼杵 ドマスノ岬 西浦 蒲戸 長月 左志生 日界ヨリ南海ニ至

大分（オホイタ） 府内 今市 ノウ原 ツルサキ 国中入江ニ添

速見（ハヤミ） 日出 杵築 豊前界ヨリ入江ヘ貫

國﨑（クニサキ） ムサシ 松尾 竹田 豊前界ヨリ南北ノ海ニ出ハル

肥前國 十一郡

基肄（キイ） 二ケ村 筑界小郡

養父（ヤフ） 中原 外二ケ村 筑界小郡

三根（ミネ） 三ケ村 国中小郡

神﨑（カンサキ） 蓮池 外二ケ村 筑後川ニ添テ小郡

佐嘉（サカ） 佐賀 東海ニ向

小城（ヲキ） 牛津 小城 以上六郡一処ニ有各小郡也 佐賀ニ並

杵島（キシマ）　園木　塚崎　東ハ入江ヨリ北ハ入江ニ貫

松浦（マツラ）　［唐津］大川原　名古ヤ　志佐　田平　［平戸］九十九泊　五島　［福江］トミエ

平戸ハ一島也　五島ハ東島西島泰留島飄島福江也

唐津地筑界ヨリ北海ニ出張田平ノ地ハ唐津ノ入江ヲ離テ平戸ニ向

藤津（フヂツ）　［鹿島］　東海

彼杵（ソノキ）　嬉野　［大村］長井　大浦　野母　長崎　西海ニ向テ南ニ張出ス

高来（タカキ）　［島原］諫早　東　水月　早サキ　陸続テ一方ロ知島　東ニ張出ス

［高瀬］

肥後國

舊十四郡
今十六郡

玉名（タマナ）　南関　筑後界海ニ向

山鹿（ヤマカ）　山鹿　筑後界

菊池（クヽチ）　駅町無レ　豊筑界

阿蘇（アソ）　坂川　大里　豆原　阿ソノ宮　日豊後界

合志（アハシ）　内牧　国中

山本（ヤマモト）　駅町無レ四ケ村　国中

飽田（アイタ）　［熊本］　海ニ付小郡

託麻（タクマ）　駅町無レ　五ケ村　国中

益城（マシキ）　駅町無レ　緑川　国中

宇土（ウト）　［宇土］　飽田ニ並

八代（ヤツシロ）　［八代］　以上十一郡各小郡也　宇土ニ並

天草（アマクサ）　魚貫　志岐　廣瀬　上岐上下　一郡島也

葦北（アシキタ）　佐敷　水股　薩界天草ニ向

球磨（クマ）　［人吉］　白水　日界

米良（メラ）　山ハカリ　六ケ村　日向ヘ入込郡也

五家（コケ）　山ハカリ　三ケ村　日界

今加米良　五家　二郡

日向國

五郡

臼杵（ウスキ） 延岡 赤水 細島 三江野 ヒラ 山鹿
向渕 七山
豊後肥後ヨリ海ニ向

兒湯（コユ） 高鍋 津野 高城川
肥後ヨリ海ニ貫

那珂（ナカ） 飯肥 油津 宮浦 本郷 佐土原
東海ヨリ南海ニ延

宮崎（ミヤサキ） 北方 宮崎 神武帝社
国中

諸縣（モロカタ） 本庄 神谷 野尻 花堂 西キリシマ 大久保
九島 志布志
大島 主巴 炎又

大隅國

八郡

菱刈（ヒシカリ） 三ケ村限
日薩界

桒原（クハハラ） 宮内 鹿兒島ノ社
日ト薩トノ間

噌唹（ソオ） 国府
日界

大隅 岳水 大濵 竹浦 大泊
南出崎

姶羅（アイラ） 梶木 服本
薩界

肝屬（キモツキ） 内浦 柏原
東出崎

馭謨（ゴム） 宮浦
一郡屋久島ト云

熊毛（クマケ） 赤尾木
一郡種子島ト云

薩摩國

十三郡

高城（タカキ） 高城 京泊 ツノ町 西肩
西海ニ向

薩摩 市來 串木 向田 水引
川内川 羽島岬
隅界ヨリ西海ニ貫

甑島（コシキシマ） 上甑島 外二島
一郡三島也

日置（ヒオキ） 伊集院
西海

伊作（イサク） 大口 一ニ伊作ト云
日肥隅界

阿多（アタ） 阿多
極小郡河辺ニ添

河邊（カハノヘ） 大浦 片浦 坊津
南西出崎

頴娃（エノ） 大川 海門岳
南海

揖宿（イブスキ）　宮ハマ　東海

給黎（キヒレ）　駅町無し　東海

谿山（タニヤマ）　二ケ村限山　鹿児島ニ並

出水（イツミ）　米津　出水　高尾野　長島　阿久根　肥後及天草ニ向

鹿児島（カコシマ）　[鹿児島]　入来　向島　隅及東海ニ向

壹岐國

二郡

壹岐　[勝本]　呼子　松原　北ノ方

石田（イシタ）　芦辺　八マンサキ　湯浦　郷浦　坪浦　タキ　南方

對馬國

二郡

上縣（カミツアガタ）　豊浦　鴬浦　鰐浦　佐須奈　大津　鳥　北ノ方

下縣　[府中]（府中改[厳原]）　佐須　大浦　シタリ　九鬼崎　南ノ方

皇國郡名志　畢

皇國郡名志附録

東京　桂華園主人　補輯

渡島(ヲシマ)國　七郡

明治二巳年八月蝦夷ヲ剖割シテ十二國ト為北海道ト改称ス

亀田(カメダ)　箱舘港　ヒヽ　汐クビ　シリキシナイ　恵山　陸奥北郡ニ向フ

サフ川　有川

茅部(カヤベ)　サハラ　ウスシリ　オカタ内　モリ　ノタヲイ　東海岸

カヤベ　駒岳

上磯(カミイソ)　サツカリ　キコナイ　トウベツ　ヤキナイ　北郡ニ向フ

モヘシ

福島(フクシマ)　白神　シリ内岳　ヨシヲカ　陸奥津軽郡ニ向

津輕(ツガルツ)　松前港　サツマヘ　エラマチ　キヨベ　アラヤ

小島　同

檜山(ヒヤマ)　舘藩　江刺港　上ノ国　オトベ　オモナイ

トツプ　大島　西海岸

爾志(ニシ)　クマ石　セキ内　トマリ川　同　後志界

後志(シリベシ)國　十七郡

久遠(クドウ)　太田山　同

奥尻(オクジリ)　アヲ内　窪カケ　離島

太櫓(フトロ)　大タ　フトロ　西海岸

瀬棚(セタナ)　トシベツ　同

島牧(シママキ)　シライト　モツタ　同

壽都(スツツ)　寿都港　ヲタノシケ　同

歌弃(ウタスツ)　同

磯屋(イソヤ)　シリベツ　西海岸

岩内(イハナイ)　シリフカ　岩尾岳　同

古宇(フルウ)　ウスベツ　サ子内　同

積丹(シャコタン)　ライキシ　西北海岸

美国(ビクニ)　チャシナイ　北海岸

古平(フルヒラ)　ヘロカルシ　同

余市（ヨイチ）　サヽ小ヤ　同

忍路（ヲシヨロ）　同

高島（タカシマ）　手宮港　同

小樽（ヲタル）　カツ内　ゼニバコ　シユマ岳　同石狩界

石狩國　九郡

石狩（イシカリ）　モウライ　イシカリ川　西海岸

札幌（サツポロ）　ハツシヤフ　ツイシカリ　後志膽振界

夕張（ユウバリ）　モユウバリ　シユウバリ　膽振界

樺戸（カバト）　カバト　シヘツ　コガ子山　空知ニ隣

空知（ソラチ）　ソウル　アシ別　国中

雨龍（ウリウ）　シユマサン内　カモイコタン　天塩界

上川（カミカハ）　サンケソマ内　アイベツ　石カリ岳　十勝北見天塩界

厚田（アツタ）　ヲシヨロコツ　西海岸

濱益（ハママシケ）　コキヒル　ホコクンベツ　同天塩界

天鹽國（テシホ）　六郡

増毛（マシケ）　カムイエト　ヘツカリ　ホロ泊り　シヨカンベツ　同石狩界

留萌（ルヽモツペ）　セタベツ　ウシヤ　ヲヘラシベツ　同

苫前（トママイ）　ホロ別　ハホロ　天売島　焼尻島　同

天塩（テシホ）　ワツカシヤク内　フウレベツ　サルベツ　同北見界

中川（ナカガハ）　シユホロ　アシレ内　国中北見界

上川（カミガハ）　ナヨロ　ケ子フト　テシホ岳　同北見石狩界

北見國（キタミ）　八郡

宗谷（ソウヤ）　ハツカイ　ソウヤ　トマリナイ　シヤーヌイ　北海岸天塩界

利尻（リシリ）　ウヱンベシ　コトンドマリ　離島

禮文（レブンシリ）　ヤンヘヲマナイ　キナウシ　チセホヤシドマリ　同

枝幸（エサシ）　ホロベツ　チカフトムシ　北海岸

紋別（モンベツ）　モンベツ　ユウベツ　同

常呂（トコロ）　ノトロ　同

網走（アバシリ）　アバシリ　同

斜里（シヤリ）　シヤリ　ユウナイ　イワヲ岳　チヤフ丶岳　東北海岸根室界

膽振國（イブリ）　八郡

山越（ヤムクシ）　クンヌイ　ヲシヤマンベ　ユウラフ　東海岸渡島界

虻田（アブタ）　ヌワキベツ　シツカリ　フレ内　同

有珠（ウス）　サルベツ　イマリマリフ　同

室蘭（モロラン）　エトモ　チマイベツ　同

幌別（ホロベツ）　ヌフルベツ　ワスベツ　同

白老　ヘツベツ　タルマイ　タルマイ岳　同

勇拂　アツマ　ム川　同日高界

千歳　チトセ川　国中石狩界

日高國（ヒダカ）　七郡

沙流（サル）　モンベツ　サルフツ　南海岸膽振界

新冠（ニイカツプ）　ヒボク　シンヌフ　アツベツ　同

静内（シヅナイ）　シビチヤリ　フシ　モンベツ　シヤマツケ岳　同

三石（ミツイシ）　ケリマフ　同

浦河（ウラカハ）　ムコベツ　ホロベツ　同

様似（シヤマニ）　シヤマンベツ　ウトコベツ　ウヌンコヘ　同

幌泉（ホロイヅミ）　幌泉港　ニカンベツ　ヲタベツ　サル丶　アフラコマ　エリモ岬　トウフチ岳　ソウヤ　同十勝界

十勝國（トカチ）　七郡

廣尾(ヒロヲ)　ヒホロ　ラツコ　ヒタヽヌンケ　ラツコ岳　東海岸日高界
當縁(トウブチ)　ヘルフ子　モレベツ　同
上川(カミカハ)　トカチ岳　国中石狩北見界
中川(ナカガハ)　トレベツ　ウラホロ　同
河東(カトウ)　同　釧路北見界
河西(カセイ)　ルウチシ　カモイ岳　同　石狩日高界

十勝(トカチ)　ウラホロ　トカチ川　東海岸釧路界

釧路國　七郡

白糠(シラヌカ)　シヤクベツ　チユク別　ワツテ　シヨロヘ　同　十勝界
足寄(アシヨロ)　リクン別　国中十勝界
釧路(クシヨロ)　ヲタノシケ　カワラコイ　東海岸
阿寒(アカン)　アキベツ　ヲホロ　国中

網尻(アバシリ)　タツコフ　チマケフ　オアカン岳　同　北見界
川上(カハカミ)　クツチヤロ　マシウ岳　ニレヘツ岳　同
厚岸(アツケシ)　センハウジ　アトエカ　ホロト　アレリコタン　ヲツナヽ　大コク島　キイロフ島　東海岸根室界

根室(子モロ)國　五郡

花咲(ハナサキ)　ノツーヤフ　カンサラモナイ　フラルモイ　モユリ島　シユコ丹島　同　釧路界
根室(子モロ)　子モロ　ハナサキ　ホニナイ　ノツカマフ　トウシヤム　同

野付(ノツケ)　シユンベツ　ヘツカイ　同
標津(シベツ)　チウルイ　イシヤニ　チヤシユツ　ホニヲイ　同
芽梨(メナシ)　シレトコ　チニレベツ　サキムイ　クン子別　ルシヤ　東北海岸北見界

千島(チシマ)國　五郡

國後(クナシリ)　トマリ　チフ泊リ　チフカルフツ　ヤモシ別　セヽキ別　アトイヤ　チヤシユツ　ナヤく岳　離島
擇捉(エトロフ)　シベツ　ナイホ　ヲン子別　ヘロタコイ　ルチヤロ　アレサ岳　四郡一島

振別（フレベツ）	マウレベツ　トノカマエ　ナイホ　ワツカシヤクナイ　ヲン子コタン　ヘフウレベツ	同
紗那（シヤナ）	ソリモイ　シヤナ　ナヨマイ　トウコヘ　トコツチヤ　ヘトフチ　ホーコヘ　サレウレ　チリツフ岳	同
蘂取（シベトロ）	マクヨマイ　シベトロ　ヒン子ベツ　ヲン子別　トカリウシ　エレヨウシ　モヨロベツ　モヨロ岳	同

樺太國（カバフト）　郡名未定

樺太国古ハ唐太（カラフト）ト云文化六巳年ヨリ北蝦夷ト号ス明治二巳年八月ヨリ今ノ名ニ改ム

發行書林

京都三條通柳馬場　堺屋仁兵衛
大阪心齋橋通南久寳寺町　伊丹屋善兵衛
仝　備後町　近江屋平助
仝　安土町　河内屋忠七
尾張名古屋本町三丁目　菱屋藤兵衛
仝　二丁目　菱屋平兵衛
東京日本橋通一丁目　須原屋茂兵衛
仝　二丁目　山城屋佐兵衛
仝　仝　須原屋新兵衛
仝　芝神明前　岡田屋嘉七
仝　仝　和泉屋市兵衛
仝　横山町三丁目　和泉屋金右衛門
仝　浅草茅町二丁目　須原屋伊八
仝　本石町二丁目角　院本屋喜兵衛

橘隆盛 撰

日本州名紀原

寬政十年（一七九八）江戸玉巖堂刊本

據寛政十年（一七九八）
江戸玉巖堂刊本影印

大日本國

刕名紀原

乾道橘隆盛撰

（印）

玉巖堂

（印）

刕名紀原序

大やまとの國〻は志賀高穴穂の帝の御宇
なり　而て國造をさだめ給ひ其后
國〻の境をも定め給ひ元明の帝の
御世和銅六年五月七道の國郡の名
實に六おし諸國の二字の好字を撰ぶ
古事記其の外の紀にも又文字の
名よりかきものゝ名に至るまで

此あるべき國〻の字の書様或は
諸越のあまたの書よりかゝる我くにゝ
者なし其字のさまにいたりて見合の
ふみきく次すゝむ字をかしこき字の
たくひ有其まゝ和にかきそへて書ける
其の書ありさま諸羅の帝の御まへの
國造の名はまた字を用ひて捨て字に
かきなしとかきし二字の字のまゝを二字ならば

おほひなる国をかはりてかくさまは中古より
かつそのかみよりの字を書あてて今の字に
まさる名のよみを用る物さへいとも多し大和
近江遠江上野下野のたぐひそれなり
おほきみ和銅の風土記との字はをる
また出雲豊後なとの国の風土記のこる
らず残りぬれと其よみかたに書しるし
或はその名をあまたかくし一つに取かはれけ

別名紀原序　二

りはありしにたがへしきものの多くあるべき
をわかしあつめしはなつめて別名紀
原といふ時は寛政九の年秋の三夜中の夜
とりあつめて書しるし了めてちかき翁
たちの名のまことなりけり

日本州名紀原

乾道橘隆盛撰

五畿内　日本紀曰孝德天皇二年春正月詔曰凡畿内者東自名墾横川以来南自紀伊國兄山以来西自赤石櫛淵以来北自近江狹々浪合坂以来為畿内云々後代以五國曰畿也田令義解曰畿猶疆也言王畿之内也東陽許氏云王者所居者地方千里謂之王畿亦作圻大明一統志作日本五圻七道四十二代文武天皇御宇分五畿七道

○山城上八郡舊事紀作山代或山背古事紀作山代五十代桓武天皇延曆十三年改山背為山城日本後紀曰延曆十三年十一月詔曰山河襟帶自然作城宜改山背國為山城國云々一說有生駒山背故云山背山背山陰謂也國名風土記曰山代物種蒔養所為代云々二十七代継體天皇五年被遷都當國筒城是當國帝都始也其後被遷所々至桓武天皇御宇都當國長岡後被遷平安城東海諸國記異朝之書曰山城州分為國都有山如城峻嶮自北而南東西囬抱云々

○大和大十五郡舊事紀作大倭古事紀作倭後漢書作邪麻堆職原句解曰大和名神代事起乎上代八天神窟時糠戸神取天香山荒金作日矛鏡依奉慰御怒鮮鑿其金山跡國故名山跡神怒奉和故改大和拾芥抄曰天平勝寶年改大倭為大和續日本紀曰天平九年改大倭國為大養德國同十八年復改為大和國

○河内大十四郡舊事紀作凡河内古事紀作凡川内拾芥抄曰神護景雲三年十月以西京河内國為河内職同四年改職又為國此國有淀河故曰河内國也

○和泉下三郡舊事紀曰和泉國造元河内國靈龜

元年割置茅野監則改為國元珍努官云々類聚國史曰元正天皇靈龜二年四月甲子割河内國大鳥日根和泉三郡始置和泉監延喜年付用之置和泉國云々國名風土記曰此國出泉故以為郡名後以郡名為國名云々皇朝世法録異朝之書作和景

○攝津上十三郡舊事紀曰攝津國造攘准法令謂攝津職初為京師桓武天皇御宇改職為國云々和名抄同之延曆十三年三月九日停攝津職為國司此國元名浪速國舊事紀曰神武天皇戊午年春二月丁酉朔丁未皇師即遂東舳艫相接方到難波之碕會有奔潮太急因以名浪速國亦曰浪花今謂難

波訛也或書曰字彙云攝靜謐也漢書曰攝然天下安津湊津也言此國難波堀江天下著船津也帝都安泰之地也故曰攝津大和本記曰天孫與天探女乘天磐船徊翔而降停船于難波浦故名其地曰高津而國名攝津萬葉集角麻呂歌

久堅之天之探女之石船乃泊師高津者淺爾家慪香裳

予曰攝津不讀攝字而曰津國古實也圖書編（異朝之書）作津州

東海道　就東方海邊行道也

○伊賀下四郡舊事紀曰伊賀國造志賀高穴穗朝（成務）御世武伊賀津別命定賜國造云々依名伊賀國乎同書曰難波朝（仁德）御世隸伊勢國飛鳥朝（天武）御世割置如故云々倭姬世記曰天武天皇庚辰歲七月割伊勢國四郡立彼國云々伊賀國風土記曰吾娥津姬命金鈴依知守國謂吾娥郡其後天武天皇御宇以吾娥郡分為國之名按吾娥與伊賀音通後以郡名為國名也魏志作為吾

○伊勢大十三郡名伊勢故職原句解曰按國名出（於）神代則其始尤遠依國津神伊勢津彥住處此國謂伊勢乎上古有此例往々云々諸書以此說為能

○志摩下二郡舊事紀作島津魏志作斯馬風土記抄曰志摩者和名也以伊勢島之意也故地出海中島也後為國名云々日本釋名同之

○尾張上八郡舊事紀作尾治宋書脫尾字為張尾張風土記曰神武天皇東征之時海部佩室臣奉射天皇天種子命以三角石弓及玉大羽々矢射殺佩室臣討終海部氏姓因此号此國謂於波里乃國謂尾張者音訛也一說曰當國熱田明神自八岐大蛇尾割出劍也此劍留此國故曰尾張國云々

○參河上八郡舊事紀作三川風土記抄曰當國有三川一曰男川二曰豊川三曰矢作川是也故号三河國云々

○遠江上十三郡舊事紀作遠淡海風土記曰遠江始書遠淡海此國有大江自帝都遙遠故名遠江後世湖水決海水泝今号今切撮土記曰昔有此國湖水名猪鼻湖乎延喜式神名帳有猪鼻湖神社予按雖改遠江字元用遠淡海訓也

○駿河上七郡舊事紀作珠流河風土記抄曰昔書洲流河此國有蔦級河等駿河故名日本釋名駿河駿川之畧語也此國有大井川阿部川富士川等駿川依号云々

○伊豆下三郡舊事紀曰孝德天皇御宇隸駿河國天武天皇御宇分置如故風土記抄曰伊豆者和名

也東相摸西駿河出其中間之國也故伊豆則出之儀也又同書此國有温泉故名伊豆者泉下畧也又日本釋名曰此國有駿河相摸中出海中國也故号云々魏志作伊都

○甲斐上四郡續日本紀作歌斐兩朝平壤録（異朝之書）作甲斐凡東國者上古未有國名自日本武尊東征始分東國名也或書曰當國山峰間夾國也故以山峽義号甲斐國云々

○相摸上八郡舊事紀作相武古事紀同之風土記曰足輕明神昔狩人也或時離寵妻有悲傷故常見亡妻之鏡思之相摸如見其亡妻故曰相摸職原大

州名紀原　五

全太和本記袖中抄日本釋名等趣大體如此本歌曰阿志賀羅能佐賀美爾由加無多麻加賀美波古禰乃屋萬仁阿氣之安志多爾兩朝平壤録作相摩

○武藏大二十一郡舊事紀作無邪志古事紀作无邪志風土記抄曰武藏國秩夫嵩者其勢如勇者怒立日本武尊美此山奉為東征祈禱以兵具納埋岩藏故曰武藏也以武具指置之儀訓牟佐志也云々

○安房中四郡舊事紀作阿波職原大全曰養老二年五月割上總國四郡置之天平十三年十二月復舊其後又置古語拾遺曰天富命所率来阿波齋部所居則名總國安房郡元四國阿波齋部所居故名安房郡其後元正天皇養老二年五月割上總國平郡朝夷安房長狭四郡置安房國以郡名為國名也

○上總大十一郡　下總下十一郡古語拾遺曰天富命更求沃壤分阿波齋部率往東土播殖麻穀好麻所生故謂之總國云々上古麻曰總國分上下以境界廣也兩朝平壤録上總作上捻

○常陸大十一郡古事紀作常道風土記曰此國邉常滿潮民家多有煩故詔曰此國干立成陸百姓安故曰飛多智也又日本釋名曰此國自帝都近東方端陸地也故曰常陸比多加知之畧語也云々一説曰此國潮常滿故曰常陸國比多知者涵之儀也

州名紀原　六

東山道　（就東方山中行道也）

○近江大十四郡舊事紀作淡海古事紀作近淡海宋書作通江皇朝世法録又同之風土記抄曰近江始書淡海自帝都近有大江故改近江藤原不比等封近江國十二郡故曰淡海公異稱傳今按曰以有遠淡海國号近淡海國後改近江不鹽海味淡故名淡海國予按以淡海訓用近江字也近帝都為湖水也

○美濃上十八郡古事紀作三野舊事紀作三野前國三野後國元為二州後為一州予職原大全曰此國有大野三故曰三野後改美濃日本釋名曰有各

務野青野關原等三廣野云々
○飛驒下三郡舊事紀作斐陀皇朝世法録脱飛字
為彈風土記抄曰飛驒元美濃國内也然建近江大
津宮時自當國良材多出也䭾負木行大津如飛故
号飛䭾後改䭾為驒云々
○信濃上十郡古事紀作科野舊事紀同之所載舊
事紀百三十五國中無當國名而有諏訪國拾芥抄
曰天平三年三月以諏訪國并信濃國云々風土記
曰當國多出綴木皮代麻用故為名云々
○上野大十四郡　下野上九郡舊事紀作上毛野下
毛野古事紀作上菟毛下菟毛舊事紀曰難波高津

朝仁德御世分元毛野國為上下風土記抄曰上毛野
下毛野者兩國中間有二野曰佐野笠懸野其野中
有一河号渡瀨以此渡瀨為兩國境河西曰上毛野
河東曰下毛野　予按分毛野國為上下上毛野下毛
野也除毛字謂上野下野也毛者有田曰毛也元明
帝詔曰國郡名用好字可限二字云々依之以上毛野
下毛野為上野下野乎皇朝世法録上野作濃野
○陸奥大古三十五郡今五十四郡舊事紀作道奥
或記曰始書六奥言近江美濃信濃上野下野陸奥
六國奥也故曰六奥云々　予按今陸奥訓陸奥者六
奥謂乎上古陸奥出羽為一國圖書編作陸奥兩朝

平壤録同之
○出羽上十一郡舊事紀曰諾羅朝元明御世和銅五
年割陸奥越後二國始置此國也云々出羽以郡名
為國名也續日本記曰和銅五年九月始置出羽國
同十月割陸奥國最上置賜二郡隷出羽國焉云々
置出羽國時大政官議奏曰建國辟疆武功所貴設
官撫民文教所崇其北道蝦狄憑阻險實縱狂心屢
驚邊境自官軍雷擊凶賊霧消狄部晏然皇民無擾
誠望便乘時機遂置一國式樹司宰永鎮百姓奏可
之於是始置出羽國云々昔在原實方朝臣謫至陸
奥國尋阿古屋松云古老曰此松詠此國者蓋未割

國之前也阿古屋今屬出羽國矣實方頻感情而猶
添風致也古歌曰
陸奥農阿古屋能松仁木隱天出陪幾月濃出屋羅
奴哉
風土記曰允恭天皇御宇此國人以鷲羽為貢故号出
羽云々
北陸道　就北方陸路行道也
○若狹中三郡風土記抄曰昔此國有男女為夫婦共
長壽也人不知其年數容顏弱如少年後為神今一
宮神是也故曰若狹也云々撮土記曰若狹國若狹
彥若狹姬在國也故名若狹國云々閩書異朝之書圖書

編兩朝平壤録武備志異朝之書共作若佐
○越前大六郡　越中上四郡　越後上七郡舊事
紀作高志古事紀同之宋書越前作狹越前職原大
全曰越國今越前越中越後加賀能登也豐葦原本
記曰越角鹿坂以内郡号越國云々按以越角鹿坂
義号越國乎指越前中後謂三越路也元者越國分
前中後以境界廣也
○加賀上四郡舊事紀作賀我同書曰嵯峨朝御世
弘仁十四年割越前國分為加賀國云々日本後記
曰弘仁十四年三月丙辰割越前國加賀江沼二郡
為加賀國云々一説天平二十年分越前國三郡為

加賀國按以郡名為國名也風土記曰日本武尊征
諸國時越荒血山下北陸道于時尊兄大碓皇子尊
勢微而為夷恐被圍率數千兵逢江沼國於是加軍
勢而賀無異故改江沼為加賀國云々
○能登中四郡舊事紀作能等和名抄曰養老二年
割越中國四郡置此國云々續日本紀曰養老二年
割越前羽咋能登鳳至珠洲四郡置能登國云々是
又以郡名為國名也風土記曰此國西越前東越中
間張出國也而北國往来船此國為泊故曰能門海
中臨合名也後為能登云々
○佐渡中三郡古事紀作佐度拾芥抄曰佐渡國天
平十五年二月日并越後國天平勝宝四年十一月
復置為國云々和名抄曰國府在雜太郡一説曰佐
渡佐波太轉語以雜太為郡置府云々是又以郡名
為國名也雜太者澤田也
山陰道　就山北西北行道也
○丹波上六郡古事紀作旦波蒼霞草異朝之書作丹渡
兩朝平壤録同之丹波風土記曰丹波國浮田明神
者大山咋神也往古丹波國皆湖也其水赤故曰丹
波大山咋神鋤其湖水涸遂成國云々丹波以郡名
為國名也
○丹後中五郡舊事紀曰諾羅朝明元御世和銅六年

割丹波國置丹後國云々續日本紀曰和銅六年四
月乙未割丹波國五郡始置丹後國云々國名丹波
後意也宋書作丹彼
○但馬上八郡舊事紀作但遲麻古事紀作多遲摩
宋書作但馬皇朝世法録同之國名風土記曰歴神
天皇御宇自高麗所獻馬被放當國牧依曰多馬國
後為但馬云々
○因幡上七郡舊事紀作稲葉古事紀作稲羽八幡
本記諸神記曰因幡國武内宿禰持幡下當國治凶
徒故以因幡義曰因幡國云々
○伯耆上六郡舊事紀作伯岐古事紀作伯伎風土

記抄曰八岐之蛇欲吞手摩乳足摩乳女稲田姫故適入山中于時母遅来姫曰母来故号母来國後改為伯耆云々

○出雲上十郡日本紀曰蓋大蛇之所居常有雲氣故曰出雲國出雲風土記曰所以号出雲者素戔雄尊依八雲立出雲神詠曰出雲國也云々

○石見中六郡風土記曰此國有高角山及岩碕山皆嶮石之國也故名石見國云々

○隠岐下四郡舊事紀作意岐古事紀作隠伎宋書同之視聴合記曰當國在伯耆出雲石見等之沖故曰隠岐國隠岐和名也日本釋名曰出雲伯耆有沖島也神代纂䟽曰隠岐奥謂也此國有北海西北如有人家奥云々

山陽道　就山南西行道也

○播磨大十二郡舊事紀作針間魏志作巴利國圖書編作播摩兩朝平壌録同之國名風土記曰神功皇后三韓征伐之時霖雨降則待晴間出船故名國云々一説曰或過此國時有老翁磨斧問曰為何乎答曰為針其後亦過其所遂見為針故名針間國後為播磨云々

○美作上七郡舊事紀曰美作國造諸羅元明朝和銅六年割備前國置美作國云々續日本紀曰和銅六年四月乙未割備前國六郡始置美作國云々風土記曰天武天皇與大友皇子戰而敗矣逃於備前國之山中有老夫婦獻之醴酒天皇賞而稱美甘酒故為國名云々宋書作美竹

○備前上八郡　備中上九郡　備後上十四郡舊事紀作吉備古事紀同之職原句解曰昔号吉備國後以境界廣分三國仍有今前中後名云古事紀孝靈天皇紀曰大吉備津日子命與若日子建吉備津日子命二神相副而於針間氷河之前居忌瓮而針間為道口以言向和吉備國也此二神在故号國云

○安藝上八郡舊事紀作阿岐古事紀同之風土記抄曰神功皇后征伐三韓時經此國有一老翁設供御而獻之皇后飽之故名安藝國撮土記曰三代實録有安藝津彦神在此國故名安藝國云々

○周防上六郡古事紀作周芳日本紀同之風土記曰昔此國海風飄波揚砂而為礒山故名洲防國洲周故改為周防國云々

○長門中五郡舊事紀作穴門此海邊為渦故名穴門也予按今為長門者元明天皇詔曰國郡名以有可用好字改長字乎

南海道　就南方海邊行道也

○紀伊上七郡古事紀作木國魏志作鬼奴國宋書

作伊紀皇朝世法録兩朝平壤録同之圖書編作紀袛風土記曰昔秦徐福求仙藥来此國郷人為奇異人故曰紀伊又来此國故曰紀之國皆用和名曰紀伊也云々予曰紀伊二字不讀伊而謂紀古實也

○淡路下二郡舊事紀作淡道古事紀同之倉霞草作炎路兩朝平壤録同之神代卷曰於是陰陽始遘合為夫婦及至產時先以淡路洲為胞意所不快故名之曰淡路洲云々舊事紀曰先產生淡路洲為胞意所不快故曰淡道洲即謂吾恥也云々

○阿波上九郡舊事紀作粟國古事紀作淡國宋書作河波日本紀曰二神先以淡路洲淡洲為胞云々

淡洲者阿波也初生謂淡也

○讃岐上十一郡日本紀作讃吉宋書作讃者皇朝世法録同之風土記曰天照大神更御初衣國也因為國名早脱謂乎

○伊豫上十四郡舊事紀伊余又作伊與日本紀作伊與真野時縄云國名起國魂神号伊與津彦伊與津姫也

○土佐中七郡舊事紀作都佐古事紀作土左職原大全曰土佐者以郡名為國名風土記曰素盞烏尊御產國也此神御心甚利諸神奉美曰御心利勝因以為國名云々

西海道　就西方海邊行道也

○筑前上十五郡　筑後上十郡舊事紀筑志又作竺志續日本紀作竺志北史作竹斯渡會延佳曰今俗指九州曰筑紫元筑前筑後也風土記抄曰允恭天皇御宇自異國貢紫草著筑紫筑著之意也故曰筑紫一說九州形依如木兔蹲踞曰木兔嶋々々字下略曰筑紫也拾芥抄曰寶龜二年十二月日停筑前國隷太宰府延暦十六年九月日廢筑前入太宰府太同三年五月日又置之云々元筑紫國以境界廣為前後二州也

○肥前上十一郡　肥後大十四郡舊事紀作火國

宋書肥後作火兒日本紀曰景行天皇十八年五月壬辰朔従葦北發船到火國於是日没也夜冥不知着岸遥視火光天皇詔挟抄者曰直指火處因指火往之即得著岸天皇問其火光處曰何謂邑哉國人對曰是八代縣豐村亦尋其火誰人火也然不得主茲知非人火故名其國曰火國云々謂不知火筑紫自是始元火國改火為肥以境界廣為前後二州也

○豐前上八郡　豐後上八郡舊事紀作豐國古事紀同之職原句解曰按此國在豐日别神鎮座故名豐國風土記取民家豐饒義元豐國以境界廣為前後一州也

○日向中五郡日本紀曰景行天皇十七年春三月
幸子湯縣於丹裳小野望東謂左右曰是國也直向
日出方故号其國曰日向國舊事紀古事紀共曰此
地者向韓國眞來通笠沙之御前而朝日之直刺國
夕日之日照國也云々宋書作日尚向
○大隅中八郡和名抄曰和銅六年割日向國四郡
置大隅國天長元年停多禰島隷大隅國風土記曰
當國有三隅島岬故号大隅云々續日本紀曰元明
天皇朝割日向國肝坏贈於大隅姶羅四郡始置大
隅國云々以郡名為國名也
○薩摩中十二郡日本釋名曰薩摩陘間也字書曰

陘連山中絶也山多而有山間國也萬葉集有陘妙
觀人續日本紀作薩妙觀音訓通故以陘間為薩摩
乎薩摩以郡名為國名也續日本紀曰諸蕃異域風
俗不同若無譯語難通事按古者入諸蕃而作譯語
以宣詔者則為其長乎故譯長並訓日佐又續日本
紀曰唱更國今薩摩國也唱更亦與譯同意也
二嶋
○壹岐下二郡舊事紀作伊吉古事紀作伊伎比史
作一支閩書作伊岐皇朝世法録同之或曰日本行
離之嶋也故曰由岐日本釋名曰雪也浪高而潮白
如雪云々按伊與由音通今謂壹岐者轉語也

○對馬下二郡舊事紀作津嶋古事紀同之隋書作
都斯麻或曰對馬嶋津今洲成急速謂也云々
○延喜式民部省式曰陸奥國出羽國佐渡國隱岐
國壹岐嶋對馬嶋以上四國二島為邊要云々
○往古者壹岐對馬多褹嶋三嶋也和名抄曰淳和
天皇御宇天長元年停多褹嶋隷大隅國也云々三
代實録同之蒼霞草日本考日本古倭奴國在東海
中地分五畿七道三島云々日本紀曰天武天皇六
年遣多禰嶋使人等貢多禰嶋圖其國去京五千餘
里居筑紫南海中切髮草裳粳稲常豊一殖兩収土
毛支子莞子及種々海物等多云々　亦本朝文粹弟

四曰大政官謹奏停多褹嶋隷大隅國事都良香右
參議太宰大貳從四位下小野朝臣峯守等解稱謹
校按内大政官去二月十一日符稱件島南居海中
人兵乏弱在於國家良非扞城夫島司一年給物唯
稲三万六千餘束其島貢調鹿皮一百餘領更無別
物可謂有名無實多損少益右大臣宣奉勅宜勘利
害言上者南溟淼々無國無敵有損無益如符旨須
停島隷大隅國計其課口不足一鄕量其土地有餘
一郡能滿合馭謨益救合於熊毛四郡為二於事得
便者聖帝登樞事期濟世明王布政理貴達時臣等
竊量昔漢元帝納賈損之言罷珠崖郡前史以為美

談後世稱其英利雖建國量疆非無分野而卹民救
急猶棄州郡況溟海之外置損如此加以往還之吏
漂亡者多運送之民蕩沒不少守無益之地損有用
之物求之政典深迂物議伏望依件停隷以省邉弊
伏聽　天裁謹以申聞謹奏天長元九月三日云々予
按見此諫奏多禰島此時隷大隅國分明也舊事紀
國造本紀有多褹司歸化可知最久圖書編日本考
地分五畿七道三島又有附庸國百餘拘邪韓最大
其國小者百里大不過五百里戸少者千多止一二萬
皆倭種也云々兩朝平壤録日本五畿七道六十六州
三島共統五百八十九郡宋史亦記五畿七道三島

○惜乎諸國風土記民部省圖帳不傳今世出雲豊
後兩國風土記而已僅存清三位賢忠卿曰風土記
者元明天皇御宇所作者今絶無之風土記抄自卜
部家所出也雖多俾俚語上古諸國多用和名故此
抄說其當理者可用之云々
○舊事紀國造本紀曰天孫神武治平天下既而初郡
壃原即天皇位勅褒其功能奇賜國造摠任國造百
四十四國云々予按神武天皇御宇者指一郡爲國
各有國造本文雖書百四十四國有百三十五國後
世爲六十八箇國成務天皇御宇建内宿禰爲大臣
定賜大國小國之國造亦定賜國々之堺及大縣小

縣之縣主也
○人皇十三代成務天皇御宇諸國立國造但自神
武天皇御宇云國造三十六代皇極天皇御宇改國
造曰國司四十二代文武天皇御宇改國司曰國守
○職原抄曰凡國司之撰和漢重之此云亨鮮之職
又云分憂之官
　亨鮮職老子經曰治大國若烹小鮮註烹小鮮者
　攪之則碎治國者攪之則亂
　分憂官孟子曰憂民之憂民亦憂其憂言國守與
　民同憂也故曰分憂
漢宣帝稱曰與我共治者唯良二千石乎云々誠是

當一方之重寄察百姓之寒苦非庸才之所可企望
故昔時固設格制以勘治否合格者蒙賞違格者被
黜是所以擇良吏也
大國守有權官相當從五位上　介有權官相當正
六位下　大掾有權官相當正七位下　少掾有
權官相當從七位上　大目相當從八位上　少
目相當從八位下
官位令各無權官職員令史生有三人
上國守有權官相當從五位下　介有權官相當從
六位上　掾有權官相當從七位上　目相當從
八位下

官位令無權官後代置權職員令史生有三人
中國守相當正六位下　介　官位令無介
掾相當正八位下　目相當大初位下
職員令史生有三人官位令無介弘仁格有介後代皆置介貞觀七年格能登丹後石見長門土佐日向等置介
下國守相當從六位下　掾相當從八位下
目相當少初位下　官位令少初位上
職員令史生有三人官位令無掾後代置掾
○元明天皇和銅五年始置諸國史生延喜式曰凡諸國史生者大國五人上國四人中國三人下國二

人云々
○國朝稱太守者限常陸上野上總三國也以親王任之故也仍件國以介可訓加美
○諸國司謂之外官然而文官之列也天平寶字二年勅諸國司以四箇年為任限
○戶令曰凡郡以二十里以下十六里以上為大郡十二里以上為上郡八里以上為中郡四里以上為下郡二里以上為小郡云々
○郡司每一郡有大領少領主政主帳郡曰之郡司也上古曰之縣主但下郡無主政小郡領無大少無主政選敘令曰大領外從八位上少領外從八位下敘之云々
○唐名　守刺史　太守　牧　介長史　別駕　掾司馬　目主簿　郡司縣令
○職原抄曰陸奧國者上古以來為邊要為其國境廣元明天皇和銅五年九月分置出羽國元正天皇養老二年置按察使令監察兩國事聖武天皇二年陸奧國內又置鎮守府々國相並行國事云々
陸奧出羽按察使府　按察使相當從四位下唐名都護　記事唐名都護錄事　傔仗四人
兩國大國也故國司之外置當官制賊徒且令掌兩國政務也

鎮守府　將軍相當從五位上唐名鎮東將軍
副將軍二人唐名副鎮　軍監相當正七位下唐名兵曹參軍事　軍曹相當從八位上唐名上鎮錄事　傔仗二人唐名上鎮史
出羽國　秋田城介為出羽介者兼之
昔陸奧國多起賊徒國廣不能制之故置秋田城任兵士令守非常上古陸奧出羽為一國其境界廣大而不從王化者有之故國司之外為防守置官如此然陸奧國上古三十五郡也大郡而難治故今分為五十四郡是又利防賊徒
○聖武天皇御宇天平十五年十二月始置筑紫鎮

西府

筑前國　太宰府　帥有權官相當從三位唐名都督　大貳相當從四位下唐名都督別駕　少貳有權官相當從五位下唐名都督長史　大監相當正六位下唐名都督司馬　少監相當從六位上唐名同大監　大典相當正七位上唐名都督録事　少典相當正八位上唐名同大典

昔筑前國置太宰府是筑紫邊要而兵事賊徒多或異朝境界而藩扞地也故置府以防非常令管領九國二島政也

○指東國曰吾嬬者景行天皇紀曰自甲斐北轉歷

武藏上野西逮于碓日坂時日本武尊每有顧弟橘媛之情故登碓日嶺東南望之三歎曰吾嬬者耶故因号山東諸國曰吾嬬國也云々

○本邦東極海島稱蝦夷者杜佑之通典東夷部曰蝦夷海東小國也隨倭國使人入朝云々日本書記曰所稱蝦夷者非一陸奥與越蝦夷齶田停代二郡蝦夷渡島蝦夷柵養飽田蝦夷津輕郡蝦夷膽振鉏蝦夷問菟蝦夷也亦曰伊吉連博德書曰天子問曰此等蝦夷國在何方使人謹答曰國在東北天子問曰此等蝦夷國幾種使人謹答曰有三種遠者名都加留次者麁蝦夷近者名熟蝦夷云々或書曰聖武天皇九年鎮守将軍大野東人啓奥羽二州嶮路百八十里云々予按往古以都加留為蝦夷遠者今松前地數百里屬國朝日本開地東北如此今以日本國何可謂小國乎

○括地志曰和國武皇后改号日本國在百濟南海際依島居云々唐則天皇后長安三年日本遣其大臣朝臣真人来貢方物因言其國近日所出故号曰日本國云々釋日本紀延喜講記曰日本者自唐所号也隋文帝開皇中入唐使小野妹子将改倭号為日本然依隋皇暗物理遂不許至唐武德中始号日本云々中原師遠勘文引經籍後傳記曰小治田朝推古

遣小野臣因高於隋購求書籍兼聘隋天子其書曰日出處天子致書日沒處天子煬帝覽之不悦猶怪其意氣高遠遣裴世清等十三人送因高觀國風云

○推古天皇十四年遣小野妹子於隋當隋大業二年也其書曰日出處天子致書日沒處天子同十五年小野妹子歸朝自隋裴世清等從来此時煬帝書翰書皇帝問倭王聖德太子退天子号惡書倭王其返翰書東天皇白西皇帝云々予按往古意氣高如此然足利義滿公受明朝封爵稱臣用曆古今未聞國朝恥辱莫大焉明神宗帝以豊臣秀吉公封日本國王秀吉公曰余既王日本胡用西夏封爵為退之

者實雪我邦之耻也
○異稱傳今按曰日本者似指日向國倭國者實指大和國也舊唐書世法録者日本與倭國別立條或為別種太平御覧同之大明一統志曰日本乃小國也為倭所并云々新舊唐書又同之神武天皇初者都日向國宮崎後平倭國都橿原故曰日本併倭國之地也予按惣異朝書記日本者小國也者指日向國謂九州一島也北史曰新羅百濟共日本為大國記入貢由琉球雖小國昔者中山々南山北為三國有三王今并雖為一國比日本甚小國也何今以日本六十餘州為小國乎

○予按以倭和字共訓屋満登者神武天皇治平天下都山跡國橿原即天皇位故以山跡為日本惣号以異朝帝都國如為四百餘州惣号後改山跡為倭又改為和倭和字共無屋満登訓此國元以山跡義名屋満登依為此國帝都和加大為大和為日本惣号也異朝國号如稱大今帝都雖有山城國以古号普稱之曰大和也異朝亦以漢代長久于今稱之曰和漢乎
○君子國号出山海經為國朝名者本朝文粋三善清行説起乎雖似自誇文武天皇御宇正四位下粟田真人為遣唐使唐書曰此歳日本國遣其大臣朝臣真人貢方物日本者倭國之別名也朝臣真人者猶中國地官尚書也頗讀經史容止温雅朝廷異之拜司膳員外郎云々國朝此事書續日本紀曰正四位下粟田真人自唐至初至唐時有人来問曰何處使人答曰日本國使我使反問曰此是何州界答曰是大周楚州監縣界也更問先是大唐今稱大周國号縁何改稱答曰永淳二年天皇大帝崩皇太后登位稱号聖神皇帝國号大周問答畧了唐人謂我使曰丞聞海東有大倭國謂之君子國人民豊樂禮義敦行今看使人儀容大浄豈不信乎語畢而去云々
予按異朝指日本稱君子國無所疑

○閩書曰日本古倭國也在東海中又曰國君居山城以王爲姓以尊為号云々後漢書東夷傳倭傳通於漢者三十許國皆稱王世々傳統其大倭王居耶馬臺國云々此通於漢者謂三十許國者不審也
○戸令曰凡戸以五十戸為里毎里置長一人掌撿校戸口課殖農桑禁察非違催駈賦役凡京毎坊置長一人四坊置令一人掌撿校戸口督察姧非催駈賦徭

日本州名紀原終

昔
皇朝盛也文儒奉詔撰國史及律令格式又有風土紀一如李唐之政保平以還文教壞亂而風土紀變失其所殘缺僅存二三策甚可惜焉橘叟鈔撮國史及諸書所載地迹之語著州名紀原使好事者知其名所自出也一日袖之眎余余覽之非惟知地之古稱也即操觚家擇雅稱而用之亦有益也叟名隆盛

字德卿清雅有志善長國風兼通兵事仕為步兵伍長吾嘗同僚而今請題一辭此書亦以舊知故也

戊午仲夏高麗山樵天爵撰

三都書物問屋

京都寺町通松原下ル町　勝村治右衛門
大坂心斎橋通北久太郎町　河内屋喜兵衛
同　安堂寺町　秋田屋太右衛門
同　博労町　河内屋茂兵衛
同　南久宝寺町　伊丹屋善兵衛
尾州名古屋本町七丁目　永楽屋東四郎
江戸日本橋通一丁目　須原屋茂兵衛
同　浅草茅町二丁目　須原屋伊八
同　日本橋通二丁目　山城屋佐兵衛
同　芝神明前　岡田屋嘉七
同　横山町三丁目　和泉屋金右衛門板

西野古海 編

大日本地名箋

明治八年（一八七五）東京府刻本

據明治八年（一八七五）

東京府刻本影印

西野古海纂輯

日本地名箋　全

東京　三書堂藏

叙

九條道遥公乃日本書紀纂疏に皇朝の詞に本訓末訓とて別あるを云り譬へバ乙訓を婦人の輿中より落の地なれども堕國とて漢字を充たり是ハ字を主として所謂末訓なり後令の字に改まり是ハ詞を主として所謂本訓なり皇朝の典籍をよむにその先られ両端を辯たるを要務とせり然るに世の校児輩之を聞は必ず傲然として喰咲せむ殊に知らずて言辞の學ハ唯典籍

のみならず日用文章を始め世間千萬の事一も之に係らざるハなき哉且学問の道西洋にてハ普通より専門に入ると聞り其普通の方法を先本國よりすること是定理當に然るべきのみ而して我少年ハ身いまだ曽て至らざるの海外地名を熟知して反て輦下の郡邑ハ何の称あるを知らざる人多きを如何せん西野君此に慨すること久し則今此書を編述して辭書の嚆矢となし追次に諸部を纂輯せ

皇國地名箋　序　二

むとす願ハ輕忽の少年此書を披閲し少しく悟る所あるにて稍々と卑近より高遠に進歩せば賛化万分の一たらんも亦期すべき所なり

明治八年三月　櫻春雄誌

東園書

皇國地名箋　序　三

オトクニ　カトノ

大日本地名箋

西野古海編輯

畿内　五畿内ト

山城　旧名山背○八郡

乙訓　葛野　愛宕　紀伊

宇治　久世　綴喜　相樂

天王山　小塩山　善峯

大江山　丹波ニ跨ル　山崎　長岡

鞆岡　西岩倉　大原野　社宮中社

粟生　光明寺　向日町　久我

松尾山　社宮大社　嵐山　愛宕山　社

亀山　亀尾山トモ　小倉山　高尾山　高雄トモ　清丸社

栂尾山　大内山　繖山

梅津　社宮中社　嵯峨　上下　天竜寺　釈迦堂　太秦　廣隆寺

御室　仁和寺　梅畑　西院　春日社

常磐　社　平野　社宮大社　金閣寺

フナオカ

船岡山　加茂山　社宮大社　貴船　社宮中社　川ハ黒田ヨリ出テ鴨川ニ入

鞍馬山　僧正ケ谷　大悲山　比叡山　近江ニ跨ル　延暦寺

横川峯　如意岳　粟田山　将軍塚

瓜生山　華頂山　哥中山

鳥部山　阿弥陀ケ峯　京都　平安　洛陽　西京トモ

荒神ノ橋　三条　四条

五条　六条七条　八条九条　洛中　洛外

羅城　朱雀　東寺　西寺

島原　壬生　北野　天満宮　宮中社

紫野　大徳寺　今宮　御霊　上中下

八瀬　大原　白川　石ヲ出ス

吉田　社宮中社　丸山　蓮臺野

相国寺　南禅　以上禅宗　泉涌　八宗兼学

知恩院　百万遍　黒谷　以上浄土

清水　双林　本能

東西本願　俗六条ト云　銀閣　建仁

伴

東福寺　六波羅 觀音　今熊野 觀音
韋堂 同　六角堂 同　大佛
八坂 旧名祇園 宮中社　豊国社 別格社　白峯社
稲荷山 三ノ峯ト 社 官大社　深草山　桃山 伏見山 城山
矢枡嶺　伏見 御香宮　藤森 社
竹田 安樂壽院　三栖　鳥羽
横大路　六地藏　淀
大亀谷　墨染　中書嶋

字　ノセ

鏡山 山科山トモ　牛尾山 音羽山ト 近江ニ跨ル　醍醐山 笠取山又日野岳トモ
木幡山　朝日山　宇治山
喜撰ヶ岳　山科 十七村　日岡嶺
大鳳寺 寺ニ非ス　黄檗山 万福寺 禅　恵心院 真言
與聖〻 禅　五ヶ庄　樋川 源牛尾山ニ発シ山科川ヨリ宇治川ニ入
音羽川 山科川トモ 樋川ノ上流
栗隈山 栗籠山トモ　小笹峯　宇治橋 平等院
槙ノ島　巨椋池 小倉ノ大池ト 紀伊郡ニ亘ル　寺田

ザキ　オガラカ

久世 鷺坂　長池　小倉 寺田以下奈良道
鷲峯山 相樂郡ニ跨ル　飯尾山 同　猿丸嶺 近江ニ跨ル
神南備山　男山 雄徳山又鳩峯 八幡町 官大社　洞ヶ嶺 河内跨ル
田原　玉水 井手 大和奈良道　咋山
長峪　普賢寺 寺ニ非ス
百丈山　笠置山　布當山
狛山　光明山　挊山 鹿背山トモ
相樂山　和束　木津 奈良道

瓶原　綺田　祝園
井平尾　加茂

○

賀茂川 愛宕郡ニ出テ紀伊郡ニ入リ桂川ニ合シ宇治川ニ入ル　大井川 桂川 丹波ヨリ来リ当国葛野ニ訓紀伊ノ二郡ヲ貫キ宇治川ニ入
木津川 伊賀ヨリ同名張長田ニ水当国相樂郡ニ入リ下リテ淀川ニ入ル　宇治川 近江湖水ノ下流ニ綴喜宇治久世紀伊ノ四郡ヲ経テ淀ニ至テ淀川トナル
白川 愛宕郡山中村ニ出テ賀茂川ニ入ル　鞍馬川 大悲山ニ出テ貴船川ト合シ賀茂川ニ入ル
貴船川 黒田村ニ出テ鞍馬川ニ合ス　百井川 大悲山ニ発シ近江国船木川ニ入ル
高雄川 清滝川トモ云 小野庄ニ発シ大井川ニ入ル　布當川 和東川トモ 相樂郡湯舟ニ発シ木津川ニ入ル

玉川 有王谷ニ発シ木津川ニ入ル
菓子　西陣織物　染物　光紅　白粉　陶器
漆器　反物　金銀箔　茶　縫箔　打糸　針
珠数　扇　團　筆　雛人形　弓矢類　藍
茶湯道具　竹筍　松茸　大蕪菁　壬生菜
牛房　胡蘿蔔　葡萄　桃　梅　香魚　鮴
淀川鯉　鯰　鶩　焼土　砥石　燧石

大和　十五郡

添上　添下　平群 ヘイグリ　山辺 ヤマベ
宇陀　式上 シキジヤウ　式下　十市 トイチ
廣瀬　葛上 カツジヤウ　葛下　高市 タカイチ
忍海　宇智　吉野
佐保山　若草山　手向山 八幡宮
三笠山 春日山トモ 社 官大社　水屋峯　南都 奈良、平城トモ
櫟本　帯解　月瀬 梅ノ名所
柳生　和邇　猿沢池

東大寺 大佛　元興寺　法華寺
興福寺　二月堂 観音　南円堂 同
秋篠山　赤膚山　小泉
郡山　菅原伏見　尼辻
哥姫越　西大寺　招提
矢田 地蔵　宝来山
生駒山 膽駒山トモ 河内ニ跨ル　暗嶺　十三嶺
志貴山 毘沙門　亀瀬嶺 以上皆河内ニ跨ル　小倉峯

松尾山　立田 龍田トモ 川　法隆寺
巻向山　弓槻ケ岳　穴師山
桃尾瀑　石上 布留社 官大　丹波市
三本松　尾山 梅ノ名所　長引 同上
室生山 社　伊那佐山　竜門岳 瀧
雲雀山 中将姫ノ古跡　明山　宇陀町
萩原 初瀬街道　井足 社
三輪山 御諸山トモ 社 官大社　初瀬山 泊瀬トモ長谷ニ作ル 寺 観音堂　鍋倉山

柳本　金谷　忍坂
吉隠　大和社 官大社
二階堂　大安寺
多武峯 談山トモ 鎌足居　倉梯山　天香久山
外山　桜井　田原本
河合 廣瀬社 官大　著尾　百済
葛城山 金剛山 河内ニ跨ル　高天山寺　室

笛吹　柳原
二上岳　嚔峯 河内ニ跨ル　竹内嶺 以上共ニ河内ニ跨ル
新庄　片岡　當麻寺
真土山　五條
細川山　飛鳥山 三室山トモ　鷹取山
豊浦　安倍 文殊　岡寺 龍蓋寺
八木　今井　雲梯 森
竹田　橘寺　壺坂寺 観音

金峯山 大峯ト云 山上ヶ岳トモ　御船山　象山
小村岳　水分山　弥山
小笹峯　釈迦岳　笠捨山
国見岳 伊勢ニ跨ル　高見山 同　行觀岳 観音山トモ
甲ヶ岳　屏風岩　上市 下市
吉野　大臺原 巴淵トモ云 和紀勢ノ界　天川
十津川　賀名生　國栖
鷲鹿　蜻蛉瀑　宮瀑

初瀬川 山部郡ニ出テ国中ヲ貫キ衆水ヲ納テ大和川ヨリ河内ニ入ル　飛鳥川 高市郡ニ出テ廣瀬川ナリ大和川ニ入ル
葛城川 葛上郡ニ出テ大和川ニ入ル　立田川 伊駒山ニ発ス同上
吉野川 大臺原ニ出テ末ハ紀州ニ入リ紀伊川トナル　佐保川 春日山ニ出テ大和川ニ入ル
菟田川 雲雀山ニ出テ伊賀ニ入リ名張川ニ合ス　山粕川 曽逆谷ニ出テ菟田川ニ合シ名張ニ入ル
紙　漆漉紙　墨　晒布　索麺　奈良人形
葛粉　團扇　葦漆　煙艸　杉丸太
御所柿　當皈　芍藥　川芎　薯蕷

干瓢　香奥　鹿　獮猴

河内　十六郡

錦部　石川　古市　安宿

大縣　高安　河内　讃良

茨田　交野　若江　渋川

志紀　丹南　丹北　八上

天野山　社寺　蔵王嶺　九重嶺

紀見嶺　扇山　岩湧山

二十山　観心寺

金剛山　大和ニ跨ル　篠峯　本不見山

平石嶺　竹内越　大和ニ跨ル　千早

赤坂　上下　龍泉　上太子

富田林　浄瑠璃寺

二上岳　大和ニ跨ル　飛鳥山　古市

壺井　誉田　八幡宮

枯栖山　玉手山　國分

亀瀬嶺　大和ニ跨ル　米山　高井田

高安山　花間山　十三嶺　大和ニ跨ル

暗嶺　大和ニ跨ル　草香峯　鷲取山

四条　枚岡社　官大社　日下

哮峯　大和ニ跨ル　清瀧嶺　飯盛山

野崎　秦　蔀

枚方　南海道ノ駅　佐田　天満宮　守口　南海道ノ駅

太間　旧絶間ニ作ル　大利　德菴

岩舟嶺　嬰児山　交野山　原

国見山　荒坂嶺　洞ヶ嶺　山城ニ跨ル

妙見山　摘葉　南海道　渚

私部　星田　妙見

若江　八尾　地蔵　弓削

稲田　桃ノ名所　川俣

西弓削　国府　道明寺

狭山　池ハ天野川小山田川ニ承ル池ナリ　丹南　葛井寺　観音

○

大和川 大和初瀬川ノ下流同中ニ龍田ヲ経テ攝州灣ニ注ク

千早川 千早山ニ出テ石川ニ入ル

穂谷川 菩提寺谷ヨリ出テ淀川ニ入ル

舟橋川 茨坂嶺ニ出テ淀川ニ入ル

小山田川 蔵王峠ニ出テ狭山池トナリ大和川ニ会ス

竜間川 清滝峠ニ出テ寝屋川ニ入ル

石川 加賀田川小見川ニ水下ナリ西条川トナリ当川ヨリ大和川ニ会

泉川 篠峯ニ出テ石川ニ入ル

天川 哮峯ニ出テ淀川ニ入ル

寝屋川 大和川ノ支流ニテ余水ヲ納テ大阪ニ至リ淀川ニ入ル

天野川 天野山ニ出テ狭山池トナリ大和川ニ入ル

酒　綿　木綿　干糒　平野飴　白炭　茶

烟草　守口大根　干瓢　赤小豆　松茸

鮒　金剛沙

皇國地名箋上　河内　十一

和泉 四郡

和泉　泉南　日根

大鳥

鉢伏山　妙見山　堺

高石濱　石津　妙国寺 蘇鉄

槇尾山 観音　横山 白炭ヲ出ス　七層嶺

牛瀧山　国分　伯太

信太杜 千枝楠　大津川 七箇宇滝ニ発シ西流シテ海ニ入ル

葛城嶺　牛生瀧　粂田池

岸和田　貝塚 以上二ハ和泉ノ通駅　津田川 葛城嶺ニ発シ西流シテ海ニ入ル

牛瀧川 牛滝山ニ出テ大津川ニ入ル

犬鳴山　雨森山　井関嶺

箱作嶺　孝子畑嶺　舟留山

琵琶崖　近木川 葛城峠ニ出ツ　三手川

尾屋川　岡田川　男里川 三手以下紀州界ニ発シ西流シテ海ヘ

皇國地名箋上　和泉　十二

深日川 同上　竜王岬　小島岬

谷川港　佐野　松原　蟻通宮

酒　油　醤油　撚糸　織物　綿　麻布　庖丁類

鐵炮　漆器　湊紙　線香　白粉　朱　茶

烟艸　壺焼塩　日根野小豆　蕃薯　松蕈　鯛

飯章魚　海鰻　蛤　蜆　鮑　鱶　和泉石

攝津 十二郡

住吉　東成　西成　島上

嶋下　豊島 島ノ下 三島之　川辺　武庫
有馬　兎原　八部 矢田部上　能勢
浅香山　住吉浦 社官社　天下茶屋
浅沢小野　大和川 大和国泊瀬川ノ下流なり
茶臼山　真田山　大坂 浪華 難波 西成郡ニ跨レ
安部野　猪飼野　鴫野
高津　玉造　深江
小橋　野田　生玉社 官大社

櫻宮　荒陵 アラハカ　天王寺 基名所
平野川 和泉ヨリ来リ淀川ニ入ル　八軒屋
木津　難波 同新地　今宮
島内　堀江　船場
東横堀　西横堀　長堀
道頓、　禾座、　立賣、
鰹座　土佐、　天満橋
天神、　高麗、 鉄橋ヘ　今、

日本、　心齋、　四、
松島 互市場　座摩社　川崎 造幣寮アリ
長柄　江口　傳法島 川
四貫、　稗、　九条
安治川 淀川ノ支流　尻無川 淀川ノ支流
根本山　神峯山　阿武山
高槻　芥川 駅ノ川ハ阿武山ヨリ淀川ニ入　富田
櫻井　古曽部　鵜殿

鳥飼　廣瀬 水無瀬　関戸院 山城界ス
水無瀬川 山城ニ出テ淀川ニ入ル
鳥井嶺　十里山　郡山 駅
茨木 古城地　三島　阿威 川源丹波ノ界ニ発シ淀川ニ入ル
吹田 渡アリ　總持寺 観音　勝尾寺 同上
箕面瀧　瀬川　麻田
池田 川 多田川ノ下流ニシテ神崎川ニ入ル
妙見山　哥垣山　杓子嶺

地黄　切畑
金掛山　銀山　尼崎
神崎 川ハ淀川ノ支流　猪名野 川ハ多田川久安寺川ノ流　伊丹 酒
昆陽 野ニ属　多田 川ハ水源六瀬谷ヨリ発シ猪田川トナル　民田 銅ヲ出ス
大物浦 川ハ有馬川生瀬川ノ末流　荒府池 鳴池ニ作ル
武庫山　櫟ヶ岳　六甲山
甲山　西宮　鳴尾
津戸川 六甲山ヨリ発ス

皇國地名箋上　摂津　十五

摩耶山　砂山　御影山 石ノ名所
廣田 官社　生田 社ハ矢田部郡　脇濱
打出川 源六甲山　芦屋川 同上　住吉川 同上
大石川 源マヤ山ヨリ発ス　石屋川 源兵庫山
再度山　丹生山　福原山 部
會下山　鷹取山　鉄拐峯
鵯越　一ノ谷 二谷 三谷　神戸 互市場ナリ
兵庫 築島アリ　須磨 浦 寺　和田岬

経島　夢野　花隈 古城地ニアリ
生田川 源丹生谷　布引瀧 生田川ノ上流雌雄ニアリ　湊川 楠公社 川ハ源丹生谷
苅藻川 源ハ多聞山　妙法寺川 源鉄拐峯
切地山　氷柱嶺　青原山
千犬寺山　日出坂　塩原山
平松嶺　三草山　有馬山 温泉 川ハ武庫川ノ上
生瀬川 同上　三田　唐櫃 鑛山アリ
駒丸嶺　湯本

皇國地名箋上　摂津　十六

酒　綿　木綿　種油　紙　池田植木
御影石　豊島石　千歳酢　袋真田
有馬筆　菅笠　薄雪昆布　金魚
諸獣黒焼　吹田狗背　天王寺蕪　鵜殿芦
大根　胡蘿蔔　松茸　松露　西瓜　冬瓜
鯔魚　ハゼ　蝦　飯章魚　蛤　蜆　螺介

東海道 十五国
伊賀 四郡

阿拜(アベ)アハイ　名張(ナバリ)　伊賀(イガ)　山田(ヤマダ)
阿保山(アホ)アラー唱フ　七見嶺(ナヽミ)　元取岳(モトトリ)伊勢ニ跨ル
長田川(ナガタ)　大内川(オホウチ)小流ナリ
黒田嶺(クロダ)　櫻嶺(サクラノミネ)伊勢ニ跨　三国岳
長瀬川(ナガセ)　赤目四十八瀧(アカメ)名張川ノ上流　名張川ハ四十八滝ノ下流ニテ末ハ黒田川ニ合ス
上野(ウヘノ)　佐那具(サナグ)　島ノ原(シマノハラ)
丸柱(マルバシラ)陶器ヲ出ス　玉瀧(タマタキ)　比曽河内(ヒソガウチ)
焼尾越(ヤケヲゴエ)近江ニ通　柘植(ツゲ)川ハ加太山ニ発シ下ハ服部川ニ合ス　服部川(ハツトリ)長野峠ヨリ発シ柘植川ニ合シ末木津川ニ入ル

長野嶺(ナガノ)伊勢ニ跨ル　鬼瘤(オニコブ)、同　天駒山(アマコマ)伊勢ニ跨ル
喰代(イハロ)　山田(ヤマダ)　平松川(ヒラマツ)長野峠ニ出テ服部川トナル
陶器(ヤキモノ)　白樫(シロカシ)　王芻(カリヤス)　冬瓜(カモウリ)　砥石(トイシ)　燧石(ヒウチイシ)
石灰(イシバイ)　磨沙(ミガキズナ)　芍薬(シャクヤク)　佛頂薯(ツクネイモ)

伊勢　十三郡

桑名(クワナ)　員辨(イナベ)　朝明(アサケ)　三重(ミヘ)
河曲(カハワ)　鈴鹿(スヾカ)　奄藝(アンキ)　安濃(アノ)
壹志(イチシ)　飯高(イヒタカ)　飯野(イヒノ)　多氣(タケ)

渡會(ワタラヒ)　桑名(クワナ)東海道ノ駅 焼蛤時雨蛤名所
多度山(タド)社　長島(ナガシマ)
小島(コジマ)　富島(トミジマ)
三国岳　藤原岳(フヂハラ)　熊坂岳(クマサカ)共ニ美濃ニ跨ル
治田山(ハリタ)　野尻越(ノジリゴエ)　笠田池(カサダ)
釈迦岳(シャカ)丹生川山　福王山(フクワウ)　町屋川(マチヤ)員部郡藤原岳ニ発ス
朝明川(アサケ)釈迦岳ニ発ス　大田川(オホタ)木曽川ノ支流
國見岳(クニミ)　御三所山(ゴサンジョ)　冠岳(カムリガ)共ニ近江ニ跨ル

鳥井戸山(トリヰド)　水無瀬山(ミナセ)　鎌ガ岳(カマ)
四日市(ヨッカイチ)三重縣廳アリ東海道ノ駅　菰野(コモノ)茶ノ名所　阿倉川村(アクラカハ)
湯山(ユノヤマ)温泉　三重川(ミヘ)冠岳ニ発ス　崎野川(サキノ)鈴鹿郡入道岳ニ発ス
高岡川(タカヲカ)鈴鹿及ヒ入道岳ニ発ス　日永(ヒナガ)饅頭ノ名所
神戸(カンベ)　鼓ヶ浦(ツヾミ)
入道岳(ニフダウガ)　鈴鹿山(スヾカ)川ハ高岡川ノ上流　三神山(ミツゴ)入ハ太山ノ内
妙見山(メウケン)　仙岳(ヒジリ)　鶏足山(ケイソク)
羽黒山(ハグロ)　筆捨山(フデステ)　加太山(カブト)

石薬師　庄野　亀山
関（地蔵　伊勢参宮ノ追分アリ）　坂下（石薬師以下東海道ノ駅）
捕原　窪田　一身田
豊久野（銭掛松）　白子　上野
長野嶺（伊賀ニ跨ル）　天駒岳（同上）　津
阿漕浦　椋本　前田
経峯　部田川（加太山ヨリ発ス）　塔世川（天駒岳ニ発ス）
岩田川（橋）

皇國地名箋　上　伊勢　十九

米峯　尼岳　矢頭山
登坂山　櫃坂嶺　三国岳（勢伊大三州ニ跨ル）
元取岳（伊賀ニ跨ル）　塩見嶺　大洞山
障子越　櫻嶺　牛谷嶺
阿坂山　二王嶺　振田池
風早池　久居　雲津（川ハ源尼ヶ岳及ヒ大洞山ヨリ発ス之ヲ南勢北勢ノ界トス）
月本　星合（濱）　大村
垣内　小杉　上多氣

石名原　大濱　辛洲崎（社　俗ニオカラス）
一志浦　米津浦
鳥嘴山　迷ヶ塚　高見山（大和ニ跨ル）
國見岳（同）　戮取坂　局山
白精岳　細野嶺　堀坂山
御取越　白紙越　三子越（以上三所大和ニ出ル）
松坂（川ハ源クストリ坂ヨリ出ス）　二条（飯高一志両郡ニ亘ル）　滝野（川）
波瀬（以下大和吉野郡ヘ出ル）　宮前　大石

皇國地名箋　上　伊勢　二十

七見　櫛田（川）　射和
橋立山　大臺原（勢大紀三国界）　堂倉山
地池山　千代峯　白倉山
狼越　神谷魏城越　春日嶺
駒嶺　祓川　大淀（浦濱）
相可（田丸道）　齋宮　明星
大杉（杉ノ大木アリ囲九丈ヨ）　五桂池
神路山　間山　高倉山

皷岳　朝熊岳　晝川山
山伏嶺　堂坂越　音無山
磯部嶺　神坂嶺　荷坂嶺 紀州クマノニ越ル
岩坂越　内宮　外宮
宇治　山田　小俣 俗ヲバタ
田丸　大湊 港　小林
川嵜 港　神社港　二見 立石嵜 俗女夫岩
池浦 漁場ナリ　慥柄　五十鈴川 二源アリ共ニ磯部嶺ヨリ出二見ニテ海ニ入ル

皇國地名箋上　伊勢　廿七

宮川
綿　木綿　縑子　生絲　菜種　油　塩
陶器 万古焼　小紋形　茶　漆　紙　苧麻　菅笠
塗物　生白粉　軽粉　合羽　煙艸入　索麪
紅花　椎茸　干瓢　串柿　鮑　熨斗鮑
煎海鼠　鰡子　鼠
姫海苔　蝦　蛤

志摩

英虞　答志

アコ　ヌメ　アイチ

日和山　和合山　青峯
山伏嶺 伊勢ニ跨ル　安樂島　鳥羽 港
的屋 岬　小濱　國嵜
菅島　桃取　神島 亀トモ
伊雜宮　池田川　麻生浦
渡鹿野島
石鏡　大王嵜 同岩　麥嵜
立神　御座嵜　天童山 小天童

皇國地名箋上　志摩　廿八

間嵜島　樫子山
鮑　熨斗鮑　真珠　天門冬　和布
鹿尾菜　心太艸　海雲　天然碁石

尾張 八郡

愛智　春日井　丹羽　葉栗
中島　海西　海東　知多
音聞山　名古屋 愛知郡　宮 渡 熱田港 中嶋道ノ駅
鳴海 同 同
笠寺　山嵜川

天白川　松風里　夜寒里
呼續濱　一色川　有待　綾瀬ノ名所
小坂山　一柳山　金玉山　桶狭間　今川義元ノ碑アリ
内海　源義朝ノ死所　横須賀　長田岩
大野　常滑　土器ヲ出ス　師嵜
半田　風呂嵜　幡頭岬
日間島　衣浦　亀嵜
堺川

小牧山　東谷山　岩塚
清洲　枇杷島　内津
宮重　大根ノ名所　坂下
二宮山　継鹿尾山　八双山　妙見
黒平山　入鹿池　樂田
長鍬　犬山
起　萩原　稲葉　大垣道
津島　須賀社　佐屋　川ハ木曽川ノ支流　萱津

万場　木折　日光川
蟹江川　木曽川ノ支流
筏川　同　雀森
米　味噌　醋　醤油　于饂飩　綿
結城　桟留　八丈縞　有松絞　渋扇　元結
檜細工　貝杓子　竹箸　陶器　七宝焼
大根　宮重　蜜柑　松茸　藍　鯔味噌　蜂蜜
海鼡　鱆　鰻　蛤

参河　八郡
碧海　賀茂　額田　幡豆
宝飫　飫ヲ飯ト作ルハ誤　設樂　八名　渥美
池鯉鮒　社　東海道駅　大濱　矢矧　川源信濃ニ発ス
西端　刈屋　花園
吉濱　中島　高濱
八橋　童原
猿投山　社　小嶺　衣　挙母トモ

松平　足助 川ハ源ヲ設楽郡ノ界ヨリ発シ矢矧川ニ入ル
岡崎　奥殿　藤川 東海道ノ駅
大平川 設楽郡ノ界ニ発シ矢矧川ニ入ル
西尾　吉良　平坂
佐久島　宮崎　菱池
本野原　本宮山 砥鹿社　宮地山
赤坂 東海道駅　御油 同上　蒲形
形原　大島　前芝

御馬　竹島　豊川 稲荷社
法藏寺　豊川 稲荷社　小坂井 菟足社
煙巌山 鳳来寺　神田、　長篠
新城　下利　坂場 新城以下飯田道
鳶巣山　六野山　嵩瀬 嵩山トモ
石巻山　大野 以下本坂越　大平
畄原山　豊橋 東海道駅 旧名吉田　二川 同上
火打坂　汐見坂　伊良胡岬

畑村　古田村　窟観音
豊川 川源信濃ノ界ニ発シ豊橋ニ出テ海ニ注ク
酒　味噌　醤油　紙　生糸　紋絲　綿
木綿　蚕繭　陶器　漆　烟艸　蕃薯
串柹　干姜　白魚　海鼡　海鼡腸 佐久島
干鰯　荒布　塩　飯貝　砥石　碁石
硝子粉　若布

遠江 十二郡

濱名　敷智　豊田　引佐
麁玉　長上　磐田　周知
山名　佐野　城東　榛原 蓁原ニ作ル
汐見坂　高師山　引佐山
宇津山　白須賀 東海道ノ駅　橋本
荒井 今切 東海道駅　濱名湖 猪鼻湖トモ
舞坂 東海道ノ駅　濱松 同上 縣庁　大艸山
味方原　蓮池　馬込川

御鷹山　地主山　井伊谷 宗良親王社
氣加
大知嶺　白岳山　千鉢嶺
白倉山　平沢山　光明山
本宮山　鹿島川 天龍川ノ上ノ名　四十八瀬川
白山　白羽岬　掛塚港
大天竜川 水源ハ信州スハノ湖　小天竜川 大天龍ノ支流
中泉　池田

見附 東海道ノ駅
袋井 同　河合川 上福出辺ヨリ発シ二瀬ニ合ス
不動山　秋葉山　青崩嶺 信ノ二跨ル
江儀岳 同上　片吹山　犬居川 秋葉山ノ埜下原京丸ノ山中ニ発シ天竜川ニ入ル
森町ノ駅 秋葉道　高根山　平山
火打山　風不入山
八高山　大悲山　粟ケ岳 岩伯間谷ト云
佐野中山　掛川ノ駅 東海道　日坂 同上

二瀬川 源ハ坂及ヒ粟ノ岳ニ発シ河合川ニ合ス
小笠山　高天神山　横須賀
加々良山 信ノ二跨ル　鳳来山　朝日岳
黒法師岳　春日山　大日山
地蔵嶺　金谷嶺 東海道ノ駅　初倉山
相良 燈明臺　白羽礒　御前岬 御廐岬トモ
沖御前岩　菊川 川ハ菊淵ニ発シ南ニ流レ国包ニ至テ海ニ注ク　川崎港
大井川 源甲信ニ発シ南流シ駿遠ノ界ト為リ東海道ヲ横リ海ニ注ク

葛布　木綿　縲綿　紫染　塗物
琉球表　納豆　蕨餅　葛粉　飴　椎茸
砂糖　松茸　茜根　茶　紫艸　干姜
竹　密柑　海苔　和布　鰹節　鮃魚　鮒
鰻　蛤　焼物石　葡萄石　石脳油

駿河　七郡

志太　益津　有度　安倍
庵原　富士　駿東

諏訪岳　御室山　七峯
千社山　高根山　風張山
相賀山　千葉山　谷星山
島田 東海道ノ駅　瀬戸川 源ヲ千葉山ニ発シ東海道ヲ横リ海ニ注ク
田中　藤枝 東海道ノ駅　焼津港
草薙山 社　久能山　三穂松原 三保トモ
清水港　今泉　安倍川
竜爪山　池城山 甲斐ニ跨ル　薩埵嶺 本名岩城山

江尻 川 東海道ノ駅　沖津 川 東海道ノ駅　清見潟
御座石　清見寺 親不知子不知　薩埵嶺ニアリ
由井 東海道ノ駅　蒲原 同上　岩淵
寺尾　八木間
大谷崩　小沢山　渡沢山
内屋嶺　倭文機山 浅間社　静岡 旧名府中 縣廳 東海道ノ駅
丸子 鞠子トモ 東海道ノ駅　手越
富士山 高千五百丈　岩山　鋸ケ岳

安母山　天子ケ岳 甲斐ニ跨ル
富士川 甲州ヨリ出テ東海道ヲ経テ海ニ入ル　鵜飼川 富士郡ヨリ出テ海ニ入ル
白糸瀑　長者池　富士沼
吉原 港 東海道ノ駅　大宮
岩木山　五神山　相沢山
二国山　東山　山伏岳
三国山 駿相甲ノ界　畑尾山 冨士岳ノ東ニアリ　角取山 同上
大洞山 以上甲斐ニ跨ル　篭坂嶺　小富士

宝永山 冨士岳ノ山腹ニアリ　大沢山　和田山
今里山　笹山　四倉山
我入道山　原 東海道ノ駅　沼津 港 同上
景島湖　江ノ浦港　黄瀬川 甲斐ノ国界ニ発シ狩野川ニ入ル
狩野川 伊豆ノ国ニ発シ沼津ヲ経テ海ニ入ル
煙艸　野駒　竹細工　塗物　醋　烟艸入
紙子　太布　茶　密柑　松露　蕎麦
蕨　奥津鯛　鰻　香魚　白洲干　鮑

葡萄石　富士石　藍　鮫　松茸

甲斐　四郡

巨摩　八代　山梨　都留 郡内トモ

八ヶ岳 信州ニ跨ル　駒ヶ岳 同上　地蔵岳 同上

鳳凰山　白根岳 信州ニ跨ル　濃鳥山 駿河ニ跨ル

笭箐岳　七面山 同上　身延山

金ヶ岳　苗敷山　韮崎 甲州道ノ駅

臺ヶ原 同上　教来子 同上　中條

若御子　長沢　荊沢

鰍沢 以下駿州道ノ駅　八日市場　下山

南部　万沢

○

冨士川 笛吹釜無荒三川ノ下流ナリ　釜無川 駒ヶ岳ニ出テ衆水ヲ納テ冨士川ニ入ル

塩川 御岳及ヒ八ヶ岳ノ麓ニ出テ釜無川ニ入ル　御勅使川 芦倉ノ山中ニ出テ釜無川ニ入ル

滝沢川 曲輪田及ヒ平岡ノ山中ニ出テ冨士川ニ入ル　壷川 中野ノ山中ニ出テ衆水ヲ納テ冨士川ニ入ル

早川 夢御岳ニ出テ曲瀬ノ冨士川ニ入ル　湯島温泉

御坂嶺　大石嶺　女坂

阿難坂　長坂　石禾 川笛吹ノ下流

黒駒　市川　石花湖

精進湖　本栖湖 以上三所冨夫湖ノ内ナリ　屏風岩

○

湯川 湯奥及ヒ北川ノ山中ニ出テ冨士川ニ入ル　芦ノ川 大石嶺ニ出テ冨士川ニ入ル

加祢川 藤ノ木ノ山中ニ出テ笛吹川ニ合テ冨士川トナル

天目山 甲府ノ東ニアリ　金峯山 信州ニ連ル　御岳 水精ヲ産ス

夢山　巴山　甲府 山梨郡縣廳

塩山 温泉　川浦 温泉　勝沼 葡萄ノ名所

岩崎 同上　雀瀬 砥石ヲ出ス　駒飼 以上三所甲州道

黒平 温泉　酒折宮

○

子酉川 武州ノ界ニ出テ笛吹川トナリ尋テフエ川トナル　重川 竹森ノ山中ニ出テ笛吹川ニ入ル又面川トモ

日川 田野ノ奥ニ出テ笛吹川ニ入ル　濁川 セキスイミノ奥ニ出テ笛吹川ニ入ル

荒川 金峯山金池ヨリ出テ笛吹川ニ合ス

大菩薩嶺　丹波山　小野山
笹子嶺　菊花山　雛鶴嶺
天神坂　山中湖　大明見湖
川口湖 以上富士ノ湖ナリ　黒野田　白野
初雁　花咲　大月
駒橋　猿橋 名橋アリ　鳥居沢
犬目　野田尻　鶴川 川ハ日ノ原ノ奥ヨリ出テ桂川ニ入ル
上野原 黒野田以下甲州道ノ駅

○
桂川 山中湖ヨリ出テ大咲川トナリ下ハ相模国ニ入テ馬入川　丹波川 丹波山ヨリ出テ武州ニ入リ玉川六郷川トナリ海ニ入ル
花咲川 笹子嶺ヨリ出テ桂川ニ入ル　道志川 板橋ノ山中ニ出テ相模ニ入リ馬入川ニ入ル
駒　煙艸　生糸　真綿　海氣結紬
木綿　太布　紙　葡萄　杉板　漆　蠟
蜂蜜　猪胆　搗栗　轉柿　小梅　林檎
胡桃　梨　甘艸　黄蓮　紫艸　水晶
磁石　硯石

伊豆 四郡
田方　那賀　賀茂　君沢 クンタク
天城山 薪炭多ク出　韮山　丸山 加茂郡ニ跨ル
北條　長岡
布貴野山　子杖越　濱港 仁科川ノ河口ニアリ
田子港 濱港ノ北ニアリ　安良利港 甲子港ノ北ニアリ
伊豆御山 熱海ノ北ニアリ　岩戸山　日金山
弦巻山　黒岳 黒峯トモ　小室山 大室山

大筈山　柏嶺　遠沢野山
万城岳 那賀郡ニ跨ル　高根山　高添利山
中川 天城山ノ西ニ発シ西流海ニ入ル　稲生沢川 那賀郡ニ発シ下田ニ至テ海ニ入ル
松嵜　岩地港　博地岬
子浦港　妻良港 長津呂ノ西ニアリ　長津呂港 南海ニ突出スル所
伊豆岬　中木港 長津呂妻良ノ間ニアリ
神子本島 燈臺　下田港 當國第一ノ港　雲見岬
洲崎港 下田ノ東ニ突出スル所　河津川 天城山ニ発源シ東流海ニ入ル

賀茂川 青野及ヒ蛇石ノ山中ニ発シ港ヨリ海ニ注ク　外浦港 熱海ノ南ニアリ
和田　伊東　川名港 岬燈臺
網代港 熱海ニアリ　熱海 温泉　走湯 温泉
初島　朝根島
三国山 豆相駿三国ノ界　山伏山　猿投山
狩野川 天城山ノ北ニ発シ駿河ノ黄瀬川ニ入ル　三島 東海道ノ駅神社
大庭　修禅寺　江梨岬
戸田岬　大島　利島

新島　神集島　三宅島
御倉島　八丈島 以上伊豆七島ト云　三原山 大島ニアリ噴火山ナリ
風拝島　荒島　神達 共ニ大島ニアリ
宮塚山　向山　新島峯
島分山 共ニ新島ニアリ　天城山 天井山トモ　黒島山
多子登山　長根山　神山
秩父山 共ニ神集島ニアリ　大窪山 雄山トモ三宅ニアリ火山ナリ
蘭難波岩　三本岳 大野原トモ　遠波瀬 恩馳トモ共ニ三宅島ニアリ

小島　鬼島　青ガ島 共ニ八丈島ノ属島ニ
東山　西山　千代川
大窪川 共ニ八丈島ニアリ
小笠原島 無人島　父島　兄島
弟島　母島　姉島
妹島　姪島　鐺山
旭山　二見港　乳房山
沖村港 共ニ小笠原島ニアリ

八丈縞　絹紬　木綿　雁皮紙　挽物　酒
茶　椎茸　煙草　葛粉　椿油　山葵
黄楊　紫胡　釣藤　大蕪菁　青海苔
心太艸　鹿角菜　鰹魚　鮑　鯣　栄螺　砥石
切石　水篩沙

相模 九郡

足柄上　足柄下　淘綾 餘綾トモ　大住
愛甲　高座　鎌倉　津久井

三浦
三国山 駿豆相ノ界　海尻嶺　地獄岳 同湯
冠ヶ岳　箱根嶺 駅　二子山 箱根山ニアリ
石楠山 箱根ノ南ニアリ　石垣山 小田原ノ西ニアリ　須雲川 箱根岳ヨリ早川ニ入ル
湯本 温泉　宮下 同　塔沢 同
堂ヶ島 同　芦湯 同　氣賀 温泉 木賀トモ
底倉 同 以上七所ヲ箱根七湯ト云　芦湖 箱根ノ湖水ト云
小田原 東海道ノ駅 足柄縣　真鶴岬 港

長尾山　善知鳥坂嶺　猪鼻山
足柄山 駿河国境ニアリ　三国山 相駿甲ノ界　岡本
金子　猶澤　阿弥陀木
大礒　小礒　曽我
雨降山　大山 雨降山ノ内　雷山
高麗山　曽屋　蓑毛
子安　神戸　伊勢原
田村　平塚 東海道ノ駅　唐ヶ原

丹沢山　三増嶺　萩山中
厚木　愛甲　塩川瀧
遊行坂　信濃坂　藤沢 遊行寺 東海道ノ駅
関野　吉野　小原 以上甲州道ノ駅
鼠坂　青子
鎌倉　雪下　稲村嵜
七里濱　由井濱　扇谷
比企谷　鶴岡 八幡宮　亀谷

笹目谷　江島 社　腰越
龍ノ口　名越　梶原
甘縄　戸塚 東海道ノ駅　滑川 鎌倉ニアリ
建長寺　極樂寺　光明寺
圓覚寺　壽福寺　五大堂
豆子　磯嵜　三嵜
久比里　長鶴岬 南海中ニ突出ス　城ヶ島 燈臺
浦賀 燈臺　走水岬 観音岬トモ　横須賀 造船場

猿島 走水岬海中ニアリ　衣笠

○

早川 岸川水源箱根小田原駅ノ西ニテ海ニ注ク　酒匂川 相甲駿三国ノ界山中ヨリ出小田原ノ東ニ至テ海ニ入

押切川 葛川ノ西ニアリ　狩野川 矢倉沢ノ山中ニ発シ酒匂川ニ入ル

河内川 三国山及ヒ矢倉ノ山中ニ発シ　葛川 大イソノ西ニアリ

花水川 愛甲及ヒ大住郡ノ界ヨリ発シ平塚駅ノ西南ヨリ海ニ注ク　馬入川 甲州都留郡湖中ニ発シ曲折南流シテ海ニ入ル

引地川 上草柳ノ山中ニ発シ沢ノ西南ニ至テ海ニ注ク　固瀬川 一名川名川水源武蔵ノ界ニ発シ海ニ注ク

炭薪　箱根細工　石長生　山生魚

箱根竹　紅花　柴胡　鼠大根　神代杉

粕漬梅　海豚　華臍魚　烏賊魚　鯛

鰹魚　鰕　鰒

武蔵　二十二郡

久良 久良岐　都筑　多摩　橘樹

荏原　豊島　足立　新座

入間　高麗　比企　横見

埼玉　大里　男衾　幡羅

クラキ　ツヽキ　タマ

榛沢　那賀　児玉　加美

秩父　葛飾

金沢　本牧　横濱 互市場是ヨリ東京芝口迄鉄道有リ

野毛浦

神形山　加奈川 東海道駅　生麦 同加奈川川崎間

鶴見 同川同源都筑郡山中ヨリ発シ東海ニ入　川崎 東海道ノ駅　溝口

二又川 東海道程ケ谷ノ北ニアリ古ノ鎌倉街道

高尾山 相摸国境ニアリ　小佛嶺 甲斐ノ駅三五ケ路　御岳

御堂岳　七箇石　雲取山

小野路　高井戸 甲州街道　石原

府中　分倍川原　日野

八王子　駒木野 高井戸以下甲州道ノ駅

中野　堀内　田無

新町　青梅 中野以下青梅海道ノ駅

羽田 燈台 弁天　大森 浅草海苔ヲ産ス　不入斗

品川 東海道ノ駅　高輪泉岳寺　鈴ケ森

三田
白銀臺町
世田ヶ谷

目黒　不動
池上　本門寺

東京　旧ノ江戸
芝　神明社
西窪

櫻田
麻生
青山　百人町　墓地三ヶ所

赤坂　氷川社
澁谷　羽根沢　墓地
四谷

市谷　八幡社
小石川
牛込

湯島　天神社
本郷
神田　内外　神田社

下谷　稲荷社
根津　貸座敷
谷中　天王寺墓地

淺草　淺草寺　三社
吉原　貸座敷
佃島　住吉社

大久保
巣鴨
染井　墓地

板橋
新宿　内藤新宿トモ
鳴子

練馬
岩淵
麹町　日枝社

番町
駿河臺
雑司ヶ谷　墓地

橋場　總泉寺　墓地
愛宕　愛宕社
飛鳥山　桜ノ名所

王子　稲荷社
三川島　菜ヲ産ス
日暮里

本所　亀戸村天神社　回向院　墓ナリ
深川　八幡社　元三十三間堂

蕨
浦和　埼玉縣廳
大宮

上尾
桶川
鴻巣　蕨ヨリ以下　中山道ノ駅

舎人
門前
大門　岩付街道

鳩ヶ谷　同上
川口　同上
千住　小塚原墓地

草加
燒米坂

白子
膝折
大和田

引又
宮戸

川越
大井
所沢

扇町郷
小手差原
堀兼井　入間川ノ東ニアリ

飯能
藤金

松山
菅谷
小川

今市
塚越
慈光山

忍　行田トモ
岩槻　縣廳
騎西

上新江
越谷
大澤

糟壁
河原井沼

熊谷　中山道駅

畠山　折原
妻沼　石塚
深谷 中山道駅　園部 原同上　榛沢
大月嶺　大坂嶺　小栗
長濱　勅使河原
本庄 中山道駅　児玉　八幡山
杉木嶺　蛙川
波風山　土坂嶺　竜頭山

不動山　赤岩嶺　礒廣山
八日見山　膽凝山　松尾山
十文字嶺　武甲山 社　三峯山 社
秩父山 観音　伊豆岳 社　妻坂嶺
山伏嶺　小坂嶺　御岳 社
雁坂嶺 甲斐ニ跨ル　大堂影岳　大日向山
安戸　太宮 妙見　贄川
新大瀧　菅平

○

多摩川 六郷川上流ヲ甲州都留郡丹波山ニ発源ス　荒川 秩父郡ノ山間ニ発シ戸田川ト墨田川トナリ品川海ニ注ク
豊島川 戸田川ノ一名ナリ　高麗川 妻坂嶺ニ発シ入間川ニ入
入間川 入間郡ニ発シ戸田川ニ入ル　綾瀬川 足立郡ニ発シ墨田川ニ入ル
中川 利根川ノ分流行徳ヨリ海ニ入ル　江戸川 利根川ノ上流ナリ古此川筋小川町ニ出テ日本橋ニ流ル
隅田川 戸田川ノ下流府下ヲ経テ海ニ入ル　浅草川 隅田川ヲ云
玉川上水 多摩川ノ支流ニシテ青梅街道五ノ神ノ南羽邑ト川崎ノ間ヨリ発ス　神田上水 甲州道上高井戸ノ北井ノ頭池ヨリ発ス
永代橋 隅田川ニ架ス　新大橋 同上　両国橋 同上

厩橋 同上　大川橋 同上　千住大橋 同上
日本橋　江戸橋 木造　京橋 石造
芝口橋　万世橋 石造 神田川ニ架ス　浅草橋 石造 同上
紫染　錦繪　漆器　蒔繪　金銀箔
縫箔　象牙細工　鼈甲細工　銀細工
團扇　煙草入　浅草苔　煉火石
鋳物　川越平　太物織　煙草　索麪
和唐紙　形紙　綿　苧麻　岩槻葱

リタ

蓮根　大根　漬菜　牛房　胡蘿蔔
梨　桃　鯔魚　白魚　海鼠　鰕　蛤　蜆
牡蠣　鱶　[illegible]

安房

平群　ヘイ郡ト称ス　安房　朝夷　アサイ　長狹
鋸山　伊豫岳　横根嶺　勝山ノ東北ニアリ
木根嶺　富山　明金岬
鬼ヶ嵜　本郷　勝山

アハ

多田良　那古寺　保田川　横根峠ニ発シ海ニ注グ
佐久間川　長狹郡ノ界ニ発シ勝山ニ至テ海ニ注ク　向川　源冨山ニ発シ久枝ニ至テ海ニ注ク
大津川　冨山ニ発シ多田良ニ至テ海ニ注ク

○

湊川　平群郡ニ発シ北条ノ北ニ至テ海ニ入ル　塩入川　湊川ノ西ニアリ
佐野川　洲嵜ノ東ニアリ　竹原　北条
館山　大賀　波佐間
洲嵜社　鯨山

アサヒナ

高塚山　雨乞丘　冨士
白濱　埜島ヶ嵜　天女　大川
忽戸　朝夷　宇田
白子　瀬戸川　水源冨士ニ発シ東海ニ注ク　三島川　同郡ニ発源シ東流海ニ入
白渚川　峯岡ノ西ニ発シ東海ニ入ル
大山社　花立嶺　清水山ノ西ニアリ　請雨山
天岸山　清水山　上総国界ニアリ　清澄山
大日堀　岩光山　同　市ヶ坂

サカ

小湊　誕生寺　内浦　鯛ノ浦
天津　廣場　礒村
北小町　金束　二間川　上総元清澄山ニ発シ東海ニ注ク
松嵜川　清水山ニ発シ廣場ニ至テ海ニ注ク

○

賀茂川　長狹川トモ長狹郡ニ発シ北流海ニ入ル　曽呂川　西野尻ノ山中ニ発シ礒竹ニ至テ海ニ注ク
木綿　螺　白牛酪　楊梅　干鰯　魚油
鰯ノ粕　鮑　牡蛎　心太艸

上総　九郡

市原　望陀　周淮　天羽
夷隅　長柄　埴生　山辺
武射

○

村田川 長柄郡ニ発シ下流両総ノ界ト為テ海ニ注ク　養老川 夷灊郡ニ発シ五井ノ駅ニ至テ海ニ入ル
八幡社　五井　岩ケ嵜
姉ケ嵜　今富　牛久

小野峯 久留里ノ南安房ノ国界ニアリ　沢山 久留里ノ南ニアリ
元清澄山 久留里ノ東南ニアリ　大石山 元清山ト山脈ヲ通ス
奈良場　木更津　貝渕
櫻井　〔久留里〕　三本松
鹿野山　中野　貞元
富津岬 燈臺　三直　六手
市宿　市場　飯野
小糸川 安房国界ニ発シ木更津ニ至テ海ニ入ル

鬼泪山　高岩山 観音　見舟山
八丁山　小久保　佐貫
三宝山　湊村 港　竹岡
金谷川 源横根峠ニ発ス　関　出濱川 金谷ノ東ニアリ
新川 源高岩山ニ発シ湊村ニ至テ海ニ入ル
荒木根山 大多喜ノ東南ニアリ　奥津
下植野　勝浦　松野
中野　大多喜　御宿郷

小濱　部田　福原
八幡嵜　大舟谷 小舟谷　大瀧川 安房国界ニ発シ東流シ海ニ入ル
大東嵜　九十九里濱　鳴山
駒ケ嵜　一宮 社　寺嵜
茂原　本納　笠森 観音
岩井　白亀川 山辺郡ニ発シ東流シ海ニ入ル　一宮川 埴生郷ニ発シ一ノ宮本郷ヲ過テ海ニ入ル
野鹿音山　矢野　古麻川
隺技川 矢野ノ山中ニ発シ一宮川ニ入ル

小間子ヶ原　真亀川 下総ノ界ニ発シ九十九里濱ニ注ク
八川 同上　大網　土氣
東金　流山　宮作
栗山川 下総ニ発シ下流ニ総ノ界トナリ海ニ注ク
成東　埴谷
横芝　賀茂
小松川 下総ノ界ニ発シ東海ニ注ク
芝山 観音
炭薪　馬　紅花　楊梅　樽柿　茶
煙艸　干鰯　魚油　鰯〆粕　鰹節

鯉　鮑　蛤　牡蠣　雞　鷄卵　鷺　切石

下総　十二郡

葛飾　千葉　印旛　匝瑳
海上　香取　埴生　相馬
猿島　結城　豊田　岡田
古河　中田　関宿
室珠花　野田　山崎
流山 美淋酒ヲ産ス　松戸 陸前濱街道ノ駅　小金 同上 原

国府臺 古戦場　市川　行徳
八幡　鎌ヶ谷 原　船橋 太神宮
小利根川 武蔵ノ下ニ詳ナリ　大和田　萱田
小和田原　検見川　千葉 縣廳
馬加　生實　野田
寒川 港　和泉
濱野
佐倉 鎮台営所　臼井　馬渡

酒々井　印旛沼 神崎鹿島ノ二流ヲ諸ヘテ大湖ヲナス長七里横二里
松山　八日市　太田
母子　野手　矢立浦
栗山川 上総ノ下ニ詳ナリ
飯沼　今宮　本城
松岸 銚子アリ　犬吠崎　銚子 港
小舟木　小見川　津宮
佐原　大貫　神崎 社

高留　滑川　吉留
飯笹　多古　中村
香取社
成田不動　長沼飯留水掛新妻ノ水溜リテ大湖ヲナス　藤代我孫子ヨリ以下陸前濱街道駅
我孫子　取手
布川　布佐　白井
手賀沼アリ我孫子ノ東ニ
境河岸　谷貝　仁連

諸川　武井
結城　新宿　飯沼
水海道　中妻
岩井　岡田　赤法華

○

利根川上野利根郡ヨリ発源ス銚子ニ至テ海ニ入ル
紬　干温飩　佐倉炭　薪　醤油
味淋酒　玉液酎　葛西海苔　蒟蒻　蜜柑

甜瓜　西瓜　蕃薯　茶　鱸魚　水母
車鰕　雁鴨　牡蠣　石炭　砥石

常陸　十一郡

新治　真壁　筑波　河内
信太　茨木茨城トモ　鹿島　行方
那珂　久慈　多珂
新治　土浦霞浦ノ西ニアリ新治縣　中貫
稲吉　石留赤塚ヨリ以下陸前濱街道ノ駅　高原

雨下　柿留筑波山ノ東ニアリ　真鍋同上
藤留　小田
下館　下妻　芦穂山筑波山脈
加葉山同上　太宝沼　羽黒
真壁筑波山ノ西ニアリ　小栗　海老島
矢田部　小張　豊体
田下　筑波
若柴陸前濱街道ノ駅牛久ノ東ノ　牛久同上　竜崎

牛久沼 牛久駅ノ南ニアリ　女男川 櫻川ノ下流ナリ
荒井　中村　櫻川 上浦ノ南ヨリ落ル
水戸 茨城縣廳　笠間　竹原
片畄　小幡　長畄 竹原ヨリ以下濱街道ノ駅
青柳　菅谷　額田
大足　石塚　杉崎
枝川　田彦　石神
大橋　那珂 港　邑松

皇國地名箋　上　常陸　五十三

海老沢　礒濱　大貫
夏見　千波沼 水戸城ノ南ニアリ　涸沼 水戸城東南三里ニアリ
子生　籾山　吹上
鹿島 社　宮市　常陸原
北浦湖　鹿島浦
麻生　玉造　平賀
牛堀　潮来 以上霞ケ浦湖辺ニアリ
鳥子山 鳥下村ニアリ　檜木山　長倉

比藤　下大瀬
金砂山　男体山　武生山
月折山 袋田ノ上ニアリ　太田 水戸城北十里ニアリ　町屋
上渕　天下野　高倉
小生　大橋　久慈
袋田滝
高鈴山 介川ノ西ニアリ　神御子　大能山
花園山　森山　助川

皇國地名箋　上　常陸　五十四

川尻　荒川　足洗
礒原 港　上畄　大津
平潟　大北川 荒城右山ヨリ発ス　多賀浦

○

那賀川 下野帯川ノ下流ナリ　久慈川 水源磐城国白河郡ニ発シ那賀久慈両郡ノ界ヲナリ海ニ入ル
霞浦湖　浪逆海 同湖内
浮島
大方紙　西ノ内紙　小杉原紙　彩雲紙

生糸　真綿　蚕種　晒木綿　漆　茶
煙草　西瓜　葛粉　栗野膳　瑇子　多く
三度栗　真珠　干鮑　鮭　浮亀　燧石

東山道　十三ヶ国

近江　十二郡

滋賀　栗本 俗栗太　甲賀　野洲
蒲生　神崎　愛智　犬上
阪田　浅井　伊香　高島

大嶽 日吉社 比叡山　長柄山　逢坂山
波母山　小松山　撫岳
八池ヶ岳　櫻嶺　龍華越
古関越　比良山　唐崎 松
打手濱　矢走渡　堅田 浮御堂
栗津　膳所　大津
別所 滋賀県　坂本 上下アリ　絹川
木戸　小松 坂本以下北街道ノ駅　志賀院

延暦寺　三井寺 観音　石山寺 同
岩間寺 同　尾蔵寺
白雲山　田上山　大日山
金勝谷　草津 東海東山両道ノ追分　山田 港
野路玉川　勢田橋　勾 上下アリ
篠岳　槇外山　石根山
甲賀山 飯道山ニ在 以上二所　鏡山　水口
石部 東海道駅　野川

三上山 社 俗ニ百足山云　櫻山　守山 東海道ノ駅
鏡　永原　木部 錦織寺
篠原　木濱 港
水晶岳　比牟禮山 八幡社アリ
龍王山　長命寺山 観音　安土山 信長ノ城跡
観音寺山 観音 佐々木ノ城跡　千草越
箕作山　八幡 港　武佐 東海道ノ駅
蒲生野　沖島 湖中ニアリ

釈迦岳　山上　越川 東海道ノ駅
伊庭山　愛知川 神崎郡政所谷ヨリ出ノ西流シテ湖水ニ注ク　彦根山 金亀山トモ
鳥籠山　鍋尻山　多賀ノ社
沢山 石田三成古城址　高宮 東山道ノ駅
多景嶋
磨針峠　伊吹山　霊山
鳥井本　番場　醒ケ井
柏原 以上中山道　米原 港　長濱 以上二所北国街道ノ駅

皇國地名箋 上　近江　五十七

宮川　水田　小谷山 長政ノ古城址アリ
荒乳山　虎姫山　塩津 港
下野　岩熊　竹生島 社 観音
海津 同　菅浦
早崎　尾上
金糞岳　横山　柴山
中尾嶺　三瀬山　大黒山
大水山　湧山　志津岳

木本 地蔵　柳瀬　椿市
中河内 木本以下北国街道　余呉湖
熊野山　高島山　三尾山 観音 社
大浦　河原市　今津
知内　野口 大溝以下北国道　細川
村井　朽木　山中 若狭道
○高島川 山城国ニ発シ朽木川ヲ納シテ湖ニ注ク 一名舟木川ト云

皇國地名箋 上　近江　五十八

横田川 仙川ノ下流ニテ野洲川ノ上流ナリ　野洲川 横田川ノ下流
姉川 河内山中ニ発シ草野川ニ合ノ湖ニ注ク　犬上川 高宮川トモ 水源伊勢界ニ発シ西流シ湖ニ注グ
勢田川 湖水ノ落ル口ヲ云　善利川 大堀川モ 水源河内ノ山中ニ発シ西流シ湖ニ注ク 古名不知哉川
尾上川 撥坂晋ニ発シ余呉ノ余水ヲ納テ湖ニ注ク　智内川 若狭ノ界ニ発シ東流シ湖ニ注ク
杣川 神田谷ニ発シ松尾川ニ會シ横田川トナル　天ノ川 伊吹山中ニ発シ湖ニ注ク
安曇川 跡川トモ アツミト讀ハ非ナリ　田上川 勢田川ノ下流
比良川 比良ニ発シ湖ニ入ル　石田川 一名ハ角川 若狭界ニ発シ湖ニ注ク
黒津川 勢田川ノ下流

粉　籾　油　醤油　生絲　真綿
夏蚕種　絹　縮緬　天鵞絨　晒布
蚊帳　疊表　茶　伊吹艾　陶器　茶器
籐細工　椀　干瓢　青花　蕎麥　蕪菁
日野菜　源五郎鮒　堅田鰕　鯰　鱒　鰣
諸子魚　蜆　石灰　硯石　砥石

美濃　二十一郡

多藝　石津　不破　安八

池田　大野　本巣　席田
厚見　各務　山縣　武儀
郡上　賀茂　可兒　土岐
惠那　方縣　海西　羽栗
中島
高田　舟付　養老瀧
高須　釜段池
松尾山　中山　南宮　不破関　今ハ古地ノミナリ

野上　寐物語　今須
関ケ原　垂井　赤坂　今須以下東山道ノ驛
南宮　社　岩手　青墓　朝長ノ墓
青野　和射見原
大垣　墨股　今尾
笠縫
揖山　岡村
杉原　揖斐　谷汲　觀音

美江寺　河渡　以上東山道ノ驛　大次　上下アリ　越前道
岐阜　山　社　稲葉山ト云　金花山　岐阜
加納　日置
高富　太郎丸　高木
門原　御手洗　日永　以上越前道
関　間知　郡上道　上下アリ以上二所
毘沙門峠　雜木山　大日峠
杉檜山　二日市　前谷

鷲見 二日市以下高山道　八幡　坂本
三日市 八幡以下　法師丸　外原
水宇禮池 東西アリ　阿弥陀瀧
圡田　伏見 中山道駅　御嵩 同上
虎溪　細久手 細鉄　大久手 大鍬トモ
高山　釜戸　池田 高山以下名古屋道
高巣山　恵那岳　十石峠
竹鼻　笠松　古野坂

皇國地名箋　上　美濃　六十一

西行坂　岩村　大井
中津川　落合 大井以下東山道　阿妻
明智　串原 峯母道　苗木

○

木曽川 水源信濃西野ノ西国ヨリ来リ勢州湾ニ入　太田川 木曽川中ノ小名ナリ
長柄川 郡上郡ニ発シ末ノ又河渡川トナリ木曽川ニ入　洲股川 長柄川ノ下流ナリ
河渡川 長柄川ノ下流　杭瀬川 伊吹山ノ東北ニ発シ勢州湾ニ入ル
呂久川 杭瀬ノ下流　伊斐川 近江ノ汲ニ発シ墨股川ニ入ル

藤子川 関子川ハ水源伊吹山ニ発シ呂久川ニ入ル　藍川 赤井ト赤坂ノ中間ニアリ
牧田川 水源近江ノ界ニ発シ末江ニ至テ呂久川ニ入ル
米　紙　生絲　眞綿　縮緬　羽二重　絹
綟子　麻布　蚊帳　藤細工　陶器　庖刀
剃刀　鋏　縫針　算盤　岐阜提灯
笋笠　テグス　茶　藍　干大根　榧實
蜂屋柿　甜瓜　更紗石

飛彈　三郡

皇國地名箋　上　飛彈　六十二

大野　吉城　益城
位山　金剛峠　長柄嶺
水無嶺　有巣嶺　寄合嶺
乗鞍岳　三谷　三日町 以上ニノ八幡道
七日町　高山　八日町
上山田　山田 八日町以下越中富山道　増島
落合　三河原 同上　小鳥谷
谷村　月瀬　二谷 同上

一ノ宮　久々野　渚村 以上ミノ加納ヘ出ル
小坂町 以上ミノ加納ヘ出ル　大島　小島
大峠　硫黄岳　鎗ヶ岳
錫杖岳　双六岳　白木岳
舟渡　千貫橋　谷村
小豆沢 舟渡以下越中富山道　平湯　白骨湯
蒲田湯　落合湯
黒谷　荒淵　野々股 以上越前大野道

小白川 越中ヘ出ル
竹原峠　追原峠　普代坂
萩原　下呂 温泉　中津原
保井戸　三淵　下原町 萩原以下ミノ岐阜道
楢谷　追原 以上ミノ八幡道　白水瀧
岳谷瀧
○
宮川 大野郡上ヨトリノ山中ニ発シ舟津川ニ入ル　八賀川

川上川　小鳥川 宮川ノ上流
高原川 大野郡寄合峠ニ発シ木曽川ニ入ル　雙六川 双六岳ニ発シ舟津川ニ入ル
益田川 高原川ノ下流　馬瀬川 高原川ノ上流
白川 大原郡ノ山中ニ発シ
材木　綿　紬　麻布　陶器　ヘギ目細工
楊枝　蕨粉　葛粉　早藕　搗栗
岩茸　茶　香魚　鱒

信濃 十郡

伊奈　諏訪　筑摩　安曇
更科　水内　高井　埴科
小縣　佐久
駒岳　前岳　黒河内岳
青崩峠　風越山　園原
小河内峠　厂ノ峯　高遠
飯田　根羽　平谷
浪合　駒場　山本

伊豆木　吉岡　田上
帯川　市田　大島
片桐　飯島　上穂
宮田　伊那部　松島
下平田　上村　木沢
和田　麻績
八嶽 甲斐ニ跨ル　三佐山 御射山　諏訪社
高島　諏訪湖 天龍川ノ源

長根山　奥名山　御岳
寄合峠 飛驒ニ跨ル　堺峠　小豆峠
立峠　桔梗原　松本 筑摩縣
村井　郷ノ原　洗馬
本山　熱川　奈良井
藪原　宮越　福島
上松　須原　野尻
三留野　妻籠　馬籠 洗馬以下東山道

岡田　刈屋原　會田　青柳
信濃坂　燒山　蝶ヵ岳
高嶽　大地岳　神明岳
五六岳　鑓岳　風吹岳
横前倉岳　箙岳　雨飾山
藥師山　天狗原　物見岳
黒皃山　大町　池田
木高　高瀬川 五六岳ニ發シ犀川ニ入ル　大ノ川 高岳ニ發シ犀川ニ入ル

姨捨山　鏡臺山　猿ヶ峠
田每月　川中島　桒原
稲荷山　丹波島　黒姫山

虫倉山　戸隠山社　花立山
鷹打山　山姥岳　飯綱山
中峯　斑山　沼池
大峯山　朝日山　鳥井川 逆川ノ下流ニテ信濃川ニ入
野尻湖　桂池

逆川 更科郡山中ニ発シ鳥井川ニ入ル　夜叉川 飯綱山ニ発シ鳥井川ニ入ル　湊川 戸隠山ニ発シ犀川ニ入ル
飯山　戸倉　栢原
五本山　恩波岳　高倉山 以上共ニ越後ニ跨ル
大倉岳　赤石山　横手山
白根山　太郎子山　魔山
乳山　四阿山 以上共ニ上野ニ跨ル　岩松山
湯宮山　塩路山　剱峯
白剱山　田中温泉　角間温泉

皇國地名箋　上　信濃　六十七

野沢温泉　須坂　安田
中野　市　二禮
保科　久志見　田中
更科山 更科郡ニ跨ル　妻女山　皆神山
地蔵嶺　松代
和田嶺　湯丸山　白山
栢木山　秋山　十文字嶺
金峯山 以上甲州ニ跨ル　高天原　浅間岳 上野ニ跨ル

浅間焼野　大藤山　飯盛山
布曳山　石原坂　梓川 高岳ニ発シ曲折ノ犀川ニ入ル
小諸 コムロトモ　軽井沢　沓掛
追分　小田井　岩村田
塩灘　八幡　望月 軽井沢以下中仙道ノ駅

○

筑摩川 佐久郡南柏木山中ニ発シ諏水ヲ納メ犀川ニ合シテ川トナル　犀川 筑广郡駒岳ニ発シ諏水ヲ納レ筑广川ニ合シ信ノ川トナル
姫川 安曇郡黒鼻山ニ発シ越後ニ出ル　信濃川 筑ナ川犀川ノ合流ゾ越後ニ出ル

皇國地名箋　上　信濃　六十八

木曽川 堺峠ニ発シ美濃ニ出テ勢州湾ニ入ル　御岳川 飛騨ノ界御岳ニ発シ木曽川ニ入ル
小沢川 桜峠ニ発シ犀川ニ入ル　洗馬川 犀川ノ内ノ小名　小木曽川 木曽川ノ上流
材木　生絲　真綿　山繭　蚕種
上田縞　麻　縮　袴地　絞木綿　太布
奉書紙　小杉原　紅花　苧麻　煙艸
甘草　黒柿　木細工　小梅　花積
串柿　干蕨　干瓢　蕎麦　蕨粉
陶器　櫛　氷餅　山繭　漆　鹿角

ウスヒ

熊胆 八目鰻 山生魚 鷹 貉 瑪瑙石

上野 十四郡

碓氷 片岡 甘樂 多胡

緑野 那波 郡馬 吾妻

利根 勢多 佐位 新田

山田 邑樂

中尾山 碓氷嶺 社 鼻曲山

巣鷹山 堂峯 人見原

カムラ

板鼻 安中 松井田

横川 坂本 板鼻以下東山道

横見嶺 十石嶺 古禮嶺

礒嶺 以上信濃ニ跨ル 志賀坂嶺 坂本嶺 以上武藏ニ跨ル

大嶺 坂嶺 杖立嶺 以上武藏ノ邊ニアリ

西御荷鉾山 音氣山 大桁山

金雞山 金銅山 中岳トモ 妙儀山

射透穴 富岡 藤井

タコ ミトノ ナハ

一ノ宮 下仁田 加鳥屋

本宿 白井 以上廿二信濃路ノ駅

東御荷鉾山 矢田 吉井 燧鎌ヲ出ス

多胡碑 〔七日市 〔小幡

落合 笛木 鬼石

藤岡 西平井

柴町 中町 五料 以上日光道

新田 前橋 厩橋トモ 惣社

クルマ

榛名山 社 碓氷郡ニ跨ル 相馬岳 摺礁嶺

二ツ岳 金平山 小野山

子持山 水留山 黒髪山

金井 西新波 白岩

中室田 三野倉 伊香保 十八ノ内

金子 妙安寺 ハノ内

カタヲカ

高崎 岩鼻 倉ケ野 以上六所中山道ノ駅

アツマ

白狐山 神守山 猪倉山

岩柢山　長坂嶺　入江山
太平山　三坂嶺 三社　三国山 越信野ノ三州ニ跨ル
赤屋川 川三登ノ山中ニ発シ利根川ニ入　稲色山　大倉山
白根山　万座山　乳山
吾妻山　鳥井嶺　湯丸山
大薄山　横笹山　勝間山
藥師岳　暮坂嶺　五町田
中山　中野条　原町

郷原　岩下　長野原
中居　大笹　大戸
本宿　須賀馬　上沢渡
生須　草津温泉　山田川 稲色山ニ出テ吾妻川ニ入ル
地蔵川 浅間岳ニ発シ吾妻川ニ入　鹿倉川 同上
烏帽子岳　駒根山　駒ヶ岳
大江山　間田山 東中北　萱子山
座禅山　白根山　三辻山

花咲嶺　穂高山 社　加葉山 社
文殊岳　尾瀬原　同沼
玉泉山
東入原　津浦沼　一沼田
追貝　土出　戸倉
月夜野　相俣
袈裟山　三峯山　別當山
大黒檜山　赤城山 社　姥子山
地蔵峠　鳥井嶺　荒山

大胡　三夜沢 以上赤木道駅　花輪
伊勢崎　境町
新田山 金山　木崎　太田 以上三所日光街道
尾島　脇屋　世良田
別當山　並山　桐生 川ハ下野十二山ヨリ発ノ
新町　如来堂　園田
多田良沼　近藤沼　大輪沼
板倉沼　一館林　川俣

○
利根川 三国山ノ中ノ深岳ニ発シ下総ニ入リ分流ノ武蔵及ヒ鹿島洋ニ注ク
片科川 荒山ニ発シ利根川ニ入ル
発知川
吾妻川 吾妻ニ発シ利根川ニ入ル
万座川 万座山ニ発シ利根川ニ入ル
四万川
澤渡川
烏川 狩宿峠ニ発シ神流川ト合シ利根川ニ會ス
碓氷川 碓氷峠ニ発シ烏川ニ合シ神流川ニ會ス
神流川 甘楽川トモ蕪又鏑トモ信州ノ界ニ発シ利根川ニ入
廣瀬川 利根川ノ分流ナリ
生絹　日野絹　新田絹　太物織　白苧

皇國地名箋　十上　上野　七十三

蚕種　漆　黒豆　煙草　午房　白葱
三度栗　五倍子　鯉　鰻鱺　香魚　硯石
石炭　砥石　油

下野　九郡
足利　梁田　安蘇　都賀
寒川　河内　芳賀　塩谷
那須
雞足山　行道山　大岩山

足利 学校　佐野 橋　小股
梁田　米宿
十二山　室生山　地蔵岳
足尾銅山　庚申山　二子山
天明　犬伏 以上二日光道中ノ駅　葛生
免取
田沼
尾咲山 社　日光山 黒髪山　男体山
女峯 三笠山トモ　行者山　毘沙門山

皇國地名箋　十上　下野　七十四

赤安山　四口山　黒岩山
錫杖山　真子山　冨士見山
湯前岳　白根山　三笠山
中禅寺湖　華厳瀑布　龍頭瀑布
裏見瀑布　霧降瀑布　寂光瀑布
清瀧　岩舟山　太平山
鉢石
岩舟　茂呂　冨田

ヤエン

野木　間々田　小山
新田　小金井　石橋
飯塚　木賊ノ原
出流山観音　杤木縣廳　合戦場
金嵜　擶木　奈佐原
鹿沼　文挾　板橋
壬生同上　親抱松　室八島
赤倉山　黒岩山　姫路野ノ原

皇國地名箋上　下野　七十五

雀宮　〔一宇都宮　白沢以上奥州道
野沢　・徳次郎　大沢以上日光道
大乗　大渡　今市日光道
梏木嶺　山王嶺　雞山
関屋嶺　氏宿　喜連川以上奥州道
船生　玉生　八井田
高徳　大原　藤原
高原　碇　見嵜

ハカ

横川　湯本　関谷
道場宿　祖母井　茂木
福岡　赤羽　西高橋
七井　飯　小貫以上笠間道
真岡　久下田　本吉田
塩原温泉　荒湯　日光沢湯
川俣湯　湯西湯
中嶺　大倉山　那須岳

ナス

皇國地名箋上　下野　七十六

白邑山　那須野ノ原　殺生石
八溝山　鳥子山以上常陸路　森田
〔一烏山　〔一黒羽　伊王野
箕輪　馬頭　佐久山
〔一大田原　鍋掛　越堀
芦野　益原　湯本
那須湯　大丸塚湯　遊行柳
道辺ノ清水　国造ノ碑

○

絹川 鬼奴川トモ

五行川

那須川 那須岳ニ発シ常川ニ入ル

狐川

姿川

渡良瀬川 二子山辺ニ発シ上野ニ入リ分流シテ利根川ニ入

大谷川 日光中禅寺湖ヨリ発シ鬼奴川ト為ル

小貝川 塩谷郡ニ発シ常陸ニ入

母来川 午久沼ヨリ利根川ニ入 武蔵ノ水源那須岳ヨリ発シ下流利根川ニ入

思川 日光道抜柄ノ東ヨリ発シ壬生川ト合ス

田川 日光道ニ発シ 鬼奴川ニ入ル

佐野中川 上野界地蔵岳ニ発シ取水ヲ納テ鬼川ニ入リ利根川ニ会ス

大方紙　絹　生絲　真綿　笠　扇

團扇　陶器　梳　折敷　日光細工

檜細工　漆　人参　艾　煙艸　麻

白葱　午房　黄芪　石炭　砥石

切石　蠟石　三光鳥　寿光皮細工

岩城 十四郡

白川　白河　石川　田村

菊田　磐城　磐前イハマヘ　標葉シネハ

楢葉　行方　宇多　亘理

伊具　苅田カッタ　白河

関山　湯岐　塙

棚倉　矢槻

山田　東館　中宿

大垬 東館以下水戸道

釜子　浅川　竹貫

中田　小平 以上二所水戸道

守山　三春　根本

中沢　田母神　蓬田 根本以下水戸道

三株山　馬脊山 常陸ニ跨ル　荷路夫岳

観音岳　薬師岳　三大明神山

竜冨士　鬼冠山　椋子山 島ヨリ

勿来関　泉　関田

寉田

湯岳　熊倉山　雨降山

水石嶺　鍬峯　閼伽井岳

富神岬　宿ヶ嵜　龍ヶ嵜
御嵜山　合磯山　尼子橋 新川ニ架ス
賢沼　平 磐前郡　湯長谷
小名　網取　白水 石座ニ出ス
湯本　中ノ作　渡戸
中寺　江戸　三坂 以上平ヨリ棚倉道
金山　猫鳴山　三箭山
月山　八葦ヶ岳　石森山

高倉山　霧島山　二箭山
玉山湯　松風滝　逢瀨滝 雄二滝アリ仁井田川ノ源
琥珀山　四倉　横山臺
北濱　麻町　置凧
新町
矢大臣山　熊倉山　大岳
岩下嶺　鬼ヶ城　湯烟山
大倉山　石折山　赤木山

長根山　子規山　中山
五社山　三森山　小塙瀑布
綱下岬　殿ヶ峯　江ノ網
鰐ヶ淵　鍋倉山　隱石山
久ノ濱　廣野宿　下町
上町　富岡宿　上河内 平ヨリ三春道
高野宿　小高　牧野
原町 以上中村街道

美山 移岳ニ作　熊川　中津河
大越　當葉 以上二所平ヨリ三春道
鹿島　中村　駒峯
丸森　角田　舟岡
新地　坂本　山下
亘理　新濱
不忘山　藏王岳　凧割嶺
下紐関　刈田宮　白石

ワタ

齋川　越川　貝田
藤田　桑折 刈田宮ヘ奥州道　小坂 出羽上ノ山道
荒濱　亘理

○

鮫川 白川郡ニ発シ岩間米倉ノ間ヨリ海ニ注ク　鎌田川 人麦并川下七田村郡ニ発シ曲折東流シ海ニ注ク
阿武隈川 石川郡大熊滝ニ発シ北流而折海ニ注ク　仁井田川 揺鳴山ニ発シ東流シ海ニ注ク
木戸川 源ヲ大田山ニ発シ大熊南ノ熊ヨリ海ニ入ル　井出川 大倉山ニ発シ海ニ注ク
米　雑穀　馬　生糸　真綿　紬

皇國地名箋　十上　岩城　八十十

八丈織　川股絹　紙布　縞紬
沙焼陶器　魚油　鰯〆粕　木炭　煙草
半紙　延紙　椎茸　藍玉　塩　鰹節
浮亀　干鮑　鰑　鰹タヽキ　孫太郎虫

岩代　九郡
會津　大沼　耶麻　河沼
岩瀬　安達　安積　信夫
伊達

アヒツ

六十里越 越後ニ跨ル　小瀬嶺　赤安山 以上二山上野ニ跨ル
帝釈山　山王嶺 下野ニ跨ル　金山
長田代山　中山　布引山
雀沼　堺田沼　森山
究切坂　北坂　田島
雀沼川　會津　赤井
原　赤洲　福良
御代 赤井以下若松道　関山　大内 大地トモ

皇國地名箋　十上　岩代　八十十一

串谷　楢原　田島
糸沢 関山以下五十里越道　古川 以下長岡道　田子倉
大口川　土出　小野岳
八十里越　鬼面山
大倉　叶津　界沢
野尻 新発田道　笹谷
炬嶺　車嶺　鳥井嶺
栄高山　瓜割嶺　野沢 以下若松ヨリ越後新発田道

オホヌマ

カハヌマ

野尻　白坂　八十田
作山　柳津　片門
赤嶺山　飯豊山　磐梯山
猪苗代湖　山嵜湖　塩井
塩川 以下若松ヨリ米沢道　熊倉　大塩
檜原　綱木　三條沢
天上岳　甲子湯　大熊瀧 逢隈川ノ水源
山王坂　向坂　招坂

皇國地名箋　上
岩代　八十三

大餅坂　普代坂　国見嶺
清水嶺　勢至堂 嶺アリ　永沼
牧内　小屋　井手 嶺アリ勢至堂以下若松道
根田 以下奥州道　大田川　矢吹
栗石　須賀川　人取坂
安積山　吹上坂　日出山
安積沼　篠川 以下奥州街道
郡山　日和田　高倉

本宮　福原
小山　春日山 觀音　二本松岳
大郎山　安達山　和尚山
安達原　岳湯　野中清水
杉田 以下奥州道　温石町　三本松
二本柳　黒塚
東岳　三角山　丸山 以上出羽ニ隣ル
信夫山　土湯　瀬上

皇國地名箋　上
岩代　八十四

福島 縣廳　清水町　根子
若宮　八町目 瀬上以下奥州道　佐々木野 以下福島ヨリ米沢道
庭坂　李平　関 白石ヨリ上ノ山道
鎌倉山　靈山　厚樫山
石那坂　腰掛石　新館
松沢　下手　梁川
○
摺上川 瀬上川トモ丸山ヨリ発シ阿武隈川ニ入ル
高倉川 五百川トモ

名女川　須川
岩瀬川　永沼ノ山中ニ発シ阿武隈川ニ入ル　只見川　小瀬沼ヨリ発シ寉沼川ニ入ル
揚川　日橋川
會津川　猪苗代湖及ヒ只見川ノ下流ニテ越后ニ出テ海ニ注ク
漆器　蝋燭　生絲　文字摺絹　紬
絹斜子　呉郎丸　陶器　攏　銀細工
紙　漆　麻　干糒　大豆　胡桃　熊胆
井塩　温石　砥石　硯材

タハ

陸前　十四郡

柴田　名取　宮城　黒川
加美　玉造　志田　遠田
栗原　登米　牡鹿　桃生
本吉　氣仙
篠谷嶺　二口越　憚ノ関
有耶無耶関　金ケ瀬　大河原
舟廻　金ケ瀬以下奥州道　猿花　熊根

ナトリ　ミヤキ

野上　花谷　猿花以下山形道　野尻
河張岬　松ケ浦島　千引石
岩沼　武隈松　社　桃波久橋
槻木　岩沼　増田
中田　槻木以下奥州道　秋保　温泉
富山　末松山　躑躅ケ岡
松島　瑞巌寺　高木　以上二所仙台ヨリ石巻道　塩竈　社
血鹿浦　宮城野　奥細道

国分根　岩切　壺碑
十布　野里川　中野
石巻　港　廣口池　小寉池
仙臺　宮城縣廳　長町　奥州道　七北田　同上
熊根　出羽街道　山ノ寺
黒川岳　吉岡　以上奥州道　中井田
小野田　門沢　漆沢
軽井沢　坂下　作並

三本木 奥州道
古川　新屋 以上奥州道
岩手　河渡　中新田
菅根山　姉歯松　大沼
長沼　一ノ迫　二ノ迫
高清水　月立　宮野
沢辺　金成　有賀部 高清水以下奥州道
佐沼　三関　二関 佐沼以下一関ニ至ル石巻道

亀上 羽後本庄道　尻前　鳴子
狼川原　登米　新谷 石巻道
金華山　湊　山島 社
十八成濱　中濱　田代
追波　十五濱　湊
氣仙沼　出島
十三濱　細浦　大島
氣仙沼　椚津　津谷

荒磯　唐煮濱　竹駒 社
唐丹 以上三升 八戸道　盛　唐丹
今泉　入手

八

鳴瀬川　玉造川 菅根山ヨリ北上川ニ入ル
栗原川 大松ヨリ北上川ニ入ル　吉田川 下流小野ニ至ル海ニ注ク
高城川 田谷窪ニ発シ北上川ニ入ル
米　雑穀　牛　馬　仙台平　斜子織　八丈織

紙布　白精好　生絲　真綿　蚕種　漆
麻　紅花　煙艸　乾糒　干府昔菰　千代莚
埋木細工　熊皮　馬尾　水蓮翡　海鼠
鮭　鱒　煎海鼠　鰹節　干鮑　孫太郎虫　硯石

陸中 十郡
磐井　膽沢　江刺　和賀
稗貫　紫波　岩手　鹿角
閉伊　九戸

栗駒山　田谷窟　剣山
駒形山　二ノ関 奥州道　山ノ目 同上
鳥海　衣関　衣川 川原田谷窟ヨリ発シ北上川ヘ入ル又瀑アリ
高館　平泉　中尊寺
三間　旧代　光堂 金色堂トモ
松川湯　北法寺
霧山　外山　猪岳
膽沢 川アリ　鎮守府　前沢
泉城 位舘ヲ綱トモ　水沢 縣廳　金嵜
下風江　塩竈社　野午嵜
六角牛山　江刺
御駒岳　戸岳山　和賀川 戸岳山ヨリ発シ北上川ヘ入ル
相去　鬼柳　橋村
越中畑　川岸　赤坂
花巻　馬場　大槻
湯本　圓満寺

南昌山　函清水　仙戸谷
梛山　日詰
国見嶺 温泉　山伏嶺　妻神境
岩鷲山　北上山 金精社　簗川山
姫神岳　明山　閉樂山
桂清水　岩鷲沼　盛岡 本府縣廳
渋民 奥州道　沼宮内 同上　中山 同上
葉樂　當湯　高湯
厨川　千本松 名木　仙人嶺
尾嵜山　月山
和山　藥師峯　早池峯 同沼
神岳 箱石　穴沢　苑抵
葛巻金山　遠野　黒嵜
富田　大男　宮古
釜石　卯子酉
巴山　折爪　菜喰岳

種市岳 ハヤシ出　鉄山 牧　三岬
観音林　久慈　黒嵜
七時雨山　西道金山　槇山
立菱山　田永　三平
赤沢銅山　上深井　白根銀山
月山　濁川岳　清水嶺
芦柄山　花部山　八甲山
花輪　松山　小国小町

○
磐井川 劔山ニ発シテ北上川ニ入ル　雫石川 滴石ナド水源劔山ヨリ発シ北上川ニ入ル
豊沢川 清水ノ山中ニ出テ北上川ニ入ル　米代川
志津川 神山ニ発シ東流シ海ニ注グ　北上川 北上山ニ発シ南流シテ諸水ヲ總テ陸前国ヘ入テ海ニ注グ
米　大豆　牛　馬　鉏　南部紬　黄絲
蚕種　マダ布　真綿　白苧　篠竹細工
推茸　紫根　百合　早藕　甘艸　紅花
海鼡　鱈　心太艸　帆立貝　煎海鼡

ヲクリカンキリ
陸奥 四郡
二戸　三戸　北　津軽
四角山　波市嶺　末松山
一戸　福岡　金田市 一戸以下奥州道
二戸　肥知川
雷電山　龍森　戸来山
鉄山　高山　三ノ坂

通十八坂　三戸　浅水
五戸 三戸以下奥州道　六戸　八戸
小南部　奈良嵜
十和田山 同沼　泊山　恐山
大間岳　牧　尻矢岬
小佛　佐井　九艘泊
田名部　安度　大間嵜
傳法寺　藤島　七戸

野辺地 伝法寺此ヨリ奥州街道　平沼　六ノ川 戸来山ヨリ発シ大坂川ニ流入
壺川 十和山ヨリ発シ海ニ入ル　大坂川 下流大ノ川ノ　七戸
壺村 壮千引石　外南部　矢立嶺 羽後ニ通ル
岩城山 津軽富士ト云　銀山　苫井坂
清山嶺　檜木嶺　尾駮 沼
降坂　津軽坂　小湊
弘前　刈和沢　黒石
野内 刈和沢以下青森道　青森 港

岩崎　大間越　深浦
斗々呂岐　鳥井岬　荒岬
十三濱　十三潟　鰺ヶ沢 湊
小泊 港　龍飛岬　三厩 港
蟹田 同　平館 同　外ヶ濱
母衣月 港 今割石　油川 同　今別 同
蓬田　新城　浪岡
藤崎　津軽野 弘前城以下弘前道　碇ヶ関 温泉 羽後大館道

大鰐 同　蔵立 同　浅虫 同
○
岩木川 岩木銀山ヨリ発シ平川ト合シテ十三潟ニ入ル　平川 羽後ノ境ニ発シ北流シテ岩木川ニ合ス
平川
米　雑穀　生馬　材木　炭　鐵　味噌
醤油　蝋　塗漆物　口明子　菅笠
油粕　干独活　款冬　昆布　若布
鮭　数ノ子　塩鶴　干鱈　煎海鼠

干鮑　熊胆　鹿皮　海獺　海扇
心太艸　試金石　硯石
羽前 四郡
置賜　村山　最上　田河
三面山　黒沢嶺　越ノ清水
米沢 置賜郡　関[illegible]　大沢
板谷　[illegible]田　赤湯
小岩沢 大沢以下米沢ニ出ル道ノ駅　小松原

萩生　鮎貝　小坂

沼沢　小国　小松川 以下同所ヨリ越后

松嶺　小沢　赤湯温泉 黒川道

滑川湯　姥湯

金山嶺　蔵王岳　千年山 関ヶ屋ノ松

山伏山　浄島　長谷堂

川口　上ノ山　山形 縣廳

天童　六田　立谷

皇國地名箋　上　羽前　九十五

飯田　土生田　尾花沢 山形ヨリ以下 庄内道

延沢　寺町　上畑 以上奥州石巻道

戦場　山辺　長瀞

寒川江　白岩　海臨

左沢　砂地 戦場以下上山ヨリ 庄内道　栗沢

岩沢　古口　大房野村 以上金山

関谷　穴沢　宝沢

田代 以上銀銅山　栗生村 銅山

亀割山　杉嶺　板敷山

下旭山　柳沢　舟形

新庄　清水　相貝

板敷越 柳沢以下山形ヨリ鶴岡及酒田道　金山　瀧沼

白鳥沼　白糸瀑

鼠関　尾国　木俣

握美川　杉代　坂下 舟関以下 三馬

湯田川　大山　濱中 庄道

皇國地名箋　上　羽前　九十六

袖ノ浦　三瀬 三馬道中

○

最上川 水源岩代東嶽及ヒ陸前ヨリ発シ衆水ヲ納メ飯田ニ至テ海ニ注グ一名酒田川　大梵字川

野川　櫛引川

清川 村山郡ニ発シ最上川ニ入ル　大樽川

田沢川 小鶴川モ村山郡ニアリ 下流最上川ニ入ル　松川

面野川

米　大豆　酒　生絲　蚕種　絹織　青苧

漆　朽蠟　油紙　紅花　干薇　胡桃
小鳥串焼　温石　砥石
羽後　八郡
飽海　秋田　河辺　仙北
雄勝　山本　平鹿　由利
湯殿山　月山　羽黒山
金宝山　横峯　松岳山
鳥海山　大師山　三寄山

梨池山　志津　田麦畑
大網　松根　丸留　志津以下庄内ヨリ上ノ山道
大泉　旧名庄内　藤島　清川
山寺　松嶺　坂田　縣廳　酒田トモ　以下ハ三馬道
吹浦　女鹿　小砂川
汐越　木浦　芹田
平沢　本庄　松崎
亀田　道川　長濱

百三端　以上三馬屋道　矢島　象潟　蚶潟トモ
蚶満寺
虎毛岳　以下　大鳥海　冠岳　院内銀山
横堀　湯沢　院内ヨリ峠下羽前新庄ヨリ岩手道　言語同断
保呂羽　横手　新庄ヨリ岩手道
高尾山　岩手山　刈和野　以下水沢街道
神宮寺　花立　大曲
六郷　厨川　金沢

駒岳　温泉　小杉山　八郎潟　男沢沼トモ
角館　陸中岩手道　庄保内　同上　田沢　同上
上檜内　八森銀山
戸鳥　境
太平山　杜吉山　陸中ニ跨ル　矢立嶺　陸奥ニ跨ル
国見嶺　寒風山　新山
本山　真山　鹿角山　陸中ニ跨ル
東院内　篠館　久保田　一名秋田

皇國地名箋　羽後　九十九

土崎湊　大久保　蚶川
高清水　大川　鹿渡
杜罟　久保田以下三馬屋道　荷揚場　小繋
今泉　綴子　河口
大舘　釈迦内　沢尻　一ノ関道
白沢　荷揚場以下津軽道　沢尻　一ノ関道　岩崎
男鹿島　蝙蝠窟　八郎大浮　八郎浮ト唱フ
阿仁金山　七崎港

馬瀬山　森山　盛山トモ　池臺山
八森銀山　檜山　以下青森道　寉形
飛根、　能代　岩館
大田内　大沢

○

御物川　戸島川トモ　水源雄勝郡ニ発シ角館川ヲ納テ久保田ニ至テ海ニ注ク　田沢川　八郎浮ニ発シ角館川ニ合シ戸島川ニ入ル
角館川　駒岳ニ発シテ戸島川ニ入ル　新川
野代川　陸中鹿角郡ニ発シ能代港ニ至テ海ニ注ク　四十八川

皇國地名箋　羽後　百

早口川　岩瀬川
矢島川　最上郡ノ鬼ニ発シ西北ニ流レ本庄ノ北ニテ海ニ注ク　古雪川
坂田川　最上川ノ一名
米　生絲　真綿　秋田織　献織
八丈縞　白鳥織　狸織　塗物　材木
鐵鍋　菜種　蕨粉　干蕨　蕨紙
秋田款冬　黒柿　紫艸　鹿皮　串鮑
海鼠　八目鰻　石脳油

北陸道　七ヶ国

若狭　三郡

遠敷　大飯　三方
青羽山　青井山　田名嶺
高濵浦　青戸入江　本郷　高松以下小濵道
笠原　川上　大飯　笠原以下丹州山家道
青戸ノ入江
上林嶺　千坂越　以上丹波道　多太山　多田山トモ

三方

後瀬山　中村　上根凝
小濱　遠敷（江州今津道）　日笠（同上）
若狭浦　唐船島　三方湖
御神山　常神岬（社）　三方湖
三方　氣仙　佐垣
左田（三方以下敦賀道）　丹生浦　上瀬社
機織地　粟薑

○

皇國地名箋　上　若狭　百十

櫃川（越前ノ界ニ発シ三方湖ニ入ル）　北川（丹江ノ界ニ発シ井ノ川ト為テ湖ニ入ル）
井ノ川（北川ノ下流）
厚紙　筆　漆器　木履　桐油　楊枝
苧　白昆布　熊川葛　黄蓮　海苔
和布　松魚　小鯛　蒸鰈　鰻鱺

越前　八郡

敦賀　南條　丹生（ニフ）　今立（イマタテ）
足羽（アスハ）　大野　吉田　阪井（サカ井）

ナンテウ

荒乳山（近江ニ跨ル）　角鹿山　木ノ芽嶺
手筒山　矢田野　水島
常宮浦　敦賀（浦港驛歷）　氣比社（浦　国幣中）
山中　駄口　疋田（山中以下近江海津ヘ出ル）
湯川（福井道）　蓁原（同上）　金嵜
万幡
横山　鹿蒜山　湯尾嶺
五幡坂　芋ヶ平　河野

皇國地名箋　上　越前　百十一

二屋　今庄　湯尾
鯖波　脇本（二屋以下福井街道）　板島（江州ヘ出ル北国道）
燧　杣山　河野
日永岳（社）　愛宕山　蠅干嶺
塗見　麻生
丹生山　白鬼坂　今宿（福井道）
鯖江　府中（福井道　武生ト云）　宿浦
三嵜　一乗谷　瓜生

イマタテ　ニフ

北庄　福井　淺水
舟橋 福井以下北国道　大味浦 三国街道
大日山　別山　西ケ岳 ニシカタケ
大野　勝山　平泉寺
市原 長瀞ニ出ル　野原 勝山ヨリ白山道　千手瀧
不動瀧　白山温泉
黒谷　永平寺 曹洞派本山　丸山 勝山ヨリ向山道
竹田　燈明寺

丸岡　長崎　金津
細呂木 長崎以下北国道　松蔭 三国街道　三国港
唐人防岩　吉崎 御坊　小島
鷹巣　蓮浦
○
白鬼女川 近江ノ界ニ発シテ九頭龍川ニ合シ海ニ注ク　足羽川 福井川 淺水川トモ 界ノ谷ニ発シ白鬼女川ニ合シ海ニ注ク
日野川　帰川 鹿蒜山ニ発シ今泉ヨリ流レ合
鹿谷川　九頭龍川 何橋川 黒竜川トモ 東ヨリ発シ西北ニ流レ海ニ入ル

米　奉書紙　鳥子紙　素麺　生絲
真綿　紹　紗　絹　紬　縞布　割織布
蚊帳　蓑　雲丹　茶　蝋燭　漆　麻
葛粉　甜瓜　小荷駄馬　熊胆　岩茸
香茸　和布　心太草　鱈　鱒　海鼠
烏賊ノ黒作　砥　硝子石

加賀　四郡
江沼　能美　石川　河北

牛首　地獄　手塚山
大聖寺 温泉　立花 北国道　一ノ瀬
作見 北国道　動橋 同上　山中
大内 以上二所勝山道　粟橋　蓮池
竹浦　篠原　山代温泉
山中温泉　塩屋浦 燈臺
三田山　手取山　佛ノ原
木葉潟 木場潟トモ　今井潟 今江潟トモ　月津

小松　寺井 月津以下北国道　安宅 濱道
湊 同上　掛橋　粟津湯
白山 国幣小社　釈迦岳　大巳貴岳
妙法山　剱岳　笈摺岳
大日山 越前ニ跨ル　亀岳　雲竜山
轂岳　サラ山　風嵐山
尾曽根　中宮温泉　湯涌
新谷　木滑 尾曽根以下金沢ヨリ白山道　下折

金沢 石川縣廳アリ　剱 金沢ヨリ白山道　泉寺町 同上
水島　柏野　松任
野々市 水島以下北国道　金岩 旧宮越大野ノ二區　富樫
大乗寺　本誓寺
二王山　三国山　内高松潟 河北潟ノ
八田潟 内高松潟ノ内　一乗寺　竹橋
津幡　森下 竹橋以下北国道
○

菅生川 一ノ瀬ノ山中ニ発シ蓮池ノ浦ニ入ル　動橋川 山代ノ山中ニ発シ柴山潟ニ入ル
津幡川 三国山ニ発シ内高松潟ニ入ル　安宅川 梯川ト称シ山中ニ発シ安宅ヨリ海ニ入ル
犀川 二王山ニ発シ内高松潟ニ入ル　轂部川 亀岳ニ発シ西流シ海ニ入ル
鉄鎖川 犀川ニ同シ　森下川 医王山ノ山中ニ発シ内高松潟ニ入ル
米　光絹　綿　撰糸　真綿　杉原紙
菅笠　赤繪陶器　木地類　畳表
象眼彫　皷皮　手綱　鐙　扇子　茶
菊酒　落雁　大蛸　烏賊魚　鰤

熊胆　切石
能登 四郡
羽咋　鹿島　鳳至　珠洲 スヽ
宝来山　羽咋潟　河尻
一ノ宮 氣多社国幣中　阿武屋　福浦
味守　今濱
古城山　石動山 越中ニ跨ル　宝達山 同上
薄香嶺 同上　七尾 所口トモ　能登島 島地トモ

佐渡　大木　排浦
金丸浮 羽咋浮ノ内　味守
高爪山　凰至　輪島 港
河合　小田屋　部倉島
天坂　宇出津 巷　由井
総持寺 [illegible]洞派 出世ノ道場
山伏山　時国　七島 能登島山ナヒ
珠洲岬 能登岬トモ　正院　飯田

皇國地名箋　上　能登　百七

蛸島 巻　白丸 四郎丸トモ
○
鳳至川 丸山ノ山中ニ発シ輪島ニ至テ海ニ入ル　大海川 加州ノ[illegible]ヨリ発シ北海ニ注ク
子浦川 宝泉山ニ発シ大水浮ニ入ル　宝達川 越中ノ界ヨリ発ス
漆器　銅器　素麺　真珠　鮑　海鼠腸
烏賊ノ黒作　海鼠　江豚筋　心太草
越中 四郡
砺波　射水　婦負 婦負　新川 ニヒカハ

三国山 加能越ノ界　栗殻岳 加賀ニ跨ル 不動八幡　源氏峯
宝坂嶺　黒坂山　砺波山
水無嶺 飛騨ニ跨ル　水無池　城端
小俣　福光　庄
往井　西赤尾 以上ハ美濃ヘ越ル道ナリ
今石動 高岡道　一ノ岡 同上　三戸野
二上山　室津山　薄香嶺 能登ニ跨ル
石動山 能登ニ跨ル　高岡 北国道　田中 同上

皇國地名箋　上　越中　百八

脇村　氷見　伏水 新港ト云
大渡　下村 脇村以下富山ヨリ能登道　名湖浦
加羅島　窪浮 水見浮トモ　放生津
籃渡　高尾 飛騨道　加賀沢 以下高山ノ
蟹寺　牛増
立山 タテヤマト云　剣岳　別山
薬師岳　金剛堂山　浄土山
松倉山　天神山　佛岳

朝日山　㯃木谷　剱獄
黒川　富山　湯川
美女杉　短才坂　伏拜
中津原　室堂　湯川以下冨山ヨリ信州松本ヘ越ル道
篠津　岡掛　以上二所高山道　東岩瀬　能登道
水橋　東西アリ　滑川　魚津
蒲山　舟見　三日市
入膳　横山　堺町　水橋以下越後ノ道

舟橋　称名瀑　虹ノ瀑
合本橋　立山温泉　小川　同
大牧　同　山田　同

○

射水川　荘川ト小股ノ山中ニ発シ雀潟ヨリ海ニ注ク　千保川　砺波山ニ発シ大門川ニ合ス
大門川　飛弾ニ発源シ岩瀬端ヨリ海ニ注ク　神通川　飛弾ニ発源シ冨山ヨリ海ニ入ル
鼬川　常願寺川ノ支流　常願寺川　白山ヨリ発源ス
上市川　同上　滑川　同上

早月川　同上　門川　四十八瀬　同上
片貝川　同上　布施川　同上
黒部川　白山ヨリ発源ス　色波川　同上
小川
米　半紙　生絲　真綿　蚕種　五郎丸
八講布　木綿　染地　反物　銅器　漆器
茶　賣薬　疊表　蓮　旱藕麩　熊胆
麞　鯣　鱈　干鰯　鰤　払石

越後　七郡
頸城　古志　三島　刈羽
魚沼　蒲原　岩船
焼山　火山　橋立山　戸倉山
大沢岳　雨飾山　鉾岳
鮫尾山　阿弥陀山　妙高山
天水山　五智山　駒岳

大明神嶺　島屋峯　米山
赤倉山　春日山　若菜山
市振　親不知　外浪
宇田　遠瀬　糸魚川
鍛冶屋敷　能生　名立
有馬川　長濱　今町湊
春日新田　黒井　斤町
柿嵜　鉢嵜（以上北国道ノ駅）　清嵜

中洞　山口　根地（清嵜以下糸魚川ヨリ信州松代道）
高田　荒井　二本木
松ケ嵜　関山（温泉）　二俣
小田切　関川（以上高田ヨリ信州松代道）　柏包
岡田　番町　鼠島
上野（柏包以下高田ヨリ信州飯山道）　鉢嵜　渋抑野　国分寺
大所銀山　糸魚川金山　大平村硫黄山
駒帰　曰ヶ濱　直江浦

黒姫山　八石山　亀割坂
米山薬師　佐藤池　鯨波（以下）
柏嵜　荒濱　宮川
椎谷　石地　出雲嵜（以上青森道）
妙法寺（火井）　照田　関原（妙法寺以下柏嵜ヨリ[illegible]道）
北条　塚原　花貝
駒ケ岳　大明神山　苗場山
清水山　坂戸山　白峯

捻岳　御月山　中ノ岳
秋山　赤沢　芦沢
水沢　川口　堀内
浦狭　五日市　六日市
塩沢　関　湯沢（温泉）
三俣　二居　浅貝（川口以下高嵜及ヒ沼田道）
小知谷（上ノ市）　十日町　芦嵜
赤沢（小知谷以下長岡ヨリ信州飯山道）　小出島

皇國地名箋　上　越後　一百十三

杉村 温泉　下倉
朝艸山　守門岳　數掛山
御所山　小倉山　長留
新町　須吉　軽井沢
一貝　大白川 以上沼田道　六日町
妙見 新町以下長岡ヨリ高崎道　見附　長沢
門出　吉平 以上岩代若松及ヒ沼田道
閑上山　赤佐浮　山田

寺泊　与板 塩井 火井　地蔵堂
高根室山 羽前ニ越ル　弥彦山 一宮 [illegible]　鎌倉浮
鎧浮　白蓮浮　鳥屋浮
福島浮　塩津浮　弥彦
岩室 温泉　赤塚　新潟 港 縣廳
沼垂　松嵜　次第濱
築地　桃嵜 弥彦以下青森道　曽根
白根 以上二處新潟ヨリ寺坂道　亀田　沢海

皇國地名箋　上　越後　一百十四

分田　水原　保田
荒町　新発田　中島
茶屋　柄目木 [illegible] 中島以下新発田ヨリ村松道
芝田　新津　五泉
小坂　田上 湯田上温泉　加茂 以上新発田ヨリ長岡道
村松　黒水　三日市
鍛冶　中条 三日市以下新発田ヨリ村上道
五十巻　山内　赤谷

綱木　茶屋 以上若松道　五十公野
小島 火井 八房楠　三条　如法寺 火井
小須戸　佐々木　八重
善照寺　太子堂
大利岳　上旭山　高根山
岩船 港　瀬波 港　村上
猿沢　塩町　武動
大沢　中村　黒川沢

中沢　大股　小股
小名部　田中　大川 以上青森道
平　黒川 石炭油ヲ産ス　大鳥
関　川口　沼 以上米沢道
鉾立岩　牡丹岩　蓬莱岩
粟島　鳥越渡
姫川 水源信州安曇郡ヨリ来リ駒帰ヨリ海ニ入ル　関川 信川野尻湖発源ス

信濃川 犀川筑摩川ノ下流　花津川
五十嵐川 下田郷股[illegible]ヨリ新潟ニ出テ海入　阿賀野川 岩代若松猪苗代湖ヨリ流ル
渋見川 野尻湖ノ下流　佐内川
悪田川　矢代川
縮布　カスリ縞　五泉平　精好酒
栃尾紬　紙　苧麻　蠟　油粕　漆
漆器　銅器　八房梅　三度栗　茶
煙草　旱藕　胡桃　白兎　鮭

ハモ

鱈　鱒　八目鰻　大鰻鱺　針千本
雪海苔　蔓藻　石脳油　熊
佐渡　三郡
羽茂　雑太　賀茂
金山　十八坂　城山
高崎　二見港　小木浦港
沢崎　赤岩　赤泊港
腰細同　松ヶ崎　尾戸港

カモ

深浦港　宿根港　野浦港
金北山　二岳　上杉山
経塚山　夕暮山　四十八瀧
水津港　夷港　白瀬港
浦川港　鷲崎港　二亀岩
大野亀岩　羽丹生港　大川港
高下港

サハタ

檀特山　金剛山　相川縣廳

羽田　春日嵜　一里岩
沢根 港　二見 港　沢嵜 港
○
二ッ瀬川　国府川 二瀬川ノ下流
石花川　石田川
瑪瑙細工　鋳物　裂織　レナ布
箱細工　苫　藁細工　干物　葛粉
柿　榧實　旱藕　細辛　黄蓮

蒼朮　雪海苔　ツルモ　海豚　鮫
鯣　鮑　針千本　白兎　竹

北海道

当道未タ明細ノ書ヲ得サルヲ以テ其ノ大略ヲ記ス他日確定ノ書ヲ得ルノ後之ヲ改ムベシ

渡島　七郡

亀田　茅部　上磯　福島
津軽　檜山　爾志
河汲嶺　江差岳　鉛山

駒岳 内浦岳トモ　黒瀧山　茅守山
烏帽子岳　屋弁加岳　佐々山
見日岳　冷水岳　御鉾岳
中歌山　七岳　八岳
知内岳　仙見山 千軒岳トモ　恵山
葛岳　尖岳　恵直嶺
安奴流川　有川　知内川
喜古内川　野田老川　落部川

濁川　乙部川　中ノ川
大沼　小沼　白神嵜
矢越嵜　野嵜　銚子嵜
汐首嵜　恵散嵜　脛子嵜
砂嵜　松屋嵜　尾花嵜
松前　及部　根森
大沢　荒谷　炭焼沢 松前以下津軽郡
禮髭　吉岡　宮野歌

白府　福嶋　知内
陰内以上フクシマ郡　木古内　札苅
泉沢　釜谷　三ッ石
當別　茂辺地　富川
三ッ谷以上上イソ郡　辺切地　大野
一ノ渡以上亀田郡　柳原　鷲ノ木
落部　野田老以上茅部郡　小砂子
石嵜　塩吹　木野子

上国　江指　泊
田沢　伏木戸　桃花魚川以上檜山郡
乙部　小茂内　大茂内
突府　三ッ谷　蚊柱
相沼内　泊川　熊石以上尓志郡
大島　小島　鴎島
鮭　鰹　鯖　鰑　雑魚　昆布　煎海鼠
鮑　海獺

後志　十七郡
久遠　奥尻島ナリ　太櫓　瀬棚
島牧　壽都　歌棄　磯谷
岩内　古宇　積丹　美国
古平　余市　忍路　高島
小樽
大田山　天狗岳札幌岳チナビ　太櫓山
黒岳　岩内岳火山　後方羊蹄岳膽振ニ跨ル

徳猪恩別山　雌岳　余市岳
和束桜岳余市岳ツキ　古平岳　雄岳
混保山　苅場山　盤嘴岳
流沙岳盧遮　突布岳　勇拉岳
鍋岳　哥棄岳　笠佛岳
尓部志内岳　實内岳　積丹岳
千勢根尻　伊勢鉢岳　本目岬
漆器岬　辨慶岬　棟内嵜

御神嵜　雷電嵜　臼川
太櫓川　利川年別トモ　珠月川
壽都川　後志川　尻深川
余市川　小樽川　尾平川
縄川　岩内川　火串川
壽築　白糸滝　蚊志田
夏泊　雷岸　茶師内
糠森　島小牧　黒松内

鯖　鮭　鱈　雑魚　帆立貝　煎海鼠
鮑　水豹　硫黄　アツシ　類衣

石狩　五郡

石狩　札幌　夕張　樺戸
空智　雨龍　上川　厚田
濱益
石狩岳　夕張岳　札幌岳
阿曽岩岳　黄金山　岩老山

アノロ岳　空知岳　比別岳
老井山　別刈山　暑寒別山
筑別岳　勇仁岳　雨龍岳
志別岳　丹根湖　良運湖
十府羅志内　紗幌　孟来
忍寄子　扱蛭　石狩川
空知川　雨龍川　竹別川
夕張川　江別川　札幌川

札幌社　官幣小
鮭　羆　熊　鹿　狐　鷲　アツシ

天塩　六郡

増毛　留萌　苫前　天塩
中川　上川
天塩岳　本天塩山　流別山
空茅山　風根尻　鴨居山
汁取岳　散鰊山　炊稲岳

江谷新山　諸千川岳　乇斗山
幌知岳　天塩川　猿太川
羽幌川　内太川　古丹川
留萌川　歛淵川
焼尻島　天賣島
鮏　鯖　鱈　鱒　雜魚　鮑　煎海鼠
昆布　鷲　狐　アツシ
北見　八郡

宗谷　利尻島ナリ　禮文同上　枝幸
紋別　常呂　網走　斜里
由和布岳　祖父山根室ニ跨ル　斜里岳
初吹山　幌内山　有来牛山
斜末木岳　音根山　辺烏山
頸川山　千勢根山　千登蟹牛岳
阿茶流標山　乇斗山
知床岬　野捕岬　納沙布岬

延巳岬　宇延納岬
渺潮浦　諸骨川　猿払川
緹川　斜里川　網走川
勇川　常呂川　透川
網走湖　遠笛湖　藻琴湖
朱文湖　猿払湖　年別湖
遠淵湖　野捕湖
鯖　鮭　鱒　雜魚　煎海鼠　鷲　鹿

アツシ
膽振　八郡
山越　数田　有珠　室蘭
緹別　白老　勇払　千歳
蟹寒山　閑蘭峯　熊根岳
勇払岳　胞牛岳　止氣岳
散斑岳　小谷轉岳　鯱雪岳
沼見嶺　臼岳　今里鞠布岳

沼振別岳　白老岳　敷宇岳
室蘭岳　星氣散平山　善散平山
屈岳牛岳　福志岳　樽舞岳
混仁岳　禮文嶺　幌内岳
江庭山　逆谷川　於骨内川
勇拉川　於砂万辺川　於沙流別
幌川　敷宇川　白老川
蛇体川　臼川　別川

皇國地名箋　十上　膽振　百廿五

勇拂川　厚間川　六川
江巴岬　醜津湖　箙津湖
履岳湖　善光寺瀧　帯罌粟
巻古丹　千府岳内　部志保久
鷲別　黒松内　江直
撫木　蕨臺
鮭　鰯　鯡　雜魚　煎海鼠　帆立貝
膃肭臍　羆　熊　鹿　狐　アツシ

日高　七郡
沙流　新冠　静内　三石
浦河　様似　幌泉
浦色式岳　沙流岳　糠平山
式子岳　淘部志別岳　波伊山
藻岩岳　家内岳　尖岳
羆岳　幌尻岳　珍湯岳
沙抹氣岳　渋茶利岳　蚊樫止岳

皇國地名箋　十　日高　百廿六

宇遠比目岳　横岳　愛太作岳
下目串岳　青山　當拂岳
猿太川　紋川　美扑川
厚川　渋茶利　三利川
武庫川　幌川　襟裳岬
藻岩　千縫　幌居
鏢太奴月　義經社
昆布　鯡　鮭　煎海鼠　羆　熊　鹿

狐　アツミ

十勝　七郡

廣尾　當縁　十勝　中川
上川　河東　河西
獵虎岳　神岳　鶚色岳
目室岳　竿呂岳　奴茂部辺岳
島府牛岳　十勝岳　殖辺散花岳
利薫川岳　夕谷山　薩内岳

猿拂岳　熊根尻　結荷岳
遠川岳　部川岳　獵虎川
減舟川　當縁川　十勝川
千歳節川　茂當川　年別川
勇當川　美幌
鯖　鮏　昆布　羆　熊　鹿　狐
アツミ

釧路　七郡

白糠　足寄　阿寒
網走　川上　釧路
雌岳　雄岳　厚岸
摩周岳　黎薫別岳　久摩岳
盤螺山　阿寒湖　西別岳
麻周湖　當路湖　久摩湖
諸呂々川　久摩川　阿寒瀑
恩別川　部寒拍子川

大黒島　牡蛎島　千宝寺
昆布　鮏　鯖　鮫殼　煎海鼡
羆　熊　鹿　狐　花錦鼡　鷲
蒲蓬　アツミ

根室　五郡

花咲　根室　野付　標津
目梨
千世根岳　天薫別岳　寒地牛岳

部屋牛岳　納沙布岬　野付岬
由瑠璃島　萌瑠璃島　艫尻島
大時島　秋路島　紋藻尻島
勇留島　春刈藻尻島　藻尻香島
板標津島　散藻尻島　四時谷島
志發島　多樂島　醜丹島
恩根湖　風蓮湖　標津川
宇遠川　丹根川　忠類川

意地止川　恩根荷縫川　小太糠川 以上利尻モ川ト云
西川　小糸川　伊茶米流
小丹糠　薫根川　無川
忍路骨
鯖　鮭　鱒　海鼠　水豹　海獺
黒狐　羆　熊　鷲　アツシ

千鳥　五郡

国尻　擇捉　振別　紗那

蘂取　黒智岳　山根山
火打山　登伊床山　祖父岳
連府山　野枝岬　蹄井屋岬
毛室井岬　鵡刈有山　来麻臺山
跡投山　禮古部山　佐周岳 火山ナリ
萬刈山　越谷火山　芸取岳
散粒岳　藻寄岳　志由麻山
露荷岳

知津刈山　乙今山　愛谷岳
藻尻葉岳　幌津岬　黒鴾白千子岬
當縁沼　幌當沼　芸取沼
年永湖　部戸淵湖　刹鬼別瀑
泊　標津　内保
取釜部　和津槵　有永
當古部　那余米　途淵
當沸　瓜洲迫門　賣粒島

岩有岬　信野津岬　武宇亙迫門
廉留島　志安迫門　摺頓迫門
羅紗輪島　撫紗迫門　待岩島
姑老に迫門　流夜須古丹島
加林古丹島　世須止伊迫門
恩根古丹島　火矢地迫門　餡吹鳥芭迫門
幌莚島　屈取吉利迫門
春珠島　吉利留迫門

鮏　鯖　鰯　鱒　煎海鼠　獺虎
水豹　羆　熊　狐　鷲　アツシ
樺太　唐太　庫頁　薩哈連
白主　富内　白濇　小實
荣濱　鵜代　幌泊　楠内
名芳　函泊　越外　苗淵
田肥　真縫
饗路布山　[illegible]牛岳　宇遠岳

白主山　小児山　恩涑山
登穂山　古江山　平周取山
宇留山　唐牛山　哥香山
當古丹山　留高山　平ホ血鹿山
田肥山　新名牛岳　路禮山
犬牛内山　小西川山　夜牛椰子山
幌登　宗志山　千代馬山
哥釧幌内山　古丹濇山　新紗待山

名寄岳　朱土井山　利運内山
野龍山　諸狩山　勢田平山
天牛辺山　石丹山　突岨岳
當畿山　平松手鹿山　伊更山
良市名鹿山　幌鈹山　畿登志岳
歴脊床岳　畝恵古存岳　上尻岳
瀬凝岳　安巴舞岳　珠々山
知床岬　真知床岬　白主岬

突岨岬　泼冷岬　鞠阿岬
鵞紫岬　辨部岬　野手岬
本湖　知部紗仁湖　輪淮湖
富内茶湖　盤香湖　幌内湖
縫江湖　茶江湖　雷血鹿湖
辨連戸湖　烏藥湖　敷鹿川
汁取川　新追川　真縫川
鷺毛川　縫鵜川　幌古丹川

護幹川　幌内川　亜尓華湾
鉢履湾　鵞小門　和歹
後戸　輪苶　本庄
有奴郎　子丹岸
小六子人　統連人　肉分人
鯖　鱒　鮭　昆布　煎海鼡　帆立貝
水豹　海獺　鷲　狐　馴鹿　麞

地名箋卷之終

〔クハタ〕

大日本地名箋

山陰道 八国

丹波 六郡

桑田　船井　何鹿　多紀

氷上　天田

大江山 山城ニ跨ル　天孫嶺　畑山

唐櫃越　能見嶺　鳥井嶺 摂津ニ跨ル

〔フナ井〕〔タキ〕

八田嶺　千歳山　保津山

亀岡 旧名亀山　宍太 観音　本目 以上同国 笹山道

鳥羽 同所ヨリ福智山道　板橋 若州道　出雲社 国中社

外畑　篠村 八幡社

園部　須知　水吞

矢原 以上福智山道　檜山　下関

強盗岩　大原社 狼ヲ神使トス

採山　藤坂山　籾井 笹山道

〔ヒカミ〕〔アマタ〕

福住 同上　笹山　杪子嶺

天王嶺 以上三所摂津ニ跨ル

清水山　小津山　三国山 丹播摂

神表嶺 但馬ニ跨ル　和田山　小野尻

午坂　竹田　小高

追入 竹田以下ノクケ山ヨリ播广道　栢原　石貫

遠坂 以上但馬ヨリ摂津道　国領

上尾嶺　御岳　一万坂

〔イカル〕

生野　福智山　天津

拝師　座田

鬼城　赤見嶺　箕内嶺

上林嶺　屋代嶺　黒谷越

粟峯　高倉山　綾部

山家　海瀬　物部

○

保津川 伏見峠及ヒ陸宿峠ニ発シ山城ニ入リ桂川トナル　久下川 氷上郡ニアリ笹山ノ東ニ発シ播广ニ入リ大川トナル

福智川 丹後由良川ノ上流 上林川 何鹿郡ニアリ末ハ福智川ニ入ル
弓削川 保津川上流 和智川 船井郡ニアリ末ハ福智川ニ入ル
大蜘川 左治川 神表峠ニ発シ久下川ニ入ル
豊富川 土師川 天田郡ニアリ
棚野川 高屋川
蘭表 大豆 小豆 綿 金山 木綿
太布 陶器 杉丸太 蕨粉 葛粉
氷蒟蒻 烟艸 山椒 栗 木賊 榧

皇國地名箋　下　丹波　三

〻〻 蜂蜜 蝋 五倍子 石灰 燧石
金剛沙

丹後 五郡

加佐 與謝 中 竹野
熊野
建部山 屋代嶺 大舟嶺
名拝山 普甲嶺 由良ケ岳
千丈ケ岳 松尾山 若狭ニ跨ル 由良 港

川尻 田辺ヨリ宮津道 中山 同上 舞鶴 旧名田辺港
白滝 市場 松尾 由良以下宮津ヨリ若狭小濱道 又観音
倉見 舞鶴ヨリ丹波福知山道 河守 同上
大江山 三谷山 神路山
北向嶺 長尾嶺 鼓岳
足占山 成相山 セイリウジ山トモ [illegible] 真名井原
座頭轉 七曲 黒嵜
穴文殊 大皷濱 五色濱

皇國地名箋　下　丹後　四

琴弾浦 玉ノ浦 経岬
浦島 水ノ江 鷲岬 伊根浦
天橋立 與謝海 阿曽海
籠神社 国中社 切戸文殊 毛島
乙島 沖島 鐘搗島トモ 内宮
外宮 粟田 宮津 港
岩瀧 引木 濱道 二世川 宮津ヨリ福智山道
加悦 佛谷 以上二所宮津ヨリ出石道

御坂嶺　長岡　御坂

峯山　三家（峯山以下但馬道）

大智嶺　巾濱港　竹野社

間人村港　夕日港　同浦

久美濱　袖志村港　上日港

布袋野　橋爪

○

由良川（丹波ヨリ来リ由良ヨリ海ニ注ク 俗ニ八千八川トモ云）

淺藻川（竹野川ノ一名ナリ）

佐野川（但馬ノ界ニ発テ西北ニ流テ海ニ入ル）　倉椅川

宮川（内宮ノ奥ニ発テ由良川ニ入ル）　竹野川（但馬ノ界ニ発テ北流シテ海ニ入ル）

田辺川（丹波ニ発ル舞鶴ヨリ海ニ入ル）

撰糸　縮緬　紋縮緬　綾織　丹後縮

紬　大杉原　葛籠　漆　櫨蠟　烟艸

蜂蜜　桑椚　神代杉　小豆　心太草

海雲　鯣　鰤　海苔類　硯石　金剛沙

但馬　八郡

朝来　養父　出石　氣多

城崎　美含　二方　七美

生野銀山（以上豊岡ヨリ）　朝来山　和田山

竹田（生野道）　梁瀬　白井（以上同所ヨリ八鹿道）

物部　蹈鞴木

中瀬銀山　妙見山　延明銀山

高田（豊岡ヨリ姫路道）　網場

入佐山　出石　岩嵜

山下（出石ヨリ福知山道）　大谷（同上）　藤杜

久畑　大河内　出谷（藤杜以下丹後道）

袴坐　出石社（国中社）

川瀬銀山　檀銀山　三原

松岡　竹貫　田結嶺（丹后路ニ）

来日山　石山

津居山港　結浦　二見浦

後ヶ島　豊岡（縣廳）　城崎温泉（湯島トモ）

森津　氣比　金剛寺
久斗山　余部岬　丹生港
訓谷　集人
加茂峠　七曲峠 共ニ因幡ニ跨ル　雪濵 雪ノ白濵トモ
鬼門岬　濵坂港　諸寄港
釜口山　居組港
氷山嶺 因ト界ス　村岡　福岡
大久保　日數

○
城崎川 豊岡川トモ　湯嶋川 城崎ニアリ
佐野川 氣多郡ニ発シ城崎川ニ入ル　出石川 丹波丹後ノ界ニ発シ城崎川ニ入ル
氣多川 氣多郡ノ北陸ニ発シ城崎川ニ入ル　朝来川 播ノ及ヒ丹波ノ界ニ発シ城崎川ニ入ル
矢田川　養老川 七美郡ノ奥水当郡ニ成テ海ニ注ク
諸寄川 ナ一郡ノ衆水ヲ北ニ向テ駐下海ニ注ク
生絲　撰糸　真綿　綿　縮　緬　紬
藤布　苧麻　蘓　牛　陶器　縫針

紙　村岡絞紙　葛籠　柳行李
粂細工　麦藁細工　烟艸　蜂蜜　蕨粉
蕨縄　甘艸　城ノ崎海苔　瀬戸海苔
朝倉山椒　神代杉　珊瑚珠

因幡 八郡
岩井　法美　八東　知頭
八上　氣多　高草　邑美
東銀山　蒲生銅山　湯山池

浦住　温泉町　細代港
因幡山　宇倍杜 国幣中社　桜谷
山根　上池　湯本
楄井　安井　徳丸
討来　若桜 以下但馬村岡道　吉川
落折　花原
馬荒鹿坂　知頭 作州津山道　鷹
野原　駒帰 知頭以下播州姫路道

四角嶺　鹿野　袋原
水谷　徳谷町　用ケ瀬　津山道
河上　船岡　水谷
鷲峯山　日光池　田原
鹿野　青谷　米子道
小山池　青島　濱内嵜
加笛港 社　母里　吉岡 温泉
尾嵜　竹生

皇國地名箋　下　因幡　九

鳥取 縣廳　吉川　国安
鳥島 一　海士島

○

加留川 二国ノ叡水會合ノ北ニ駛テ海ニ注ク　千代川
若櫻川 播ノ界ニ發シ流 白川ニ入ル　袋川 加白川ノ上流ヲ美作ノ界ニ發源ス
生絲　白絹　麻絹　綟子　木綿
生布　栈木　苧麻　鋤　蓑　菅笠
疊表　骨柳　茶　柿蠟　雞卵　梅干

栗　竹　葛粉　茯苓　五倍子　埋木
鯣　干鰯　丸鮑　鰻　温石　燧石
伯耆 六郡
河村　久米　八橋　汗入
會見　日野
人形山 美作ヘ跨ル　天王坂 同上　鳥井嶺 同上
坊主嶺 同上　四角嶺 因幡ヘ跨ル　松嵜
美徳山　倭文社　宍鴨

皇國地名箋　下　伯耆　一一

本地山　本泉　吉原
泊港　東郷池 東江トモ　長瀬
蛭山　湯関 温泉　倉吉
吉川　四十曲
多根　上伊勢　八橋
赤塚　今市　八橋野
妻波　野中倉
大山 大神山トモ 国小社　鍋山　能見山

瓦山　逢坂　淀江
日原　本宮
舟上山　新山　二部嶺
四十八森　外江　米子
山市場　名和浦　市橋
境村港　切抗
沓掛　坂屋原　根尾
溝口 沓掛以下作州真島道　木谷 以下備中道　黒坂

皇國地名箋　下　伯耆　十一

生山 以下備後道　九塚

○

橋津川 因幡及ヒ美作ノ界ニ発シ長瀬ヨリ海ニ入ル　箆津川 美作ノ界ニ発シ北海ニ入ル
甲川 同上　挊田川 同し
荒井川 同上　胃川 同上
天神川 同上　阿弥陀川
日野川 備中備后ノ界ヨリ発シ東北ニ流テ海ニ注ク
繰綿　木綿綛子　麻絹　畳表

稲扱　炭　白砂糖　干温飩　素麺
椎茸　甘茶　紅花　藍　干瓢　蕃薯
干蕨　人参　熊胆　干鮑　鮑尉斗
干鯛　車鰕　鰑　燧石　硝子石

出雲　十郡

出雲　楯縫　秋鹿　島根
大原　意宇　能義　仁多
飯石　神門

皇國地名箋　下　出雲　十二

寉山　朝山　来成山 天王社
鰐淵山　御嵜山　宇竜岬
日御崎 社 国小社　宇竜港　鷺宮港
慕島　友島　盤島
素娥　築杵 大社 官大社　入南
遥堪　鰐淵寺
十六島 浦

佐田 浦ニ社　秋鹿　古浦
伊野　長野
枕木山　手間山 関山　加賀浦 港
雲津港　三保関 港　千酌
松江 島根縣　錦浦　朝酌
手間　河津
八雲山　八重垣山　揖屋坂
熊野山 社 国中　三日市　湯町 温泉

伊弉河　玉造温泉　忌部温泉
大根島　銅山 出雲郷　石炭山 矢田村
長者原　来海
鳥上山 伯耆ニ跨ル　安来山　八杉
田里　廣瀬　宇加山
袖師ノ浦　富田
簸川上　長瀬原　湯村 温泉
三沢温泉　大谷

三阿加山　琴引山　神石
龍頭滝　都賀　大津
中郷　赤穴
○
簸川 斐伊川ト云備後ノ界ヨリ発シ三刀屋川ト合シ西流シテ宍道湖ニ注グ　井尻川 能義川ノ一名
富田川 仁多郡ノ界ニ発シ北流シ島ニ至テ湾ニ入ル　熊野川 クマノ山ニ発シ揖屋ニ至テ湾ニ入ル
能義川 仁多郡ノ界ニ発シ北ニ流レ口ニ至テ湾ニ入ル　比田川 富田川ノ上流
三刀屋川 飯石郡ノ山中ニ発シテ北流シ西海ト宍道湖ニ入ル　古志川 石見ノ界ニ発シ北流シ海ニ入ル

神門川 飯石郡ノ界ニ発シ西北流シテ海ニ入ル　来待川
宍道湖 松江湖ト云　神在湖 神西湖ト云
紙　椿艸　桐油　木綿　扱苧　瓦
陶器　瑪瑙細工　塩　黄蠟　白蠟
蜂蜜　干魚　丸鮑　串貝　鯖　鰤
人参　茯苓　十六嶌海苔　瑪瑙
石見　六郡
安濃　迩摩　邑智　那賀

美濃　鹿足
三瓶山　言永　河合
志学　酒谷　大浦
羽根湖　物部社 国幣小
銀山　宅津　迩摩
温泉津 港　西田　萩原
萩町　久利
中野 以下濱田ヨリ安キ廣島道　市木　久喜 以下安藝吉田道

皇國地名箋　下　石見　十九

大林　百石　長沢
星高山 山トモ　濱田 縣廳　江津 以上二道出雲大社ノ道
今市 濱田ヨリ安藝道　江田　宰ノ泊
長濱 港　外浦　瀬戸島 港
戸田港　須津大崎　三隅 周布以下長門萩海道
須津江　周布
脇余　折居
高角山 高津山トモ　茅山　當麻山

雲雀山　津田　益田
小濱 人丸社　廣瀬　飯浦
星坂嶺　大野坂
津和野　日原　枕瀬
星坂 日原以下岩国道　横道 アキ宮内へ出ル
（　）
郷ノ川 江川又石見川ト云フ安キノ国山ガタ郡ニ発シ當国江津ニ至テ海ニ注グ　出羽川 源ヲ大縣ニ出シ東流シ石見川ニ入ル
長原川　市木川 出羽ノ上流

皇國地名箋　下　石見　廿

熊見川 高津川ニ入ル　周布川 アキ界ニ発シ西北ニ向テ海ニ注グ
益田川 美濃郡南部ニ発シ高角川ニ入ル　高津川 源ヲ津和野ニ発シ益田川ト合流シ海ニ注グ當川ナリ
三隅川 那賀郡東南ノ界ニ発シ須津ニ出テ海ニ注グ　木部川 美濃郡ニ有
津和野川 鹿足郡ニ発シ長門ノ界ヲ経テ高津川ニ注　二股川 郷ノ川ノ上流
諸紙　柳蝋　蜂蜜　熊膽　蕨粉
葛粉　香草　三度栗　鰯　海苔類
隠岐 四郡
知夫　海部　周吉　越智

隠　アマ　ヲチ　スキ

島前 三島アリ知夫二島海部一島　島後 周吉越智二郡

知夫里島　中島　西島

焚火山　皷岳　知夫港

浦ノ郷港　波賀島　三田港

島津島 波島トモ　大柱島　竹島

三郎島　文覺島　由良姫社

別府　珍崎　北方

知々井崎　豊田

小杜島　松島

都方 高田ノ社　福浦港　大森島

蔵田　四敷島

大満寺大岳　攅尾山　西郷港

津井　長尾崎　港

府中　沖ノ小島

○

八尾川 周吉郡ニアリ原田ノ山中ニ発シ海ニ注グ　原田川 周吉郡ニアリ原田ノ山中ニ発シ分流シテ海ニ注グ

隣　カコ　ヒカ　ミキ

桐　粱縦板　欅板　推茸　和布

牡蛎　鯣　干鮑　干海鼠

山陽道 八国

播磨 十六郡

明石　加古　印南　飾東

飾西　揖東　揖西　赤穂

美嚢　加東　加西　神東

神西　多可　宍粟　佐用

雄子尾　雌子尾　鳴尾山

引尾山　垂見 以下西海道 海神社界下　明石 浦 人丸社

舞子濱　大倉谷　大久保

長池　西谷　石炭山 中山村

土田　別府 港 手枕松　尾上 松 鐘 別府以下播州道

二見村 港　西條

高御座山　鷹巣山　戸田山

擔笠山　八十石階　印南野

シキトウ

神爪村　曽根　天神社　高砂　港　松山
石宝殿　魚崎新村　港　前山イノ崎　加古川　駅
豆崎　加古川以下西海道　忌方　印南浦
大鹽　陶口
廣峯　須賀社　長彦山　雄山八　弥高嶺
増位山　麻生山　播十小冨十ト七　姫路　飾一驛
御着　西海道駅　飾磨津　飾磨海
鞍掛島　南畝

シキサイ　イツトウ　イツサイ

雪彦山　書写山　観音　山田嶺
中濵　沖ノ投石　男鹿島　播岬
坊勢島　西ノ島　松島
家島　宮浦　青山
風早峯　琵琶山　唐猫谷
新宮　作州津山道　△林田　同　斑鳩　以下西海道　鵤トモ
門前　稍養
金剛山　傾城岳　山伏岳

揖本

室山　港　室津明神　網干　立野
千本　林田ヨリ津山道　正条　以下西海道　片島
寉亀　鉄石
舟坂山　大肖山　白籏山
無蟻山　那波　塩宮　坂越　同
赤穗　目岬　恋濵　七島
大島　有年　西海道ノ駅　西有年村銀銅山アリ　苧縄
赤松　銅山　細倉山

ミキ　カトウ　カサイ　タカ　レントウ

屏風峠　摂津ニ跨ル　高木　三木
淡河　貸潮
清水山　寺　観音　三草　山　市場
△小野　三草以下淡路ヨリ摂州三田道　坂本　姫路ヨリ福知山道
鶉野　法華山　寺　観音　繁昌　三田福知山道ノ追分
金倉山　二宮　野村　福知山道
銅山　豊部村　的場
粟加　豊冨道　△福本　米田　三田道

真弓 豊岡道　杤原
△山崎　△安知 安志トモ　市場 伊和社
大日山　小日山　高倉山
東今峯　三日月 林田ヨリ津山道　△上月 同上
佐用 同上　平福　奇延
春哉　佃蔵

○

明石川 明石郡北陸ニ発シ南流シ海ニ入ル
加古川 瀧野川ハ丹波ヨリ下リ三木賀東西郡ニ発シ合流シテ高砂ヨリ海ニ入ル

金市川 加古川合流ノ東支ナリ
荒井川 同上西ノ支流ナリ
東条川 丹波ノ界ニ発シ西流シ加古川ニ入ル
市川 瀧野川トモ
御後川
正条川 飾路川ハ神東郡ノ北陸ニ発シ分流シ飾路ヲ経テ海ニ入
留部川
安粟川 吉田川ハ又揖西川トモ宍粟郡ニ発シ分流シテ瀬ニ至リ海ニ注ク
有年川 千草川トモ瀬川ハ中村川ハ宍粟郡ノ御形山ニ発シ赤穂郡ノ海ニ入ル
上津川 揖保川ハ伊和ノ南ノ宍粟郡ニ発シ流レテ田ニ至テ海ニ入ル
熊見川 上郡川ノ下流有年川ノ上流
久崎川 有年川ノ上流
夢崎川 青山川トモ宍粟郡ニ発シ海ニ入ル
革細工　塩　焼塩　醤油　酒　晒木綿

綿　高砂染　織帆　足袋　甲掛
陶器　膠　杉原紙　算盤　白蠟　茶
干瓢　甜瓜　素麺　牡蛎　網干海苔
飯蛸　章魚　海鰻　白魚

美作 十二郡

英多　勝南　勝北　吉野
真島　条南条　条北条　東南条
東北条　西々条　西北条　大庭

泉山　土井 津山ヨリ林田道　横川
坂根 鳥取道　筏津　銅山 川北村
勝間田 温泉　湯郷　木地原
新野 林田道　関本
条更山　塩嶽山　弓削 真島ヨリ留山道
福渡 同上　誕生寺　落合
坪井 真島ヨリ留山道　公文　領家
高田 林田鳥取道ノ追分　黒木 鳥取道

人形山
津山　北條縣
二宮　津山ヨリ伯耆八幡道
院庄　同上
奥津　同上
中山社　国中
真島　名田勝山
久世　真島ヨリ宜山道
湯本　温泉
徳山
湯原　温泉
真賀　温泉
赤見山
三国山
鹿田　備中新見道
三鴨　真島ヨリ米子道
新庄　同上
藤森

○

吉野川　吉野郡北隆因備界ニ出テ英田郡ニ入リ梶並川ニ合シ津山川ニ合ス
梶並川　勝北郡同上ニ出テ英田郡ニ入吉ノ川ニ合ス

津山川
暮田川　中津川ノ上流
院庄川　西北条人形山ニ出テ津山川トナル
西川　因備ノ界ニ発シ津山川ニ入ル
河面川　津山川ノ上流
東川
中川
真島川　伯耆ノ界ニ発シ備前ニ出テ吉野川ニ入ル
高田川　因備ノ界ニ発シ津山川ニ入ル
雲齊織
烟艸
石灰
和人参
五倍子
香魚
干白魚
高田石

備前　八郡

御野
津高
赤坂
磐梨
和氣
邑久
上道
児島
十三嶺
大山嶺
天神山
八木山
三石　古城址
片上
伊部　陶器
畠田刪　三石以下西海道
梨木　津山道
塩田　同上
鹿久居島
大多府島　[illegible]
曽島
香ノ島　鴻ノ島
熊山　古城址
西山寺山
虫明　追門

山田
笠賀
牛窓　港
神崎　笠賀以下濱道
長船
長島
前島
大島　尻海村
犬島
藤井　西海道
敕使　同上
西大寺　濱海道
関
皿御所
畠田
那磨
父井
加茂山
須佐井　津山道
白石
加茂　真島道
池田

ツタカ　ミノ　コジマ

建部　金川　大森 岡山ヨリ眞島道
黒瀬　石上社
岡山 縣廳　大島井 西海道　鮎帰
大鳥井　南長瀬　曽根 濱道
瑜伽山　常山　天城
藤戸 渡　浮洲岩　田ノ口 丸亀航海
田浦 同上　下津井　米嵜
六口島　上水島　大槌島

日比　打綱　下村

○

東大川 吉井川ノ一名　吉井川 美作大川ノ下流ニテ兒島灣口ニ注ク
西大川 旭川ノ一名　旭川 逆瀬川トモ眞島川ノ下流兒島灣ニ注ク
酒　醬油　素麪　茶　綿　小倉織
雲齋織　眞田紐　陶器　刀劔
疊表　蠟石　水母　糖鰕　干白魚
章魚　烏賊魚　鯽　藤戸海苔

ツウ　クボヤ　アサクチ　ヲダ

備中 十一郡
都宇　窪屋　淺口　賀陽
下道　小田　後月　川上
上房　阿賀　哲多
深井　早島　羽嵜
鳥羽　神村社
神村山　倉敷 岡山ヨリ福山道　日間山
八王寺　子位庄

直山　冨田　八重村
戸島　大島　竈泊
阿智浮　亀島池　石井池
縣守淵　泊島社　木綿嵜社
黒嵜 岡山ヨリ福山道　下水島　三郎嶌
石目山　神島社　吉田
月出島 嵜　白石島　眞鍋島
新田池 入江　笠岡 小田縣　片島

大高島　大飛島　六島
妹山　二ガ山　小松原
笠原野　石手杜　屋影淵
藤原池　河辺　△富田
矢掛 河辺以下西海道　山田 高梁ヘ道　松尾
忍山　鼓山　岩碕山
八幡山　黒髪山　長良村
石隈橋　△庭瀬　板倉 西海道

皇國地名箋　下　備中　廿七

足守　大井　高田
吉備津社 国中
井山　大村山　□高梁 旧松山
平川 高梁以下真島道　塩壷
剱山　黒髪山　花見山
荷山　塩城　高富杜
永富　△新見　弓弦
刑部 新見以下真島道　銅銀山 田治部ヘ　赤瀧山

弥高山　玉ノ尾山　山ノ井
鏡瀬　玉村　銅山 吉岡
銅鉛白鑞山 小泉村
天神　穴田金山　万歳井
青木　八島　上神代
△成羽　東三条　七日市 西海道
高屋 同　李村　縣主
○

皇國地名箋　下　備中　廿八

高梁川 松山川ノ下流　松山川 英賀真川上二郡ノ衆水所々會シ流テ河辺川トナリ海ニ入ル
成羽川 水源備后奴可郡ニ発シ哲多郡ニテ寄テ松山川ニ入ル　小田川 源後月郡ニ発シ[illegible]川ニ入ル
江原川 矢掛川トモ云 小田川ノ下流　大井川 備前ノ界ニ発シ南流シ板倉川ヨリ海ニ注ク
河辺川 上房郡ノ渓谷ヨリ 窪屋都宇 川上哲多後月小田下道
大高檀紙　杉原紙　小菊紙　生糸
藤行李　疊表　茶　烟艸　塩
水島鰯　硯石　柳行李

備後 十四郡

深津　安那　神石　沼隈
品治　葦田　御調　世羅
三次　三谿　甲奴　三上
恵蘇　奴可
神辺 西海道　須津 福山道　□福山
山野　胡挑　賀茂
長野　川田　酒屋
伊勢山　鞆 浦 港　今津 西海道

細太 観音　渡社 一宮　田島
仙酔島　走島　宇治島
横島　百島　宮内
中島　江尻　有地
私語撫　古府中
尾道 港　三原　向島 富須(?)
院島 東井浦 三庄村　鰯島　大細島
鉛山 小原村　九文

上野山　甲山　小童
古金　在原　四田
三次 以下雲州部賀ニ出ツ　布野　横谷
神部　領家　女田
庄原　高門　春田
森脇　油木
東条　小擦　小串
○

大田川 葦田川ノ下流ナリ　東条川 伯耆ノ界ニ発シ出[illegible]河辺川ニ入ル
三次川 伯耆界及ヒ甲奴世羅両郡ヨリ発シ古見国ニ入リ郷ノ川トナル　田幸川
西条川 [illegible]　神谷川
田房川　阿威川
御調川 [illegible]　葦田川 御調川ノ下流
畳表　縮笠　柳行李　綿　素麺
茶　烟草　雁皮紙　保命酒 鞆町　[illegible]
大根　棘鬣魚　備後沙

安藝 八郡

豊田　加茂　安藝　沼田 ヌタ又ヌマタ
高田　高宮　山縣　佐伯
本郷　溜市　忠海港
瀬戸田島港　黒島 鰕島トモ
寺町　四日市　西條 以上西海道
竹原港　三津港　内海港
川尻港　仁方港　廣村港

阿賀港　風早港　三津口港
御手洗港　大芝島　情島
海田市　府中 以上西海道　戸坂
上深川 以上吉田道　向灘港　三瀬町港 蒲刈島
瀬戸町港　木浦港　鹿老渡港 倉橋島ニ在
蒲刈上島　鹿島 甲島トモ　横島
似島　金輪島
廣島　江波島港　長束

銅山 八木村　光明院
弥山 宮島ノ内　廿日市港　玖波 同
草津 同 以上西海道　嚴島 神社国中 港 宮島ト　片島
大黒神島　大那佐美島
阿多田　宮内 以下西海道　小方
津田 以下雲州ナ道　中通
可部　秋山　桐原
背向山　中山 以下濱田道　本地

筏津　八幡原
吉田　栗屋　銅山 深川村
佛通寺山 石炭ヲ出ス　土師　小越

○

沼田川 豊田郡及ヒ賀茂郡ノ界ニ発シ和田ニ至テ海ニ注ク　戸野川 石見及周防ノ界ヨリ発シ倉橋島ノ裏ニテ海ニ入
入野川　掠梨川 豊田郡ニ発シ後ニ入リ沼田川ト合ス
八木川　大田川
三篠川 三篠トモ　吉田川 山縣郡ニ出テ高田郡ヲ経テ石見国郷ノ川トナル

大竹川
米　諸紙　塩　炭　薪　山蘇　紬　綿
紙袍　木綿　木地類　下駄類　傘
葛籠　竹皮笠　矢野莨　竹　大根
蜂蜜　胡粉　石灰　西條蒲　牡蠣
鯛　目張　廣島海苔　嚴島海苔
麋鹿　蜜柑

周防　六郡

大島　玖珂　熊毛　都濃
佐波　吉敷
甲山　地家室港　仲家室港
小松開作港　大畠　伊保田
日見　戸田　飯山
岩国山　口岩国　小瀬嶺
関戸　玖珂本郷　高守　小瀬以下西海道
廣瀬　大賀岬　麻里布港

桂島　端島　浮島
頭島　八代島　鍋島トモ　情島
大水無瀬島　荷内島　屋島
平群島　牛島　馬島
岩見島　祝島トモ　仙島　粲島トモ　錦帯橋
室津港　室積港　以上渡道　普賢山
象鼻山　水場浦港　上関
金峯　御岳トモ　口徳山　下松

今市　呼坂　窪市
花岡　福川　今市以下西海道　加野
奥大　椛原　加野以下津和野道　一宮　玉祖社
川嵜　富田　平野　川嵜以下渡道
須磨　深浦港　笠戸島港
袷島　仙島　黒神島
大津島　馬島　玉祖社　國小一宮村
佐渡河内　舟坂　仁保　以上山口ヨリ津和野道

富海　宮市 富海以下西海道　三田尻港
四郎ヶ谷港　小田港　小芽港
中関　野島　向島
鉾岩　幸井
天神山　氷上山 氷山　高峯社
山口縣廳　宮野　大海
大道 西海道　小郡 同上　九屋港 岬
赤石嵜　端港　竹島

皇國地名箋　下　周防　二十五

赤岬　陶　常波

○

小瀬川 安藝国ヨリ来リ岩国川ニ合ヒ海ニ入ル　岩国川 安藝及ヒ石見界ヨリ発シ小七川ニ合ヒ海ニ入
錦川 岩国ニアリ　三瀬川 岩国川上流ノ水
大潮川　椨山川
田原川 石見ニ発ス岩国川ノ上流ナリ　吉敷川 長門界ヨリ発シ椹野川ニ入ル
島田川　椹野川 小郡川トモ長門ノ界ニ発シ南流シ海ニ注
徳地川　莊方川

佐波川 長門界ニ発シ南流シテ海ニ注ク　川掛川 都濃郡北郡ニ発シ南流シ富田ヲ経テ海ニ入
周防灘
米　諸紙　陶器　瓦　生蠟　塩　紫菜
縮布　結鹿子　縞木綿　白木綿　薪
石灰　砂糖　漁網　干鰯　相物　砥石

長門　大郡
豊浦　大津　阿武　美祢
見島　厚狭

皇國地名箋　下　長門　二十六

二ノ山　甲山　栗野山
豊浦山　小月　清水
西市　豊浦 旧名長府　鳴戸
下ノ関　赤間関港　肥中 同
特中港　新地港　下津川尻港
福浦港　南風泊港　竹嵜港
伊嵜港　干珠島　満珠島
引島　六連島 燈臺　角島

金伏岩 依標　与次兵エ岩 同　狙 同
蓋井島　川棚温泉　住吉社 国中一宮ナリ
俵山 温泉 旧名猿山　深川 同　正明市
千嵜　中村　東港
久津港　通浦港 青海島ノ内　小田港
青海島　大島
西鳳翩山　一位岳　三見
萩 濱港　大井　那古

皇國地名箋　下　長門　三十七

木与　宇佐　総江
須佐港　江崎　下田方
生雲　笹波　明水
嫁泣港　恵美酒港　浮港
夕倆港　相島　大島
鯖島　櫃島
一坂越　女房原越　長登
山中　大嶺　繪宝

宇部　舟木 石炭ヲ出ス　朝市
本山　吉田　瓜生野
後浮村川港　苅屋浦港
藤曲村川港　末岬
見島　兼高島

○

厚東川 美祢郡ニ発シ厚曲ニ至テ海ニ入ル　吉田川 大川ノ分流
大橋川 阿武川又大川トモ徳佐川ノ下流ナリ　土原川

皇國地名箋　下　長門　三十八

大井川　大自川
河上川 萩ノ南ニアリ　徳佐川 石見界ニ発ス
地福川 大川水源ノ支流　飯櫃川
當田川　吉部川 大川水源ノ支流
米　諸紙　木綿　綾鹿子　縮布
素麪　生蠟　竹細工　籐細工　櫛
陶器　茯苓　呉茱萸　紫草　荒和布
アヲサ　長門海苔　心太草　鯨　章魚

鰑　烏賊魚　鮑　鱶鰭　香魚　硯石 赤間

南海道 六国

紀伊 七郡

伊都　那賀　名草　有田

海部　日高　牟婁

高野山　不動坂　梨木嶺

大窪嶺　紀見嶺　大沢嶺 大窪以下和泉之路也

真土山 大和ニ跨ル　鞆戸生　大瀧

九度山　橋本　学問路

河根　紙屋 橋本以下高野道　大畑

花坂　廣口　根来山寺

妹山　妹山

高辻　大津　志賀

粉川寺 観音　穴伏

名草山 紀三井寺濱　雄山　日前宮 官大

国懸宮 官大　雑賀　一和哥山 縣廳

岩手　鳴瀧　栖井

鹿ヶ瀬山　藤向嶺　蕪坂

御坂　加田 粟島社 浦港瀬戸　吹上濱

玉津島 社　和哥浦　伊勢木

加茂谷　宮原　名高浦

友島 沖友島　浦初島 地ノ島トモ　雲雀山

絲鹿嶺　坊主嶺　由良岬 港

湯浅 港　北港

海獺島　畑島 神谷浦　畑島 大引浦

修理　鴨谷　稗木

宮原　切目山

愛徳山　塩谷嶺　榎坂

岩代山　斤倉嶺　南部嶺

坂嶺　端無嶺　日比岬

由良港　泊港　堺港

元島港　印南港　小松原

唐子　南部　千里濱
鹿島　畑島 神谷浦　烟島 大引浦
海擷島　岩代岸　道成寺
汐見嶺　大坂嶺　柏嶺
岩上嶺　妙法山　那智山 瀧
雲取嶺 大小アリ　舟見嶺　胴切坂
女夫坂　湯峯 温泉　大串嶺
吹越山　神倉山　木本嶺

皇國地名箋　下　紀伊　四十一

大露嶺　八鬼山　桜坂
鋸坂　鉢神坂　孫瀬坂
曽根太郎坂　狼坂　花窟
人国山　田辺　高原
近杖　野中　湯川
湯峯 高原以下田辺ヨリ本宮ニ道　富田　阿瀧
三口　里浦　有田浦
汐岬 燈臺　浦加　牢杭

三輪嵜　新宮　那智
請川　本宮 那智以下大和道ニ於　有馬
新鹿　三鬼　尾鷲
馬瀬　古村 有馬以下新宮ヨリ伊勢道　網不知港
立ケ谷港　白濱 温泉湯嵜　周参見港
袋 同　橋杭 同　大島浦 同
新宮川口 同　三輪嵜 同　牢杭 同
勝浦 同　大池 同　下里 同

皇國地名箋　下　紀伊　四十二

浦神港　三木島 同　九木浦 同
須加利 同　引木浦 同　江川 同
木林 同　立戸 同　細野 同
高瀬村 同　鐃石浦 錦浦　玉浦
阿賀島　鈴島　大島
中島　向島　稲積島

〇

紀川 大和吉野川ノ下流ニシテ加太ニ至テ海ニ入ル
有田川 有田郡東北ニ出テ西流シテ海ニ入ル

湯浅川　有田郡ノ山中ヨリ出テ西流シテ海ニ入ル　　日高川　日高郡ノ東北ヨリ出テ小松原ヨリ海ニ入ル
切目川　日高川ノ南ニアリ　　田辺川　田辺ノ西ニアリ
富田川　汐見峠ニ発シ富田ニ出テ海ニ入ル　　安宅川　岩上峠ニ出テ安宅ニ至テ海ニ入ル
古庄川　妙法山ニ発シ勝浦ニ至テ海ニ入ル　　成川　新宮川トモ大臺原ヨリ出テ新宮ヨリ海ニ入ル
阿多和川　新宮ノ東北ニアリ　　市木川　阿多和川ノ北ニアリ
志原川　市木川ノ北ニアリ　　井土川　志原川ノ北ニアリ
音無川　熊野山ニ発シ
桟木　樽丸　炭薪　蜜柑　棕櫚
折敷　漆器　陶器　黒砂糖　木綿
雲齊織　紋瀬　茶　烟草　忍冬酒
紅花　蜂蜜　蚕種　樟脳　松烟　椎茸
香茸　高野豆腐　抹香　鯨　鰹節
海羸　眼丸　加田　加田海苔　荒和布
珊瑚珠　石灰　岩茸

淡路　二郡
津名　三原

千光寺山　先山トモ　柏原山　行者峯
由良　△須本　竹口
撫本　岩屋　留田
津志　平安　志築谷
淡路浮　繪島磯　松帆嵜　浦
一宮　伊弉諾社　国中　室津　成山島
繪島　浦　繪島餞ト別ナリ　大和島
楪葉山　松本　福良　港
宍川　三原　港里
吹上　白嵜　小石端
沼島　野島トモ　烟島　飯天島トモ　沖苅藻島　大国島尻
伊毘沖島　丸山沖島　湖嵜
○
三原川　三原郡ノ絵水所々ニ會シ西北ニ向テ海ニ注ク
米　陶器　青海苔　艾　海鰮　蠟石
磨沙

阿波　十郡

板野　阿波　三好　美馬
麻植　名東　名西　勝浦
那賀　海部
吹田　大坂　岡嵜
引田　坂本　木津
基浦　北泊　島田山
髙島　大毛山　鳴門 大小二アリ

皇國地名箋 下　阿波　四十五

撫養港　切幡寺
脇町　上野 新田社
夏山　根吉良嶺　佐野山
大西　池田　蛭間
大瀧山寺　祖母山中 同高擶　猪火谷
賀茂宮　重清
城山　髙越山寺　多野
忌部　呉島

焼山寺 山寺　土師
粟島　銅山 神領村
徳島　曽良本　桜間池
津田港　南濵　大岡
大麻彦社　国分寺　灌頂瀑
眉山　住吉山　大巫
小松島　勝浦　宝山
辨天島　小金磯

皇國地名箋 下　阿波　四十六

銅山 棚野村　石炭山 同上　鶴林寺
島尻　富岡　椿泊
小勝島　髙島　舞島
野島　和田島港　橘浦 同
中島浦 同　大龍寺　平等寺
剣峯 土佐ニ跨ル　八坂々中　八濵々中
岩本　鞆 同浦　宍喰港
加島港　日和佐港　由木港

伊座利　蒲生田　大島
出羽島　竹ヶ島　二子島

○

吉野川 土佐国吾川郡矢筈山ニ発シ当国ノ衆水ヲ納レ徳島湾ニ入ル　佐那川 佐古山及ヒ名東郡ノ西隣ニ発シ二源会合シテ徳島湾ニ入ル
楯井川 那賀郡ノ毛ウノ山中ニ発シ徳島湾ニ入ル　桂川 眉山ノ南ニ発シ徳島湾ニ注ク
中川 那賀郡ニアリ水源海部郡ノ界ニ発シ東流シ西条ト成テ海ニ入ル　日和佐川 海部郡ニアリ土佐ノ界ニ発シ東流シ日和佐浦ヨリ海ニ入ル
小松川 上海村ノ山中ニ発シ内妻ヨリ海ニ入ル　海部川 村上ノ奥ニ発シ東北ニ向テ海ニ入ル
宍喰川 土佐界ニアリ舟津ノ山中ニ発シ宍喰浦ヨリ海ニ入ル　廣戸川 吉野川ノ支流

皇國地名箋　下　阿波　四十二

今切川 吉野川ノ支流　別宮 板野郡ニアリ吉野川ノ支流
牛川 那賀郡ニアリ
藍玉　塩　刻煙艸　砂糖　鰹節　素麪
木綿　石灰　漆　若和布　心太艸　鱒
香魚　鯛　帆立貝　橘浦

讃岐 十一郡

大内　寒川　三木　山田
香川　阿野　鵜足 鵜多　那賀

豊田　多度　三野
坂本　引田港　三本松
雀羽　女島　安土池
大窪寺　志度寺 志度浦港　津田
太皷　鷹島　猿子島 新珠島
白岩 大小二アリ　名子島
佛生山　八栗山　五剣山
山太寺池　幡羅　三条

皇國地名箋　下　讃岐　四十八

宮所　喜多　牟禮 武例トモ
屋島 山　駒立石　蘇甲
總門　檀浦　兜島
相引潮　大島　高島
鎧島　稲木島　笠居
立涌池 池宮　矢原　高松
円座 上下アリ　檀紙
一ノ宮 田村社国中　東港　女木島

男木島　国分寺
綾松山　白峯 社　笵生嵜
妻田　上村
大山　宇足津　坂出浦 港
象頭山 琴平山ト云 社国中　飯山 又讃岐富士トモ　松尾
上村　円亀 港　白方
多度津 港　下真島
多度津　屏風浦　筆山 海

皇國地名箋　下　讃岐　四十九

大嵜　道福寺　下麻
水茎岡　弥谷　舟越 八幡
本山 寺　箱岬 同浦
大濵　西光寺
雲辺山 阿豫讃ニ跨ル　箱嶺　琴弾浦 八幡
箕浦　吉冨　海老救
観音町　土居
塩飽七島　本島　佐柳島　高見島　廣島
牛島　与島　沙弥島

向笠島　手島 小手島　櫃石島
瀬居島　烏小島　雀小島
二面島 上下二島アリ　真島　向島　牛首島　柏島　京上臈島　荒神島　寺島　葛島　家島
屏風島　屏鷹島　烏島 上下二島アリ 一名鵜島　簸子島 上下二島アリ 以上真島ノ属島ナリ
喜平島　局島　土庄村港　豊島　四島　往島　沖ノ島　小豊島　四島大中小
小豆島　小島　矢天島　智恵島　福部島 大小二アリ　以上小豆島ノ属島

○

宝田川 川田郡ニアリ阿波ノ界ヨリ発シ西ニ流レ海ニ入ル　本山川 阿波ノ界ニ発シ観音寺ノ下ヨリ海ニ注ク
新田川 多野ノ山中ニ発シ馬条ヨリ海ニ注ク　大麻川 万農池ニ発シ多度津ヨリ海ニ入ル

皇國地名箋　下　讃岐　五十

入野川 土佐ノ界ニ発シ馬条ヨリ海ニ注ク　福田川 大久ノ山中ニ発シ小田ニ出テ海ニ入ル
長尾川 阿波ノ界ニ発シ北流シ長尾寺ノ下ヨリ海ニ入ル　円座川 横野ノ山中ニ発シ北流シテ香西ヨリ海ニ入ル
二村川 土佐ノ界ニ発シ那賀郡ニ入リ二村ニ出テ二村川ヨリ海ニ注ク　高瀬川 新田川ノ名
土器川 二村川ノ名　津田川 福田ノ向流
横田川　府中川 那賀郡ニアリ
十川　中筋川
国田川
白砂糖　木綿　竹細工　團扇　藍

蕎麥　鯛　鰆　海鼠

伊豫　十四郡

宇摩　新居　周敷　桑村
越智　野間　風早　和氣
温泉　久米　浮穴　伊豫
喜多　宇和
寒川山　三角寺山　長濱
余木　河江

三島　西条　大町
猿田　氷見　一宮 大山祇社 国中
喜多濱港　新濱　大島
御代島　黒島
石槌山　横峯　布留權現山
小松　来見
中村　西窪　南木
今治　郷村 新田義助墓　拜志

佐禮山　朝倉　留村港 島有
岩城村港 島有　大三島　伯方島
大島　弓削島　小大下島
大下島　肥島　柏島
大横島 小横島　津島　馬島
小筑广島　虫島 小虫島　宇島
鎧島　赤骨島　生名島
佐島　高井神島　沖島

江ノ島　豊島　元島
美濃島　比岐島　毛無島 小毛無島
平市島 小平市島　躑躅島
宮嵜端　梶取岬　濱村港
波止濱港　弓杖島　来島
高輪山　柳原港　北条港
安居島港　神浦村港　津和地港 島有
高田　中忽那島　無須喜島

皇國地名箋　下　伊豫　五十三

二神島　油利島　怒和島
大館場島小同　二子島上下二島アリ　児島
妹小島　大千切島小同　藍島大小二島アリ
横島　別府
太山寺山寺　三津港　堀江村港
高濱港　興居島村港島之　和氣濱
釣濱　須雲濱
松山　石出寺山　道後温泉

桒村　齋院
石井　日瀬里　河野
吉井　天山
小川　大平　舀田
松前村港　萬安澳港　小冨士島ナリ
菅生山　唐岩嶺　隈町
岩谷山　御坂嶺　山崎
大洲　新谷　畄子

皇國地名箋　下　伊豫　五十四

長濱川港　新港　青島
沖浦　内子
笹山　權現山　毛山
鬼ヶ窟　矢野神山　内海浦
外海浦　吉田　宇和島
城下　枝嶺　樫谷
王ヶ月港　宦間浦港　川石浦港
江湖港　岩松港　深浦

八幡濱浦港　三机港　神崎
御岬　田之浦　法華津
北灘　柏崎　舟越
沖島　日振島純友古跡　戸島
沖大島　卯木島　鹿島
猿島大小二島アリ　竹島　契島
遠渡島　嘉島　御五神島
横島　高島　九島

大良岬　地大岬　左岬
黒嵜　松島　雎鳩
○
入野川 土佐ノ界ニ発レ北流ノ　長野川 石槌山ニ発レ小松ノ北ニテ海ニ入ル
吉野川 宇和郡ニ発レ土佐ニ入リ渡川ニ合ス　肱川 土佐ノ界ニ発レ西北ニ馳テ長濱ヨリ海ニ注ク
長濱川 土佐界ニ発レ西北ニ馳テ長ハマヨリ海ニ注ク　重信川 久米郡ニ発レ西北ニ向テ海ニ入ル
石出川　加茂川 長野川ノ一名
奉書紙　仙花紙　护蠟　烟草

皇國地名箋　下　伊豫　五十五

木綿　素麺　干温飩　藍　塩　蕨粉
五倍子　蜂蜜　蜜蠟　晒柿　空豆
椎茸　香茸　陶器　鰹節　干鰯　鰑

土佐　七郡

安藝 安喜　香美　長岡　土佐
高岡　吾川　幡多
野根山　神峯　甲ノ浦 港
竹屋敷　安藝　室生門岬

室津港　佐喜浦 港　津呂浦 港
吉良川浦 港　奈半利浦　羽根浦
田野浦　安田浦　蒜生浦
葛島　赤葉島
槙山　大日寺山　窪田
和食 港　物部　深淵
手結港　赤岡港　五台山 寺
箆峯　白髪山

皇國地名箋　下　土佐　五十六

峯寺　種子嵜　本山
玄武島　国分寺　大日寺
高知 縣廳　一宮 土佐社 国中　樫山
雪光山　朝倉　銅山 本川村
矢筈山　池川　長濱港
浦戸港　銅山 安居村
郡山　御在所山　角山
火打山　羽山七谷　横倉山

柿本山　仁井山　佐川
窪川　与津（同岬）　上茅
小松岬　井尻港　宇佐港
野見港　奥津港　須佐港
久礼港　上加ノ江港　福島港
志和港　中島　戸島
辨天島（三島アリ）　鮭島（大小二島アリ）　小松葉
灘山　月山　蹉跎山（岬）

[illegible]坂　蔵ケ嶺　鋼山（田ノ口村）
佐賀港　川口港（上下二所アリ）　三崎港
清水浦港　松尾港　西泊港
古満目港　柏島港（島アリ）　霜柏港
下田港　天地港　泊港
福良港　湊港　小浦港
窪津港　小尽港　沖島（島アリ）
大島港　坂下港　片島

池浦島　大藤島　伊田
中村　宿毛（伊田以下イヨウハ島道）

○

渡川（羽山七谷ヨリ発シ河ヨリ吉野川支流シ南流シ中田ヨリ海ニ注ク）　奈半利川（和食ノ山中ニ発シ奈半利浦ヨリ海ニ注ク）
安藝川（阿波ニ発シ安藝ヨリ海ニ入ル）　物部川（阿波ノ界ニ発シ山北ニ合シ下ヨリ又分流シ高知湾及ヒ海ニ注ク）
牛老川（高知ノ北ニ出ツ）　鏡川
仁淀川（伊豫及ヒ郡山ニ発シ東南ニ向テ海ニ入ル）　四万十川
諸紙　楮艸　鰹節　鯨　乾魚　材木

樽丸　木香（酒戸ニ用ユルモノ）　二度米　炭薪
雞卵　砂糖（白黒）　生絲　縮緬　生絹
木綿　太布　茶（宇治流碁石茶）　烟艸　木石
炭　椎皮　椎茸　樟脳　楊梅皮
桂根　蜂蜜　蕨粉　蕨縄　松縄
五倍子　茯苓　山梔子　蜜柑　人参
果下馬（世ニ土佐駒ト呼フ）　雲母　温石　真珠
珊瑚珠（紅白）　硯石（元浦）　荒砥石（甲浦）

イト　シマ　サワラ　ナカ

筑前　十五郡

怡土　志摩　早良　那珂
席田　糟谷　宗像　遠賀
鞍手　嘉麻　穂波　夜須
上座　下座　御笠
浮岳　深江港　吉井 以上三所唐津道
羽根島　箱島
雷山　寺山　今宿

皇國地名箋　下　筑前　十九

加俵　濱嵜港　唐泊港
岐志港　佛嵜　姫島
玄界島 同灘　釈加牟尼島　机島
三瀬山　日杜山　福留 旧不名島 波奈港
生松原 天神　草香江　残島
鵜来島　立石　姫濱
今津　能古浦　春田
博多 新袖港　箱嵜 八幡宮　千代松原

ムナ　カス　オカ　クラ　カホ

志賀島 社　沖津島　虎島
中瀬　二日市　子ノ島
廣瀬　志賀 社　妙見島
海中道 文殊　香椎宮 同潟
藍島　鼻栗迫門　三瀬
阿世島 地沖ノ二島アリ　赤島　黒島
火島　鯨瀬　短島
釜蓋島　前島

皇國地名箋　下　筑前　六十

宗像山　赤間　畝町
鐘岬　佐屋形山　地島港
袖港　勝浦
黒嵜港　木屋瀬 以上西海道　若松港
芦屋川港　山鹿岬　波津
塩屋　阿賀津　大倉
初瀬　川津　米山
青揶　立花

米山　山口　長尾
豆田
天拝山　大野山　御笠山 宝満山トモ又竈門山トモ云
朝倉山　芦木山　寒水嶺
宰府 天神　刈萱関　山家 西海道
原田　針摩　追分
内野 西海道　安楽寺
秋月　野町　甘木

中山田　木丸　千手
白木　有馬　福井
大隈　飯塚　腰張
東蓮寺　天童寺
○
遠賀川　浅芽川 上座郡ニ発シ遠賀川トナリ海ニ入ル
木屋瀬川 浅芽川ノ下流　那賀川 寒水嶺ニ発シ福岡ヨリ海ニ入ル
泉川　鴨生田川

大入川 肥前ノ界ニ発シ西ニ馳リ海ニ入ル此川肥前ト接ス　多久川
羅漢川　當方川
米　博多織　縞木綿　枦蝋　塩釜
茶　練酒　菜種　雞卵　蜂蜜
蜜蝋　牛房　長西瓜　鯨　海鼠
干カマスゴ　蛤　鵠
筑後　十郡
御原　生葉　竹野　山本

御井　三潴　上妻　下妻
山門　三池 三毛ト
松崎　三原　本郷
神崎　平松
高良山 社 国中　善導寺山　府中 熊本道
田主丸　宮地
浦村　千々屋
福禄

高井岳　熊渡山 熊門山又熊山トモ
朽木
文字山　三国山 豊後ト界　内屋
大淵　高田
久留米　栁川　岐久 熊本道
福島　住吉　酒見
筏津　大野島
原町 熊本道　勢高　江浦

大野　沖濱　江泊
黒崎　八十一原　宿見
三池　手鎌　大牟田
石炭山 稲荷村　加納
筑後川 筑紫三郎ト云豊后大分郡及ヒ肥後五家ノ山中ニ発ス　千歳川 生葉郡熊山ニ発源シ三派ト為テ海ニ入ル
沖端川　矢部川
熊白川　瀬高川 千歳分流ノ南川ナリ

塩塚川
米　諸紙　枦蠟　枦實　油　茶
絣　藍　紅花　午房　蜜柑　河海苔
鳥坂海苔　砥石
豊前　八郡
田河　企救　京都　仲津
筑城　上毛　下毛　宇佐
英彦山 社 国小　金辺嶺　採銅所

香春　岩石　城井谷
猪膝　帆柱　八町嶺
福知山　霧岳
豊津 旧名小倉港 以下西海道　内裡 同上　文司 關 早鞆社 同上
栁浦　田浦 港　企救濱
白野江　今津　大積
猿喰　馬島　鐘ケ崎島
天子島　藍島　姫島

篠瀬 子ニ芝瀬トモ　笠縫島
打網山　貫山　刈田 宇佐道
大橋 同上　木下　神島
網敷天神
尾川　御井田　水祝
二嵜　阿喜湊　沓尾港
箕島　神島 小島トモ
江菰　卯木

松江 宇佐道　八屋港　髙瀬
大瀬　宇ノ島港　明神嵜
二毛門
観山　大岳　矢山
椨坂　烏帽子岳　森津峯
山移　平田　高瀬
竹井　今津　高家
中津　灘打　中津

龍宮島　中洲　羅漢寺
鹿嵐山　御許山　宇佐 八幡
長洲　山村　米鉢
和田　龍王

○

板櫃川 筑前遠賀郡ニ発シ小倉ノ西ニテ海ニ入ル　蒲生川 香春ノ界ニ発シ小倉ヨリ海ニ入ル
小波瀬川　髙瀬川 観山ニ登源シ中津ヨリ海ニ入ル
今井川　駅館川 又宇佐川トモ豊後界ニ発シ今津ヨリ海ニ入ル

犀川
米　小倉織　木綿　生蝋　櫨實　塩
陶器　油粕　炭　大竹　葛粉　茶
大根　銀杏　小倉海苔　海鼠　竹蟶
海鰻　干小鯛　海蝦　塩　硯石 司門

豊後 八郡
国嵜 国東トモ　速見　大分　海部
直入　玖珠　日高 今日田一作ル　大野

両子山　八面山　文殊山
松尾山 豊前ニ跨ル　松尾　竹田
武蔵　△立石　下岐部港
小熊毛港　向田港　深江港
堅木港　長崎　姫島
馬背島　田深
高崎山　竜王山　□杵築
□日出　畑方　深江港

皇國地名箋　下　豊後　六十七

辻間　灘手港　三ノ崎
塚原　徳用
寉見岳 火山　由布岳　錦嶺
四極山　別府　□府内 大分縣
野津原　三佐港　原港
寉崎川口港　竹本　乙津
江隈　野津原 府内ヨリ熊本道　今市 同上
栃原社 国中　塩九升

湯岳　夕山　彦岳
白岳　左志生 府内ヨリ臼杵道　鶴島
臼杵　長目 府内ヨリ佐伯道　代後浦 同上
蒲戸港 同上　□佐伯　西浦
苫洲端　上瀬　横川
城下川口港　上浦港　下浦港
神崎　地蔵岬　黒濱
白濱　松濱　観音岬

皇國地名箋　下　豊後　六十八

芹岬　白崎　大入島
高島　保戸島　中方島
長島　彦島　沖方島
大島　屋形島　深島
高手島　海瀬波石　伊賀波石
向島 地沖ノ二アリ　唐船波石
姥岳　田代　竹田
白仕　白丹 府内ヨリ熊本道　久住 同上

大ノ　クマ　ヒタ

湯坪
岡　堤 府内ヨリ熊本道
森　町田　宮原
奥灰瀑　松本瀑
湯山　春日山　豆田町
隈町　梅野　長根
隈山　五島市

○

大分川 肥後ニ要蘇山ニ発シ府内ノ湾ニ注ク　豆田川 筑後川ノ上流ニテ直入郡ニ発源ス
隈川 球珠川ト豆田川ノ同流　鶴川 由布川ト由布岳ニ発シ言津川トナル
白嵩川 白瀧ト大分川ノ一名　浦川
光吉川
米　大豆 岡　紙 田日　竹木　絞木綿　黒
紺布　丸熨斗　黄蠟　櫨實　菜種
烟草　烟管竹　陶器　瓦　七島莚　塩
蜂蜜　麩　生姜　蜜柑　梅　海雲

キイ　ヤフ

心太草　海鼠　鮑　鰑　香魚
羚羊　火打石
肥前 十一郡
基肆　養父　三根　神埼
佐嘉　小城　松浦　杵島
藤津　彼杵　高来 高木トモ 高城
田代 西海道　藤木
倉ノ上　轟木 以下西海道　中原

神埼　按内　界原 西海道
廰井　蓮池　寺井
佐嘉 縣　早津　本庄
五条　牛津 西海道
猪城山　後藤山　針木嶺
小田　成瀬　塩田 小田ヨリ西海道
塚崎　伊万里　武雄
園本　股木　廣田

久原　大野　白石
多良山　加島
藤津　大浦　竹崎
温泉岳（硫黄明礬ヲ産ス）　温泉山　前岳
有馬山　南串山　北串山
日見嶺　神代　小野寺
諫早　江津　矢上
日見　東　島原港

皇國地名箋　下二　肥前　七十十

早崎　水月　會津
井崎　亀島　馬島
湊島　牧島
ロノ津港　樺島港　茂木港
虚空蔵山　魚見岳　長崎港
長井　永昌　大村
松原　彼木港　嬉野
針尾港　佐世保浦港　早岐港

草場港　瀬戸港　川棚浦港
長与港　時津港　亀港
伊野港　舳下港　面高港
嘉喜港　崎戸港　神野港
三重港　式見港　福田港
七ツ釜港　脇津港　平島港
松島港　鷹島港　香焼港
沖ノ港　伊王港（籃登）　神ノ港

皇國地名箋　下二　肥前　七十十一

高鉾港　福港　崎戸港
江ノ島　大島（二所アリ）　寺島
竹島　鵜瀬　前島
箕島　脇岬　観音岬
洲岬
領巾振山　国見岳　嬉野
松浦　九艘泊　田平
忠佐　大河原　大内

唐津
鳩岬
大島港
平戸　水銀ヲ產ス
津吉港
田浦港
御厨港
福江島

名古屋港
早杖港
高島港
川内港　平戸
志自港
阿翁港
賊津港
黄島

神岬
水島港
呼子港
木浦港
薄香港
福島港
小値賀港　島ナリ
久賀島

樺島
黒島
大島　的山大島
赤島
多々良島
奈留島
有福島
若松島

中通島
平戸島
鷹島
津多羅島
屋根尾島
前小島
日之島
出之子島

宇久島
生属島
榮螺島
嵯峨島
津婦羅島
葛島
漢生島
桂島

串ノ島
野崎島
手羅島
元島
大鹿島
大飛島
加部島
小川島

祝言島
玫島
笙島
小高島　上下二島アリ
度島
福島
松島
神集島

頭島
納島
牧島
高島
青島
馬渡島
加唐島
大島

○
塩田川
神埼川
本明川
松浦川　後藤山ニ発シ北ニ馳テ海ニ入ル
江津川　高来郡ニアリ
板屋川
鹿尾川

牛津川　後藤山ニ発シ牛津ヨリ海ニ入ル
寒水川
本庄川　佐賀郡ノ北陲ニ発シ東北ニ向テ海ニ注ク
玉島川　伊万里ノ北ニアリ
有田川
六角川

米　陶器　酒　素麪　石灰　柿蠟　茶
烟艸　鼈甲細工　線香　竹木　椎茸
樟脳　肉桂　生姜　蒲葵　蔓蜜柑
南京芋　真珠　玳瑁　鯨　鮪　鯣
海鼠　鰡子鼠　鮑　天艸海苔

肥後　十四郡
天草　葦北　玖麻　八代
益城　宇土　飽田　託麻

合志　山本　玉名　菊地
山鹿　阿蘇
上土岐 趙島　下土岐 御所浦トモ　鳴子
母子岳　六浦　廣瀬
奥貫岬 石炭ヲ産ス　権現山　志岐
富岡港　牛深港　寄津港
上島　下島　大矢野島
毘市浦島　楠盛島　狄島

牧島　竹浦 御所島トモ　横浦
戸浦　下須浦　大浦
通詞浦　釘浦　樋合浦
前浦　永浦　湯浦 誤合島トモ
野釜浦　八木浦　藏々千束浦
国見山 薩摩ニ跨ル　隺木山　島来山
水股港 薩州道　黄楊　佐敷
日奈久港 薩州道　国赤嵜　大門岬

田浦港　海浦港　湯浦川口港
福浦港　津奈木港　袋港
小路島　二子島　裸島
赤島　黒島
弓木山　白山　一人吉
白水　米良 東西アリ　奈須
種山　八代港　宮地 薩州道
小川 八代道　鏡港　植柳港

大鼠蔵島　苫竹島 同小　大島
飯田山　八田　上野
宮原　與正寺
三角山　宇土　川尻港 以上八代道
松橋港　高良港　戸馳島
寺島　中神島　甲島
鈴島　風流島　三角迫門
長濱

皇國地名箋　下　肥後　七十七

熊本　植木 熊本道　大津 府内道
藤崎　船津港　塩屋港
白濱港　近浦港　小島川口港
二町川口港　離島
窪田　見舟　長谷
腰尾　越尾
當帰山　内牧　湯田
池田　越水

山本　伊倉　田原
緑川
金山　平山　南關
腹赤　古田　大濱港
横島港　小天港　晒川口港
沖津新川港　長洲港　大島港
八方岳　山鹿 熊本道　湯町
高橋

皇國地名箋　下　肥後　七十八

屋谷　星原
阿蘇山 火山 社国中　轂ヶ岳　根古岳
涌蓋山　板利 熊本ヨリ府内道　大里
秋原　北里　高森
艸部　荊屋

○

久麻川 八代川ト日向国諸縣郡肥後界ニ発シ八代ヨリ海ニ入ル　白川
佐敷川 葦北郡ノ東陲ニ発シ西ニ流レ海ニ入ル　緑川 川尻川ノ支流

キウス

本山川 阿蘇山ニ発シ西ニ馳リ辻町ヨリ海ニ注ク　川尻川 奈須山ト及ヒ阿ソノ郡ニ発シ西ニ馳テ海ニ入ル
水股川 国見山ニ発シ西ニ向テ海ニ入ル　合志川 當帰山ニ発シ西南ニ向テ本山川ニ合ス
高瀬川 菊地川ト云筑後ノ界ニ発シ沖ノ渕ヨリ海ニ入ル
米　雑穀　朳實　蠟　菜種　種油
油粕　諸紙　楮州　畑州　椎茸
砂糖　晒葛　素麪　團扇　花瓶
櫨木　白炭　七島莚　棕櫚皮　苧麻
唐黍　紅花　柑類　早　蕃薯　蒲葵

斑竹　水禅寺海苔　八代川苔　石灰
蠟石

日向　五郡

臼杵　児湯　宮崎　那賀
諸縣 モロガタトモ
可愛嶽　筎峯　行騰山
梓嶺　傾山　嫗岳
高千穂山　矢岳　ムカバキ山

ミヤザキ　コユ

壷屋山　銅山 七折村 北方村　鉛山 山裡村
瀬不　八戸　延岡
赤水　細島港　三江野
山鹿　曲渕　七山
鞍掛岬　東海港　尾港
島野浦　元方賊島　助兵工島
大武島　乙島　中島
蜑取波石　枇榔波石　黒波石 大中小アリ

小島 沖ニ大小ノ三アリ　岩宮波石　上面木山
御鈴山　国見山
賊辺　津野　高城
宮村　鹿遊　美々津港
蚊口浦港　福島今町港　浦港
下別府港　都濃社 国小一宮村
宮崎 縣廳 神武帝社　新名爪 佐土原ヨリ飫肥道　北方 同所ヨリ鹿児島道
花ノ窟　清武　田野

加納　小松山　黑山　都井嵜　油津港 佐土原ヨリ大隅濱道　本郷 佐土原ヨリ大隅濱道　宮浦　檍ヶ原

嵐田　牛嶺　鵜殿山 窟　長田嵜　内海港　山狩屋　飫肥　鯰蔵

鈴ヶ峯　御嵜　外浦港　佐土原　江原　酒谷川　新別府 港

二ッ立島 抵島　大島　烏島　雀島　住吉山　法花岳　兩包越嶺　一房山

鼠島　築島　鬢垂島　銅島岬　霧島山　国見山　黑山嶺　宇都越

野島　幸島　鵜石　椎葉山　三箇山　江代山　猪鼻越

九島　本庄　野尻　東霧島　大久保 神谷以下鹿児島道　天川　勝山　飯野

志布子　阿谷　高原　荒川　高岡　田尻　勝間　馬関田

松山　神谷　花堂　西霧島　前坂　高城　都ノ城　亀沢

高嵜

梅谷

加久

○

八峡川 五ヶ瀬川ノ上流

大淀川 猿瀬川ノ上流

高城川 神門川ト行縢山及ヒ肥後国ニ発シ東向テ海ヘ

一瀬川 三財川トモ

猿瀬川 霧島及ヒ宇都越ニ発シ青木原ニ出テ海ニ入ル

耳川 七山及ヒ壷屋山ニ発シ東南ニ馳下リ美々津ヨリ海ニ入ル

赤江川 猿川トモ猿七川ノ下流テ東向ノ海ニ入ル

五瀬川 五ヶ瀬トモ肥後五家郡奈須ノ山中ニ発シ延岡ノ東ニテ海ニ入ル

綾川 法花岳ヨリ発シ石崎川ト成ル

酒谷川 梅谷ノ山中ニ発シ東ニ馳セ平田ニ至テ海ニ注ク

二瀬川 肥後国米良ノ山中ニ発シ法花岳ノ水ヲ納レ九反田ヨリ海ニ入ル

三納川

祝川 ホリ川トモ　石嵜川 法花岳ニ発シ塩手ヨリ海ニ注ク
平山川 諸縣郡梅谷ノ山中ニ発シ猪ヒ川ニ合ス　塩尻川 山鹿ノ山中ニ発シ東ニ向テ海ニ注ク
鹿古川 耑木ノ山中ニ発シ塩田川ニ合ス
栈木　早稲　鰹節　椎茸　香茸
樟脳　樟木　起炭　椎皮　茶
半切紙　楮艸　菜種　苧麻　生糸
蚕種　生蝋　漆　砂糖　烟草
海人草　野駒　蒲葵　鮑

皇國地名箋　下　日向　八十三

大隅　八郡
菱刈　桑原　姶羅 姶罗　噌唹
肝属　大隅　熊毛　馭謨
馬越　横川
宮内　栗野　高田
本庄　辺田小島　一盃島
沖小島　鹿児島社 国中
日當山　西八幡山　白銀山

上梶木　梶木　脇本
蒲生　乳房　姫城
国府 銅山アリ　姫宮　牛根
湊　福山
垣吉　高隈　大嵜
柏原　内浦　波見港
高嵜　南浦港
高山　常吉

皇國地名箋　下　大隅　八十四

竹浦　垂水　大濱
大泊　観音　佐田岬 燈臺
桜島　新島 大中小ノ三アリ　鳴呼島
枇榔島　大輪島　島瀬
荒平岳　元見山　羽亀山
権現山 御岳ト　安房港　宮之浦港
栗生港　矢筈岬　屋久島 馭謨郡ノ古名
口ノ永良部島　沖岩　七ツ瀬

種子島 熊毛郡ノ古名　門倉岬　御岬
国上港　赤尾木港　馬毛島
一瀬　斧野
○
雄川 日當山ニ発シ東向テ海ニ注ク　新川
高隈川 曽贈郡ニアリ　久保田川 肝属郡ニアリ
生糸　蚕種　茶　烟艸　孟宗竹
蕪菁　牛房　石灰　玳瑁

皇國地名箋　下　大隅　八十五

薩摩　十三郡
鹿児島　鉛山　給黎　頴娃
河辺　阿多　日置　薩广
伊作 伊佐　出水　高城　甑島
揖宿
鹿児島　吉野　宮ノ浦
入来　多賀水
田布施　伊佐　福本

和田　平川　喜入
松宿　宮濱　山川津
鳴川港　知林島　小島
鵜瀬　俣川洲
開聞岳 海門トモ　海門岬　長岬
児水　大川
野間岳　金山 鹿篭々　御岬
寉嶮岬　野間岬　枕岬

皇國地名箋　下　薩广　八十六

坊ノ津　片浦港　大浦
川辺　小松原　沖秋目島
竹島　桟敷島　沖立神
高立神　双剣岩　恋島
聖嵜　硫黄島　橘島
金峯山　阿多　高橋
池辺　大野
伊集院 八代道　湯田　湊

サツマ　タキ　ミツ

串木野　松尾明神山 寺島　久多島
郡山　薩广岳　隈城山
布施城山　市木　串木 八代道 市木以下
平佐　向田 八代道　水引 同上
山崎　羽島岬　沖羽島
鴨瀬
高城　津ノ町 八代道　京泊
西方 八代道　久見岬　船間島

皇國地名箋　下　薩广　八十七

立花瀬
紫尾山　矢筈山　笠山
阿久根 八代道　高風野 同上　出水 同上
米津 同上　切通　集人迫門
長島　伊唐島 小ミ　蕨島
大島　桒島　竹島
蠻島　野島　黒島
獅子島　所島　桂島 大小二島アリ

イル　コシキ

七尾島
大村　寉田　大口
平泉　宮城
金山　上甑　桒崎
里村　中甑　平村
下甑　長濱山　野岬
早岬　片浦　濱ノ市
近島　野島　小島

皇國地名箋　下　薩广　八十八

牲島　岩島

○

川内川 日向諸縣郡加久藤ノ山中ニ發シ大隅菱刈郡ヲ貫キ津ノ町ヨリ海ニ入　湊川 日置郡ニアリ
万瀬川 金峯山ヨリ發シ西流ノ海ニ注ク　阿久根川 出水郡ニアリ
江月川　新川 万瀬川ノ分流
黒砂糖　上布　絣木綿　芭蕉布
泡盛酒　鰹節　烟艸 附同　蕃薯
樟腦　陶器　蠟燭　撕　挽物細工

蒲葵扇　蜂窩　香茸　蜜柑
枇杷　大根　巴豆　屋久杉　海人艸
七島艸　青螺　玳瑁　琉球朱
消毒丸　毛皮類
二島　二国
壹岐　二郡
石田　壹岐
負鈎山　同岬　芦辺　港　引野

初山　波瀬浦　黒嵜
湯浦　港　郷浦　一宮　石田社
多喜　坪浦　久佐
八幡嵜　港　瀬戸　港　印通寺　港
渡良　港
妻島　春島　長島
大島　小島　前後二島アリ　嫦娥島
乙島　平島　机島

飛島岬　鳥岬　尾漏振
勝本　坂本　辰島
呼子松原　手長島
若宮島　竹島　洞山島
松瀬　六良島
綾布　雲州　鰤
對馬　二郡
上縣　下縣

上島　御岳　日暮山
大星山　丹岬　岸嵜
豊嵜　知奈嵜　棹尾嵜
鳥嵜　鳥嵜　鳶浦
豊浦　鰐浦　港　佐須奈　港
大津　和多津美社　鳥　海泉島
志古島　妙見島　品木島
荻島　銭島　黒島

下縣

椎根島 沖地ノ東ニアリ　東島 大小アリ
白岳　有明山　矢立山
銀山　女岳　浅芽山 同浦
鏡山　志陀利　九鬼嵜
竹敷浦　攪岬　佐須
卒土濵　亀嵜　東向院
厳原 旧名府中 港　大舟越　島山嵜
内院島　大島　沖島 大小

皇國地名箋 下　對馬　九十一

鹿島　黒岬島　琵琶島
中島　九島　京島
沖京島 下切島　塔ケ嵜島　甲島
榎島　鼠島　東風泊島
赤島　沖島　黒島
大佛島　根尾島 上下
陶器　椎茸　木茸　五倍子　雲丹　鯨
煎海鼠　干鮑　鱶鰭　干烏賊　鯛　鰤

鯖　鰯　荒和布　甘海苔　海藻　鹿角菜
琉球　流求　留求　流虬
沖縄島　中山　中頭省 十一間切
首里　那覇 首里ノ西南ニ里許内港アリ　久米 十八ノ東北ニ隣ル
泊 首里以下間切ト称ス　真和志 以下間切ト称て
東風平　西原　浦添
宜野湾　中城　北谷
読谷山　美里　勝連

皇國地名箋 下　琉球　九十二

與那城　越来　具志川 以上
佳蘇岳 佳楚トモ　名護岳 恩納間ニアリ北ニアリ　恩那 恩納間切ノ東南ニアリ
辨岳　八頭岳 以上ノ五岳ト云 島嶺間切ノ東北ニアリ　嵩家山 マハトニアリ
山南 島尻省ト云 十九間切アリ　大里　玉城
豊見城　小禄　兼城
高嶺　佐敷　知念
具志頭　麻文仁　真壁 マカビ
喜屋武 以上十二間切　山北 国頭省ト云 九間切アリ　金武 東岸ニアリ

恩納（南岸ニアリ）　名護　交志
羽地　今帰仁　本部
大宜味　国頭（以上九間切）　仁世波入江
瀬底水無　運天港　沖君島
屋加島　謝敷村（今帰仁間切ニアリ様ナ硫石黄ヲ出ス）　久高島（東南ノ海ニアリ）
津堅島（勝連ノ東南海中ニアリ）　波麻島（下ニ浜島）　平安座島
宮城島　伊計島（勝連ノ東北海中ニアリ）　計留原島
渡嘉敷（久米ノ間切ノ名）　座間味島（ノ属）　姑米島（上ノ西ニアリ）

内　金城（以上久米島間切ノ名）
伊恵島　伊江城村（同山　同港）　戸無島（上ノ東北ニアリ）
粟国島（上ノ東北ニアリ）　伊豆那島（西ニ与）　具志河島
柳葉島（属島）　恵平屋島（ノ属）乃保島（上ノ属島）
島々（エヘヤノ北ニ噴火山温泉硫黄アリ）　宮古島（石垣入表及ビ群島二十許先島トモ）
太平山（宮古島ノ名）　於呂加　雁俣
下地　平良（以上宮古島間切ノ名ナリ）　釣水港
筑山　伊計間（セトノ寄西）　大高見島

来間島（宮古ノ西南）　奥永良部島　宇加麻島（西）
太良广（宮古石垣ノ間）　水無島（属島ナリ）（タラマノ東北以上宮古ノ）
石垣島（宮古ノ西小島十余）　八重山（石垣島ノ一名）　平窪岬
宮良　石垣　河平
大濱（宮良以下間切ノ名ナリ）　御岬泊　表岳（島ノ西南隅）
武富島（石垣ノ西南）　黒島（武富ノ西南）　上離
下離（里島ノ属）　波照間島（黒島ノ西南以上石垣ノ属）
入表島（表誌ノ西姑弥島西表島ト云）　入表　姑弥（入表ノ間切ノ名東古見港）

比計川村（港）　曽奈比村（港）　小濱村（入表ノ東）
鳩間村（北ニアリ古見間切ニ属ス）　新城村（西南）　与那国島（入表ノ正西以上入表属）
大島（小琉球琉球ノ北界）　笠利岬　阿麻弥島（大島ノ古名）
湯湾岳（阿麻美嶽トモ）　永明山　清水山
菊花山　奈瀬（北岸ニアリ）　古見港
笠利　住用　焼内港
西（西方トモ）　東（奈須以下七所ハ大島間切ノ名）　瀬名
龍郷（港）　赤木名　大和濱港

須垂　渡連　實久（以上大島ノ七間切ノ外ナリ）
深井浦（笠利岬ノ）　恢照浦（焼内属ス）　加計留間浦（大島ノ西）
宇計浦（上ノ南）　與呂浦（カケル以下大島属島ナリ）　喜界浦（大島ノ東）
志戸桶　東　西目
撫　荒木（以上間切ノ名）　撫泊（西南ノ港ナリ）
德島（大島ノ西南）　亀津　伊仙
岡前　兼久　喜念
面縄（東以下德島所切ノ名ナリ）　秋德港（花島ノ東隅）　井之川港

鍔屋泊（花島ノ西岸）　沖永良部（上ノ西南三間切）　比雷
大城　德時（間切ノ名）　和泊（東岸）
與論島　大水　東
武幾屋　阿賀佐（共ニ村名）　ロノ永良部
中島　臥蛇島（蛇島）　諏訪瀬島
平島　悪名島　宝島（薩琉ノ界）
鐵　硫黄　石炭　琉球米　海帯　龍蝦
五色魚　海松　細布　紙　蠟燭

草蓆　黒魚　棉花　蕉布　雲丹
乍魚　砺石　綿布　細上布　麻布
太平酒　樫木　玳瑁　毒瑁　珊瑚
海石　螺石　櫻招　阿旦　蕃薯
蕃蕉　砂糖　陶器　緑紋紙　蕉絲
永良部鰻　莨　竹　海参　牛馬　朱

地名箋巻之終

[illegible]　川岡清助

明治七年十二月官許

馬喰町二丁目
山口屋藤兵衛

室町二丁目
大坂屋藤助

大傳馬町三丁目
丸屋正五郎

東京書肆

大藏省　編

改置府縣概表

明治五年（一八七二）東京府北畠茂兵衛刻本

據明治五年（一八七二）
東京府北畠茂兵衛刻本影印

大藏省編纂

改置府縣概表

明治辛未十二月新刊

官版　不許翻刻

御用御書物師
北畠茂兵衛

改置府縣概表凡例

府縣[illegible]順ハ當分定メラルヽニ従ル北海道十一ヶ國ハ従来ノ通ナレハ此表[illegible]加入セズ

東京京都大阪ノ三府ハ各府ノ字ヲ記ス其他ハ悉皆縣ナルカ故ニ縣ノ字[illegible]以テ府縣ヲ分別ス

○各縣廳ノ經緯トモ度分秒微全備セズ諸書ニ出ルモノ一二ヲ記載ス然リト雖モ全ク縣廳所在ノ度數ニアラズ只其地ノ度ナリ且經度ノ初度ハ東京ヲ以テ定ムル適當ナリト雖モ地球中各國大概英國「ギリンウヰテ」ノ司天臺所在ヲ初度トスル故ニ此表中モ亦コレヲ擧用ス

○一郡中雙縣ニ分レ管スルアリ各縣下郡數ノ級ニ之ヲ二郡ト算フ例ハ武藏國足立郡ハ東京府ト埼玉縣両管下ニ分ルト雖モ各一郡ト算フカ如シ

○現石。戸數人。口。ハ各縣管轄ノ員數確定ノ上記載スヘシ東京ヨリ各縣廳マデノ行程里數モ亦然リ

○官員ハ毎月改正スヘシ判任ハコレヲ畧ス

明治四年辛未十二月

全國中各部高號表

府三縣七十二　但北海道除之

國數八十四　五畿八道内　外琉球國

郡數七百一十七郡　内[illegible]十七郡　北海道

鄉數三千七百七十餘　古代之調

村數六萬三千六百五十九　天保度調　北海道除之

段別

石高三千一百六十二萬石余　北海道除之外十四萬石餘琉球國

現石一千一百六十五萬石餘　正稅雜稅

戸數七百〇五萬八千九百六十〇軒餘

人口三千二百七十九萬四千八百九十〇人餘

全國管轄等級圖

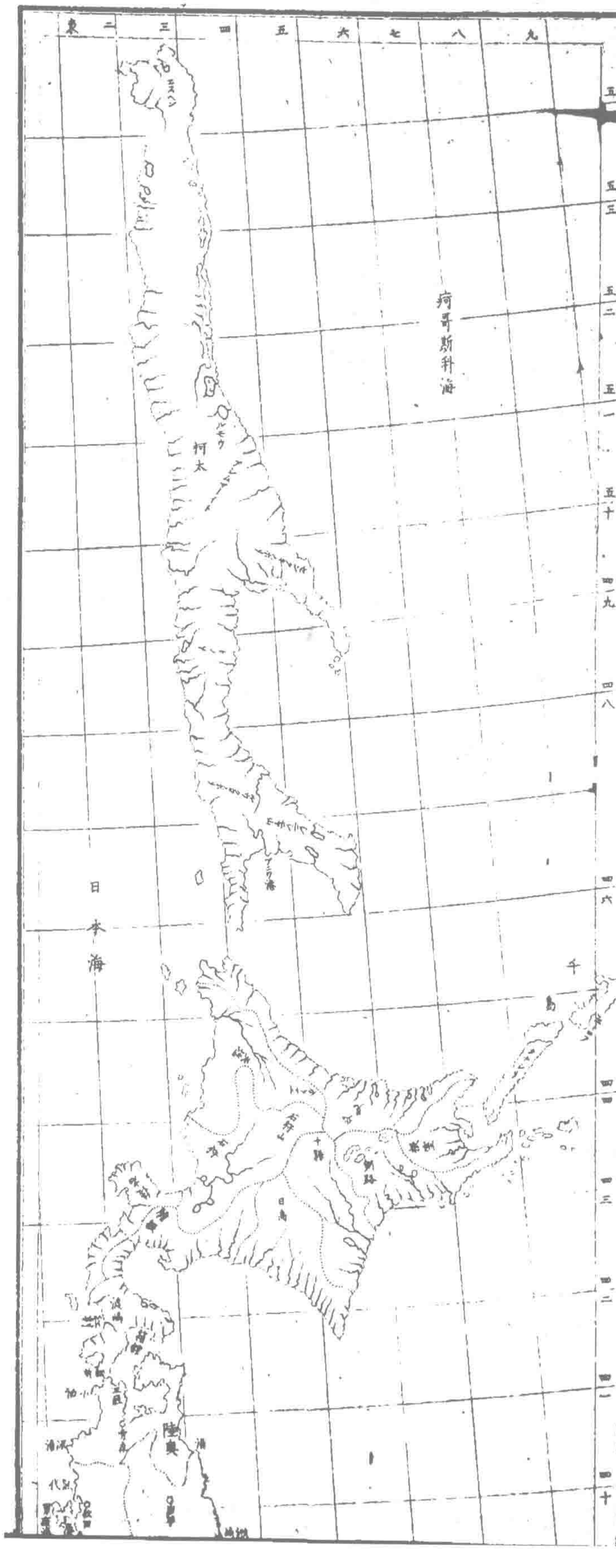
府縣（フケン）
｜
國（クニ）
｜
郡（コホリ）
｜
鄉（ガウ）
｜
村（ムラ）
｜
字（アザナ）

大小上中下ノ五等ニ郡ヲ立レハ戸數ノ多寡ニ依テ古ヘ定メラレシナリ國ノ大中小モ准之ベシ

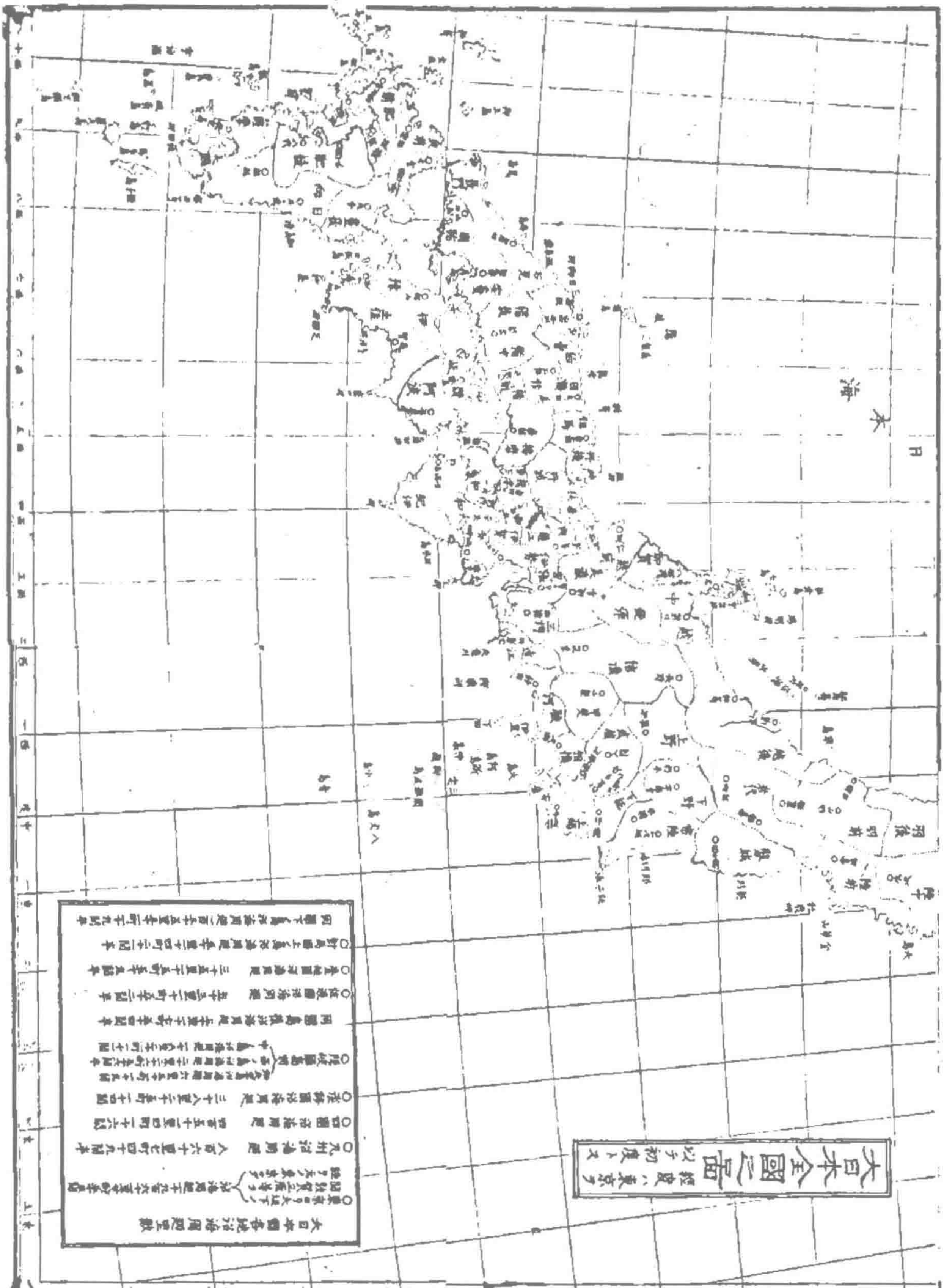
府縣職員等級表

	等	府	縣
勅任	一等		
	二等		
	三等	知事	
奏任	四等	權知事	令
	五等	參事	權令
	六等	權參事	參事
	七等		權參事
判任	八等	典事	典事
	九等	權典事	權典事
	十等	大屬	大屬
	十一等	權大屬	權大屬
	十二等	少屬	少屬
	十三等	權少屬	權少屬
	十四等	史生	史生
	十五等	府掌	縣掌

縣ニ開港場アルハ其令ヲ勅任トス權令ハ其例ニ非ス○令アレハ權令ヲ置カズ權令アレハ令ヲ置カズ○官員ノ定限ハ縣治條例ニアリ



東
二
三
四
五
六
七
八
九
五十
四九
四八
四六
四三
四二
四一
四十
𤠖哥斯科海
柯太
日本海
千島
陸奥


大日本全圖之四
經度ハ東京ヲ以テ初度トス

府縣名	東京府	京都府
廳所	豐島郡幸橋御門内	山城國葛野郡立賣通新町
石高	十五万石餘	三十八万石餘
現石		
戸數		
人口		
國名	武藏	山城 / 丹波
郡數	四郡	一圓八郡 / 三郡
郡名	荏原 豐島 足立之内 葛飾之内	乙訓 葛野 愛宕 紀伊 宇治 久世 綴喜 相樂 / 船井 桑田 何鹿
廢縣	東京 品川 小菅	京都 淀 龜岡 園部 綾部 山家
緯度	三十五度四十分	三十五度五分
經度	百三十九度四十分	百三十五度五十三分
里數		
知事	從四位 由利公正	正三位 長谷信篤
權知事		
參事	從五位 黑田清綱	正六位 槇村正直
權參事	三島千木	正六位 馬場氏就
七等出仕	川勝新藏 安藤則命 福岡義辨	正七位 谷口起孝 山田年足 國重正文

府縣名	大坂府	神奈川
廳所	西成郡東横堀	武藏國久良岐郡
石高	二十五万石餘	三十三万石餘
現石		
戸數		
人口		
國名	攝津	相模 / 武藏
郡數	七郡	三郡 / 四郡
郡名	島上 島下 豐嶋 能勢 西成 東成 住吉	三浦 鎌倉 高座 / 橘樹 久良岐 都筑 多摩
廢縣	大坂 高槻 麻田	神奈川 六浦
緯度	三十四度四十分	
經度	百三十五度二十五分	
里數		
知事／令		陸奥宗光
權知事／權令	從四位 渡邊昇	
參事	從六位 藤村信卿	大江卓藏
權參事		高木久成
七等出仕	從七位 竹内紀綱 福田正則	石田忠卿

府縣名	兵庫	長崎
廳所	八部郡兵庫津	肥前國彼杵郡
石高	十六万石餘	二十九万石餘
現石		
戸數		
人口		
國名	攝津	肥前 / 壹岐
郡數	五郡	三郡 / 一圓二郡
郡名	八部 兎原 武庫 川邊 有馬	彼杵 高來 松浦之内 / 壹岐 石田
廢縣	兵庫 尼崎 三田	大村 福江 島原 長崎 平戸
緯度		三十二度四十四分餘
經度		百二十九度五十一分五十八秒
里數		
令	從五位 神田孝平	
權令		正六位 宮川房之
參事	岡村義昌	
權參事	櫻田親義	森岡清左衛門
七等出仕	高橋信美	横山貞秀 岡田實明

府縣名	新潟	埼玉
廳所	蒲原郡	埼玉郡岩槻
石高	六十万石餘	四十八万石餘
現石		
戸數		
人口		
國名	越後	武藏
郡數	二郡	三郡
郡名	蒲原 岩船	埼玉 葛飾之内 足立之内
廢縣	峰山 新發田 村上 三日市 村松 黑川	忍 岩槻 浦和
緯度		
經度		
里數		
令	從四位 平松時厚	從五位 野村盛秀
權令		
參事	松平正直	
權參事	南部信近	白根多助
七等出仕		

入間

入間郡川越

四十万石余

武藏

十三郡

横見　入間　秩父　男衾　大里　榛澤　賀美　幡羅　比企　新座　那賀　児玉　高麗

川越

令
權令
參事　小[illegible]幹
權參事　宮城時亮
七等出仕

足柄

相摸國足柄下郡小田原

二十六万石余

相摸

六郡

足柄上　足柄下　大住　愛甲　陶綾　津久井

伊豆

一圓四郡

君沢　田方　那賀　賀茂

韮山　小田原　荻野山中

令
權令
參事　正七位　柏木忠従
權參事　杉本行蔵
七等出仕

三

木更津

上総國望陀郡久留里

五十二万石余

安房

一圓四郡

平　安房　朝夷　長狹

上総

一圓九郡

市原　望陀　周淮　天羽　夷隅　長柄　山邊　武射　埴生

館山　加知山　長尾　花房　鶴舞　久留里　鶴牧　一宮　櫻井　松尾　菊間　飯野　大多喜　佐貫　小久保　宮谷

令
權令　柴原和
參事
權參事　國司[illegible]信
七等出仕

印旛

印旛郡佐倉

四十六万石余

下総

九郡

結城　猿島　葛飾　相馬　岡田　豊田　千葉　埴生　印旛

佐倉　古河　關宿　結城　生實　曾我野　葛飾

令　従五位　河瀬秀治
權令
參事
權參事　西村[illegible]
七等出仕

新治

常陸國新治郡土浦

六十一万石余

常陸

六郡

新治　筑波　河内　行方　信太　鹿島

下総

三郡

香取　匝瑳　海上

土浦　龍崎　牛久　麻生　松川　石岡　志筑　若森　多古　高岡　小見川

令
權令
參事　土肥実光
權參事　成川尚義
七等出仕

茨城

茨城郡水戸

五十一万石余

常陸

五郡

多賀　久慈　那珂　茨城　真壁

水戸　笠間　下妻　松岡　下館　宍戸

令
權令
參事
權參事　山口正定
七等出仕

四

群馬

群馬郡高崎

四十四万石餘

上野

十一郡

利根　吾妻　勢多　碓氷　那波　甘樂　佐位　片岡　多胡　緑野　群馬

沼田　伊勢崎　前橋　高崎　安中　七日市　岩鼻　小幡

令　従五位　青山貞
權令
參事
權參事　野口文清
七等出仕

栃木

野國都賀郡

五十二万石餘

上野

三郡

邑樂　新田　山田

下野

五郡

足利　簗田　寒川　安蘇　都賀

壬生　佐野　足利　吹上　日光　館林

令
權令　正六位　鍋島貞幹
參事　藤川爲親
權參事　従七位　井上義斐
七等出仕

三　壹

宇都宮	
所在	河内郡
石高	四十一万石余
國	下野
郡數	四郡
郡名	芳賀　塩谷　那須　河内
城邑	茂木　宇都宮　烏山　黒羽　喜連川
令	
権令	
参事	小畑高政
権参事	岩村精一郎
七等出仕	

奈良	
所在	添上郡奈良町
石高	五十万石余
國	大和
郡數	一圓十五郡
郡名	添上　添下　平群　廣瀬　葛上　葛下　忍海　宇智　吉野　宇陀　式上　式下　高市　十市　山邉
城邑	奈良　郡山　高取　小泉　田原本　柳本　芝村　櫛羅　柳生　五條
令	従四位　四條隆平
権令	
参事	三須文郎
権参事	津枝伊太郎
七等出仕	

堺	
所在	和泉國大鳥郡堺町
石高	四十六万石余
國	河内　一圓十六郡
郡名	錦部　石川　古市　安宿　大縣　高安　河内　讃良　茨田　交野　若江　渋川　志紀　丹北　丹南　八上
國	和泉　一圓四郡
郡名	大鳥　和泉　日根　南
城邑	丹南　伯太　堺　岸和田　吉見
令	従五位　税所篤滿
権令	
参事	
権参事	藤井千尋
七等出仕	

安濃津	
所在	伊勢國安濃郡津
石高	五十三万石余
國	伊賀　一圓四郡
郡名	阿拝　山田　伊賀　名張
國	伊勢　八郡
郡名	安濃　安藝　鈴鹿　河曲　三重　桑名　員辨　朝明
城邑	津　長島　亀山　神戸　菰野　桑名
令	
権令	
参事	丹羽賢
権参事	[illegible]
七等出仕	

五

度會	
所在	伊勢國度會郡山田
石高	三十四万石余
國	志摩　一圓二郡
郡名	答志　英虞
國	伊勢　五郡
郡名	多氣　度會　飯野　飯高　一志
國	紀伊　一郡
郡名	牟婁内
城邑	鳥羽　久居　度會
令	従三位　橋本實梁
権令	
参事	従六位　安岡良亮
権参事	下山尚
七等出仕	

名古屋	
所在	愛智郡
石高	六十六万石余
國	尾張
郡數	七郡
郡名	春日井　愛知　葉栗　海東　海西　丹羽　中島
城邑	名古屋　犬山
令	
権令	従五位　井関盛良
参事	長新斎
権参事	池田文八郎
七等出仕	

額田	
所在	三河國額田郡岡崎
石高	五十六万石余
國	三河　一圓八郡
郡名	碧海　賀茂　額田　幡豆　寶飯　設樂　八名　渥美
國	尾張　一郡
郡名	知多
城邑	西尾　岡崎　苅谷　半原　挙母　田原　西端　大平　豊橋　重原
令	
権令	従五位　林厚徳
参事	
権参事	木村成章
七等出仕	

濱松	
所在	敷智郡
石高	三十七万石余
國	遠江
郡數	一圓十二郡
郡名	濱名　敷智　豊田　引佐　麁玉　長上　磐田　周智　山名　佐野　榛原　城東
城邑	堀江
令	
権令	従五位　多久茂族
参事	高石和道
権参事	岩崎實
七等出仕	井上八郎

六

静岡

安部郡
二十五万石余

駿河　一圓七郡

志田　益頭　有度　安部　廬原　冨士　駿東

静岡

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		浅野氏祐	長沢泥之允	服部綾雄

山梨

山梨郡甲府
三十一万石余

甲斐　一圓四郡

山梨　八代　巨麻　都留

甲府

令	権令	参事	権参事	七等出仕
従五位　土肥実匡			益田包義	

七

滋賀

滋賀郡
四十五万石余

近江　六郡

滋賀　栗太　野洲　甲賀　蒲生　神崎

水口　西大路　膳所　大津　山上

令	権令	参事	権参事	七等出仕
従五位　松田道之		榊原豊	正七位　粂田安定	

長濱

坂田郡
四十万石余

近江　六郡

愛知　犬山　坂田　浅井　伊香　高嶋

宮川　浅冝山　彦根

令	権令	参事	権参事	七等出仕
	従四位　神山君風		笠原半九郎	石黒務

岐阜

厚見郡
七十三万石余

美濃　一圓二十一郡

多藝　石津　不破　安八　池田　大野　本巣　席田　厚見　各務　山縣　武儀　郡上　加茂　可児　土岐　恵那　方縣　海西　羽栗　中島

大垣　郡上　加納　岩邑　今尾　苗木　高富　野村　笠松

令	権令	参事	権参事	七等出仕
従五位　長谷部恕連			正七位　小崎利準	

筑摩

信濃國筑广郡松本
三十八万石余

信濃　四郡

筑摩　伊那　諏訪　安曇

飛騨　一圓三郡

大野　吉城　益田

高山　松本　高遠　高島　飯田　伊那

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		永山盛輝	荒木権六	

八

長野

水内郡
四十五万石余

信濃　六郡

埴科　高井　水内　佐久　更科　小縣

松代　上田　飯山　岩村田　小諸　須坂　長野

令	権令	参事	権参事	七等出仕
	正六位　立木兼善	汾陽五郎右衛門	楢崎八十槌	大久保[illegible]郎

宮城

陸前國宮城郡仙臺
五十五万石余

磐城　四郡

宇多　亘理　伊具　苅田

陸前　九郡

牡鹿　桃生　遠田　志田　賀美　黒川　宮城　名取　柴田

仙臺　登米　角田

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		塩谷良翰	遠藤温	

九

	福嶋	磐前	若松	水澤
郡	岩代國信夫郡	磐前郡	會津郡	陸中國磐井郡
石高	四十七万石余	四十二万石余	三十四万石余	四十二万石余
國	岩代 ／ 磐城	磐城	岩代	陸前 ／ 陸中
郡數	五郡 ／ 一郡	十郡	四郡	五郡 ／ 三郡
郡名	信夫 安達 安積 岩瀬 伊達 ／ 白河	宇多 行方 標葉 楢葉 田村 磐城 石川 菊多 白川 磐前	會津 耶麻 大沼 河沼	本吉 登米 栗原 玉造 氣仙 ／ 膽澤 江刺 磐井
	二本松 福島 白河	棚倉 三春 中村 泉 湯長谷 磐城平	若松	一関 膽沢
令			從四位 鷲尾隆聚	
權令	從六位 宮原積			
參事	藤井正志	坂本廉四郎	牟田通照	增田繁幸
權參事		兒玉氏精	岡部綱紀	岡[illegible]隆德
七等出仕		富田久助		

十

	岩手	青森	山形	置賜
郡	岩手郡盛岡	陸奥國津輕郡	村山郡	置賜郡
石高	二十四万石余	三十八万石余	四十五万石余	二十八万石余
國	陸中	陸奥 ／ 松前	羽前	羽前
郡數	六郡	一國四郡	三郡	一郡
郡名	閉伊 和賀 稗貫 紫波 岩手 九戶	津輕 北 二戶 三戶	村山 最上 置賜之內	置賜之內
	江刺 盛岡	弘前 黑石 八戶 七戶 斗南 舘	上山 天童 新庄 山形	米沢
令				
權令		正六位 菱田重禧	正四位 壬生基修	
參事	從六位 島惟精		岩村定高	高崎五六
權參事	野田親孝	野田豁通	早川勇	芹澤善三郎
七等出仕	安宅勝全			高山[illegible]太郎

酒田

羽前國田川郡
二十三万石余

羽前　一郡　田川

羽後　一郡　飽海

大泉　松嶺

令	權令	参事	權参事	七等出仕
		松平親懷	菅實秀	

秋田

羽後國秋田郡
四十三万石余

陸中　一郡　鹿角

羽後　七郡　平鹿　雄勝　仙北　由利　川邊　秋田　山本

岩崎　本庄　秋田　亀田　矢島

令	權令	参事	權参事	七等出仕
	島義勇			

十一

敦賀

越前國敦賀郡
二十三万石余

若狭　一圓三郡　大飯　遠敷　三方

越前　三郡　敦賀　南條　今立

小濱　鯖江

令	權令	参事	權参事	七等出仕
		従七位 熊谷直光	兼松貞	

足羽

越前國足羽郡
五十四万石余

越前　五郡　足羽　吉田　丹生　坂井　大野

福井　丸岡　大野　勝山　本保

令	權令	参事	權参事	七等出仕
		村田氏壽	千本久信	

石川

石川郡金澤
四十六万石余

加賀　一圓四郡　河北　石川　能美　江沼

金沢　大聖寺

令	權令	参事	權参事	七等出仕
		従五位 内田政風	桐山純孝	

七尾

能登國鹿島郡
四十六万石余

能登　一圓四郡　羽咋　鹿島　鳳至　珠洲

越中　一郡　射水

令	權令	参事	權参事	七等出仕
		正七位 兵頭正懿	奈良幹	

十二

新川

新川郡
六十八万石余

越中　三郡　礪波　新川　婦負

富山

令	權令	参事	權参事	七等出仕
		三吉周亮	林時萬	

柏崎

苅羽郡
五十四万石余

越後　五郡　頸城　古志　魚沼　苅羽　三島

高田　与板　椎谷　清崎　柏崎

令	權令	参事	權参事	七等出仕
		鳥井断三	南部廣矛	河原信可

相川
加茂郡
十三万石余

佐渡 一國三郡
加茂 雜太 羽茂

佐渡

令	權令	參事	權參事	七等出仕
		鈴木猶[illegible]	加藤敬[illegible]	

豊岡
但馬國城崎郡
四十六万石余

丹波 三郡
多紀 氷上 天田

但馬 一國八郡
朝来 養父 二方 七味 氣多 城崎 美含 出石

丹後 一國五郡
与佐 加佐 中 熊野 竹野

篠山 福知山 柏原 舞鶴 宮津 峯山 久美濱 豊岡 村岡 出石 生野

令	權令	參事	權參事	七等出仕
	從五位 小松彰		田中光儀	大野右仲

鳥取
因幡國邑美郡
四十万石余

因幡 一國八郡
岩井 法美 八東 八上 智頭 邑美 高草 氣多

伯耆 一國六郡
河村 久米 八橋 汗入 會見 日野

隠岐 一國四郡
海士 知夫里 越智 周吉

鳥取

令	權令	參事	權參事	七等出仕
	從五位 川田景與		関龍二	川崎齊

島根
出雲國島根郡
二十八万石余

出雲 一國十郡
島根 神門 秋鹿 楯縫 出雲 飯石 仁多 大原 能義 意宇

松江 廣瀬 母里

令	權令	參事	權參事	七等出仕
	正六位 池田種徳		山口[illegible]右衛門	

十三

濱田
那賀郡
十八万石余

石見 一國六郡
安濃 邇摩 邑智 那賀 美濃 鹿足

濱田

令	權令	參事	權參事	七等出仕
	正六位 佐藤信寛		渡邊積	

飾磨
飾東郡
六十五万石余

播磨 一國十六郡
明石 美嚢 加古 印南 加東 加西 多可 神東 神西 飾東 飾西 揖東 揖西 赤穂 佐用 宍粟

姫路 明石 龍野 赤穂 三日月 三草 山崎 安志 林田 小野

令	權令	參事	權參事	七等出仕
	從六位 中島錫胤		石部六郎	

北條
西北條郡
二十六万石余

美作 一國十二郡
東南條 東北條 西北條 大庭 眞島 久米北條 久米南條 勝南 勝北 英田 吉野 西西條

眞島 津山 鶴田

令	權令	參事	權參事	七等出仕
		渕邊高照	小野立成	樺山[illegible]吉郎

岡山
御野郡
四十二万石余

備前 一國八郡
御野 津高 赤坂 磐梨 和氣 邑久 上道 兒島

岡山

令	權令	參事	權參事	七等出仕
		正六位 新莊厚信	中村修之進	河合就義

十四

小田

深津

備後國深津郡
五十一万石余

備中	備後
一圓十一郡	六郡
上房 阿賀 哲多 川上 小田 後月 下道 賀陽 都宇 淺口 窪屋	沼隈 深津 安那 品治 芦田 神石

足守 庭瀬 新見 鴨方 淺尾 高梁 成羽 岡田 倉敷 生坂 福山

令	權令	参事	權参事	七等出仕
	正六位 矢野光儀		森三郎	

廣嶋

安藝國沼田郡
四十九万石余

安藝	備後
一圓八郡	八郡
沼田 佐伯 豊田 山縣 高宮 加茂 安藝 高田	御調 世羅 三谿 三上 奴可 甲怒 三次 惠蘇

廣嶋

令	權令	参事	權参事	七等出仕
		伊達宗興	西本正道	

十五

山口

周防國吉敷郡
八十九万石余

長門	周防
一圓六郡	一圓六郡
阿武 豊浦 大津 厚狭 美根 見島	都濃 玖珂 吉敷 佐波 熊毛 大島

山口 岩國 德山 豊浦 清末

令	權令	参事	權参事	七等出仕
		中野第長	久保久清	木梨信一

和歌山

名草郡
四十万石余

紀伊
七郡
伊都 那賀 名草 海部 有田 日高 牟婁之内

和歌山 田辺 新宮

令	權令	参事	權参事	七等出仕
	従五位 北島秀朝	濱口成則		

石鐵　神山

名東

阿波國名東郡
四十四万石余

阿波	淡路
一圓十郡	一圓二郡
三好 美馬 阿波 板野 麻植 名西 名東 勝浦 那賀 海部	三原 津名

德島

令	權令	参事	權参事	七等出仕
		井上高格	西川甫	

香川

香川郡
三十万石余

讃岐
一圓十一郡三島
大内 寒川 三木 山田 香川 阿野 鵜足 那珂 多度 三野 豊田 小豆島 塩飽島 直島

高松 丸亀

令	權令	参事	權参事	七等出仕
		林亀吉	田部密	

十六

松山

温泉郡
二十四万石余

伊豫
十郡
宇摩 新居 野間 周布 桑村 越智 風早 和氣 温泉 伊豫

今治 小松 松山 西條

令	權令	参事	權参事	七等出仕
		本山只一郎	揶井熊一	

宇和嶋

宇和郡
二十二万石余

伊豫
四郡
宇和 喜多 浮穴 久米

宇和島 吉田 新谷 大洲

令	權令	参事	權参事	七等出仕
	従五位 間島冬道		江木清郎	

高知

土佐郡

四十九万石余

土佐 一圓七郡

安藝　香美　長岡　土佐　吾川　高岡　幡多

高知

三十三度三十三分

百三十三度二十分

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		林包德	中村貫一郎	

福岡

早良郡

六十五万石余

筑前 一圓十五郡

遠賀　宗像　鞍手　穂波　嘉麻　上座　下座　夜須　御笠　糟屋　席田　那珂　早良　志摩　怡土

福岡　秋月

令	権令	参事	権参事	七等出仕
二品熾仁親王		塩谷慶	水野千波	

十七

三潴

三潴郡

五十三万石余

筑後 一圓十郡

生葉　竹野　山本　御原　御井　上妻　下妻　三潴　山門　三池

久留米　柳川　三池

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		水原建久	関口頼藻	

小倉

企救郡

三十六万石余

豊前 一圓八郡

企救　田川　京都　中津　築城　上毛　下毛　宇佐

豊津　中津　千束

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		伊藤源藏	堀尾重興	平井淳麿

白川

大分

大分郡

四十三万石余

豊後 一圓八郡

國東　速見　大分　海部　大野　直入　玖珠　日田

臼杵　杵築　佐伯　日出　府内　岡　日田　森

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		森下景端		[illegible]

伊万里

肥前國松浦郡

四十九万石余

肥前 九郡

松浦　藤津　杵島　小城　佐賀　三根　養父　基肄　神埼

對馬 一圓二郡

上縣　下縣

佐賀　唐津　小城　蓮池　鹿島　厳原

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		古賀定雄	冨岡敬功	

十八

熊本

飽田郡

四十八万石余

肥後 九郡

玉名　山鹿　菊池　山本　阿蘇　託麻　飽田　合志　益城

熊本

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		山田武甫	林秀謙	徳富一敬

八代

八代郡

三十六万石余

肥後 六郡

下益城　宇土　球磨　芦北　八代　天草

人吉

令	権令	参事	権参事	七等出仕
		大田黒惟信	織田泉之	

都城

日向國諸縣郡
四十三万石余

日向　三郡　那珂之内　宮崎之内　諸縣之内
大隅　六郡　始羅　肝属　噌唹　大隅　菱刈　桑原
飫肥

令	權令	參事	權參事	七等出仕
		桂久武		

美々津

兒湯郡
十四万石余

日向　五郡　兒湯　臼杵　那珂之内　宮崎之内　諸縣之内
延岡　高鍋　佐原

令	權令	參事	權參事	七等出仕
		福山清藏	町田吉二	

十九

鹿兒島

谿山郡
三十二万石余

大隅　二郡　熊毛　馭謨
薩摩　一國十三郡　鹿兒島　谿山　給黎　揖宿　頴娃　河邉　阿多　日置　薩摩　伊佐　出水　高城　甑島
琉球　十五島　沖縄島　計羅婆島　戸無島　久米島　粟島　伊恵島　與是那島　恵平屋島　鬼界島　大島　徳ノ島　永良部島　與論島　宮古島　八重山島
鹿兒島

令	權令	參事	權參事	七等出仕
		大山良綱		

明治五年壬申正月廿日改

官版　不許翻刻

御用御書物師
山中市兵衛
村上勘兵衛
北畠茂兵衛

青生元宣 編

國郡全圖

文政十一年（一八二八）序刊本

據文政十一年（一八二八）
序刊本影印

國郡全圖序

昔在我
神皇順天受命建國經野
乃就地利以處人民
列聖繼興疆壤日廣遂分
海內為五畿七道定官置
職大布政教相土物產著
之圖籍民部掌之是以貪
吏不得行姦兇民無有爭
訟仁民之政至矣及鳥將
更出兵燹屢起所謂圖籍
遂亡

先王之迹逾遠而舊建之
名亦變實可惜也方今敦
教日興文運復昌博洽之
士繼踵故作地圖者亦多
然唯載列國而未及郡邑
尾張青生元宣慨其未備
博採舊聞旁求古啚研究
訂正數年乃成題曰國郡
全圖披而觀之則五畿七
道山川之大小都邑之廣
狹田畝之多寡里程之遠
近不出戶牖而可知也今

茲季秋因友人河村生請余序余雖未識其人而善其學之篤爲書之以與云
享和三季秋九月
式部權大輔兼文章博士
菅原長親

序　三

國郡全圖序

經界既正則可以分田制祿民部省
御圖牒蓋我經界也此書已亾其省
帳帳然源能州之轄有國郡部雖非
圖記類也延喜有神名式雖非方志
亦類也世傳建久曆卷首載小輿地
蓋中世所謂指圖者也自慶元來四

海文明人皆能絕地紀國有府志家
有地名考於是有長翁赤水路程圖
出焉事之為精在上古無之聞之翁
言曰吾書更十改刻則可以無大過
矣而未及三而翁歿繼有秦檍麻呂
東方十國圖焉麻呂健足日行六七
十里躬自經涉其地窮之可謂精之

又精者然僅僅十國授梓未半麻呂
亦逝豈不大遺憾乎無憾者其唯青
君東溪之書乎麻呂止十國翁無郡
縣此書無而有之山川城邑分界關
津之大無不備載陵墓原隰舊蹤寺
觀之細無不悉記書以全名不亦宜
乎君曰非敢然也桑滄變換地名沿

革茫茫淆淆難可單窮故吾唯創垂
之欲使後人繼而全之也曰然則翁
期諸己君托諸人期己者狹托人者
博他日司土氏必有所来取哉或謂
余曰嘗觀大石良雄書非獨以其人
而已也字亦遒勁印有富士山陰是
故鄉七字不知何謂也問之於人人

亦不識也昨讀此書山下有大石寺敢正諸吾子余歎曰此事雖小可以喻大

文政戊子仲秋

尾張　秦鼎撰

杉山延書

自序

輿地圖學之說極博。言多失荒唐。水戶赤水氏昉著日本路程全圖。郡國廣狹城邑配置悉皆詳審。然一幅之帖。山川邑里。百載一二。非官道所由。則多所不載。至於一覽盡形勢。則可矣。施之尋繹道路。絕絡山川者。則未可矣。如其配之山川列之邑里。次序道之所由。輿地之於圖。可謂博大矣。余有志於此舉久矣。今以一國。收于一紙。至於大國。則及三紙四紙亦有之。以邑付郡。以郡付國。以七十五紙。收六十六國。輯為一卷。山川邑里道路所由。天下曲折。可坐而知矣。若夫郡國增減。歷代沿革。

浩繁冗雜。不勝詳舉。姑據延喜式倭名類聚等書。條一二郡名於凡例下。可謂郡國面目。於此始具矣。先師乾堂先生嘗出示尾張全圖一幅曰。此圖山川邑里。不爽毫釐。梓而傳之於不朽。是吾志也。余謂舉一國之全。不若具各國之微為愈也。想各國亦必有全圖。於是遍搜遠求。曠年彌久。自五畿逮二洲。地圖粗具。然踈密相間。配列錯午者。不少矣。志在考之方志。証之國人。然研究渉久。恐年命之不吾與也。縱得經歷天下山川城邑。尋繹道路所由。疲駑之力。不勝重遠矣。悉不能及詳審。遂命剞劂氏。標曰國郡全圖。後來博該君子。各國有識之人。就加補正。豈啻老夫之幸。抑亦天下之徴益

文政戊子

尾張　東谿青生元宣識

凡例

此圖每國方圓曲直ノ形狀ハ赤水先生日本路程全圖ニ倣テ寫スサレトモ其國ノ大小廣狹ヲ論セス一紙ノ面ニ載セツ全圖ノ大幅ノ折畳紙ニテ展玩ニカヲ費シ又ヨリメ磨滅シテ看カタシ今此圖ハ几上一覧ノ便利ニシテ文字剥ヱ洛ノ患ナキヲ旨トス但シ陸奥出羽薩广等ノ如キハ次ヘ送リ二三葉ニ及フ各合紋ヲ以テ印トス

○海陸ミチノリ長短ハ畧シテ載セス◯郡名ノ古今ノ違ハ目録ニ記ス

○村名ハ畧字或ハ片カナヲ用ヒ総テ村ノ字ヲ省ク一字ノ村名ト雖モ亦然リ中村下村ノ類ナリ極メテ細密ノ処ハ圖モ字モ及ヒ難キ処アリ

○黒筋ハ郡界朱筋ハ街道驛路■城郭□陣屋◯莫ハ驛或宿並◯村名庄号⛩神社⌂佛閣堂廟〈〈淺莫ハ海河川谷○池水ル瀧☁島▲青ハ峯嶺山岳●湊或船着舟渡シ▲陵或ハ名所舊跡卌關路∩古墟○朱ハ温泉火井

◯・新田ノ印ナリ

廣大ノ海宇繁多ノ郡里固ヨリ此小圖ノ悉皆詳明スヘキ所ニアラネハ其誤脱踈漏極メテ可多唯博物ノ君子玩閲ノツイテ其闕ヲ補ヒタマハヽ年月ヲ積テ全備ナランヿ鄙心ノ深ク希フ事ニコソ

郡名目錄上卷

○畿内　五箇國

山城國　八郡　乙訓　葛野　愛宕　紀伊　宇治　久世　綴喜　相樂

大和國　十五郡　添上　添下　平群　廣瀬　葛上　葛下　忍海　宇智　吉野　宇陀　城上　城下　高市　十市　山邊

（古十四郡）河内國　十六郡　錦部　石川　古市　安宿　大縣　高安　河内　讃良　茨田　交野　若江　澁川　志紀　丹南　丹北　八上　今增八上郡丹比分南北

（古三郡）和泉國　四郡　大鳥　和泉　日根　泉南　今增泉南郡

（古十三郡）攝津國　十二郡　住吉　能勢　東成　西成　島上　島下　豐島　河邊　武庫　兎原　八部　有馬　舊有百濟郡今省之

○東海道　十五箇國

伊賀國　四郡　阿拜　山田　伊賀　名張

伊勢國　十三郡　桑名　員辨　朝明　三重　河曲　鈴鹿　奄藝　安濃　壹志　飯高　多氣　飯野　度會

志摩國　二郡　答志　英虞

尾張國　八郡　中島　葉栗　丹羽　春日部　愛智　智多　海東　海西　今海部分東西舊有山田郡今省之　又春日部今作春日井

參河國　八郡　碧海　賀茂　額田　幡豆　寶飯　設樂　八名　渥美

遠江國　十四郡　濱名　敷智　豐田　引佐　麁玉　長上　長下　磐田　山香　周智　山名　佐野　城飼　蓁原

駿河國　七郡　志太　益頭　有度　安倍　廬原　富士　駿東　古駿河今作駿東

（古三郡）伊豆國　四郡　田方　那賀　賀茂　君澤　今加君澤郡

甲斐國　四郡　山梨　八代　巨麻　都留

（古八郡）相模國　九郡　足柄上　足柄下　餘綾　大住　愛甲　高座　鎌倉　御浦　津久　今加津久郡

（古二十一郡）武藏國　二十二郡　久良　都筑　多磨　橘樹　荏原　豐島　足立　新座　入間　高麗　比企　横見　埼玉　大里　男衾　幡羅　榛澤　那珂　兒玉　賀美　秩父　葛餝　今加葛餝郡

安房國　四郡　平郡　安房　朝夷　長狹

（古十一郡）上總國　九郡　市原　武射　埴生　望陀　周淮　天羽　夷灊　長柄　山邊　舊有海上畔蒜二郡今減之

（古十一郡）下總國　十郡　千葉　印幡　匝瑳　相馬　結城　猿島　海上　香取　埴生　豐田　舊有葛餝郡今減之

常陸國　十一郡　新治　真壁　筑波　河内　信太　茨城　行方　鹿島　那珂　久慈　多珂

○東山道　八箇國

近江國　十二郡　滋賀　栗本　野洲　蒲生　神崎　愛智　犬上　坂田　淺井　伊香　高島　甲賀

（古十八郡）美濃國　二十一郡　多藝　石津　不破　安八　池田　大野　本巢　席田　厚見　各務　山縣　武藝　郡上　賀茂　可兒　土岐　惠奈　方縣　海西　葉栗　中島　今加海西葉栗中島三郡

（古三郡）飛驒國　四郡　大野　荒城　益田　大原　今加大原郡

信濃國　十郡　伊那　諏訪　筑摩　安曇　更級　埴科　水内　高井　小縣　佐久

上野國　十四郡　碓氷　片岡　甘樂　多胡　綠野　那波　群馬　吾妻　利根　勢多

佐位　新田　山田　邑樂

古三十五郡

下野國　九郡

足利　梁田　安蘇　都賀　寒川
那須　河内　鹽屋　芳賀

陸奥國　五十一郡

白川　黒川　磐瀬　宮城　會津
耶麻　安積　安達　柴田　刈田

遠田　名取　信夫　菊多　標葉
阿曾沼　行方　磐井　和賀　稗貫

亘理　玉造　賀美　志太　栗原
江刺　膽澤　登米　牡鹿　鹿角

階上　津輕　宇多　伊具　本吉
石川　大沼　斯波　磐前　磐城

伊達　閉伊　桃生　氣仙　楢葉
田村　磐手　二戸　三戸　九戸

北郡　舊有色麻長岡新田小田四郡今省之而加標葉田村磐手二戸三戸九戸北郡七郡又河内大名門郡載金原星河高野稲我七郡未考延喜式有三十五郡無大沼郡和名鈔爲三十六郡也

古十一郡

出羽國　十二郡

最上　村山　置賜　雄勝　平鹿
山本　飽海　豐島　田河　秋田

檜原　由利　今増檜原由利二郡舊有出羽郡今省之豐島一曰河邊

郡名目録上巻　三

〇北陸道　七箇國

若狹國　三郡

遠敷　大飯　三方

古六郡

越前國　十郡

敦賀　丹生　今立　足羽　大野
坂井　南條　今北　吉田　坂北

今加南條今北吉田坂北四郡舊有黒田池上柳田三郡今省之界未考

加賀國　四郡

江沼　能美　加賀　石川

能登國　四郡

羽咋　能登　鳳至　珠洲
能登一曰鹿島

越中國　四郡

礪波　射水　婦負　新川

古七郡

越後國　八郡

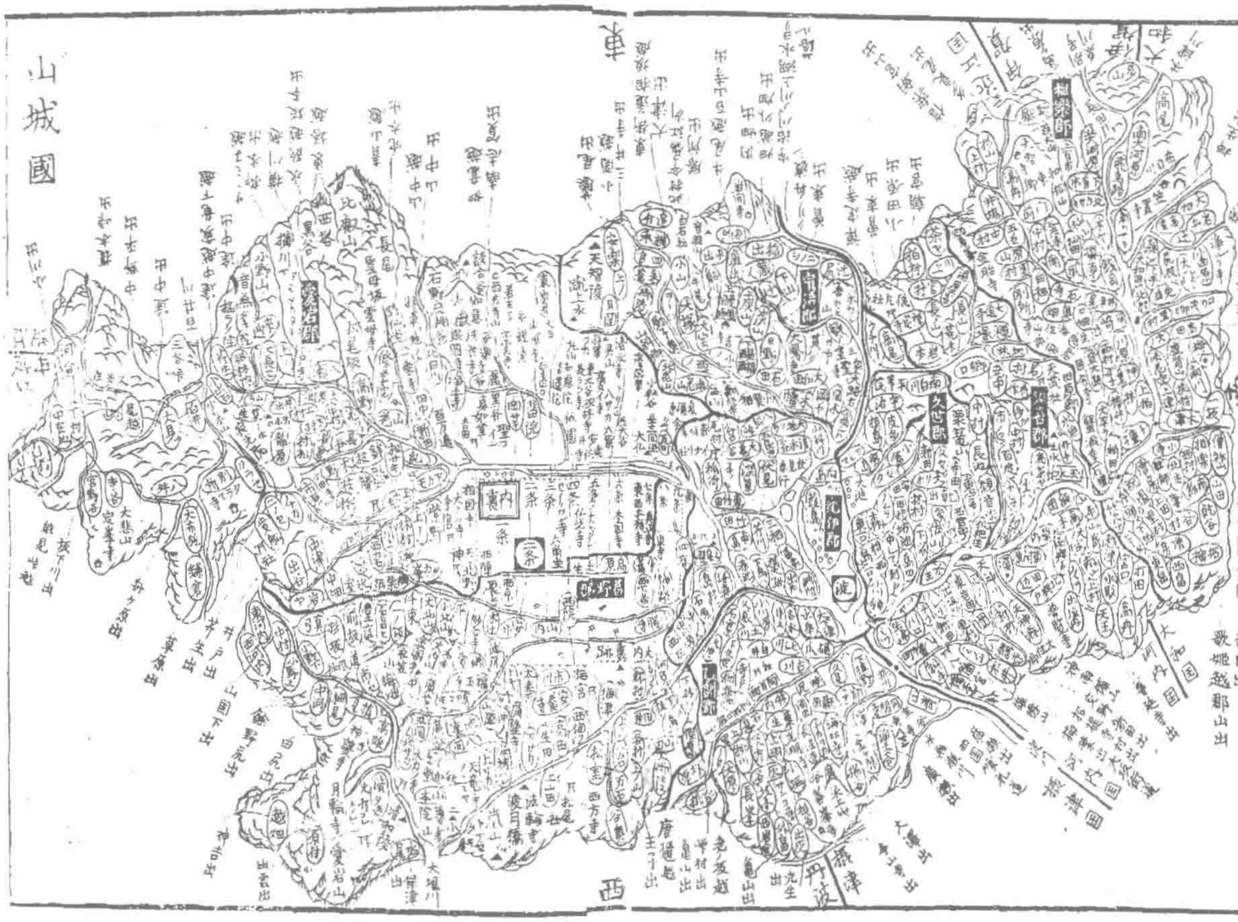
頸城　古志　三島　魚沼　蒲原
沼垂　石船　苅羽　今加苅羽郡

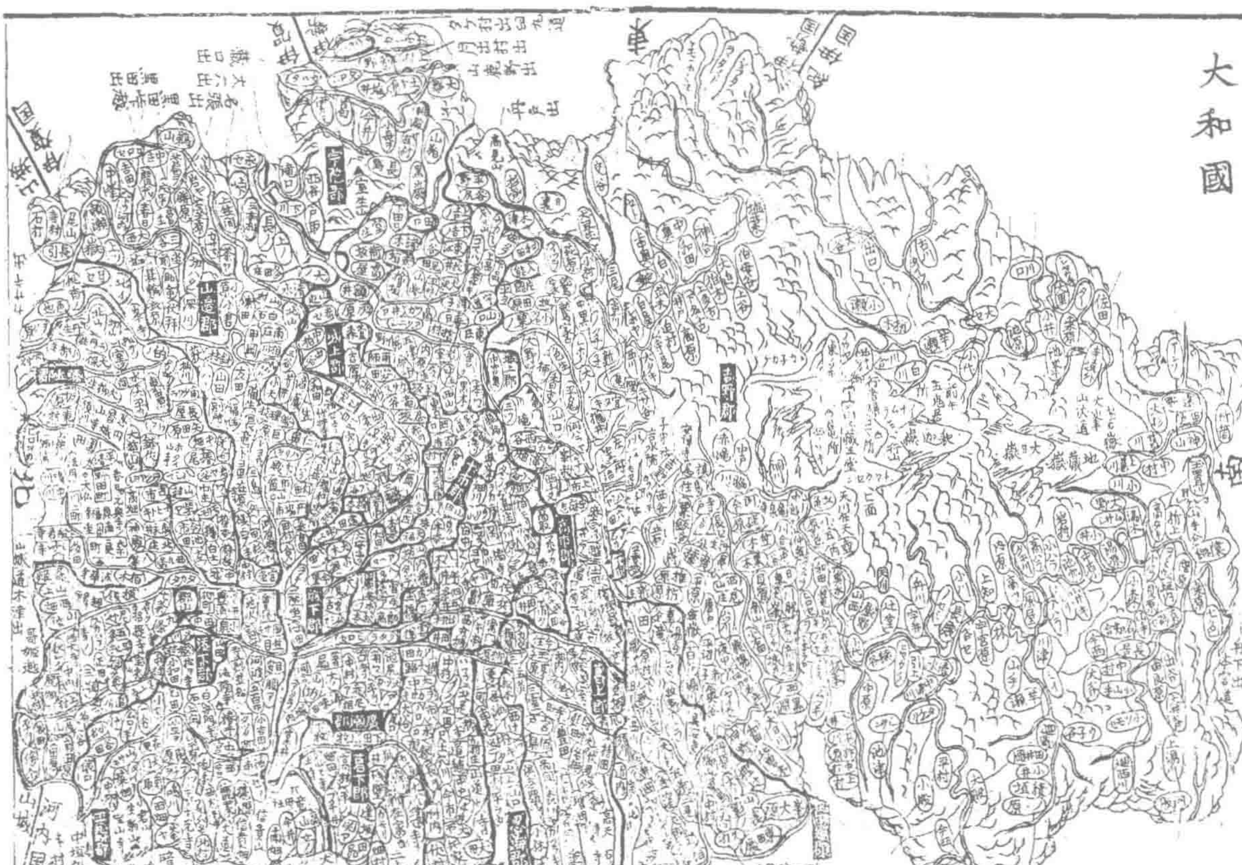
佐渡國　三郡

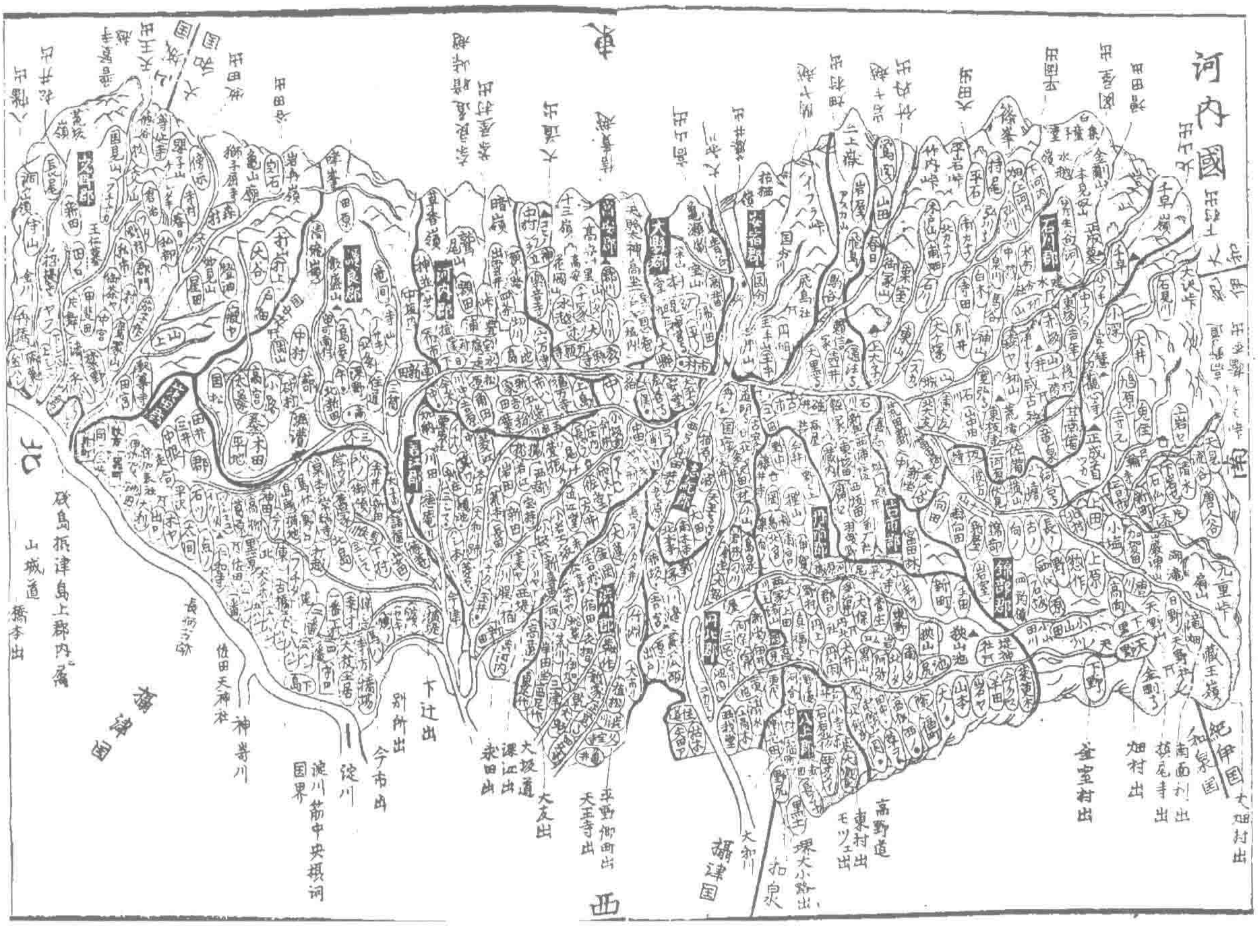
羽茂　雜太　賀茂

五畿收　帝甸七道
列藩翰便覽里程全
山河盈几案
歐文

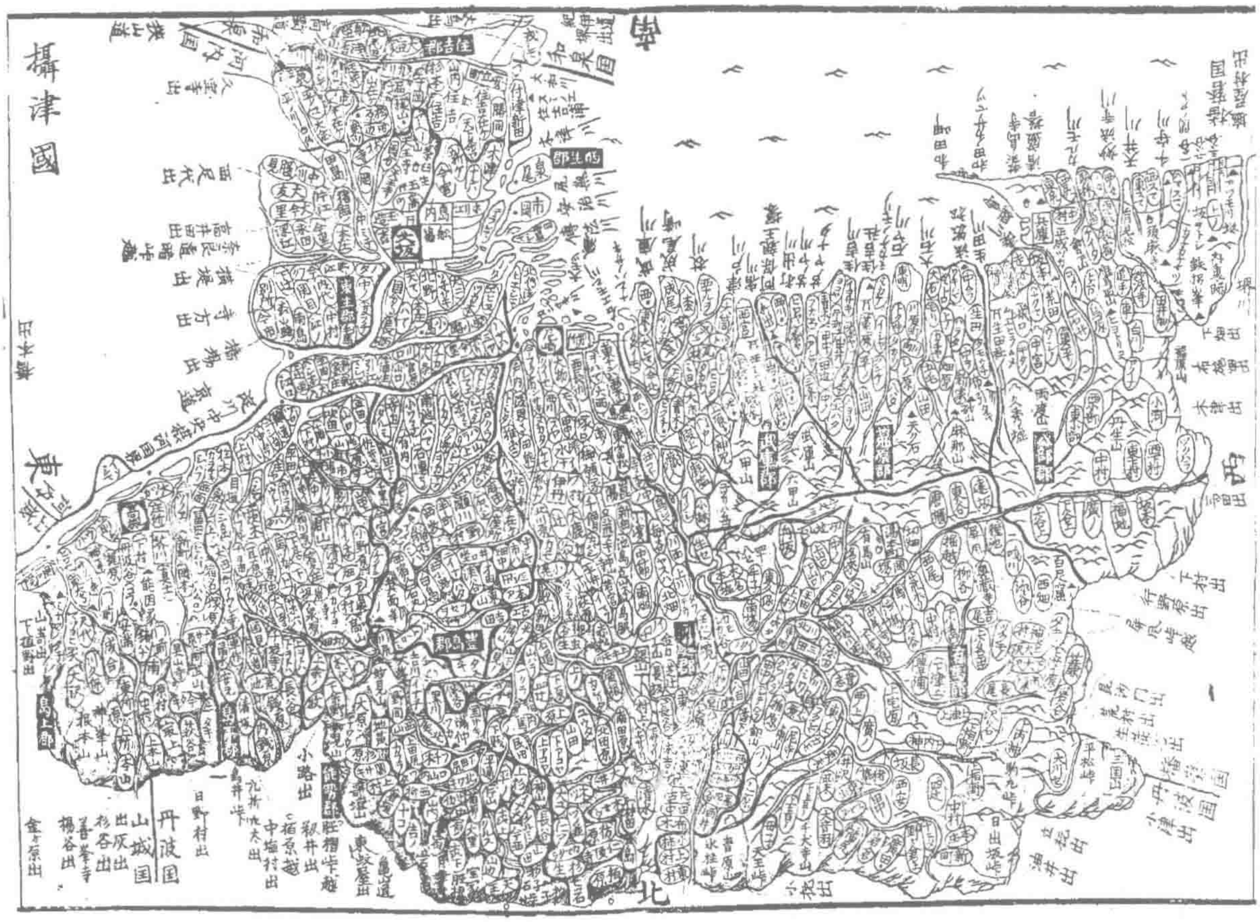



山城國

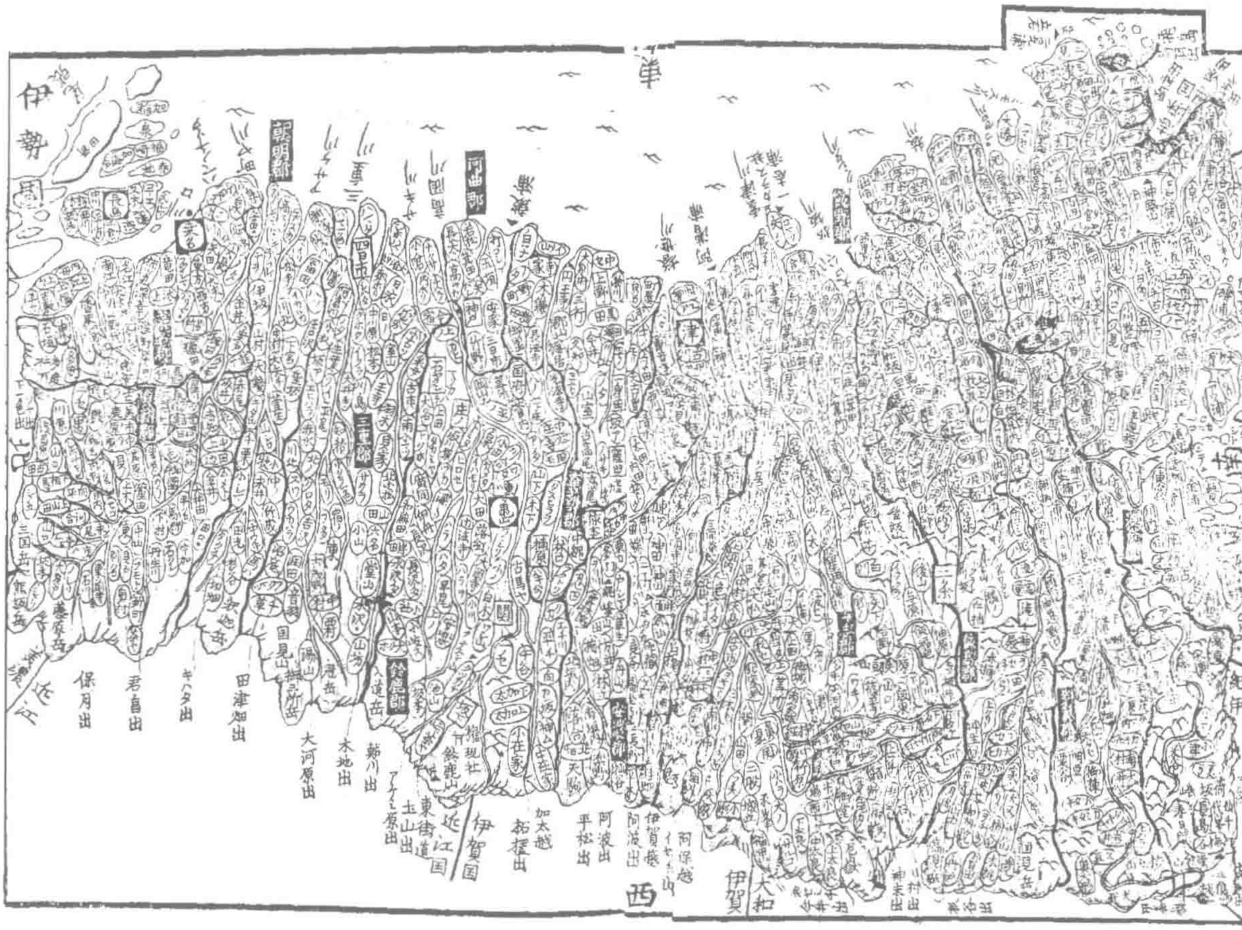

大和國

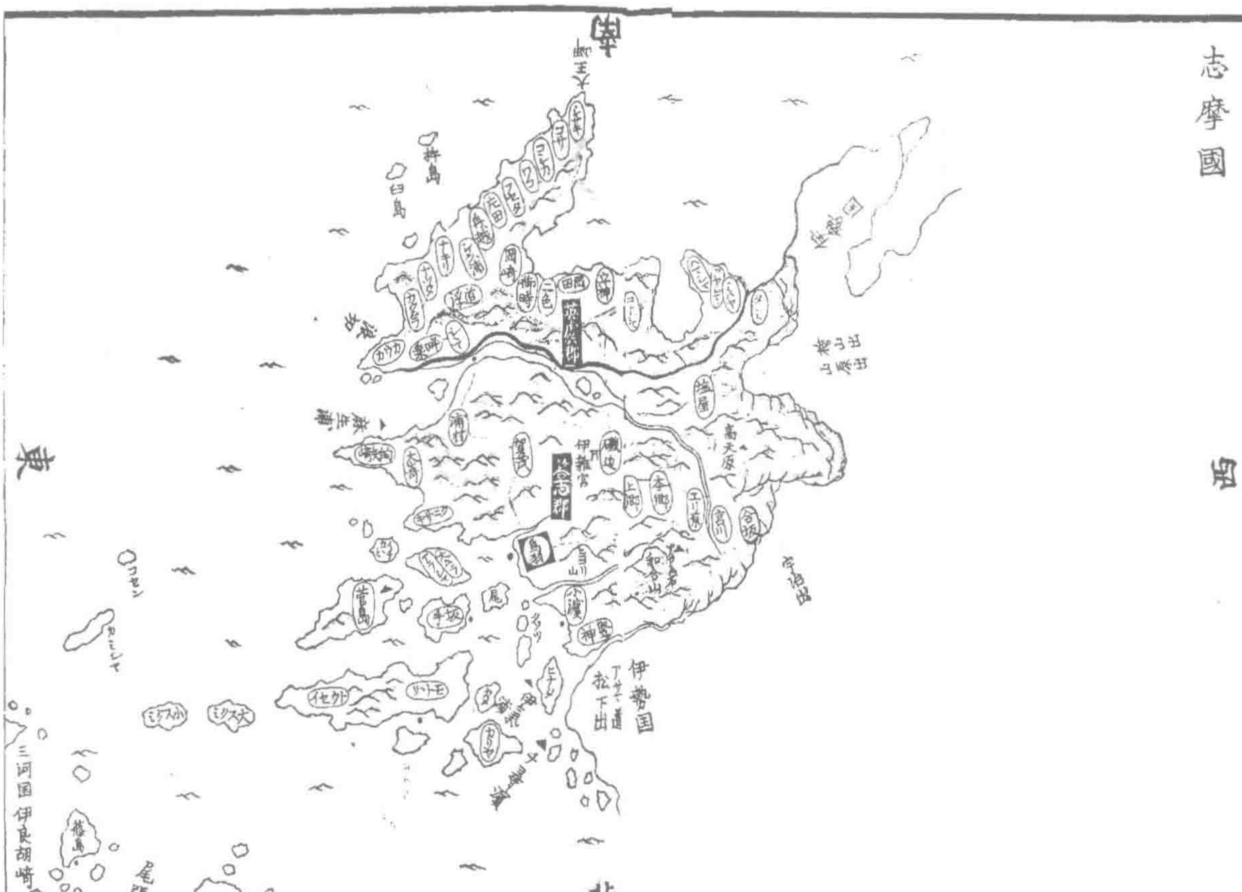

河内國
東
西
南
北
攝津国
紀伊国

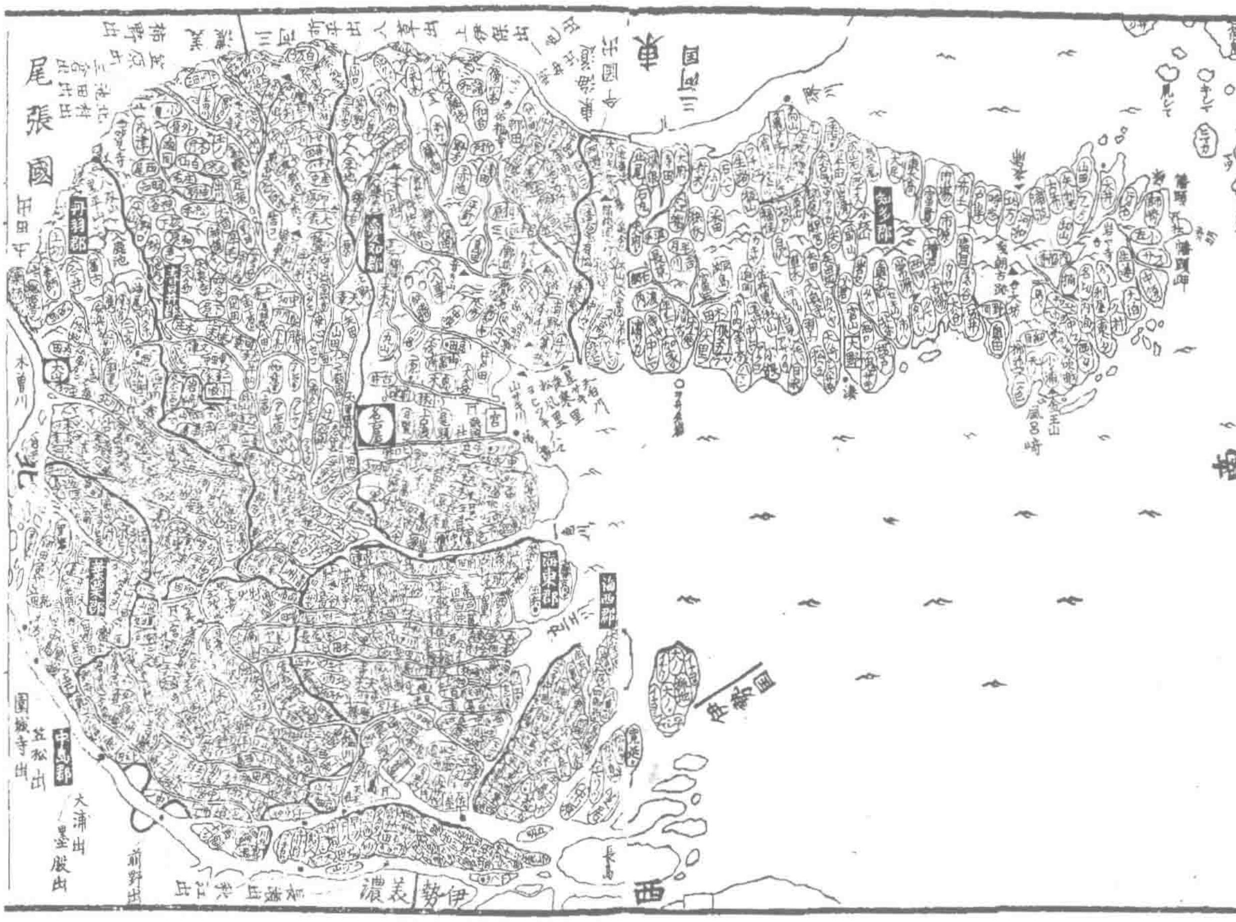

和泉國
東
西
南
北

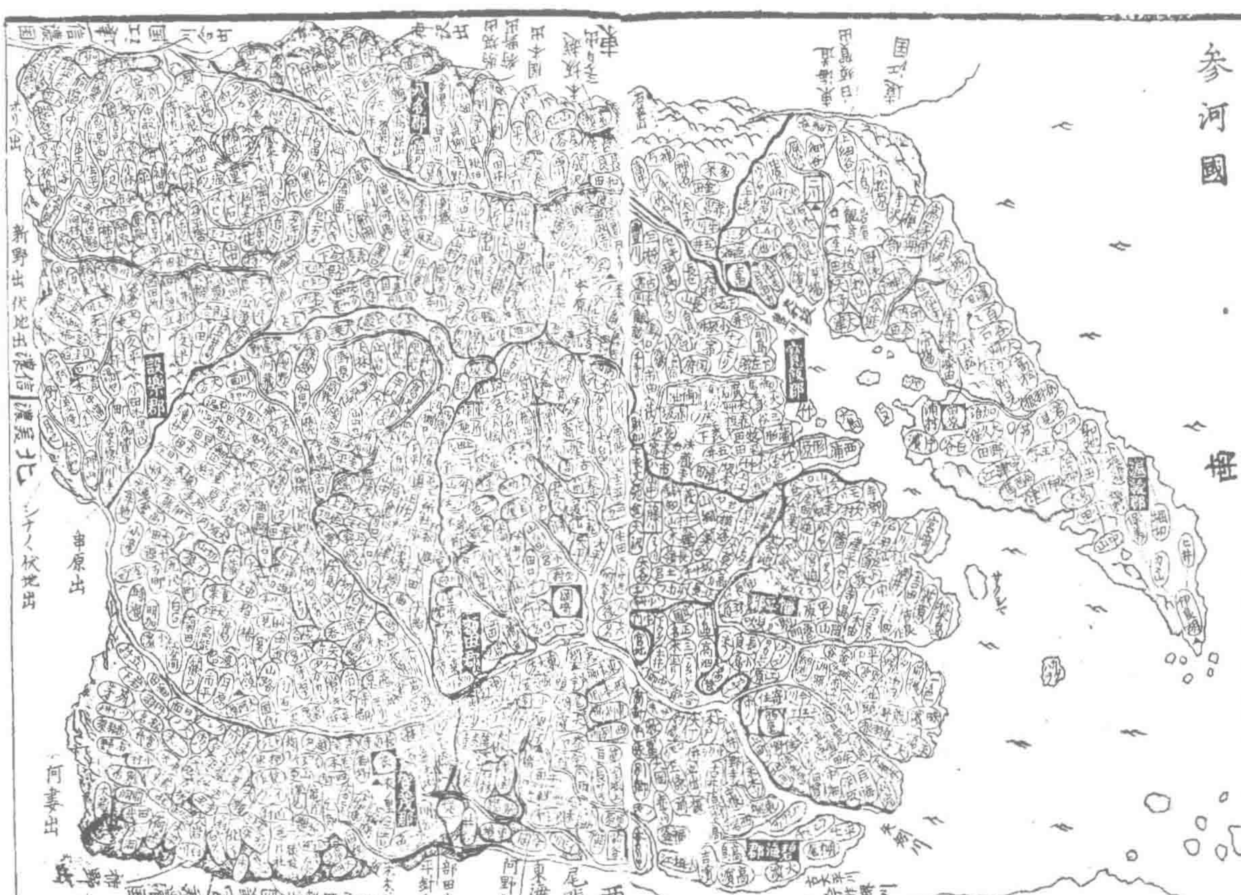

攝津國
東
北
丹波国
山城国

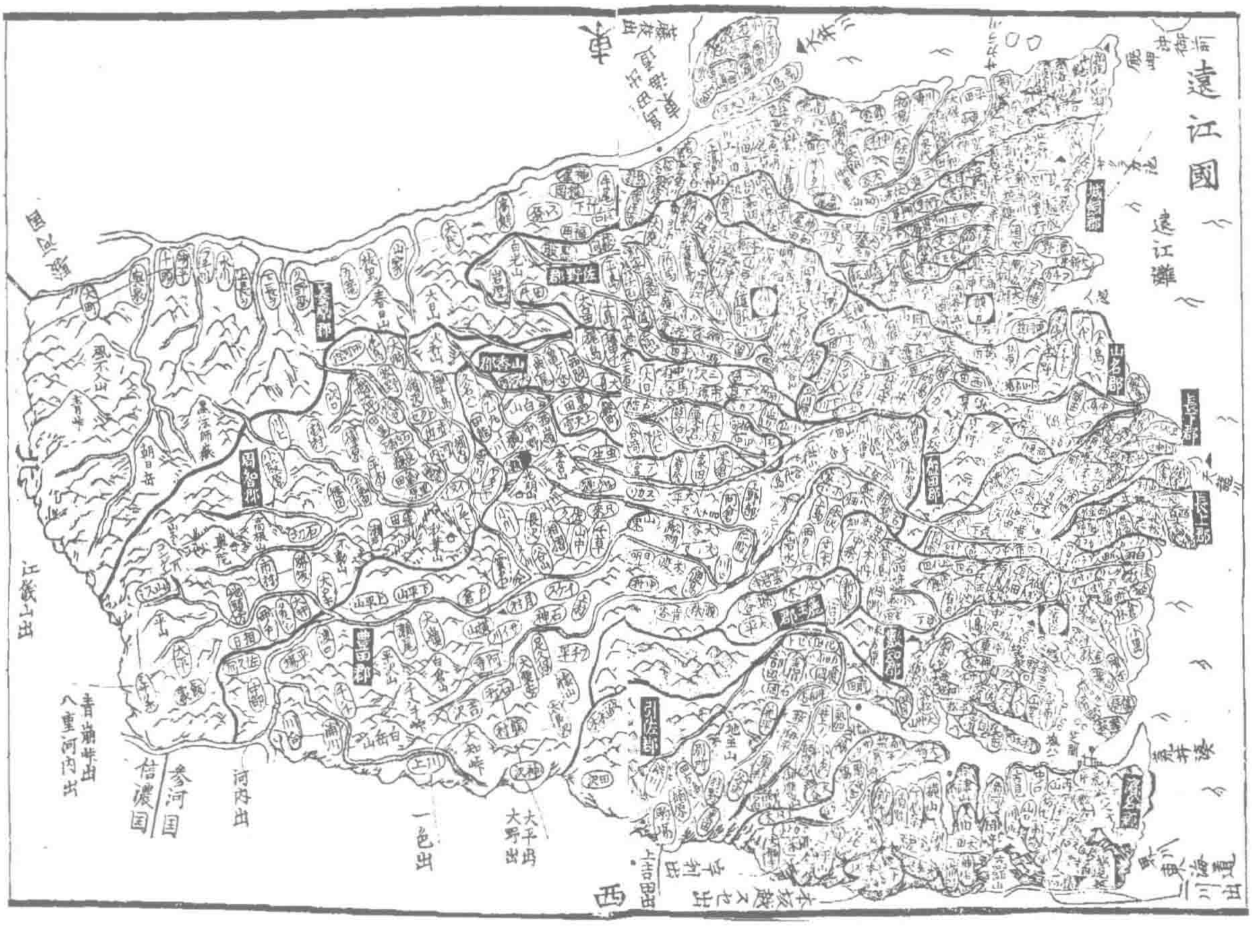

伊賀國
東
西
北
山城国
近江国
伊勢国


伊勢国
西
伊賀国
近江国
大和
紀伊


志摩國
南
東
西
北
伊勢国
三河国
尾張

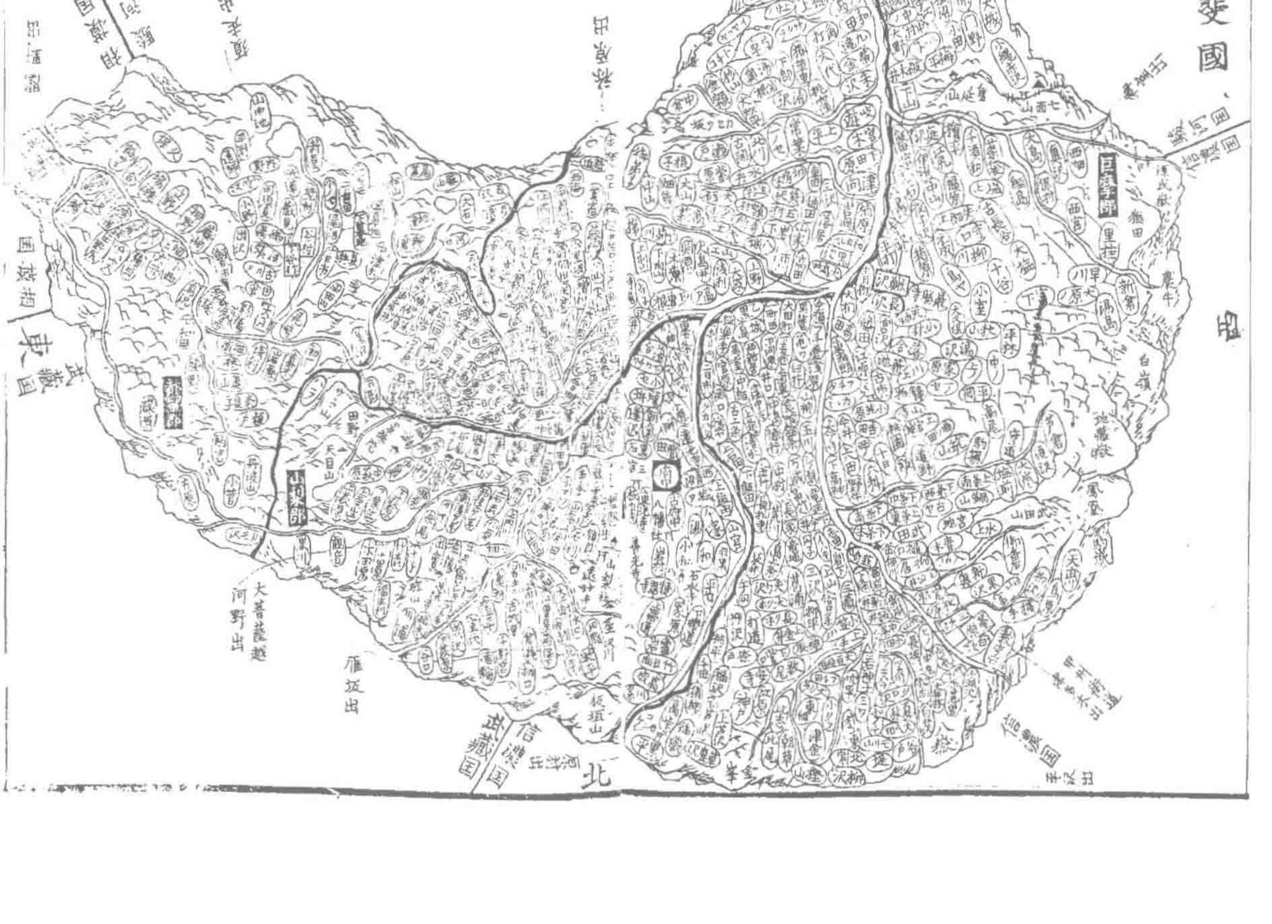

尾張國
木曽川
東
西
北
伊勢
美濃
大浦出
墨股出
前野出

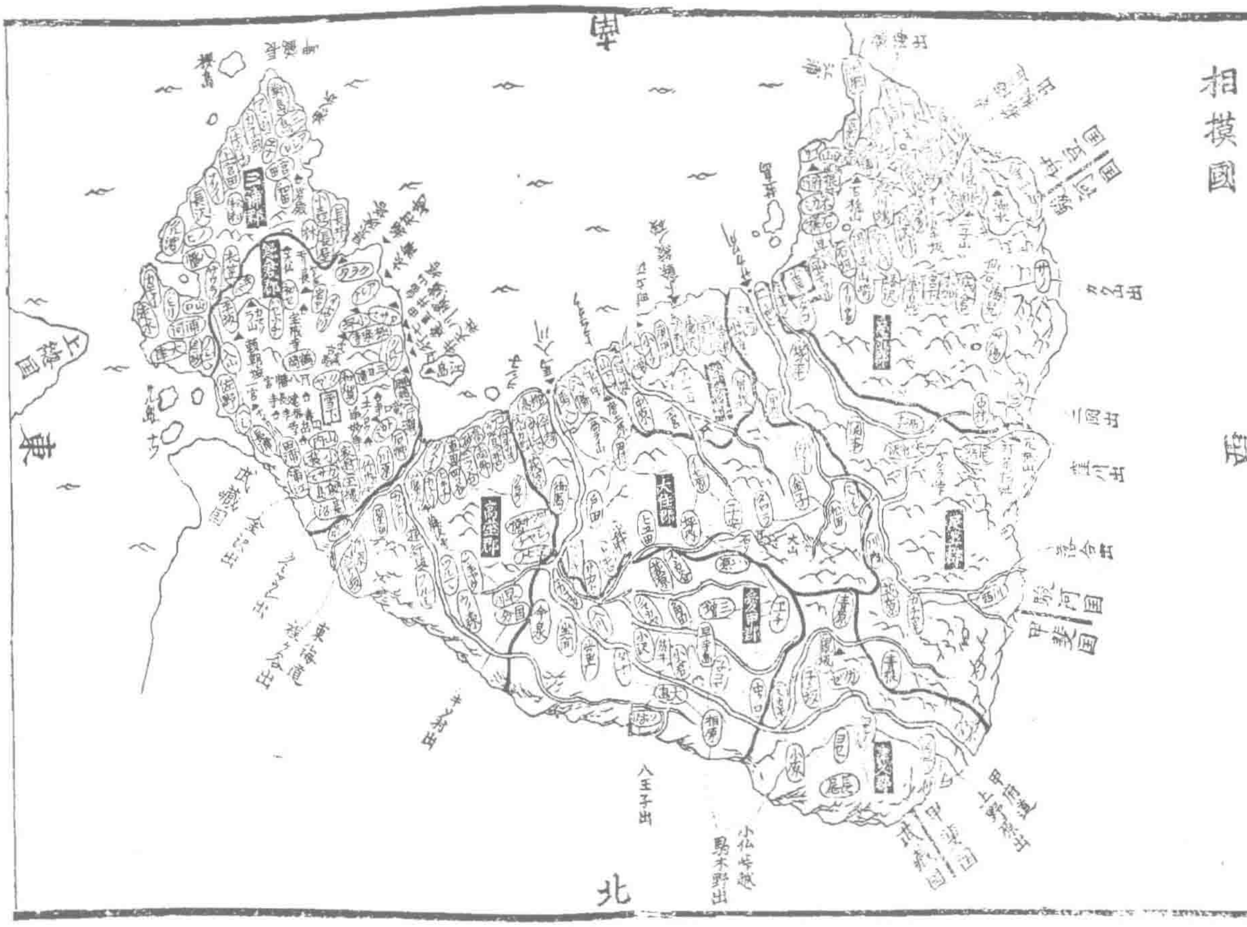

参河國
東
西
北
尾張
東海道
新野出
串原出

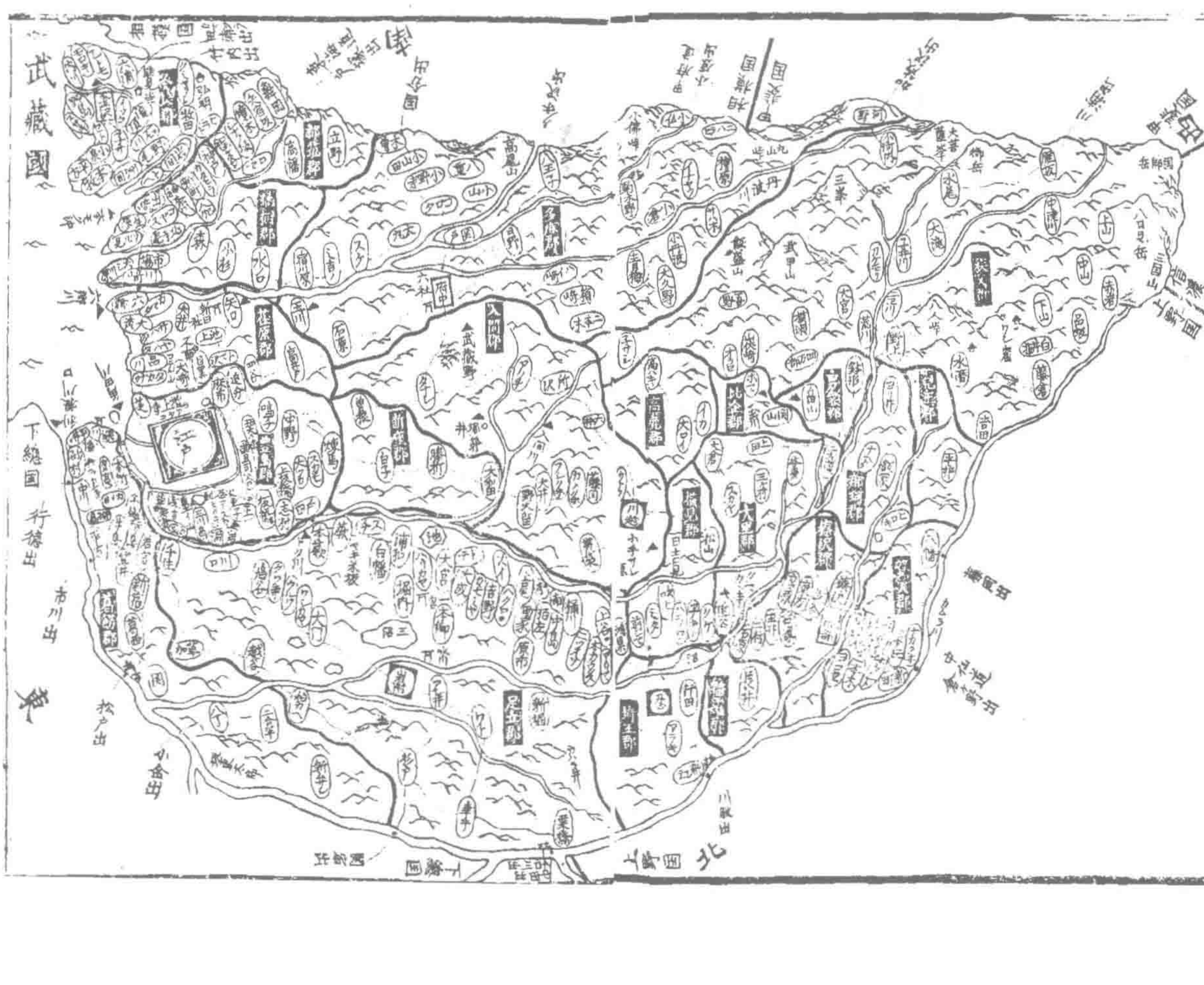

遠江國
遠江灘
東
西
信濃国
参河国
河内出
一色出
大平出
大野出
青崩峠出
八重河内出

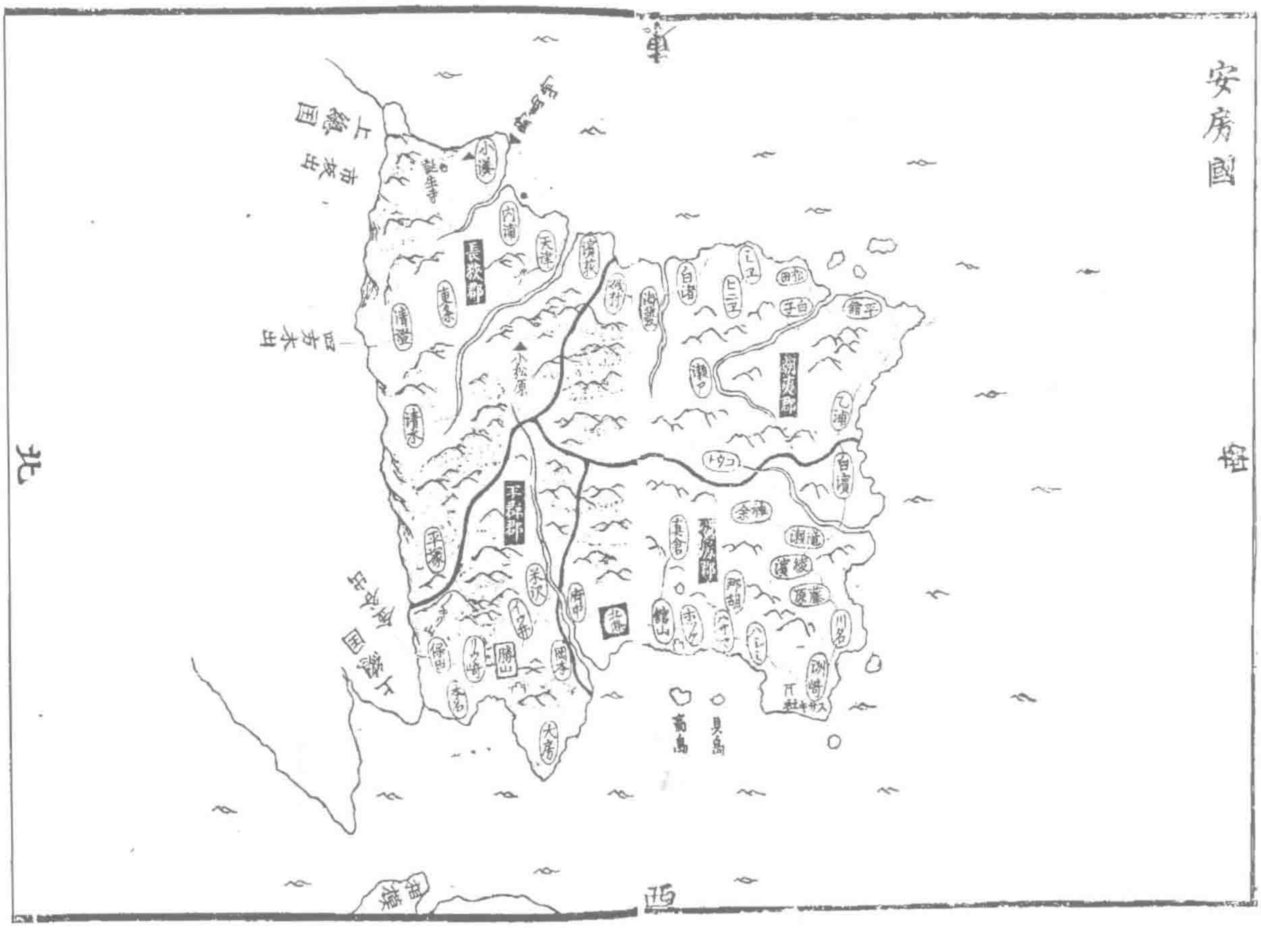

駿河國
大井川
東
北
身延山道
万沢出
亀刻坂
古関出
船津出
山中池出
甲斐国
西畑出
信濃

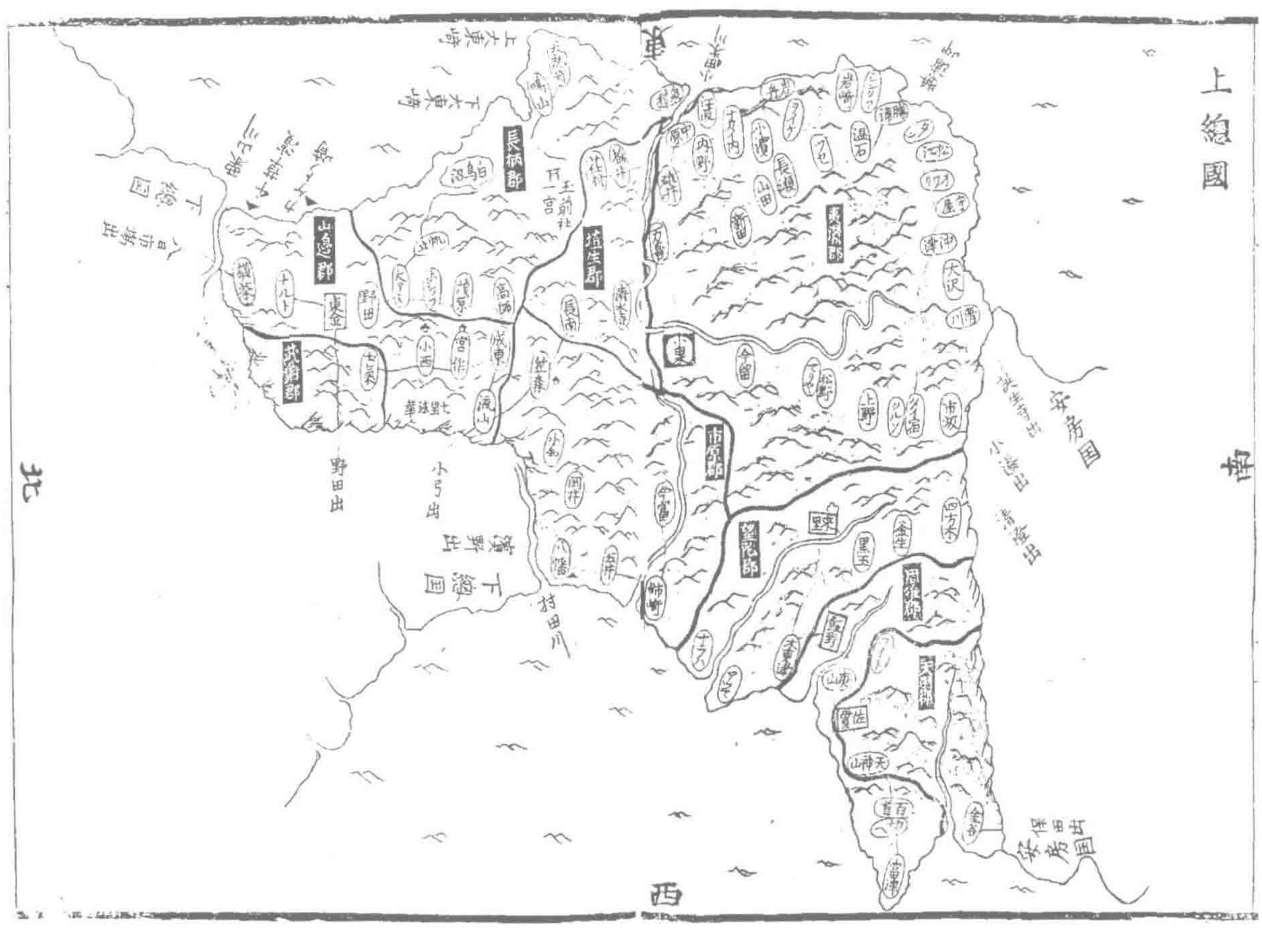

伊豆國
東
西
北
伊豆七島
三宅島
大島
新島
神集島
利島
相島
朝根
御蔵
大明
御瀬浦
江浦
東海道

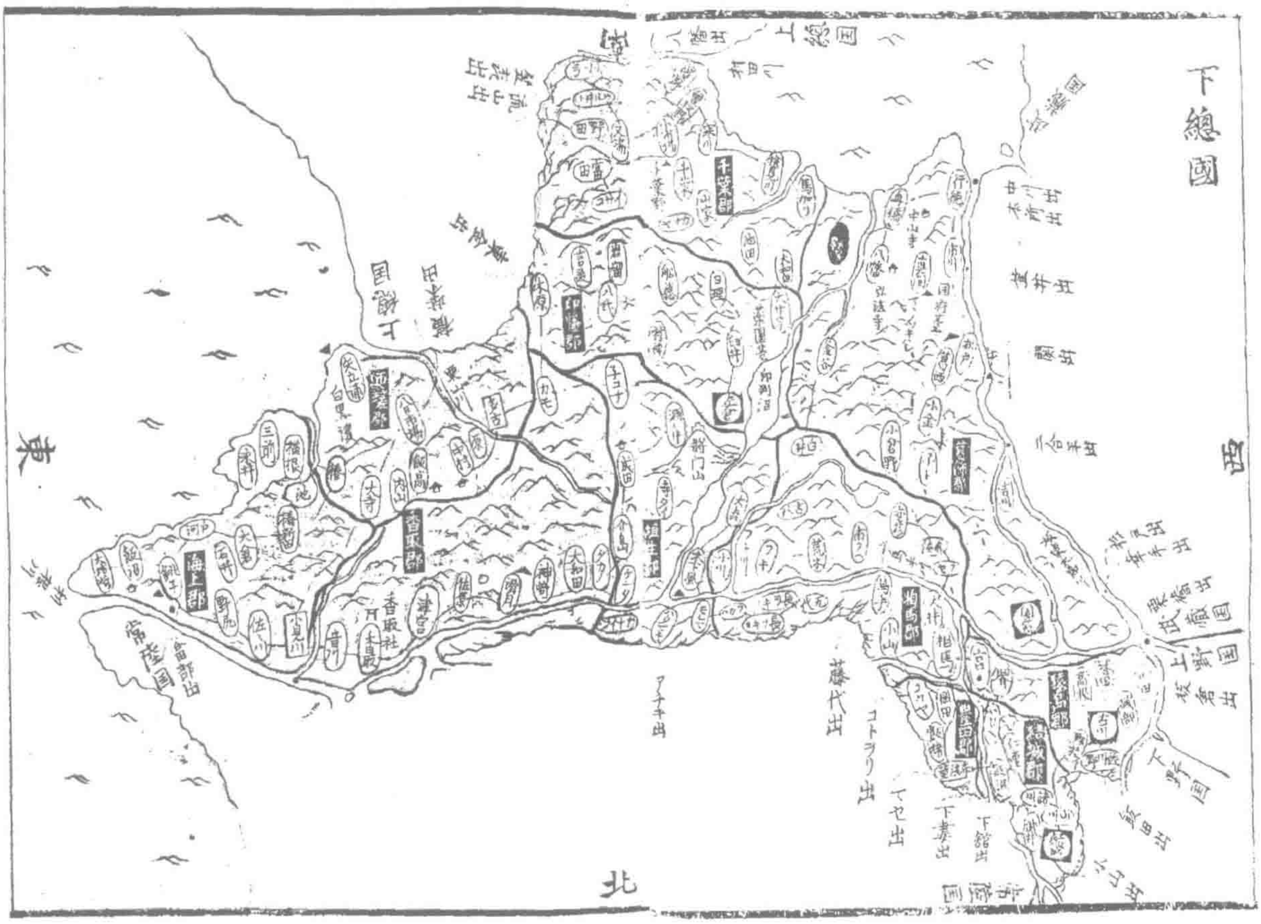

甲斐國
北
東
西
武藏国
相模国
信濃国
巨摩郡
山梨郡
都留郡
八代郡
大菩薩越
河野出
雁坂出
白嶺

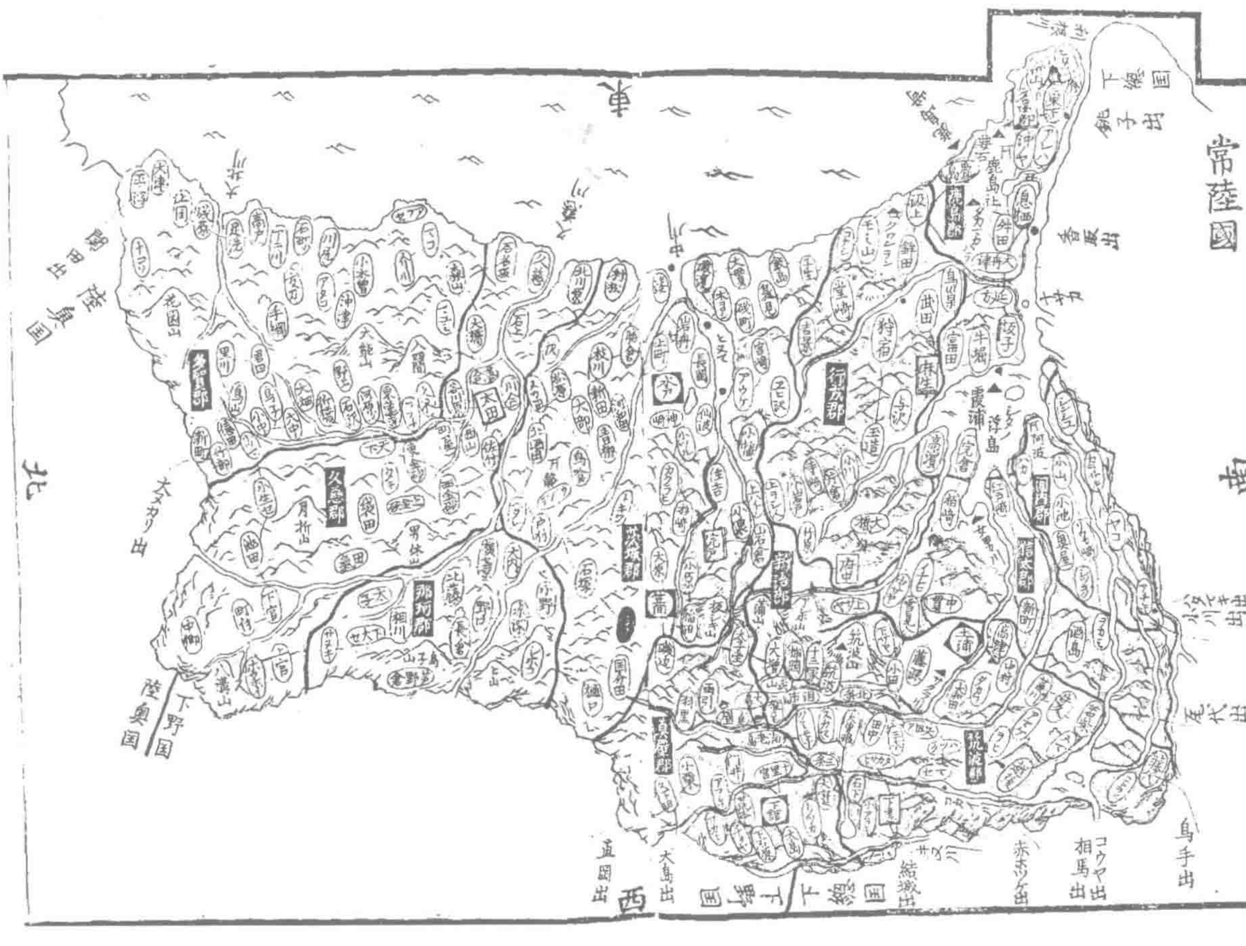

相摸國
北
東
八王子出

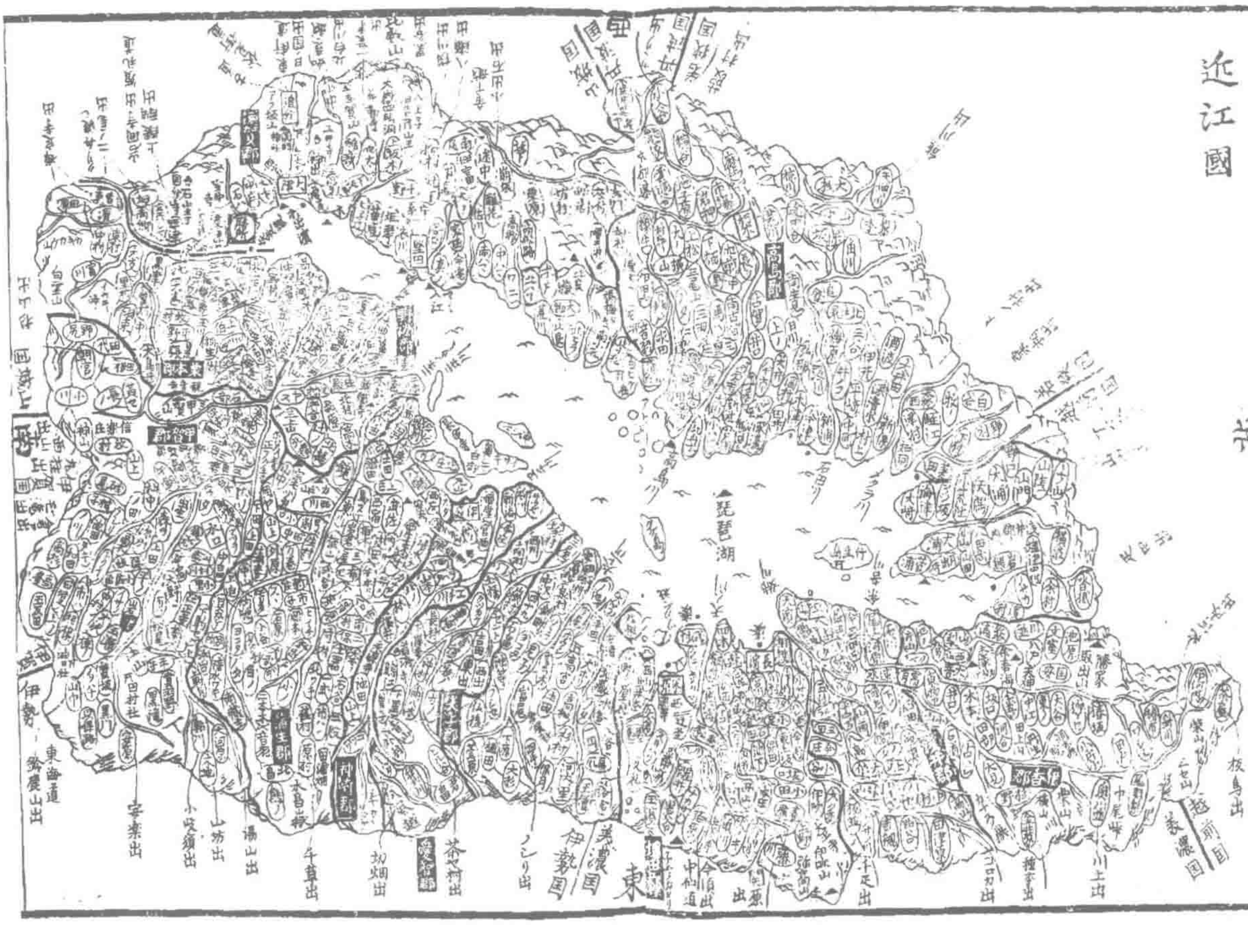

武藏國
東
北
下總国
江戸

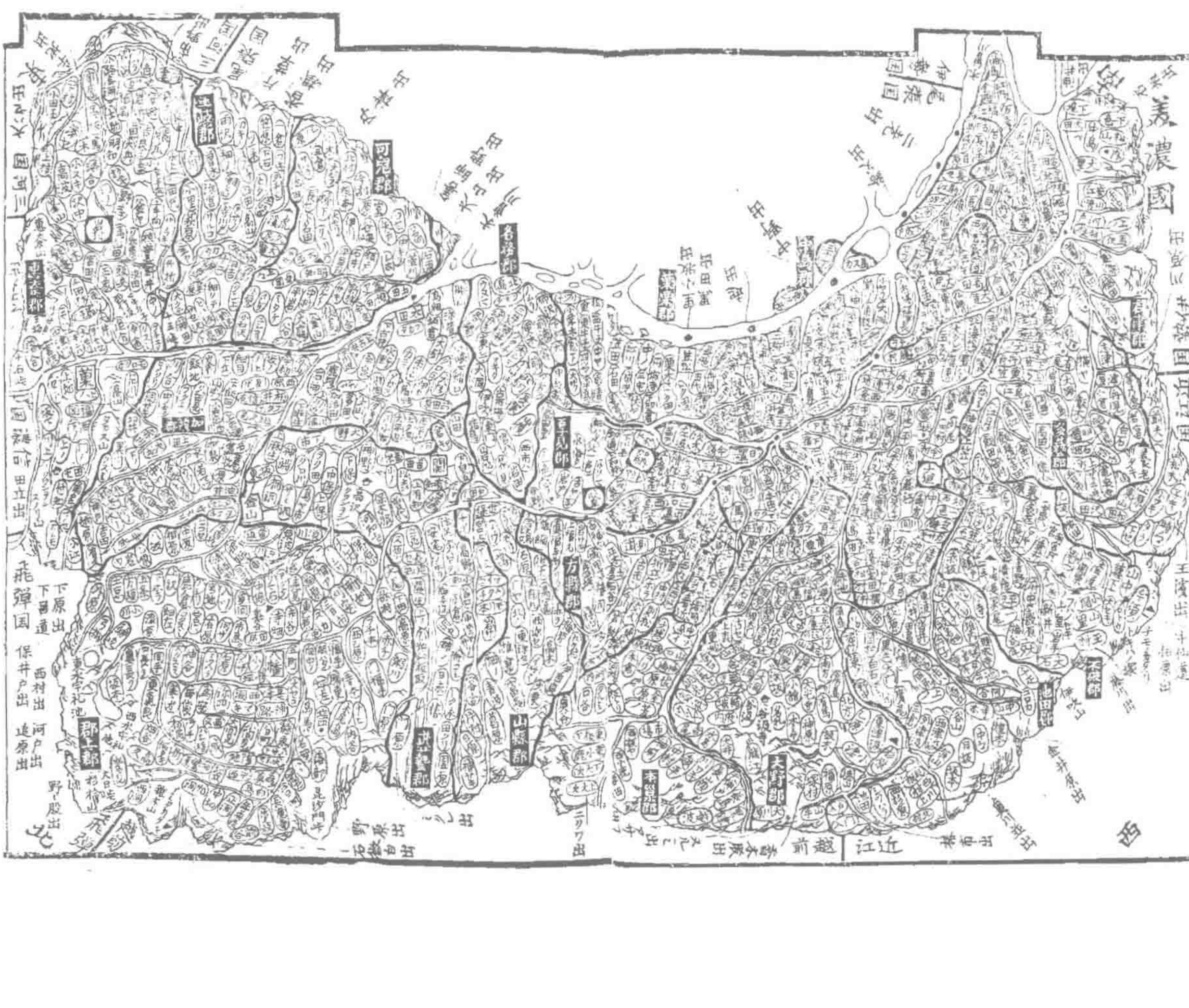

安房國
東
西
北
長狭郡
平郡
朝夷郡
安房郡
上總國

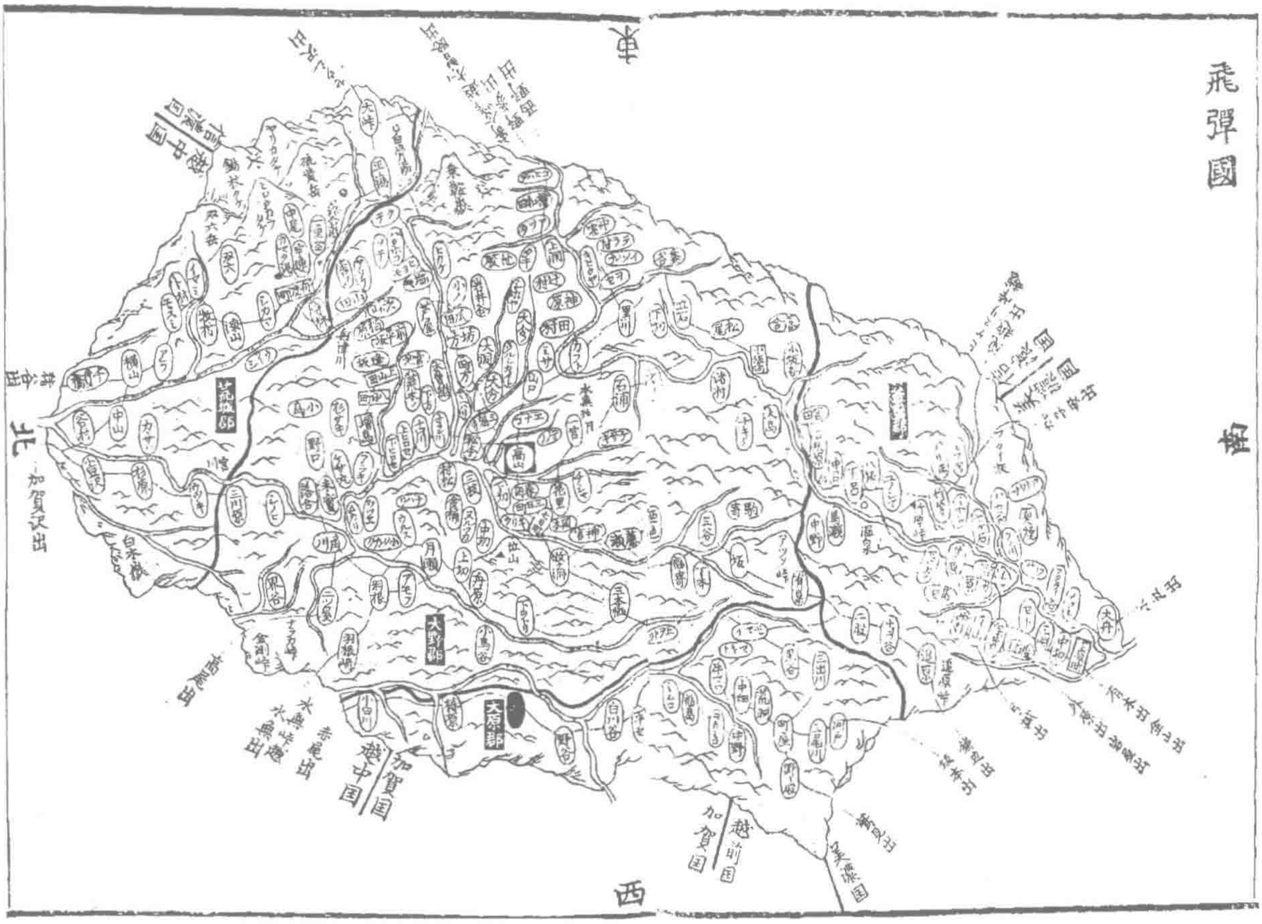

上總國
東
西
北
長柄郡
山邊郡
武射郡
埴生郡
夷隅郡
市原郡
望陀郡
周准郡
天羽郡
安房国
下總国


下總國
西
東
北
香取社
鹿島

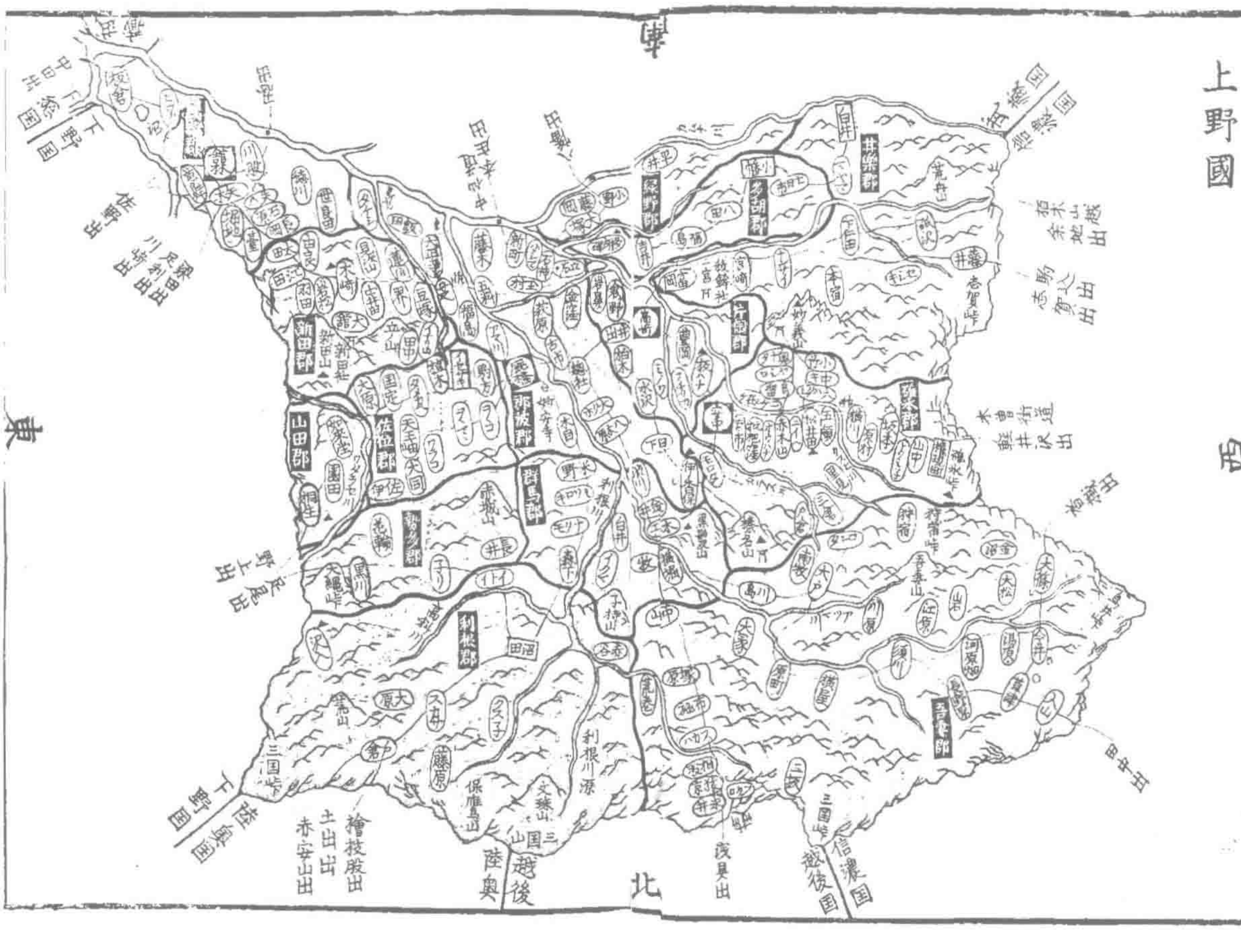

常陸國
東
北
西
鹿島社
霞浦
浮島

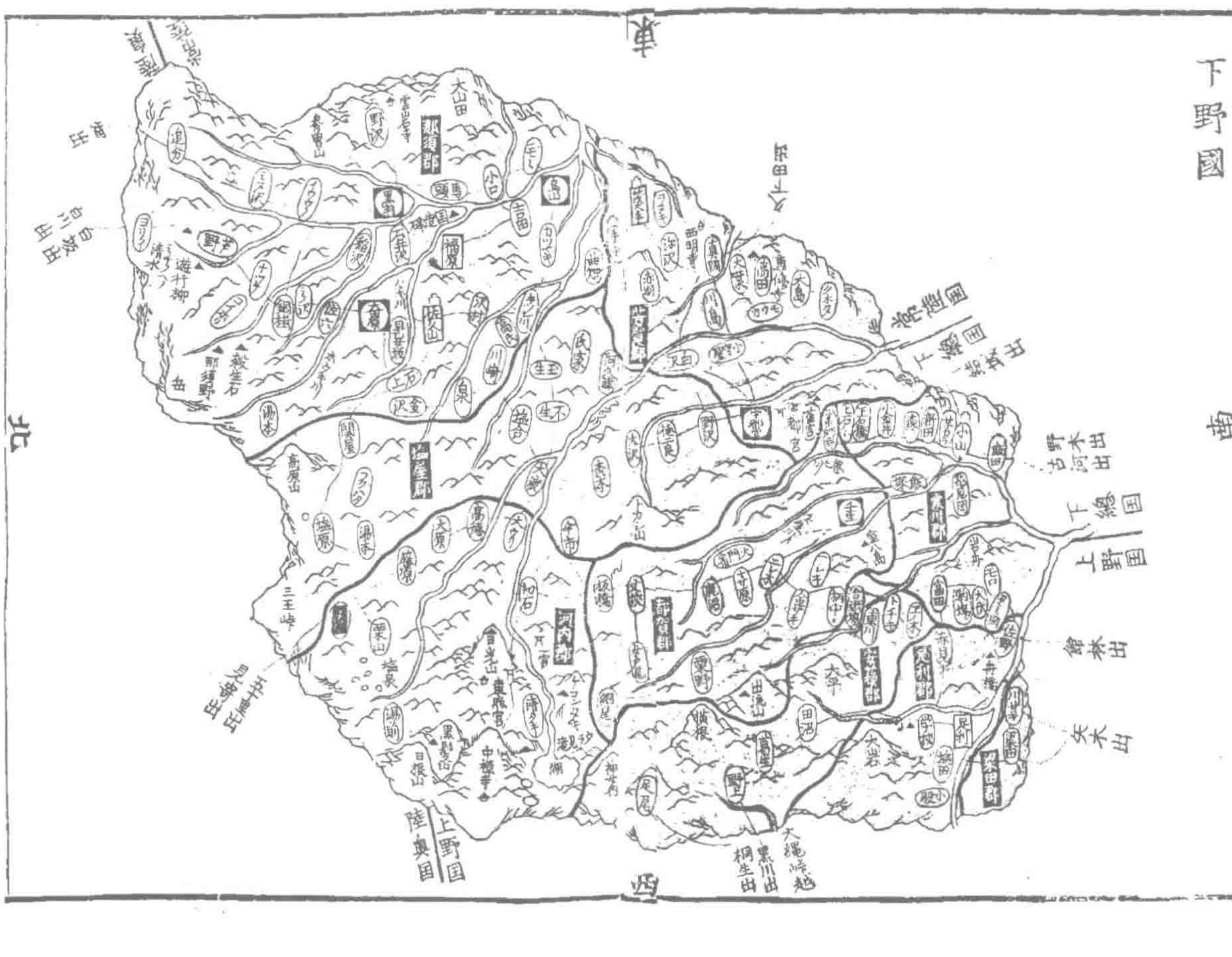

近江國
北
琵琶湖
東
伊勢国
美濃国

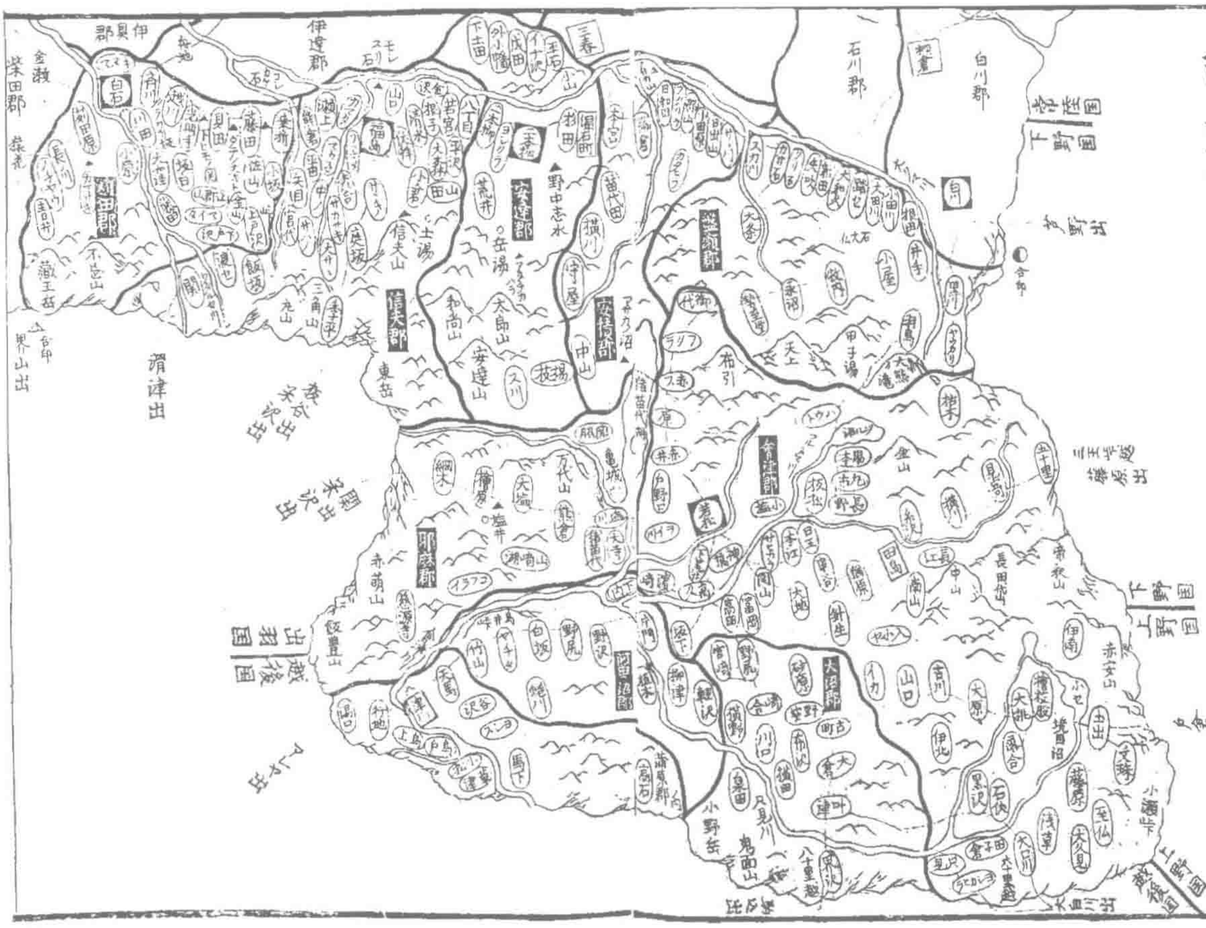

美濃國
飛騨国
西
北

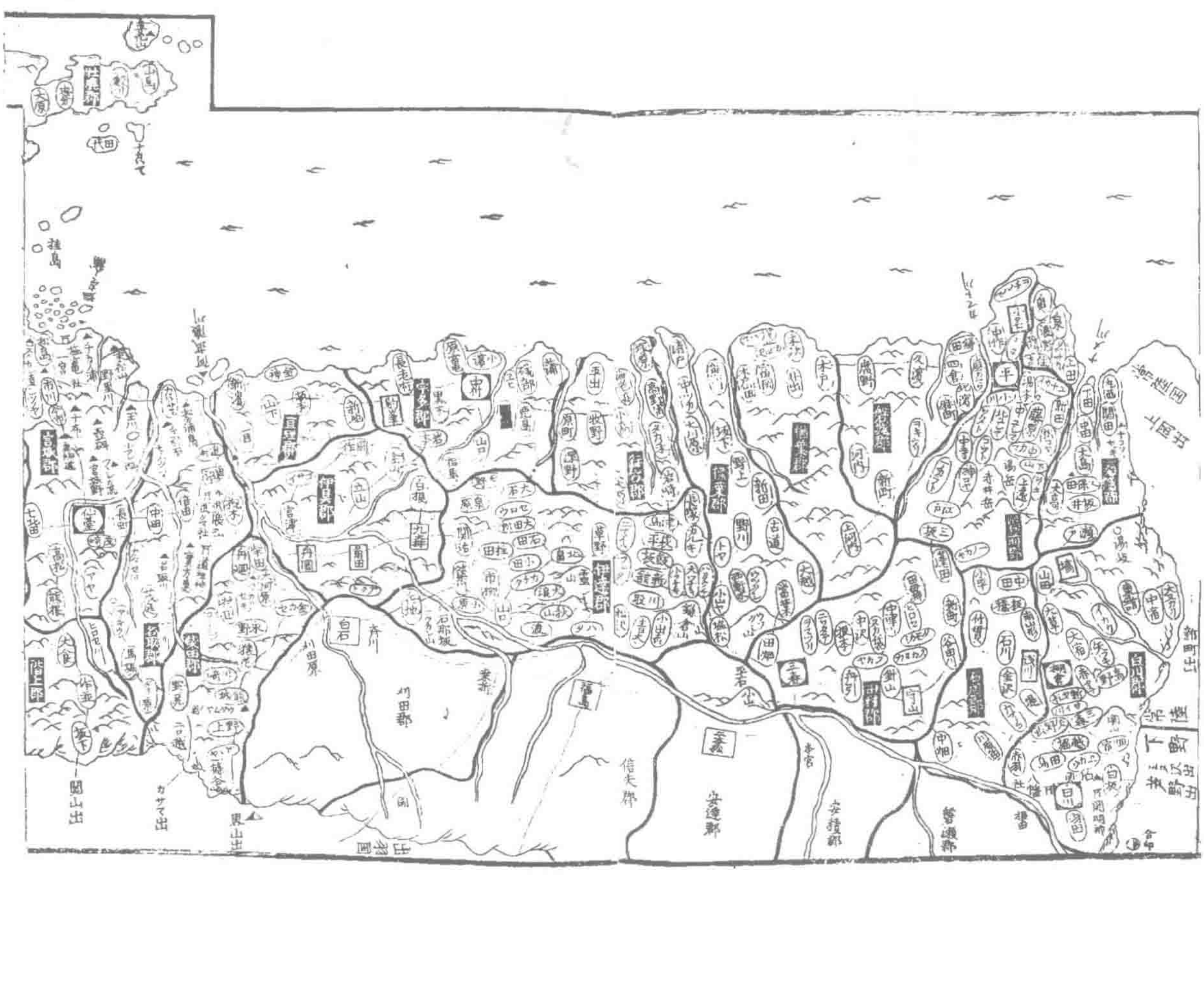

飛彈國
東
西
南
北

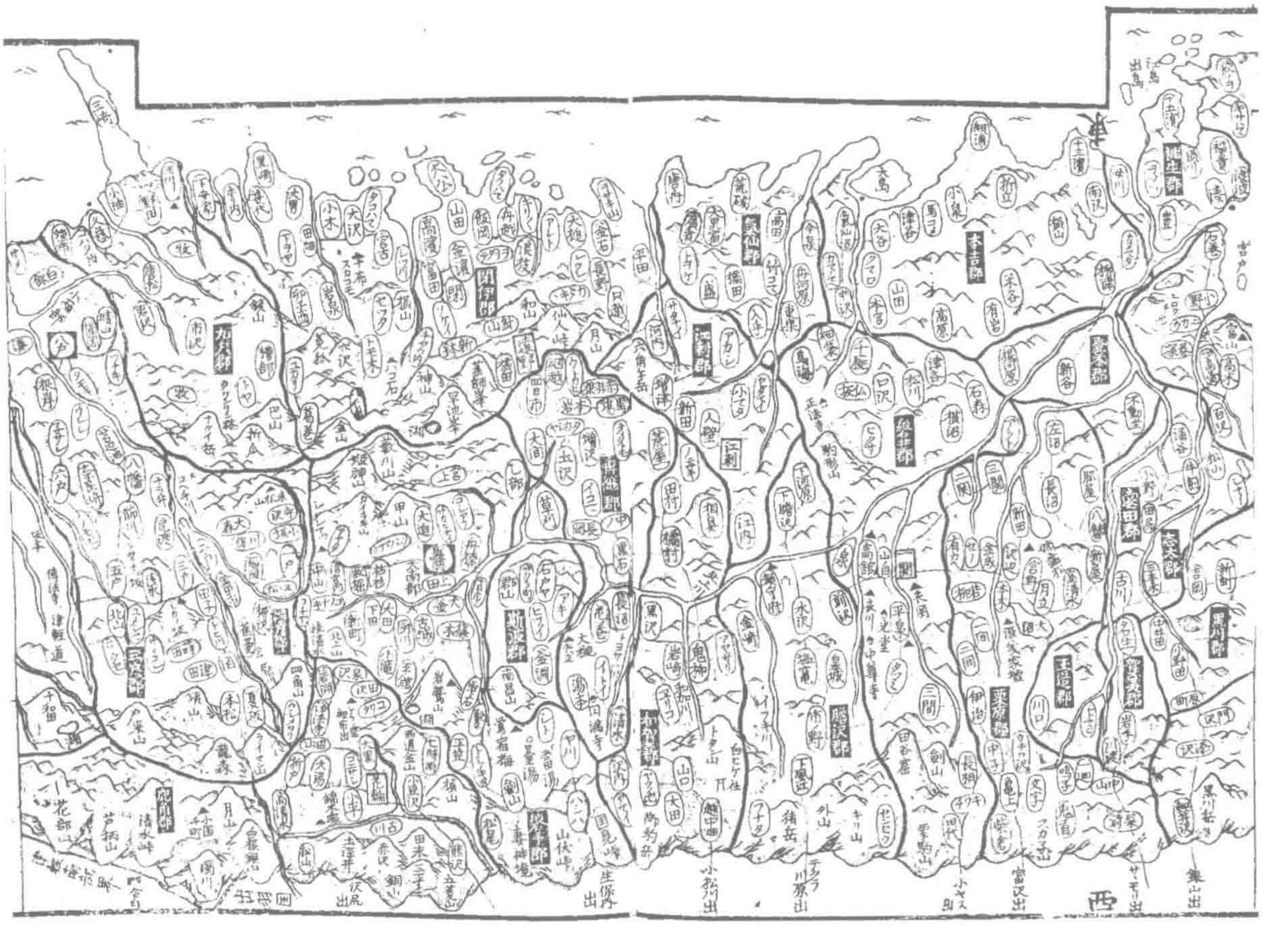

信濃國
東
西
南
北

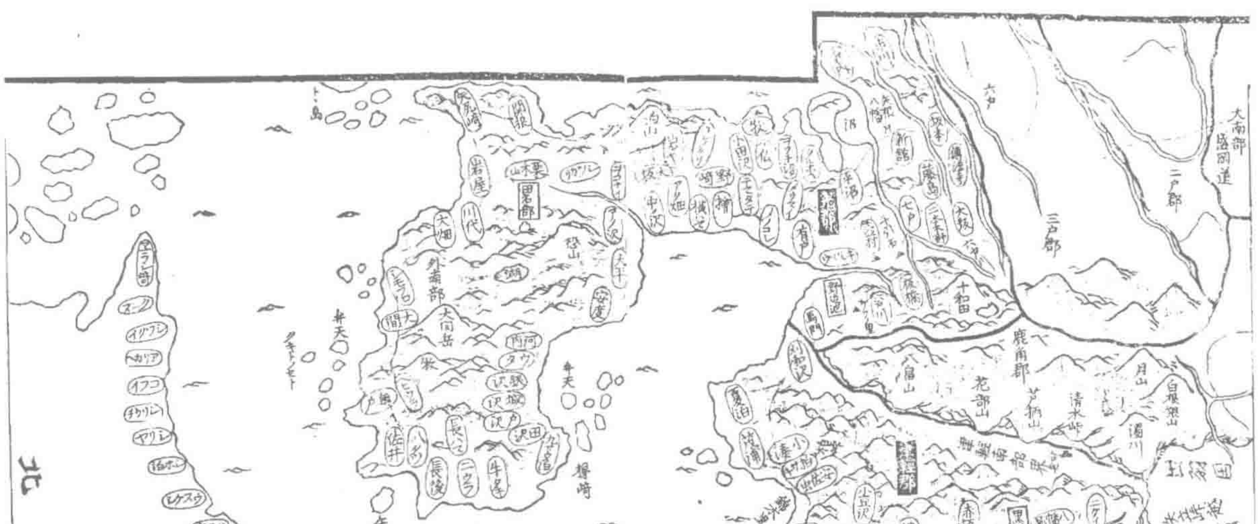

上野國

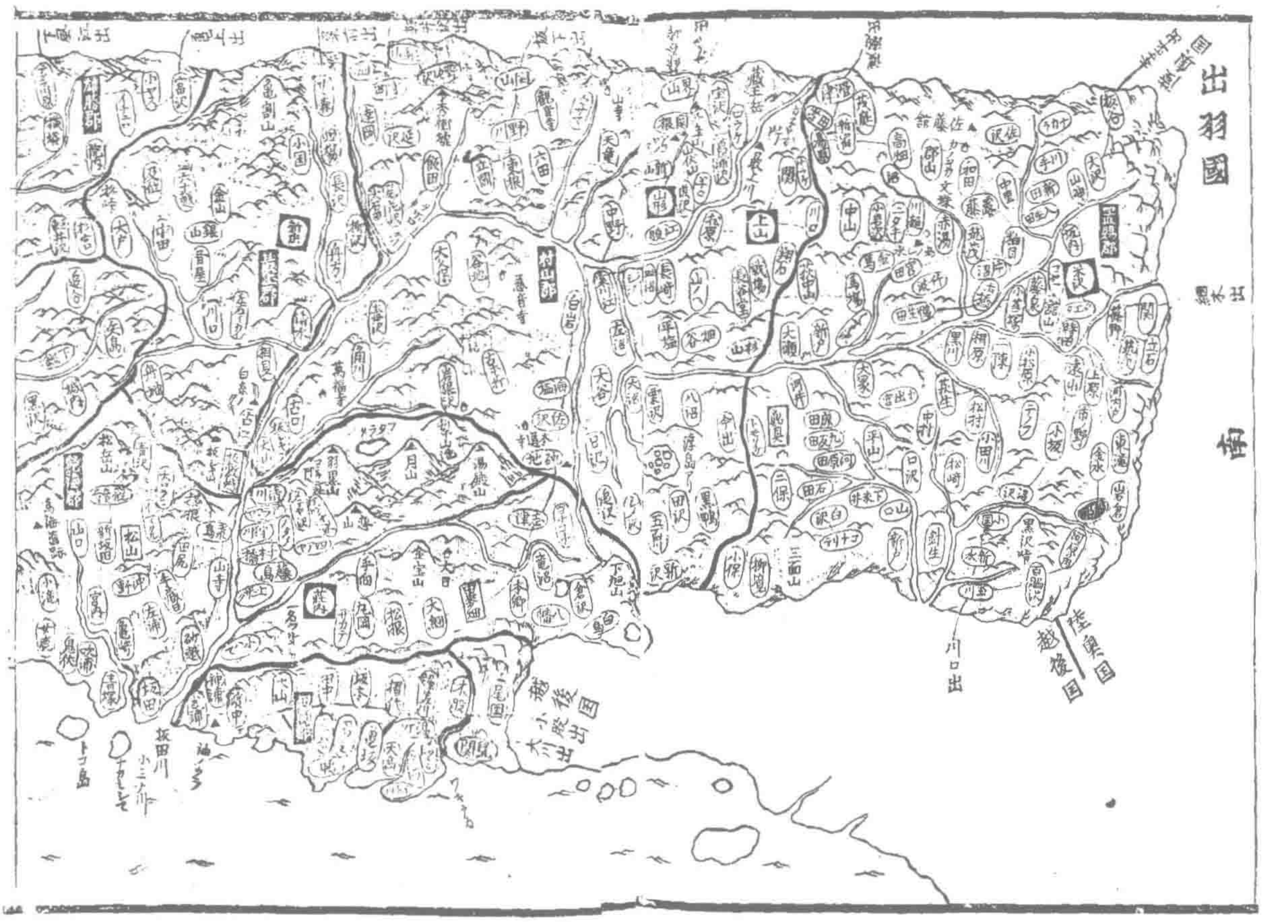

下野國

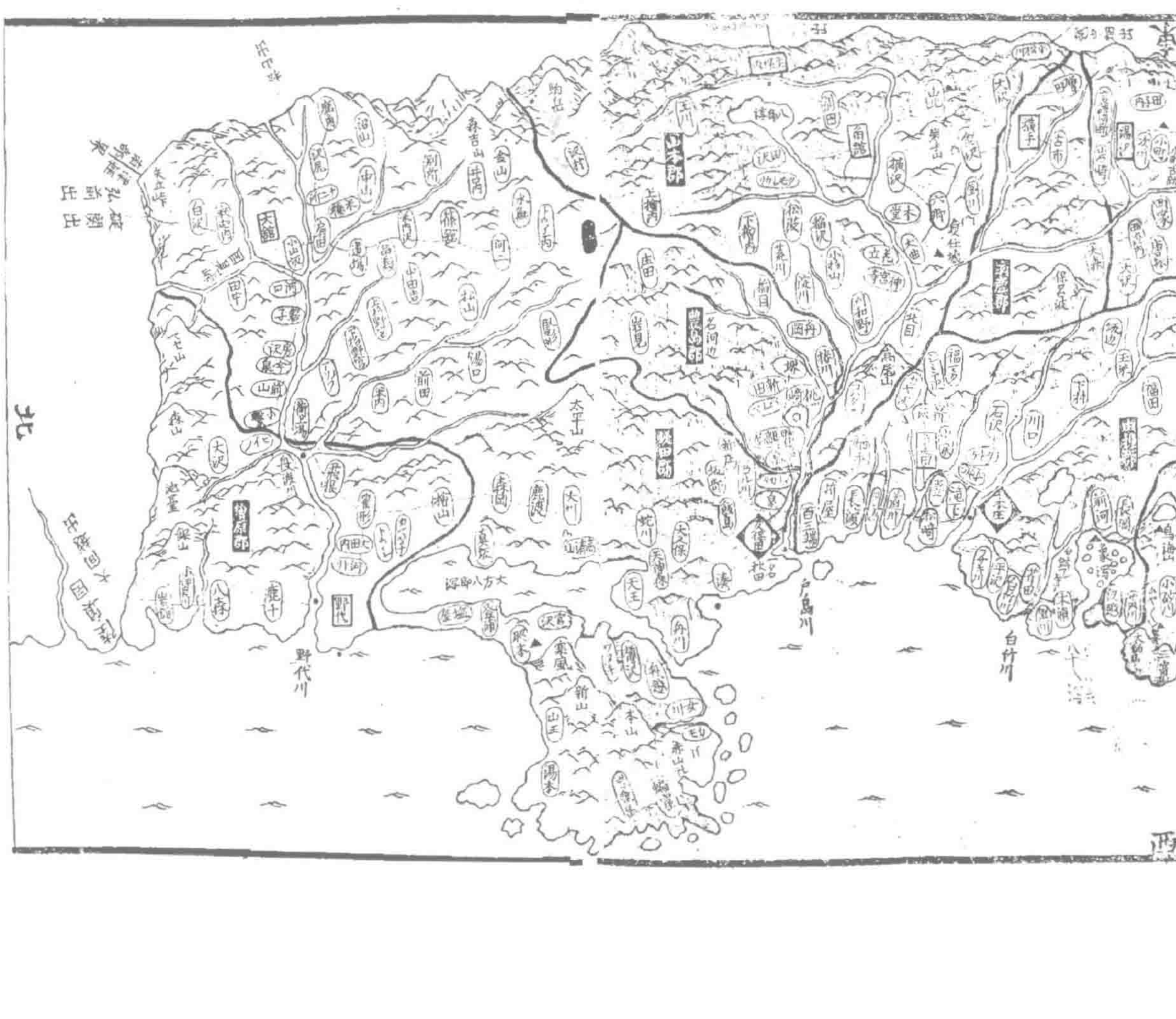

陸奥國
信夫郡
安達郡
安積郡
白川郡
石川郡

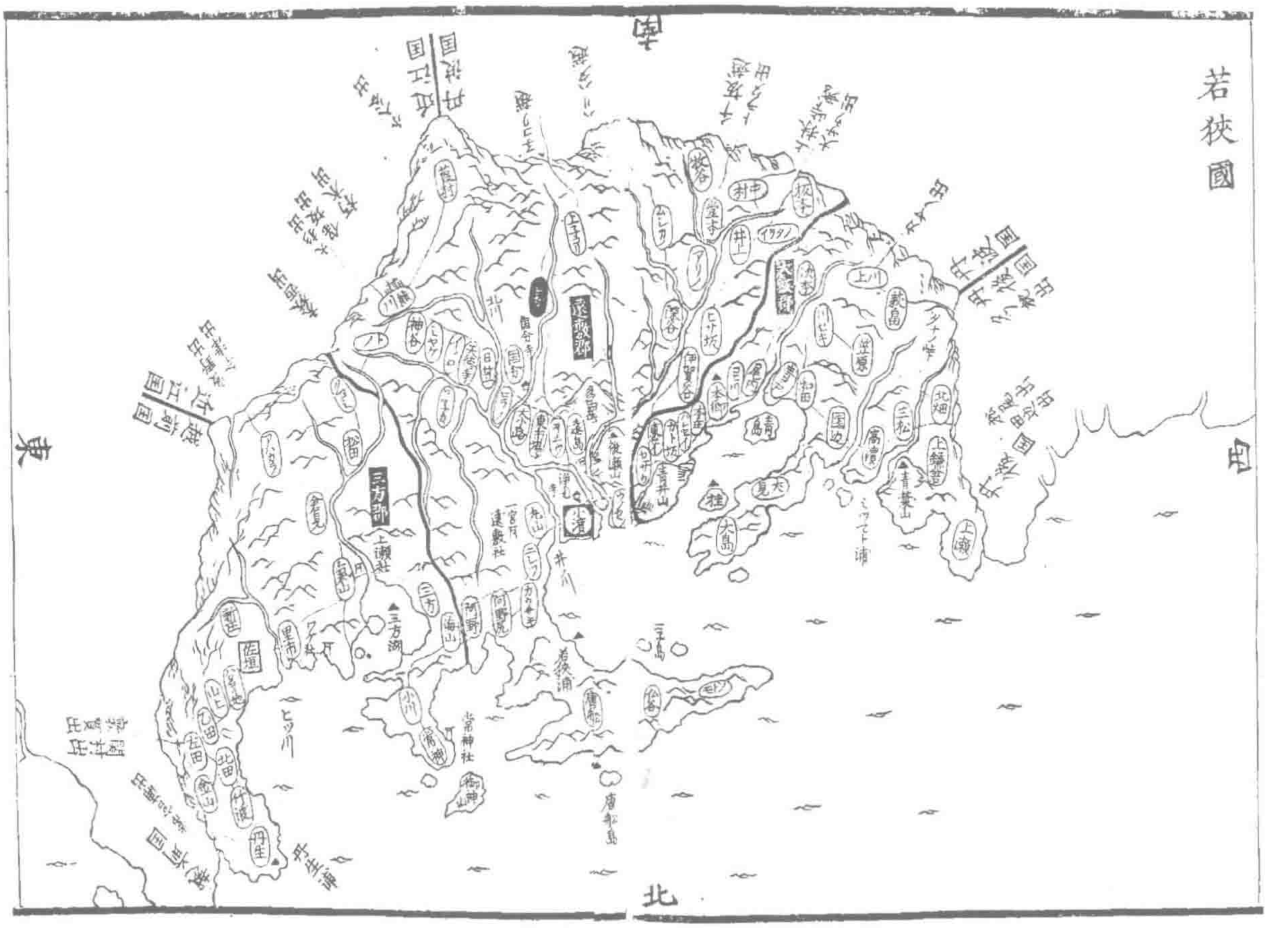

刈田郡
信夫郡
安達郡

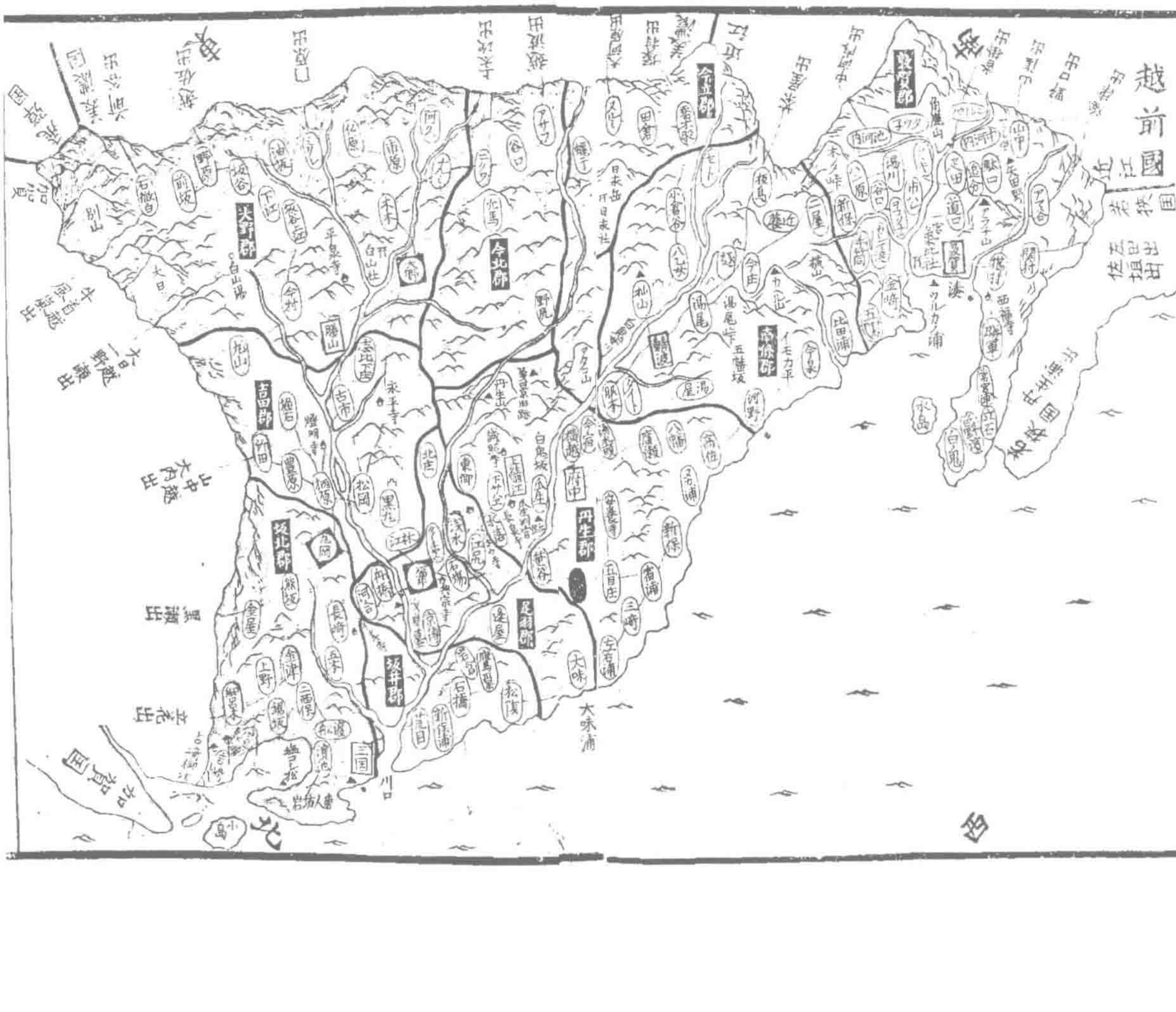

西
津軽道

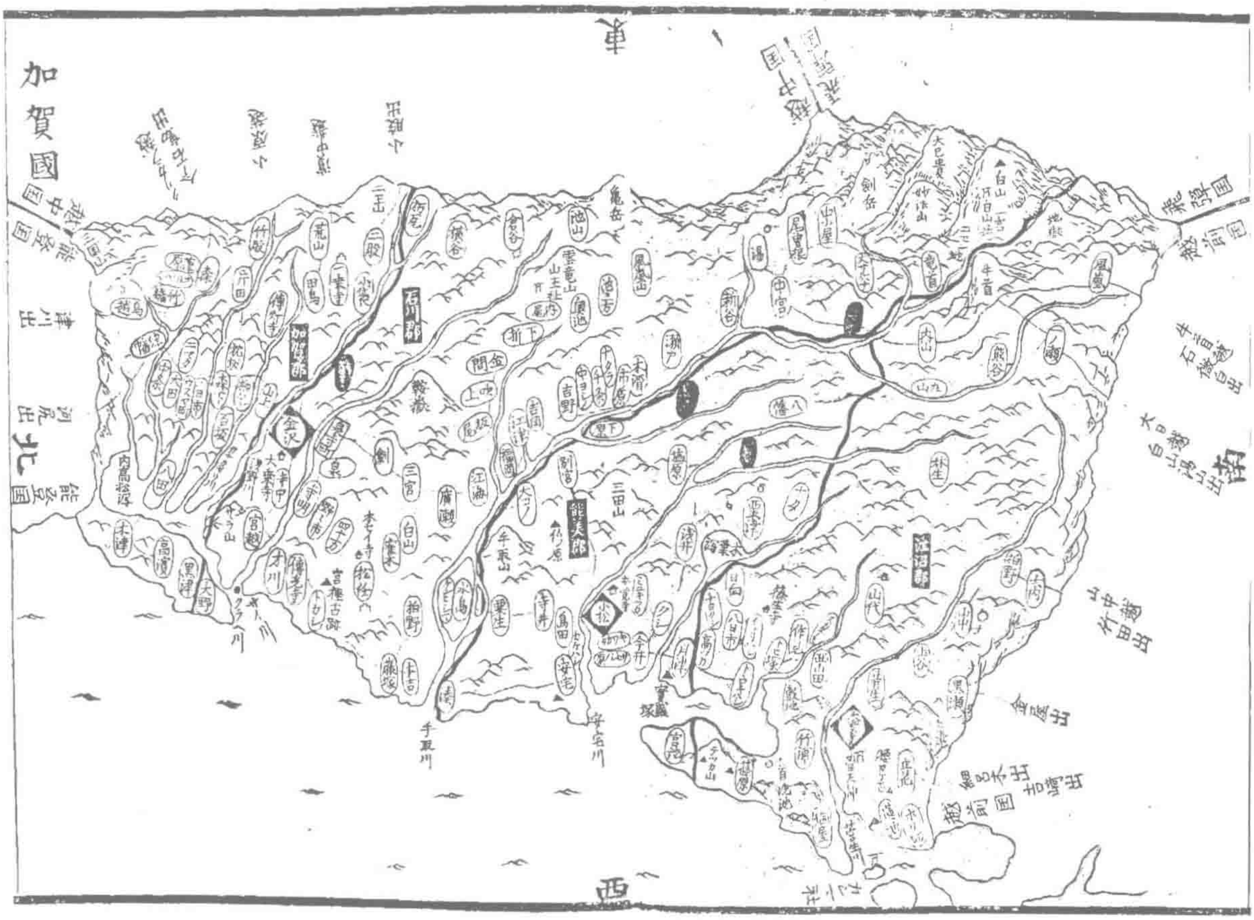

北
大南部
盛岡道
三戸郡
二戸郡
十和田
弘前

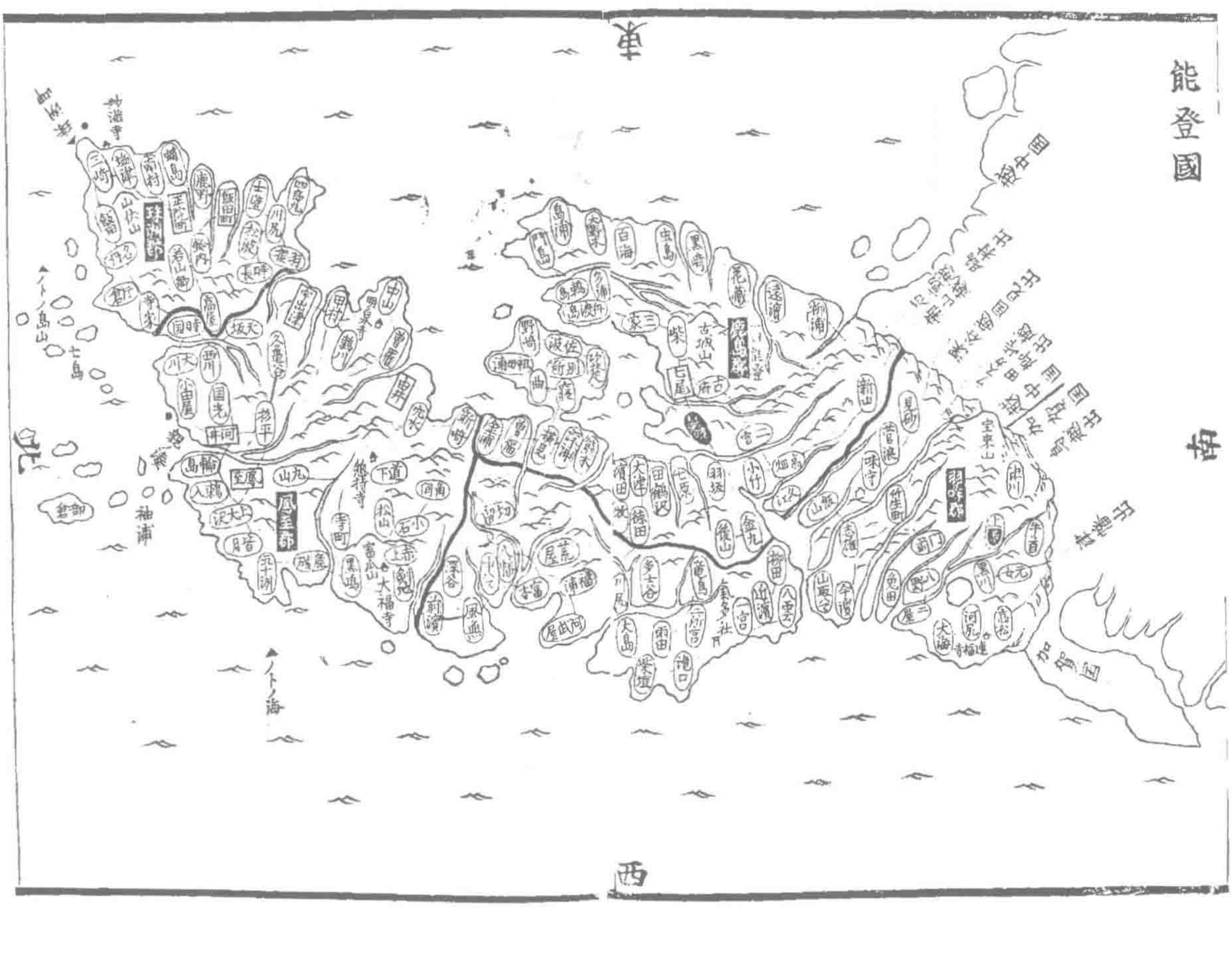

出羽國
南
月山
湯殿山
村山郡
陸奥国
越後国
川口出

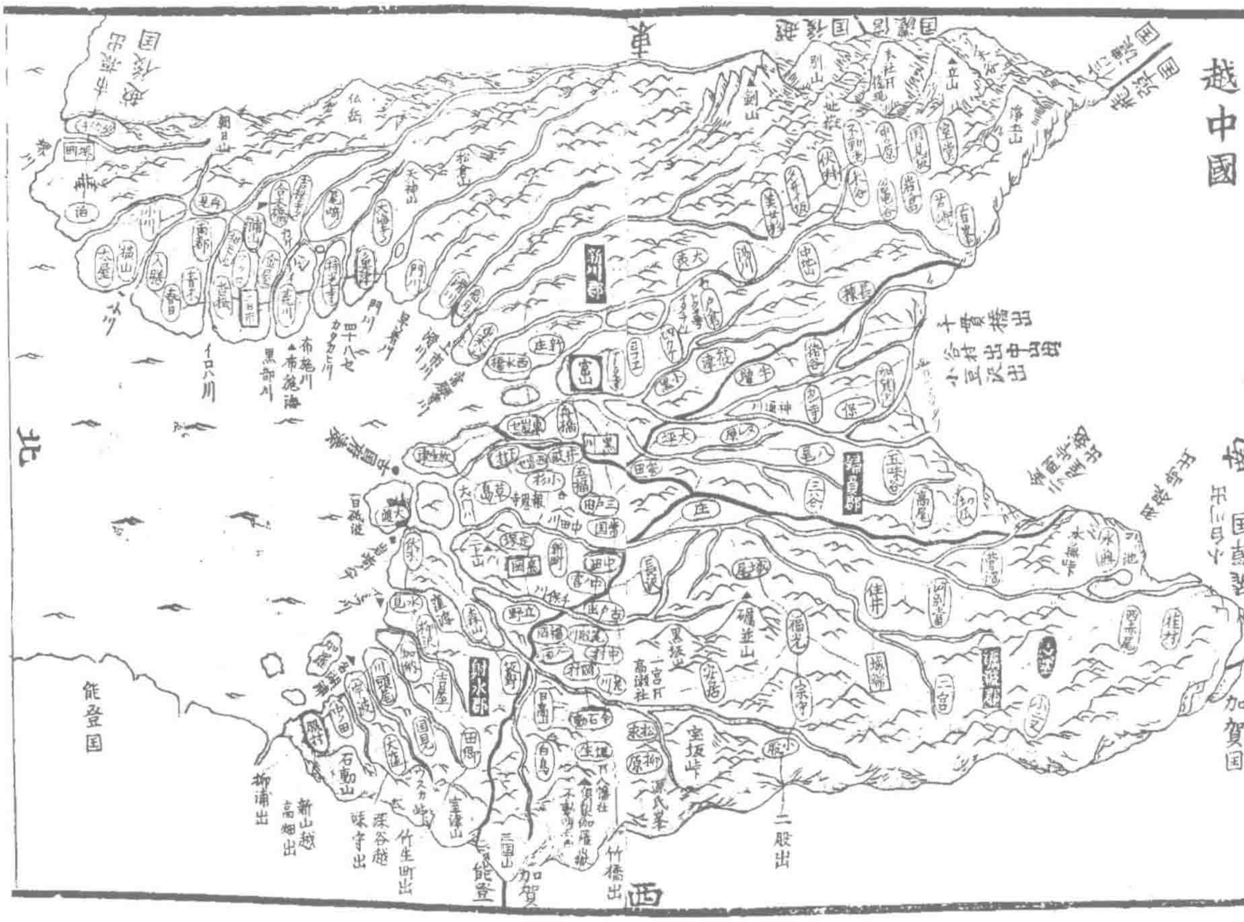

北
西
山本郡
秋田郡
太平山
野代川
戸島川


若狭國
東
北
三方郡
遠敷郡
大飯郡
小濱

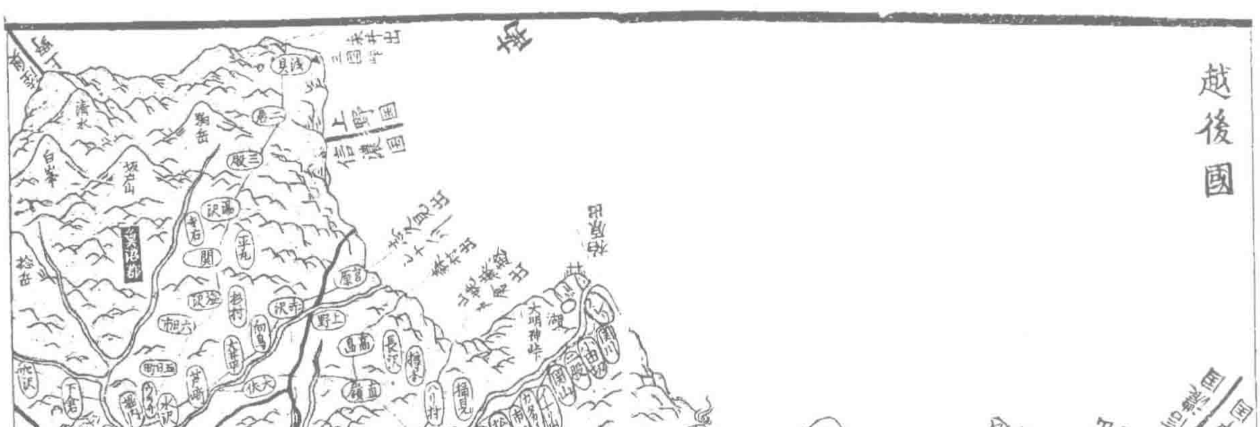

越前國
西
敦賀郡
丹生郡
坂井郡
吉田郡
大野郡
府中


加賀國
東
西
南
北

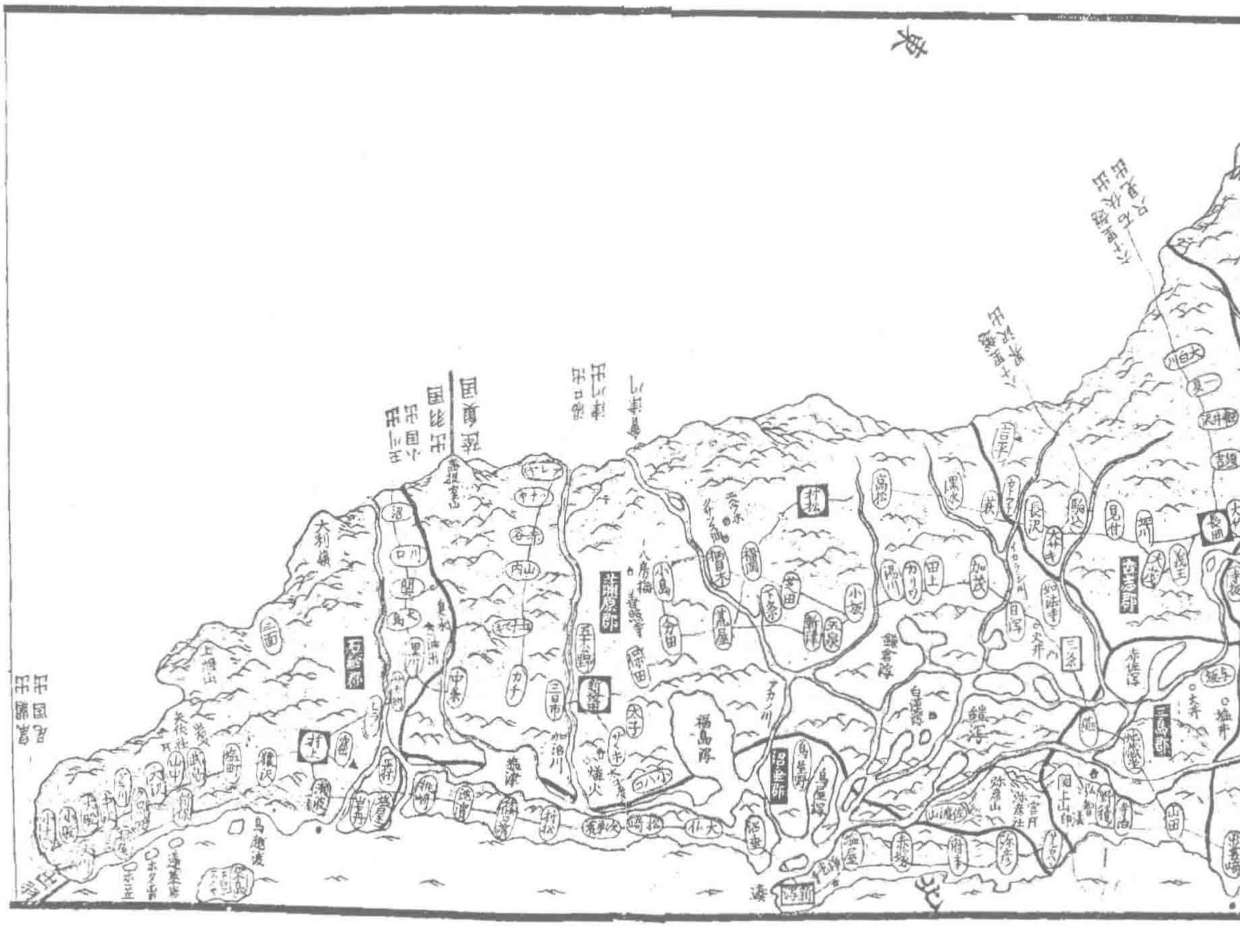

能登國
東
西
南
北



越中國
東
北
西
能登国
加賀国
新川郡
婦負郡
射水郡
富山



越後國
西
高田




佐渡國
東
北
西
龍王
二見
春日崎
一里岩
大野亀

吉水林誠　編

皇國圖說

明治十一年（一八七七）長野縣芳古堂刻本

據明治十一年（一八七七）
長野縣芳古堂刻本影印

廣瀬青邨先生閲
吉水林誠
古田連祢
青木禎一郎　同輯

皇國圖說

全

明治十年六月七日
版權免許
芳古堂藏版

叙

圖雖狭小山勢水脈可以
見焉觀之者是誌雖
簡短各地物產可以知
則讀之亦不為無益此
小冊子每國是圖每圖
詳山川脈絡係載邦
名物產等大紙中可以

概見如地学初步兼便於此義夫經緯之度每州表壤界別焉皇國嬉射地圖亦足以爲地學楷梯豈可以切挾小冊短箋視之哉

明治十年十二月　青郊主人範書于

東京牛門外平山堂上

凡例

一此小册子ハ曩ニ編纂セシ所ノ皇國暗射地圖ヲ解説スルモノニテ專ラ日本地誌畧中ノ府縣山川ノ位置及ヒ郡名物産等ヲ詳記シ以テ小學幼童ニ便ナルヲ旨トス

一本圖ハ殊ニ看易ク記シ易キヲ要スルカ爲ニ概子簡約ニ從フ故ニ此書

ヲ編シテ以テ本圖ヲ解説シ旁ラ其闕ヲ補ント欲ス然レ𪜈紙員限リ有ヲ以テ猶其精詳ナルヲ得ス看官請フ之ヲ領セヨ

一毎國ノ形状ハ官版實測圖其他各種ノ圖籍ニ參考セシモノト雖モ僅ニ掌大ノ紙面ニ畫挿スルカ故ニ展縮ノ規矩ヲ用ヰサルヲ得ス其毎國大

小廣狹ノ比例ニ至テハ本圖ニ照シテ之ヲ詳ニセヨ

一毎國郡境道路燈臺温泉佛宇等ハ他ノ圖籍ニ讓リ斯ニ掲ケス

一神社ハ有名ナルモノヲ擧ケ他ハ之ヲ省畧ス

一圖中往々古蹟ヲ掲クルモノハ史學ノ標記トス

一琉球諸島ノ如キハ又省畧ニ從フ

一毎國一紙上ニ掲畫スト雖モ伊豆薩摩北見千島等ノ如キ遠隔ノ屬島廣大ノ境域ナルモノハ二葉或ハ三葉ニ分掲ス

一總テ圖中ノ名稱ハ日本地誌畧ノ讀法ニ藉ル然レトモ數千百ノ中謬誤ナキヲ保セス看官認メ得ハ幸ニ之

ヲ正セ

一經緯ハ本圖ニ讓テ斯ニ贅セス

一圖中⊡大都會ノ印△五港ノ印⊙縣廳ノ印⛩神社ノ印■古蹟ノ印✺高山ノ印Y大河ノ印＼國境ノ印◖山脈ノ印◌湖沼ノ印等也

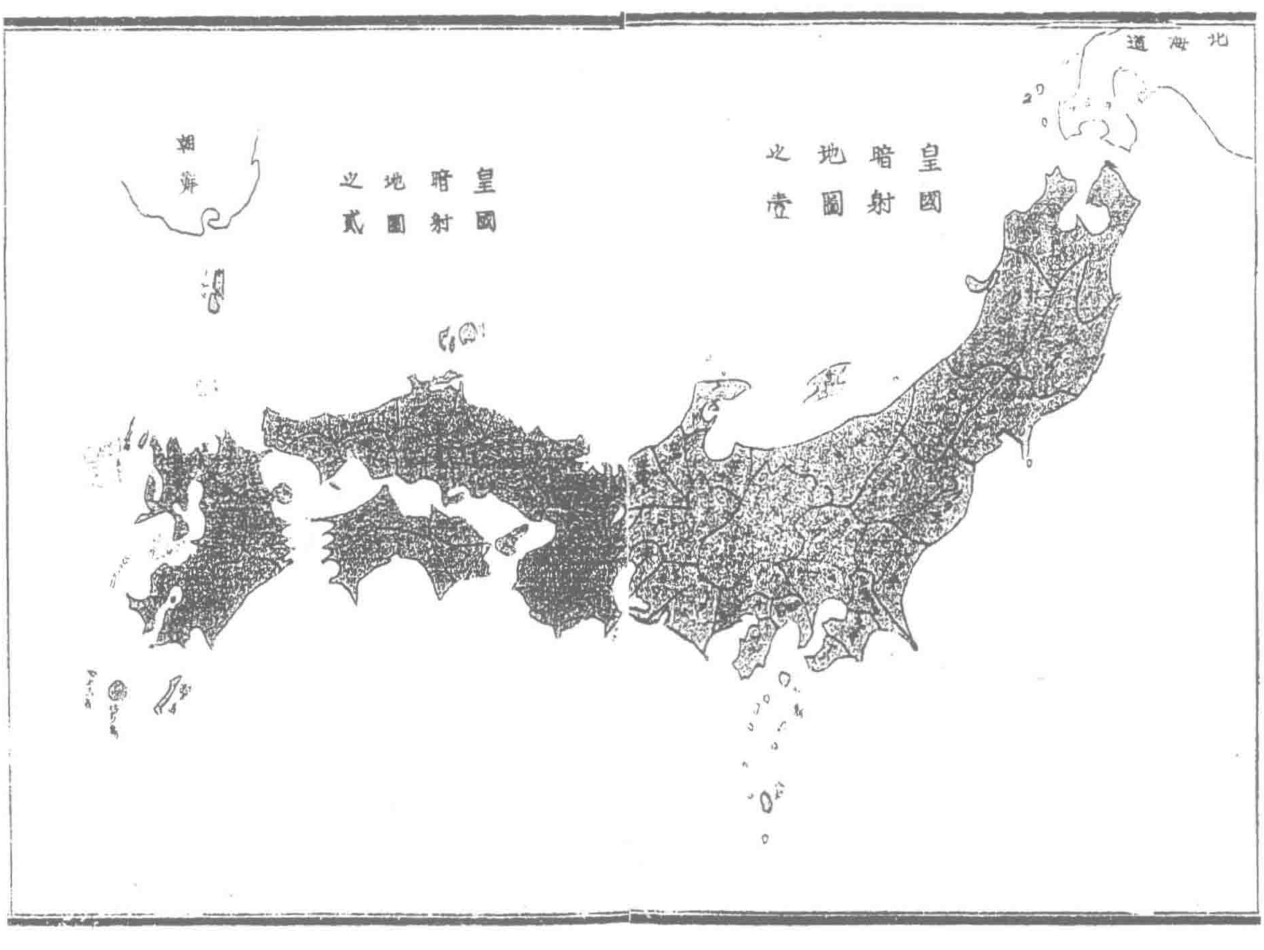
一此書特リ本圖ヲ解說スルノミニアラス廣ク世間暗射地圖ニ便アラン

ヿヲ企望ス然レ圧海内ノ廣キ山川ノ多キ僅々冊子ノ能ク明瞭ヲ盡ス可キニアラサレハ其漏脱スル所モ極テ多カル可シ冀クハ博識ノ諸賢若シ明眸ニ觸レ其闕ヲ補ノ所アリテ遂ニ完全世用ヲ爲スニ至ラハ小生等ノ幸之ヨリ大ナルハナシ

明治十年第八月

編者謹誌


皇國暗射地圖之參
皇國總圖
千島諸島


皇國暗射地圖之壹
皇國暗射地圖之貳
北海道
朝鮮

畿内五国

山城國

乙訓、葛野、愛宕、紀伊、
宇治、久世、綴喜、相樂、

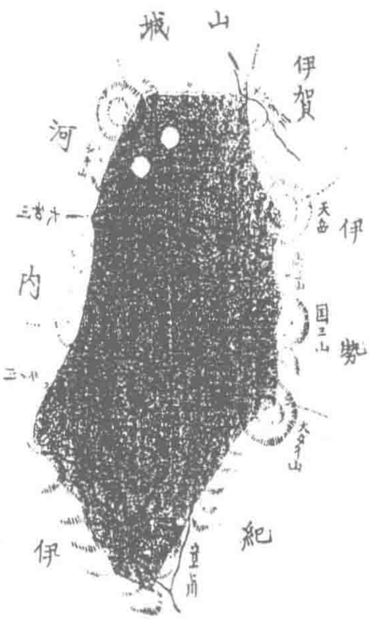


産物

白川石、宇治茶、晒川染、西陣織、清水
焼、松蕈、筍、蕪、水菜、糸物、漆器、針、扇、

大和國

添上、添下、平群、廣瀬、葛上、葛下、忍海、
宇智、宇陀、城上、城下、高市、十市、山邊、
吉野、



産物

吉野葛、吉野紙、奈良晒、墨、木綿、
煙草、藥品、漆、木材、銅、水晶、

河内國

錦部、石川、古市、安宿、大縣、高安、河内、
讃良、茨田、交野、若江、澁川、志紀、丹南、
丹北、八上、

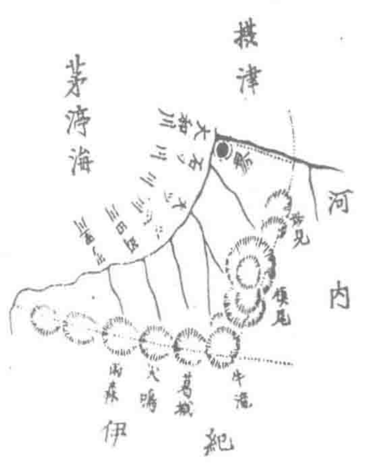


産物

木綿、茶、煙草、道明寺糒、藥品、

和泉國

大鳥、和泉、
泉南、日根、

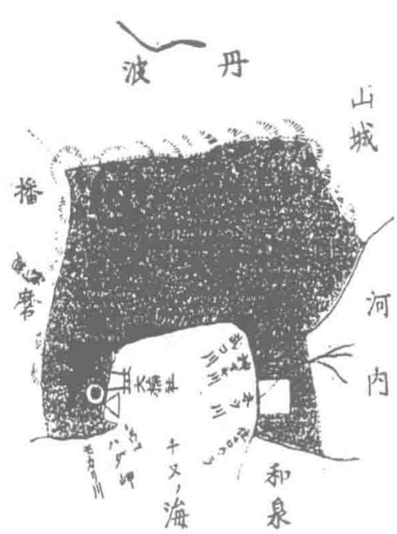


産物

麻布、鐵器、刀、庖
刀、鋏、織物、朱、丹、茶、木綿、

攝津國

住吉、東成、西成、島上、島下、豐島、河邊、武庫、菟原、八部、有馬、能勢、



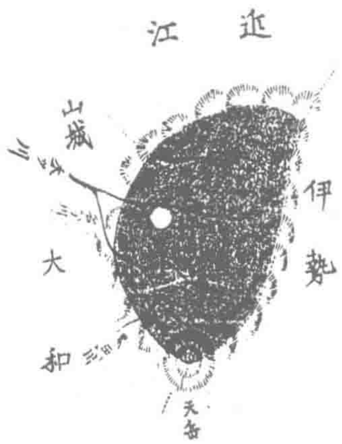
產物

御影石、池田炭、伊丹酒、紙、塩、油、木綿、陶器、藤筵、檜筵、真田織、一閑張、薄雪昆布、

東海道十五国

伊賀國

伊賀、山田、阿拜、名張、



產物

石炭、硫黄、磨砂、伊賀焼、

伊勢國

桑名、員辨、朝明、三重、鈴鹿、河曲、奄藝、安濃、壹志、飯高、飯野、多氣、度會、



產物

茶、油、蠟、木綿、津縱子、澁形紙、蝦、鮑、時雨蛤、塗物、烟草、菜種、麻尾、萊銅、石炭、万古焼、

志摩國

答志、英虞、



產物

不老菜、鹿尾菜、荒海布、鮑、鰡、堅魚、

尾張國

知多、愛智、丹羽、春日井、海東、海西、葉栗、中島



産物

水晶、瑪瑙、絹、木綿、鳴海絞、瀬戸焼、常滑焼、大根、酒、醋、鰦物類、海鼠腸、名古屋扇

三河國

八名、設樂、賀茂、額田、碧海、幡豆、寶飯、渥美、



産物

紙、水綿、生糸、漆、塗物、砥石、硝石、雲母、蛸、白魚、

遠江國

榛原、周智、佐野、豊田、山名、城東、磐田、長上、麁玉、引佐、濱名、敷智、



産物

蜜柑、松蕈、納豆、木綿、鮒、鰻、葛粉、葛布、塗物、

駿河國

駿東、富士、庵原、安部、志田、益頭、有度、



産物

興津鯛、蒲原鮑、漆器、竹器、紙、茶、太布、竹、砥石、蜜柑、香蕈、

甲斐國

巨摩、山梨、八代、都留、



産物

金、水晶、石炭、硯、材木、絹、紬、諸織物、梨、柿、葡萄、

伊豆國

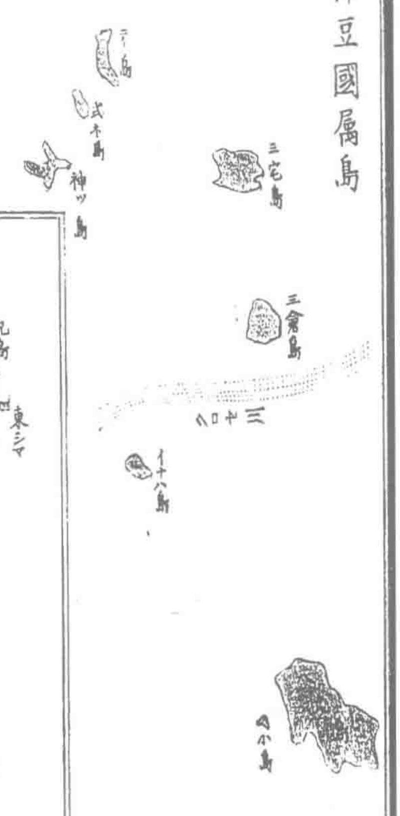
君澤、田方、那賀、賀茂、



産物

金、硫黄、小松原石、磐城石、八丈絹、樺、黄楊、諸材、薪、灰、雁皮紙、椿油、鰹魚、鯵、鮑、鰕、香蕈、山葵、海苔、石花菜、

伊豆國屬島



小笠原群島



相模國

足柄上、足柄下、津久井、愛甲、大住、陶綾、高座、鎌倉、三浦、



産物

堅魚、蝦、章魚、湯本細工、貝細工、小田原梅干、鹽辛、水飴、山椒魚、紅花、根府川石、

武藏國

秩父、多摩、高麗、兒玉、加美、那賀、榛沢、幡羅、男衾、比企、大里、横見、入間、新座、埼玉、足立、葛飾、豐島、荏原、都筑、橘樹、久良岐、



産物

秩父絹、八王寺織物、玉川鮎、浅草海苔、苧、麻、石材、紫草、染革、銅釜、白魚、團扇、綿繪、木綿、陶器、銅、漆器、

安房國

安房、朝夷、長狭、平群、



産物

紫菜、水仙、木綿、蠟、牡蠣、磨砂、

上総國

天羽、周准、望陀、夷隅、市原、埴生、長柄、山邊、武射、



産物

紅花、茶、海苔、煙草、木綿、鰮、

下総國

葛飾、相馬、印幡、千葉、埴生、香取、匝瑳、海上、豊田、岡田、猿島、結城、



産物

馬、鰮、鮒、西瓜、佐倉炭、結城紬、茶、銚子縮、醤油、味噌、酒、行徳塩、

常陸國

久慈、多賀、茨城、鹿島、行方、新治
筑波、眞壁、信太、那珂、河内、



產物

石炭、砥石、茶、桑、楮、鮭、鯉、鰻、煙草、
紙、生糸、木綿、銅器、漆器、

近江國

滋賀、高島、伊香、浅井、坂田、大上、
愛智、神崎、蒲生、野洲、栗本、甲賀



產物

野洲晒布、信樂焼、土山茶、長濱縮緬、
伊吹艾、高宮藺席、陶器、紙、絹、天鵞絨、
鯰、鰻、鯉、源五郎鮒、蔓菁、

美濃國

郡上、加茂、恵那、土岐、可兒、各務、厚見、方
縣、武儀、山縣、本巣、大野、席田、池田、不破
多藝、石津、安
八、海西、中島
葉栗、



產物

金、銀、銅、鉛、等ノ諸礦物、印材、等ノ諸
石、材、瓜、藥草、茶、麻、干蘿蔔、紙、酒、縮緬、
陶器、鯉、鮎、鱒、硯材、

飛驒國

吉城、大野、益田、

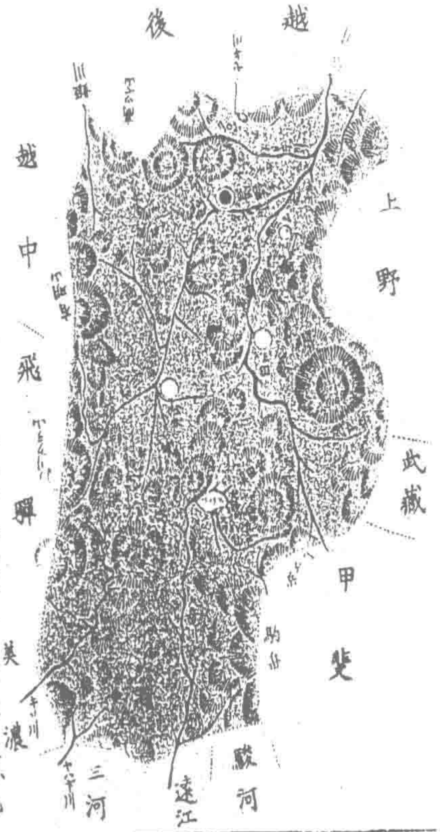


產物

諸礦物、諸石材、諸藥品、諸木材、獸類、陶器、漆器、綿、絹、蠟、

信濃國

佐久、小縣、諏訪、伊那、筑摩、安曇、更科、埴科、水内、高井、

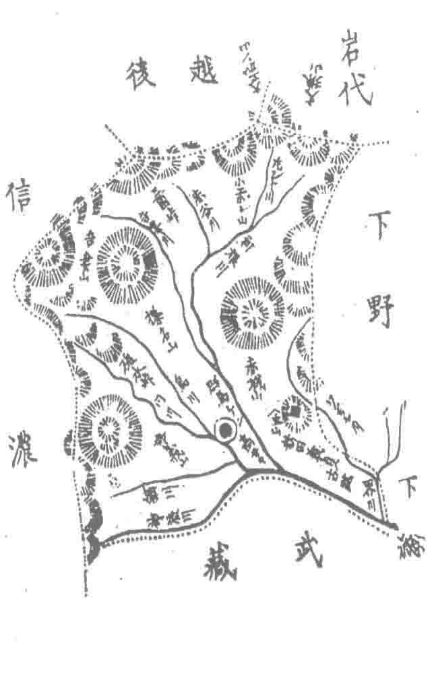


產物

材木、榑木、檜木、金、銀、礦、蕎麥、冰、餅、乾栗、串柿、絹、紬、山繭、木綿、麻布、熊、鹿、諸獸、鳩、鮎、諸溪魚、

上野國

利根、勢多、吾妻、群馬、碓氷、甘樂、多胡、綠野、片岡、那波、佐位、新田、山田、邑樂、

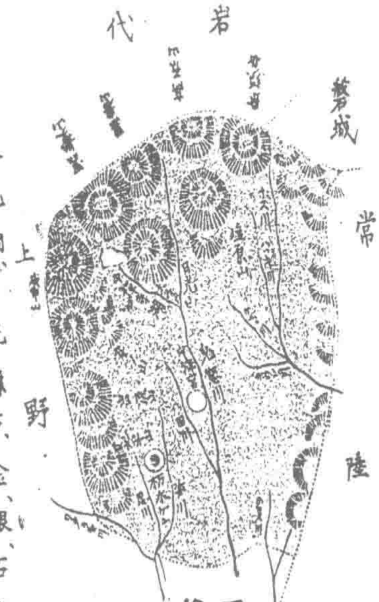


產物

蠶種、生糸、絹、紬、木綿、麻布、漆、煙草、鯉、鮎、金、銀、銅、鐵、硫黄、石炭、明礬、

下野國

那須、塩谷、芳賀、寒川、安蘇、足利、梁田、都賀、河内、



產物

足尾銅、日光蠟石、金、銀、石炭、石耳、眞岡木綿、足利絹、蠶種、生糸、紙、蒲、麻、漆器、木材、

磐城國

菊多、磐前、磐城、楢葉、標葉、行方、宇多、亘理、伊具、刈田、田村、石川、白川、白河、



產物

石炭、鰹節、香蕈、紙、馬、陶器、生糸、蠶種、紙布、干鰮鮑、

岩代國

岩瀬、安積、信夫、伊達、會津、安達、大沼、河沼、耶麻、



產物

金、銀、銅、鐵、漆、蠟、蠶種生糸、眞綿、二本松紬、川股絹、陶器、鐵器、

陸前國

柴田、名取、宮城、黑川、加美、志田、遠田、玉造、栗原、登米、桃生、牡鹿、本吉、氣仙、



產物

金、鉛、鐵、紙、生糸、埋木、海苔、馬、鮭、仙臺平、氣仙籠、海鼠、松藻、海栗、

陸中國

磐井、江刺、膽澤、和賀、稗貫、斯波、岩手、鹿角、閉伊、九戸、



產物

金、銀、鐵、牛、馬、鮭、海參、乾鮑、苧、煙草、紫根、百合、山慈姑、紬、布、漁網、

陸奥國

二ノ戸、三ノ戸、北、津輕、



産物

銀、銅、諸礦物、檜、杉、諸材木、牛、馬、海参、乾鮑、大口魚、昆布、薬品、晒蠟、漆器、

陸奥　羽前　十七

羽前國

置賜、村山、最上、田川、



産物

生糸、青苧、蚕種、絹、紬、諸織物、馬、熊、煙草、蠟燭、紫根、紅花、硫黄、石炭、金、銀、銅、鉛、

羽後國

雄勝、平鹿、仙北、飽海、由利、河辺、秋田、山本、



産物

秋田款冬、野代漆器、絹、紬、石炭、砥石、金、銀、銅、諸礦物、

羽後　若狹　十八

北陸道七国

若狹國

大飯、遠敷、三方、

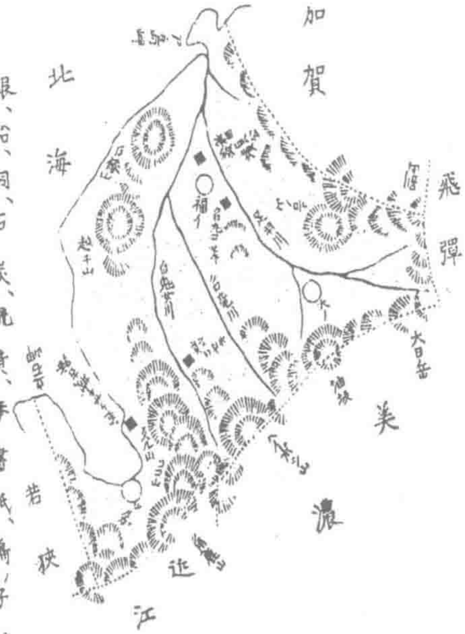


産物

水晶、砥石、和布、海苔、銅、鰤、鯖、鰈、絹、紙、蠟、漆、

越前國

敦賀、南條、丹生、今立、足羽、大野、吉田、坂井、



產物

銀、鉛、銅、石炭、硫黃、奉書紙、鳥ノ子紙、生糸、紬、蚊幬、九同網、三国鱒、鮭、大口魚、桑、麻、茶、漆

加賀國

江沼、能美、石川、河北、



產物

金、銅、石炭、莨、菅笠、紙、絹、陶器、蘭席、手綱、鰮、章魚、

能登國

羽咋、鹿島、鳳至、珠洲、



產物

磐石、馬腦、石炭、海草、漆器、索麪、海參、

越中國

礪波、射水、婦負、新川、



產物

紙、絹、布、茶、硫黃、鐘、鰮、及藥劑、鐵物、

越後國

頸城、刈羽、三嶋、魚沼、古志、蒲原、岩船、



産物

金、銀、銅、鐵、ノ諸礦物　越中
石炭石脳油、藥品、獸類、鮭、大口魚、桑茶
漆、苧、布、越後縮、五泉平、楓尾紬、

佐渡國

羽茂、雑太、加茂、



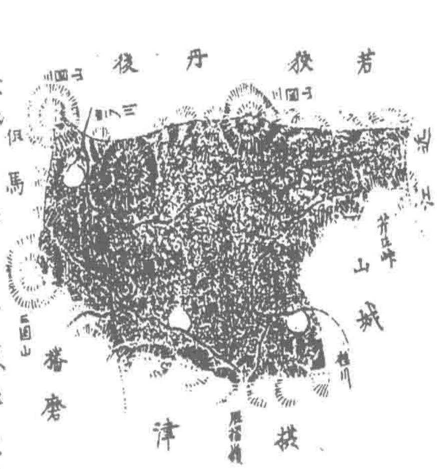
産物

金、銀、諸礦物、水晶、瑪瑙、珊瑚、海草、
海参、大口魚、乾鮑、杉、栗、ノ諸材、

丹波國

山陰道八國

桑田、船井、何ル鹿、多紀、氷上、天田、



産物

石灰、砥石、燧石、木材、煙草、栗、柿、棗、梨、
松蕈、薪、炭、茶、綿、生絲、蜂蜜、錦布、蠟、黄
連、求酒、藺席、川魚、

丹後國

加佐、與謝、中、竹野、熊野、



産物

木材、海藻、鯨、鰤、鯛、海参、蜂蜜、紬、
縮緬、葛籠、撚糸、紙、漆、蠟、桐油、

但馬國

朝來、養父、出石、氣多、
城ノ崎、美含、二方、七味、



產物

牛、金、銀、銅、水晶、砥石、温石、石材、海苔、
海藻、鯉、鮎、鱒、鮭、大口魚、山繭、蜂蜜、烟
草、柳、箒、苞、針、杉、楮、白楊、苧、麻、紙、綿、生
糸、絲物、漆器、

因幡國

岩井、法美、八東、八上、
智頭、邑美、高草、氣多、



產物

銅、砥石、硯材、藍、茶、烟草、紙、生糸、絹
棉布、漆、蠟、白珊瑚、藺席、石斛、葛粉、諸
木材、諸藥材、鰻、鱒、鮎、鮭、火口魚、比目
魚、鯡、鮫、鰹、海藻、蜂蜜、煉熊膽、

伯耆國

河村、久米、八橋、
汗入、會見、日野、



產物

鐵、鋼、鐵器、白石英、紫
石英、砥石、雲母、藍、紅花、胡麻、茅草、砂
糖、蠟、漆、石灰、紙、麻、草綿、棉布、甘藷、白
枡、鯔、鰻、海參、海藻、熊膽、諸藥材、

出雲國

出雲、楯縫、秋鹿、島根、意宇、
大原、能義、仁多、飯石、神門、



產物

鐵、鉛、瑪瑙、水晶、石炭、硝石、蜂蜜、牛、馬、
鱸、鮑、紙、苧、蠟、木綿、人參、海苔、陶器、

石見國

安濃、邇摩、邑智、
那賀、美濃、鹿ノ足、

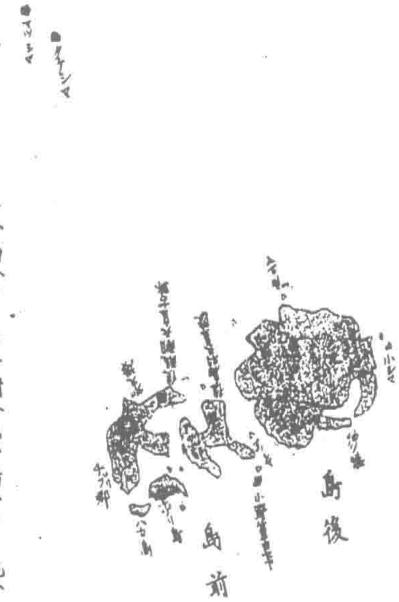


産物

銀、鉛、銅、鋼、鐵、
礬石、緑礬、無名
異、熊膽、猪膽、蜂
蜜、鮎、鰮、海苔、蟳、紙、楮、麻、苧、瓦、藺席、葛
粉、薯蕷、蕃藷、香蕈、山葵、榧油、木賊、

隱岐國

知夫、海部、
周吉、越智、



産物

牛、馬、和布、鯖、鯣、鰯、干鮑、海参、
馬蹄石、擬、棗、杉ノ板材、

播磨國

明石、加古、印南、美濃、加東、加西、多可、
神東、神西、飾東、飾西、揖東、揖西、赤穗、
宍粟、佐用、



産物

姫路革、明石鯛、赤穗塩、竜野醤油、銅、
石炭、紙、烟草、茶、麻、布、木綿、鰈、鯛、魟、章
魚、鯛、

美作國

吉野、英多、勝南、勝北、久米南條、久米北
條、東北條、西北條、西西條、東南條、大庭、
真島、



産物

銅、錢、石炭、烟草、紙、
筵、雲齊鐵、燒酎、

備前國

和氣、邑久、磐梨、上道、赤坂、津高、御野、兒島、



產物

水晶、蝋石、白魚、海月、氷蝦、海苔、砂糖、塩、酒、醬油、蠟、茶、忌部ノ陶器、長船ノ刀劍、

備中國

都宇、窪屋、淺口、賀陽、下道、小田、後月、川上、上房、阿賀、哲多、



產物

水晶、石炭、銅、鉛、茶、烟草、藍、漆、鯛、鰆、紙、生糸、醬油、酒、藺席、陶器、

備後國

深津、安那、神石、沼隈、品治、葦田、御調、世羅、三次、三谿、甲奴、三上、惠蘇、奴可、



產物

鉛、石炭、蠟、茶、烟草、鯛、鰆、海鼠、綠綿、紙、藺席、花莚、塩、保命酒、

安藝國

豐田、安藝、賀茂、沼田、佐伯、高田、高宮、山縣、



產物

銅、石炭、藍、茶、烟草、栗、蜜柑、塩、紙、棉、紬、麻布、鰮、牡蠣、海參、

周防國

郡　玖珂、熊毛、大島、都濃、佐波、吉敷、



産物　綠礬、蠟石、茶、烟草、樟腦、蜂蜜、鹽、紙、縮布、木綿、海参、

長門國

厚狭、豊浦、大津、美祢、阿武、見島、



産物　石炭、緑礬、硯材、鮎、烏賊、鰤、鮑、鰯、鯨、章魚、河豚、茶、塩、陶器、

南海道六國

紀伊國

牟婁、日高、有田、伊都、那賀、名草、海部、



産物　銀、銅、石材、水材、蜜柑、樟腦、烟草、木綿、紙、炭、蠟燭、紋羽織、傘、團扇、氷豆腐、漆器、鯨、堅魚、

淡路國

三原、津名、



産物　石材、乾鯛、陶器、

阿波國

板野、阿波、三好、美馬、麻植、
名東、名西、勝浦、那賀、海部、

產物

銅、石炭、石材、藥品、藍、塩、砂糖、
堅魚節、縮織、鰤鯨、



讚岐國

大內、寒川、三木、山田、香川、阿野、
鵜多、那珂、豐田、多度、三野、

產物

石炭、硝石、蕃麥、小豆、茶、
砂糖、塩、木綿、保田鍋、



伊豫國

宇摩、新居、周敷、桑村、越智、野間、風早、
和氣、溫泉、久米、浮穴、伊豫、喜多、宇和、

產物

銅、石炭、木材、藥品、藍、茶、乾鰮、
海參、紙、塩、陶器、蠟燭、砂糖、

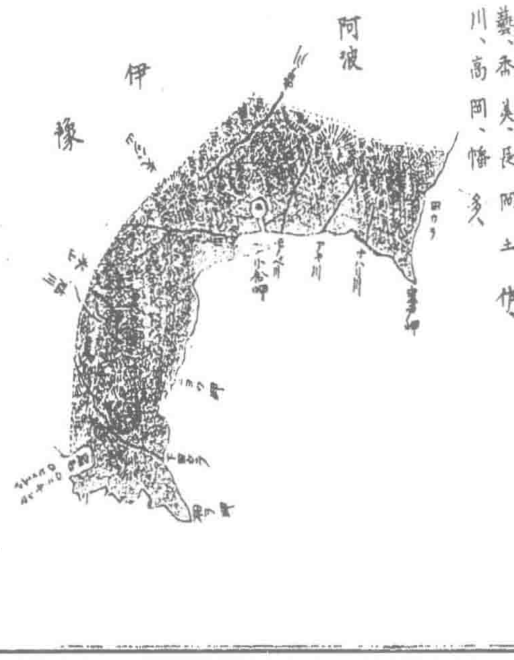


土佐國

安藝、香美、長岡、土佐、
吾川、高岡、幡多、

產物

銅、石炭、木材、樟腦、珊瑚、
眞珠、茶、紙、陶器、堅魚節、



筑前國

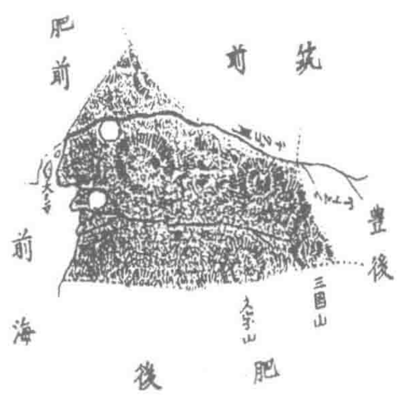
遠賀、宗像、鞍手、穗波、嘉麻、上座、下座、
夜須、御笠、糟屋、席田、那珂、早良、志广、
怡土、



產物　石炭、塩、茶、葛粉、煉酒、
陶器、水綿、及、博多織、

筑後國

御原、御井、三潴、山門、三池、
下妻、上妻、山本、竹野、生葉、



產物　石炭、埋木、紅花、
藍、茶、紙、油、蠟、

豐前國

企救、田川、京都、仲津、
筑城、上毛、下毛、宇佐、



產物　石炭、木材、蠟、塩、及、上野
陶器、小倉織、門司硯、

豐後國

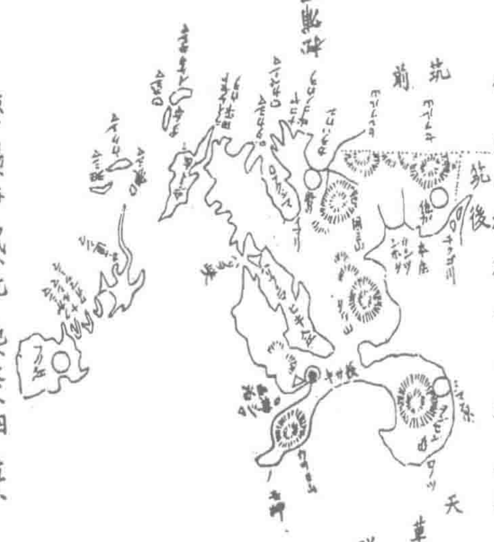
國東、速見、大分、海部、
大野、直入、玖珠、日田、



產物　硫黄、明礬、木材、烟草、紙、大豆、
藺席、生絲、木綿、蠟、麪、

肥前國

松浦、彼杵、高來、藤津、杵島、小城、佐嘉、三根、神埼、養父、基肆、



産物

鯨、鷄海鼠、乾鮑、茶、烟草、蠟、砂糖、石炭、陶器、

肥後國

阿蘇、菊地、益城、託麻、合志、山鹿、山本、玉名、飽田、宇土、八代、葦北、玖麻、天草、



産物

石炭、砥石、茶、蠟、紙、香蕈、葛粉、砂糖、紅花、樟腦、雜穀、陶器、索麪、團扇、

日向國

臼杵、兒湯、那珂、宮崎、諸縣、

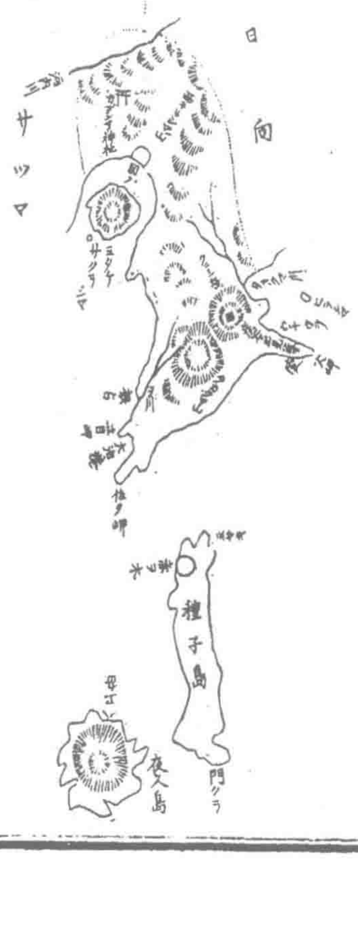


産物

銅、鉛、砥石、硫黄、木材、樟腦、漆、蠟、紙、烟草、砂糖、茶、生鯑、及、山獸、海魚、

大隅國

菱刈、桑原、始羅、噌唹、肝屬、大隅、熊毛、馭謨、



産物

金、銅、硫黄、明礬、木材、烟草、馬、鮑、大根、砂糖、

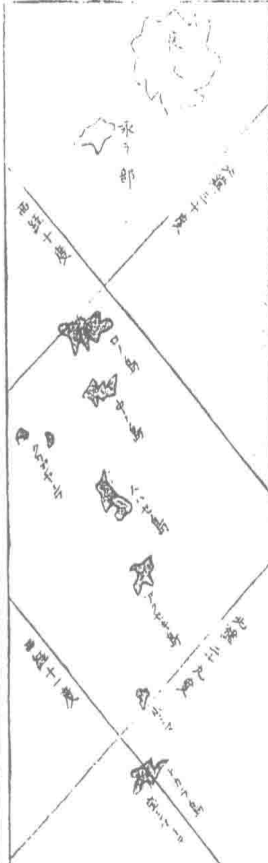
薩摩國

鹿兒島、鎔山、給黎、揖宿、頴娃、河邊、阿多、日置、薩广、高城、出水、伊佐、甑島、



産物

金、銅、鐵、烟草、陶器、硫黄、硝石、砂糖、堅魚、藥品、木材、紙、布、紬、蠟燭、蕃薯、泡盛、七島席、錫、



壹岐國

石田、壱岐、

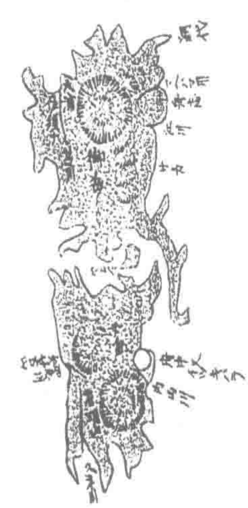


産物

石炭、茶、烟草、鯨、海膽、

對馬國

上縣、下縣、



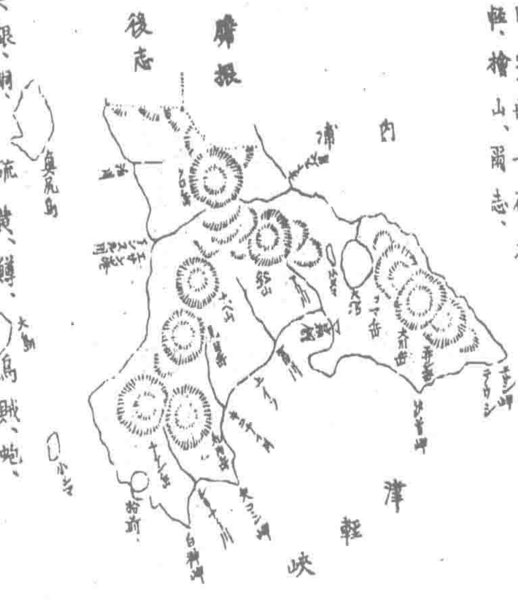
産物

紺青、真珠、槻、樺ノ諸材、鮑、烏賊、鯨、馬、及、紙、陶器、

北海道十一国

渡島國

龜田、茅部、上磯、福島、津輕、檜山、爾志、



産物

金、銀、銅、硫黄、鱒、烏賊、鮑、煎海鼠、鮭、参、大豆、檜材、

後志國

久遠、奥尻、太櫓、瀬棚、島牧、壽都、歌棄、磯谷、岩内、古宇、積丹、美國、古平、餘市、忍路、高島、小樽、



產物

金、銀、砂金、硫黄、厚朴、雜材、昆布、海帅、虎斑竹、鷲羽、椎茸、鯡、鱒、煎海鼠、鮑、熊、膃肭臍、海獺、

石狩國

石狩、札幌、夕張、樺戸、空知、雨龍、上川、厚田、濱益、



產物

天鹽國

增毛、留萌、苫前、天塩、中川、上川、



產物

砂金、熊、鷲、鹿、海獺、海獺、鮭、鱒、鯡、鮑、煎海鼠、雜昆布、雜材、椎茸、

膽振國

山越、虻田、有珠、室蘭、幌別、白老、勇拂、千歳、

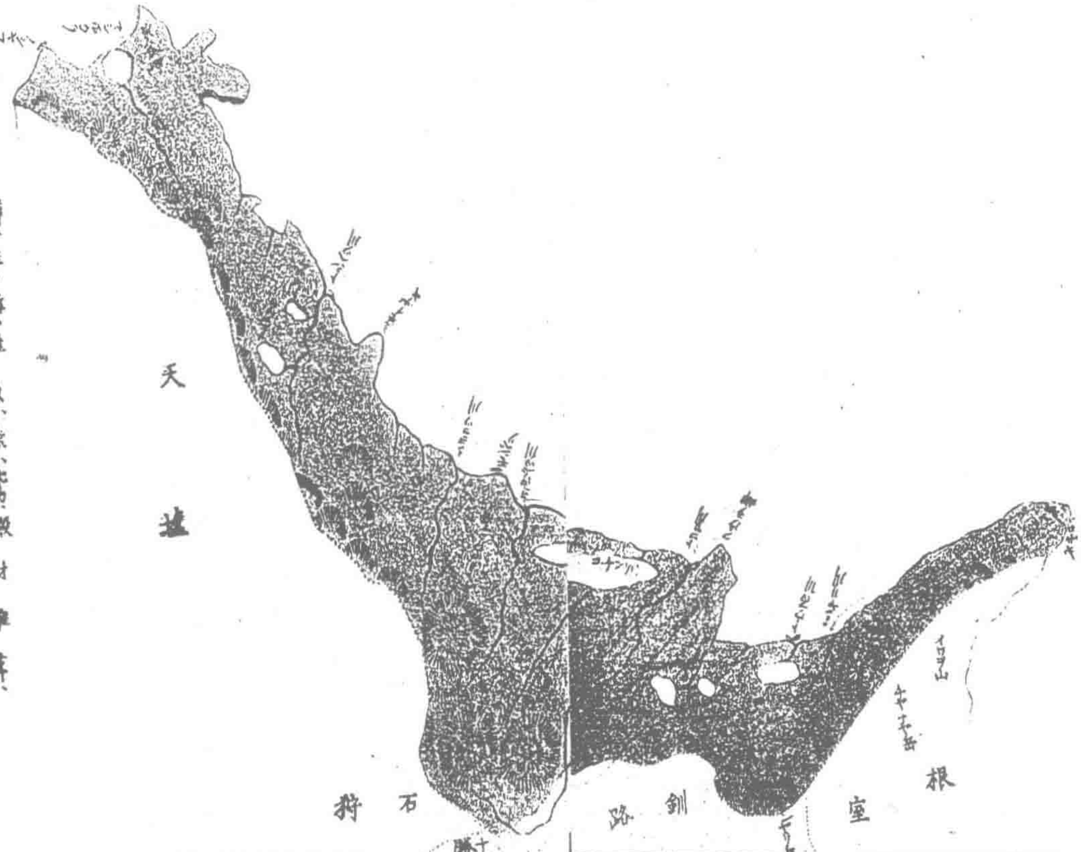


產物

馬、牛、熊、鷲羽、帆立貝、椒材、椎茸、野菜、昆布、海帅、鯡、鮭、鱒、鰯、鱈、煎海鼠、海狗、金、銀、硫黄、

北見國

宗谷、利尻、禮文、枝幸、紋別、常呂、網走、斜里、

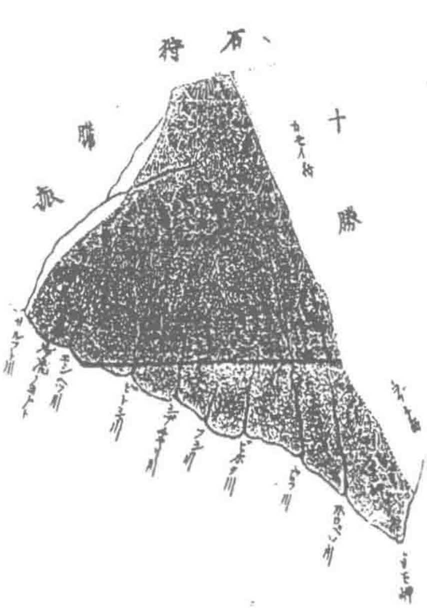


產物

鱒、鮭、鰊、雜魚、熊、鷲、樅材、椎茸、昆布、海帅、水豹、鉄砂、

日高國

沙流、新冠、静内、三石、浦河、様似、幌泉、



產物

金、銀、鉄、砂、鹿角、鷲羽、馬、熊、樅材、椎茸、昆布、海帅、鮃、鮭、鰤、鱈、雜魚、粟、稗、大豆、

十勝國

廣尾、當緣、十勝、中川、上川、河東、河西、



產物

石炭、熊、鹿、鷲、海豹、海獺、鰮、鮭、鱒、鰤、煮海鼠、昆布、椎茸、

釧路國

白糠、足寄、阿寒、川上、釧路、厚岸、網尻、

産物

石炭、黑水晶、鶴、鶉、雛、煎海鼠、昆布、海艸、椎茸、材木、鯨、鹿、海獺、海豹、鷲羽、



根室國

花咲、根室、野付、標津、目梨、

産物

鮭、鱒、鯡、鱈、椎茸、椴材、熊、鹿、鷲羽、鯨、獵虎、



千島之内

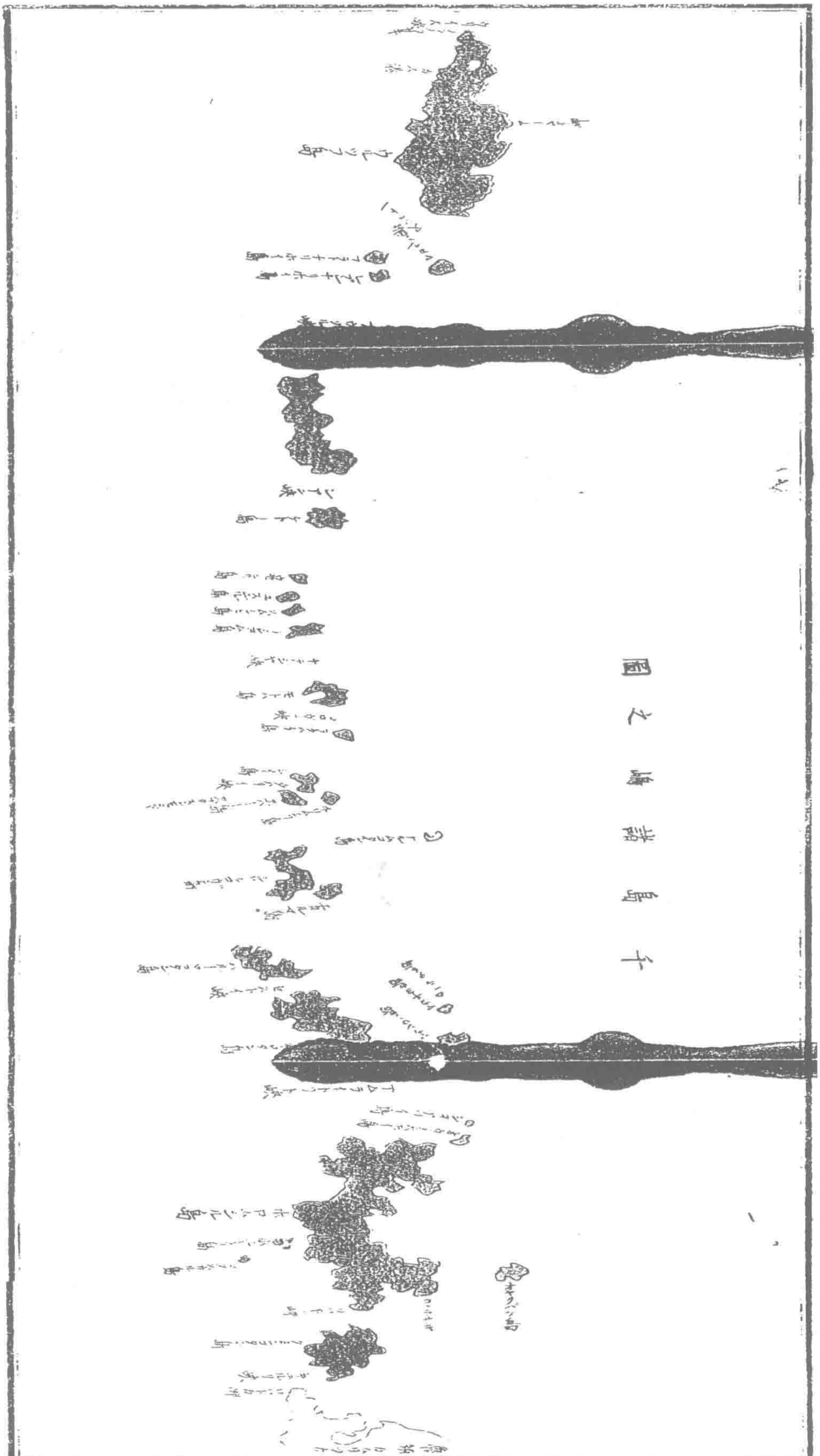
國尻島



千島之内

擇捉島





版權免許　明治十年六月七日

編輯　長野縣平民　吉水林識
仝縣南第五大區六小區信濃國筑广郡塩尻村三百六十番地寄留

出版　仝縣士族　古田連稱
仝縣南第十三大區三小區信濃國諏方郡下諏方村二百四十六番地

仝　仝縣平民　青木禎一郎
仝縣南第五大區六小區信濃國筑广郡塩尻村六百四十九番地

閲者　東京　廣瀬範治

四十六

諸國書肆

東京
須原屋茂兵衛　岐阜　武井忠藏
山城屋佐兵衛　濱松　松屋好五郎
小林新兵衛　谷島屋太兵衛
和泉屋吉兵衛　靜岡　浪花屋市藏
和泉屋北郎　青木榮二郎
藤岡屋慶次郎　堺屋又三郎
袋屋龜次郎　小松浦右衛門
和泉屋金右衛門　甲府　山本昌昶
出雲寺万次郎　正文堂利兵衛
椀屋喜兵衛　小西屋庄右衛門
岡田屋嘉七　村田屋孝太郎
須原屋伊八　高崎　菊屋源作

西京
菱屋孫兵衛　仙臺　伊勢屋安右衛門
吉野屋仁兵衛　新潟　平野傳小郎
出雲寺文次郎　高田　藤屋直一郎
田中屋治兵衛　高山　枡屋重兵衛

大坂
伊丹屋善兵衛　長野　岩下伴五郎
河内屋喜兵衛　上田　鼠屋甲造
中島徳兵衛　諏方　惠比屋喜代治
河内屋龜七　飯田　十一屋半四郎

名古屋
永樂屋東四郎　松本　高美屋甚右衛門
萬屋東平　島屋幸助
菱屋平兵衛　青雲堂禎十郎
菱屋藤兵衛　精花堂八十平

岡崎
本屋文吉　水琴堂專吉

發兌書肆

東京　和泉屋市兵衛
愛知　永樂屋東四郎
甲府　内藤傳右衛門
松本　窪田重平
　　　竹内禎十郎
塩尻　高美甚左衛門
　　　芳古堂

伊澤孝雄 編

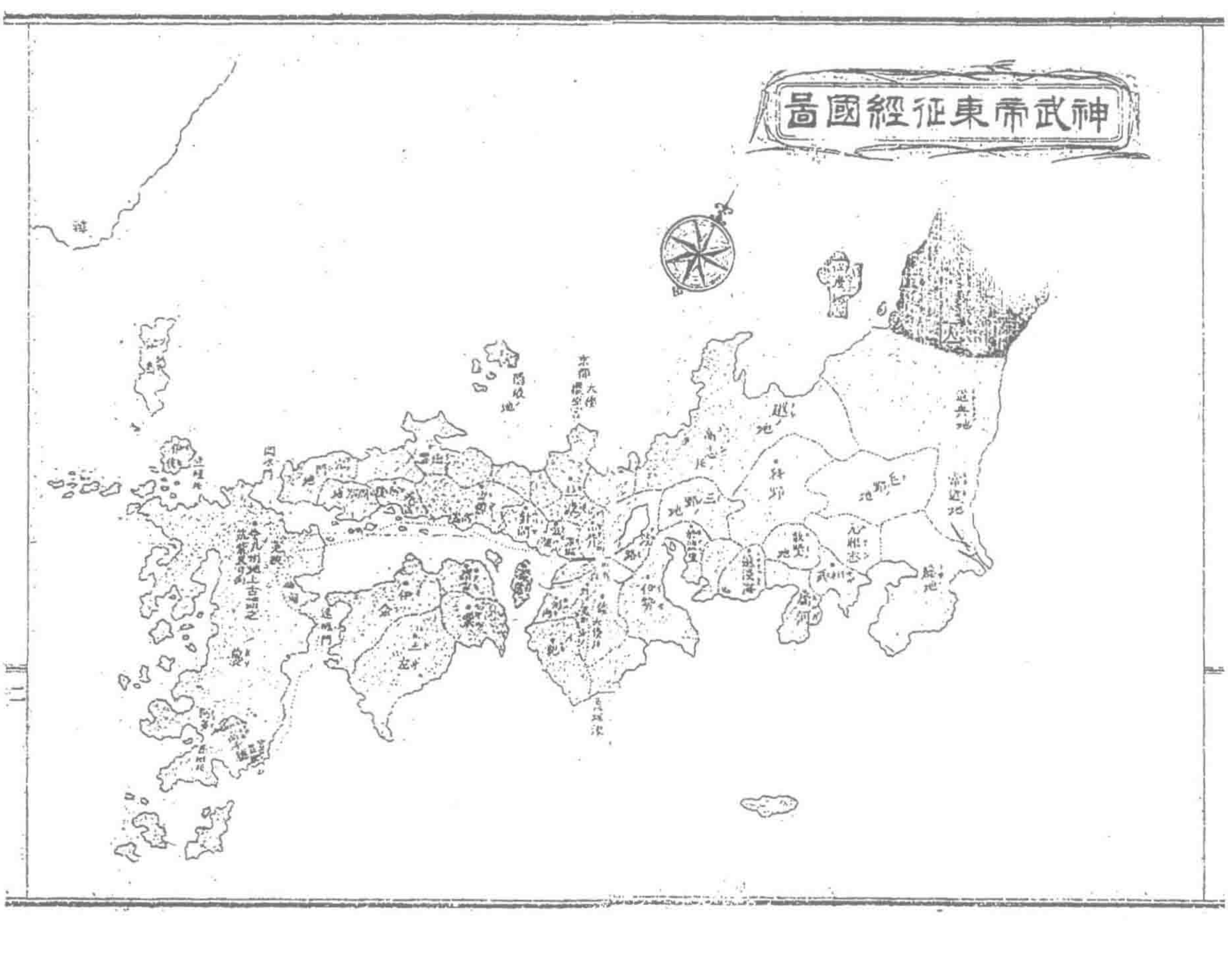
日本歷朝輿地沿革之圖

明治二十五年（一八九二）刻本

據明治二十五年（一八九二）

刻本影印

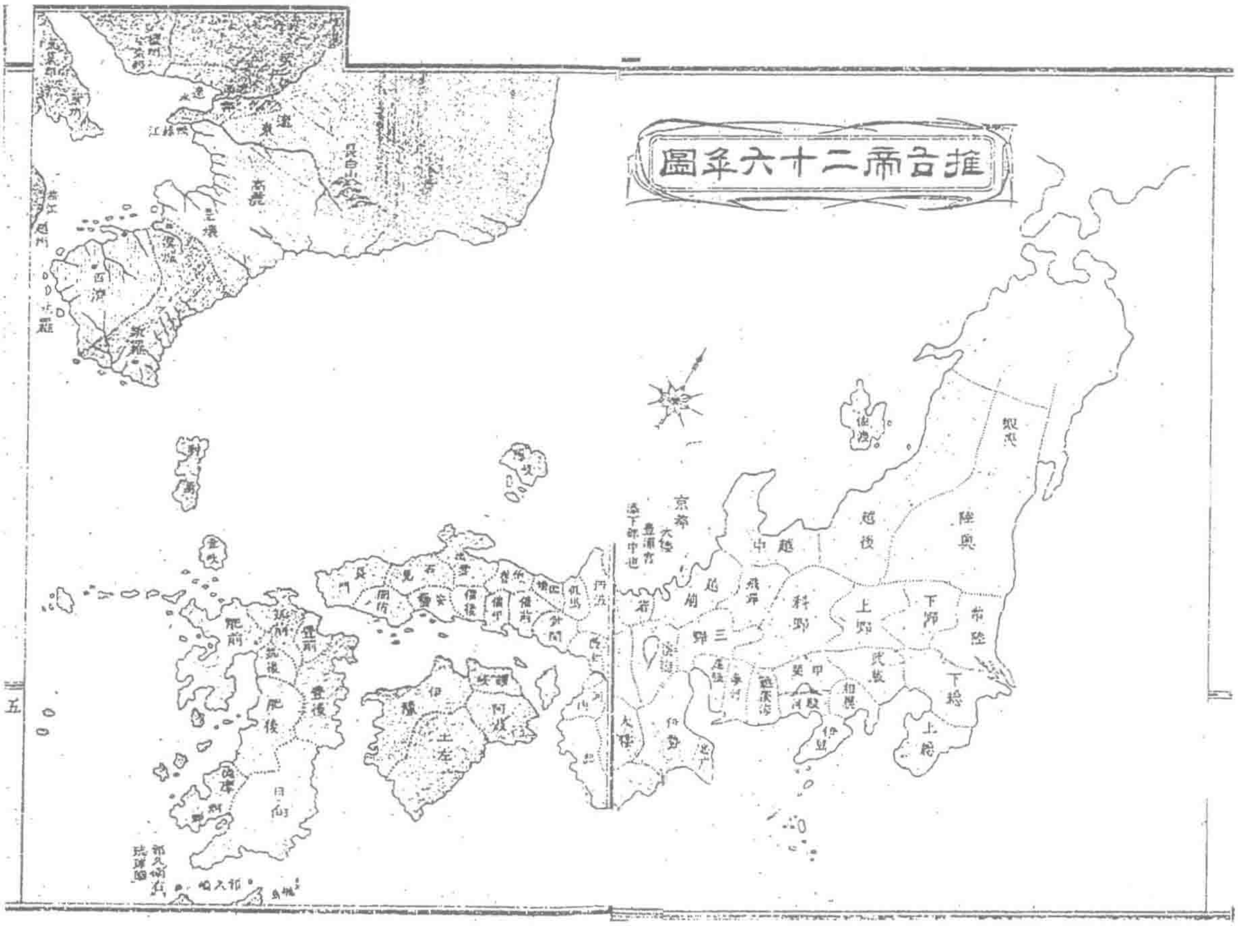
歷朝輿地沿革之圖

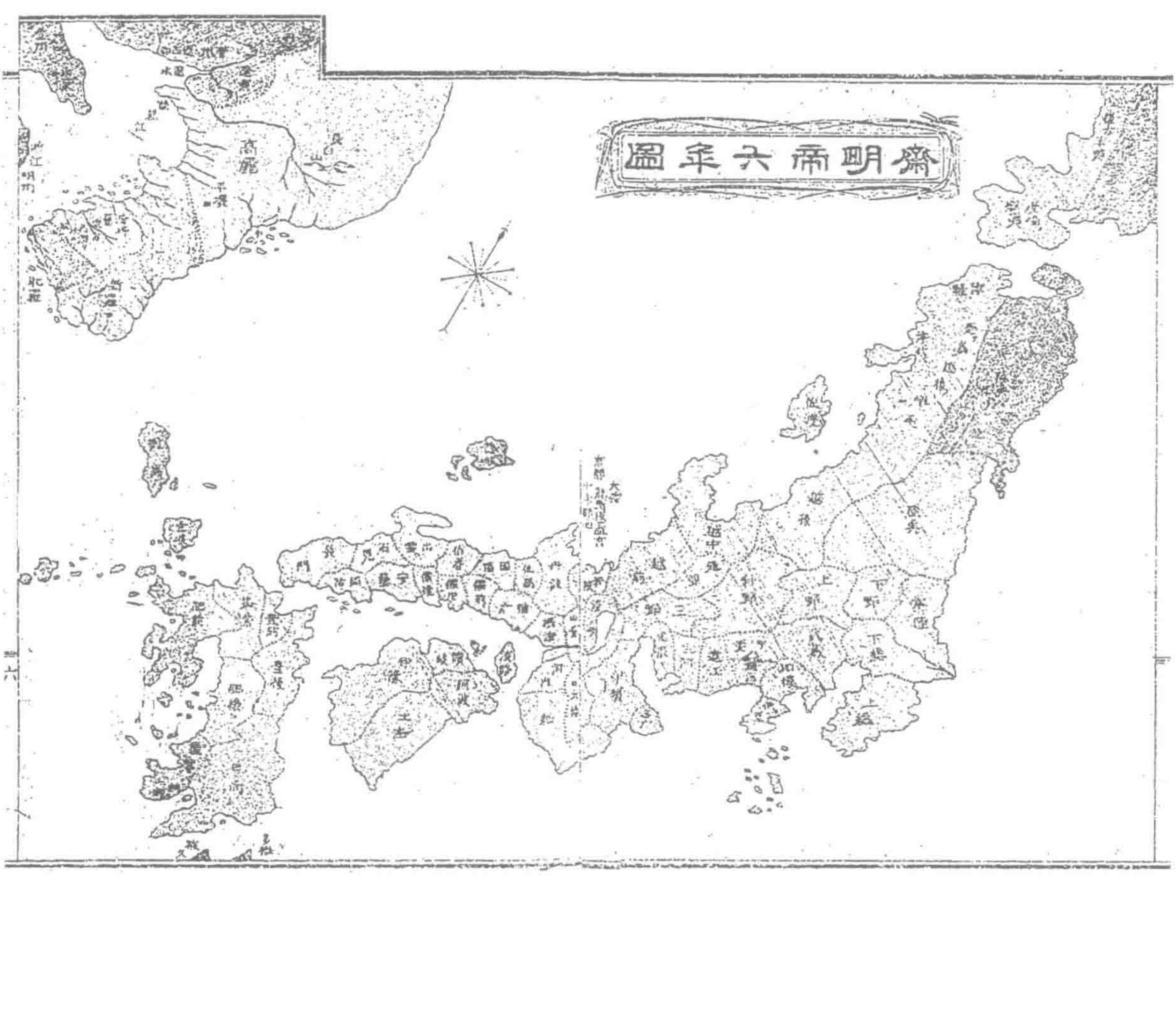


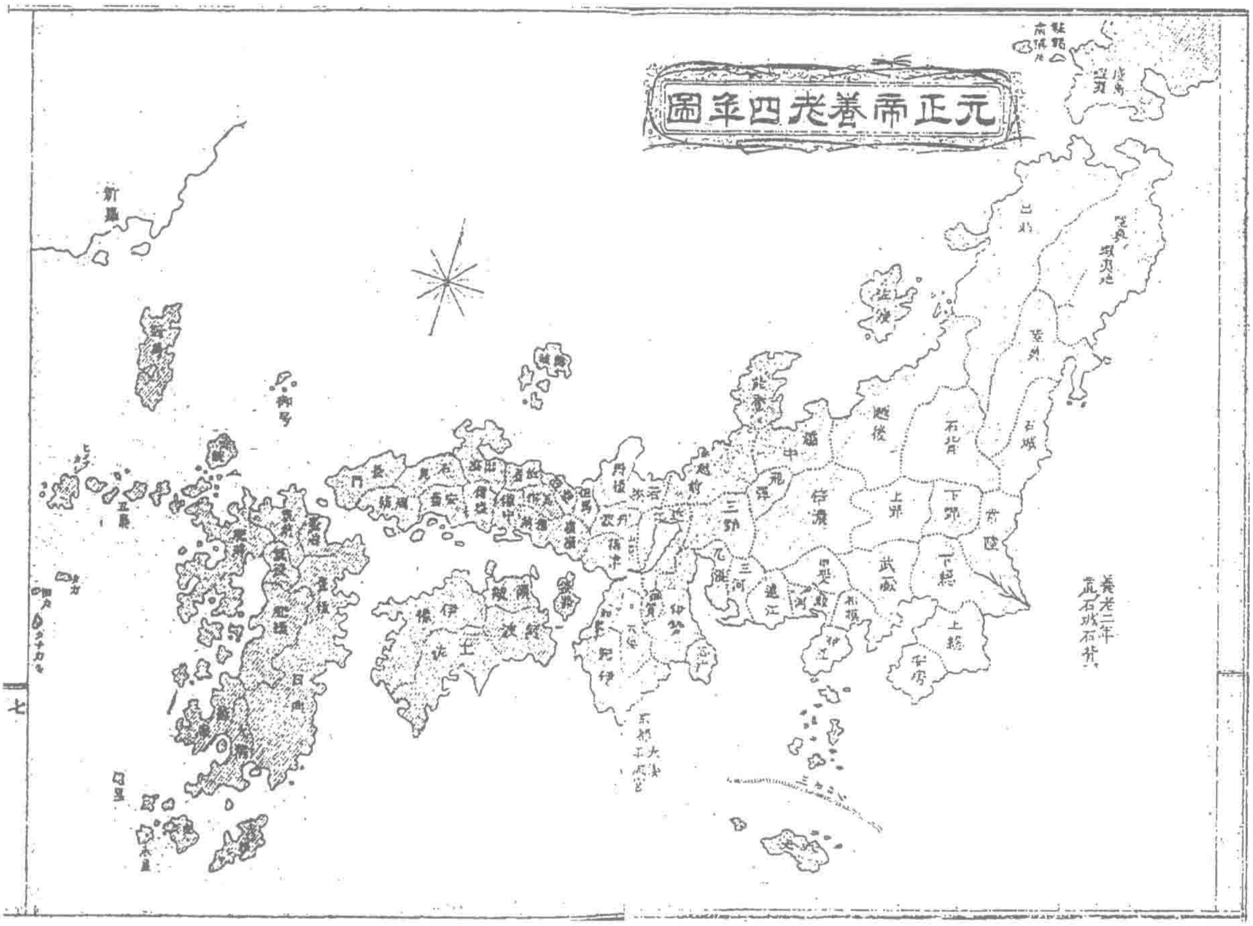
神武帝東征經國圖

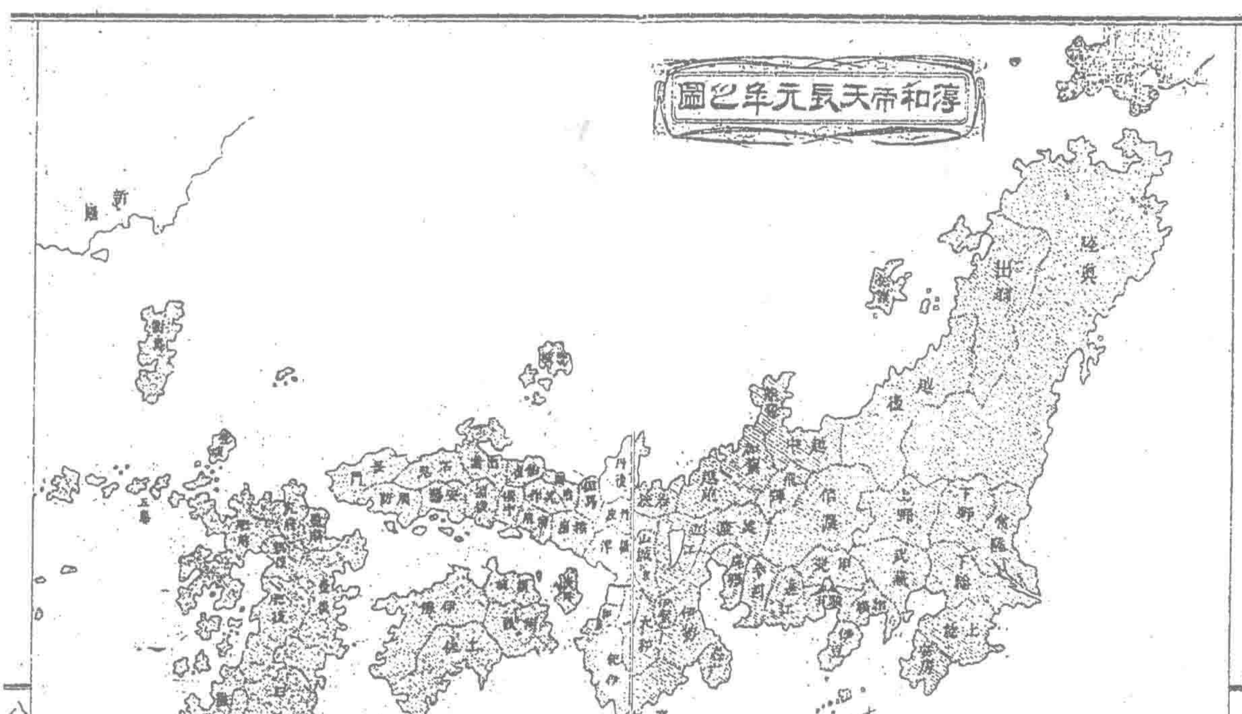

景行帝東西征討圖
新羅
任那
土佐

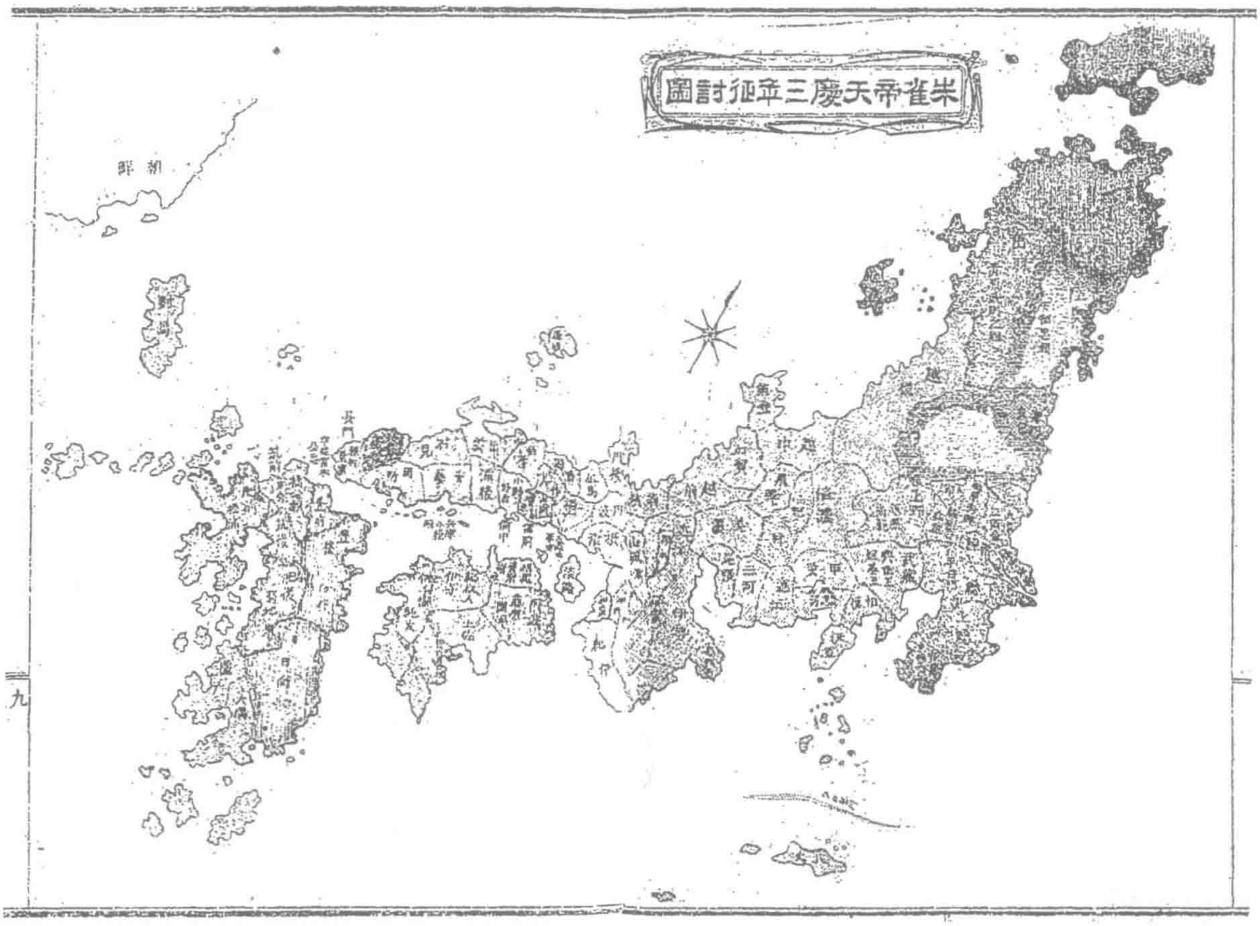

神功皇后征韓圖
土佐
日向
佐渡

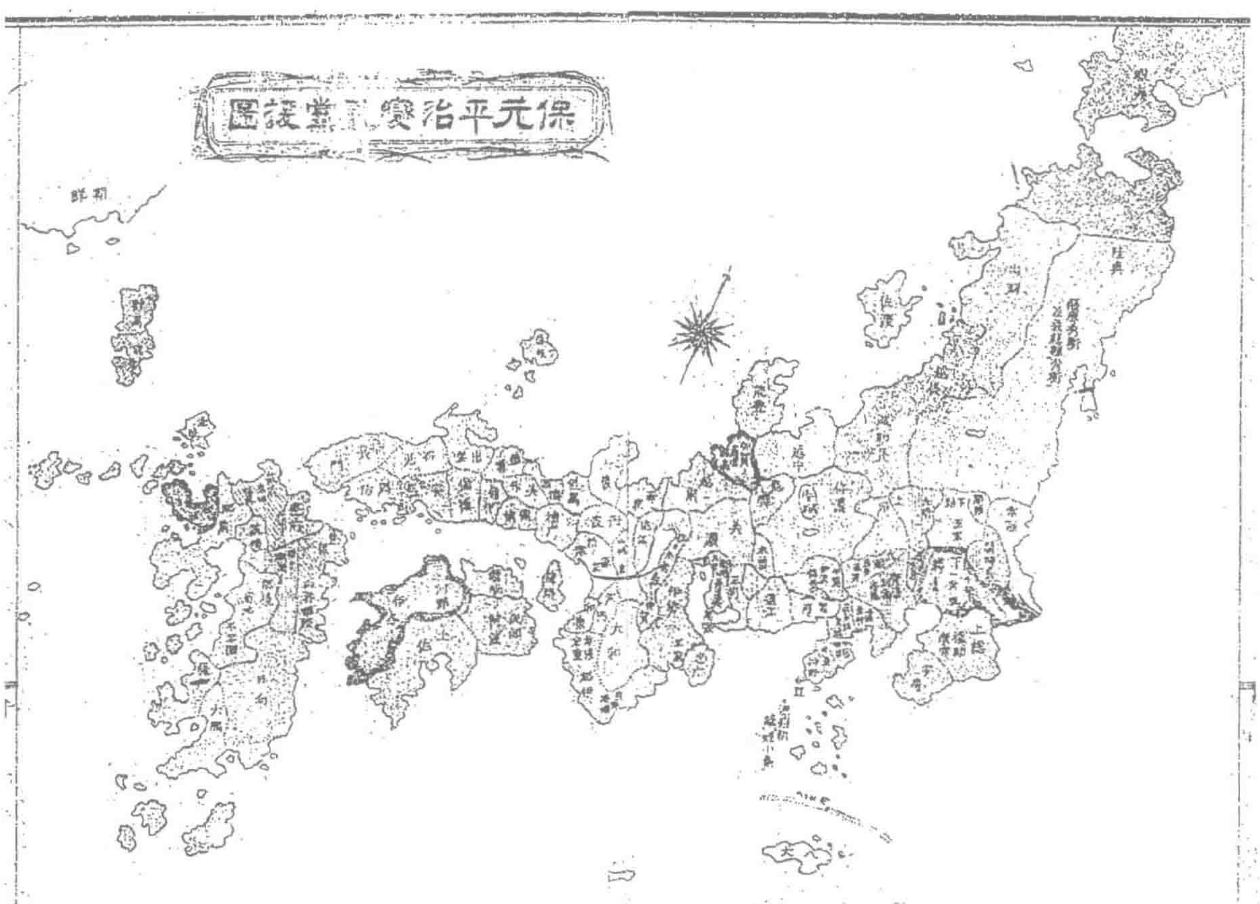
五

推古帝二十六年圖

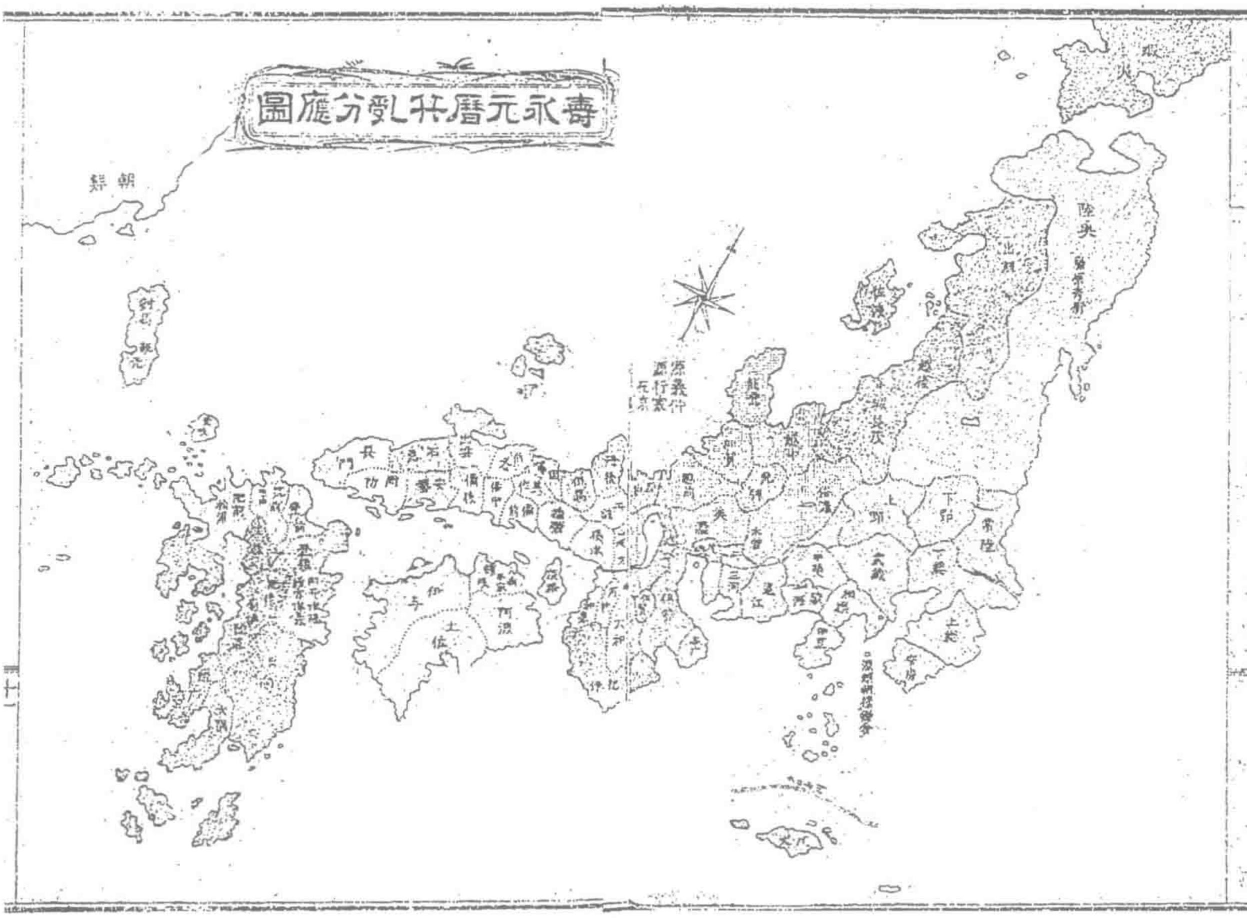
六

齊明帝六年圖


元正帝養老四年圖
七

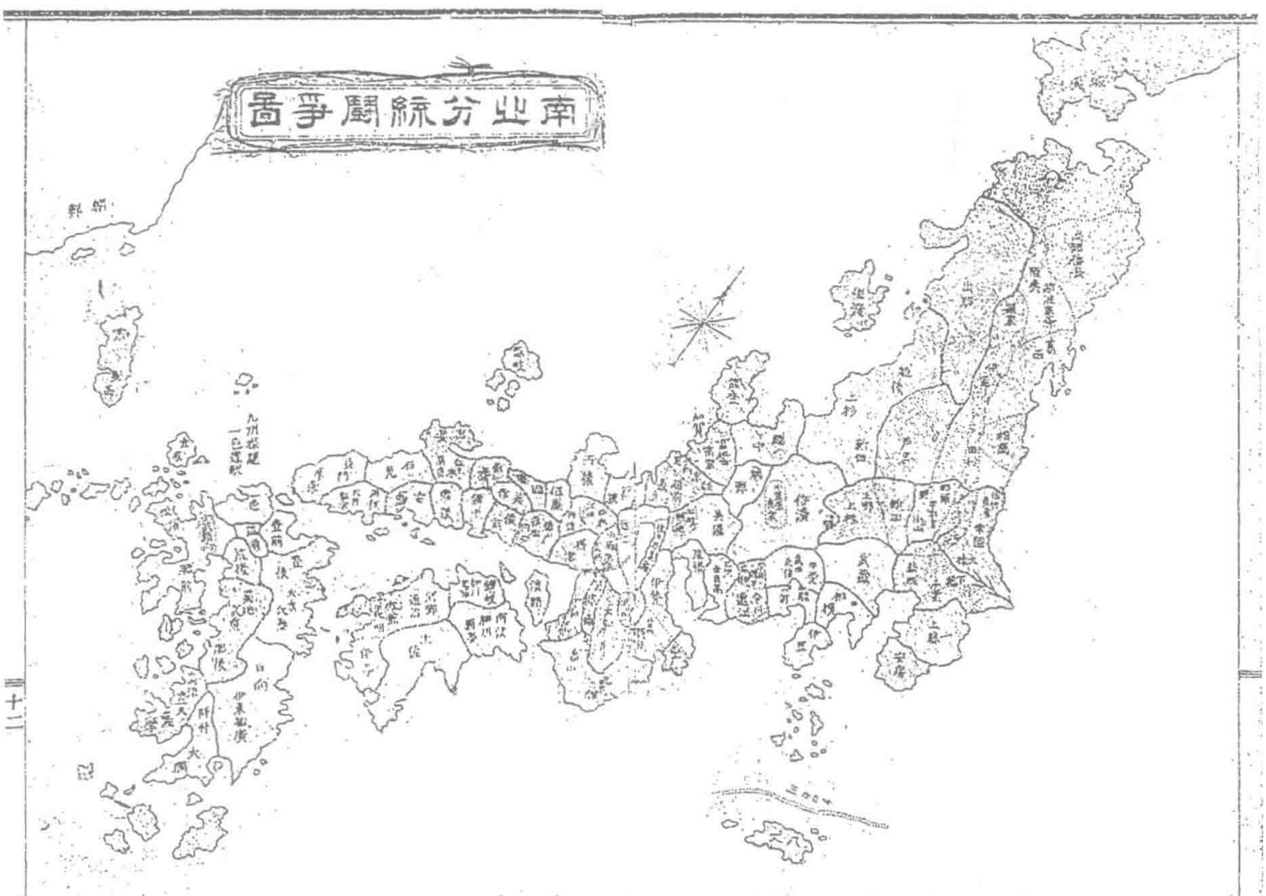

淳和帝天長元年之圖
八


朱雀帝天慶三年征討圖
朝鮮
九

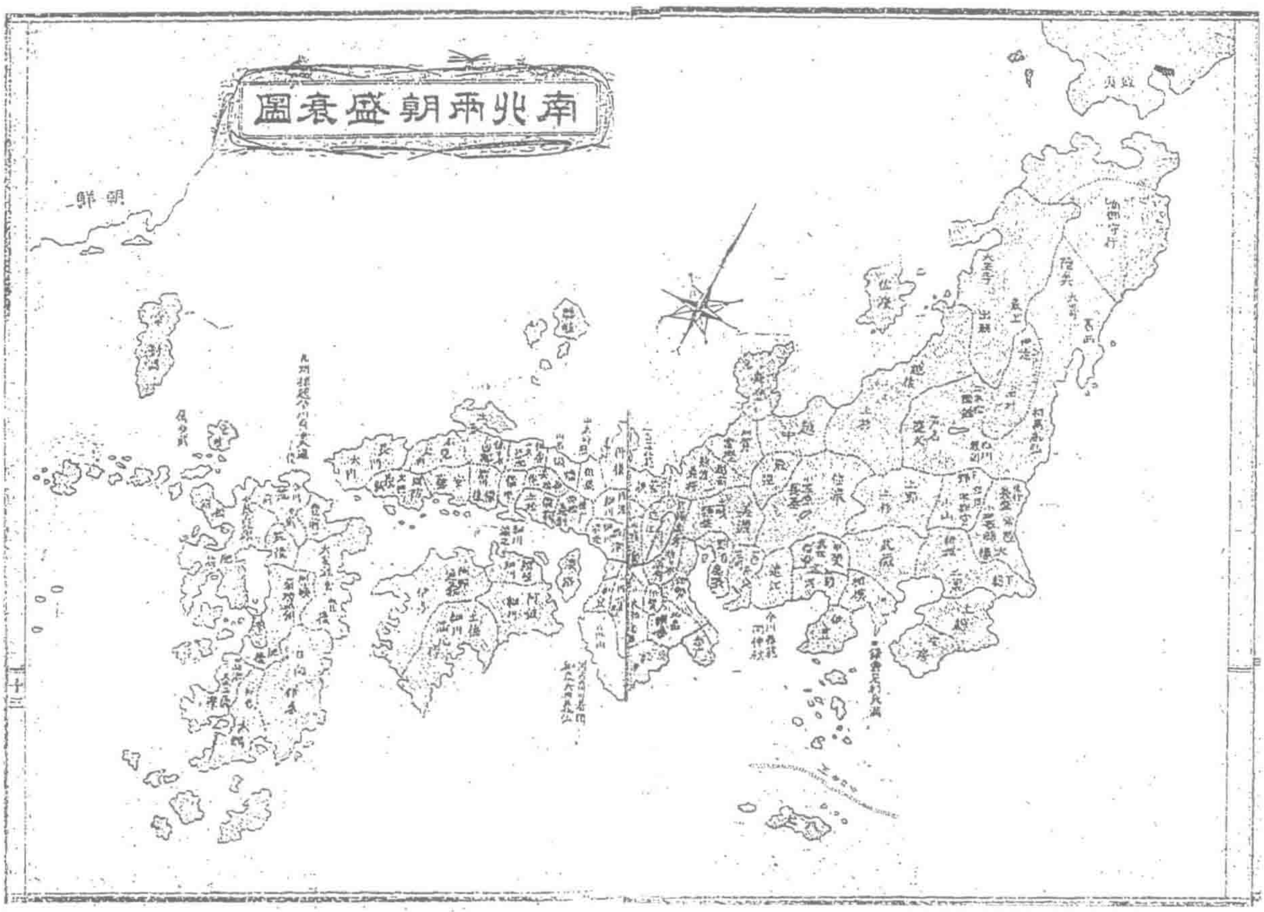

保元平治變　叢設圖
朝鮮

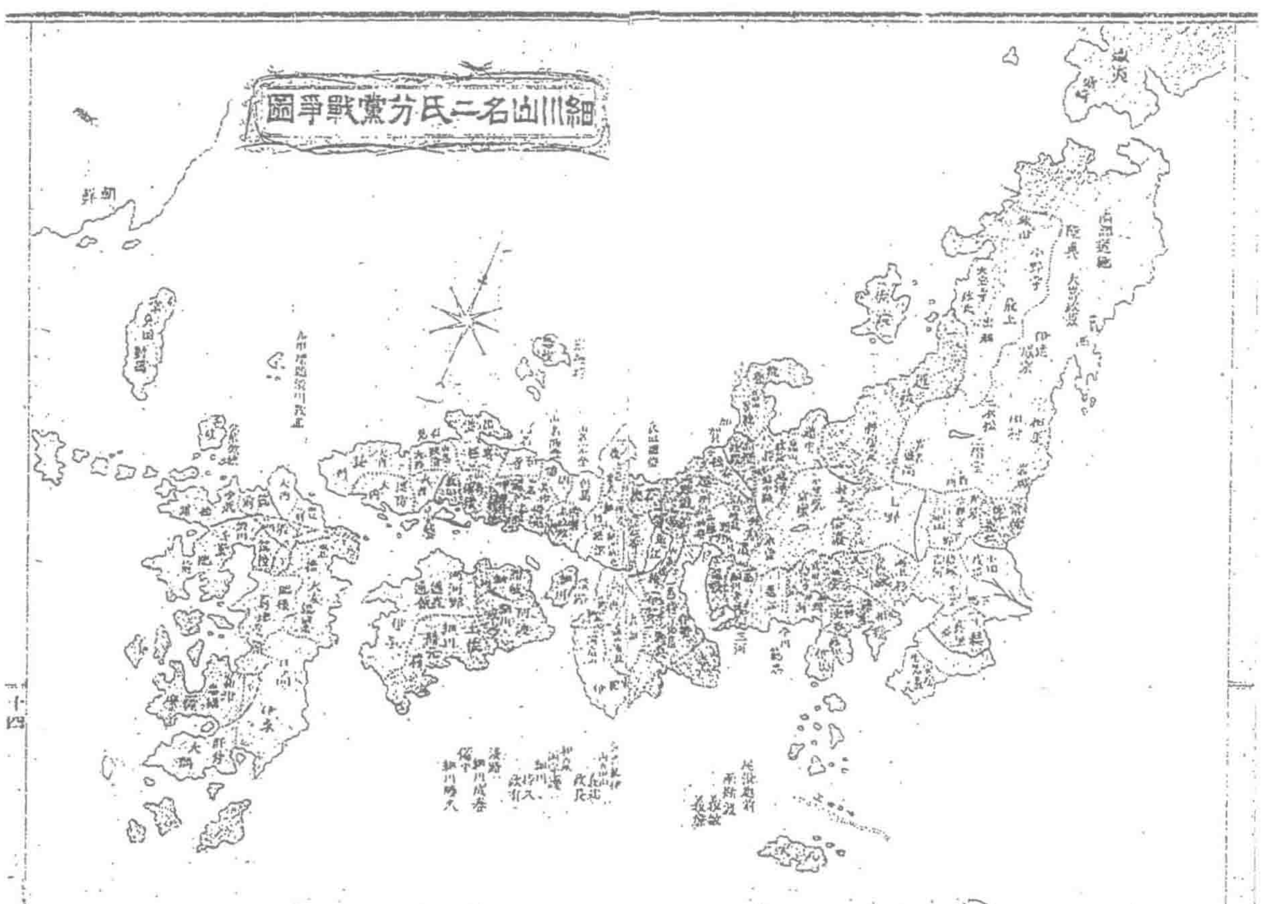


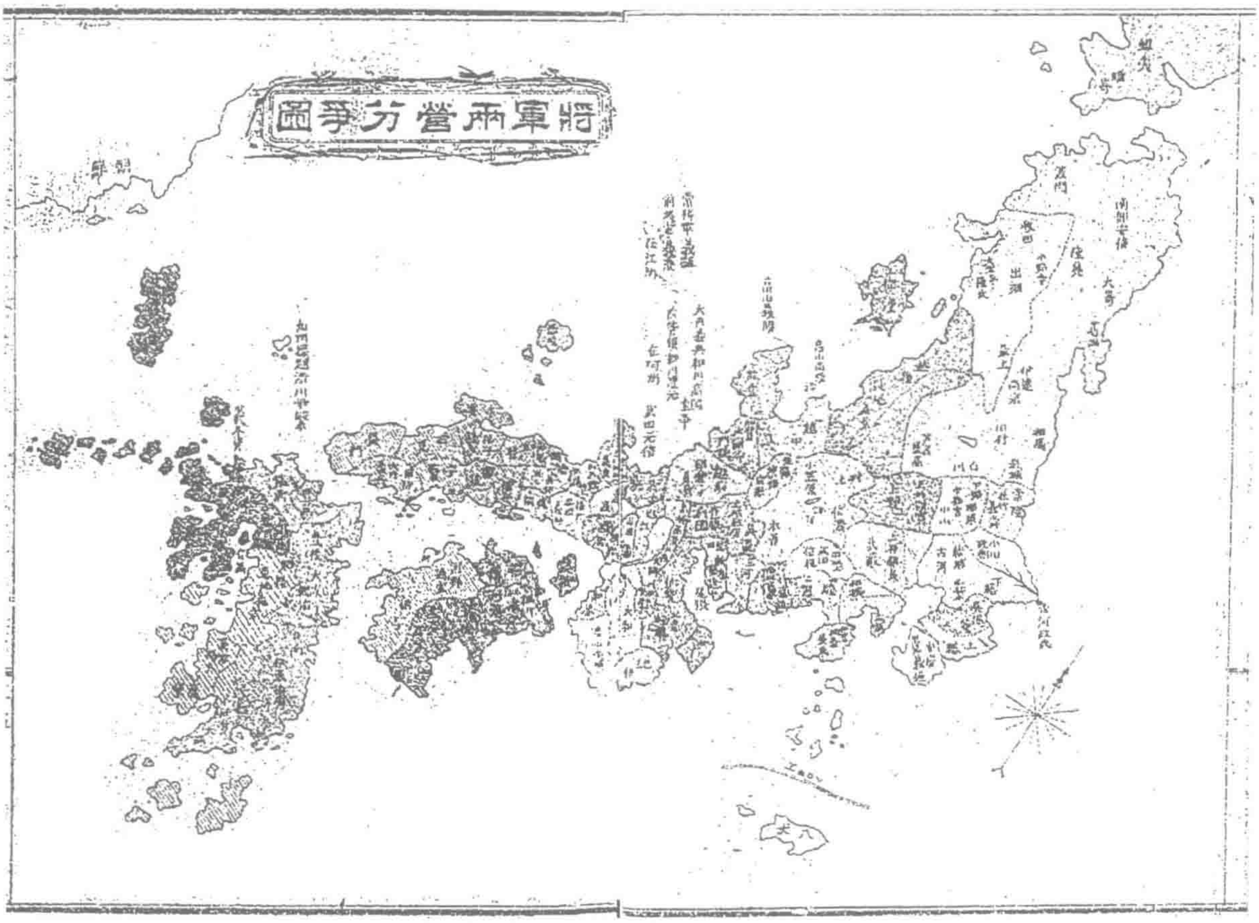
十一

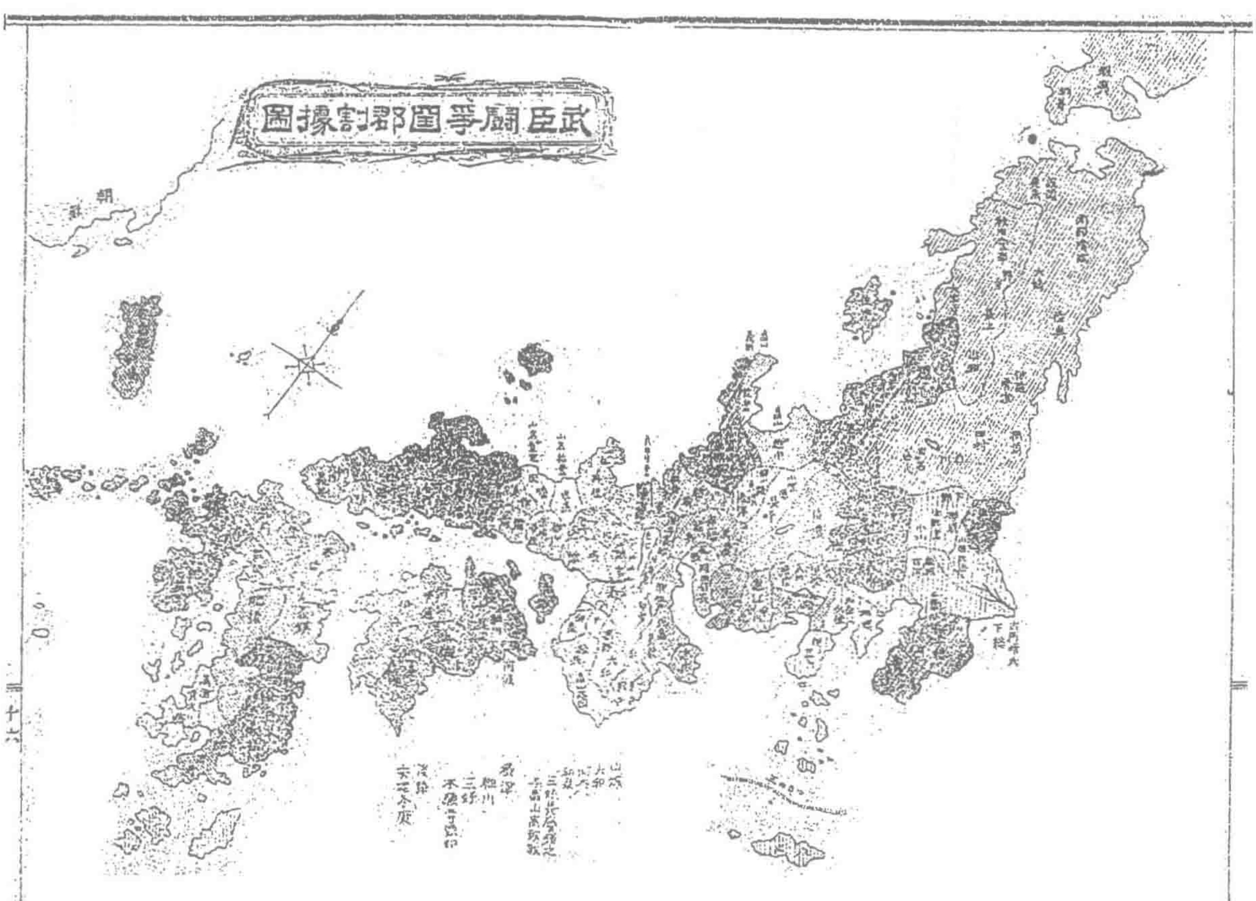


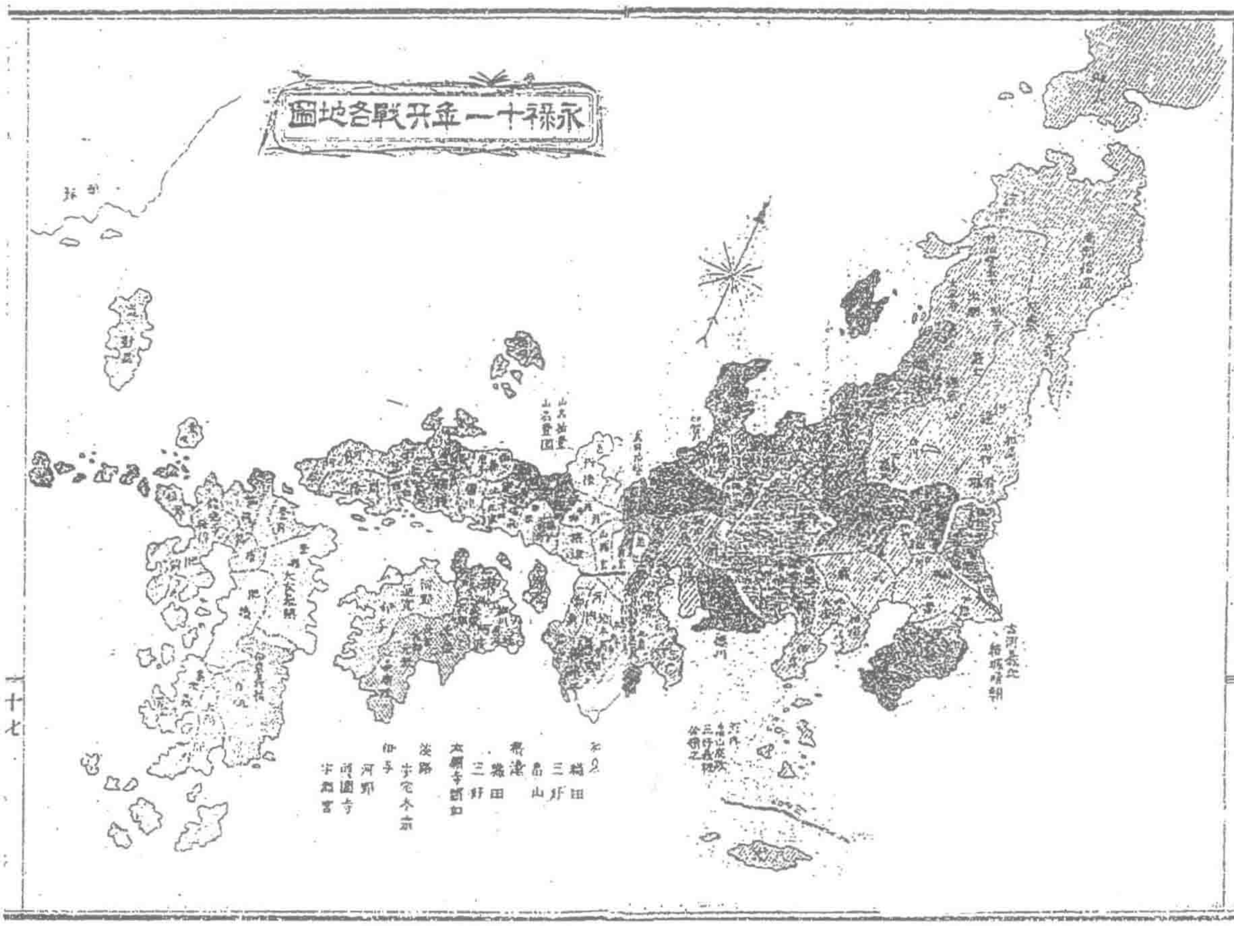
十二

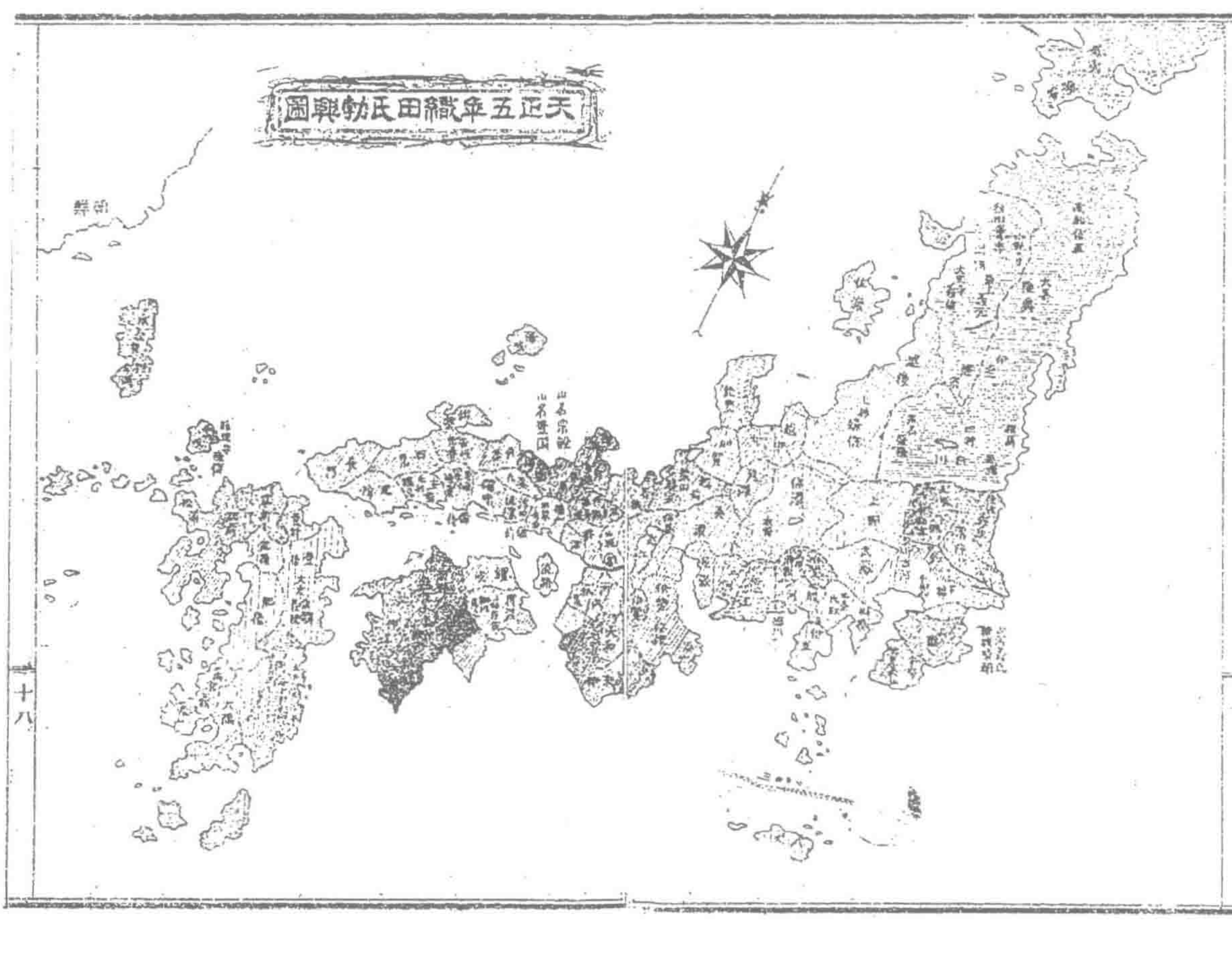

南北兩朝盛衰圖
十三

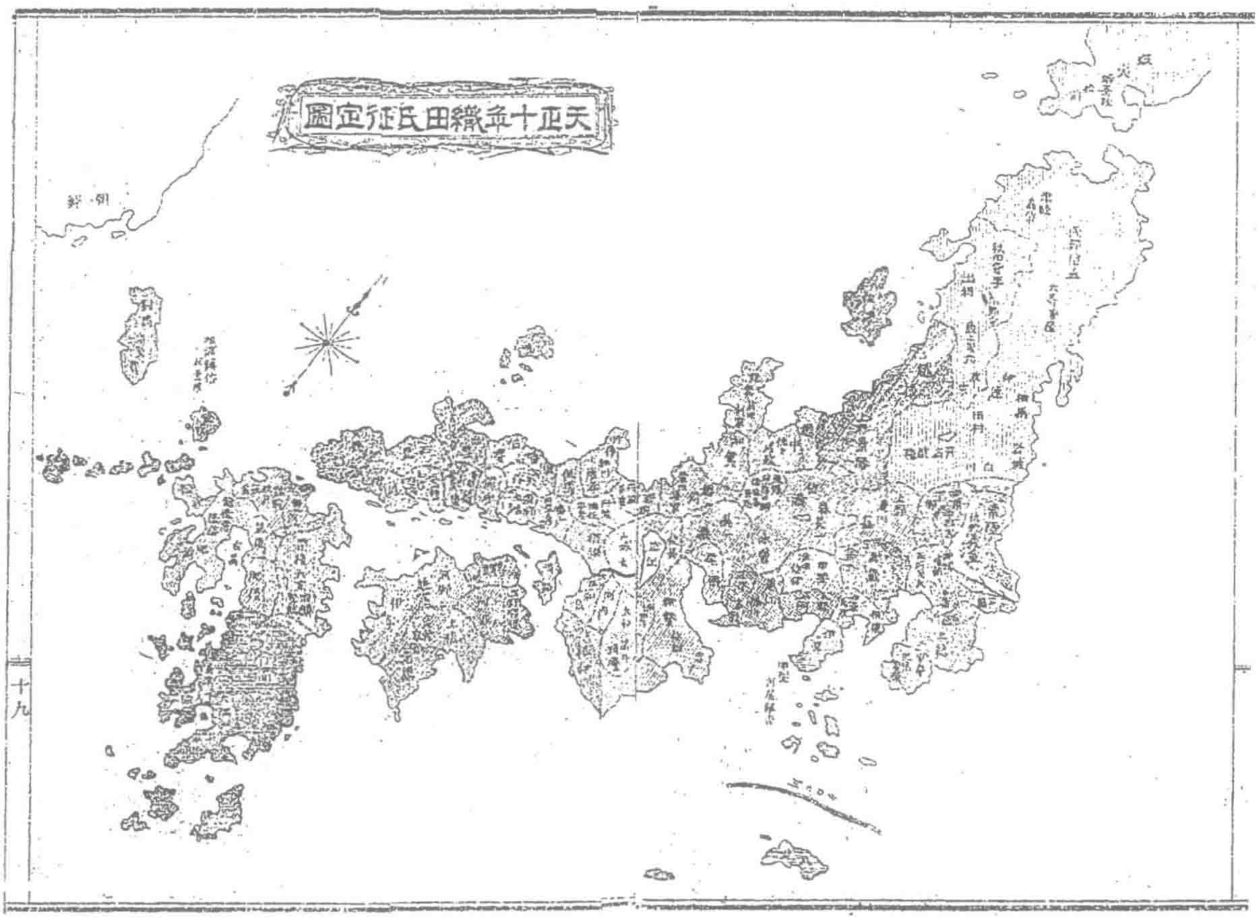

細川山名二氏分黨戰爭圖
十四

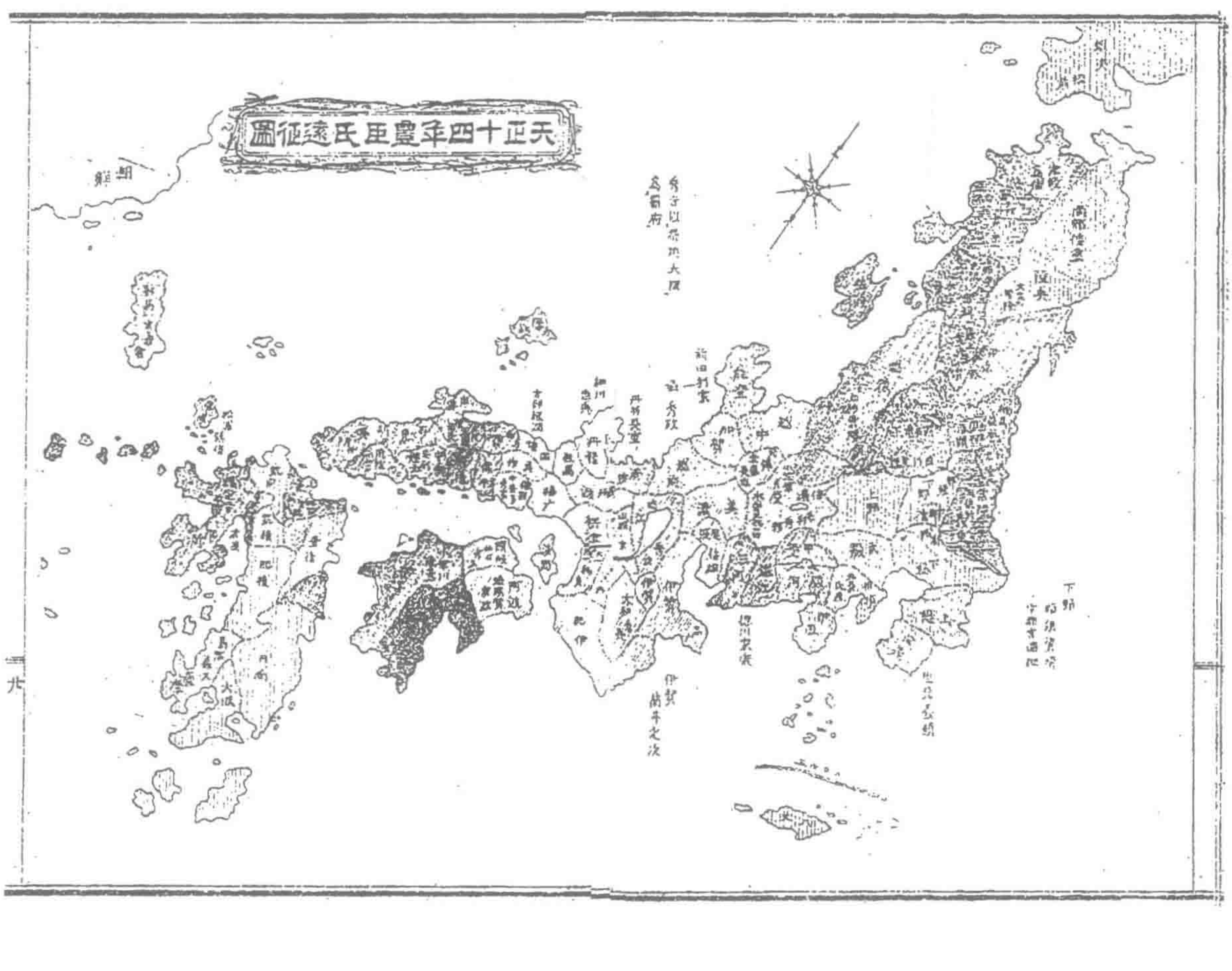

將軍兩營分爭圖

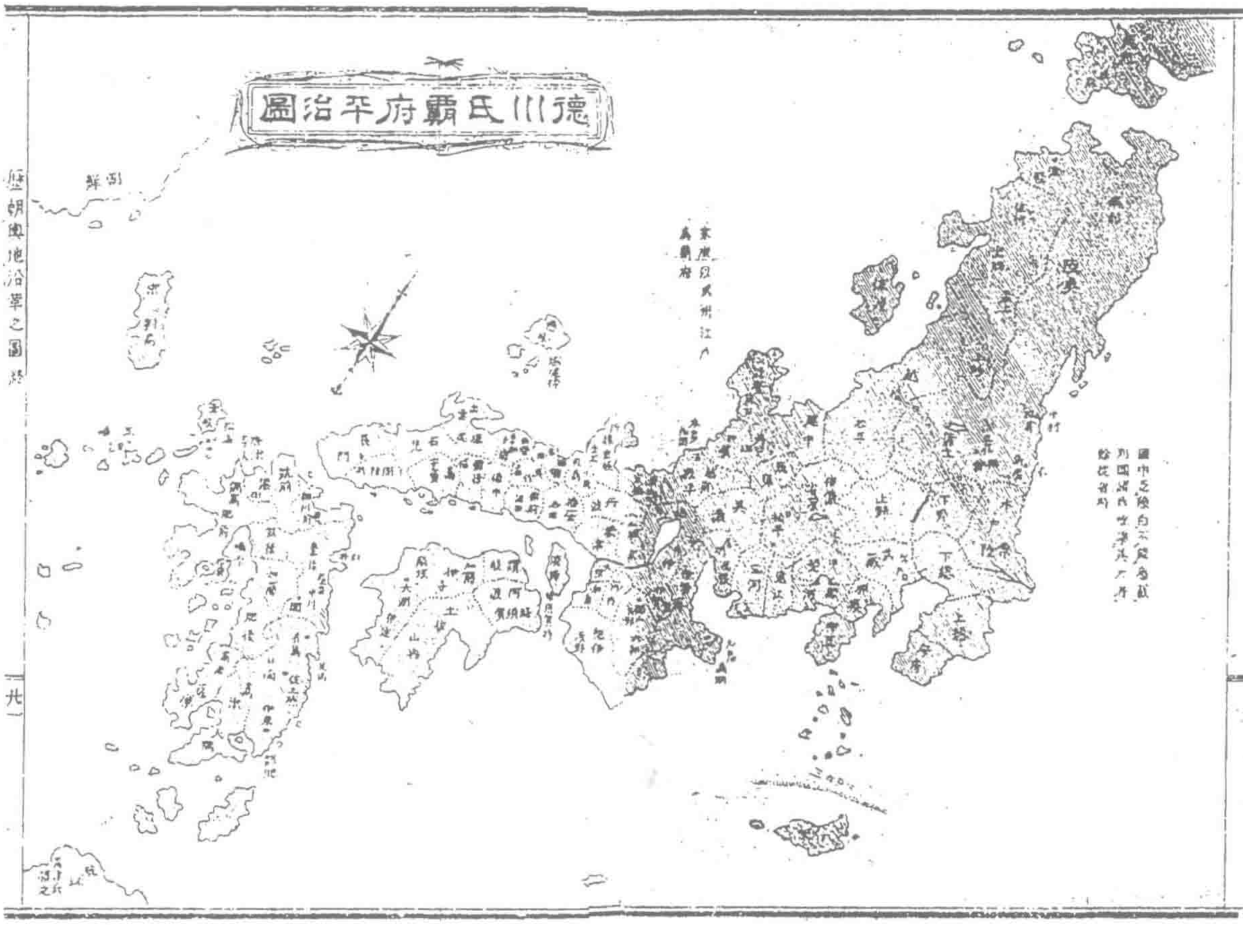

武臣鬪爭國郡割據圖


永祿十一年兵戰各地圖
十七


天正五年織田氏勢輿圖
十八


天正十年織田氏征定圖


天正十四年豐臣氏遠征圖


德川氏霸府平治圖

明治廿五年八月三十日印刷
同　年九月三日出版
大阪市南區長堀橋筋一丁目五番邸
著作兼發行者　伊澤駒吉
大阪市東區南久太郎町二丁目四十七番邸
印刷者　齋藤萬次郎

欽英堂藏板最近發兌略書目

大阪市心齋橋筋順慶町北へ入　此村庄助

日本政記纂語字類　多田直勝著　全三冊
國史略纂語字類　白井秀達編輯　全三冊
十八史略纂語字類　久留間與三編輯　全四冊
刪定近古史談字類　酒井門次郎著　全一冊
近世名家小品文鈔字解　伊良子清洲著　全一冊
明治新刻萬通字林玉編　藤田善平著　全一冊
いろは數引萬通早引大全　伊沢孝雄編　全一冊

無雙字林大增補活益會玉編　伊沢孝雄編輯　全一冊
作文活用實益字林玉編　北野善行編輯　全一冊
言文一致記事論說近體作文軌範　篠田正作著　全三冊
記事論說作文良材　伊沢孝雄著　全二冊
大日本新國民有益文章大全　福井淳編輯　全二冊
商業實益郵信用文　伊沢孝雄著　全一冊
詠和歌宇比麻奈飛　鈴木重胤大人著　合本全二冊

何田罷等　編

沿革考證日本讀史地圖

明治三十年（一八九七）東京富山房刻本

據明治三十年（一八九七）
東京富山房刻本影印

日本讀史地圖

凡例

一　歷史ハ一社會ノ變遷ヲ述ル者ニシテ時代先後ノ因果ヲ知ルト云フト雖當時ノ地理上ヨリ歷史事實ノ場所ヲ失念セハ、決シテ其眞相ヲ得ル能ハサルナリ、而テ此地理上ノ關係ヲ考究スルハ歷史地圖ヨリ善キハナシ、是レ獨リ地理上ヨリ歷史講究ヲ補フノミニアラス、又地理ヲ歷史上ヨリ講究スルノ幇助ヲ爲スコト多シ、近時此種ノ地圖二三種アリテ世ニ布クモ、未タ廣ク行ハレサルニ似タリ、今教育家ノ言ヲキクニ目下學校ニ於テ歷史教授ヲナスニ方リ善良ノ沿革地圖ナキノ故ヲ以テ、授業モ抽象的說話ニ流ルヽコト多シト云フ、是レ豈一大缺失ナラスヤ、予輩ノ斯ノ編述ヲ試ミタルハ此ニ慨スル所アレハ也

一　地圖ハ最簡明ヲ要ス、且本編ハ主トシテ歷史關係ノ地點ヲ示スモノナレハ、不必要ノモノ一切載セス、唯古今其名稱ヲ異ニシ若之ハ位置境界ノ變更アルモノハ異色ヲ以テ參考地名ヲ記セリ、又講究ニ便センカ爲メ、圖說ヲ附シテ別冊ヲ爲ス

一　本編ハ中學科ノ課程以下ヲ標準トシテ立案セリト雖、間々詳細ニ涉ルモノアリ、是レ兼テ一般ノ讀史研究ノ用ニ供セント欲シタレハ也

明治三十年二月

編者識

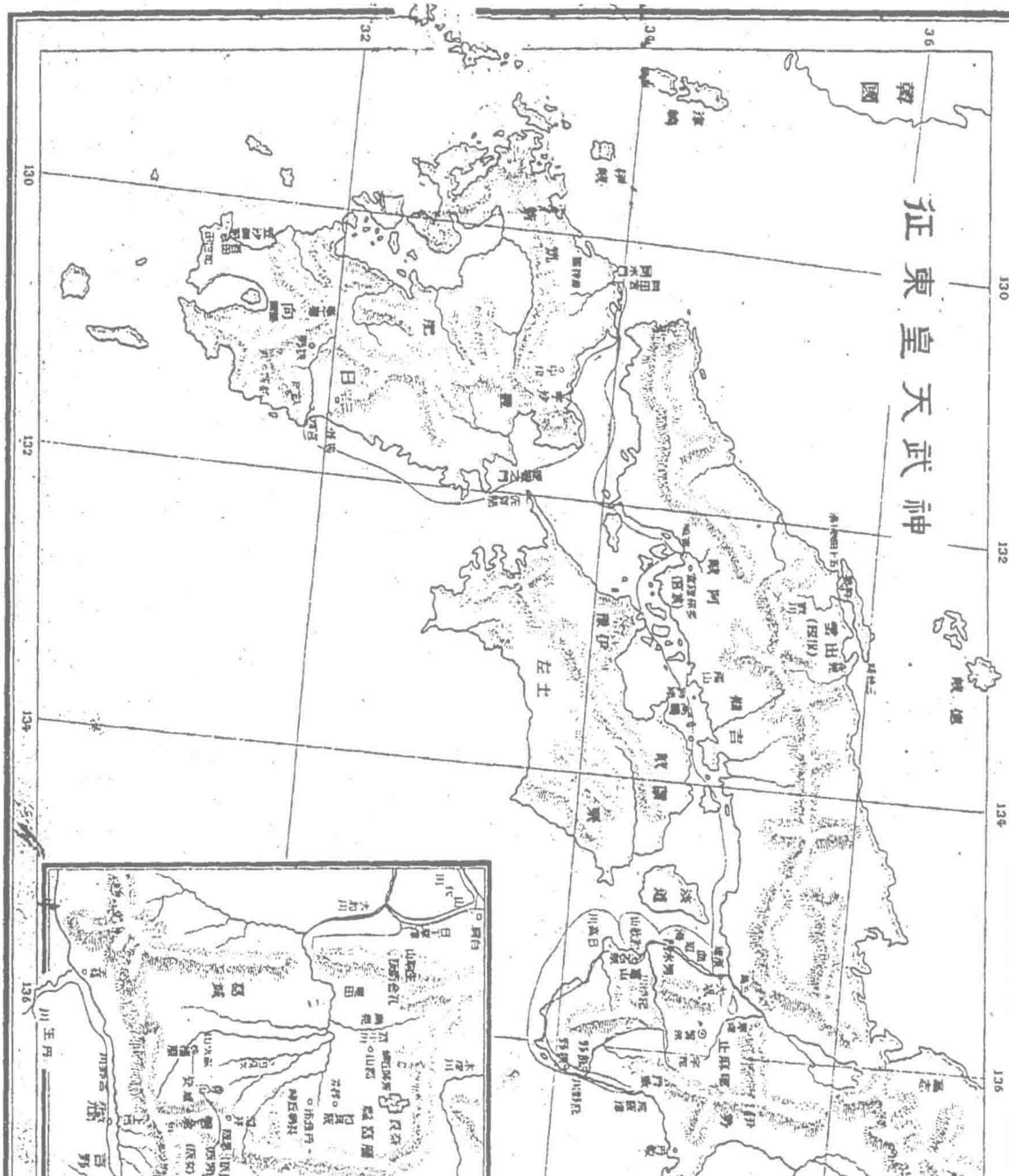
目次

日本讀史地圖敘

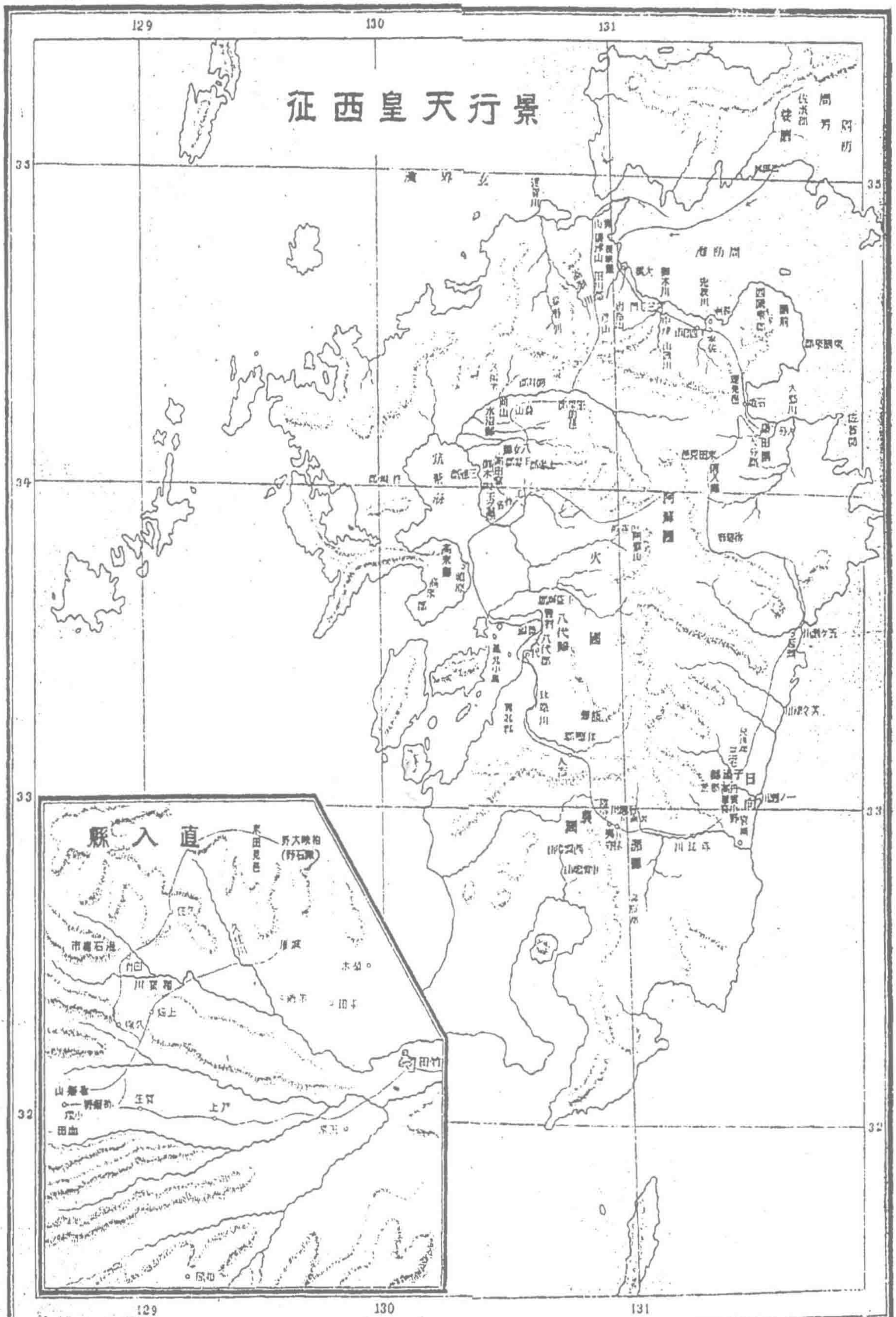
予之在史館也。命搜訪古文書於諸州。行之所至。通邑大都。必覽政俗教化之臧否。村市江津。則考風土物產之同異。名山巨川廢墟荒丘。必想封域關劃之迹。豪傑攻守之地。亡亡之蔓草寒烟。昔日之關塞郭郛也。亡之傳電信通汽船矣。昔日之邑壤偏陬也。今之鐵道與馬鐵轢祭焉矣。昔日之崄隘要衝也。每覽盛衰變遷之相尋於無窮。未嘗不慨然興感。而思其所由也。於是求今地圖經之可以與史傳參稽者。而所謂沿革地圖之類。率粗笨杜撰。蔑一足觀者。又惜然自失者。因將修歷代地圖。以便讀史。而未果。會吉田東伍高橋健自河田羆詳考諸。作日本讀史地圖。來謁序。予喜其先獲我心也。急披覽之。上自　神武東征。下迄　今代征清。凡五十餘幀。援史傳。稽圖籍。括採致密。括古今。能舉其要領。翻覽之際。使予恍然追惟當日情況。世之讀史者。置諸座側。以資參照。其於究變遷沿革之故。瞭如列眉。伯陽父所云。不出戶知天下者也夫。

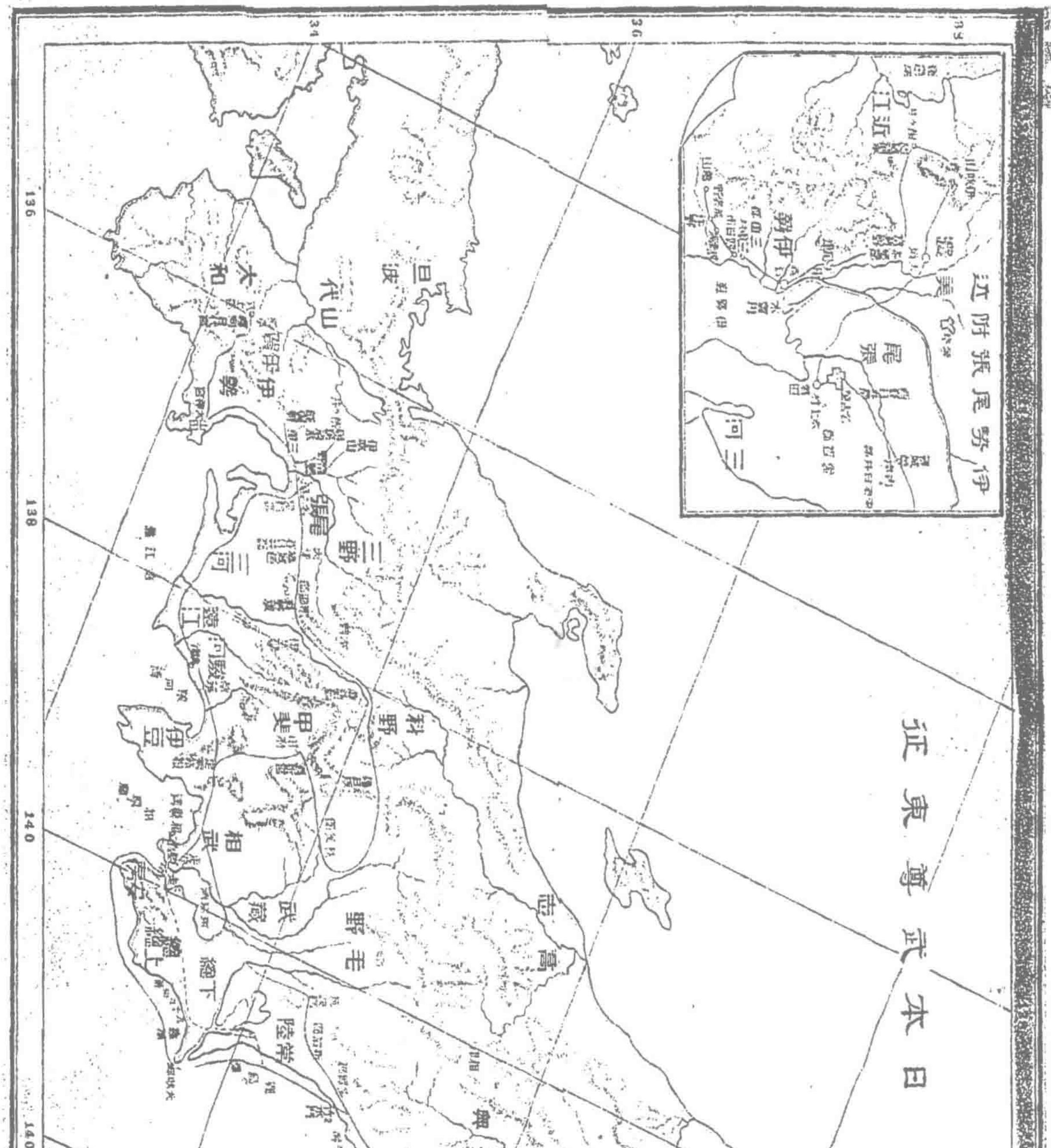
明治廿九年歲在丙申八月初吉

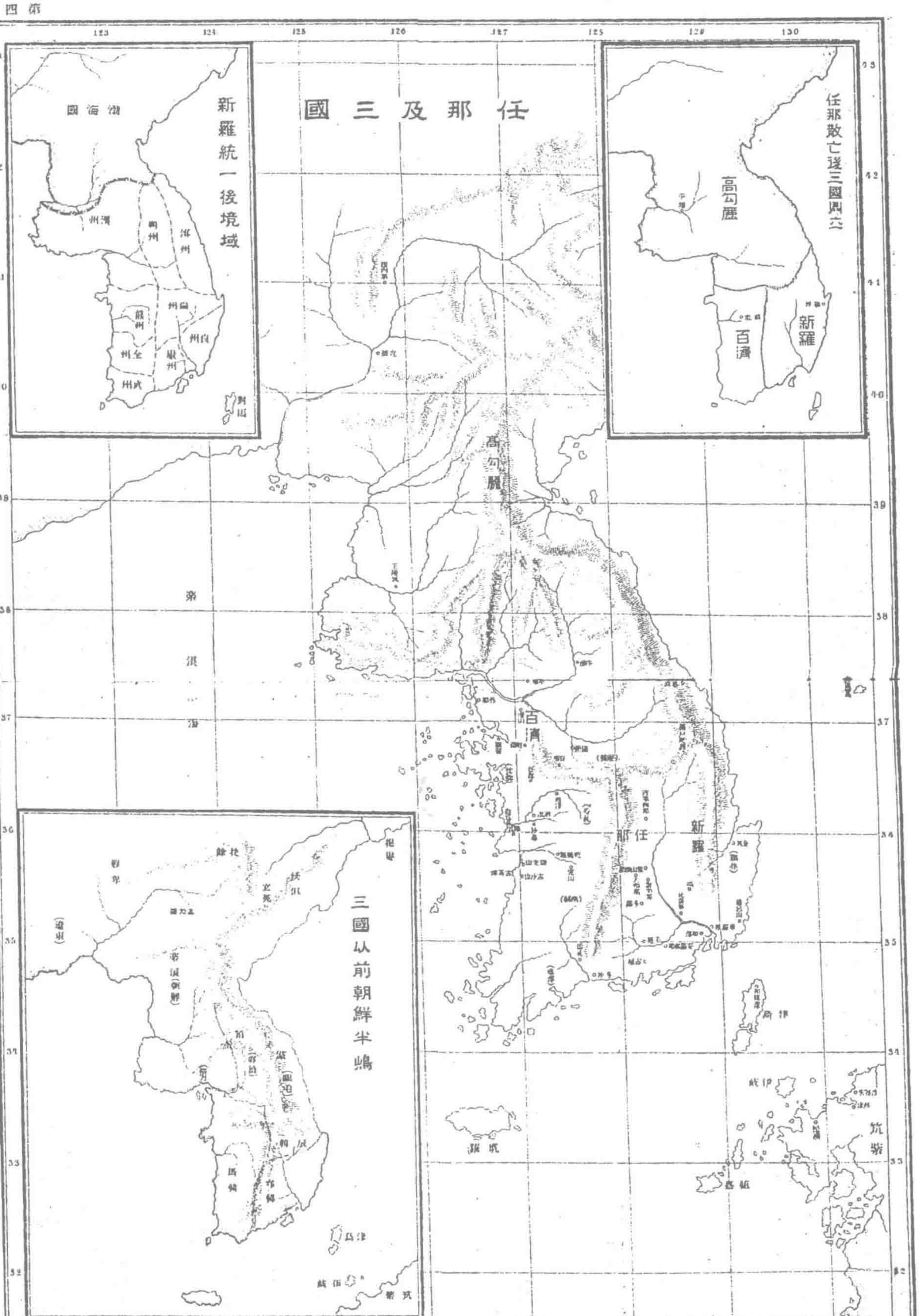
成齋老人重野安繹書

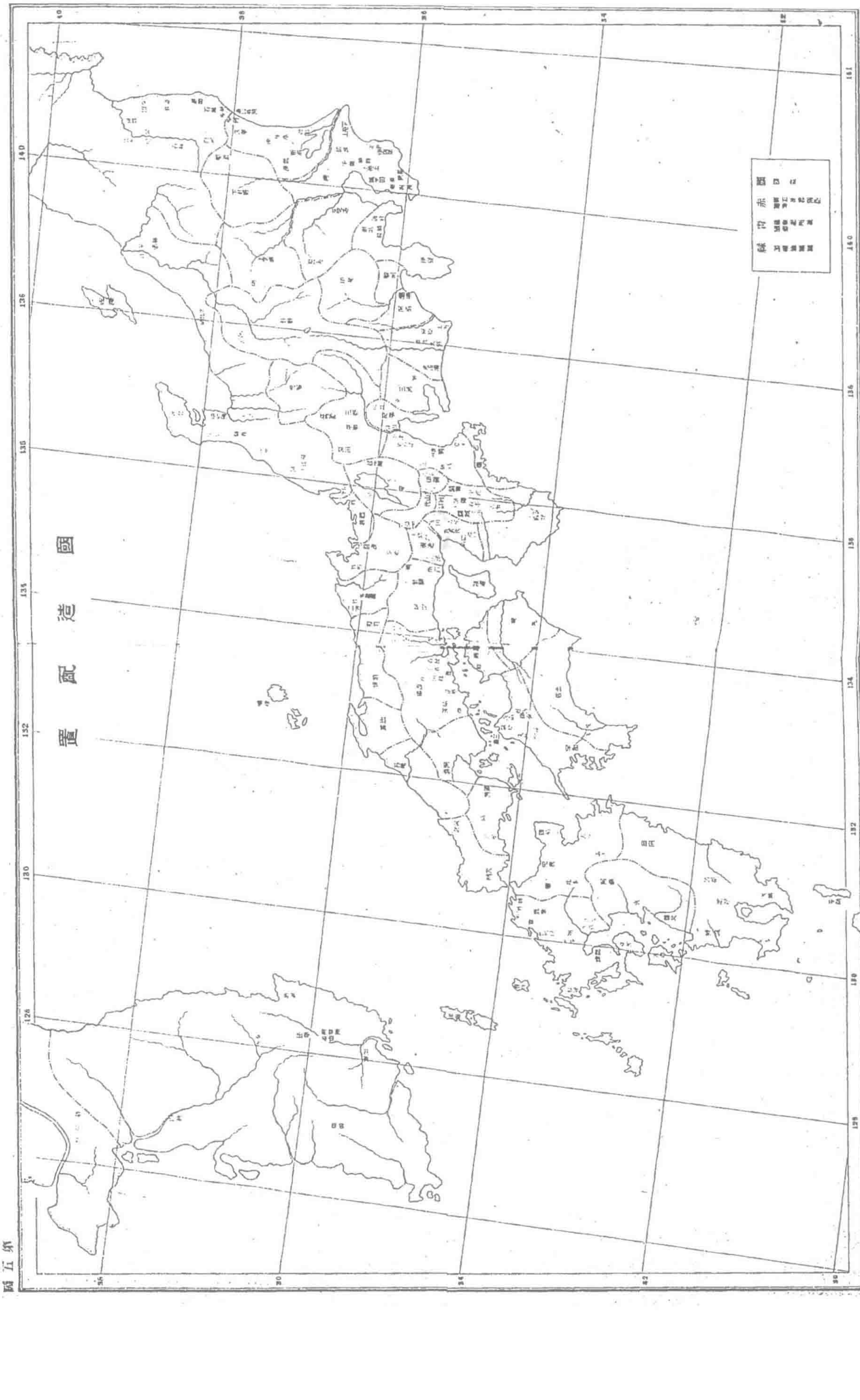

神武天皇東征
磐余附近

第貳圖

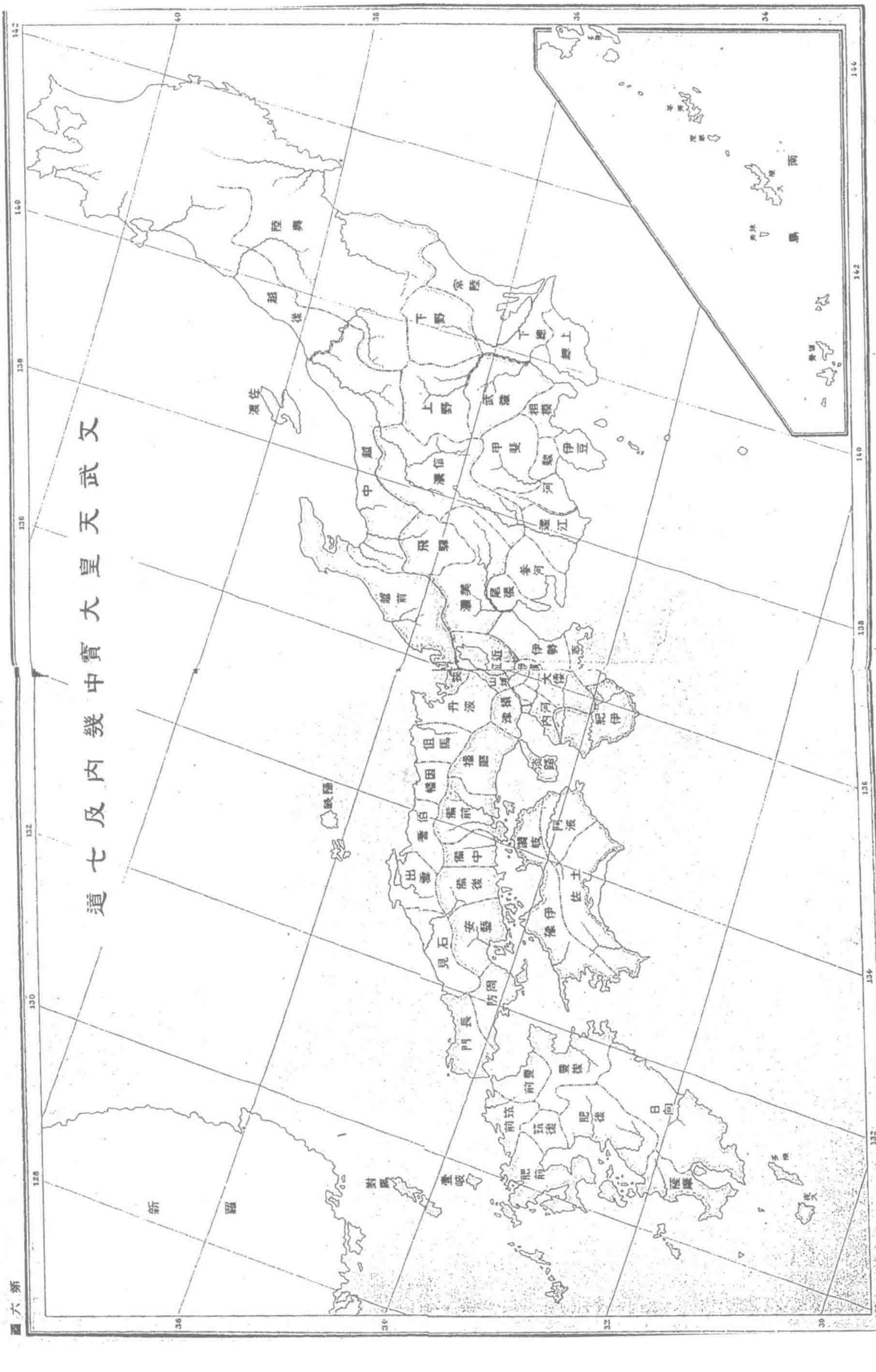


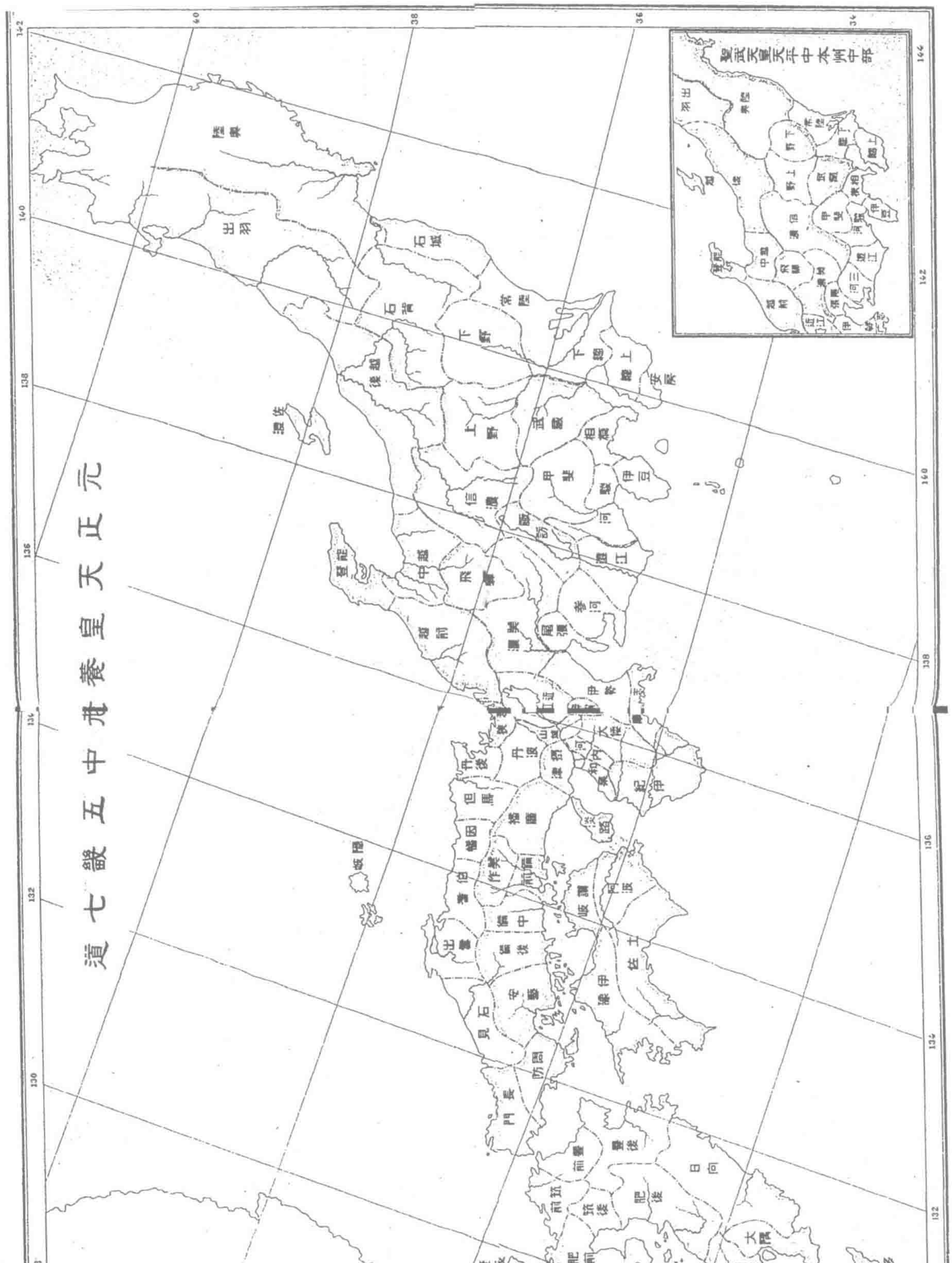

日本武尊東征
伊勢尾張附近


任那及三國
新羅統一後境域
渤海國
任那敗亡後三國鼎立
高句麗
百濟
新羅
三國以前朝鮮半島
高句麗
百濟
任那
新羅
對馬
壹岐
筑紫
耽羅

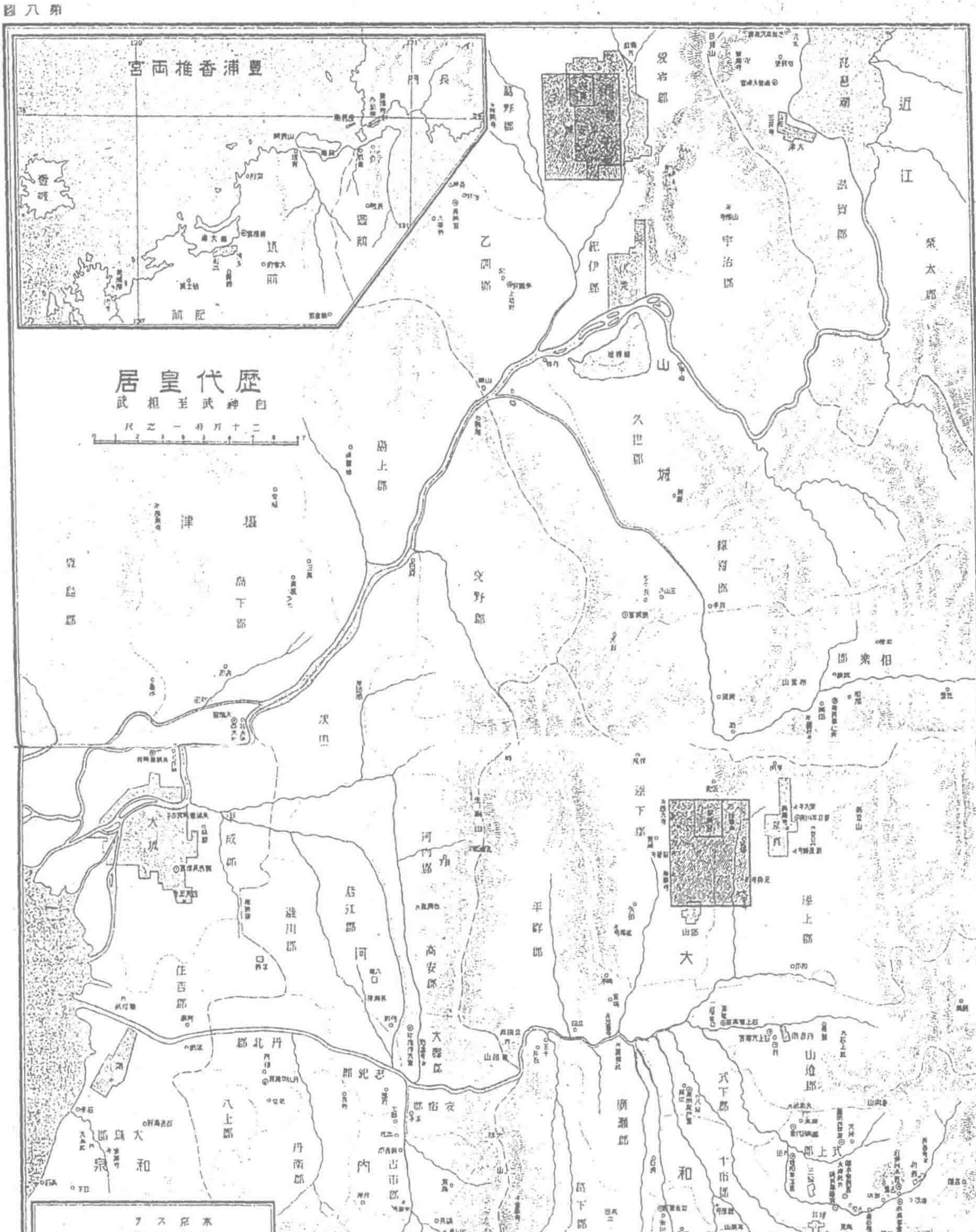


第五圖


文武天皇大寶中畿內及七道
第六圖
新羅
對馬
壹岐
隱岐
佐渡

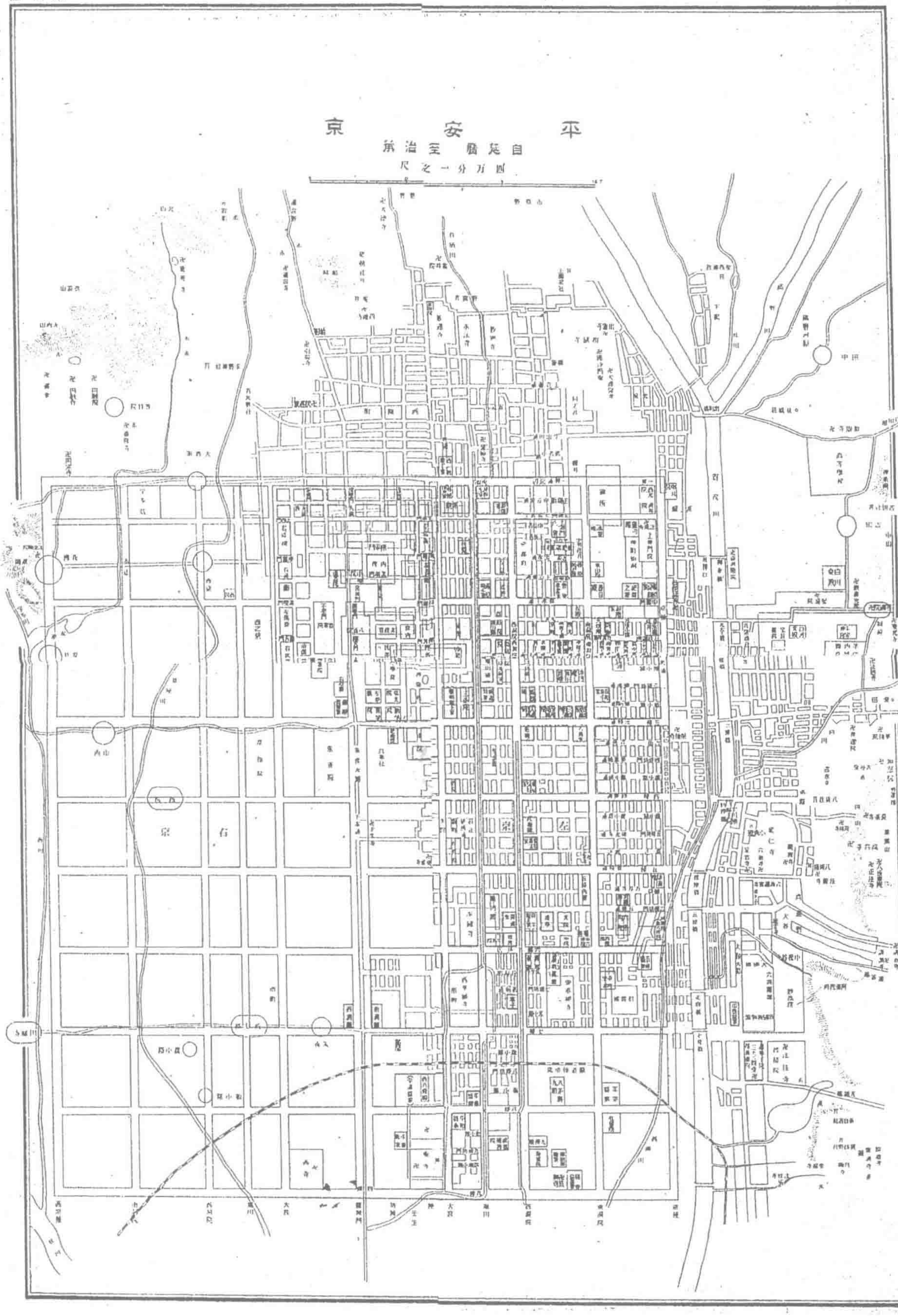


第七圖

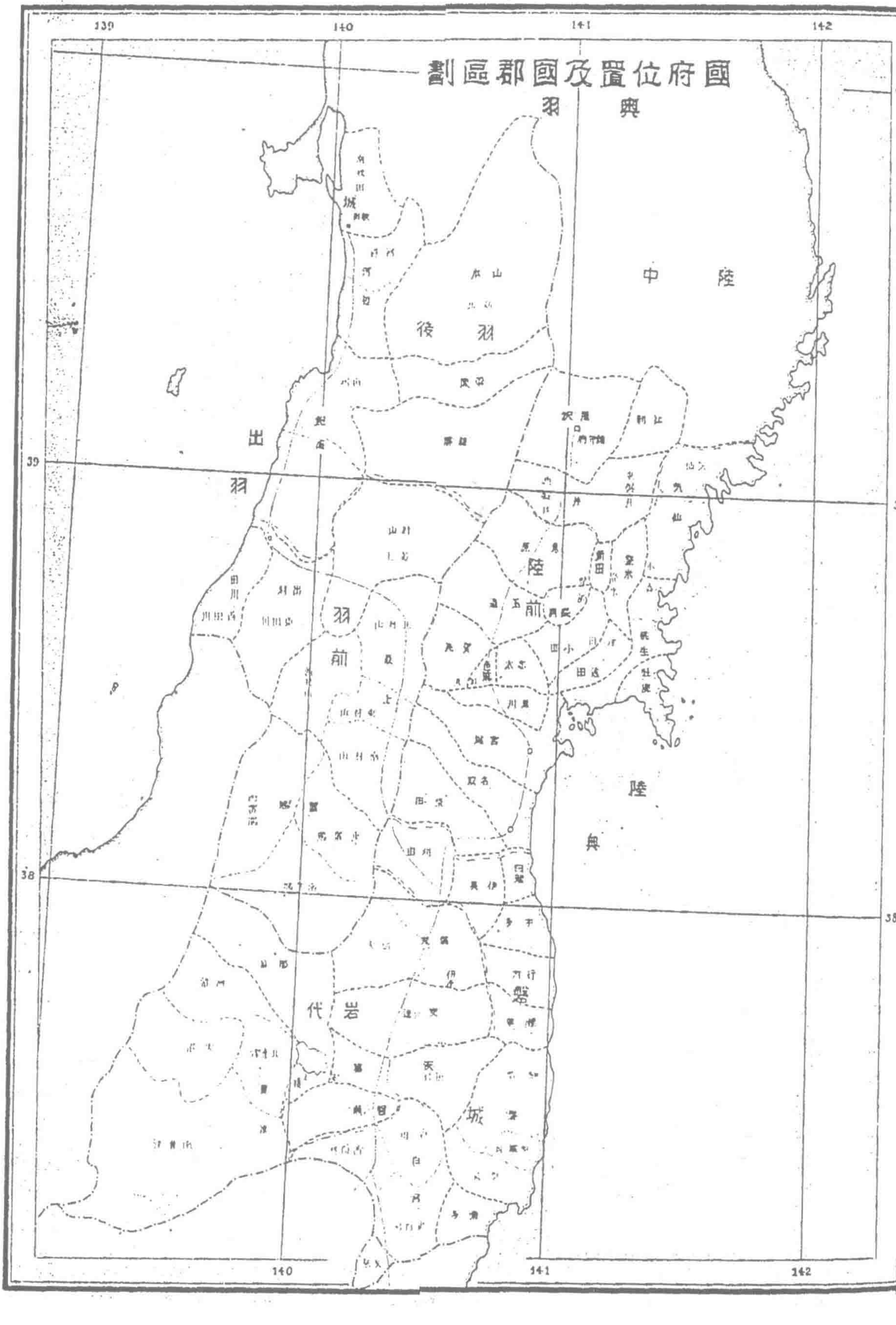

歷代皇居
豐浦香椎両宮
山城
攝津
河内
大和
和泉
近江
凡例

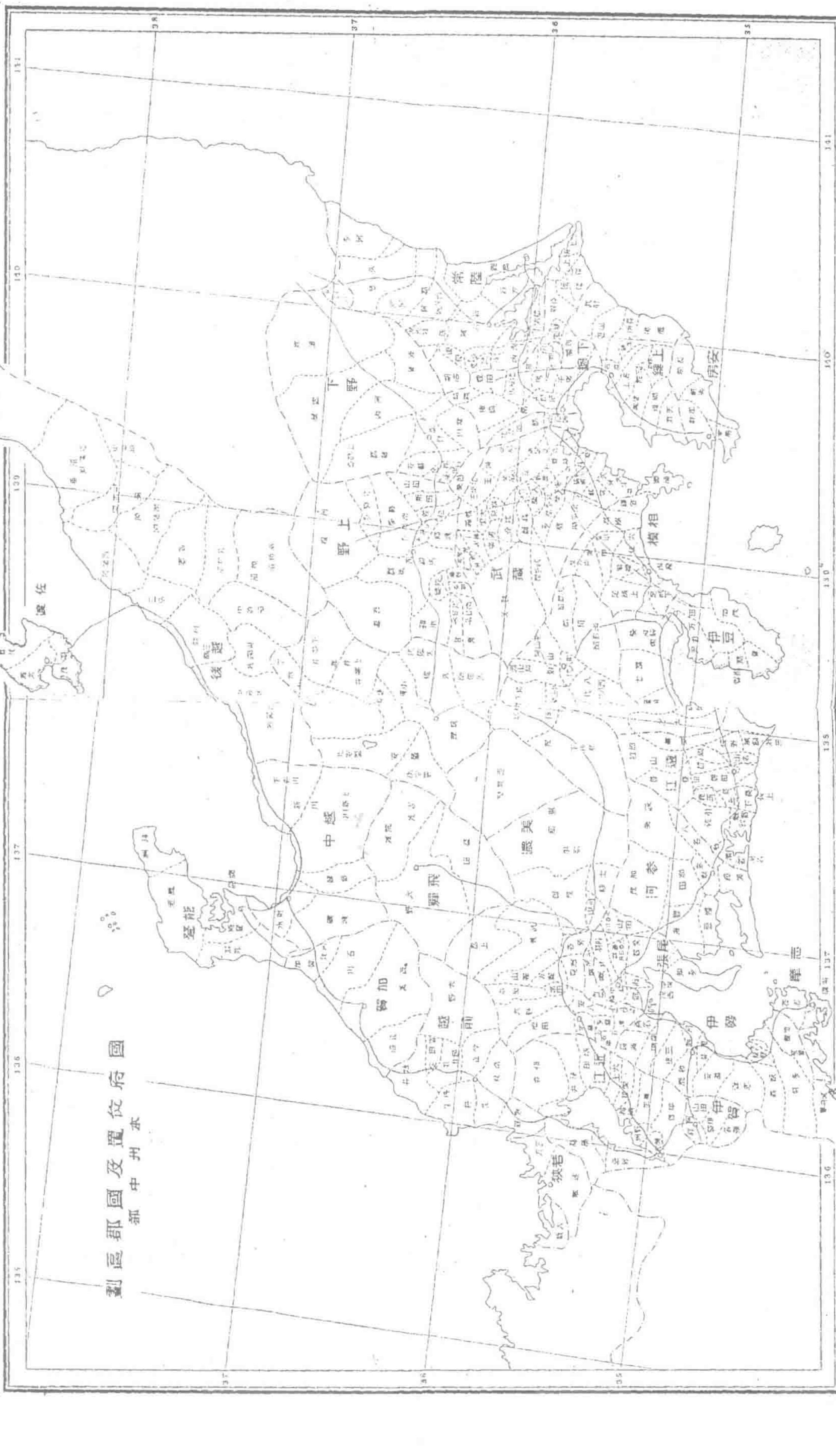
第九圖

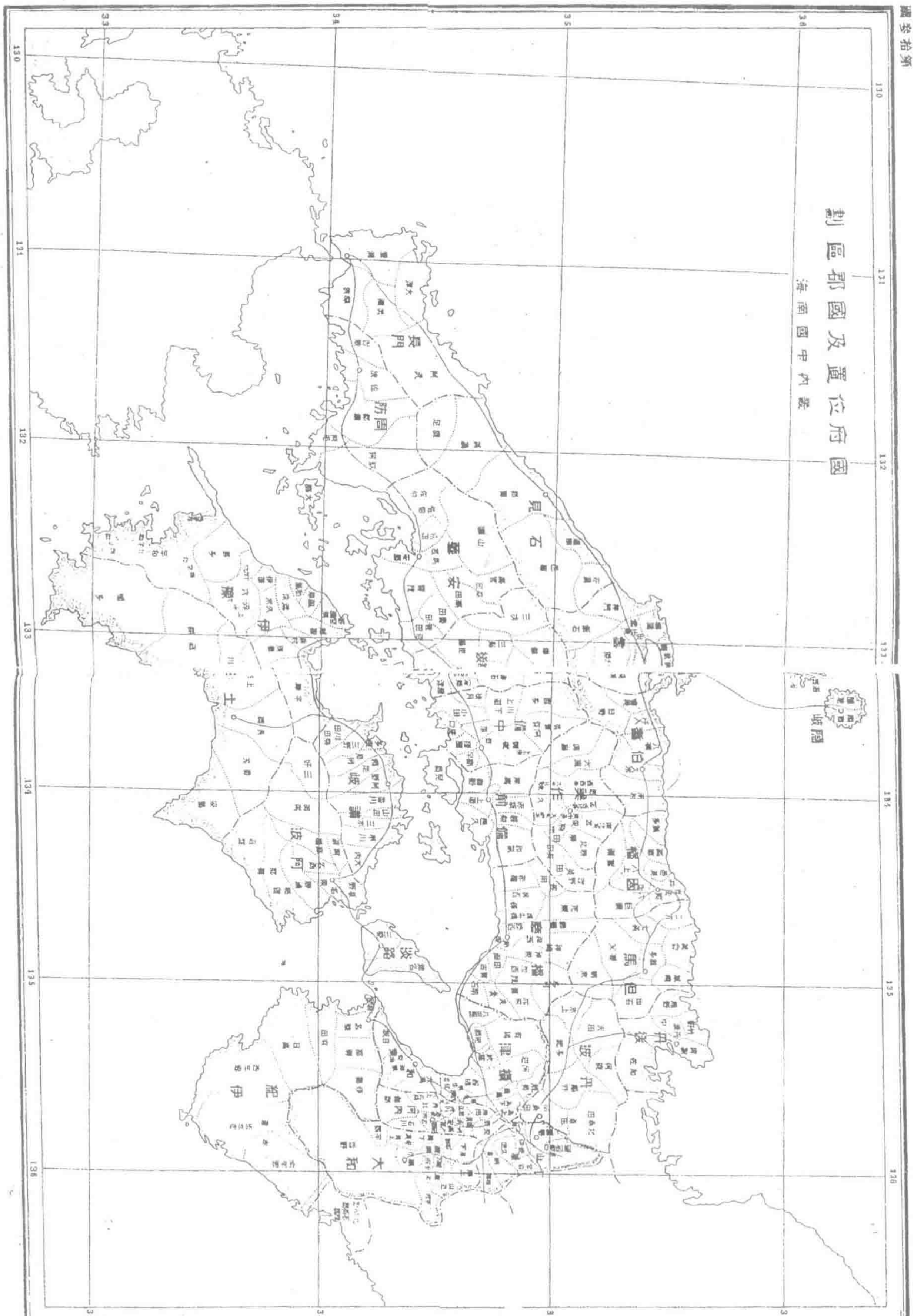



平安京
自延暦至治承
四万分一之尺

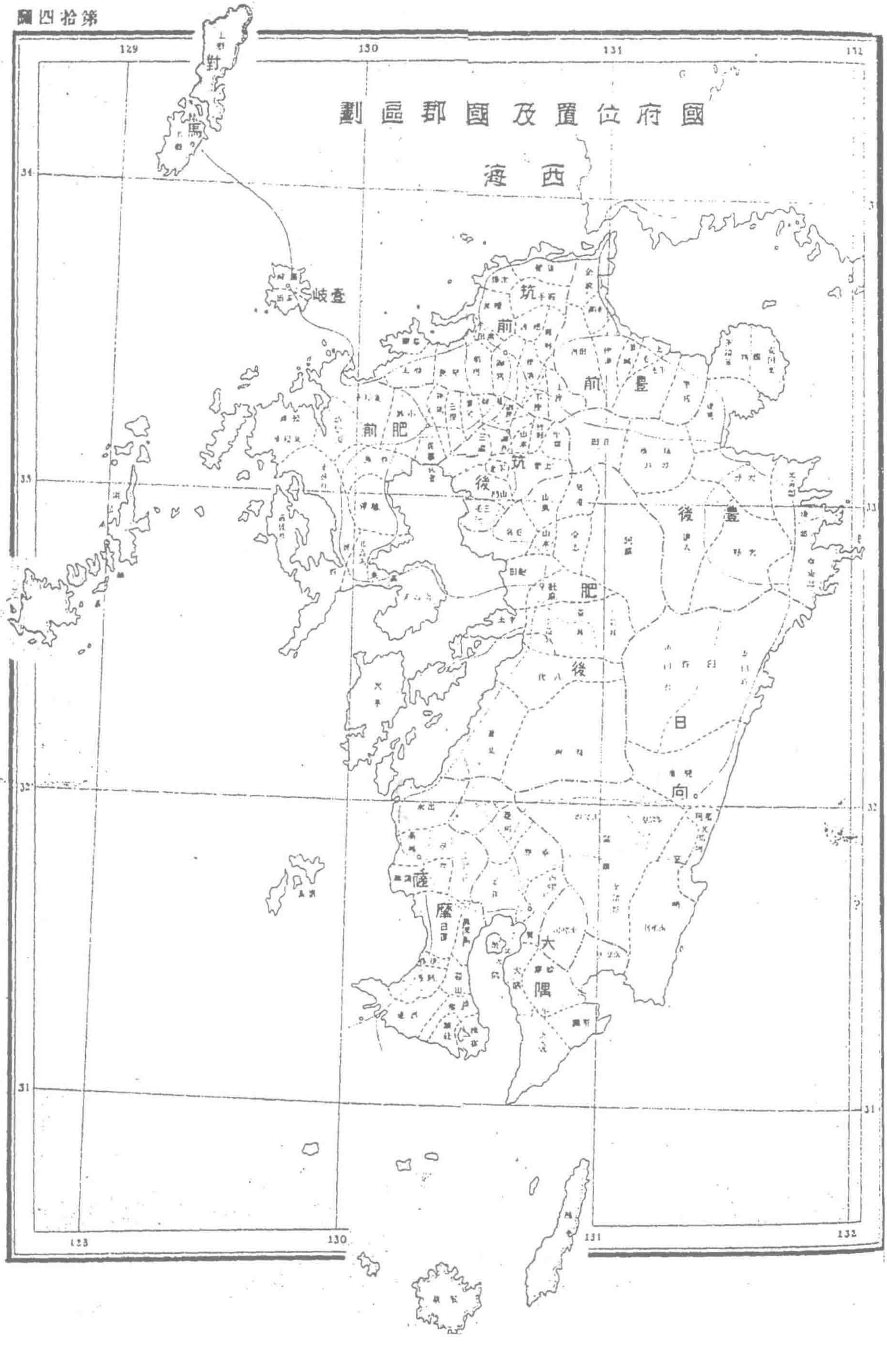
第拾壹圖



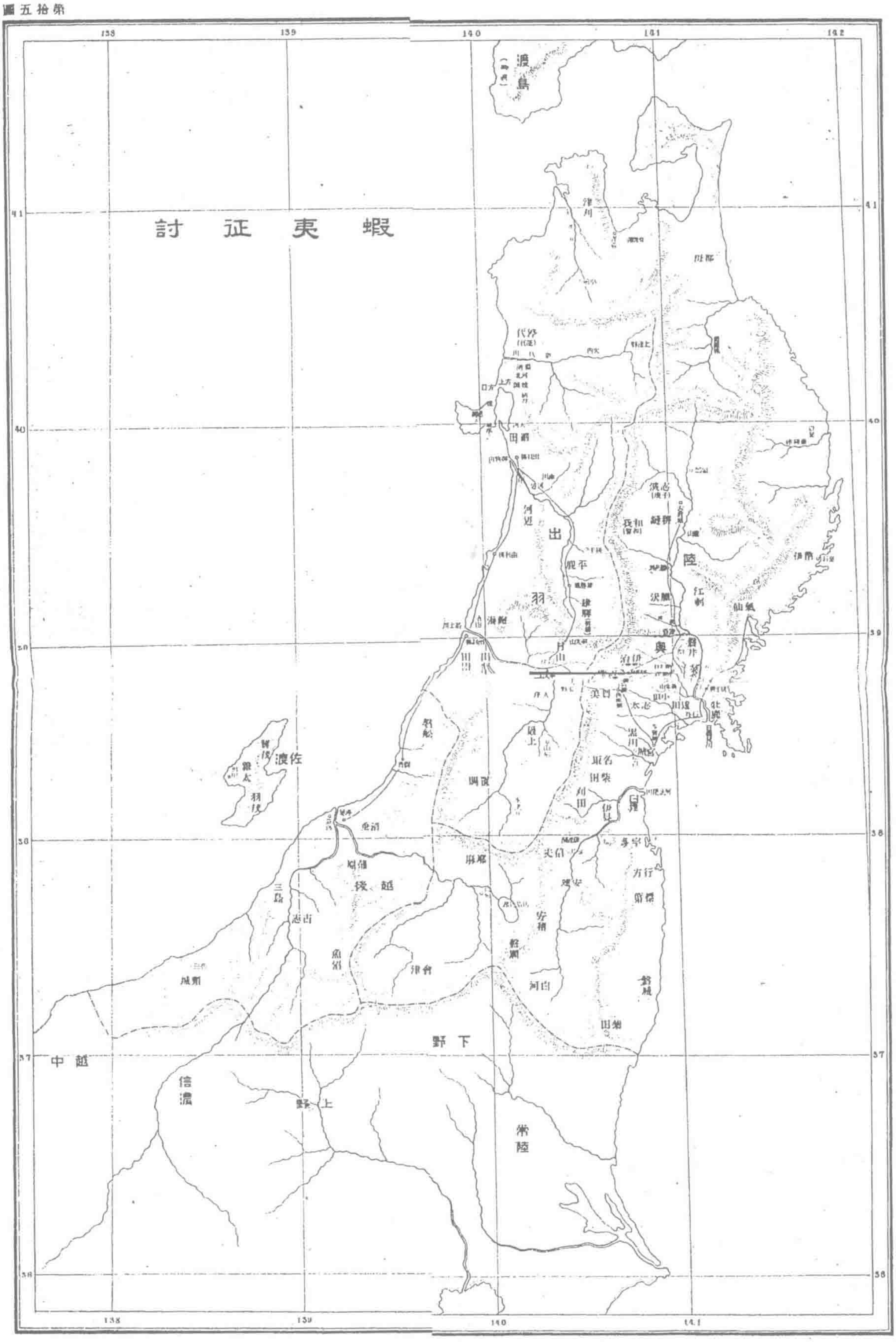

國府位置及國郡區劃
本州中部

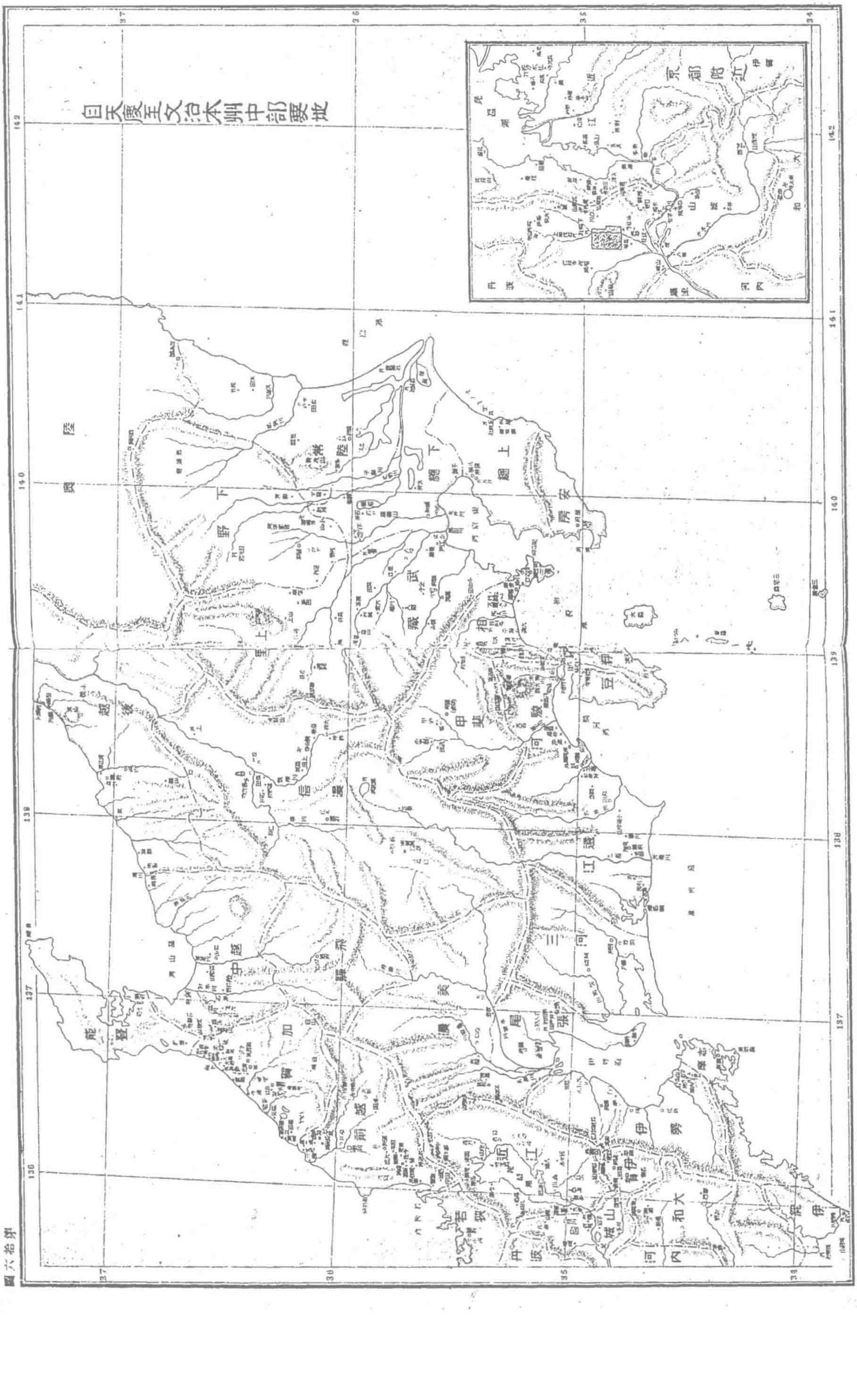

第拾參圖
國府位置及國郡區劃
畿內中國南海道

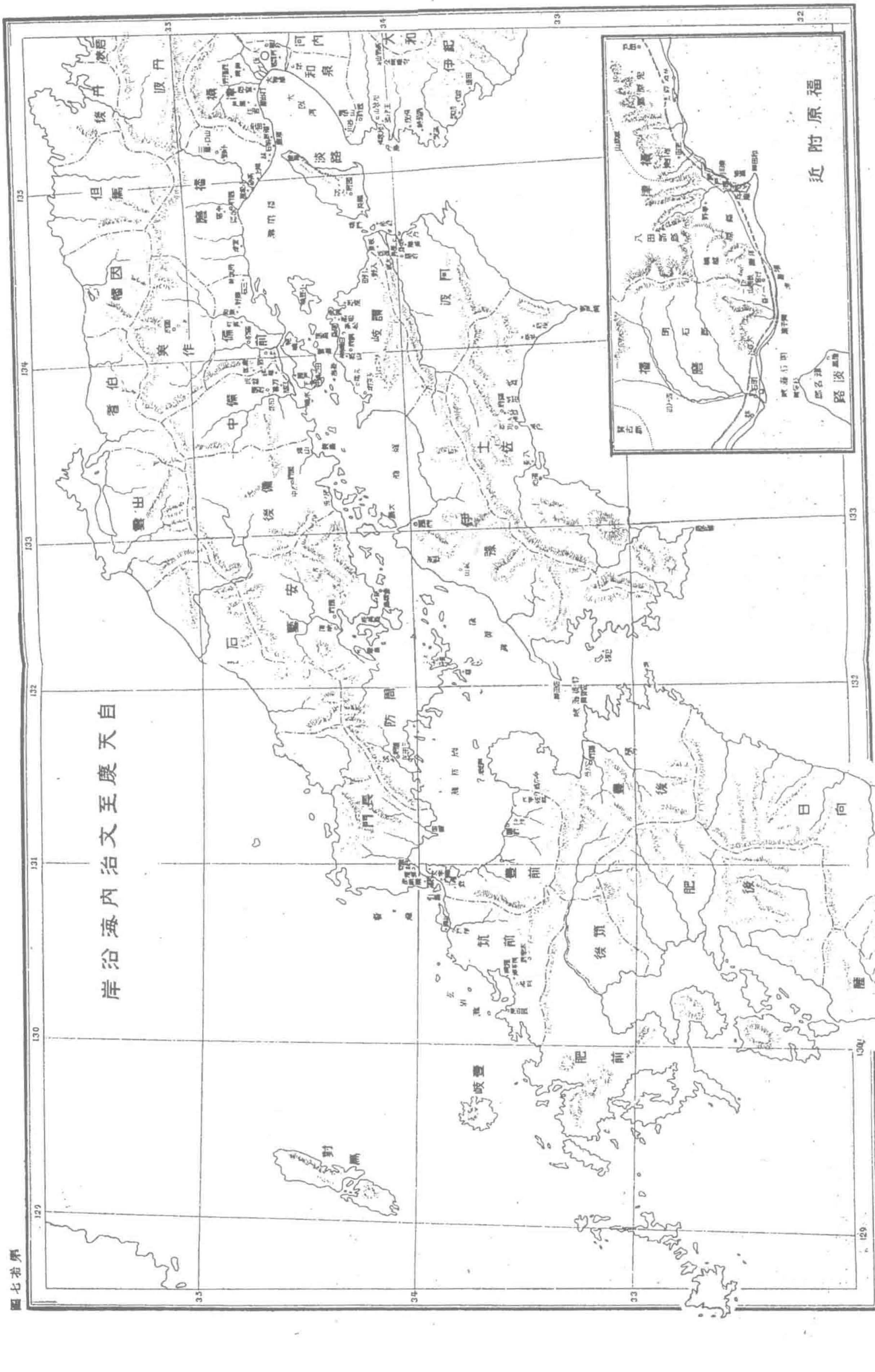
第拾四圖



國府位置及國郡區劃
西海
對馬
壹岐
筑前
豊前
肥前
筑後
豊後
肥後
日向
薩摩
大隅
129
130
131
132
34
33
32
31

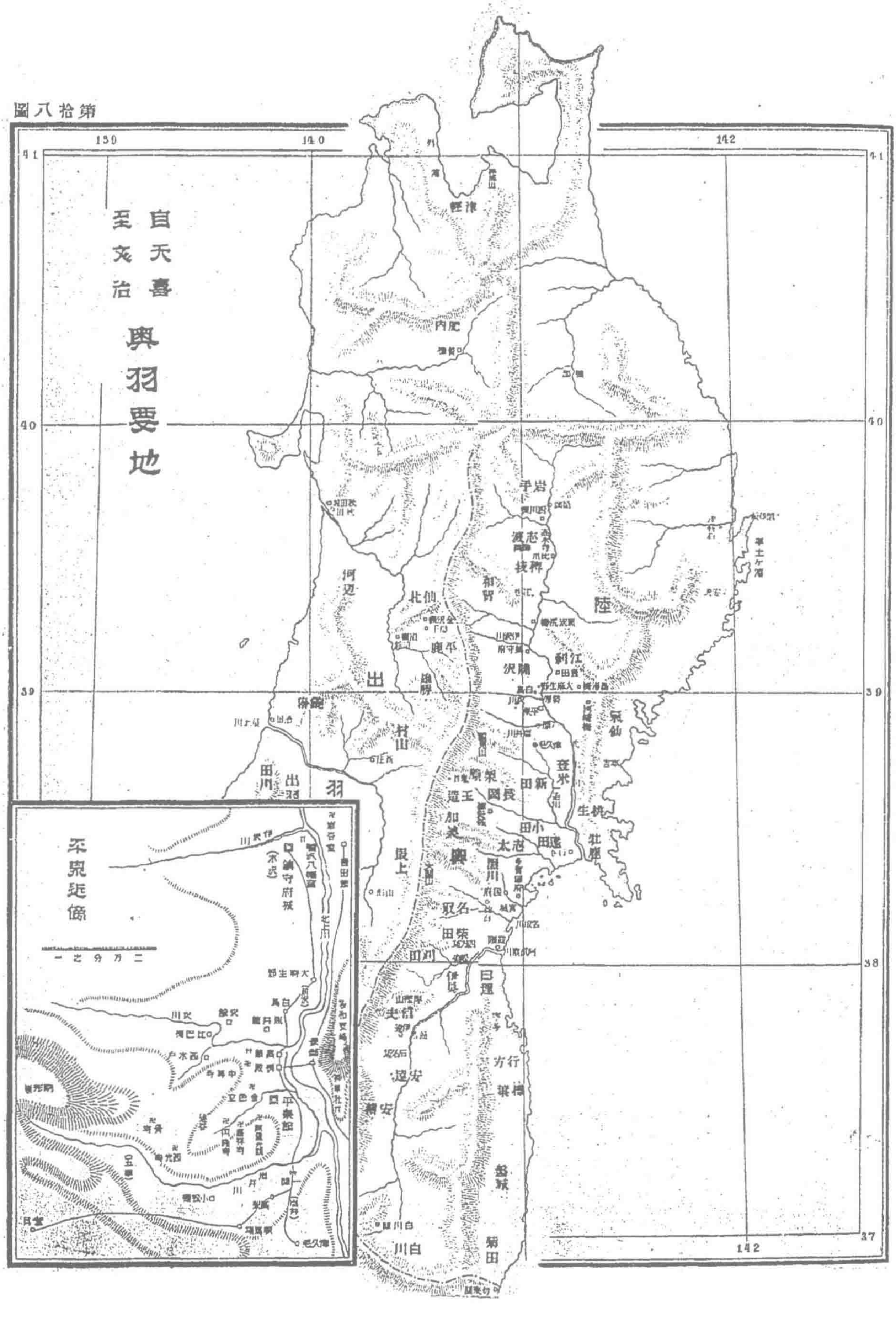

蝦夷征討
渡島
出羽
陸奥
佐渡
越後
下野
上野
常陸
信濃
越中

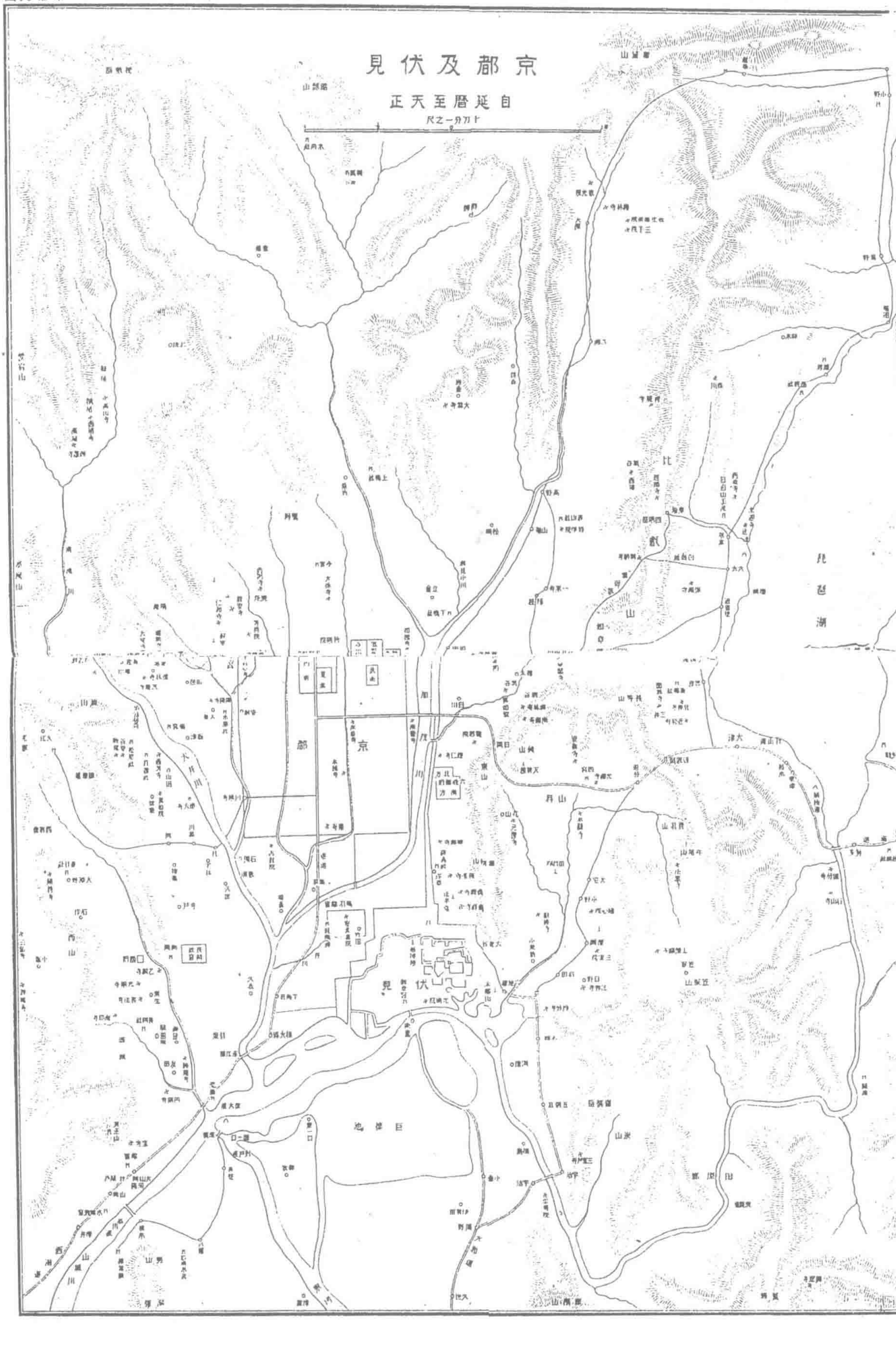


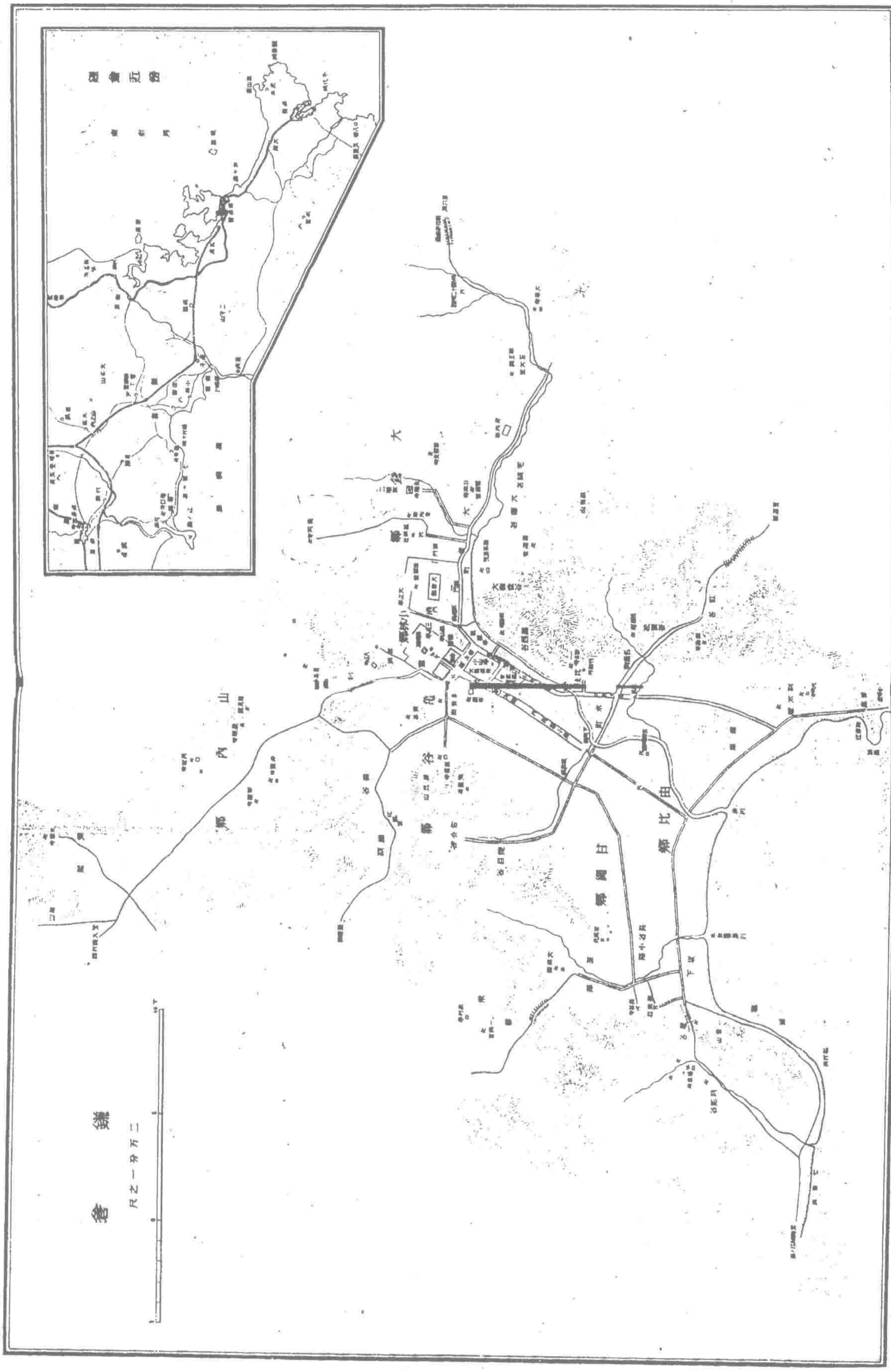


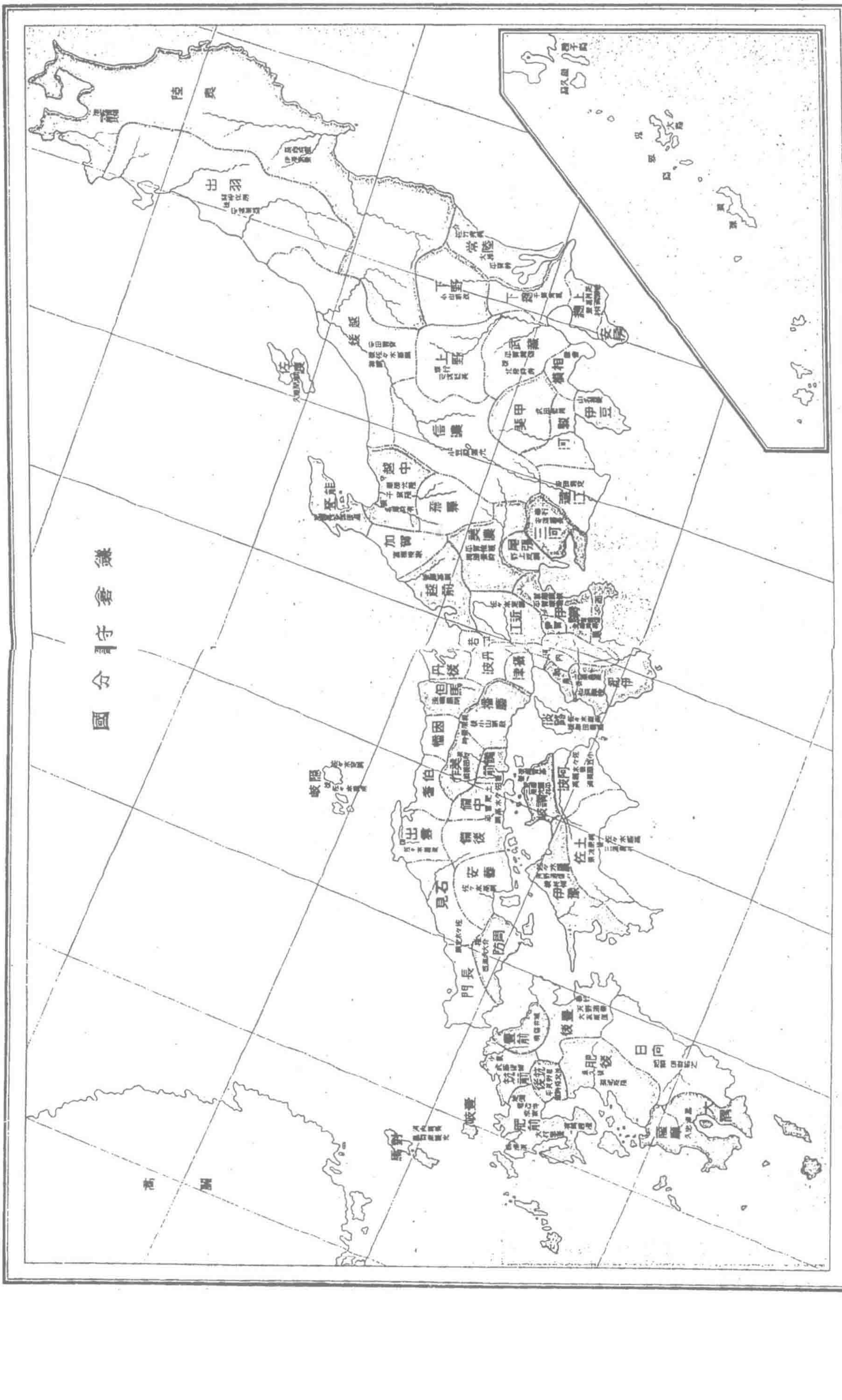
第卅七圖

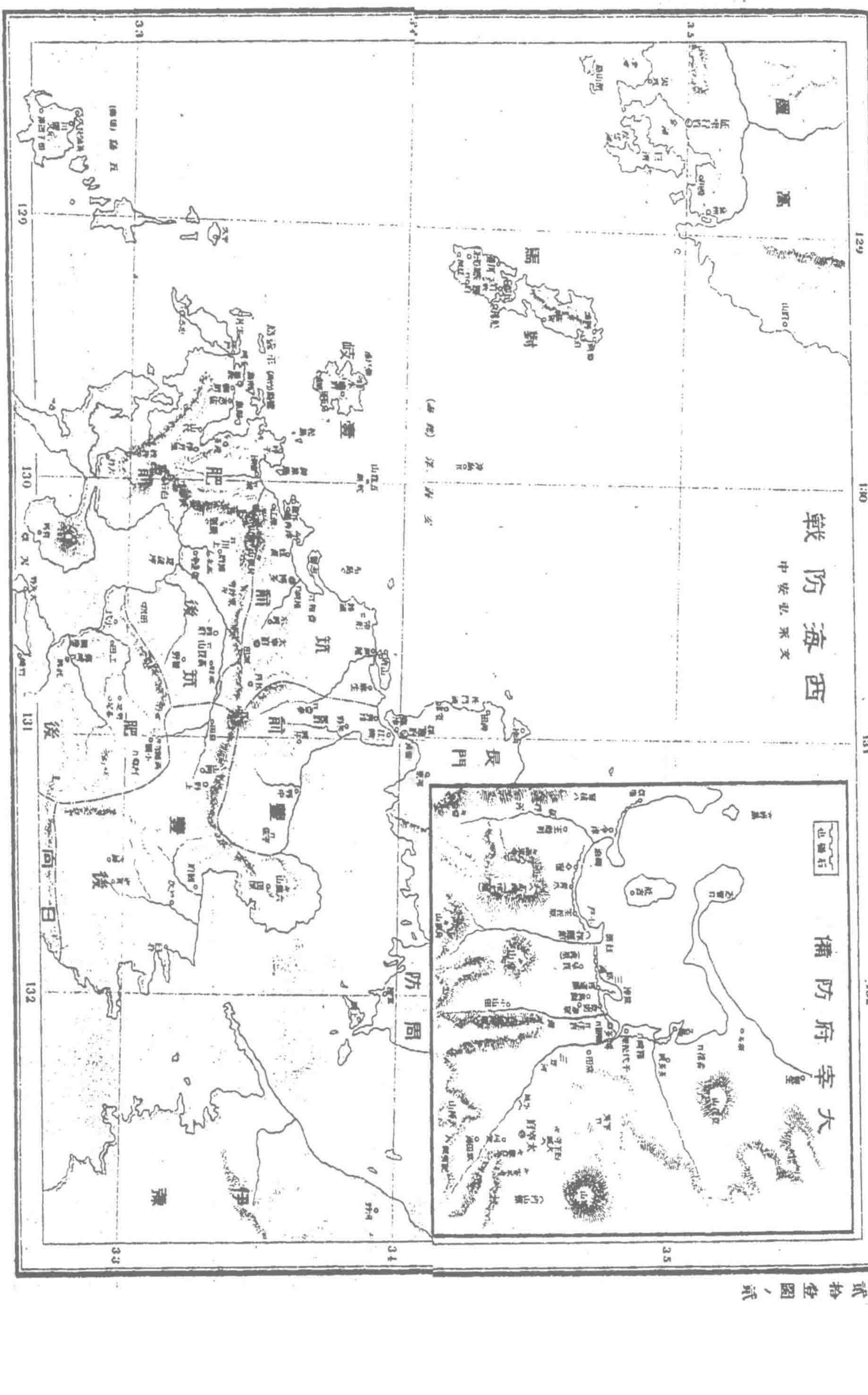
第拾八圖



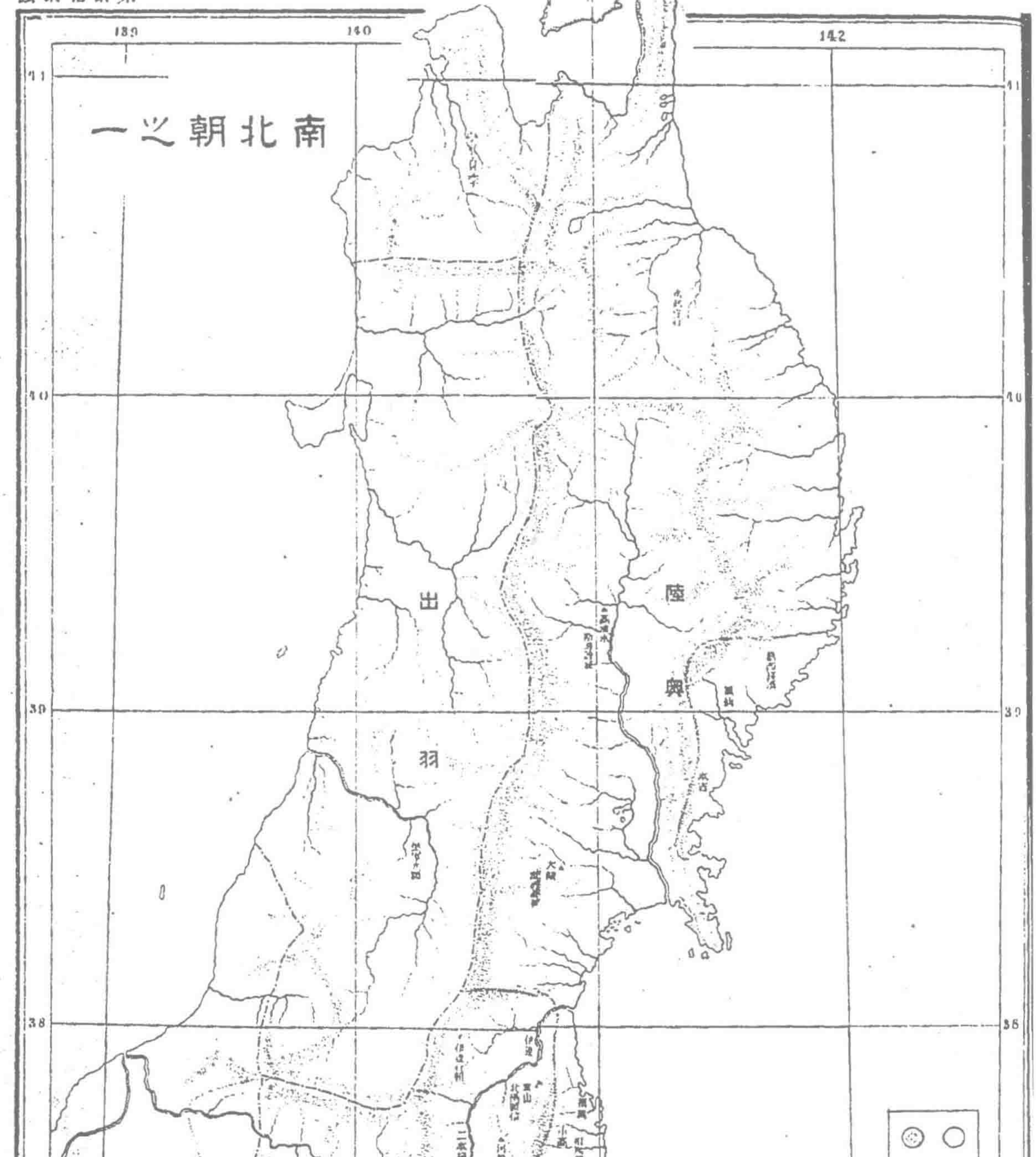

京都及伏見
自延暦至天正
十万分一之尺
京
都
比叡山
琵琶湖
東山
西山
巨椋池
加茂川
大井川
大津
伏見
男山

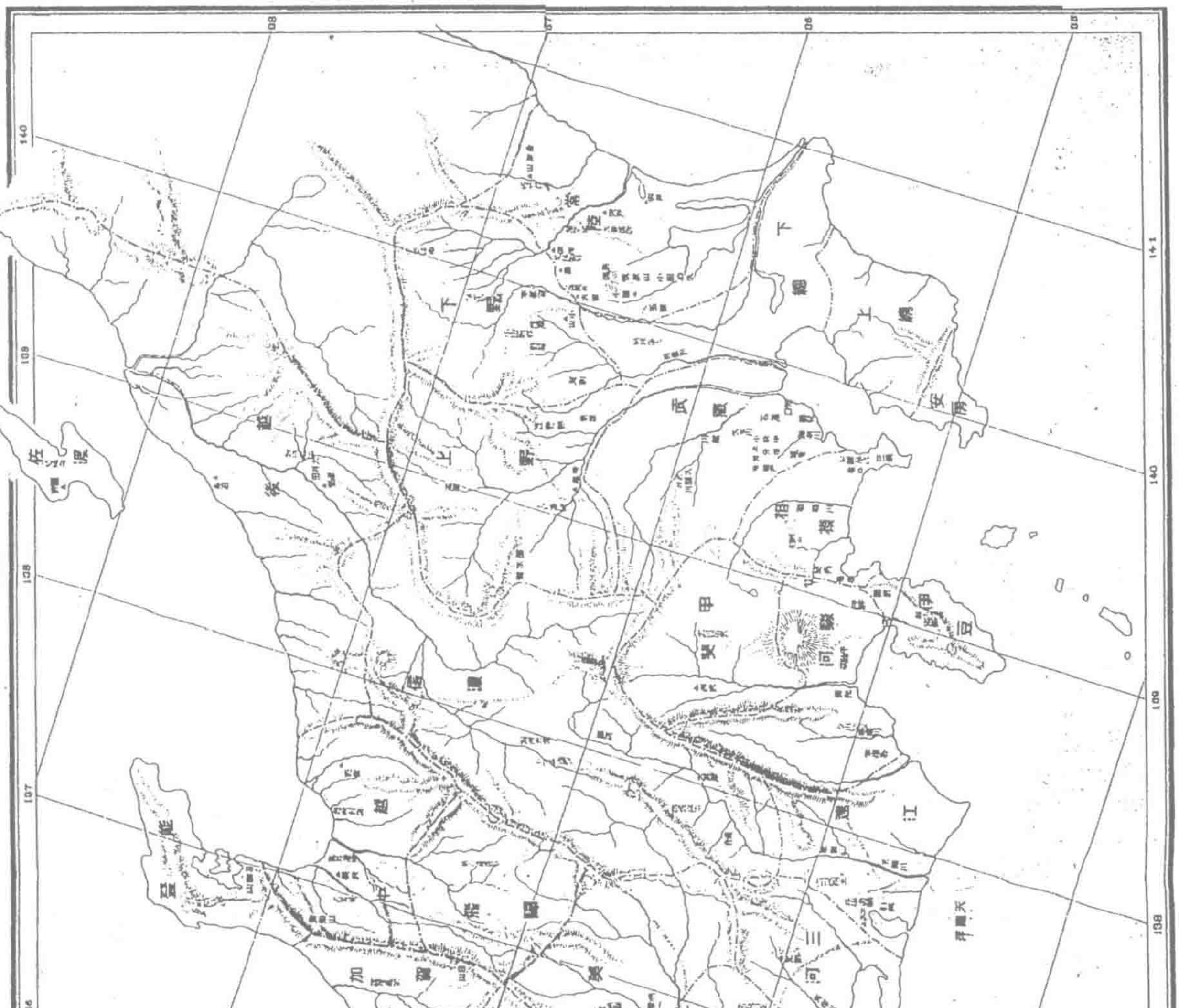

鎌倉
二万分一之尺




西海防戰
大宰府防備

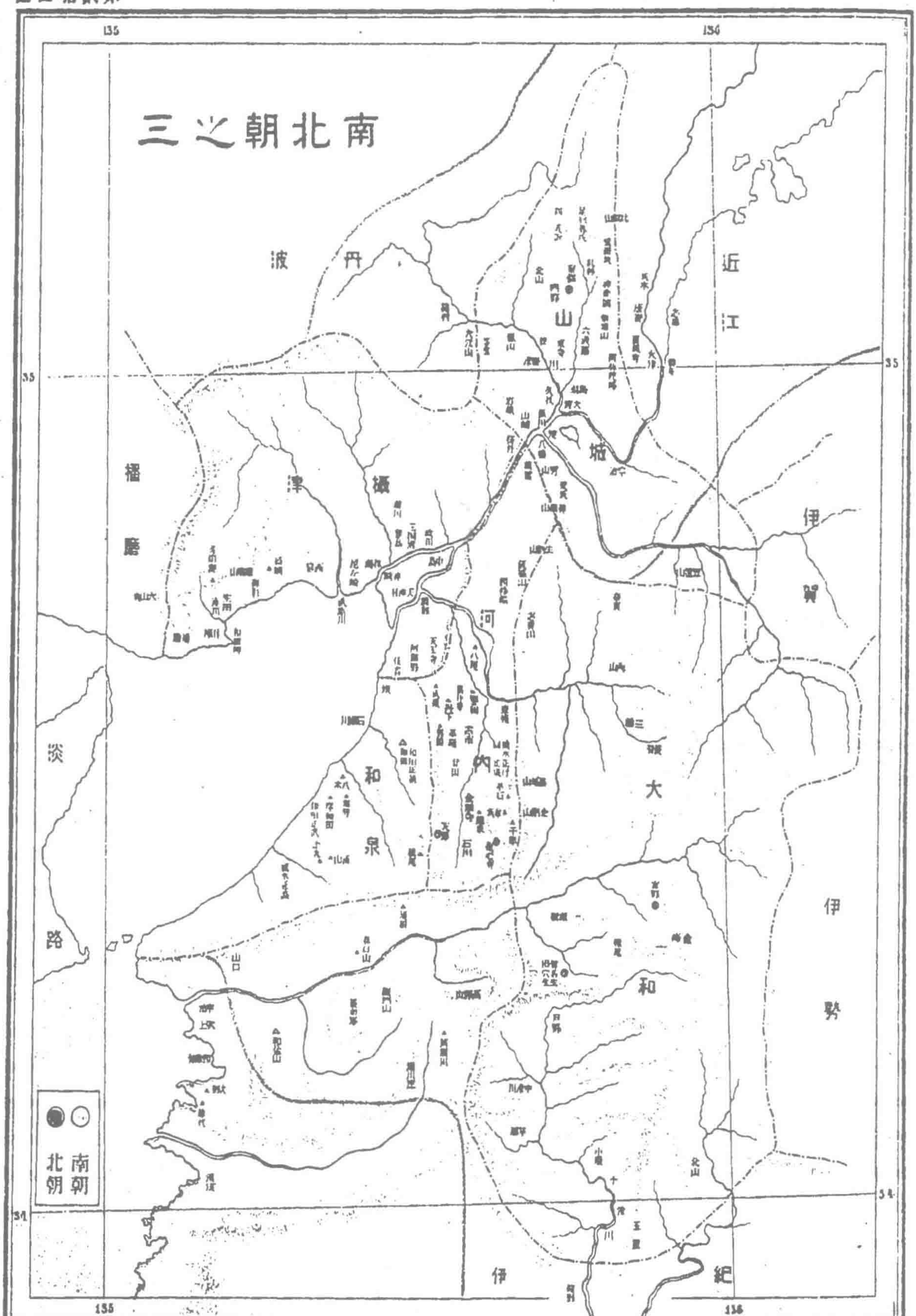
第貳拾貳圖

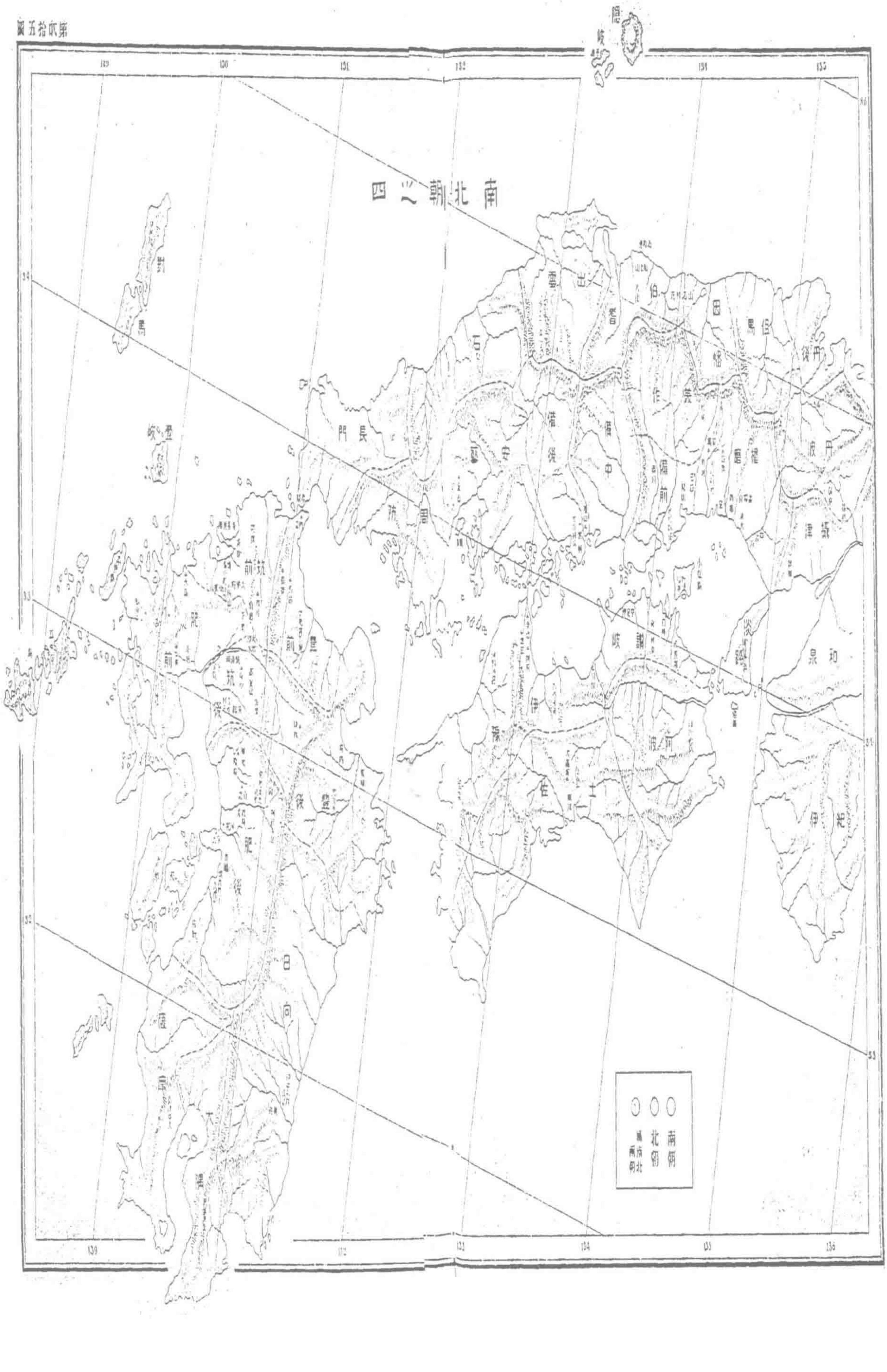


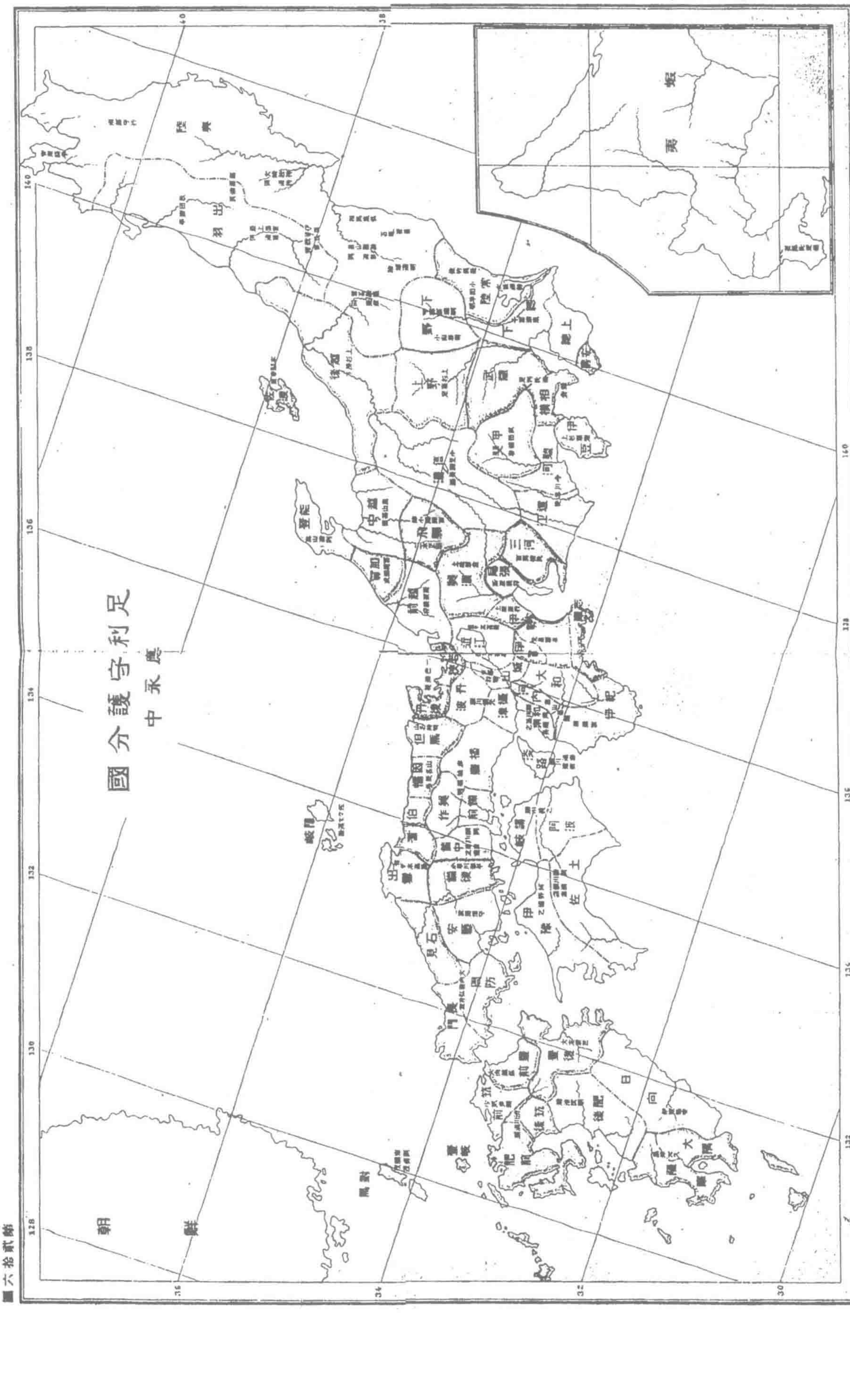


第二拾三図

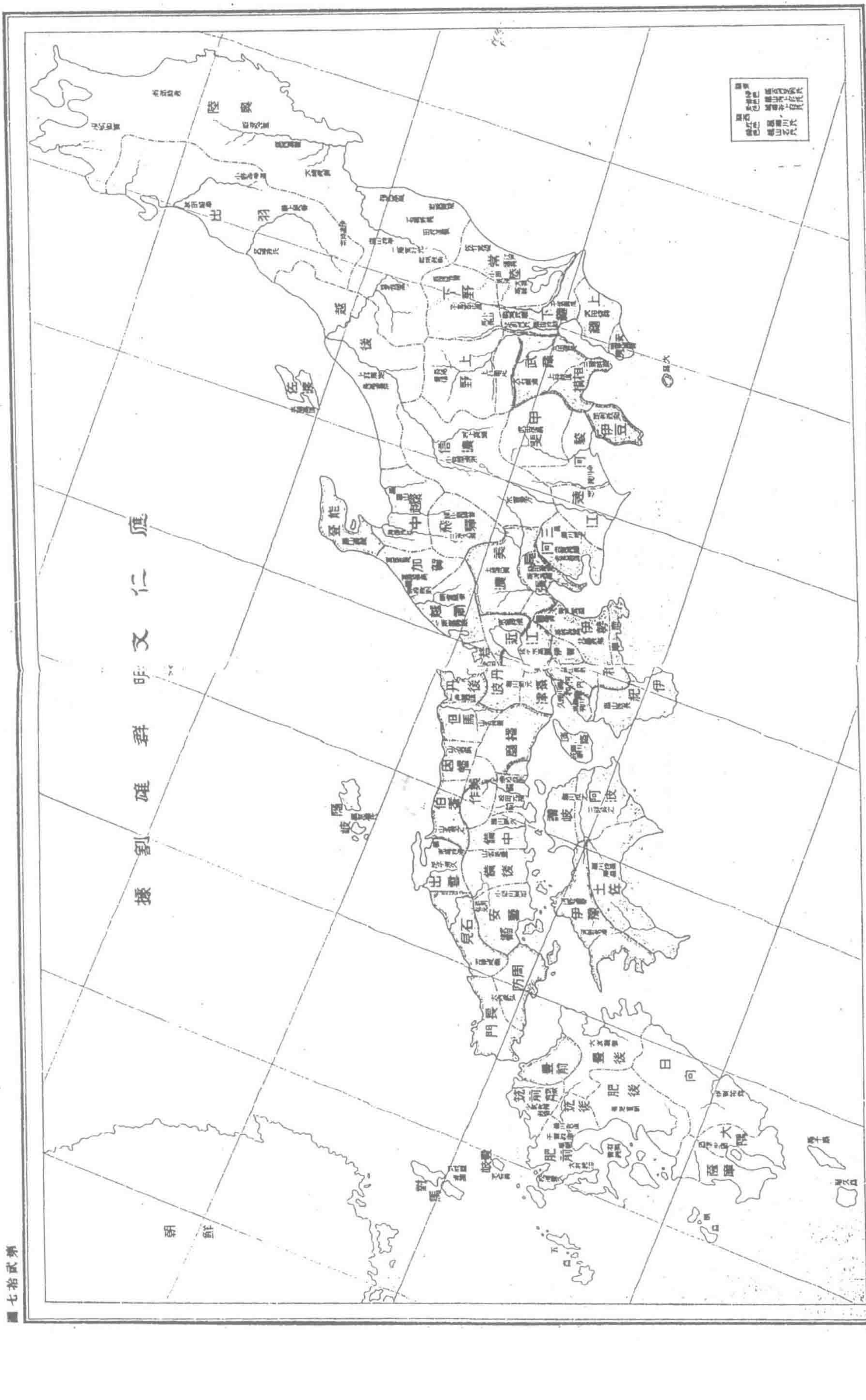
第貳拾四圖

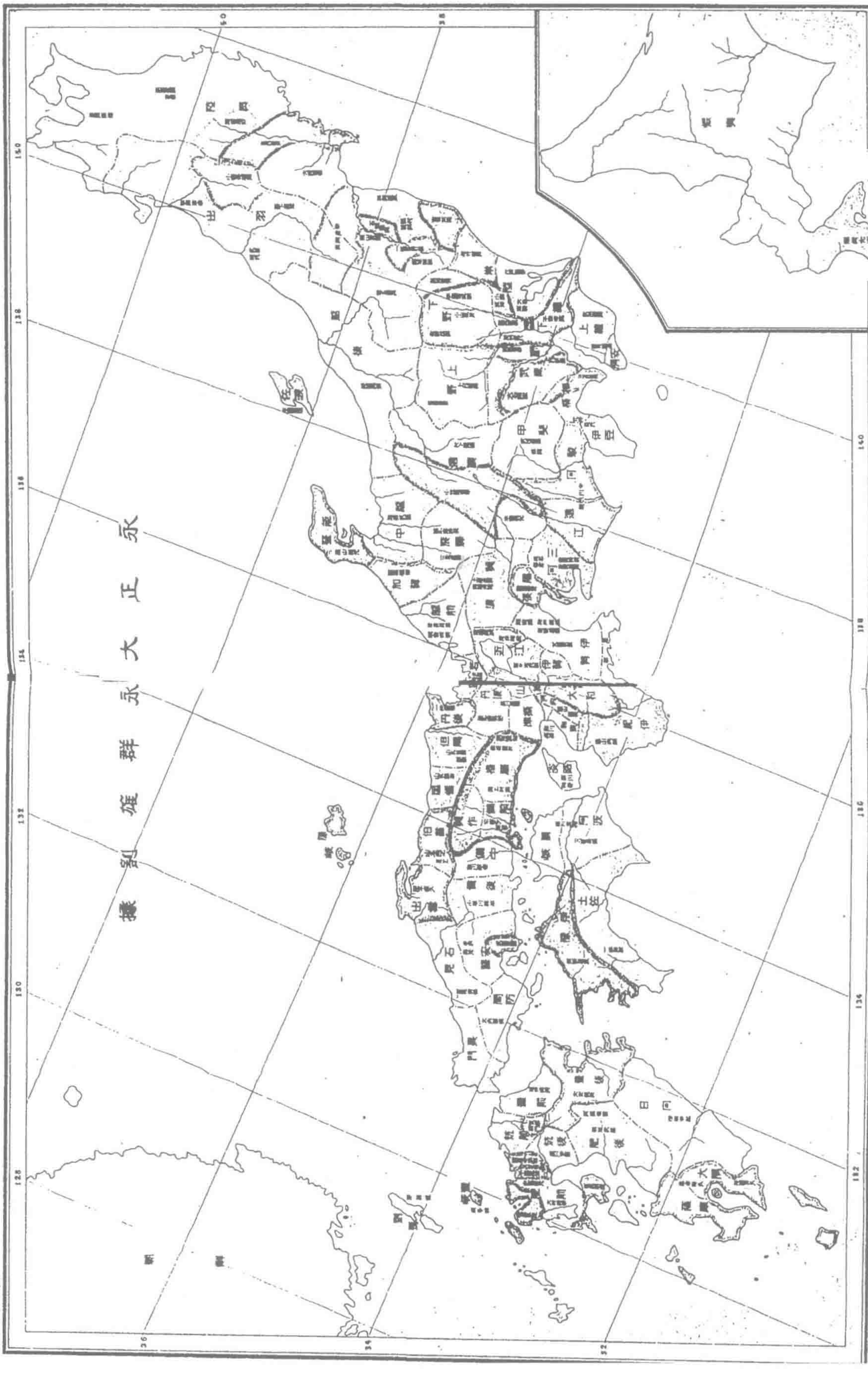



第五拾五圖
南北朝之四
南朝
北朝

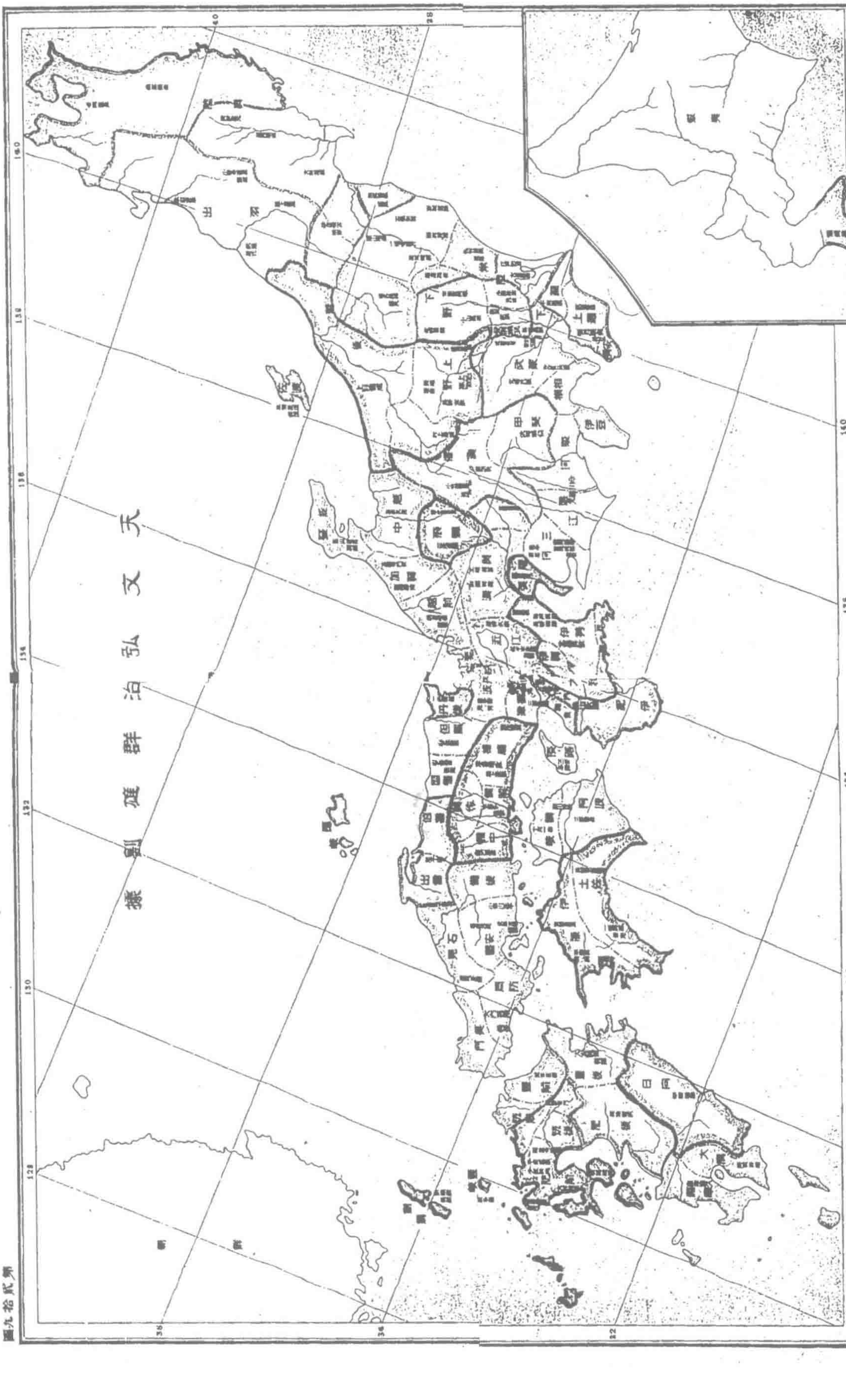


第貳拾六圖

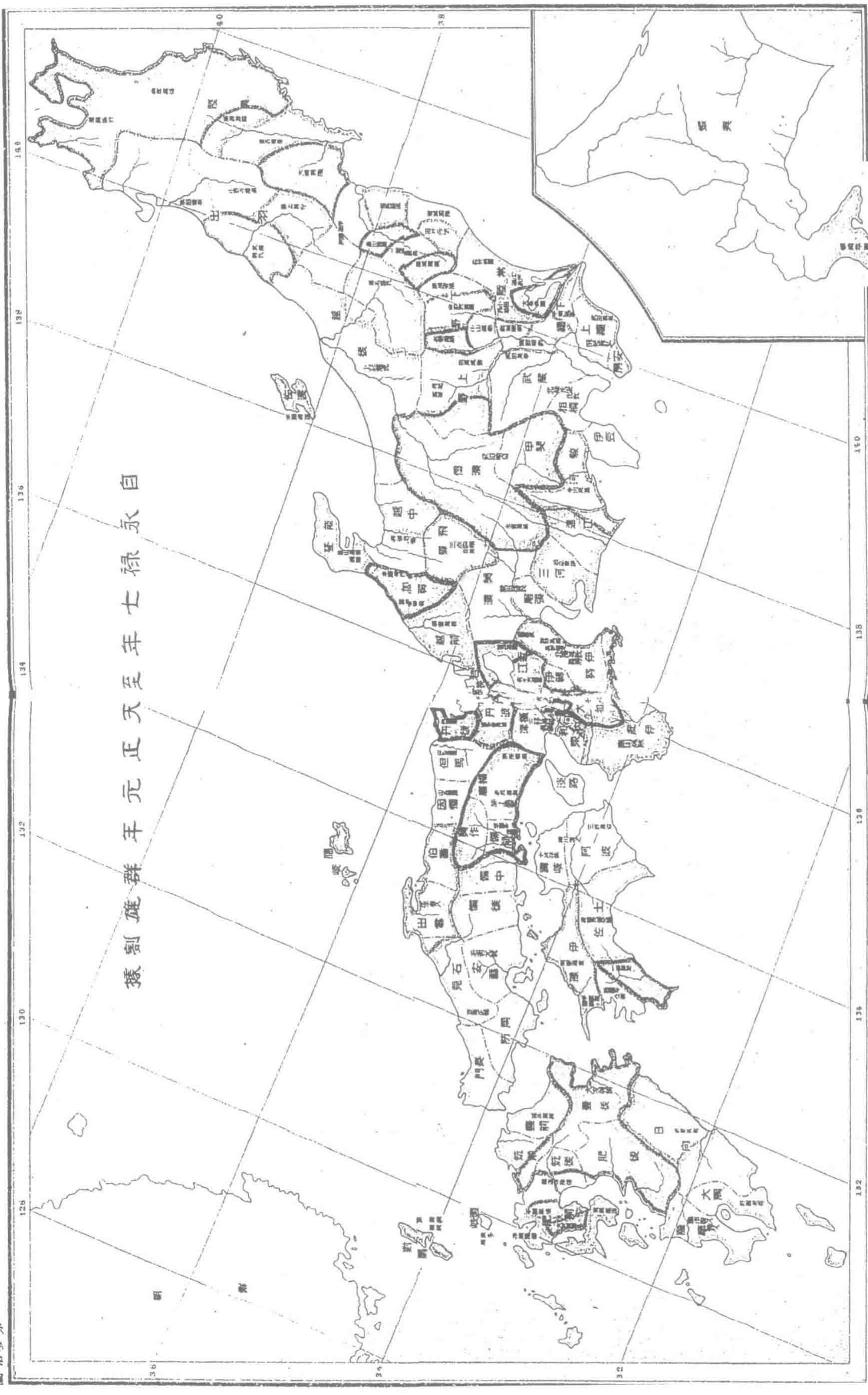




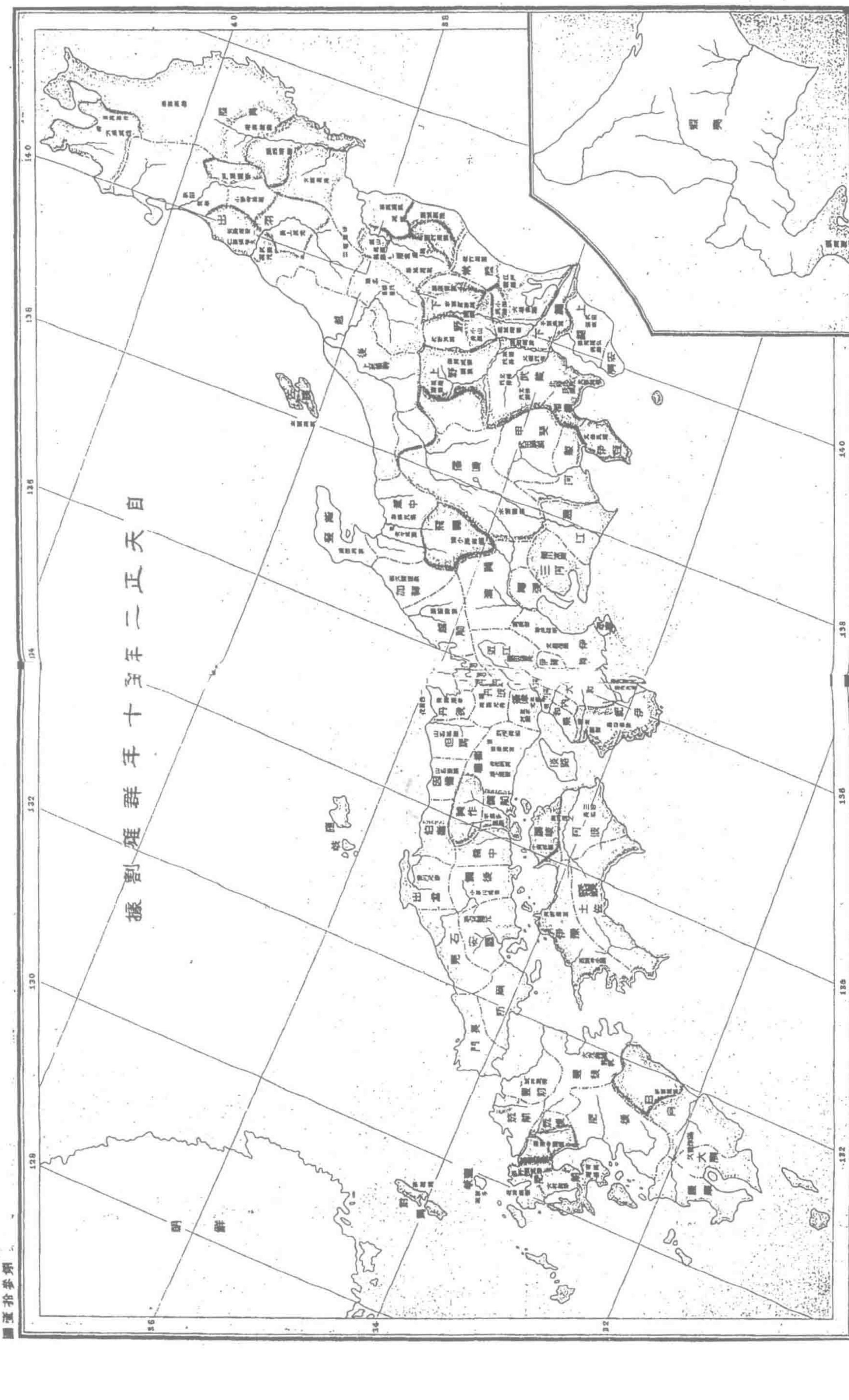
第貳拾八圖



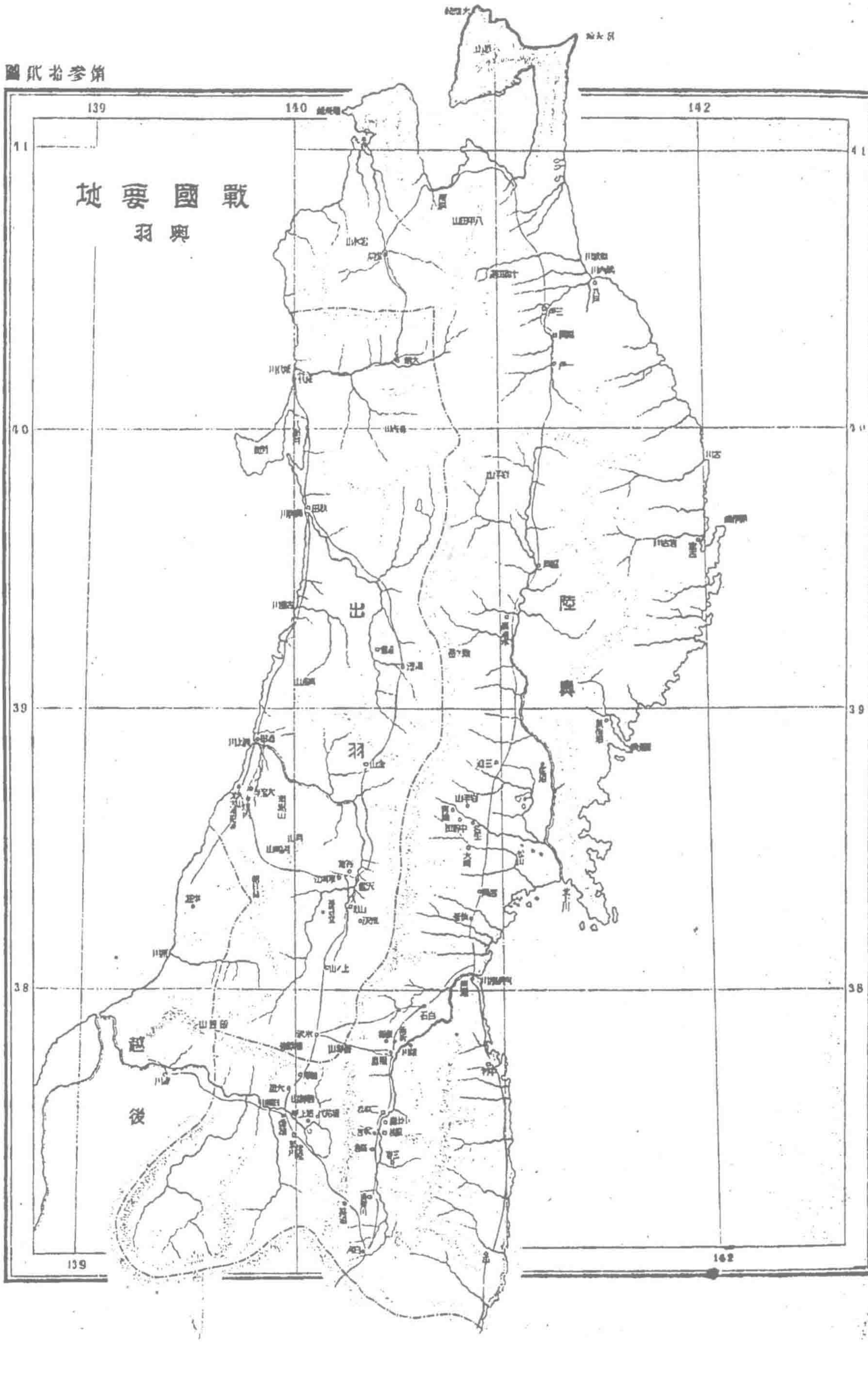
第貳拾九圖

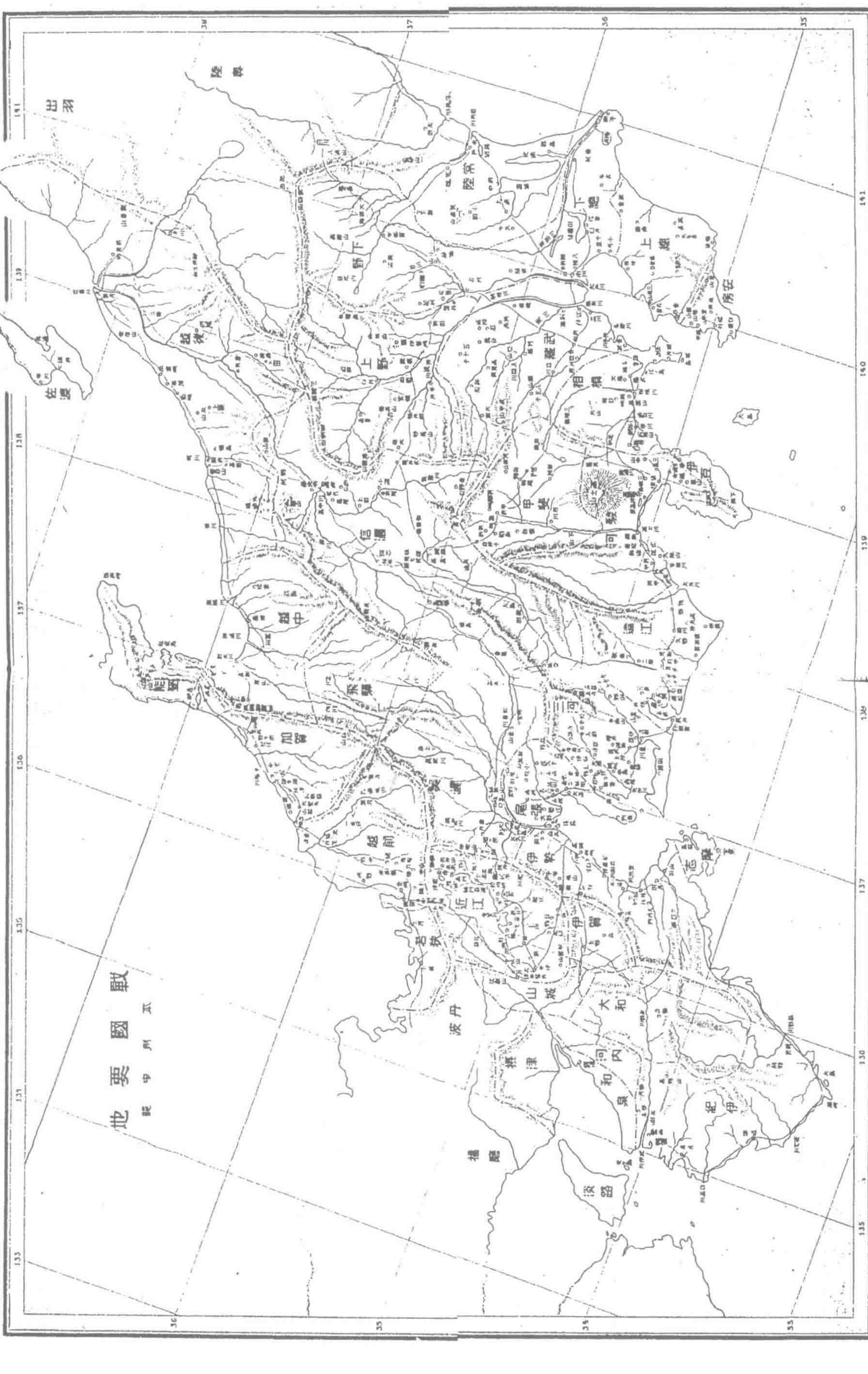


第拾參圖


自天正二年至十年群雄割據

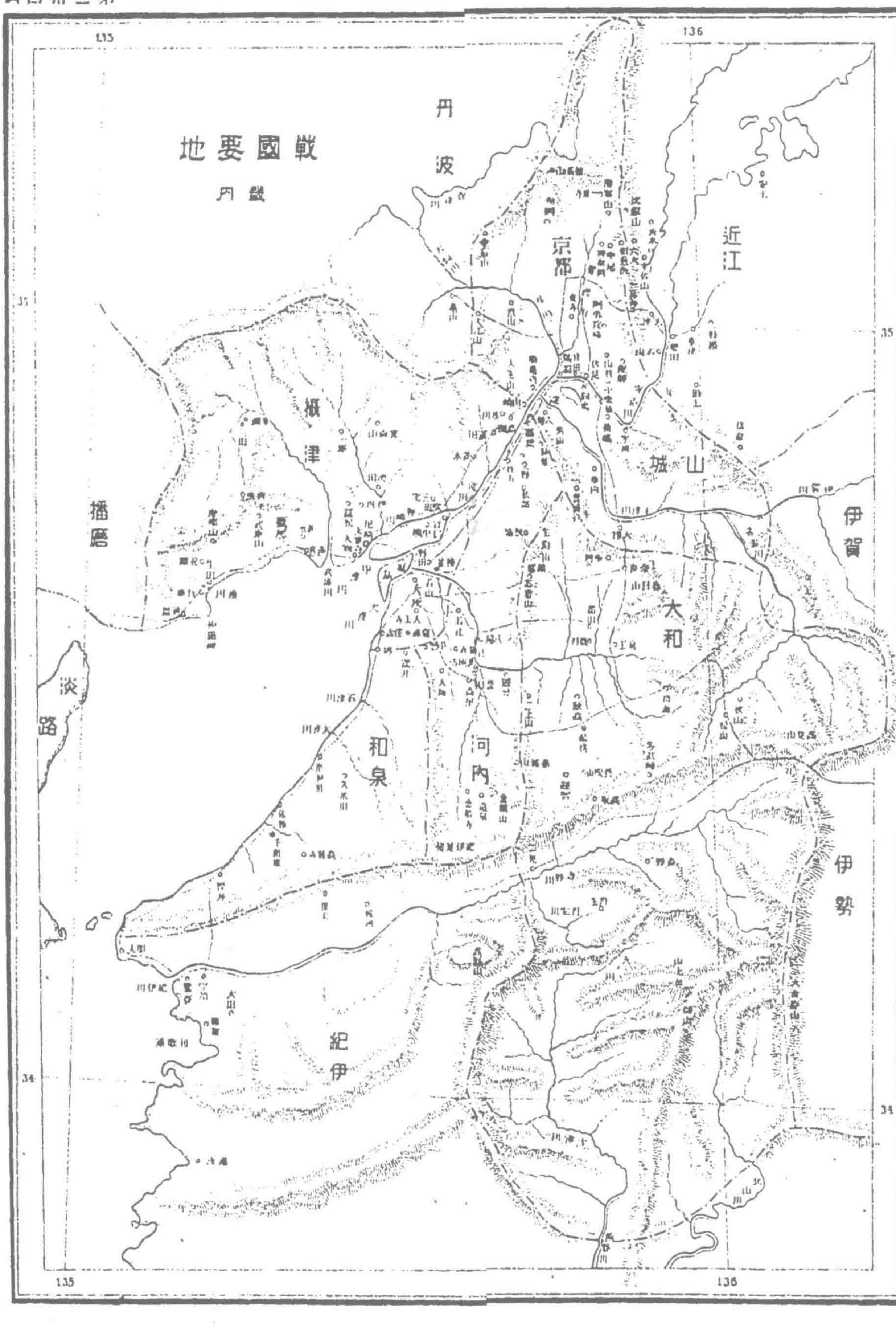
第参拾紙圖

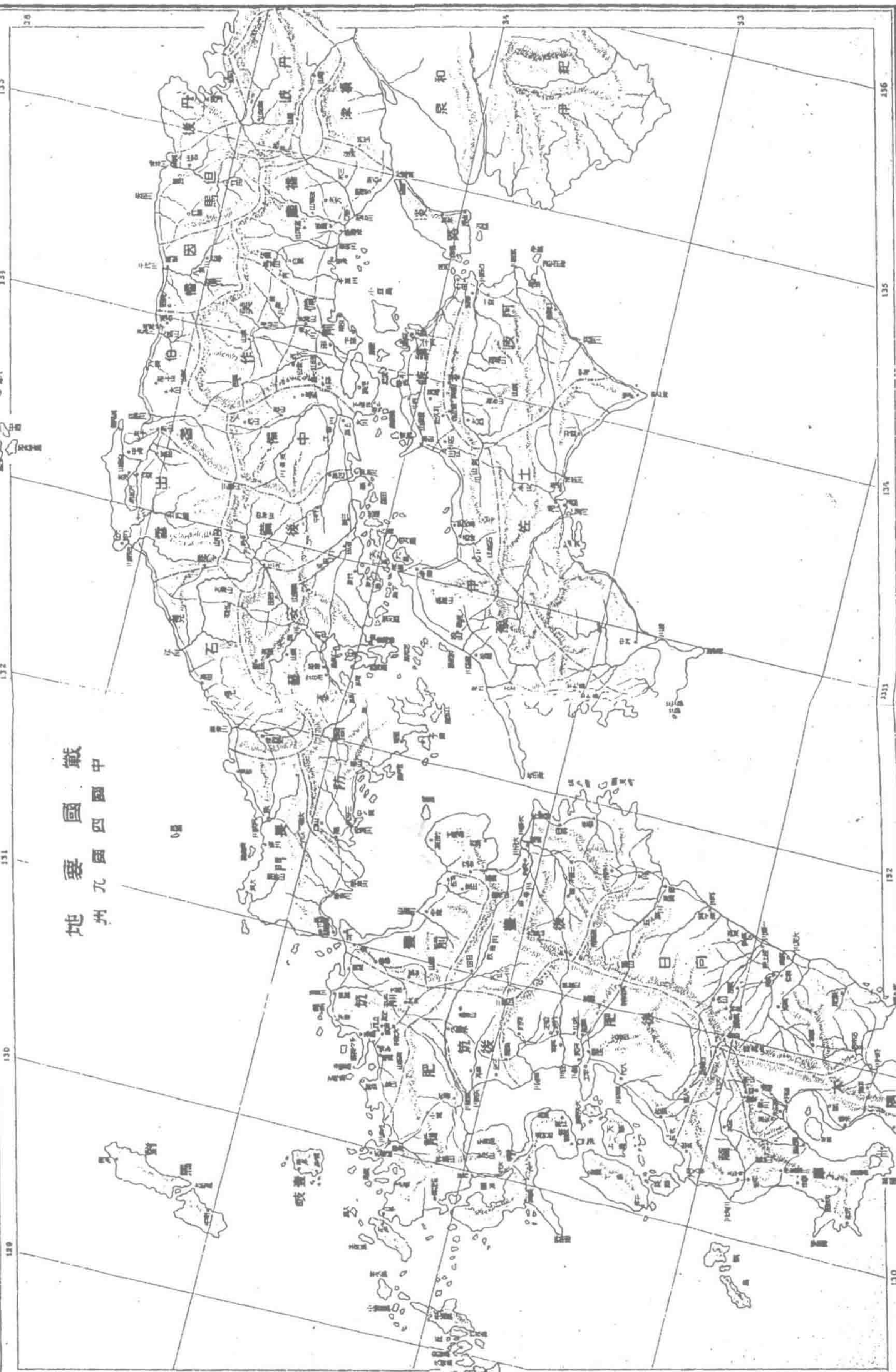



戰國要地
陸奥
出羽
越後
佐渡
下野
上野
常陸
下總
上總
安房
武藏
相模
甲斐
駿河
伊豆
信濃
越中
飛驒
能登
加賀
越前
美濃
尾張
三河
遠江
伊勢
志摩
伊賀
近江
若狹
丹波
山城
大和
河内
和泉
攝津
紀伊
播磨
淡路

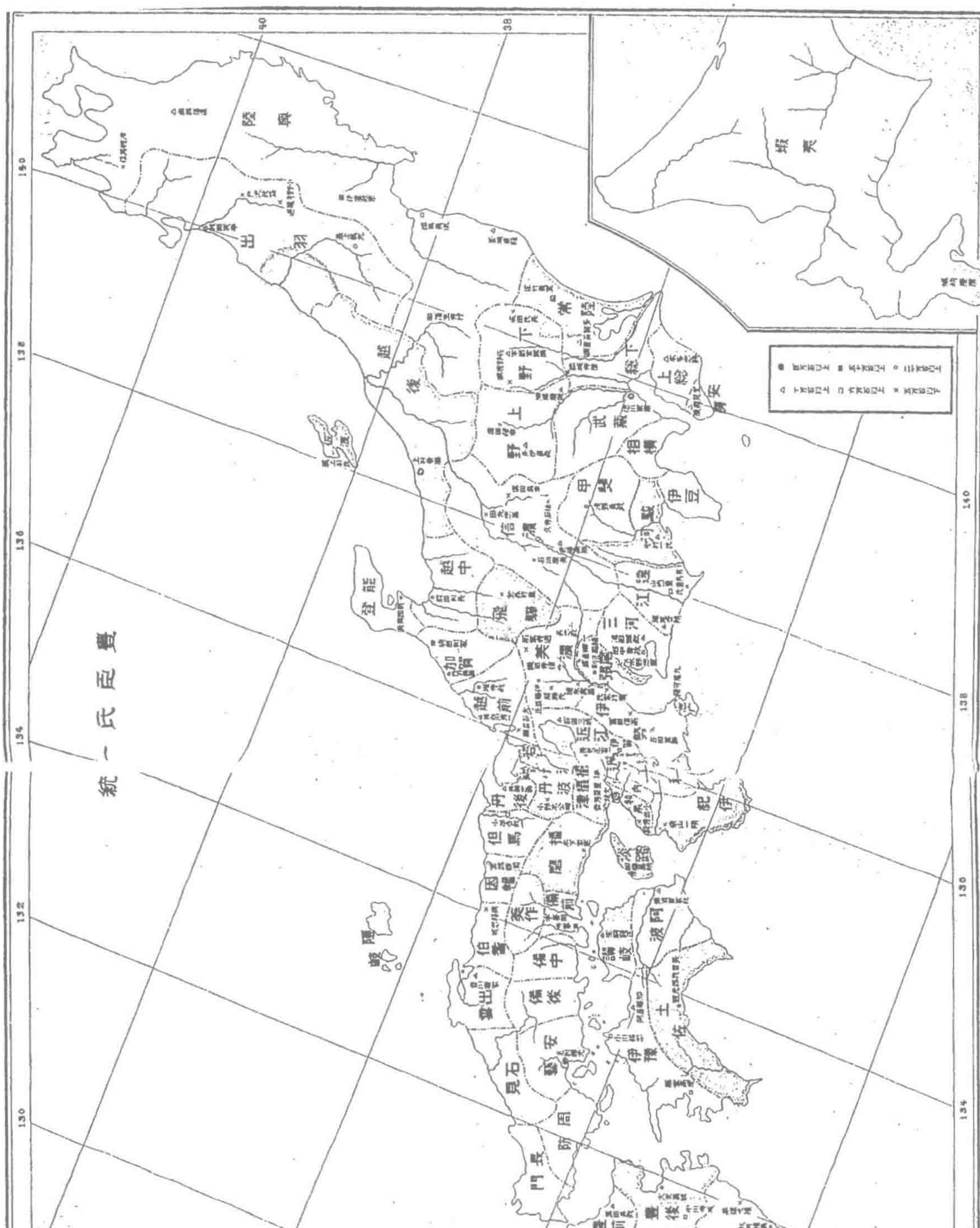
第三拾三圖

第三拾四圖

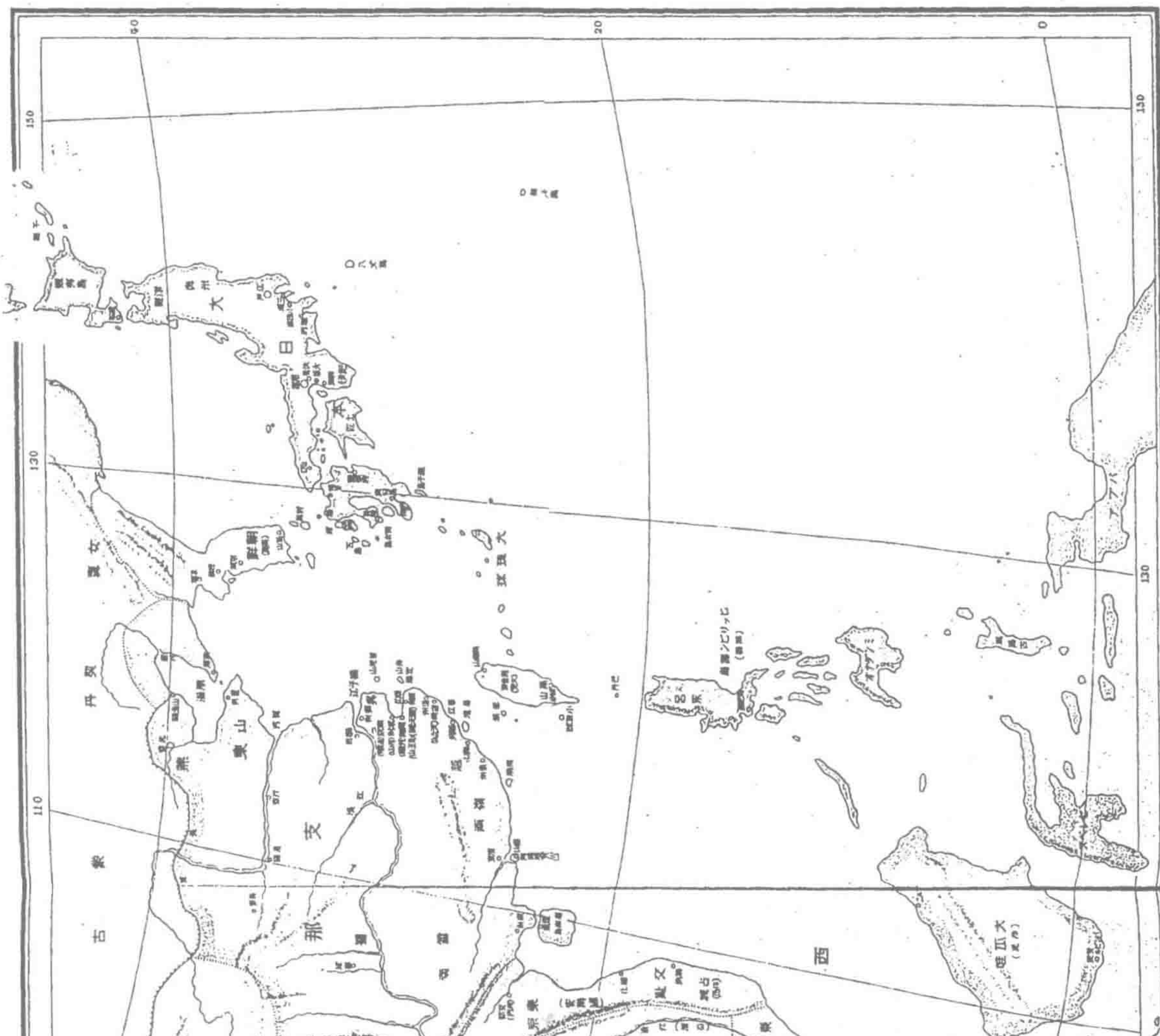




第三拾五圖

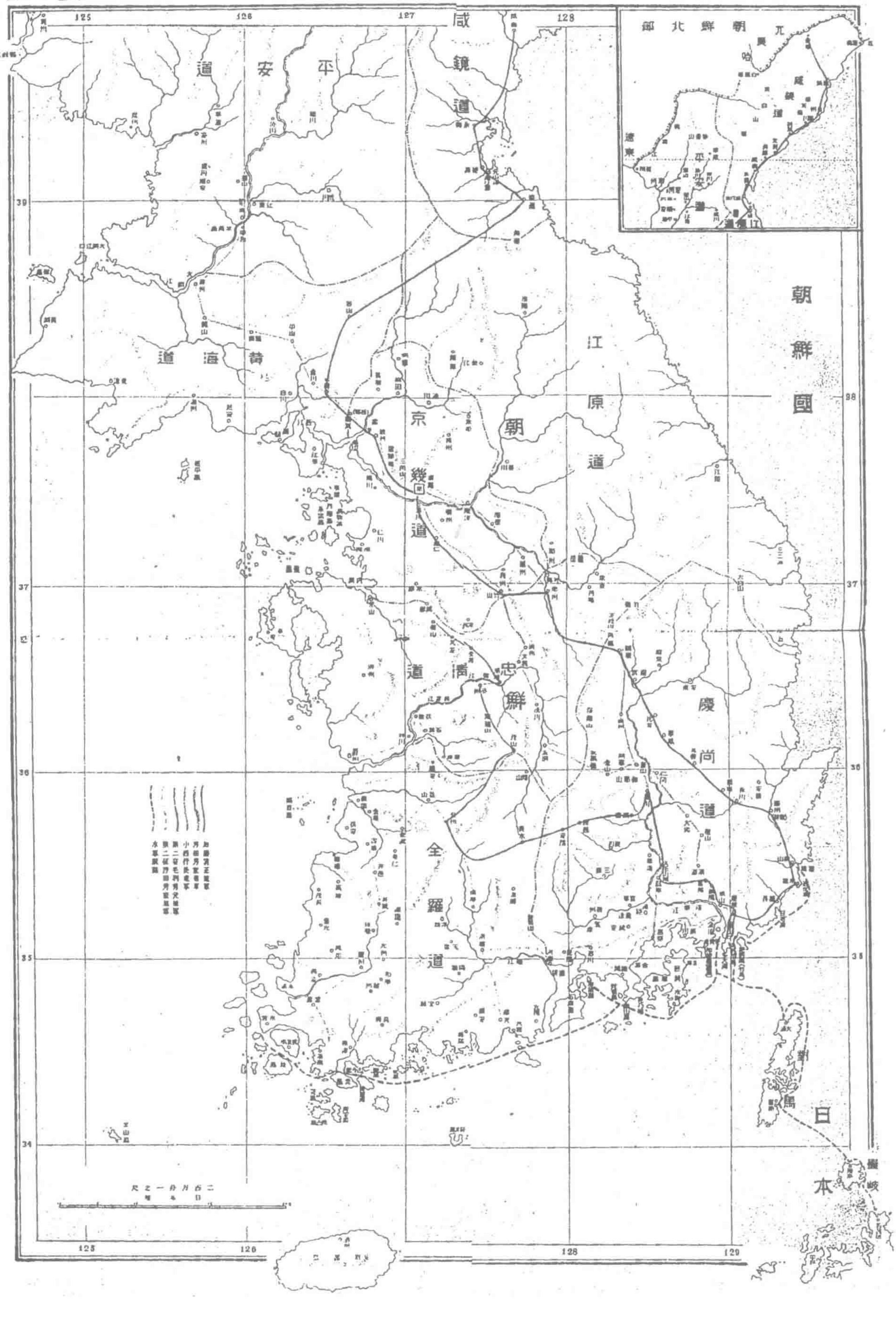


第拾六圖

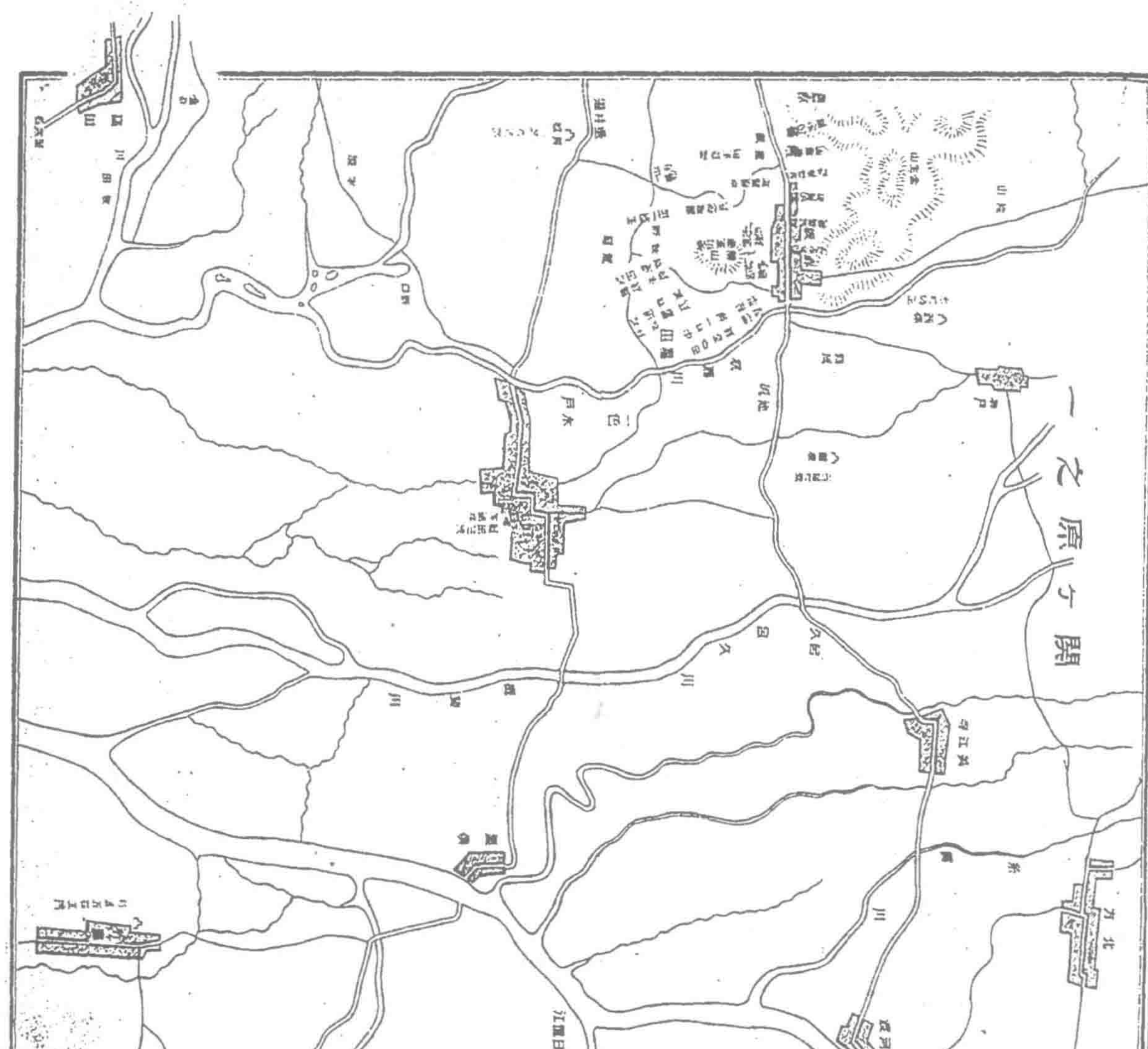


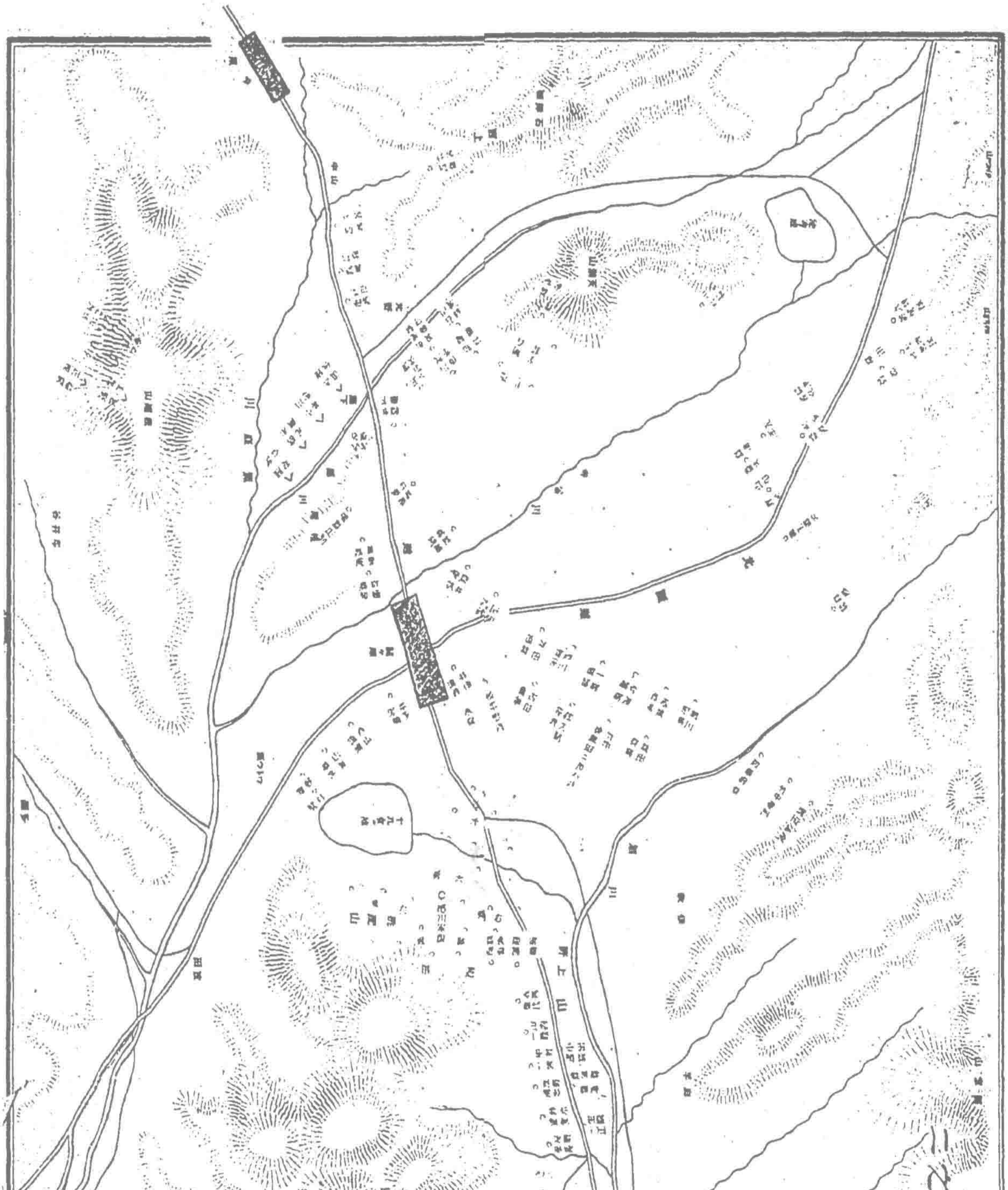
第三拾七圖

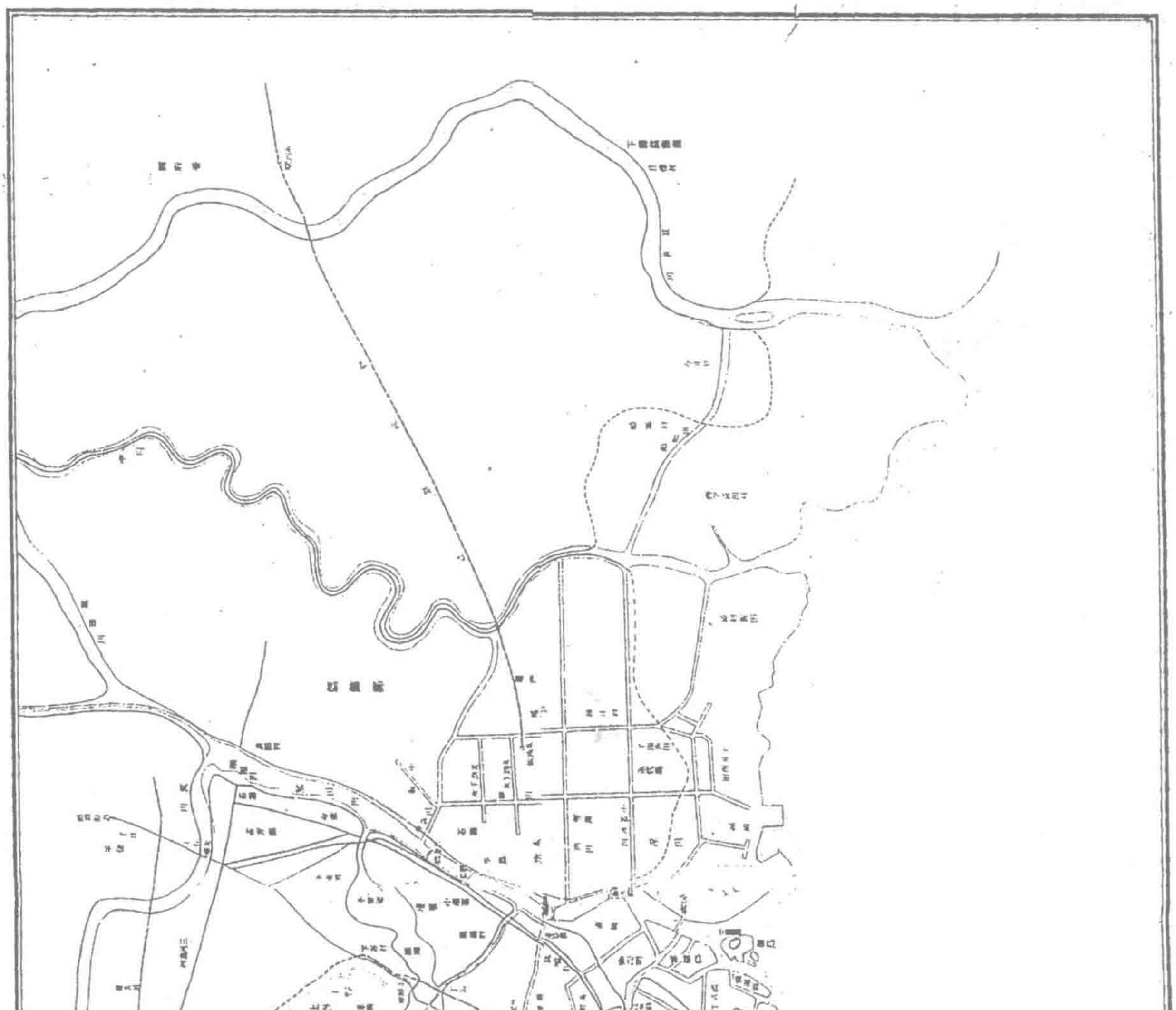
第三十八圖



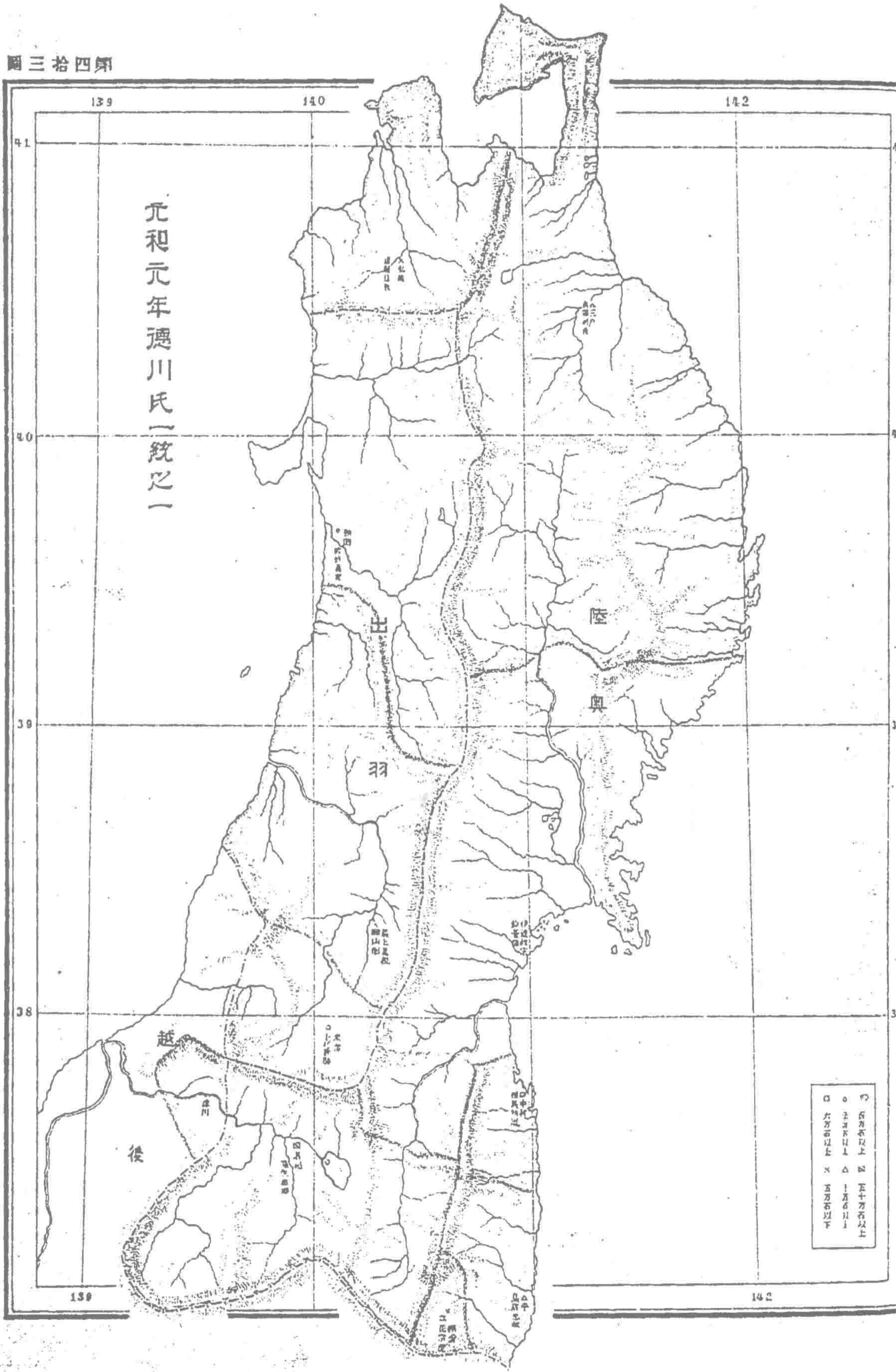

大阪之二
大阪之一

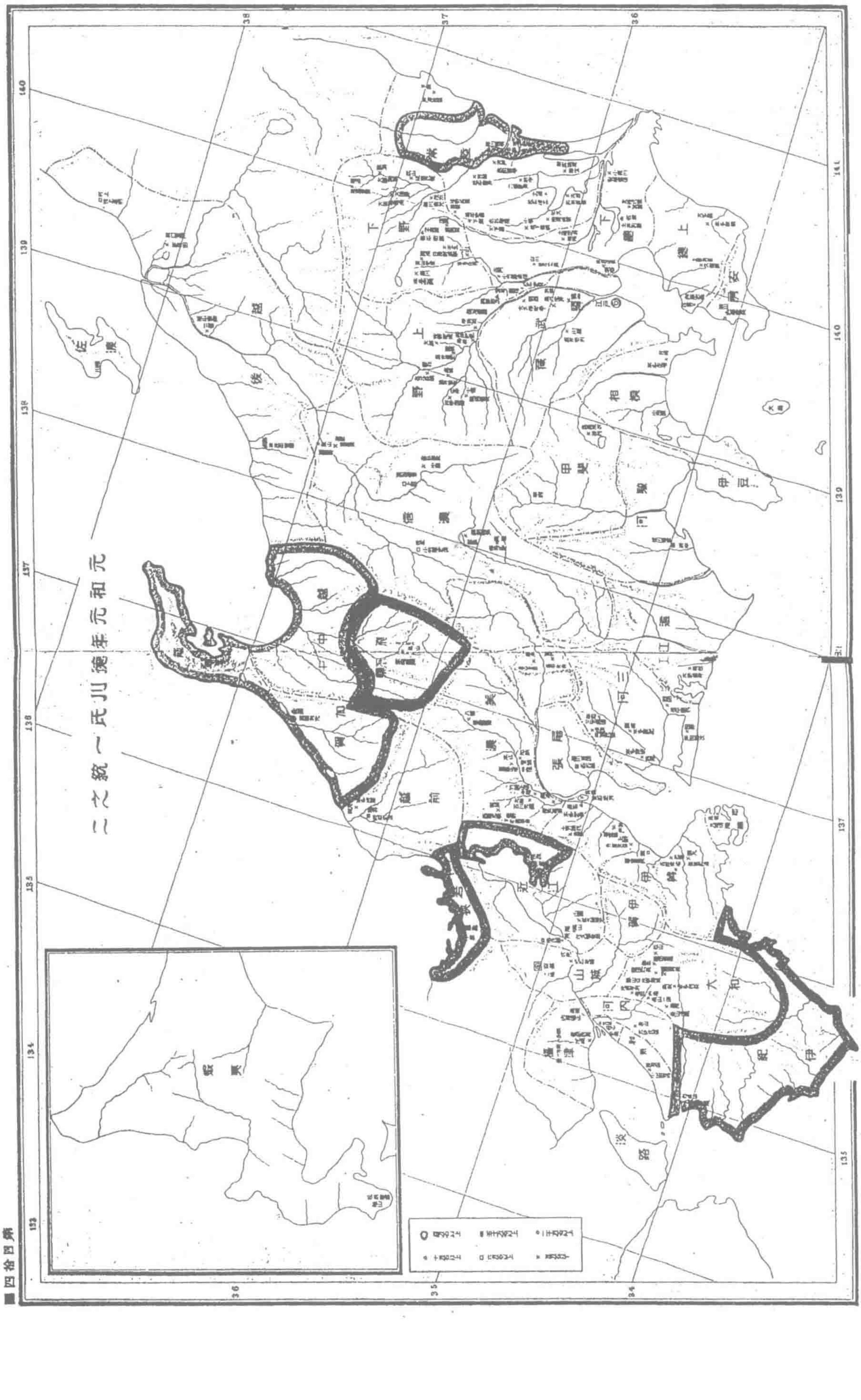

関ヶ原之一

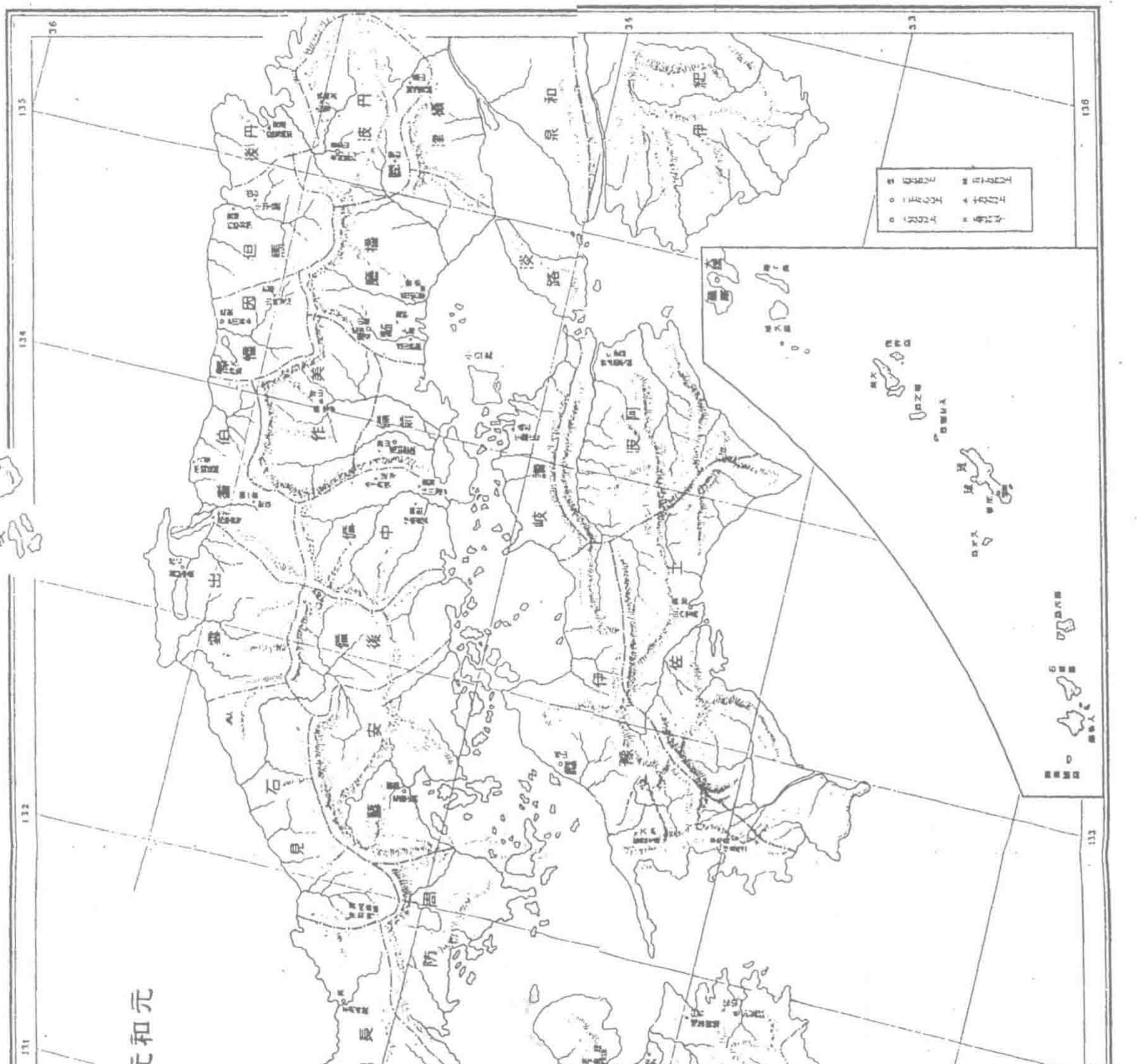

関ヶ原之図


江戸

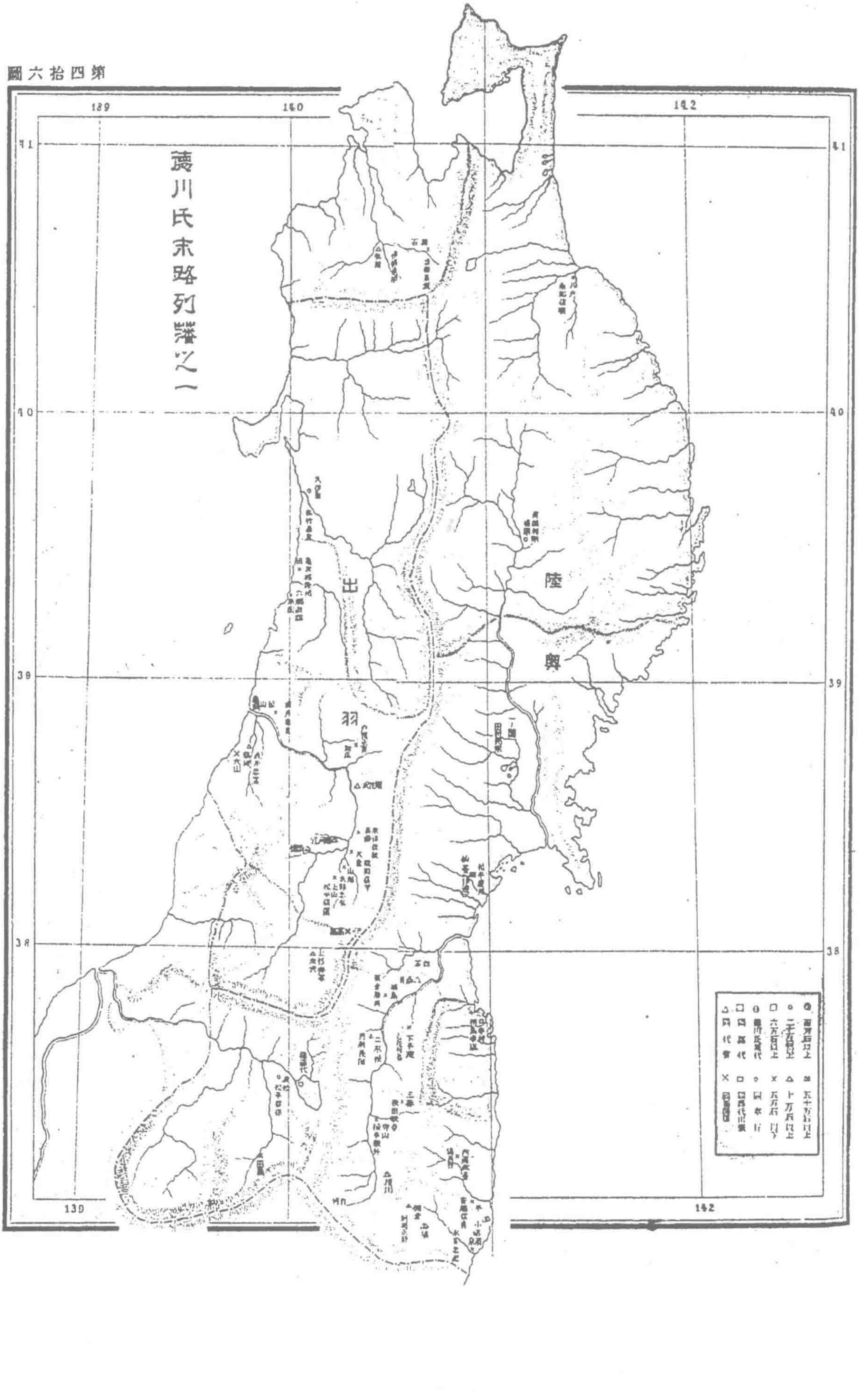
第四拾三圖

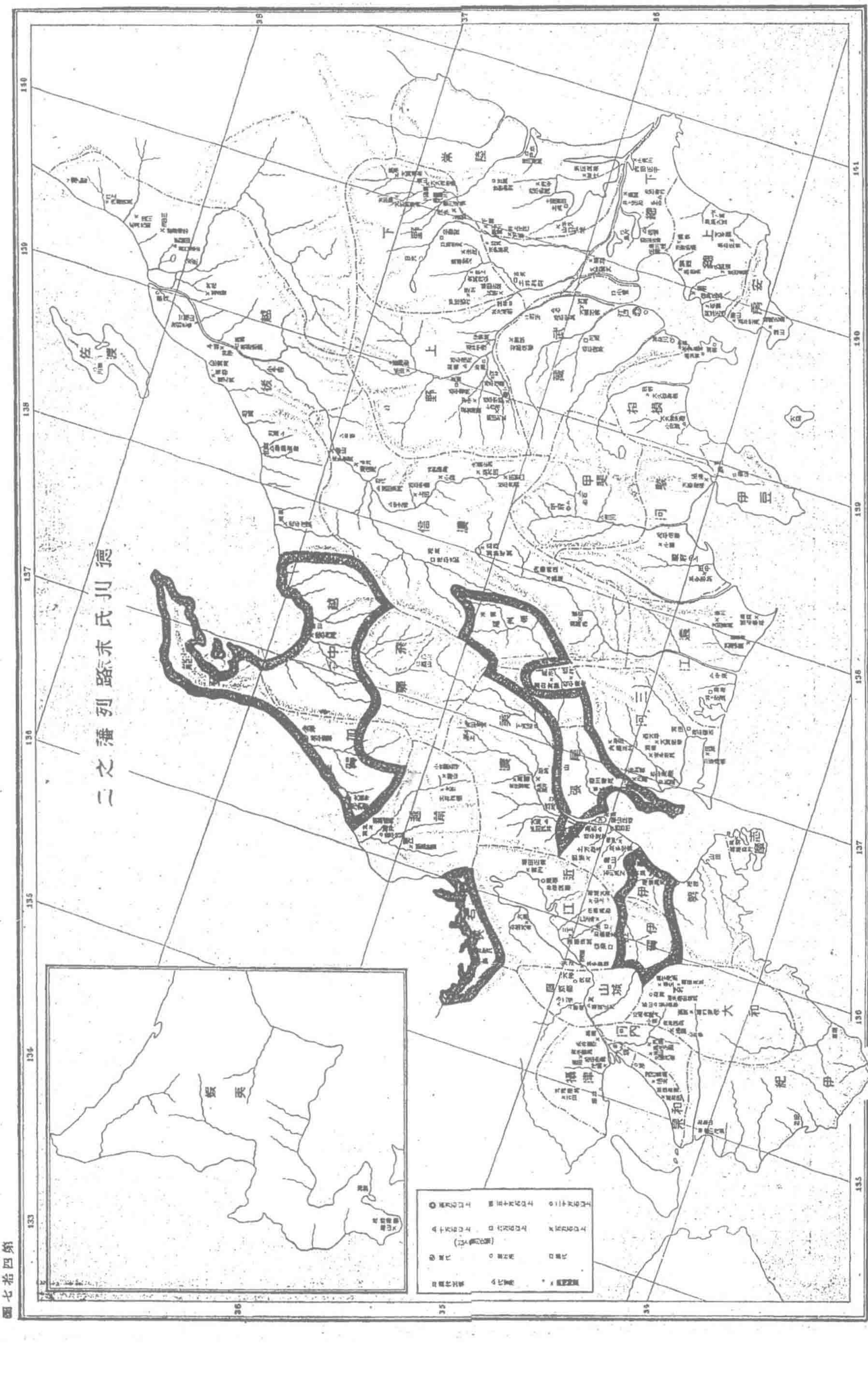



元和元年徳川氏一統之二

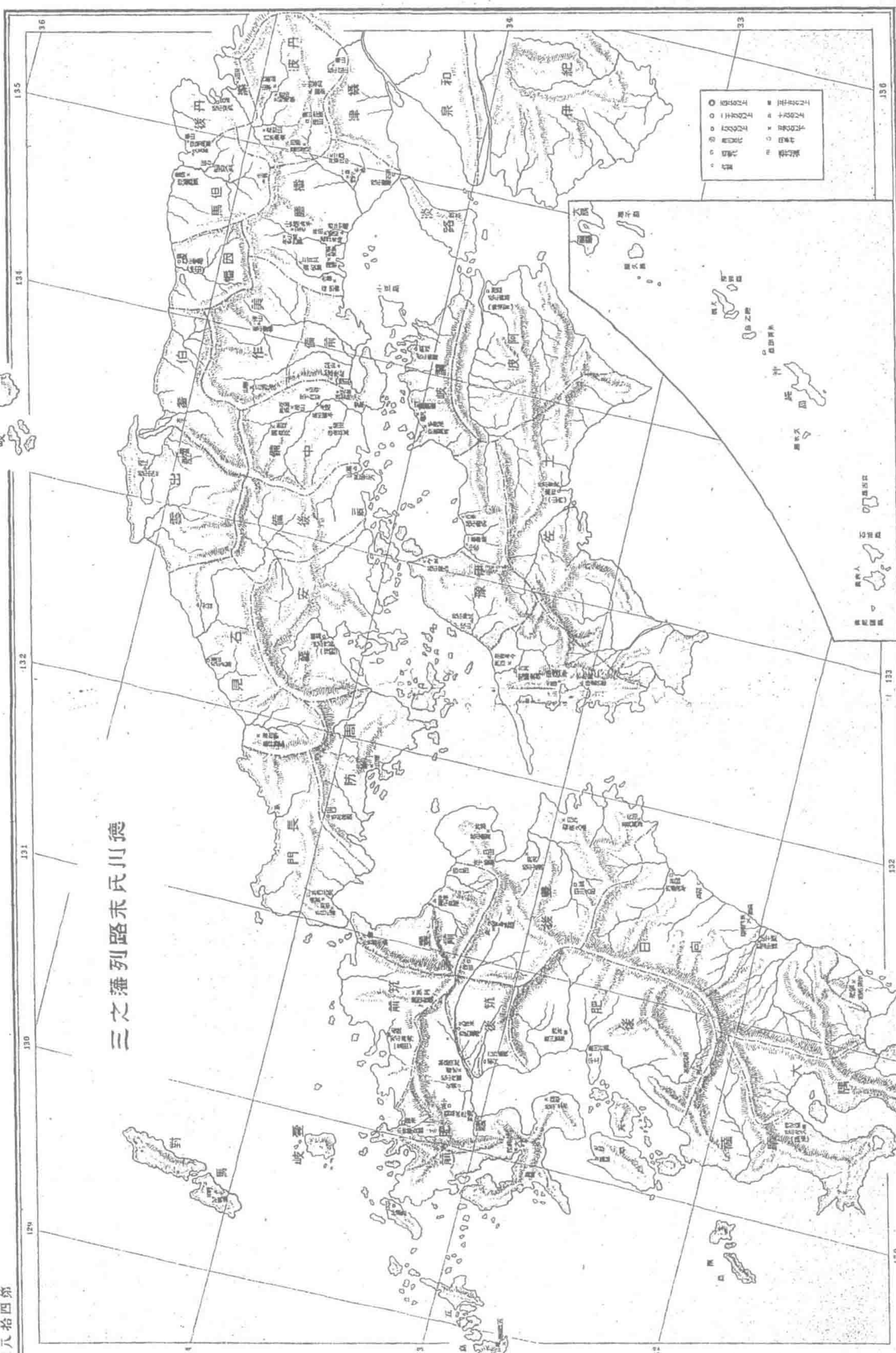

元和元年德川氏一統之三
第四拾五圖

第四拾六圖

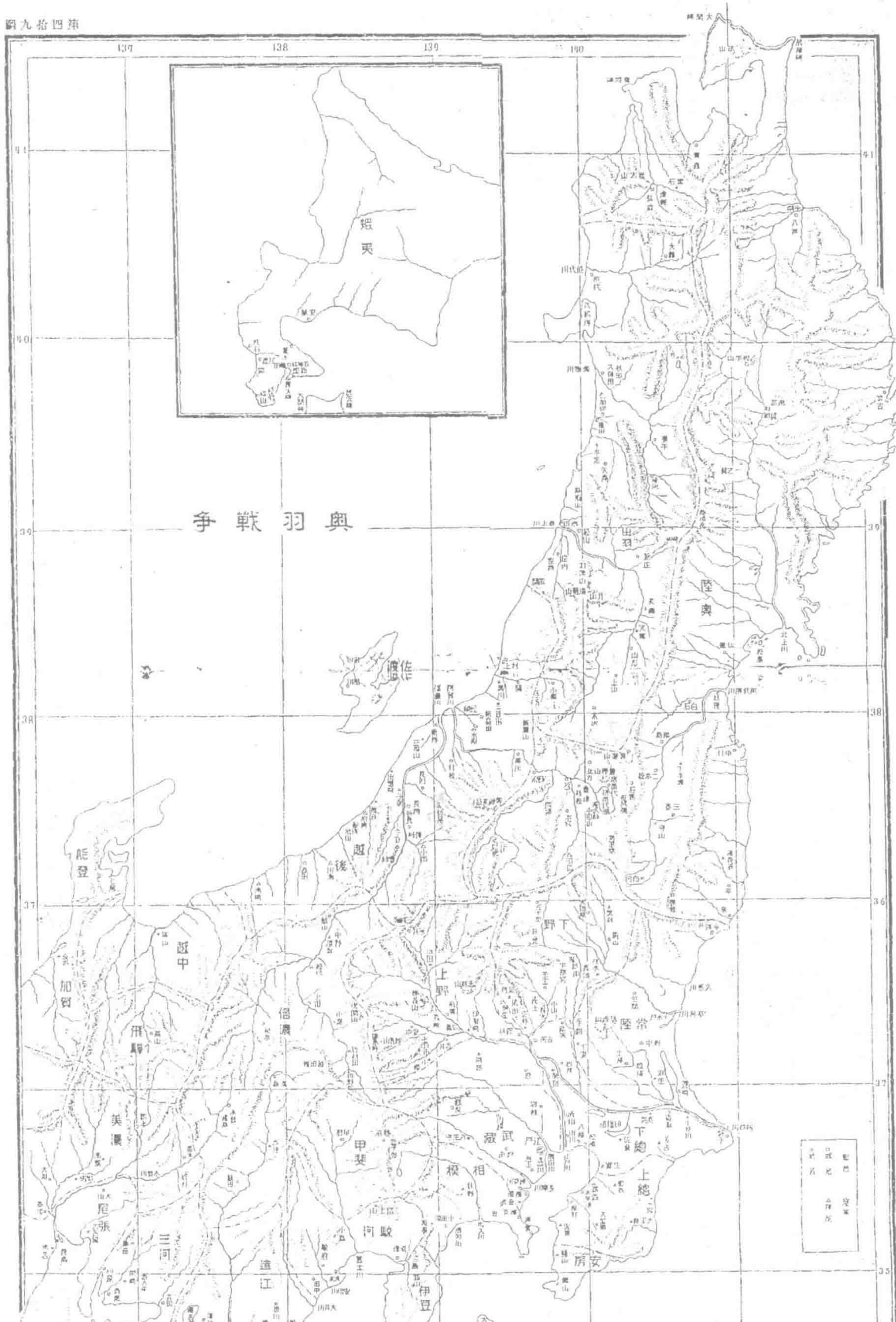




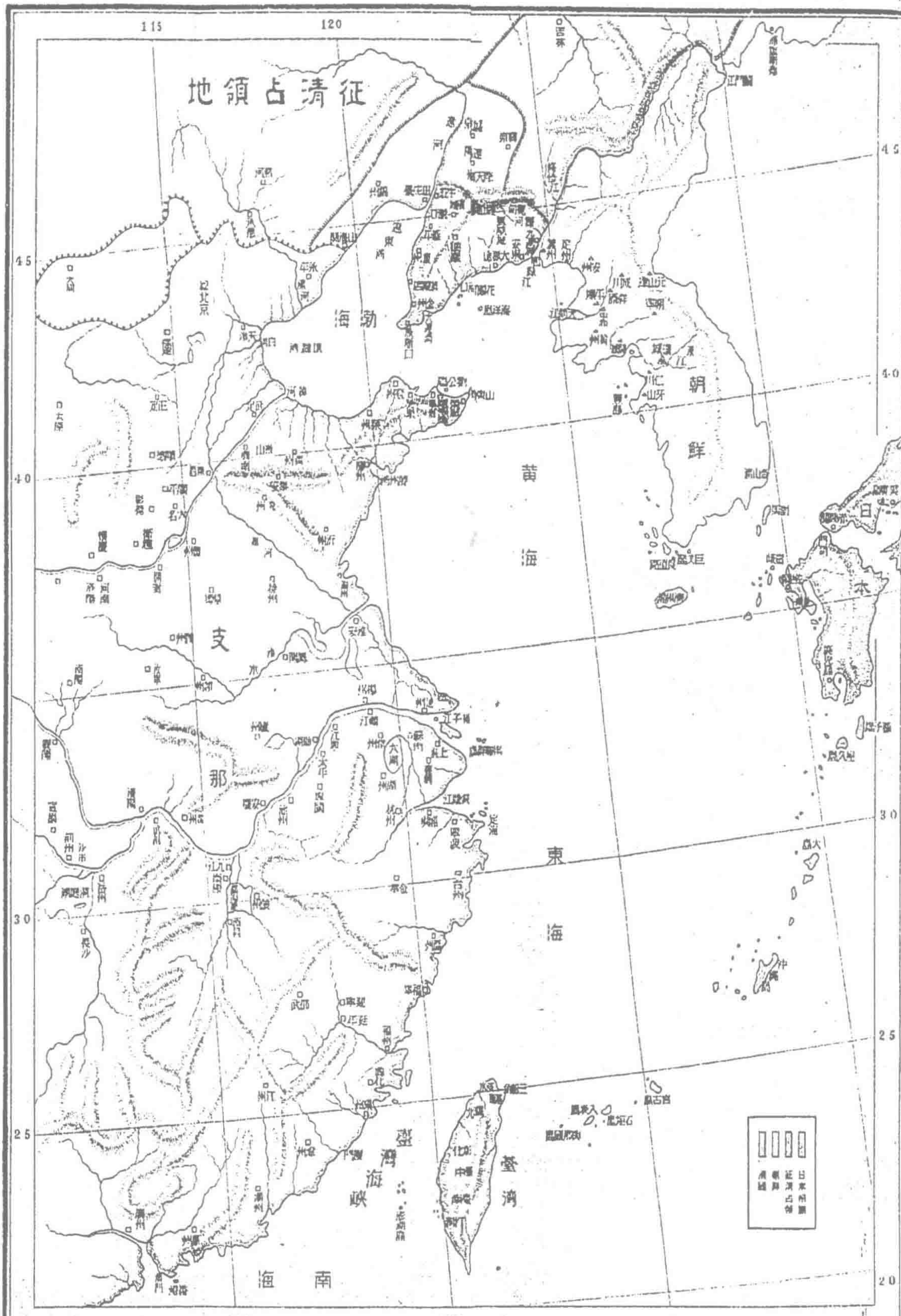
第四十七圖


德川氏末路列藩之三
第四拾八圖

第四拾九圖


奧羽戦争
蝦夷
陸奧
出羽
佐渡
越後
下野
上野
常陸
下總
上總
安房
武藏
相模
甲斐
駿河
伊豆
遠江
三河
尾張
美濃
飛驒
信濃
越中
加賀
能登

第五拾壹圖



河村與一郎 纂輯

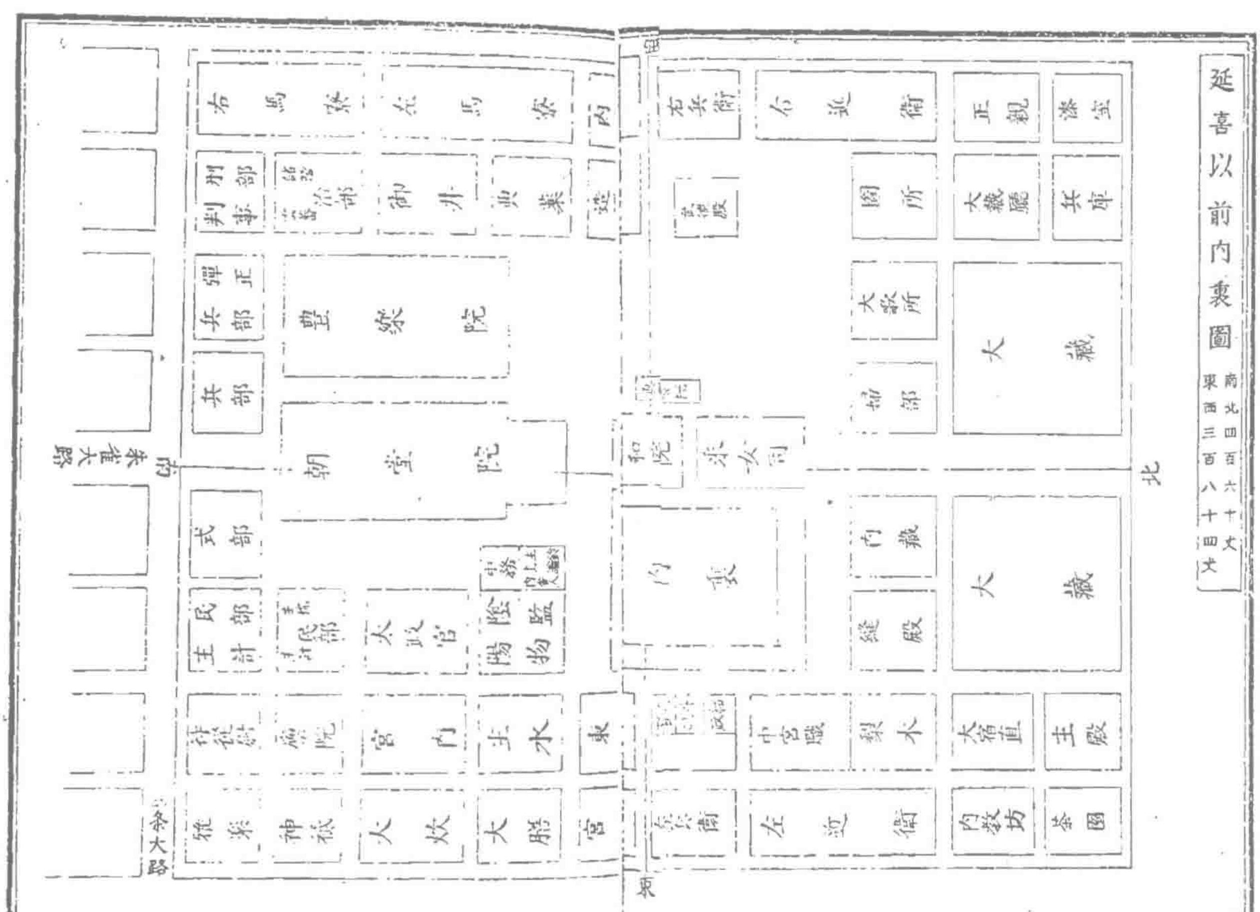
日本外史古戰場概圖

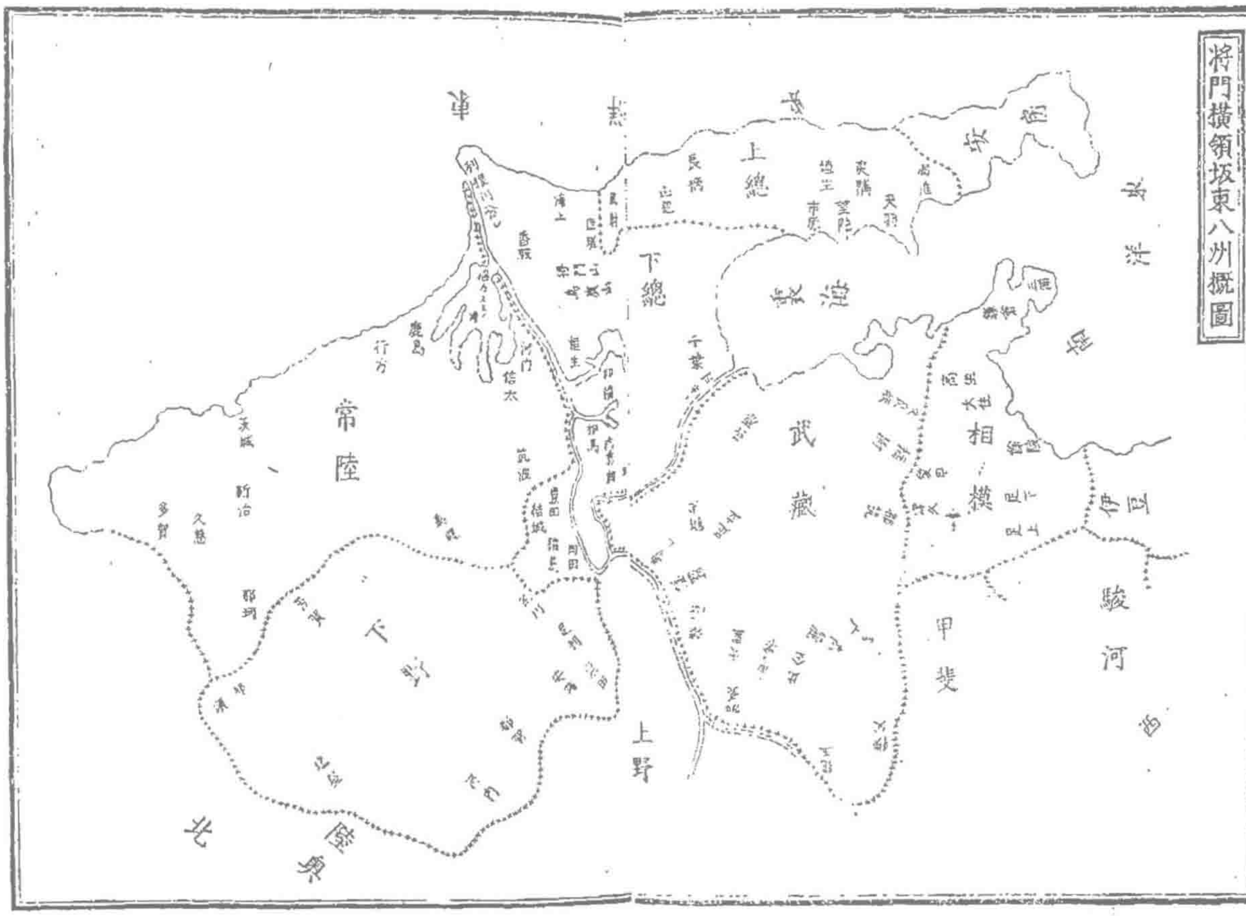
明治十四年（一八八一）東京府刻本

據明治十四年（一八八一）

東京府刻本影印

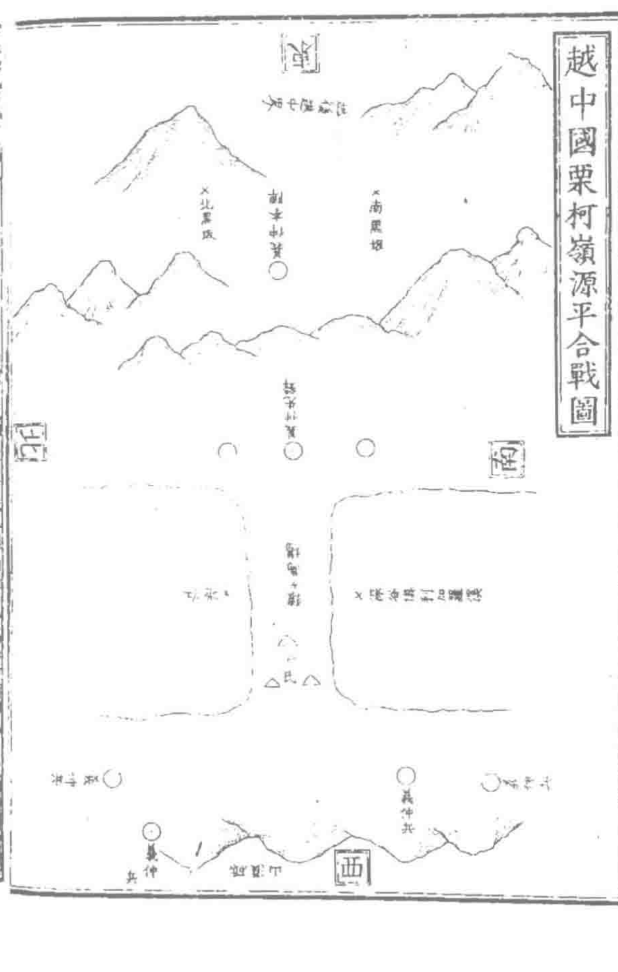
日本外史古戰場圖


延喜以前內裏圖
朝堂院
豐樂院
大藏
內裏
右馬寮
左馬寮
朱雀大路
北
兵部
式部
刑部
太政官
宮內
神祇
大炊
大膳
左近衛
右近衛



将門横領坂東八州概圖

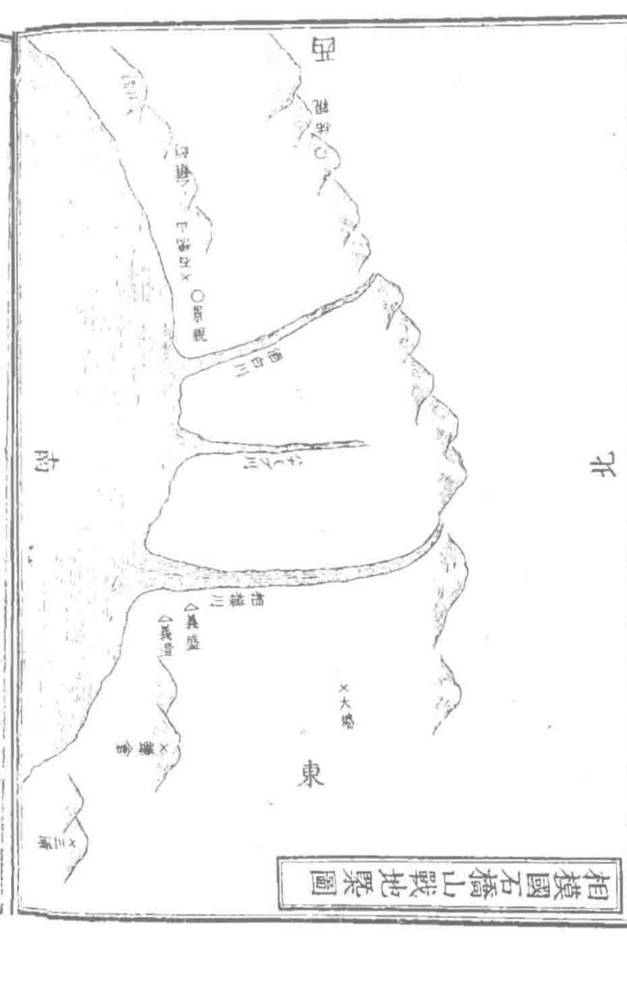

北陸道源平戰地聚圖

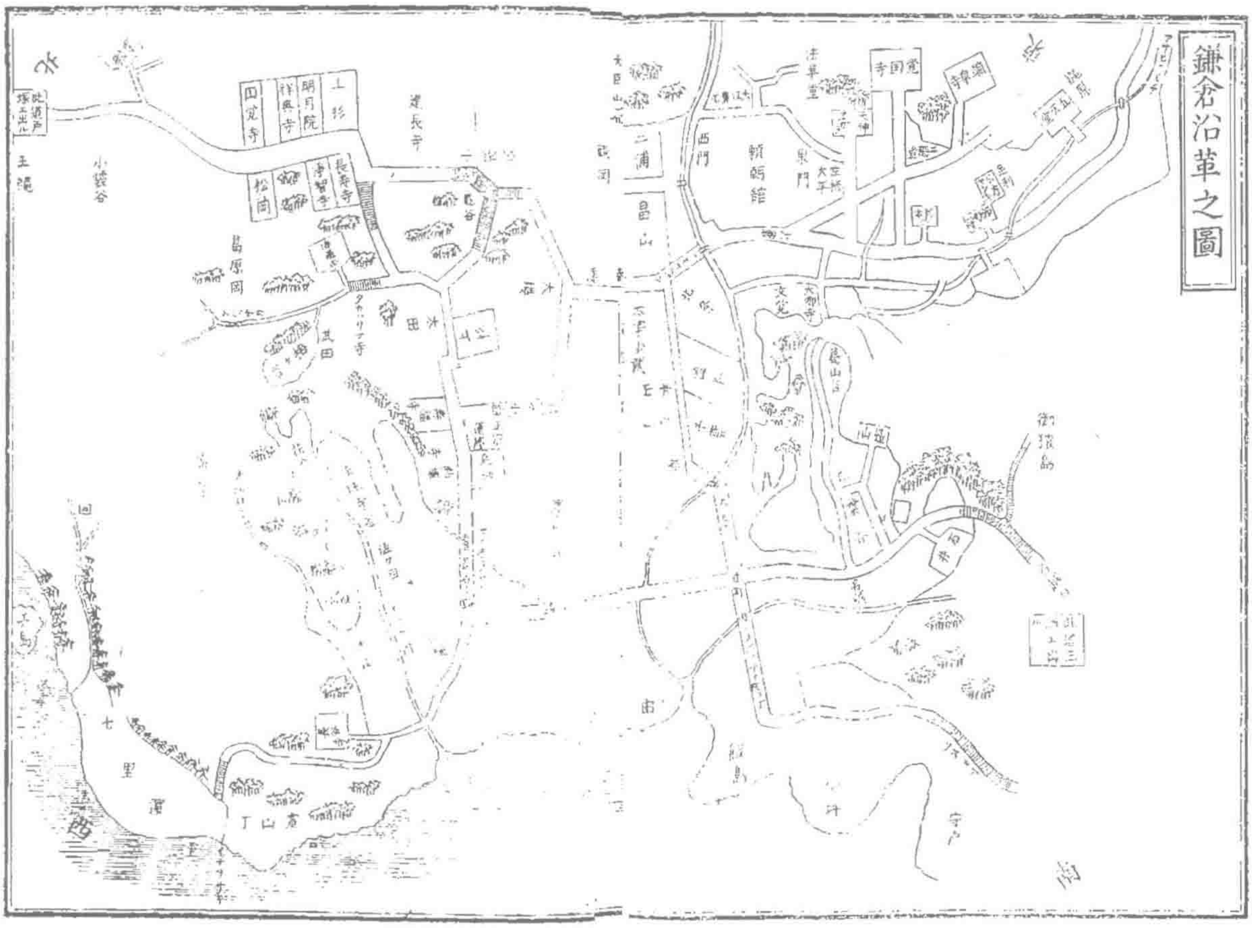


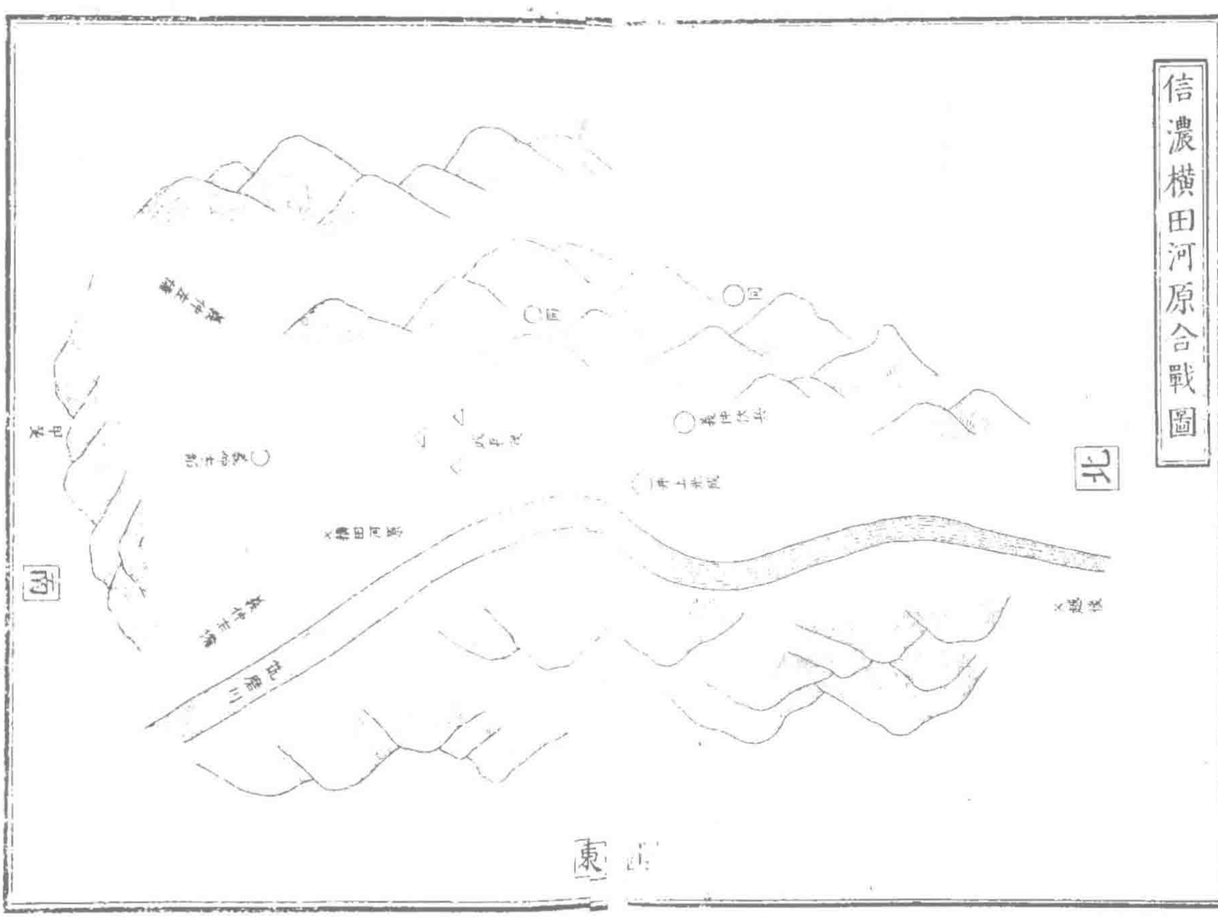
越中國栗柯嶺源平合戰圖

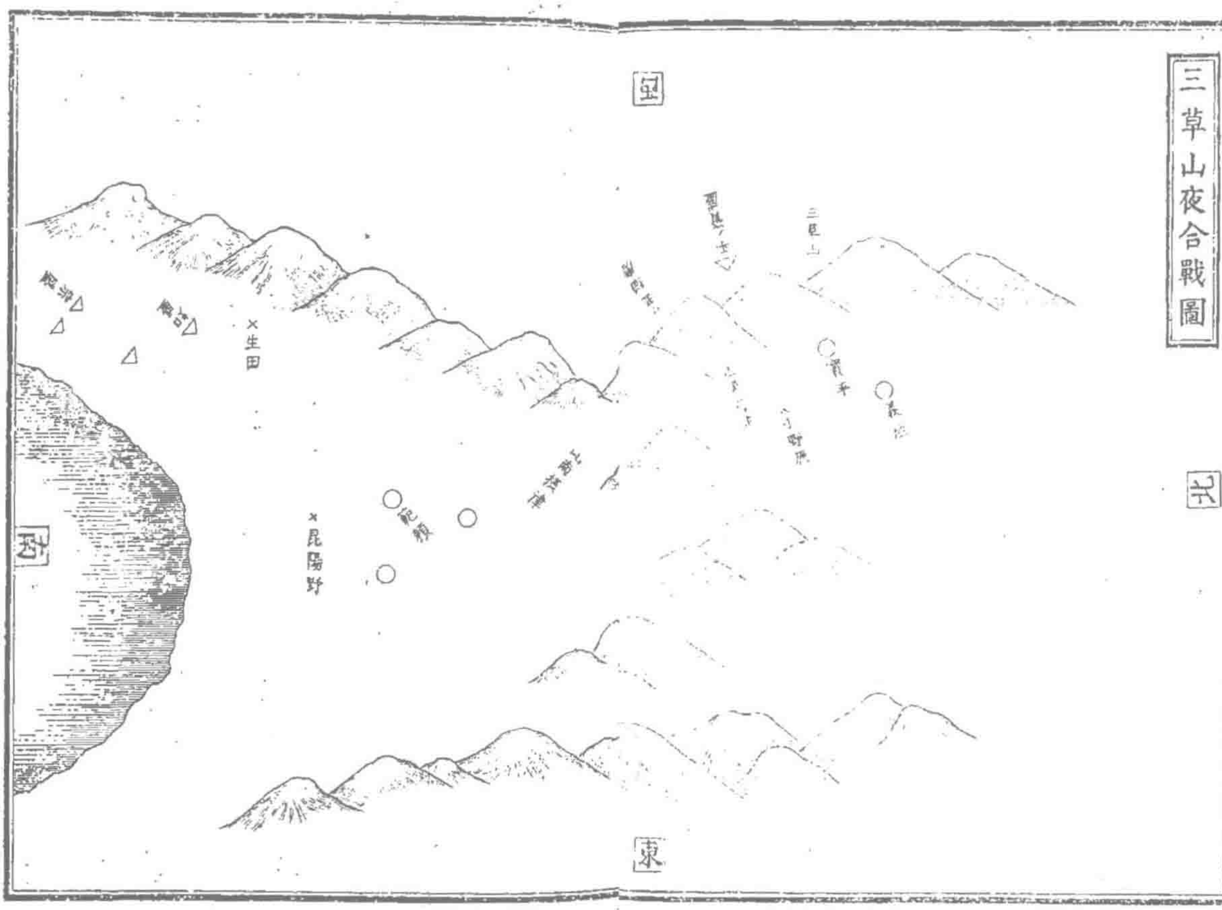

源平戰地一ノ谷圖
一ノ谷ヨリ二十三町方生田ヲ以テ大手トシ
一ノ谷ヲ以テ搦手トス
東西ノ間三里ニ亘リ
南北ハ一里ニ足ラズ
備後
備中
備前
播磨
攝津
淡路
安藝
周防
長門

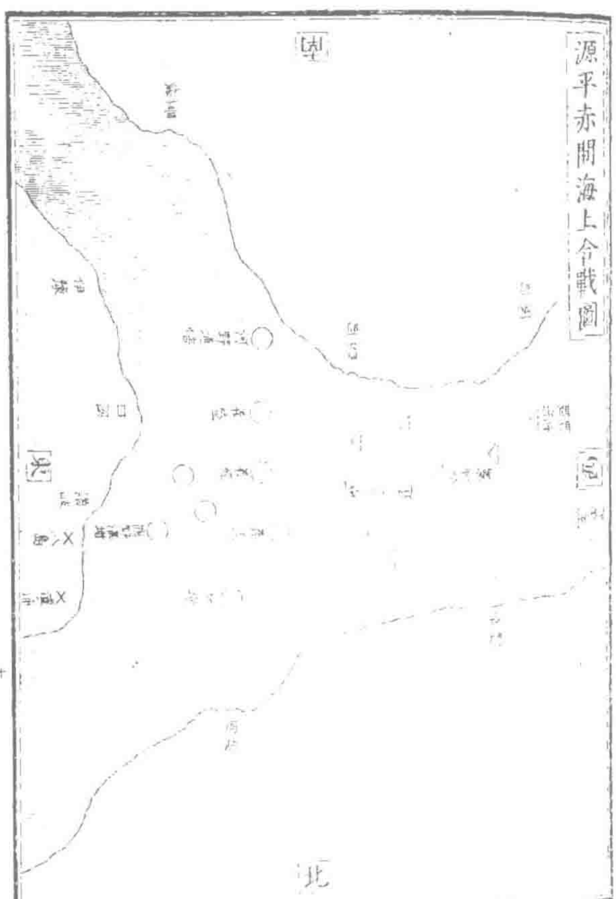

賴朝畧關左諸州圖

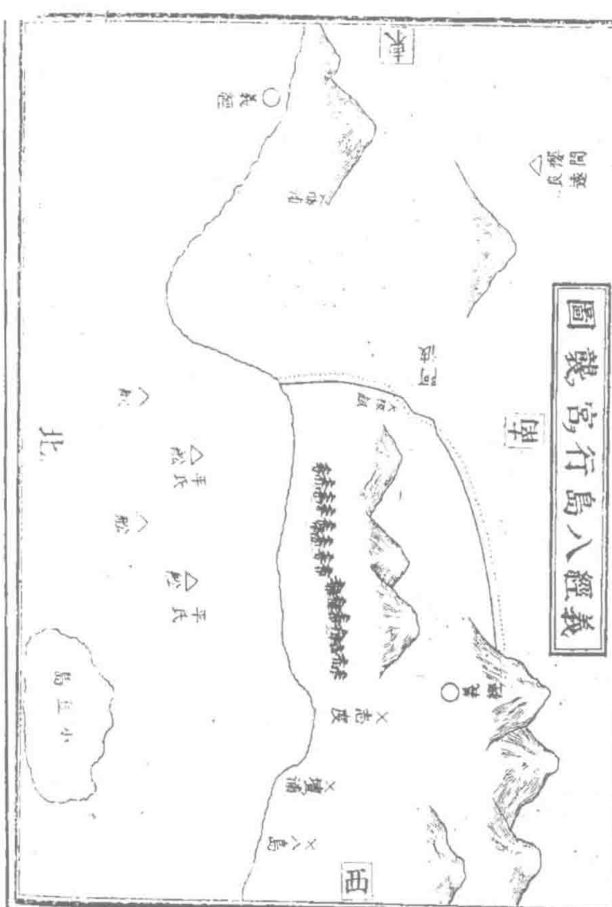

相模國石橋山戰地畧圖
北
南
東
西

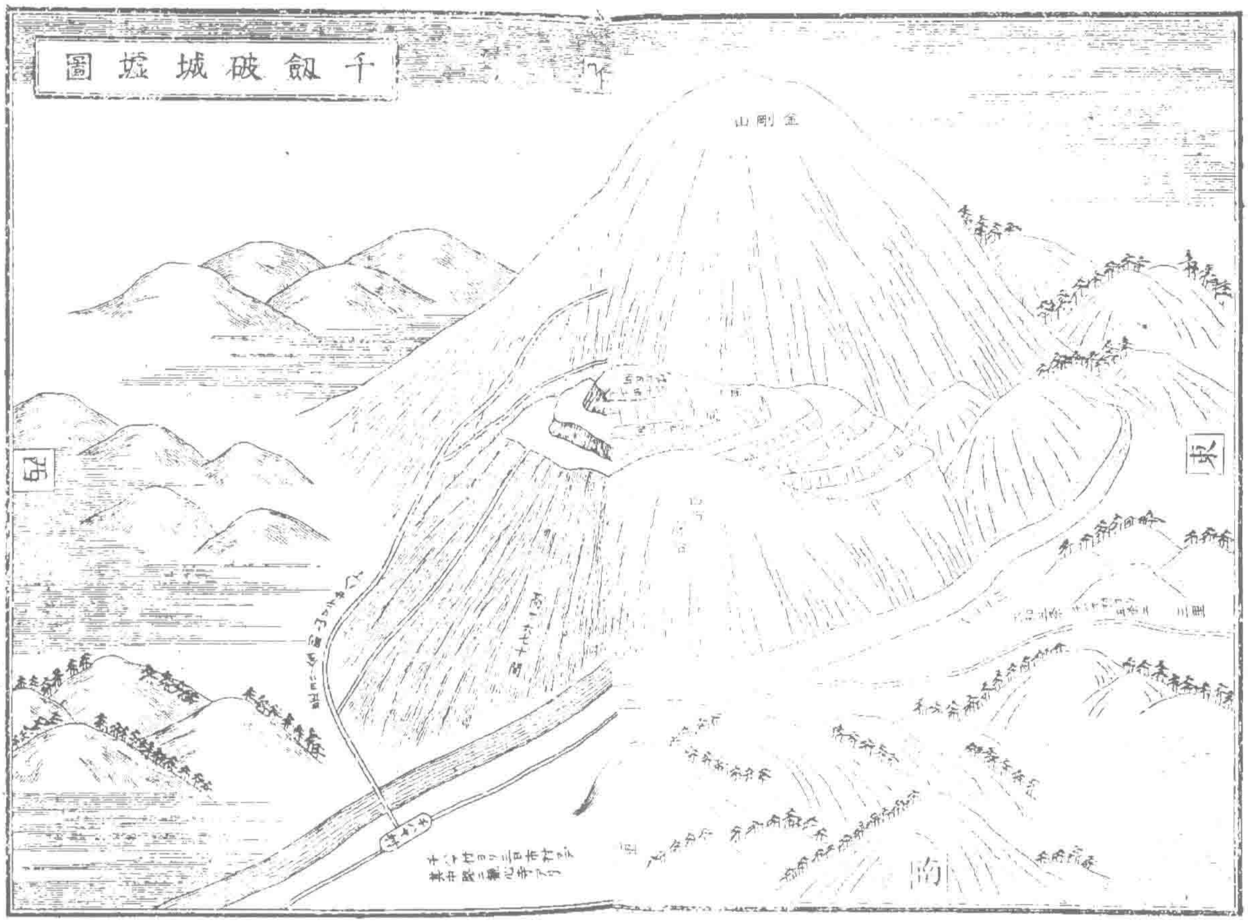

鎌倉沿革之圖

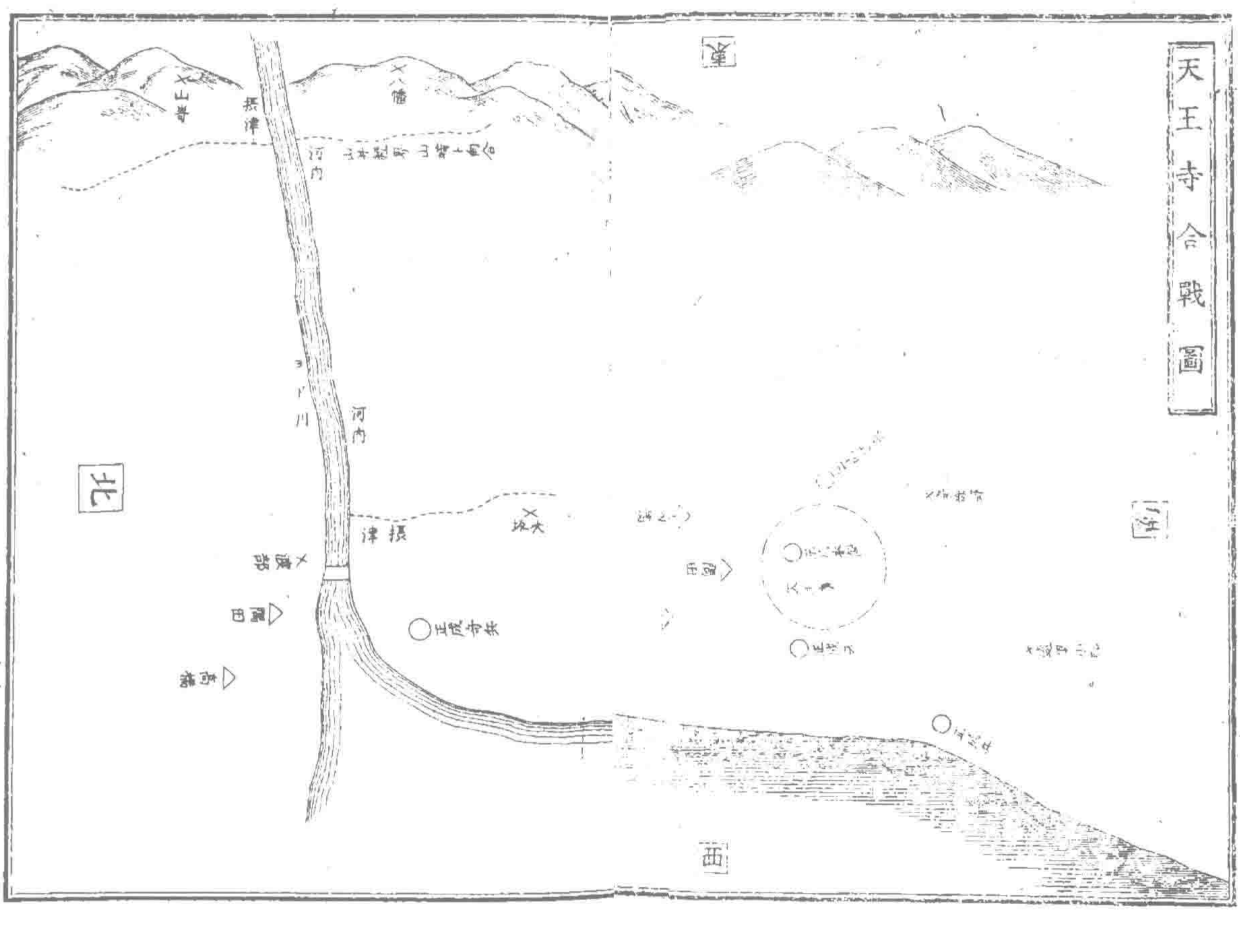

信濃横田河原合戰圖

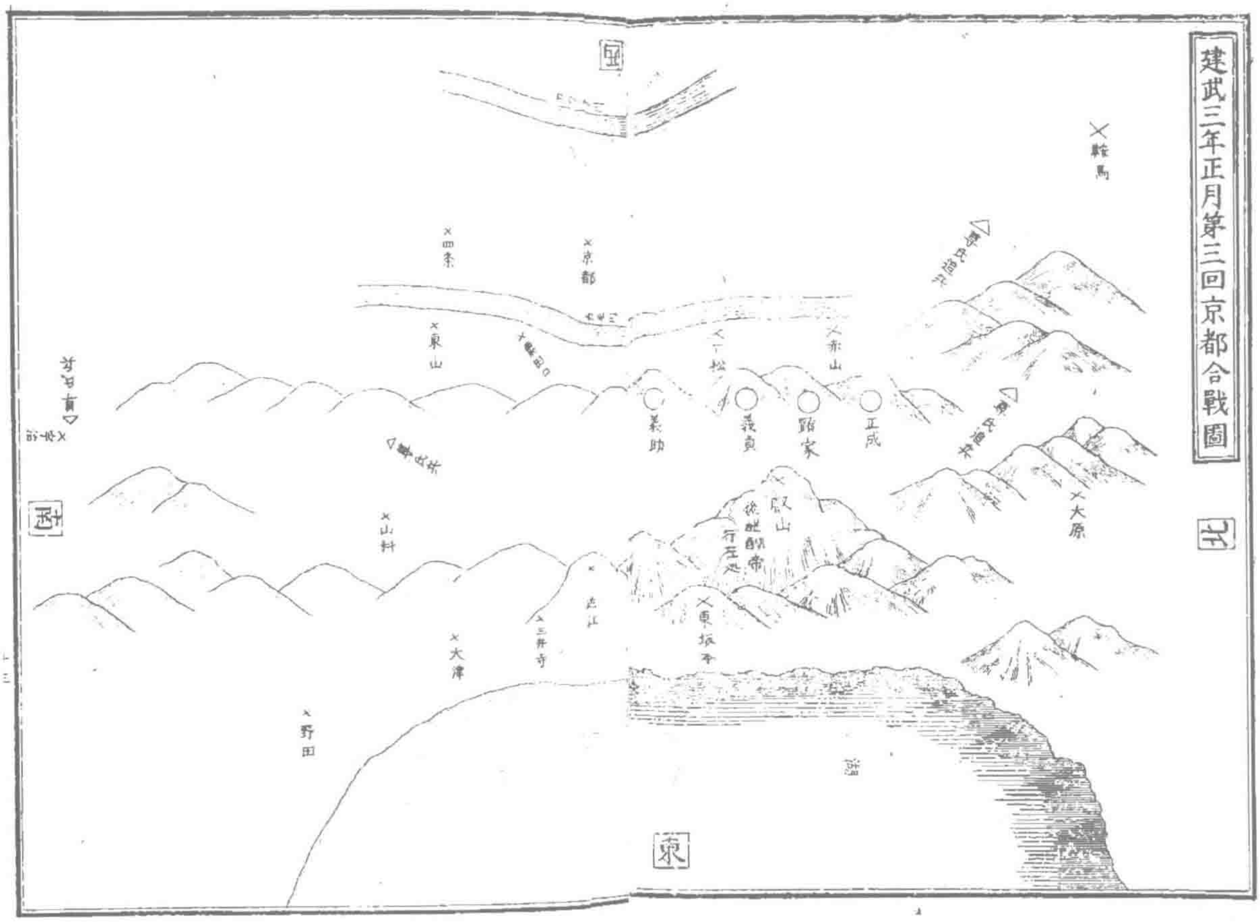

三草山夜合戰圖
西
北
南
東
生田
昆陽野


源平赤間海上合戰圖
北

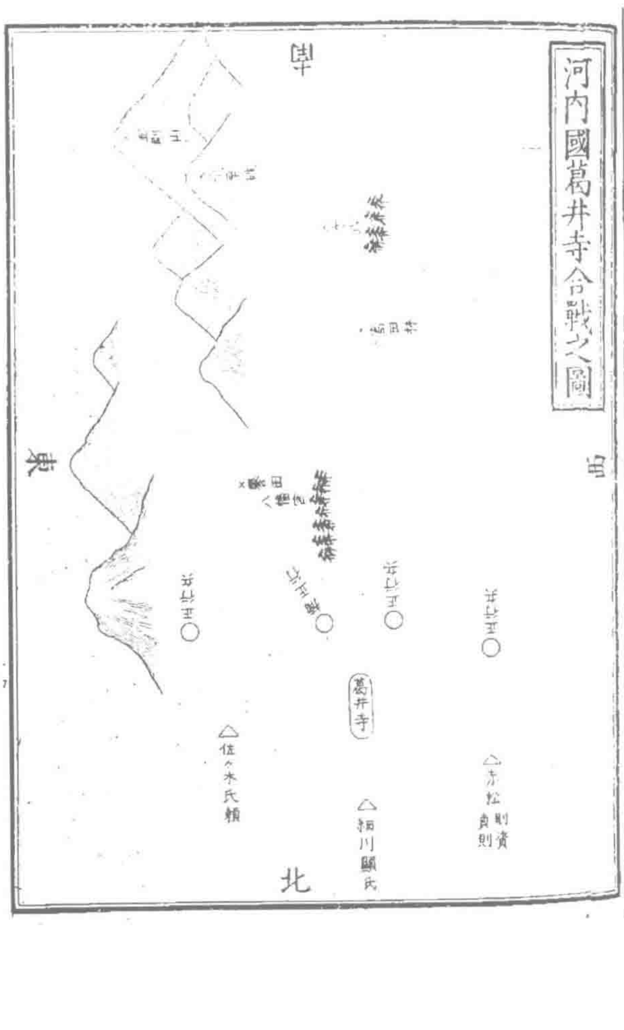

義經八島行宮襲圖
北
西


千劔破城墟圖
金剛山
西
東

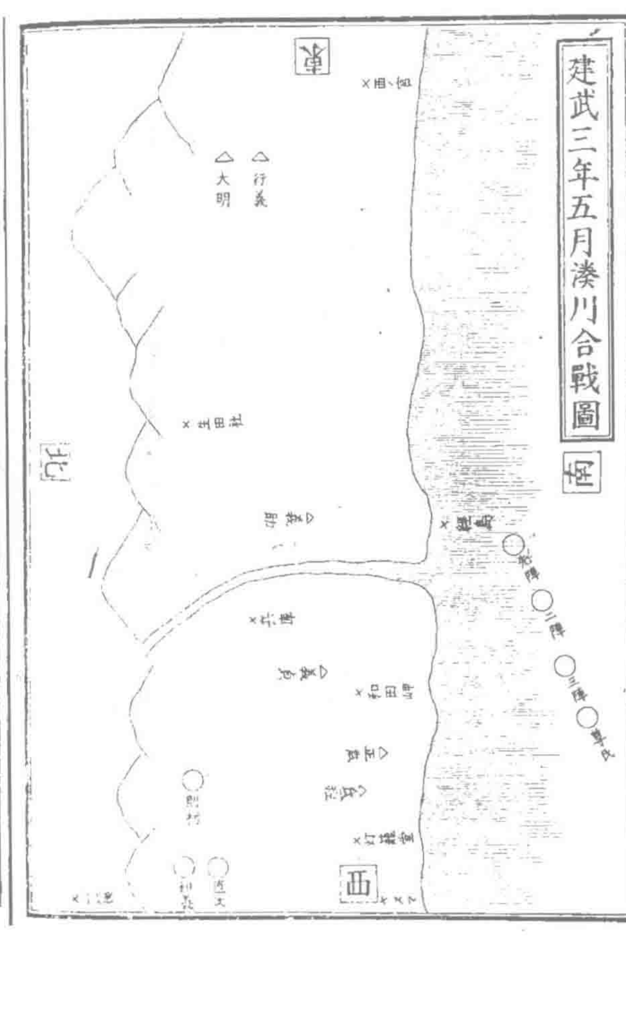

天王寺合戰圖
北
西
河内
攝津



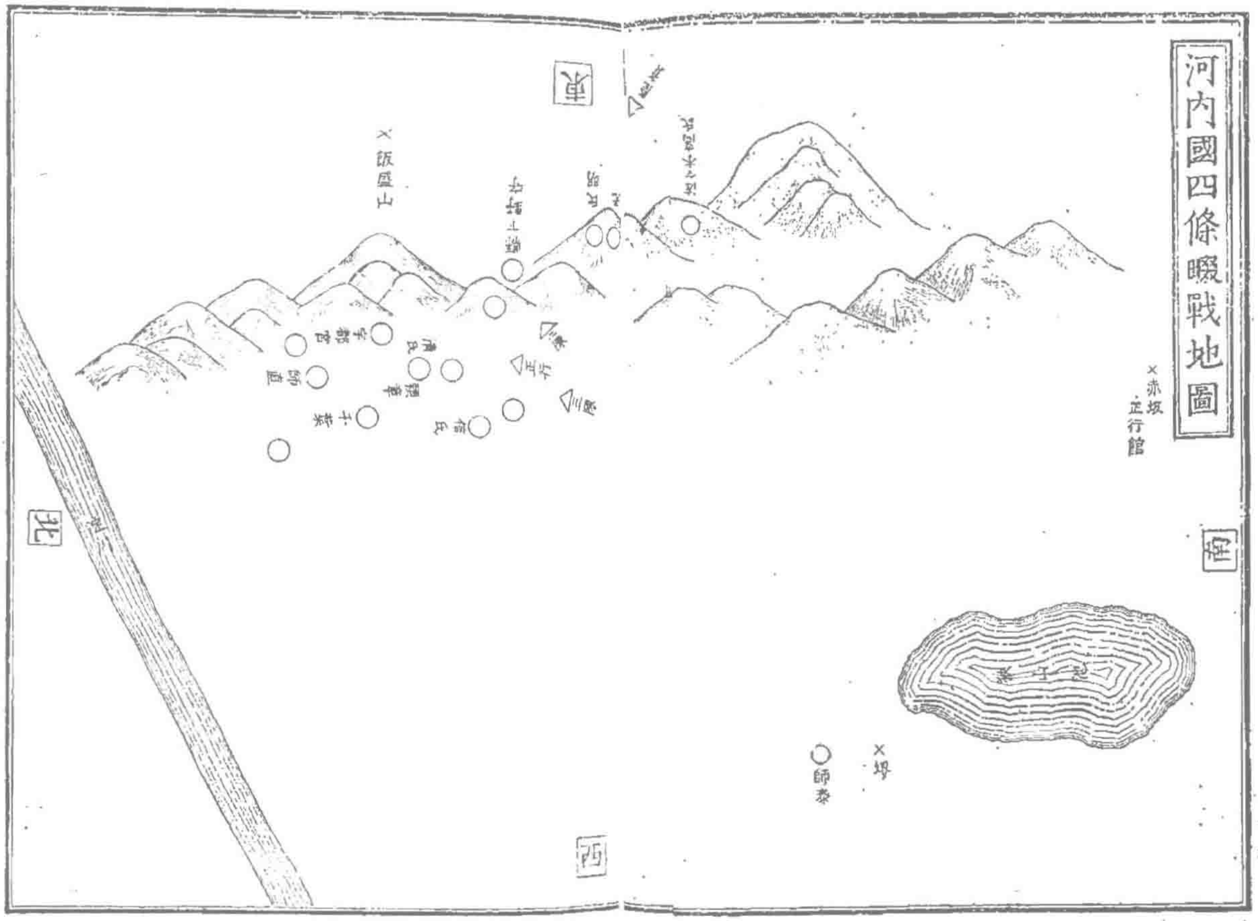
建武三年正月第三回京都合戰圖

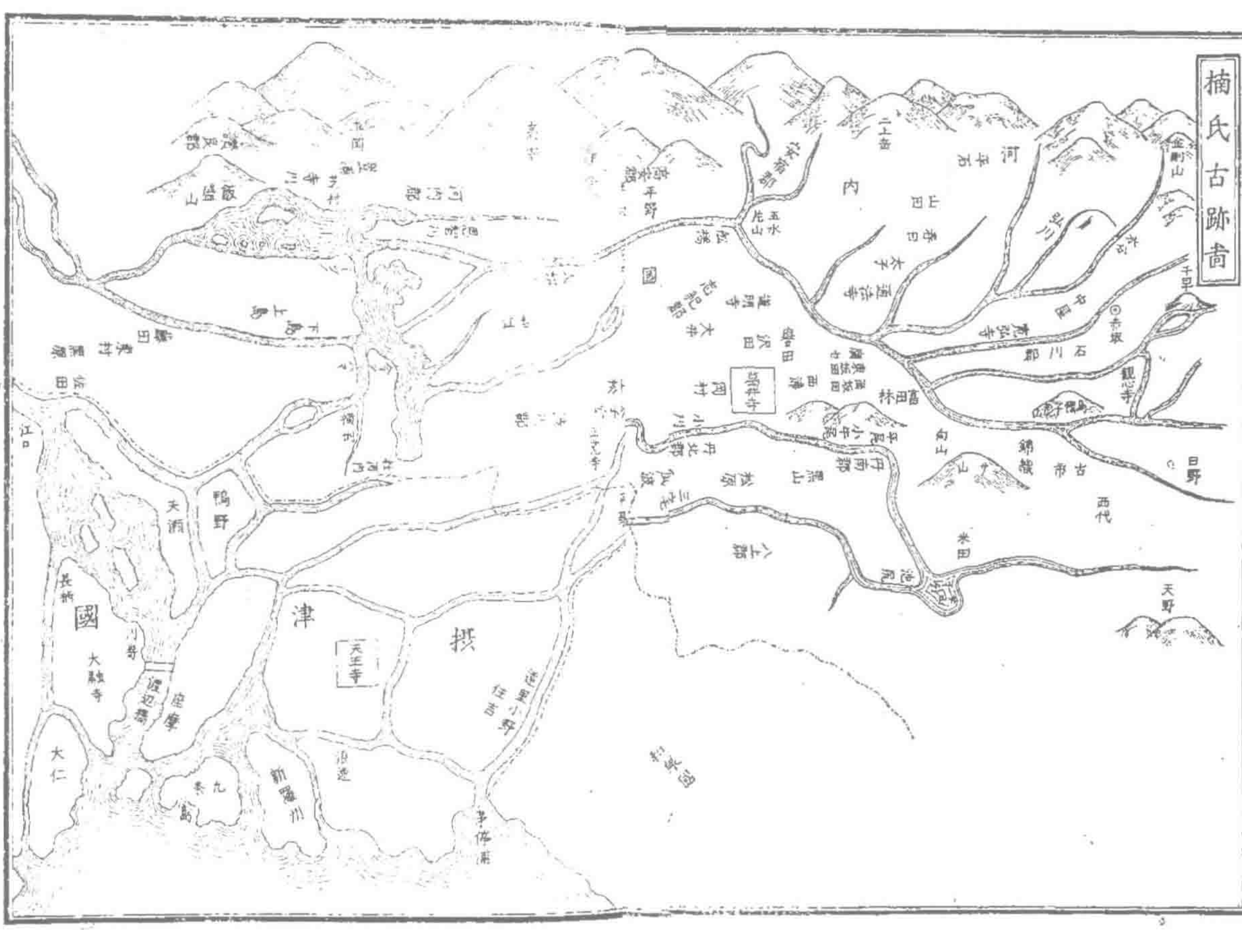


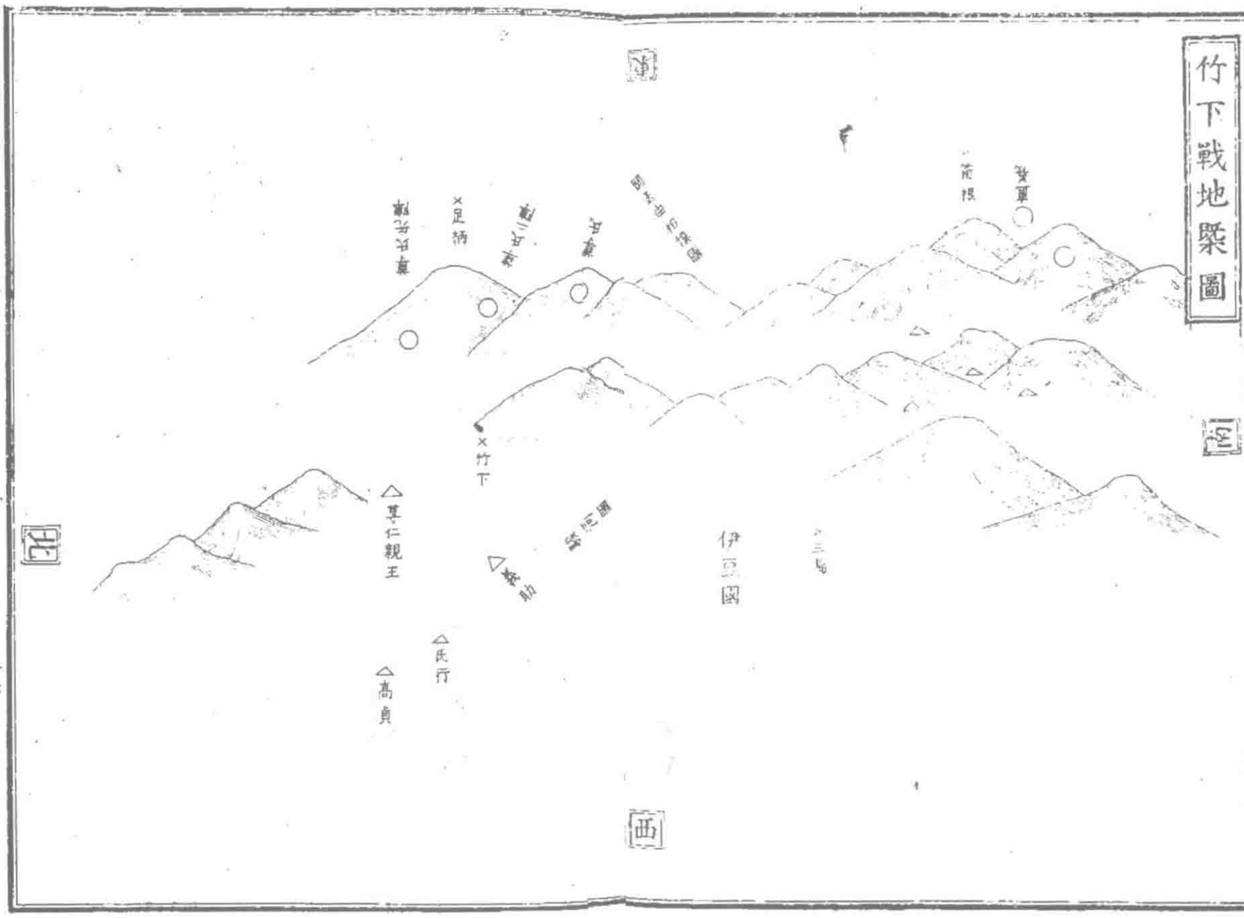
河內國葛井寺合戰之圖



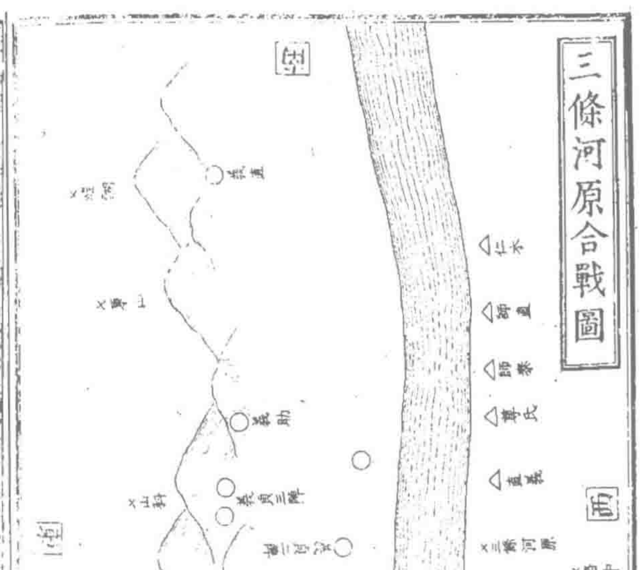
建武三年五月湊川合戰圖

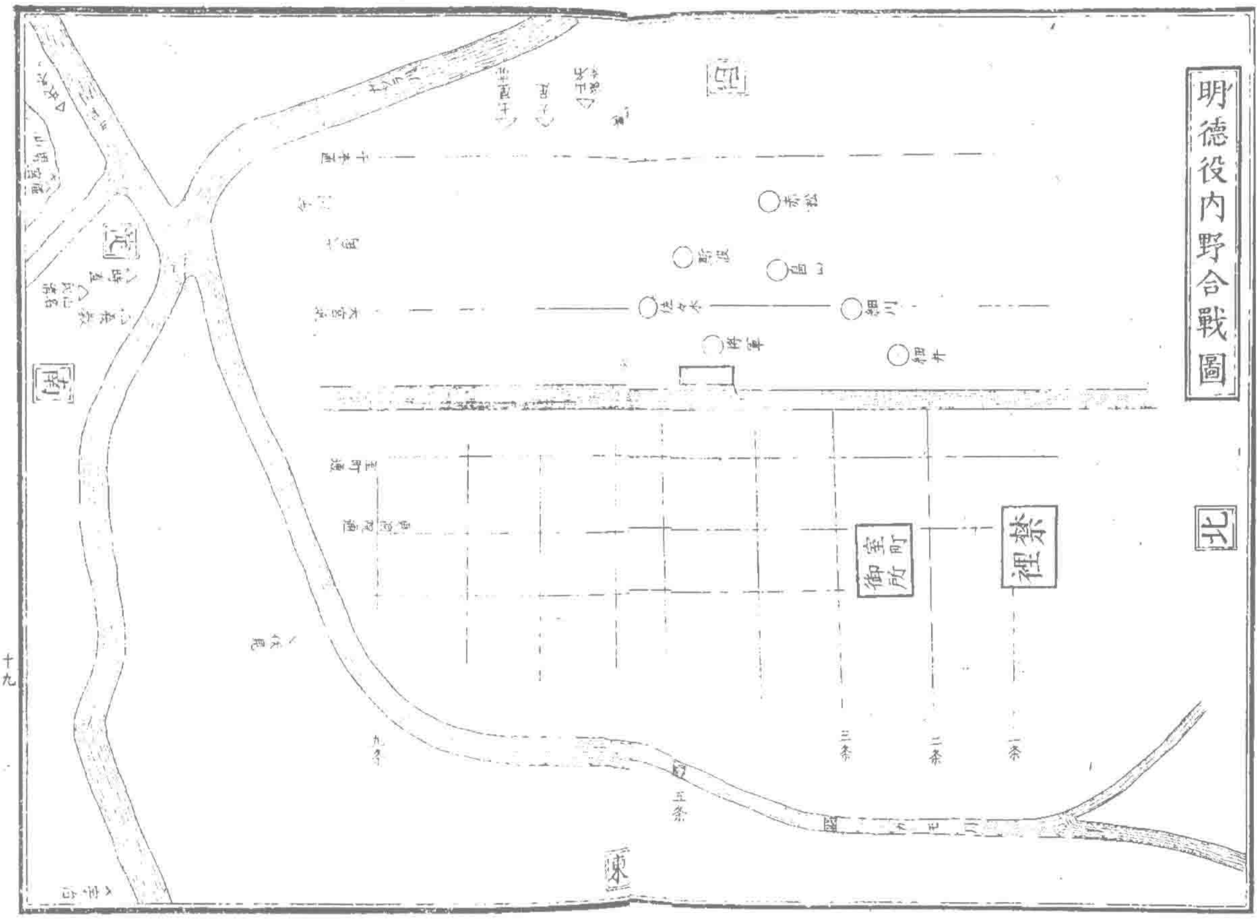

河内國四條畷戰地圖
東
北
西
南
飯盛山
赤坂


楠氏古跡圖
河内
國
攝
津
國
天王寺
鴫野
天滿
長柄
大融寺
大仁
金剛山
赤坂
觀心寺
日野
天野
飯盛山

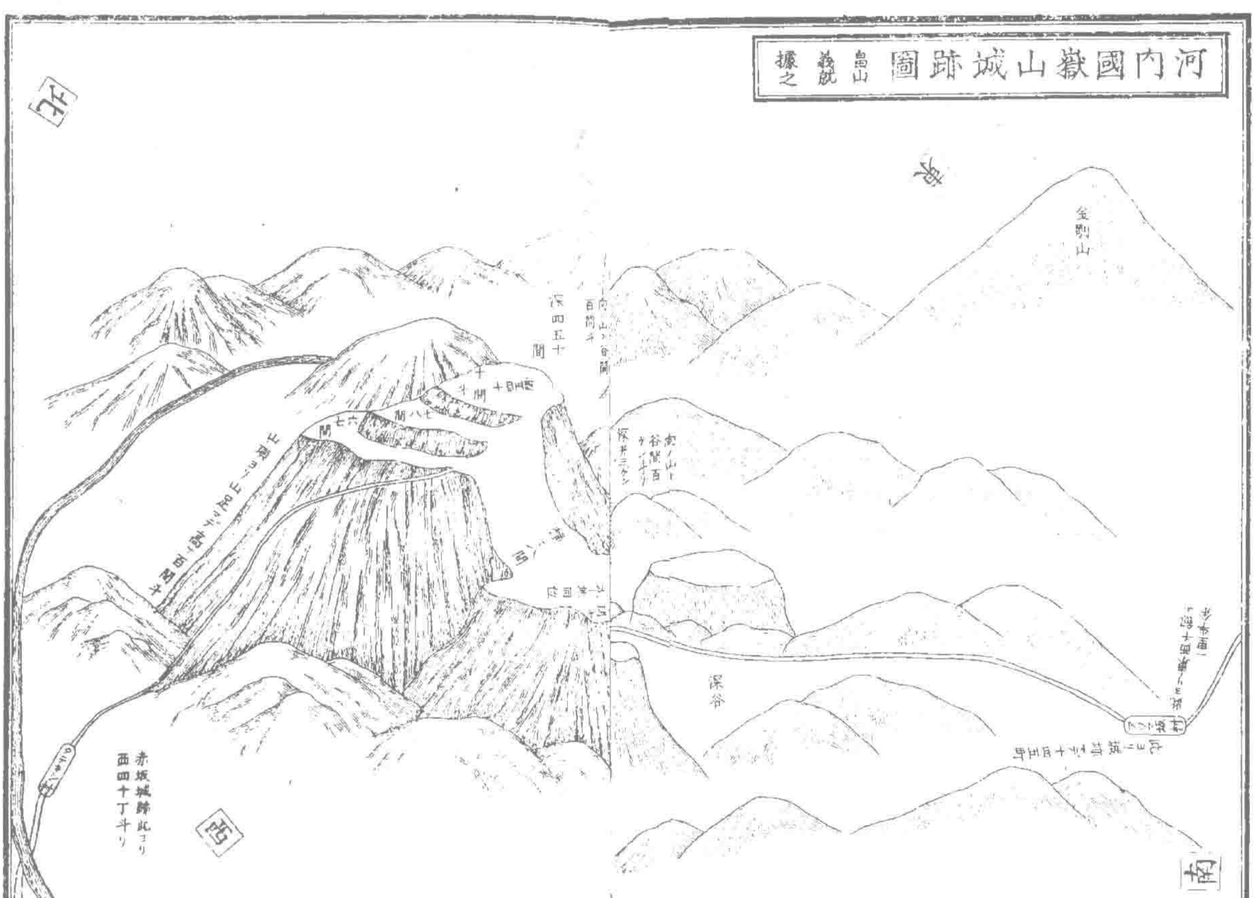

竹下戰地槩圖
東
西
北
南
竹下
伊豆國
高貞

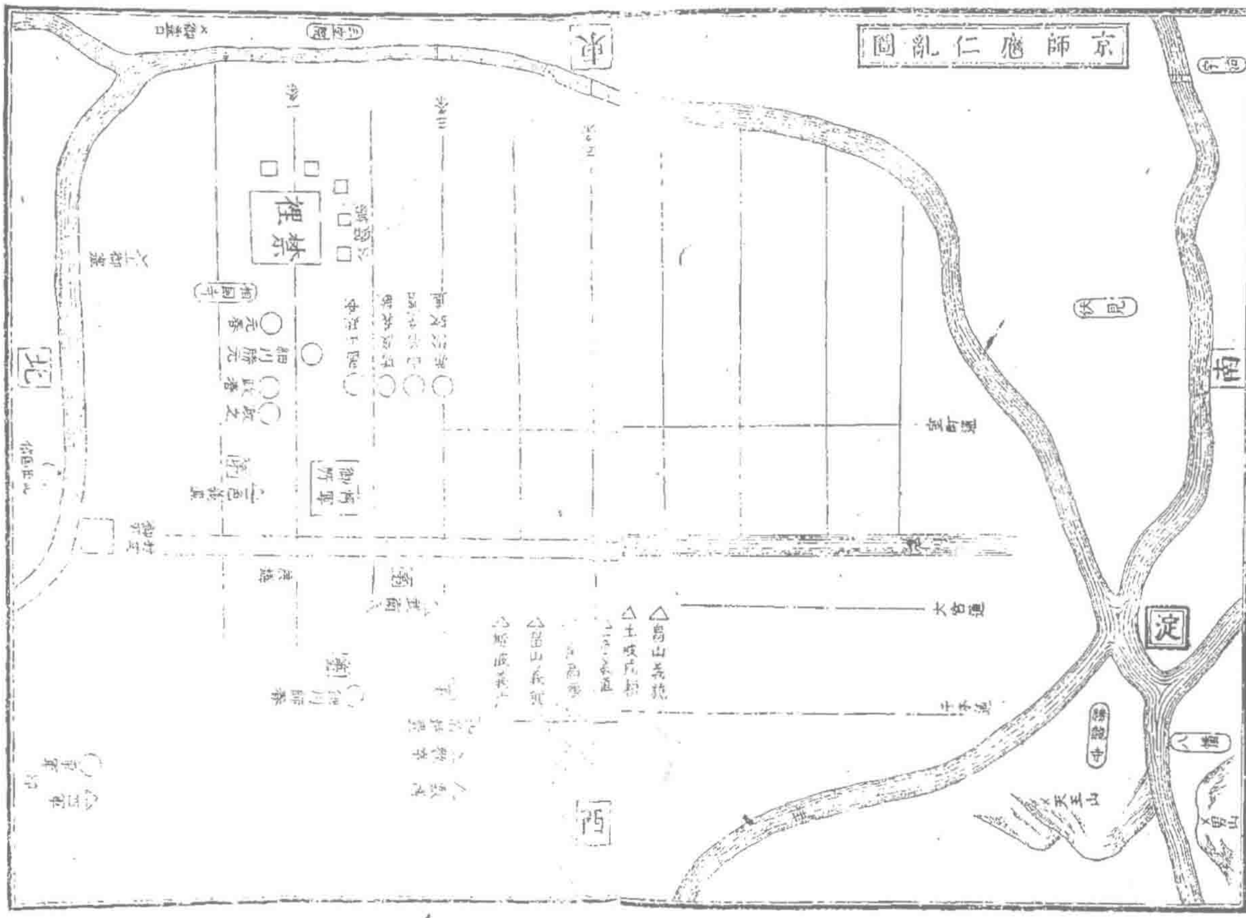

武藏國小手指原合戰圖
東
北
南
武藏野小手指原
義興
義治

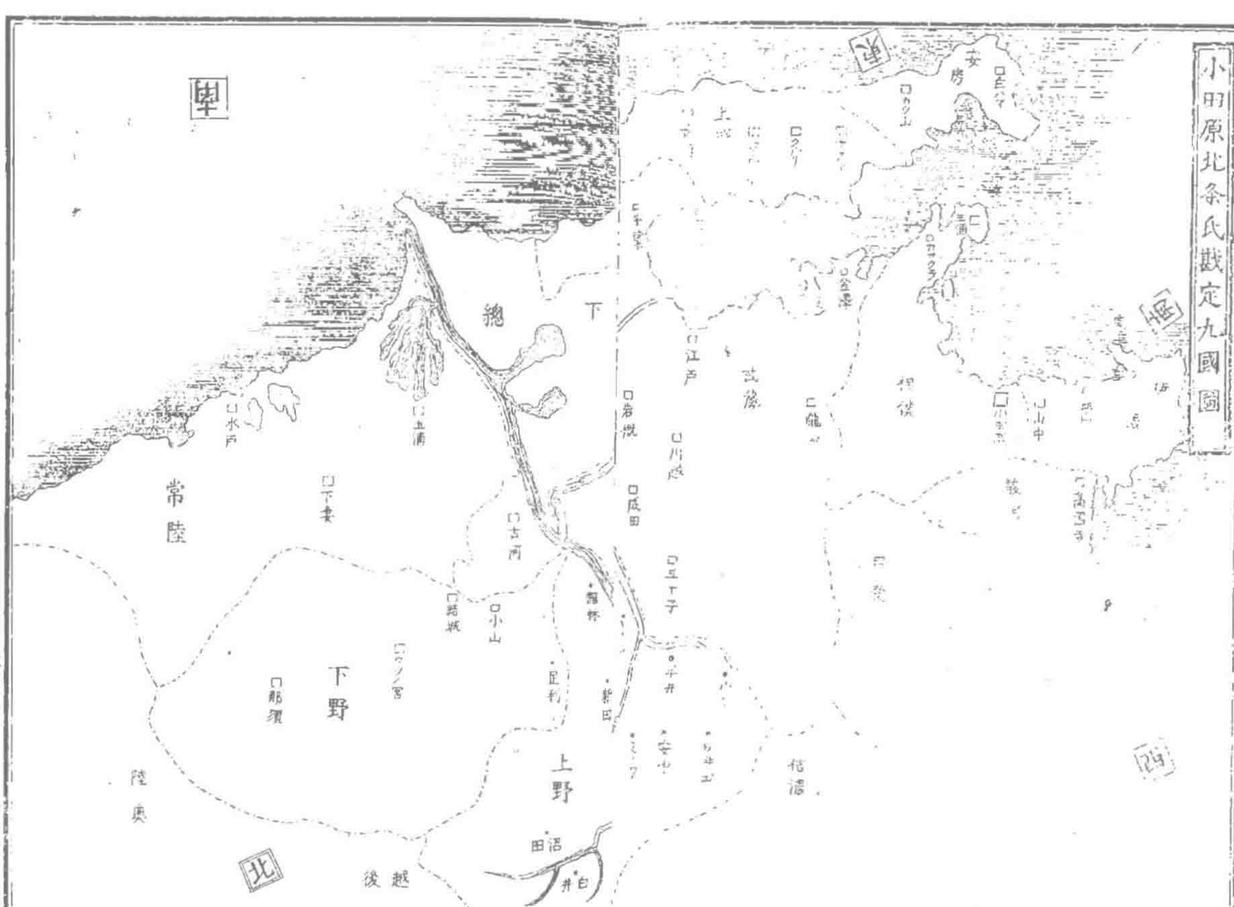

三條河原合戰圖
西
南
北
義貞
義助
尊氏
直義
三條河原
今川
細川
赤松

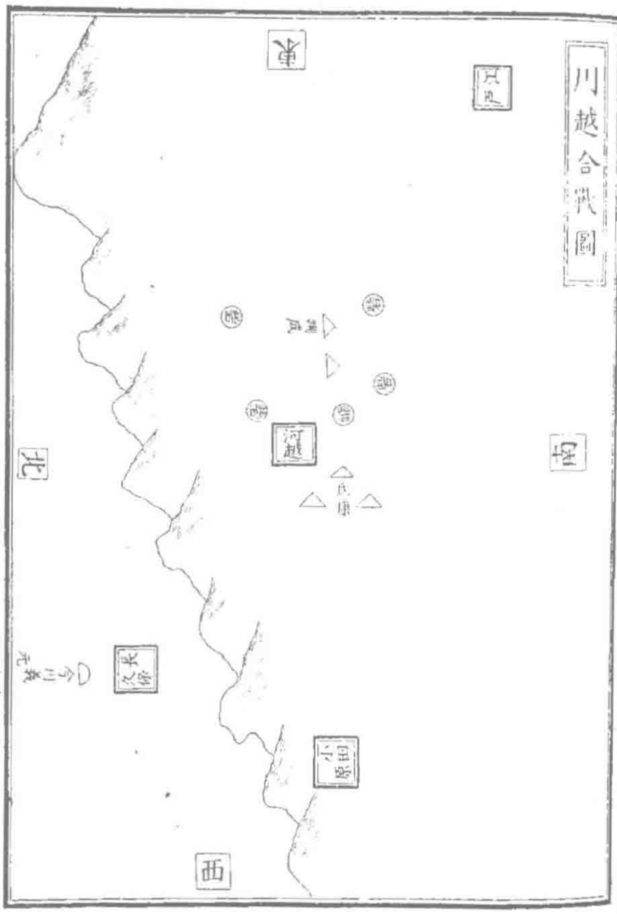

明德役内野合戰圖
北
東
禁裡
御所室町
五条

十九

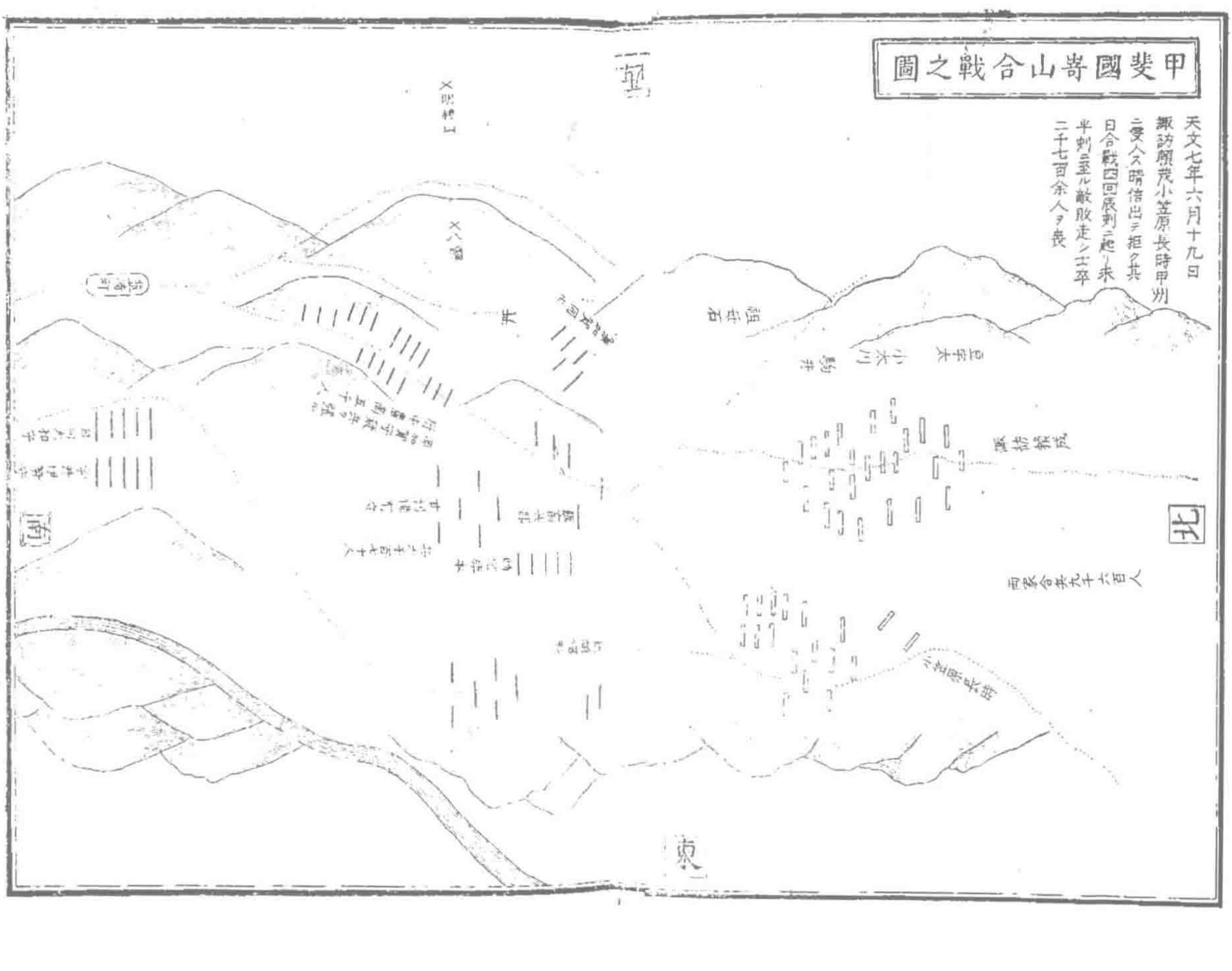

河内國嶽山城跡圖　島山義就據之
北
東
西
南
金剛山
深谷
赤坂城跡此ヨリ西四十丁斗リ

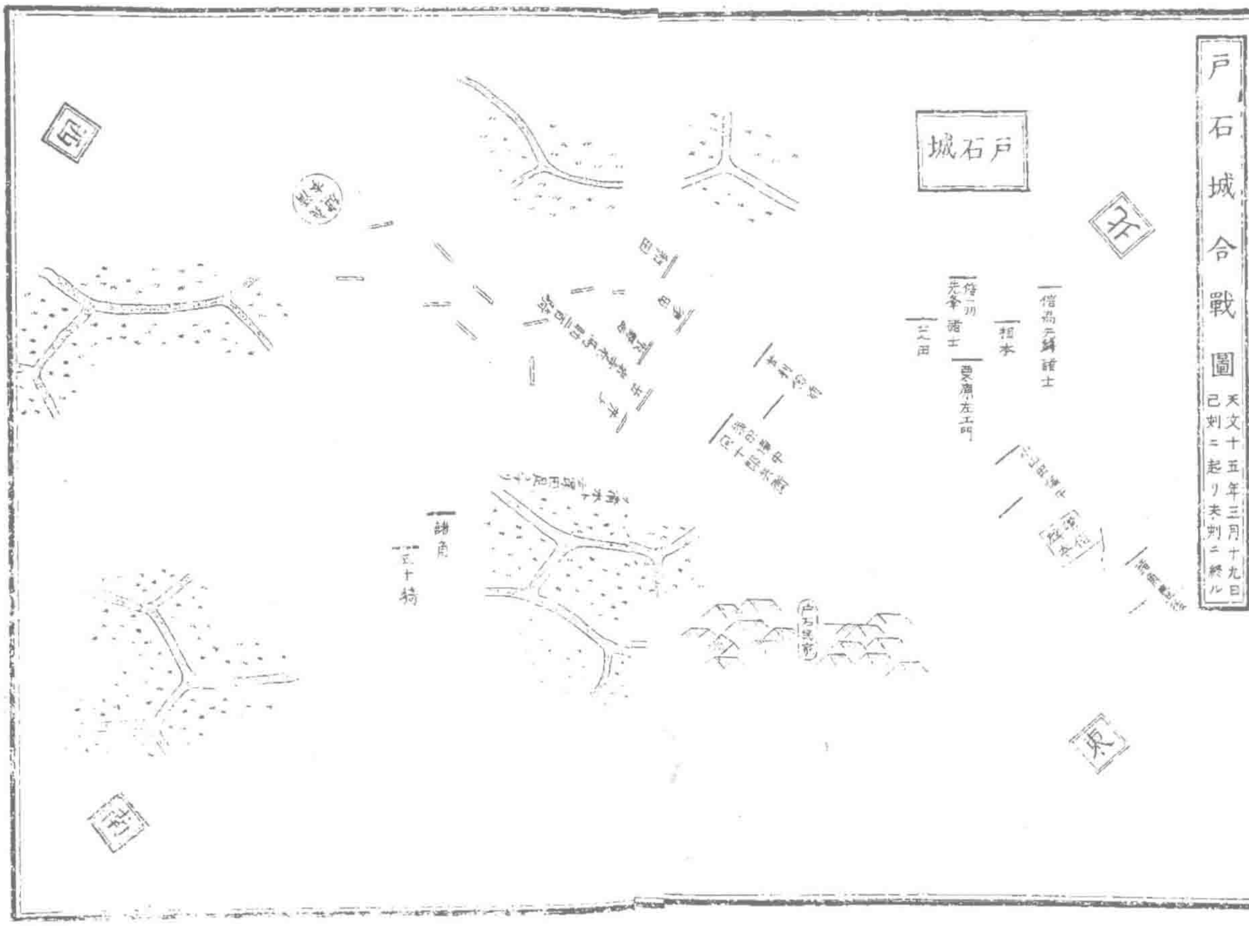

京師應仁亂圖
禁裡
淀
東
西
南
北

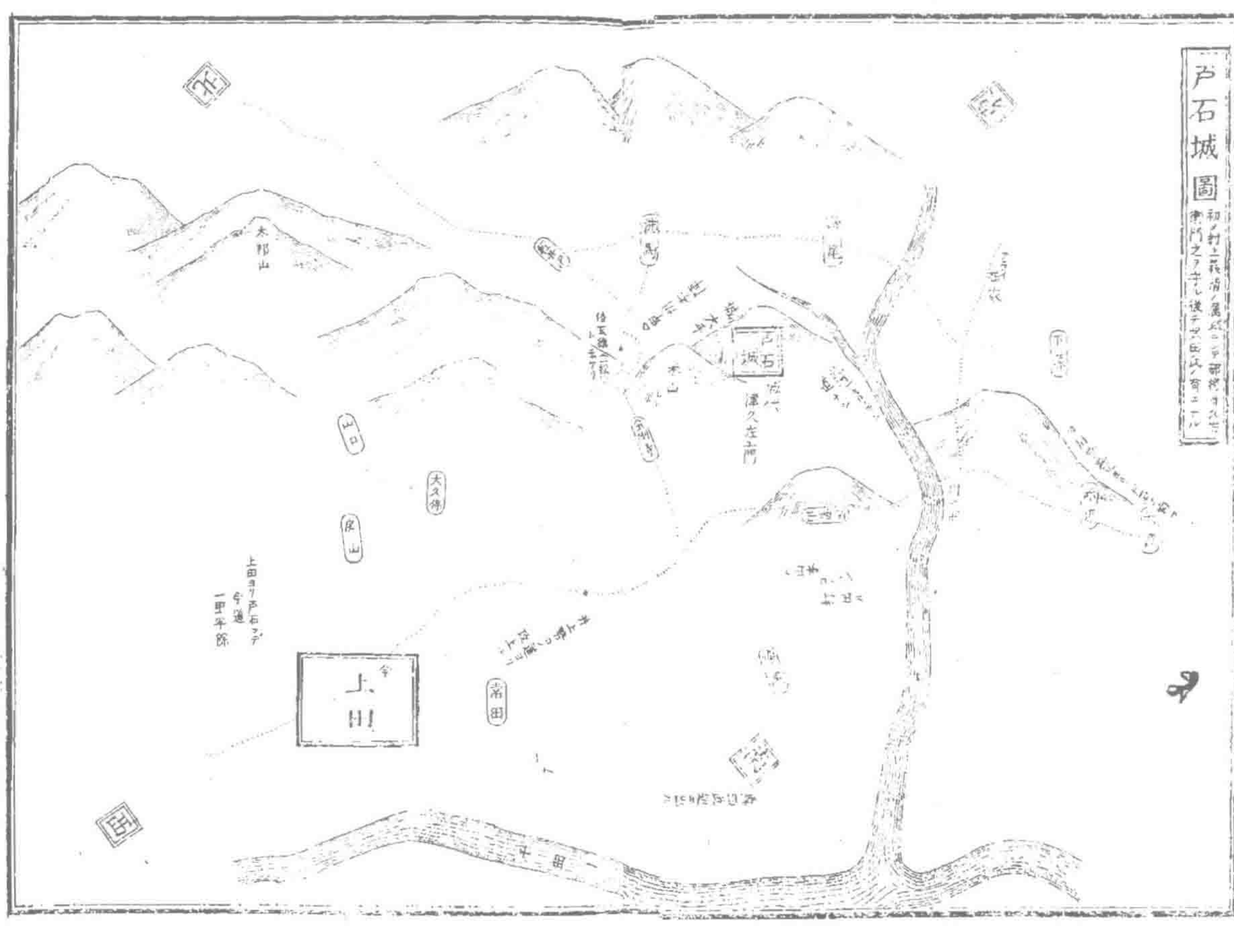

小田原北条氏戡定九國圖
常陸
下野
上野
武藏
相模
安房
總
下
越後
陸奥
信濃
江戸
東
西
南
北

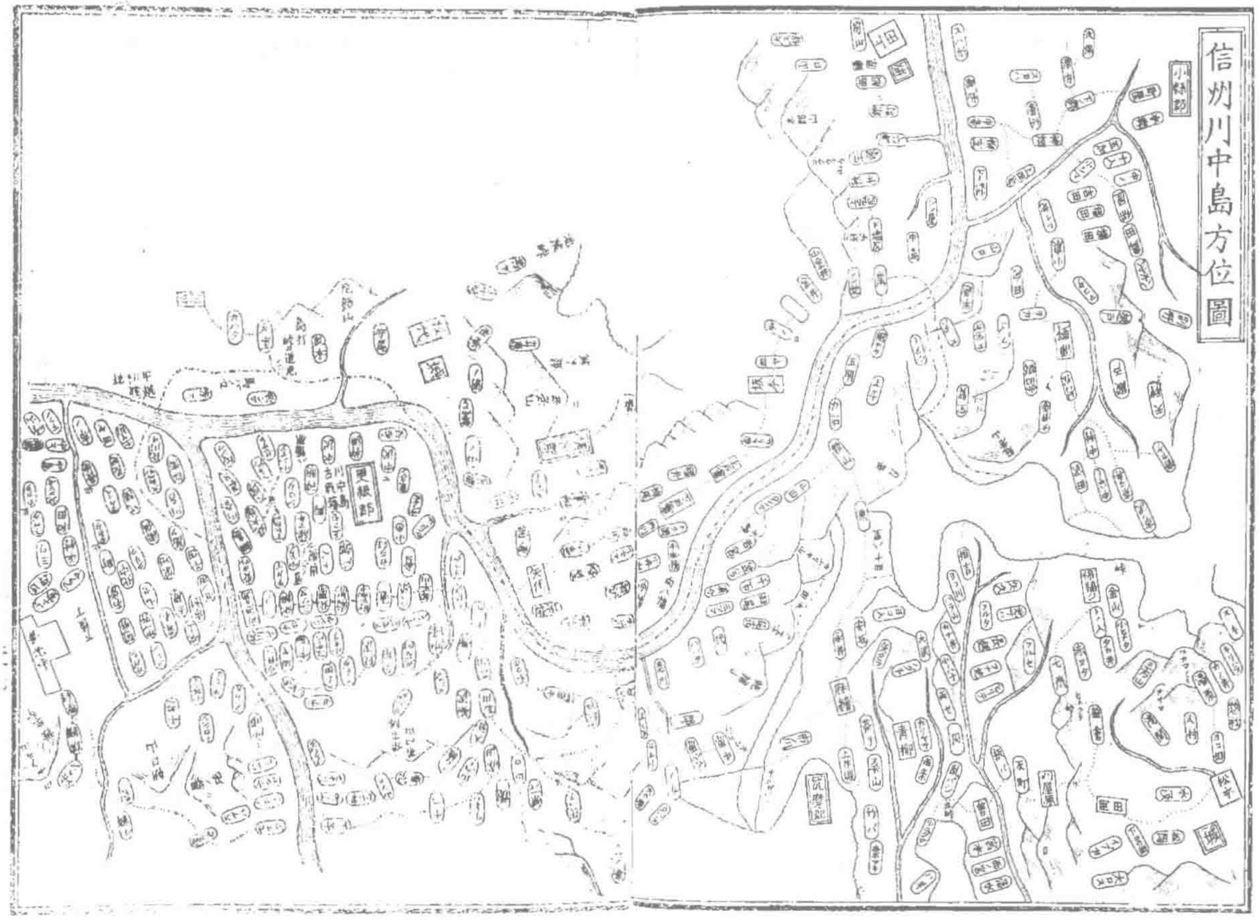

川越合戰圖
東
北
南
西

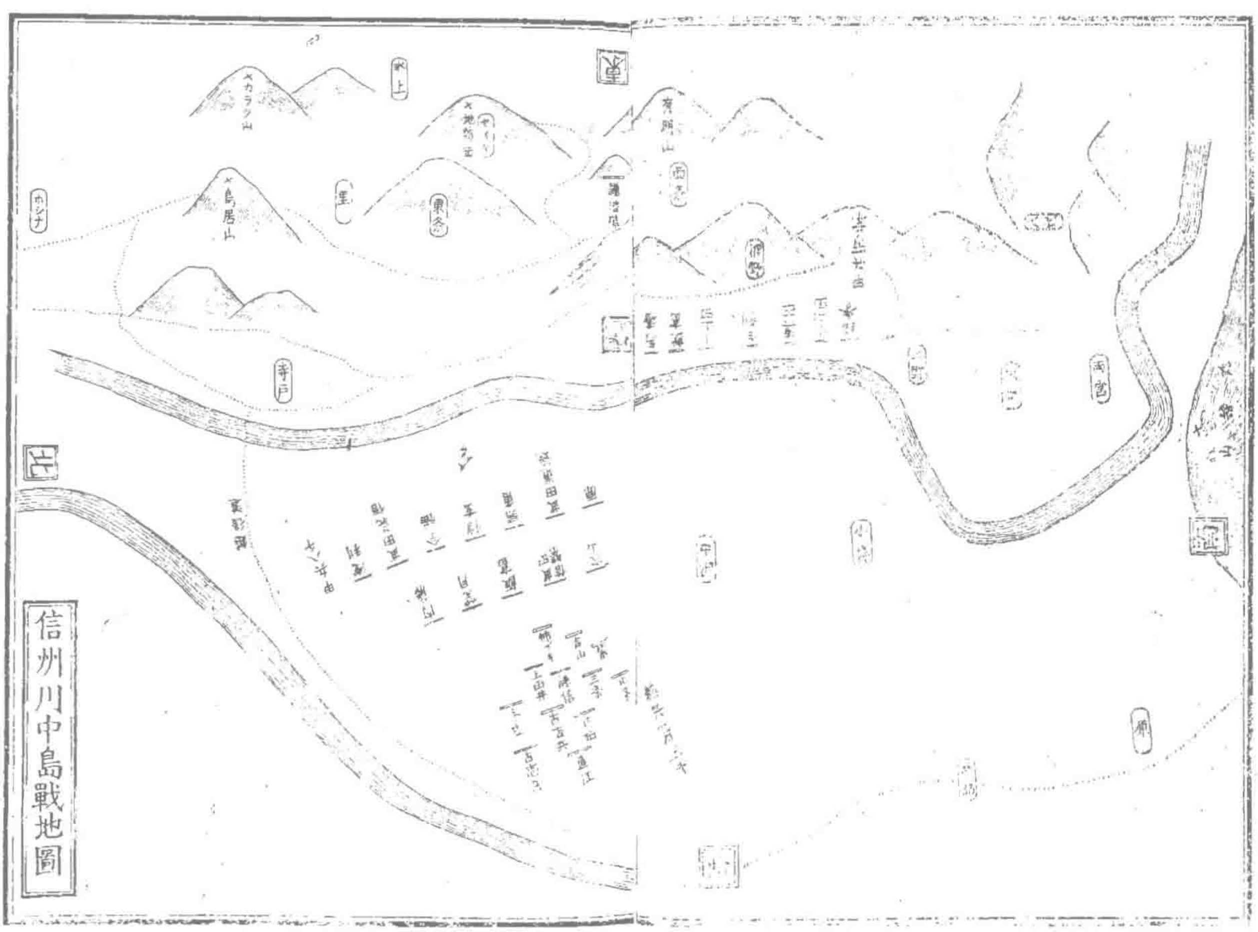

國府臺合戰圖
北
東
西
南
利根川末

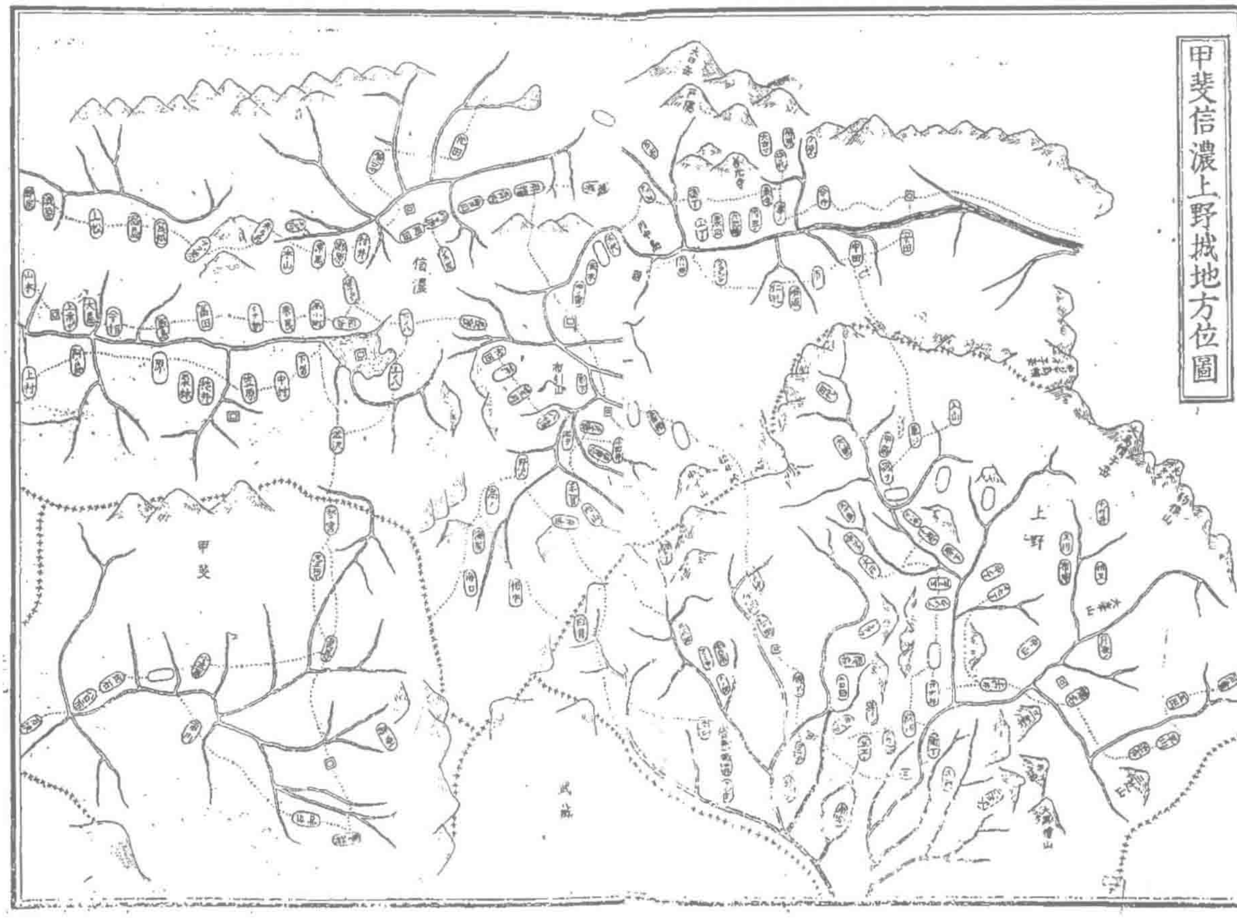

甲斐國嵜山合戰之圖
天文七年六月十九日
諏訪頼茂小笠原長時甲州
ニ侵入ス晴信出テ拒ク其
日合戦四回辰刻ニ起リ未
半刻ニ至ル敵敗走ス士卒
二千七百余人ヲ喪
北
南
東


戸石城合戰圖
天文十五年三月十九日
己刻ニ起リ未刻ニ終ル
戸石城

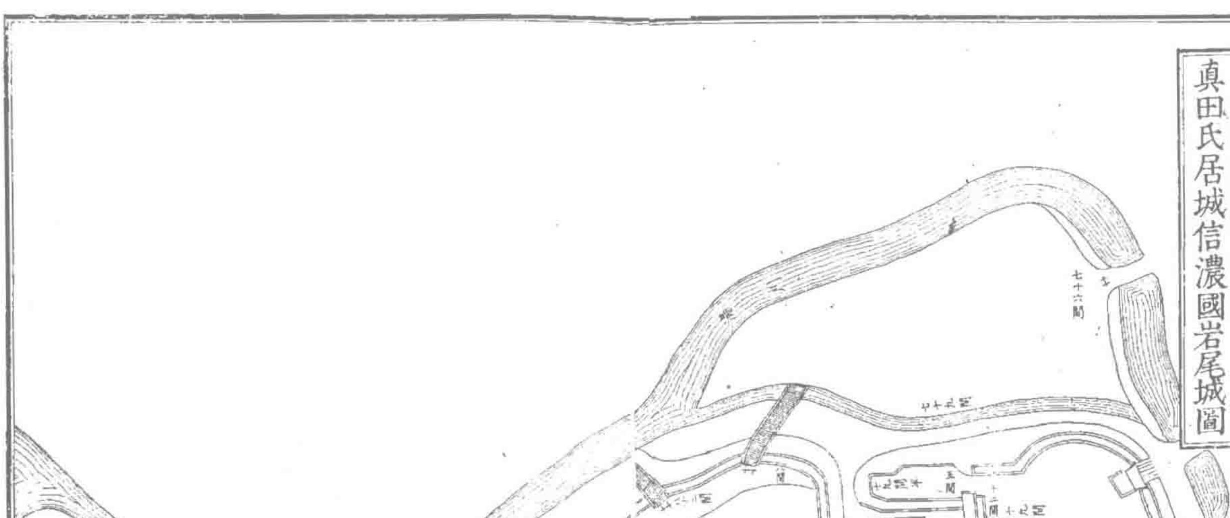

戸石城圖
上田


信州川中島方位圖

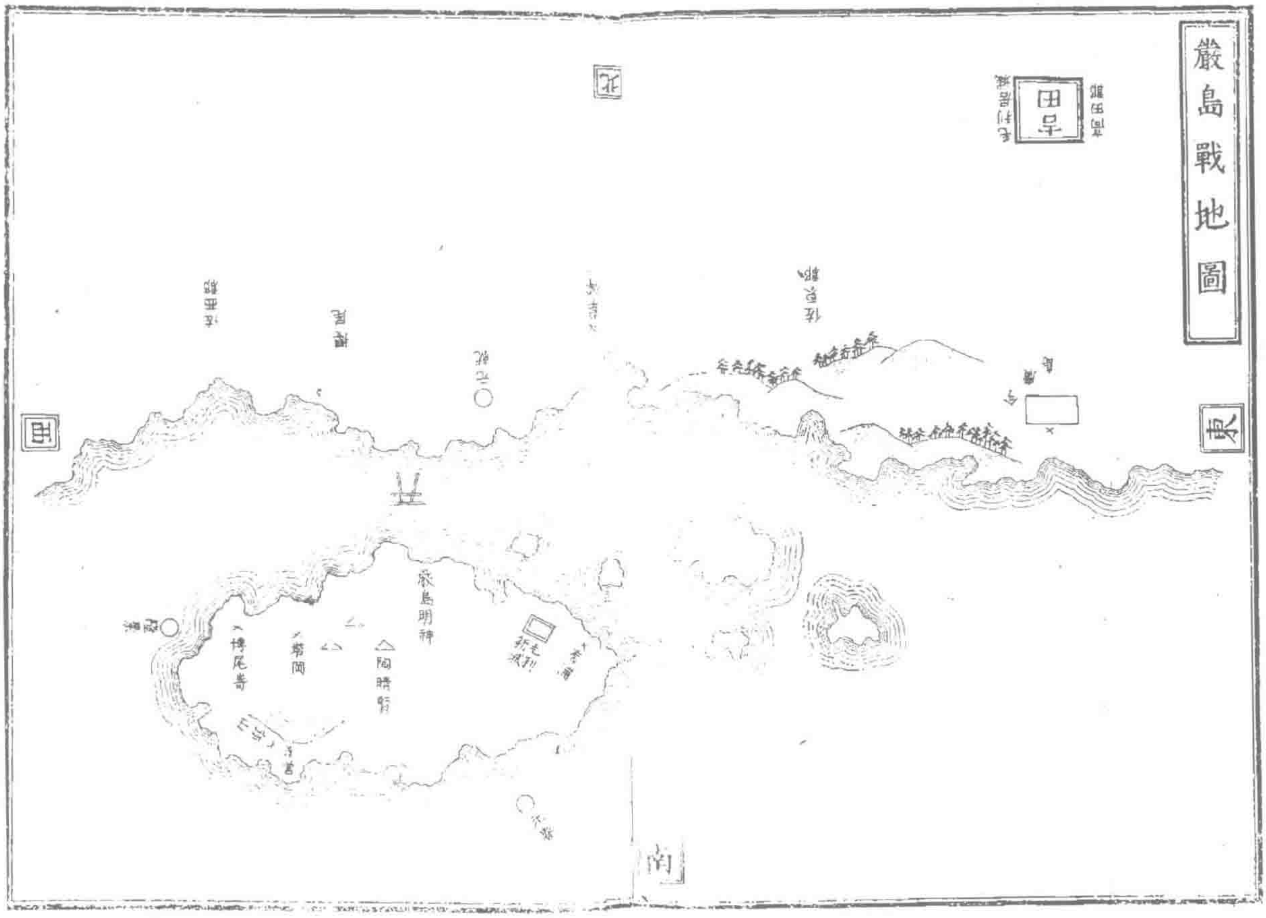

信州川中島戰地圖
妻女山
寺戸



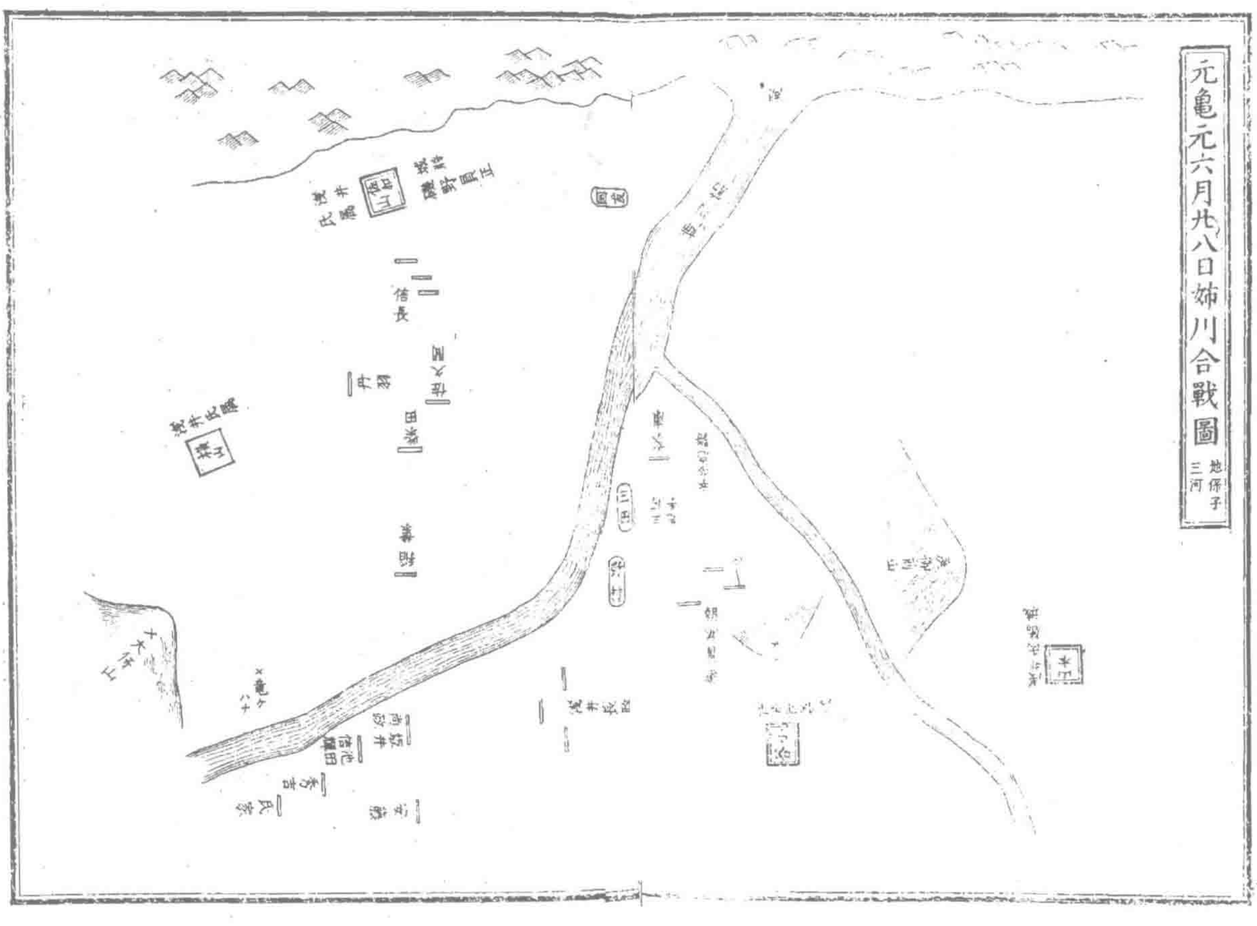
甲斐信濃上野城地方位圖



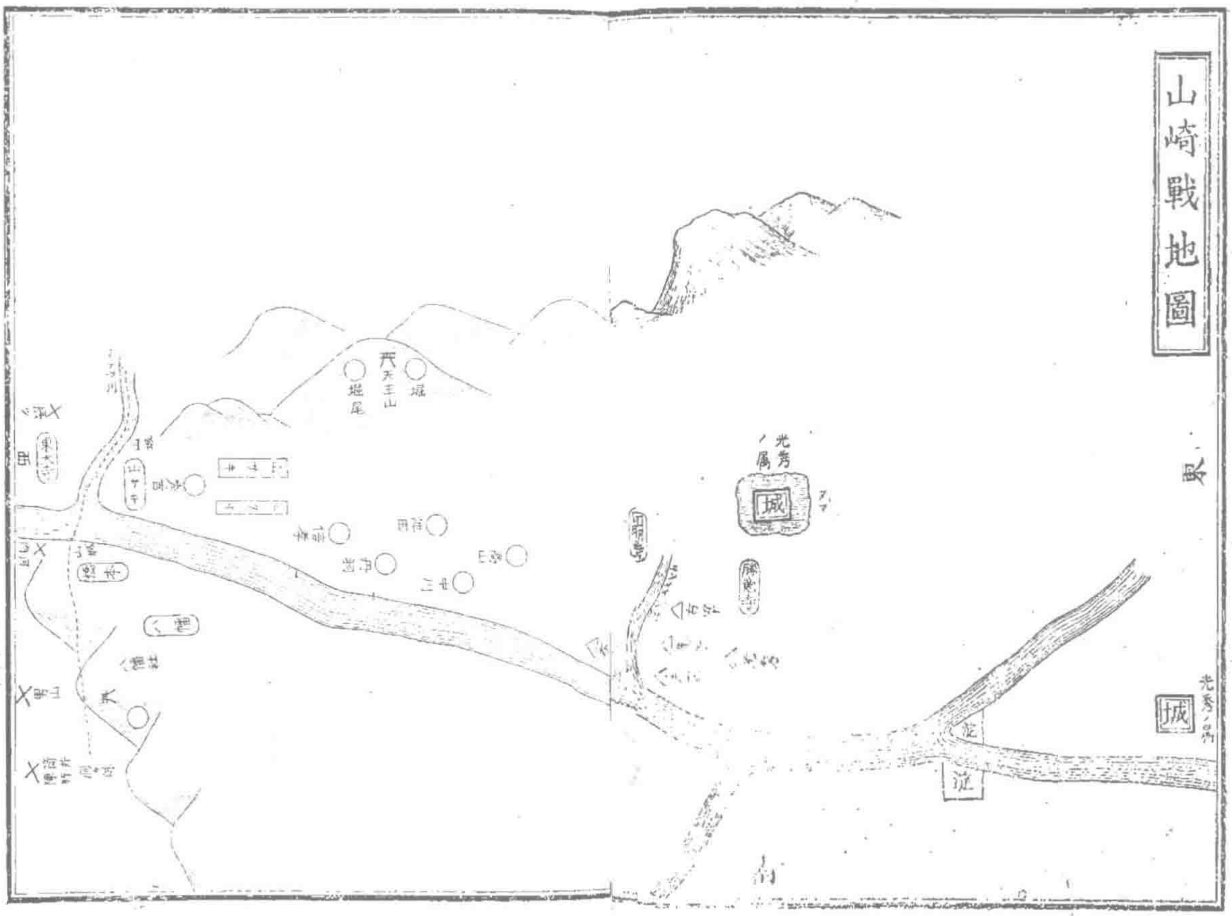
真田氏居城信濃國岩尾城圖

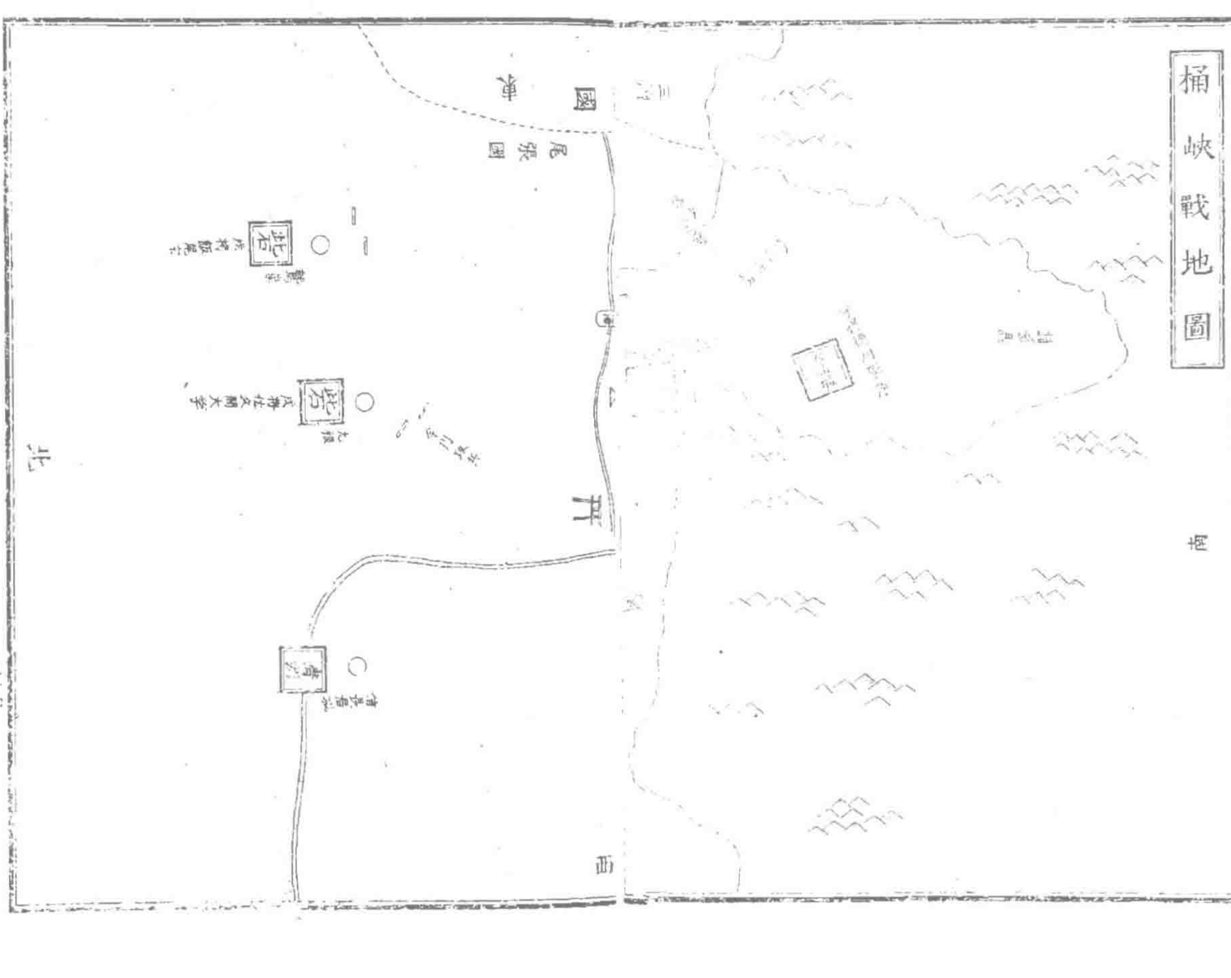


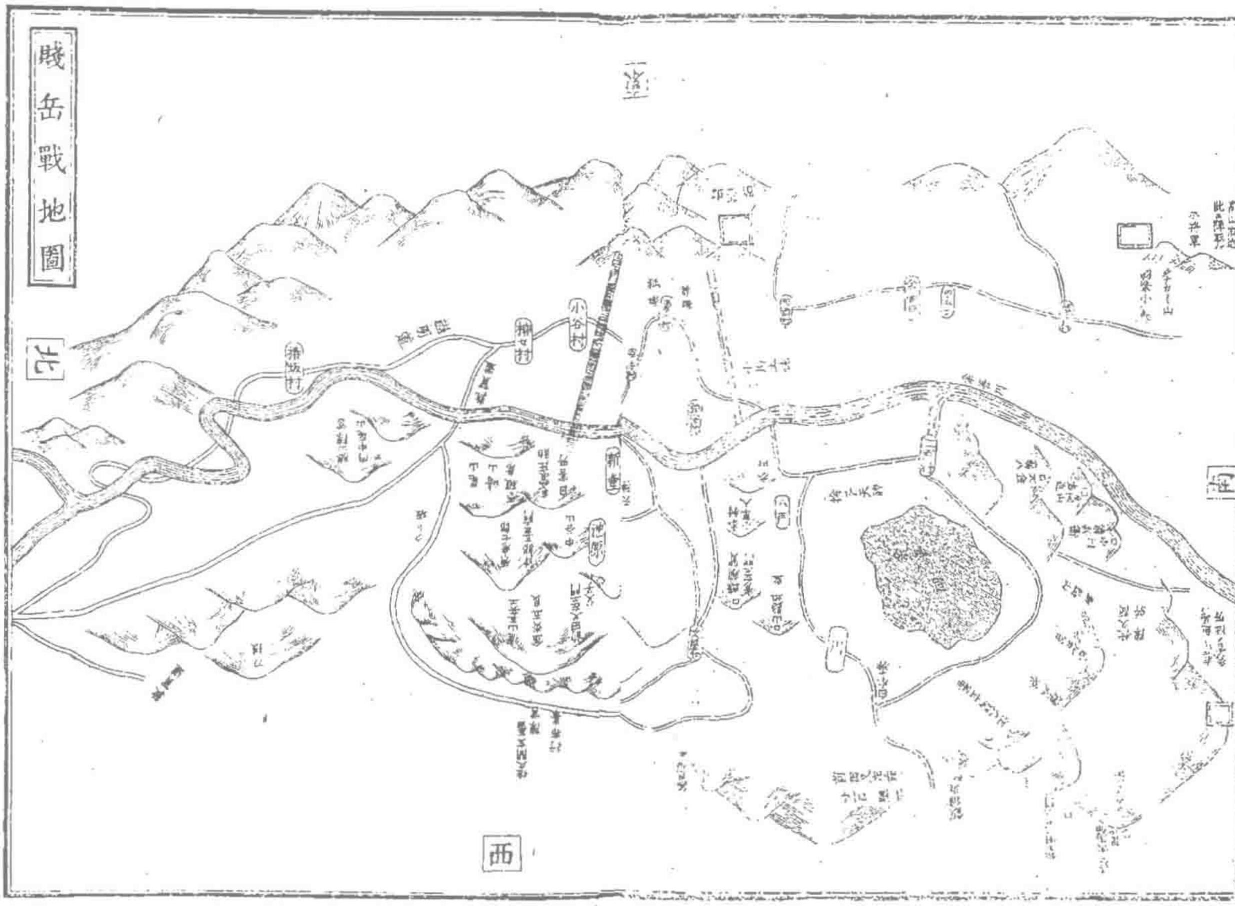
嚴島戰地圖

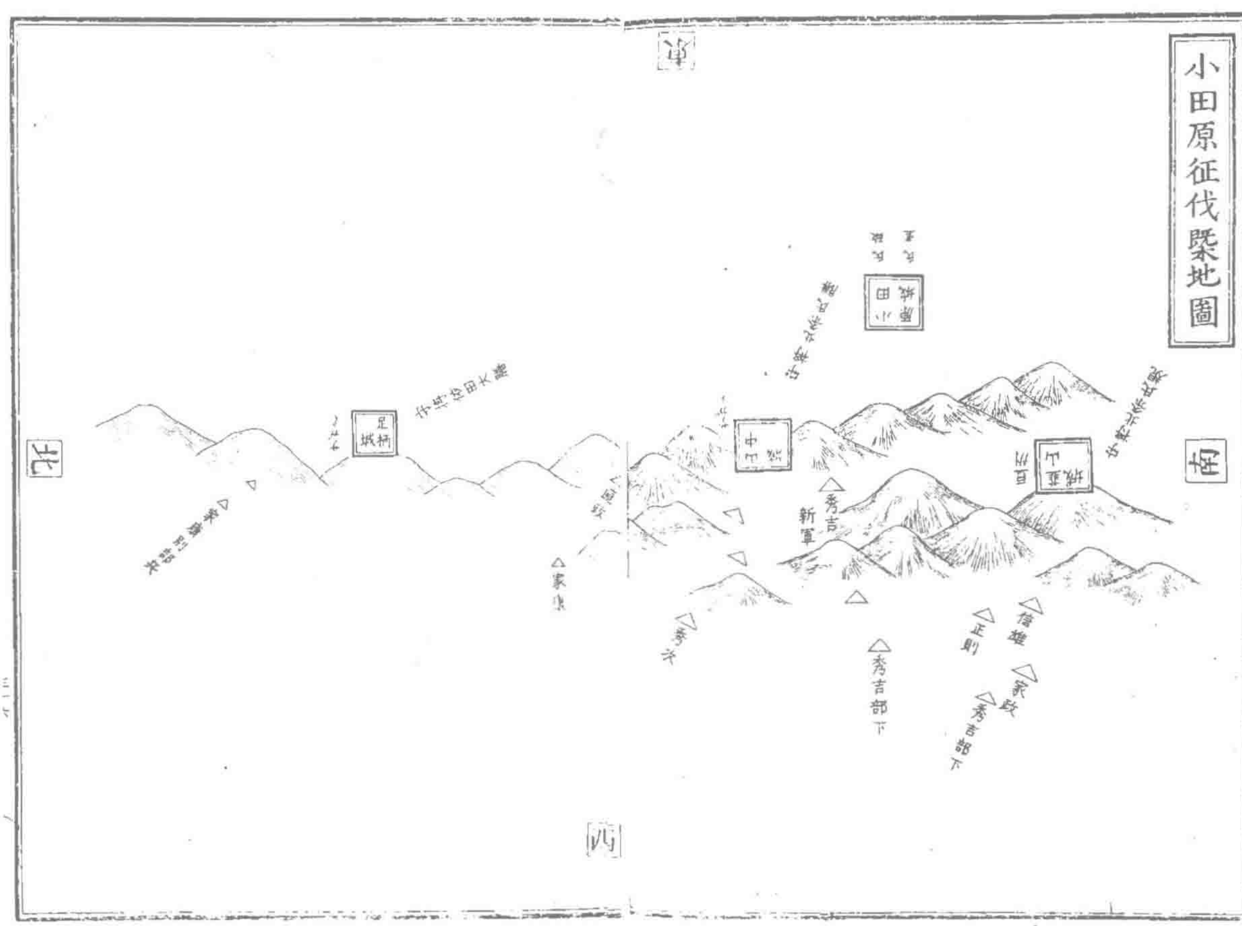


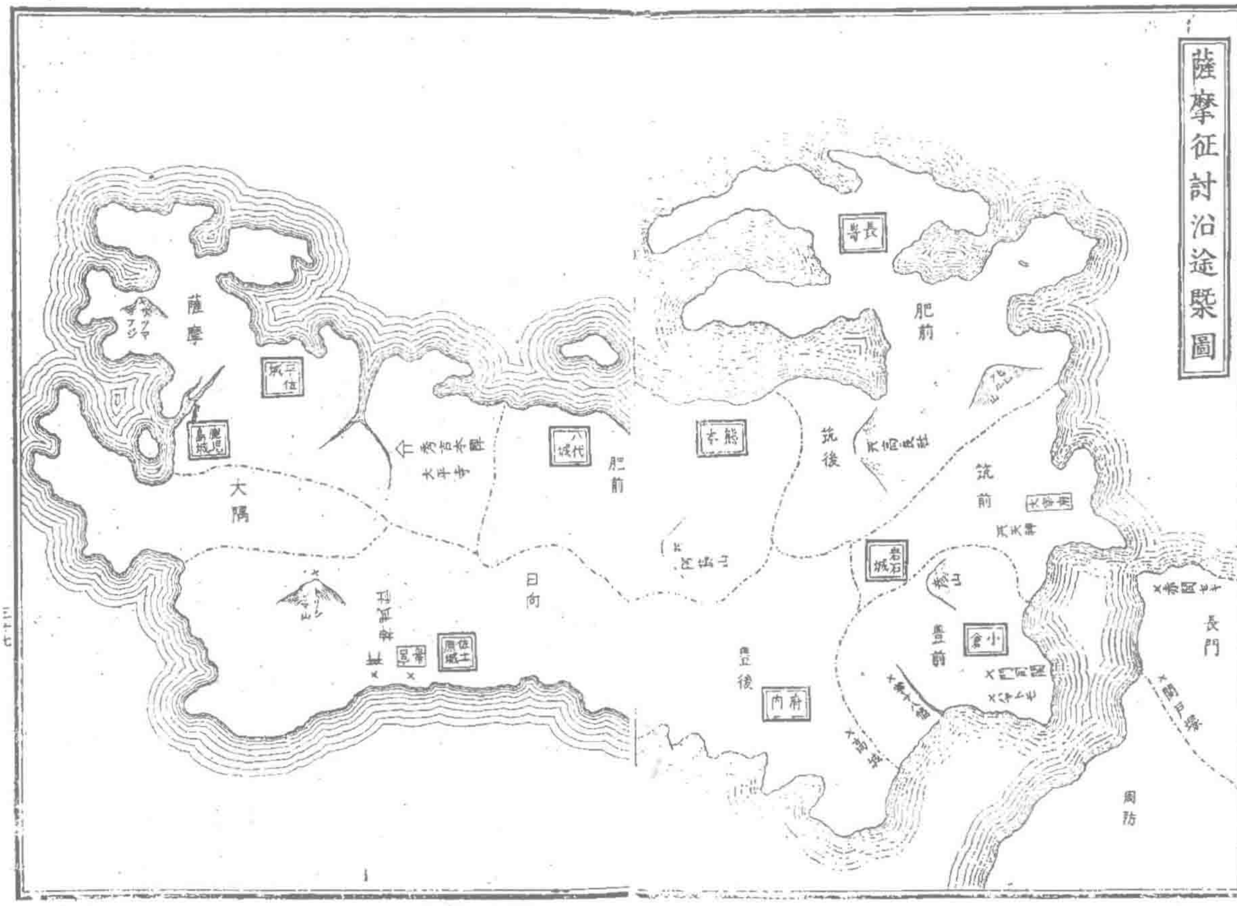
元亀元六月廿八日姉川合戰圖

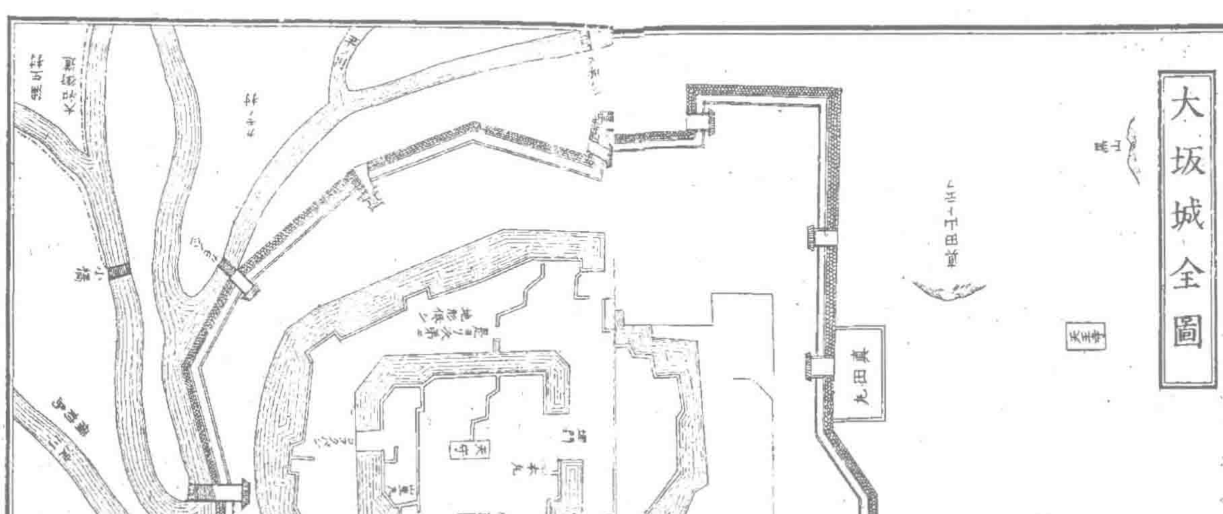

山崎戰地圖
天王山
城
淀
南

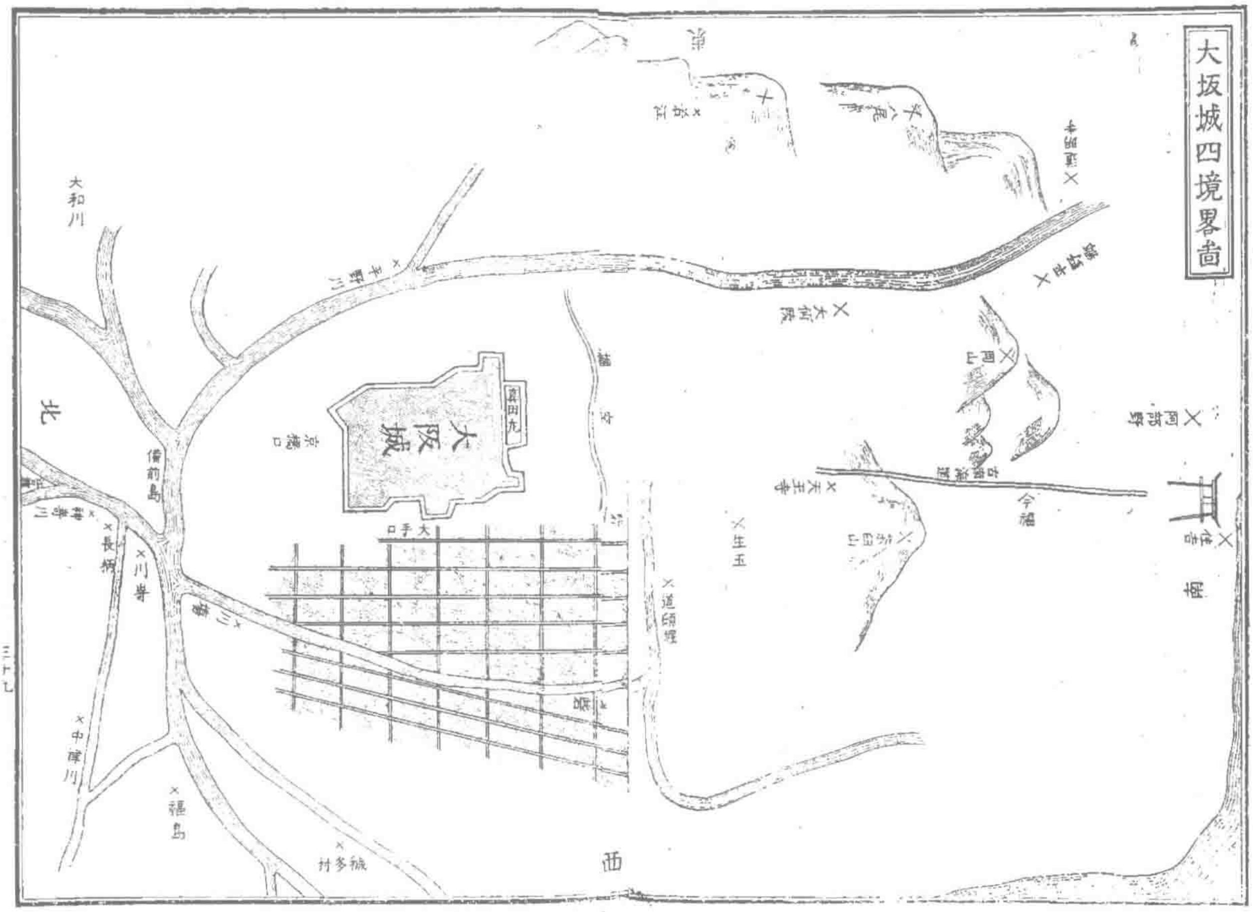

桶峽戰地圖
尾張國


賤岳戰地圖
北
西
小谷村

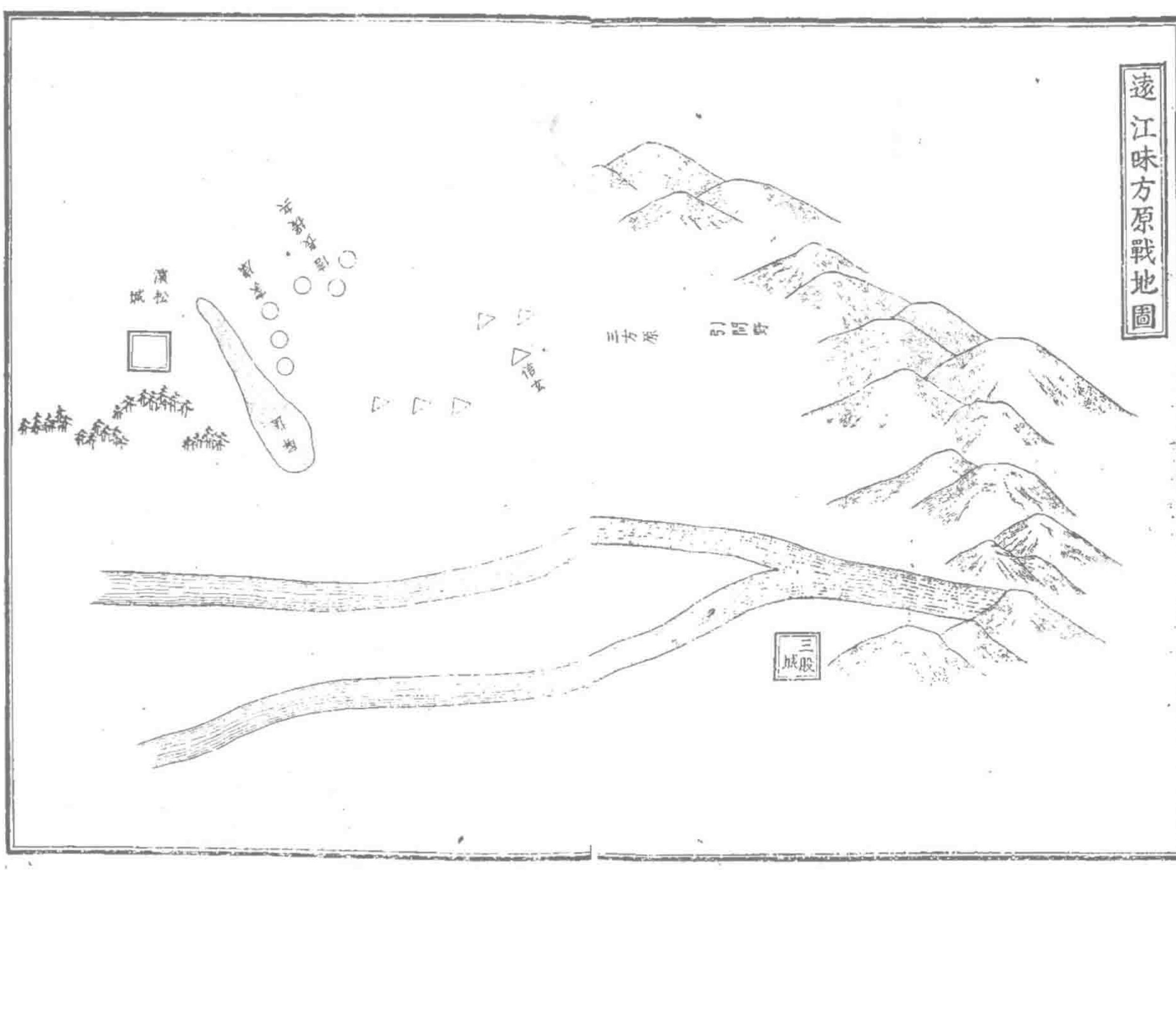

小田原征伐槩地圖
北
西
足柄城
山中城
秀吉
新軍
家康
秀次
信雄
正則
秀吉部下
秀吉部下


薩摩征討沿途緊圖
長崎
肥前
薩摩
大隅
日向
肥後
筑後
筑前
豐前
豐後
長門
周防
熊本
八代
府内
小倉
岩石城

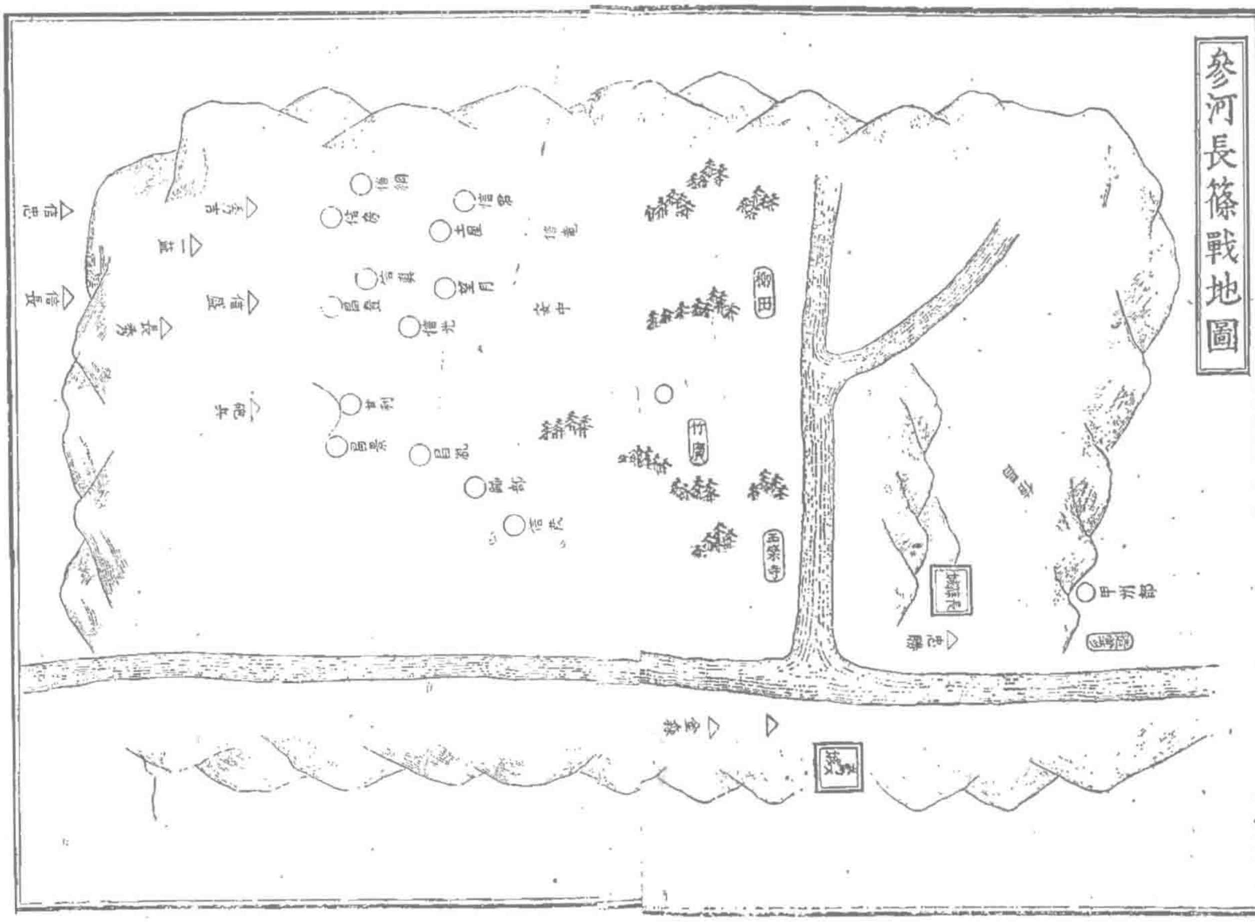

大坂城全圖
本丸
天守
京橋
天王寺

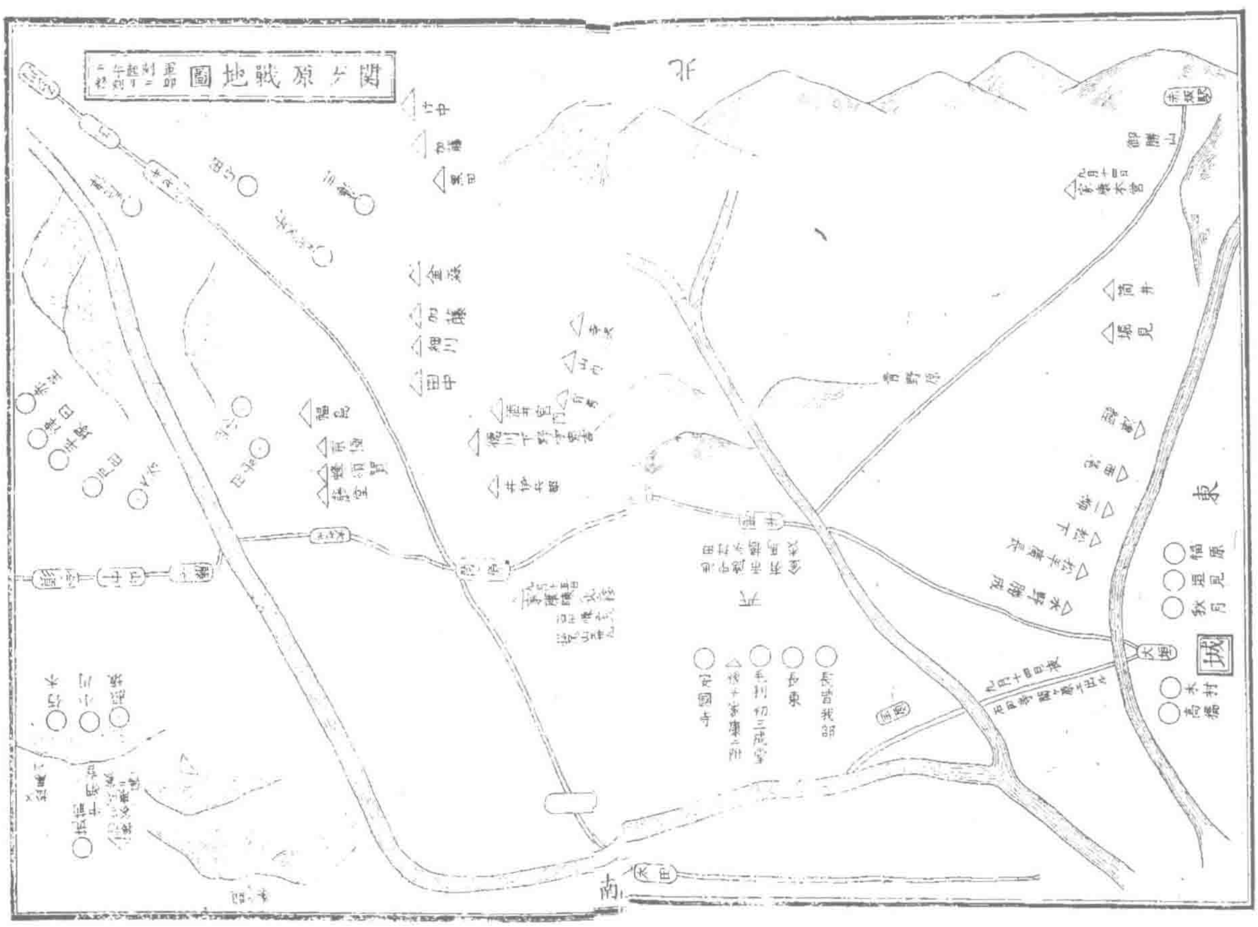


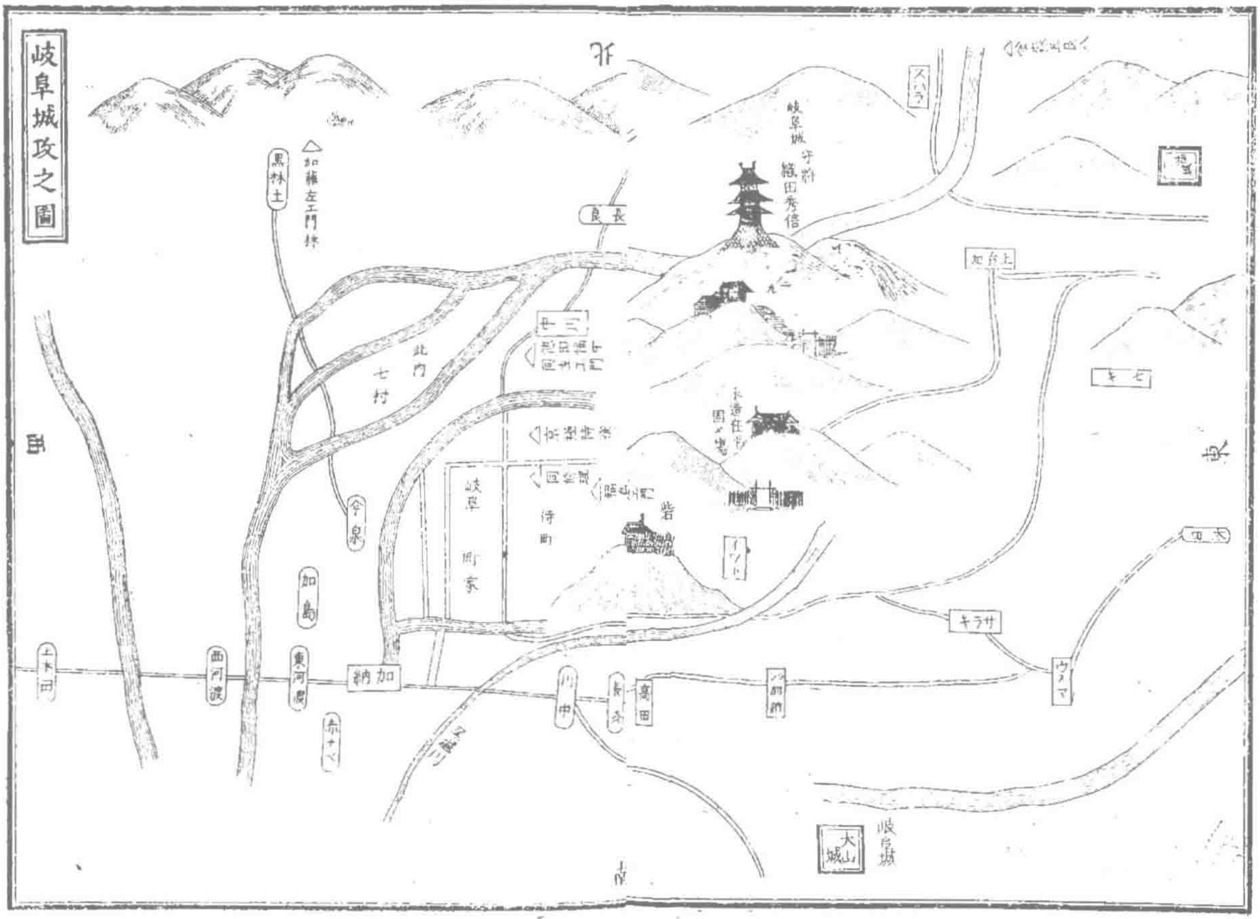
大坂城四境畧圖

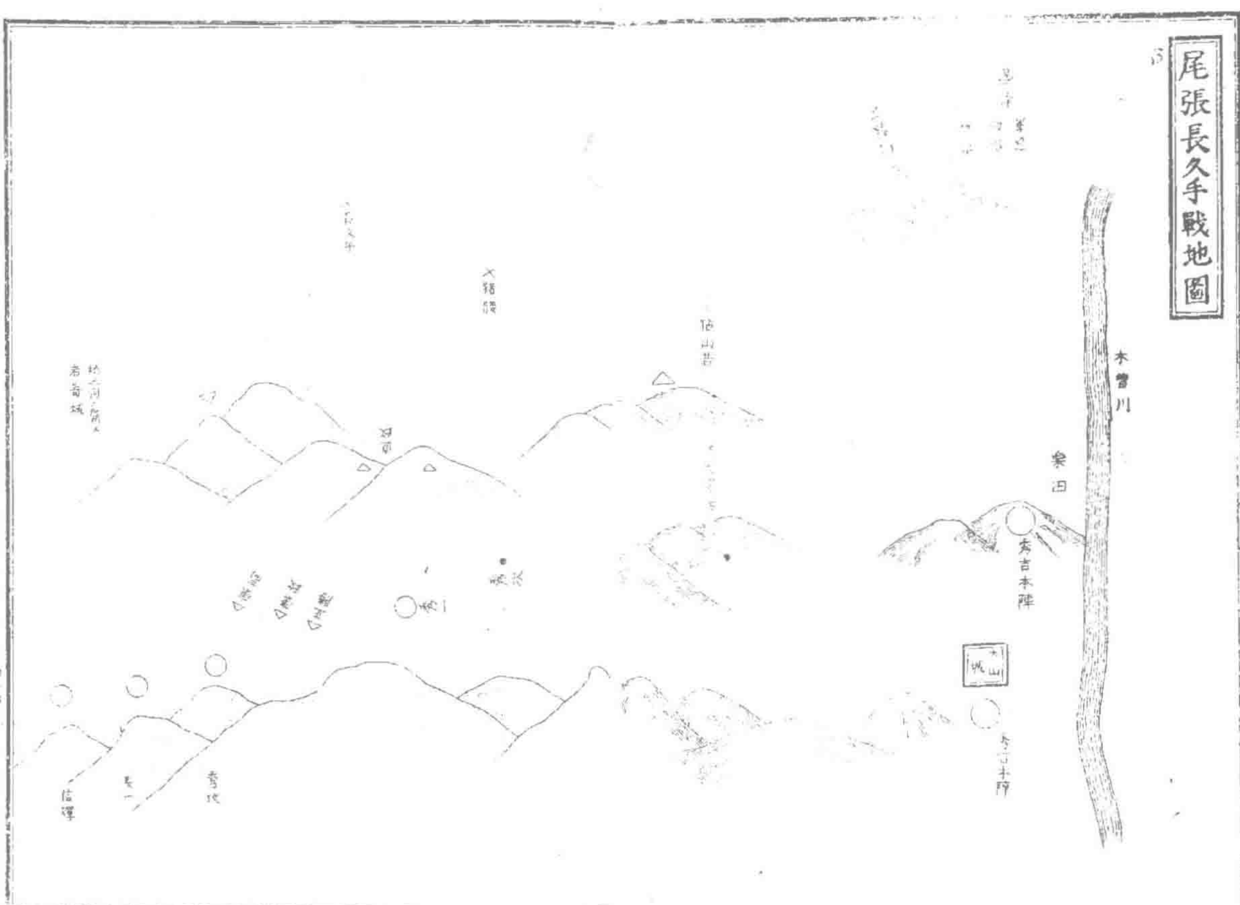


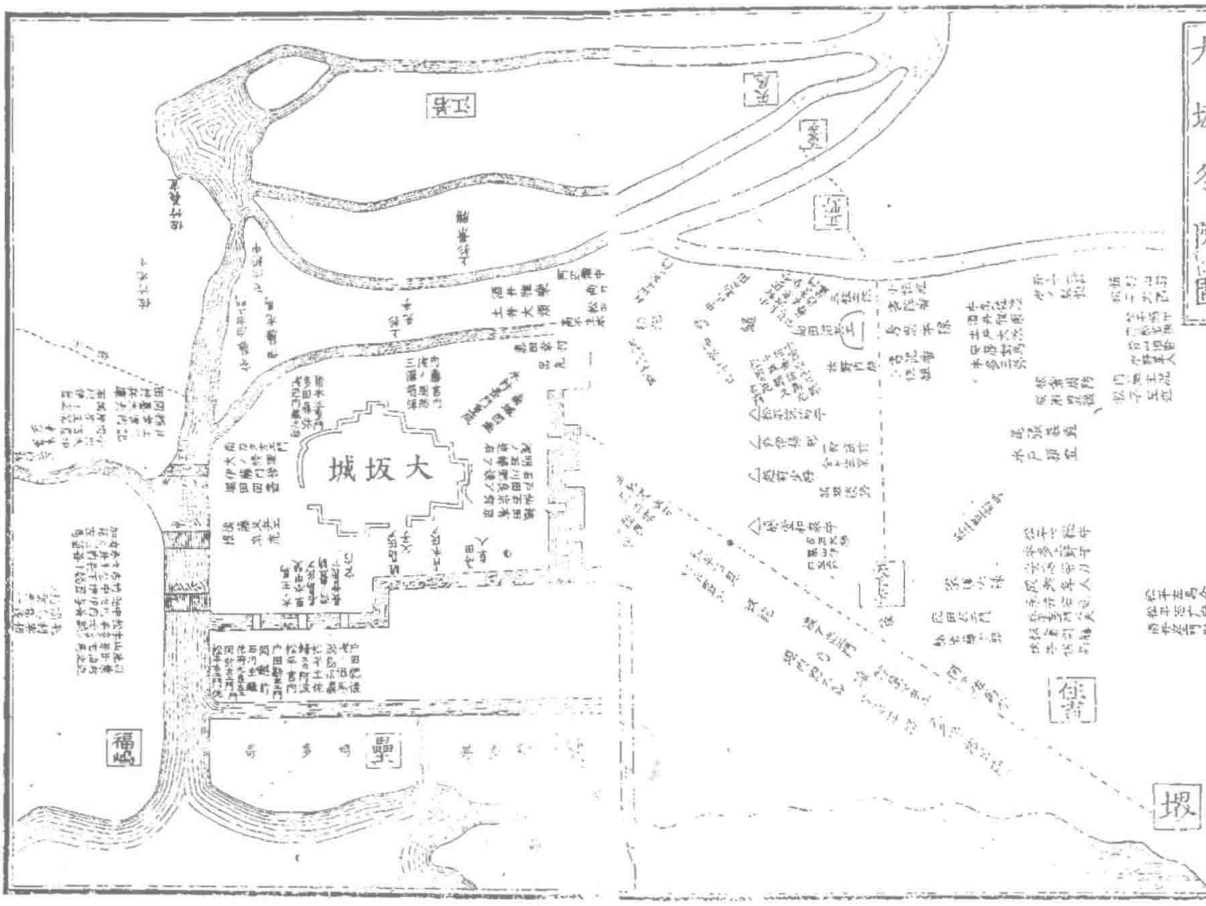
遠江味方原戰地圖

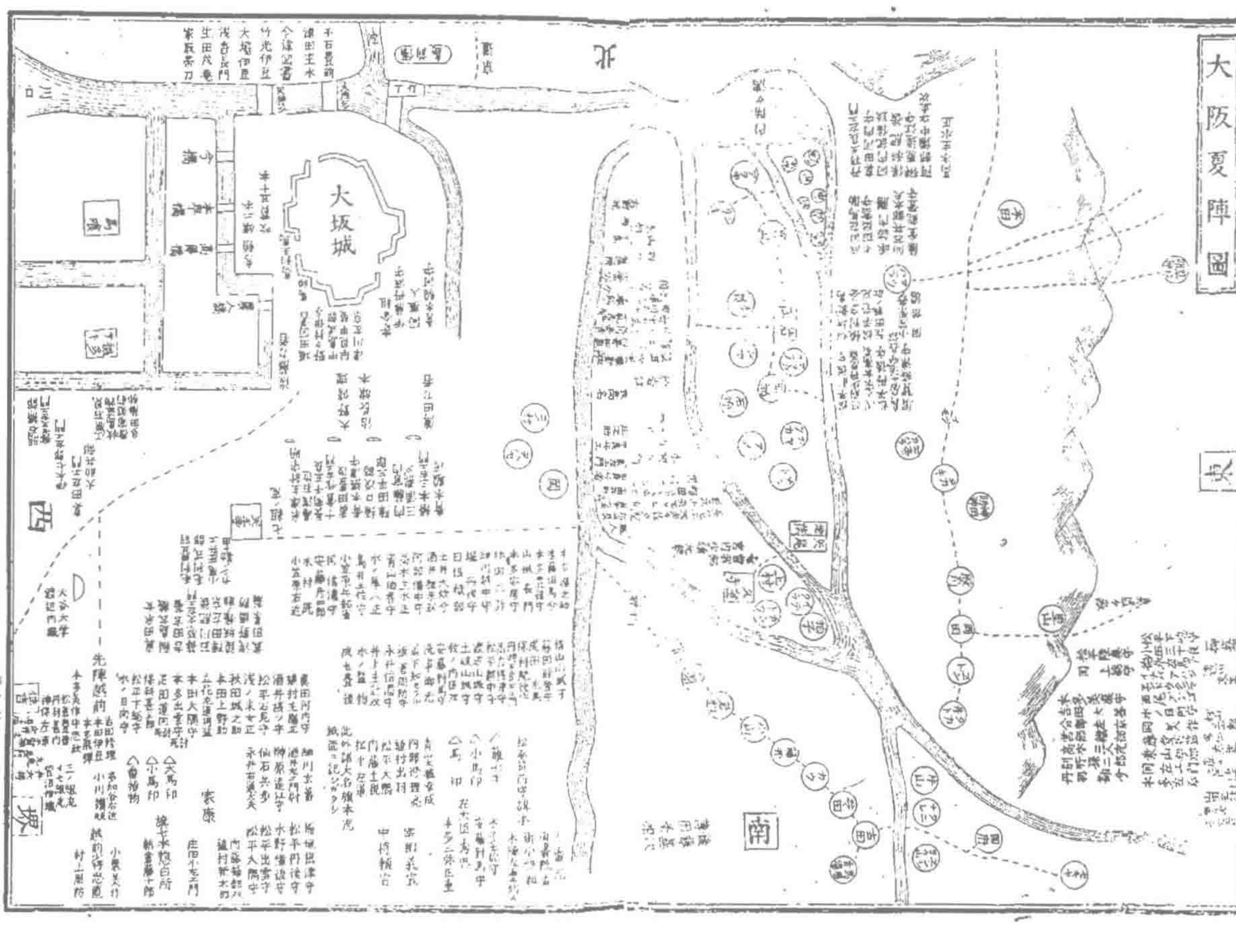

參河長篠戰地圖

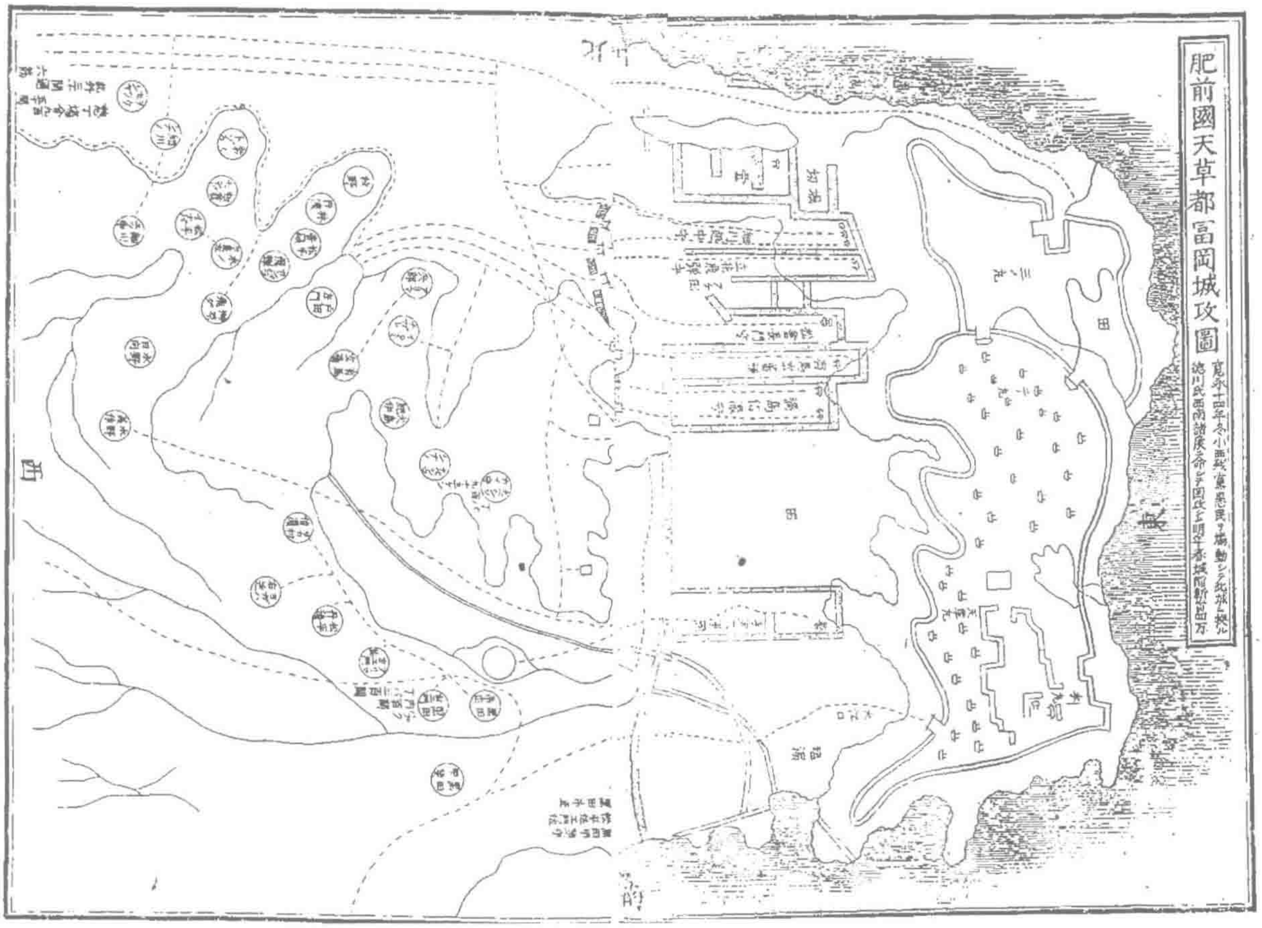

關ヶ原戰地圖
北
東
南


岐阜城攻之圖
北
西
東
岐阜城守將
織田秀信
北門
七村
今泉
加島
岐阜
町家
侍町
加納
西河渡
東河渡
川中
高田
キラサ
ウヌマ
大山城


尾張長久手戰地圖
木曾川
秀吉本陣


大坂冬陣圖
大坂城


大阪夏陣圖
大坂城
北
西
南
家康



明治十四年六月二十日飜刻御届

纂輯者　京都府平民　河村與一郎　下京第二十六區菊屋町二百四拾七番地

原版人　大阪府平民　松田庄助　大阪府下第三大區二小區京町堀上通三丁目二拾六番地

飜刻出版人　東京府平民　牧野豊太郎　京橋區瀧山町拾壹番地

續簡 編輯

新撰佐倉風土記

明治十六年（一八八三）千葉縣中井書鋪鉛排本

據明治十六年（一八八三）

千葉縣中井書鋪鉛排本影印

續簡編輯

新撰佐倉風土記

不許翻刻　中井書鋪藏

新撰佐倉風土記序

史稱和銅六年詔撰諸國風土記蓋風土記之於政治其所關豈少小哉自土地田園戶口之數至山林川澤之所產國之險易風俗之醇醨人力之強弱皆莫不載焉故爲政者據而按之某國之租入幾何戶口幾何某國山林之所生川澤之所產幾何某國險某國易某國風俗醇而人力強某國風俗醨而人力弱皆一々可指

而知是其於爲政其便豈可勝言哉元明天皇所以有和銅之詔者以此也與降及戰國王綱解紐羣雄割據遂成封建國各異制而所謂風土記者或有或無如我下總未嘗聞有之元祿年間丹後守稻葉正通來治佐倉使其臣磯邊昌言撰佐倉風土記凡主吾佐倉者先後九主而有風土記之撰者獨稻葉君一人而已其用心於政事可知已昔者沛公至咸陽也諸將爭

走金帛財物之府分之獨蕭何入秦丞相御史府收律令圖書藏之後漢王所以具知天下阨塞戶口多少強弱之處民之所疾苦者以何得秦圖書也嗟乎何之所見可謂遠於人矣而所謂圖書者即風土記也其用豈不大哉獨所惜於佐倉風土記者其書鹵莽多缺畧余嘗欲删其鹵莽補其缺畧未暇今玆弟子文因改撰其書悉更其體裁以舊記爲附錄且雜以故老所傳舊聞異事號新撰佐倉風土記將上之梓索序於余余受而閱之自疆域山川郡邑郵驛戶田調租至神祠佛刹及方物土産一々捜索悉之考據明詳使人一目瞭然嗟乎每國有如此記使爲政者觀之則其便於政事豈少小哉余因辨一言於其首且以嘗所著佐倉城沿革記及印波湖記附與之

明治十五年六月　佐倉　續豐德撰

新撰佐倉風土記序

佐倉風土記一卷蓋於正德享保之間磯邉昌言著之今玆書肆中井氏欲上之梓吾友敬齋續君爲正謬誤補缺漏且因其書改體裁名曰新撰佐倉風土記而享保以還百四五十年間風俗土地之沿革可以概見焉其惠於後人豈鮮小也哉然而明治之今日則雖僅々八九年而王化之流行變其觀有尤較著者讀者又不可以不知也今試擧其一二則若夫風俗則咸重法愼己擴知識力農工說自由唱民權而不復見馳馬角力風也如土地則吾佐倉則城郭廢而鎭臺興千葉則縣治興而紅塵拂面如千葉野或畫爲鎭臺兵士之操練場小大砲響震于數里或域爲牛羊之種殖場牝牡和鳴達千四邊或疆爲貧民授產之區室家相連雞犬交聞麥隴桑圃蒼々相望而不復見曠邈之野也

其餘開合郡邨疏鑿川澤更則神祠佛刹而已然如數十百年溷淆無別神下爲佛佛上爲神者悉撿點而正之祠祝僧尼不爽所事且勞王事殉國難者新建祠宇豊祭祀之奐使見聞之人有慨然所感起則亦非無變更也然則夙重民權爲萬生殺身不悔木內宗吾郞氏其人者豈道傍之小碑而止哉吾見輪奐之堂峙乎雲表也將有日矣嗚呼看此書者其幸無以古而概今也

明治十五年六月

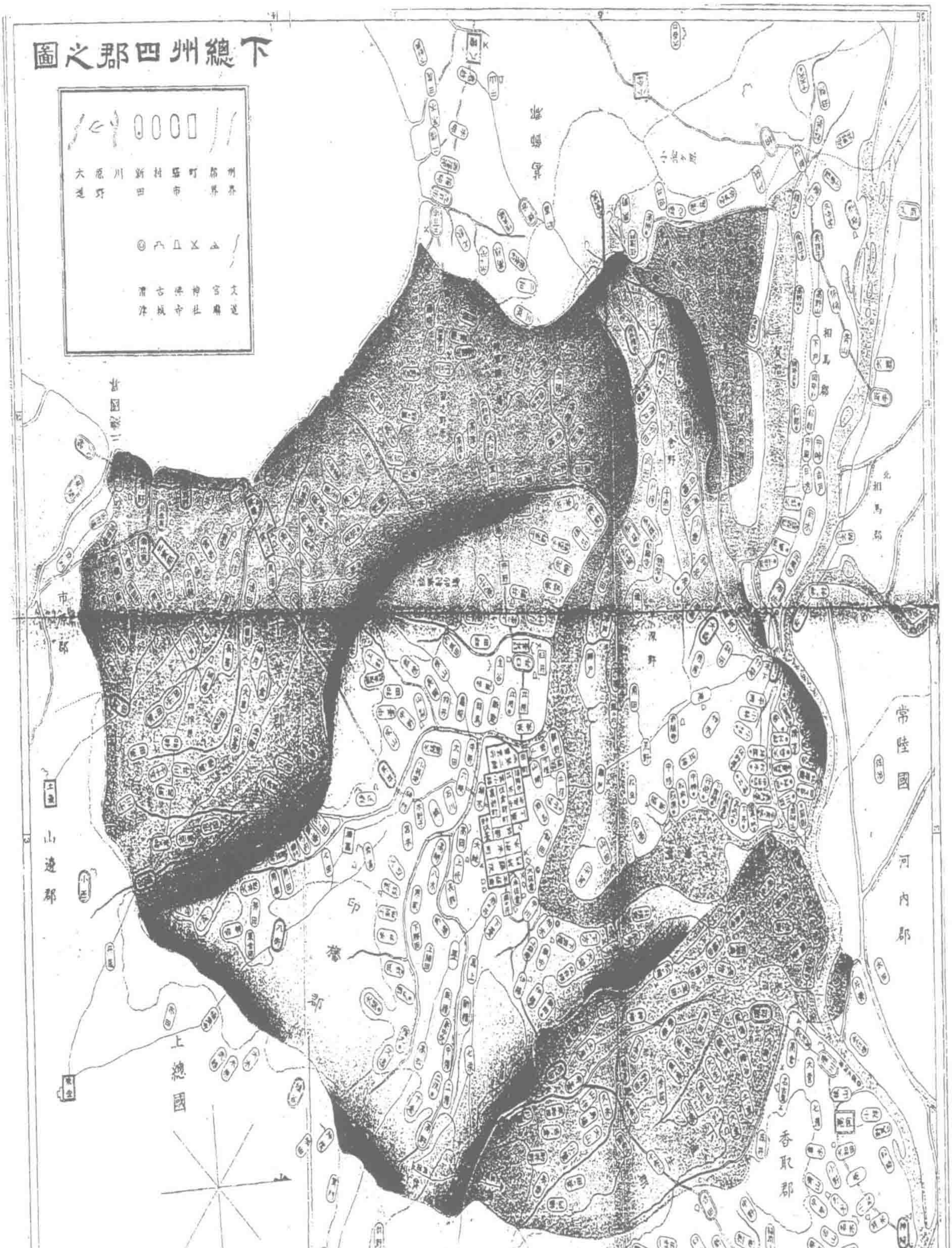
佐倉　靑木半聖撰

歸鳥戀舊林遊子思故鄕此皆其戀舊之情也余生長於佐倉後往在他鄕十數年去歲之冬始歸復住於佐倉其間與人談論每及鄕土未嘗不馳思于鄕里是人情之常不可止者矣余聞之葵能庇其本禾穗向于根夫無知之物猶有不忘本之意人而不知報本可乎一日書肆中井氏來乞曰舊所傳佐倉風土記者蓋享保年間稻葉侯儒臣磯邊昌言著之今茲欲上梓公之于世請校訂之余以爲所以報本者其在此乎故不辭其請遂訂正其謬誤補之以見聞之所及間又加以家兄飯所撰佐倉城沿革記及飲馬湖記以足本編未盡者且改撰其書之體裁以今爲主以舊記爲附錄號曰新撰佐倉風土記庶幾乎參與地誌之一隅矣而余之本志亦於是乎成矣

明治十六年三月

鑽　商　識

新撰佐倉風土記


下總州四郡之圖
州界
郡界
町
村
新田
川
原野
大道
相馬郡
北相馬郡
常陸國
河内郡
香取郡
武射郡
上總國
山邊郡

新撰佐倉風土記

封域

佐倉在下總國（在東海道之東南隣常陸海水連武藏上總武藏國東南瀕于太平洋南連上總西接武藏北界利根川接常陸國中有十三郡曰結城曰豐田曰岡田曰猿島曰北相馬曰南相馬曰東葛飾曰千葉曰印旛曰下埴生曰香取曰匝瑳曰海上地勢平衍無山嶽而多沼澤原野又沿和連此地東南有氣之利西北有沼澤之便土性斥鹵沮洳和平原沃相交○詔宮堅曰源有大蠶獎府鍛倉千葉常風所起錢常風兒孫繁榮佐至晚節自爲介氏元歷此至天正爲係郡以下利根川以南七郡則多千葉氏所管結城治島豐田利根川以北三郡則多屬結城氏是當時大勢）印旛郡之治所先是土井氏石川氏松平氏大久保氏戶田氏稻葉氏共治此次至堀田氏而數世治爲其治所在印旛郡其西南則千葉郡而西北則南相馬郡東北連埴生郡及香取郡是其封疆也明治四年辛未七月詔廢藩置縣同年十一月廢下總七縣置印旛縣管結城猿島葛飾相馬岡田豐田千葉埴生印旛九郡六年六月廢印旛木更津二縣置千葉縣爾來此地爲千葉縣之所管矣（佐倉距東京十三里士族工員舘居共稱佐倉藩者十五日宮小路町日新町日裏新町日鍋町日本町日本佐倉町日鏑門町日澤町日横木町日野狐臺町日中尼余町日弥勒上町日北木町日海隣寺町日田町日田町）十一年郡區編制郡治分畫設置郡役所於佐倉新町（以十一年十一月廿一日開廳）管印旛下埴生南相馬三郡

識邊昌言舊風土記曰佐倉在下總國（古語拾遺曰天富命更求沃壤分阿波忌部所率往東土播殖麻穀好麻所生故謂之總國穀木所生故謂之結城國註曰古語麻謂之總也今爲上總下總二國是也按民部省圖帳殘簡有下總國相馬郡布佐郷而今印旛郡木下河岸之上有布佐村蓋是乎結城乃名郡國名風土記曰總謂木枝也昔此國生大楠長及數百丈時帝怪之卜占之大史奏云天下大凶事也因斫捨此木倒南方也上枝云上總下枝云下總又古有神代楠花盛天紅花散地紅若既竭俱設倒矣根跡成海故云楠海其上爲上總國中下爲下總國嘗事大成所記如此今香取郡有楠田但昔時爲海漸枯涸近世皆成田云蓋亦一事也）印旛郡居國之東南而以四郡隸之曰印旛曰千葉曰埴生曰香取分爲三筋（三筋俗語猶言三道也）城居其中而南爲寒川筋（寒川筋雜印旛千葉二郡而四分之三在印旛郡其一在千葉郡其界北隣城西至角來南至仁戶名相逢三十里西至宇名谷東至文逢而接上總國相逢三十里乾至上座至大谷津而接上總國相距三十里坤至千葉郡馬砂寒川今井泉水而至海艮至立澤爲野和距四十里）北爲印西筋（專在印旛郡僅帶千葉郡其界西至神崎本東至平賀吉高而極于印旛江西涯相逢三十餘里北至竹袋木下南至于城下相逢四十許里乾至小倉界手賀沼巽抵印旛江而至大佐倉和距三十餘里坤入千葉郡至大和田相距四十許里）東爲成田筋（亘於印旛埴生香取三郡其面埴生居多印旛次之香取最少其界西至印旛江東涯東至駒井野相逢二十四里北至滑川而界利根川南至久能相逢三十里乾至安食須賀矢口而界利根川巽至根木名畑田接于上總國相距三十六里坤至酒々井接于佐倉市廛艮至名木跨于香取郡相距四十二里）首乾尾巽左艮右坤乾巽相違五十四里坤艮相違七十七里東西之隔四十二里南北之距六十三里乾界手賀沼巽接於東金坤接生實（生實書作小弓）而至海艮至於小松東交菱田西連船橋南至中田高根北乃界利根川其所隸者印旛居多埴生次之千葉次之香取爲少焉千葉西亘南印旛在東其東北爲埴生又其東北爲香取焉地多曠原高下不齊而無山嶽其曰山者或斷隴之餘而有林薄耳地多墳壤未嘗有石木宜杉松不宜于檜栢櫟章多出巨竹但身薄節脆不甚堅勁寒暑大率無異武江春夏之交屢有烈風捲沙揚塵俗謂之筍風或連五六日而止（下略）

風俗

地理誌曰東海道之人疏通懇敏而二總之人淳良可謂約而盡之矣夫天地之氣各以方殊而人亦因之南方山水蘊藉而縈紆人生其間得氣之正者爲溫潤和雅其偏者則輕佻浮薄北方山水奇傑而雄厚人生其間得氣之正者爲剛健爽直其偏者則麤厲强橫此自然之理也如我下總則在本邦極東地勢平衍絕無峰巒是以人亦因之而淳良也其所以乏奇傑雄厚之氣象者是固氣稟之所使

然矣而唯恐易失之輕佻浮薄耳

舊風土記曰風氣概交強柔俗尙朴質馳馬角力農商通業第
無盜利正二月交市井之民大合張飲爲之匣倉蓋車射之材頭也夏四月或中旬諺下旬閭里家々歸竹作人馬皆持木兵與子撲闘三所日而樂諸野外見宜鼓鐘送之曰鹿嶋香取軍勝矣傳忠撥神兵之義也○滑宮秀堅曰蓋上世黜兵之還船○皆以爲非無盜利也是不發之也昔者不唯無盜之利又無柔之利也然而近來不論農與商苟有國圖者必救茶又能製之非徒利不爲少也況有資以家亦能製物巧之餘然則非無盜利也不用力耳

城

佐倉城在印旛郡之中昔稱鹿島山昔千葉氏世居千葉城千葉兼
胤弟康胤居焉加城宗家宜胤卒無嗣康胤承宗家移城於佐倉鄉
將門山康胤子輔胤康胤納子胤持因卒以弟結胤爲因從居佐倉城印旛將門山文明三年足
利成氏爲上杉顯定所襲擊去古河來于佐倉將門山依輔胤才年輔
胤說長尾昌賢以和成氏與顯定送成氏於古河城輔胤延德四年
壬子二月卒子孝胤嗣孝胤子勝胤與北條氏通好勝胤子昌胤昌
胤子利胤利胤子親胤親胤弘治三年丁巳八月於佐倉將門山自害
衆迎立昌胤三男胤富爲主胤富子邦胤娶北條氏政女氏政見鹿
島山之險要使邦胤移城于此經營未成邦胤天正十三年乙酉五
月卒其子重胤僅十歲群下如小田原乞命氏政謂千葉佐倉者介
于隣境宜爲樞地令白井城主原胤義徙居佐倉城將門山駐重胤於
小田原以爲質命從重胤母岩松氏名東成日重胤姉時年十二于鹿島山之地使
中村高顯傅之十八年庚寅關白秀吉之征相也重胤率家族援小
田原守蕩本口西將淺野長政木村重茲及本多忠勝鳥居元忠平岩
親吉等率兵三万餘徇二總房常四州五月十八日忠勝等勁兵入
下總諸城不能拒守佐倉城千葉氏留後原大炊介致城於內藤家

長白井城主原胤義致城於酒井家次而去七月小田原城陷北條
氏滅重胤坐而失食邑潜居總州之民間千葉氏亡矣是年八月德
川氏封久野三郎左衞門尉宗能于此一万三千石宗能已老其子民部少輔宗秀嗣慶長元年丙申十二月宗
秀於城州伏見城與三宅正次鬪死國除更賜宗能佐倉之地千石同七年轉封於遠江國久野七千石文祿元年壬辰封武田
信吉于此遷館於本佐倉南大堀居之慶長七年壬寅十一月遷封于常州水戶而
封松平忠輝于此八年癸卯三月徙封于信州川中島十五年庚戌
以土井利勝封于此使利勝改築城於鹿島十六年辛亥興工七年
而成矣名曰佐倉城徙居於此利勝寬永十年癸酉轉封於古河自
是後一封一轉歷數之自石川忠總松平家信康信堀田正盛正信
松平乘久大久保忠朝戶田忠昌忠眞稻葉正通正知松平乘邑乘
祐堀田正亮正順正時正愛正睦十八侯至於相摸守正倫明治元
年戊辰王室中興二年六月十七日　勅聽諸藩版籍奉還之請以
舊守爲知藩事罷從前所帶之官職廢公卿諸侯之稱改爲華族四
年七月十四日　詔廢列藩爲縣罷各藩知事職　命使舊藩大參
事假管理事務大事仰朝裁同年十一月廢佐倉縣六年一月定六
鎮臺軍營設其第一軍營第二師管營所于此以管木更津水戶宇
都宮分營充之以步兵第二聯隊內二大隊同年同月凡城地之當
要衝者若爲軍事必需者仍屬陸軍省其他悉附之于大藏省廢下
總諸城古河結城關宿存佐倉城

舊風土記曰佐倉城在印旛郡之中而稍近西舊曰鹿島山其爲形勢
居高陽臨原濕阻要屏翳足乎遠邇面卯背酉左右子午前留
市塵曰田町曰新町曰弼勒町曰本町曰本佐倉町曰酒々井

町是曰佐倉六町（俗官市塵曰町）農賈相雜民庶安堵（至京師八百有八里距武藏國江府七十九里東南至上總國界四十二里東北至常陸國界亦四十二里西北至下野國界五十四里西至武藏國七十二里）昔千葉介平常胤自承父祖居千葉城以屬源頼朝公公補之地頭職實封於此常胤子胤政胤政子成胤成胤子胤綱胤綱子時胤時胤子胤宗胤宗子貞胤貞胤子氏胤氏胤子滿胤滿胤子兼胤兼胤子胤直胤直子胤將胤將無子以其弟馬加康胤為嗣康胤子輔胤相紹居于千葉輔胤移城于佐倉鄉將門山（在今城東三里俗稱本佐倉城）（日記錄中胤將移城又曰輔胤孫勝胤移之今從大日寺之記焉）輔胤子孝胤孝胤子勝胤勝胤子昌胤昌胤子利胤利胤子親胤親胤子胤富胤富子邦胤北條氏直以女妻邦胤又相鹿島山之要阨使邦胤移城于此築營未成邦胤卒其子重胤幼沖天正十八年與北條氏共敗于相摸國

小田原城東照大神君驗將門山城文祿元年封武田信吉（神君第五子稱万千代君）于此建館於本佐倉大堀居之慶長七年壬寅冬十一月十九日遷封于常陸國水戶而封松平忠輝（信吉弟）于此八年癸卯春三月二十一日遷于信濃國川中島十四年己酉以土井利勝封之神君及將軍秀忠公再狩于此賞鹿島山之形勝遂命利勝城之十六年春正月十一日興功七年而成矣名佐倉城焉

古堂積氏有佐倉城沿革記曰城在下總印旛郡佐倉鹿島山西距東京十一里北臨印旛湖南阻內海地爽塏門面東方左右及背皆懸崖百仞鹿且不得上下而崖下沮洳南西又帶以川實要害處也治承中千葉介常胤屬源頼朝補地頭職始有

此地千葉氏世居千葉常胤十三世孫康胤徙居于本佐倉九世至邦胤屬北條氏天正中氏政氏直來略下總見此地勝概勸邦胤築城焉於是邦胤始鑿高卑鳩材木將即工會邦胤病死子重胤幼在小田原而與北條氏俱滅以故遂不果城也至慶長十四年己酉德川氏封大炊頭土井利勝於本佐倉告曰鹿島山為要害地果城於此則為天下三城（蓋謂熊本城名古屋城與吾佐倉城）於是利勝以其十六年辛亥起工閱七年而成矣名曰佐倉城遂居於此先是德川氏封武田信吉及松平忠輝者皆本佐倉而非今佐倉也蓋此城創於千葉邦胤而成於土井利勝也寬永十年癸酉德川氏徙利勝於古河而封主殿頭石川忠總於此十二年己亥徙忠總於膳所封紀伊守松平家信於此家信卒

子康信嗣十七年庚辰徙康信於高槻城無主者三年十九年壬午封吾宗藩加賀守堀田正盛為正盛卒子正信嗣萬治三年庚子正信得罪配于飯山城無主者又一年寬文元年辛丑封和泉守松平乘久於此延寶六年戊午徙乘久於唐津封加賀守大久保忠朝於此貞享三年丙寅徙忠朝於小田原封山城守戶田忠昌于此忠昌卒子忠真嗣元祿十四年辛巳徙忠真於高田封丹後守稲葉正通于此正通致仕子正知嗣享保八年癸卯徙正知於淀封左近將監松平乘邑於此乘邑致仕子乘祐嗣延享三年丙寅徙乘祐於山形而封吾先君相摸守堀田正亮於此自是歷正順正時正愛正睦四侯至於今侯正倫明治元年戊辰正月王室中興天下諸侯皆奉還封土今侯

亦然仍爲藩知事居於此四年辛未七月朝廷廢藩置縣今侯乃去而城遂亡矣詣自慶長十四年至此二百六十有三年而九易主城舊設三郭與外郭而四三郭皆穿隍外廓獨蓄水而毎郭皆植以杉樹至蓊欝掩天及後置鎭臺於此悉伐而藉之識者惜焉

論曰德川氏之封建諸侯有外諸侯有内功臣而内功臣之封不過二三十萬石使足以折衝禦侮其外而不得以顛頷於其内其外諸侯雖或踰百萬石然多封宗族據其阨塞以鎭壓其邪心是其制内外輕重之勢以禁姦備亂可謂密矣然而及至後世其待内功臣則謬矣徒虐使之而不知恤之故少有過差輙易置其封使之困頓疲弊殆至不能存如吾佐倉未滿二百年而九易其主其他皆莫不然是故戊辰之役以數百諸侯不能抗一薩長土之師雖錦旗所指不得不然抑亦無不由困頓疲弊之所致也向使内諸侯國富兵強則其成功未必如此之容易也雖然此亦天之所以祚王室也歟

官廨

東京鎭臺第一軍管第二師管營所在佐倉舊城内鹿島山明治六年一月九日定六鎭臺軍營其一設營所于佐倉以管木更津水戸宇都宮分營充之以歩兵第二聯隊内二大隊同年七月改定鎭臺條例置十四師管佐倉屬其中七年六月十四日更定第一軍管第二營所廢佐倉移之宇都宮同年十月二十三日復佐倉

習志野原陸軍練兵場（在千葉郡）明治五年十月十四日置陸軍兵隊演習場于下總國千葉郡六年四月二十九日　乘輿幸大和田原同年五月十七日改大和田原賜名習志野爲陸軍操練場是於陸軍省所轄十五年一月原中渾敨定　聖上御遊獵場幷鳥獸蕃養地（陸軍省所轄演習場如故）

陸軍射的場（在印旛郡下志津原）

千葉縣廳（在下總國千葉郡明治七年二月二日假廳燒失同年新建築于同郡寒川村以七月二日開廳）

明治元年八月八日大總督府置下總知縣事而未有縣名二年正月十三日始置葛飾縣於下總四年七月廢藩置縣同年十一月十三日廢葛飾佐倉古河關宿結城曾我野生實七縣置印旛縣於下總置木更津縣於上總以河瀨秀治爲印旛縣令管下總九郡四十六萬石六年六月十五日併印旛木更津二縣置本縣以柴原和爲令管安房上總及下總九郡八年五月七日廢新治縣以其所管下總國香取匝瑳海上三郡隸之于本縣以利根川以北地屬之于茨城縣（結城豐田岡田猿島北相馬西葛飾）

千葉裁判所（始審裁判所治安裁判所在千葉郡千葉）明治十五年一月改定各裁判所位置及其管轄之區劃

農商務省種畜場（在印旛下埴生兩郡之間字兩國塚等之地旣地亘上總國武射郡）三里　明治八年五月開牧場於此置牧羊種畜之二場號設官廳于字兩國索海外良好之種畜以計海内畜産之改良（將開牧羊之業於各地謀求國牧羊家某因設生徒于府縣講習其術及農商具器之用法十二年四月生徒旣因三年之學期卒業威歸郷以業旣成解傭來人之約）十四年六月　乘輿臨幸於此親叡覽諸事業十五年六月再臨幸于此

郷村

印旛郡（舊事記應神天皇世置印旛國造万葉集常陸風土記作印波○三代實錄延喜式和名抄作印播○舊風土記曰印播俗爲幡々之幡者誤○明治維新後用旛字）利根川以南之地稱之印旛郡幅員頗廣東斗入埴生郡及上總武射郡西接南相馬東葛飾千葉三郡東南連上總山邊郡北至利根川地勢平濶多原沼小間子野原跨于千葉郡及上總武射山邊二郡飲馬沼顯于郡中手賀沼漫于郡西飲馬沼爲著名之大顯手賀沼亦亞之而大利根川要津有木下風驛流船從此上下于銚子港晝夜不絶佐倉城址在飲馬沼上流一丘起于平野水流繞其麓頗爲險要之地舊城主堀田氏世居於此廢藩之際爲印旛縣廳從而廢之今又爲陸軍第二師管本營近來設郡役所于舊城外佐倉新町以管印旛下埴生南相馬之三郡白井城址在白井臺距佐倉一里餘舊爲千葉氏之居城

其耕宅地一萬五千百五十町二段八畝十一步山林一萬五千五百十九町七段二畝十七步原野二千九十三町七段八畝十一步此地價金三百八十五萬二千九百四十八圓九錢八厘戸一萬三千六百二十五口七萬三千七百零五其三萬七千五百零三男其三萬六千二百零二女小學校八十町二十三村二百二十八

○佐倉新町（舊風土記曰印播江沮于郡中之中共東爲印東共西爲印西共名莊）○佐倉裏新町○佐倉並木町○佐倉宮小路町○佐倉田町（傳曰舊鹿島鄉）○佐倉海隣寺町○佐倉最上町○佐倉中尾余町○佐倉彌勒町○佐倉野狐臺町○佐倉本町○佐倉樹木町○佐倉藤澤町○將門町（有將門山）○本佐倉町○本佐倉（有古佐倉城址）○鍋木○寺崎○太田○六崎○城○石川○大蛇○高岡○上代○長熊（和名抄云長隈）○馬橋○八木○高崎○直彌○宮本○米戸○寒風○上別所○天邊○酒々井町○酒々井（舊風土記曰慶長中東照大神君命令引印播江至村外面爲中轉漕利今皆爲田猶有新堀名）○中川○墨（合併古澤）○尾上○新橋○下臺○上岩橋○伊篠○伊篠新田○飯仲（公津）○下岩橋○江辨須（公津）○大袋（公津）○飯田新田○柏木（以下四村傍印播湖東涯）○下方（公津）○北須賀○八代（和名抄云印播郡八代）○臺方（公津本○有千葉氏城址麻賀多神社等）○船方（公津）○公津新田○日吉倉○久能○大和○根木名（有根木名川）○中澤○立澤○新中澤○立澤新田○飯櫃○七榮（原野開墾地）○十倉（同上）○高野○高松○文違○雁丸新田○大關新田○榎戸新田○瓜坪新田○上勝田○下勝田○八街（原野開墾之地）○東吉田○吉倉○上砂○砂田○勢田○大谷流○小谷流（合併沼藥村沼藥和名抄云印播）○用草○根古屋○岡田○西御門○宮內○飯塚○七曲（日吉倉至于此數村接壤原留小間子牧柳澤牧高野牧內野牧四牧場在此中）

○岩富○岩富町（舊曰白井莊富鄉有城址）○內田○坂戸○木野子○神門○小篠塚○大篠塚○馬渡○成山○中臺○中野○山梨（和名抄云千葉郡山梨）○和田○吉岡○南波佐間○上野○小名木○和良北鹿渡○宇那谷○下市場○村上（和名抄有印播郡村神）○上高野○下高野○米本（有村上氏城址）○神野（舊風土記曰在印播江上流南此北數里有二小流西出千葉郡東自武西來神與先崎之間合爲一）○保品○先崎○齊背（保品至于此傍印播湖上流西南岸）○井野○井野町○小竹○上坐○白井臺町○白井（在白井氏城址）○臼井田町○上志津○下志津（有陸軍省射的場）○畔田○內黑田○生ヶ谷○長岡○栗山○物井○龜崎（舊風土記曰享保三年村民鋤圃得甕中有古銅錢一萬五千文皆開元洪武等錢也）○羽鳥○吉見（合併飯郷作田二村改稱云然）○飯重（齊背至于此二十二ヶ村舊臼井莊）○江原新田○江原町○角來○山崎○下根○下根町○飯野町○飯野○土浮○萩山新田○飯田○大佐倉（舊風土記曰土浮至于此傍印

（播江市岸此亦酒轉之津因名渡宿俗言水陸驛爲宿）○岩名○山田○平賀（傍印旛湖北岸湖折處此而北漸廣矣）○
瀬戸（南航于土浮水上三百九十丈）○鎌苅○師戸（湖上亦二百九十丈南航于臼井爲）○岩戸○吉田○松
崎（合併松崎新田）○船尾（和名抄印播郡有船穗郷蓋是歟○平賀至于此皆傍于印旛湖上之北涯）○武西（合併實寺）○多
多羅田○結緣寺（有結緣寺）○惣深新田（有惣深野）○造谷○大廻○角田○
荒野○龍腹寺（有龍腹寺）○瀧○物木○吉高（和名抄云吉高）○松蟲（有松虫姫之遺述焉）○荻
原○中根○笠神（舊風土記曰野土貫賓色帶黄赤入火能然可以代薪里民成聚之以燒謂之化土近江國甲賀栗太二郡際有焉土燒之其
在甲賀者曰擬木土而似石色黄帶灰色化土有焉在栗太者曰須久毛非石非土亦非草茨如木葉之重貼腐朽而黒色有潤氣異焉越後及他州亦有如甲賀出者而異
烟可恐云按石炭石墨可以炊爨漢地理志水經西陽雜俎程子外書夷堅志老學庵筆記蘇東坡集並言之而本草綱目石部亦收之土之可燒者亦當有而未見其記載
焉）○荻原新田○松蟲新田○中根新田○行德新田○下曾根新
田○和泉屋新田○甚兵衛新田○下井新田○酒直卜杭新田○
安食卜杭新田（吉高至于此數村皆連傍于印旛湖之西畔）○長門屋新田○中田切新田○

押付新田○松木新田○佐野屋新田○將監新田○北布鎌（更併布鎌
北四箇村同北新田同横須賀新田同押砂新田改稱云然）○布鎌酒直新田○布鎌下和田新田○
布鎌脇川新田○布鎌南四ヶ村新田○布鎌大森新田○布鎌長
門屋新田○布鎌押付新田○布鎌請方新田○布鎌中谷新田○
布鎌七右衛門新田○布鎌源五左衛門新田○布鎌利右衛門新
田○布鎌太郎右衛門新田○布鎌上曾根新田○布鎌南新田○
布鎌西新田（北布鎌至于此十八村北帶利根之本流南襟其支流而東合印旛湖之下流全村在利根川中爲一小嶋稱之布鎌村）○小林
○小林新田○平岡○竹袋（在利根川南涯木下河岸屬之便于漕船運漕）○大森○別所
（併稱別所新田）○宗甫新田○龜成（併稱龜成新田實田新田）○發作（併稱發作新田八幡新田白幡新田）○
十餘一（取野開墾地）○鹿黒（合併鹿黒村新田）○和泉（併和泉南新田）○小倉（併小倉新田）○泉新
田○浦邊○白幡○平塚（合併中村新田之內平塚平塚新田平塚村新田）○名內○今井新田

○中村新田之內名內○中內（併中村新田之內手賀）○富塚（併富塚新田）○折立○神々
廻○清戸（併清戸新田）○谷田○役（併長殿法目富ヶ谷富ヶ澤更稱）○根（併七澤中木戸新田白井木戸新田）
（輕井澤新田改稱云然）○木（更稱木澤野口）○白井橋本○染井入新田（傍于手賀沼南畔）○呼塚
新田（以下五村傍于手賀沼北畔）○根戸村新田○我孫子新田○高野山村新田
○岡發戸村新田○都部村新田
下埴生郡（中古稱香取郡埴生莊貞享三年復稱郡○明治十一年十一月郡制施行上總國埴生郡改稱上埴生郡下總國埴生郡改稱下埴生郡）
東北連香取郡沿利根川西南隣印旛郡東南界上總武射郡地勢
平曠有長沼有取香野長沼南北一里東西十町有灌漑之便魚蝦
之利
其耕宅地四千七百二十六町五段四步山林三千百八十四町一
段九畝十八步原野五百三十四町五段十四步此地價金百四十

三萬二千六百四十四圓三十一錢五厘戶四千百口二萬○○十
三其一萬○○四十男其九千九百七十三女小學校二十二村六
十一
○大竹（南接八代北連安食面傍印旛湖東涯）○安食（印旛湖至此如壺口湖上入往北流入利根川）○須賀○北邊
田○矢口○龍臺○安西新田（矢口至此三村東連傍于利根川之南畔）○田川（接常陸國河內郡東連香取郡
片堅傍于利根川之北畔）○興津○佐野○麻生○酒直○龍角寺（有龍角寺）○南羽鳥
○北羽鳥○長沼（沿于長沼西畔）○上福田○下福田○寶田（舊風土記曰有櫻谷豐地丈餘
有惣材出皆櫻木也）○松崎○山口（和名抄云山方○舊風土記曰村有沼川谷鄉昔有孤泉而今亡矣其地土鹹如海濱焉）○押畑
（舊風土記曰有栗谷豐地可一丈朽木出皆栗也）○新妻○蘆田○荒海○磯部（以上四ヶ村北連沿于長沼東畔）
○水掛○幡谷○土室○大室（有圓通寺舊風土記曰村東隰間有田數十步水鹹如鹽不宜稻秧云）○成毛
○大生○飯岡（有永福寺）○西泉○東泉○小泉○十餘三（原野開墾之地）○赤

荻○下金山○和田○東金山○野毛平○關戶○久米○馬場○山作○大山○小菅○長田○堀內○取香（舊牧場取香牧在于此）○駒井野○吉倉（併稱西吉倉東吉倉）○東和田○川栗○畑田○寺臺○鄉部○土屋○成田（有新勝寺不動堂）○成木新田

南相馬郡（明治十一年十一月郡區編制郡治分畫分相馬郡爲南相馬北相馬）

亦以利根川以南之地印旛郡之一角貫郡中割斷兩地地勢平曠手賀沼在其中央而其地屬印旛郡下流至布佐而注利根川有布施爲常陸街道之一驛有我孫子爲陸前濱街道之小市

其耕宅地三千二百三十八町四段六畝三步山林二千五百二十二町八段五畝二十八步原野千九町三段二畝二十九步此地價金六十八萬二千八百三十二圓五十三錢五厘戶二千八百五十八口一萬七千百六十九其八千四百七十七男其八千六百九十二女小學校十九村三十九

布瀨（作兵衞新田小濱新田平賀村新田合併和名抄相馬郡古濱蓋是歟）○手賀（屬手賀沼印旛郡）○片山○柳戶（併上柳戶下柳戶）○泉○金山○藤ヶ谷○藤ヶ谷新田○高柳○塚崎○若白毛○鷲野谷○五條谷○大島田○岩井○箕輪○大井（和名抄云大井以上十七村在手賀沼以南印旛郡之中西接葛飾郡）○根戶○宿連寺○久寺家○布施（傍于利根川之南畔有辨天堂）○我孫子（驛）○柴崎○青山○高野山○下ヶ戶○岡發戶○都部○中里○中峠○日秀○古戶○新木○大作新田○淺間前新田○相島新田○布佐下新田（以上四村東連沿于手賀沼北畔）○江藏地（傍于利根川南涯）○布佐（在利根川南涯爲水陸運輸之要路手賀沼下流至此注于利根川○古語拾遺所謂總國蓋是歟○以上二十二ヶ村北帶利根川沒于手賀沼其南連中間）

香取郡（日本書紀作檝取清宮氏曰推常陸風土記鹿島郡例蓋孝德天皇世所置）

爲國中之大郡跨于利根川東北界常陸國南隣海上匝瑳二郡西南接埴生郡及上總國武射郡地勢曠衍一水發源于郡之北方南流會溧水經匝瑳郡入于上總國謂之栗山川利根派川之地多得運輸之便有神崎森枕于利根川眺望絕佳郡之東北境有乾潟其地跨于匝瑳海上二郡是則椿海之地今爲稻田者矣有佐原在郡中爲都會之地置當郡役所於此香取神宮在香取村樹木森蔚祠宇宏壯祭神經津主神配之以武甕槌神天兒屋命姬神是爲官幣大社郡中多屬藩治地者內田氏佐小見川松平氏在多古井上氏在高岡大崎故城址在本矢作古國分氏居于此有小南古城址傳昔平忠常據於此源賴信降之助崎故城址在名古屋村村中有別格官幣社小御門神社乃爲贈正一位藤原文貞公祠

全郡耕宅地二萬六千二百三町五段二畝一步此地價金七百九十萬七千百八十七圓七十二錢二厘戶二萬千二百六十六口十一萬一千三百七小學校七十一村數二百七十四

西大須賀○滑川（傍于利根川南畔亦爲驛津有觀音堂）○大菅○高倉○名古屋（舊曰助崎有別格官幣社小御門神社及助崎古壘）○七澤○小野○冬父○中里○名木（以上或云舊助崎○以上十村昔時屬佐倉封域者也其耕宅地七百五十七町六段八畝十九步山林原野五百三拾八町四畝十步此地價金廿四萬九千二百五十一圓十三錢戶六百廿三口三千百廿二學校二）

千葉郡（中古稱葛飾郡千葉庄貞享三年復稱郡）

在國之西南隅西臨內海連東葛飾郡東北隣印旛郡東南接上總國地平坦而多原野有習志野六方野鳥喰野十文字野等當郡之西

南隅有一驛曰濱野其北驛市曰曾我野爲戶田忠至之舊封地生實亦爲森川氏之舊封地在昔足利義明據於此以故稱其居曰御弓御所海岸一聚落曰寒川村連千葉町此地有千葉縣廳管轄安房上總二國及下總利根川以南之地有郡役所管掌千葉市原二郡其他有裁判所警察署監獄署又有師範學校醫學校之設千葉町之南有古城址曰豬鼻臺千葉氏世々居焉寒川村西連登戶村從此船舶常往返于東京又其西有撿見川此間砂路行旅難步近來連通稻毛村數村新開路以便行旅撿見川西有一驛曰馬加有城址傳曰千葉康胤居此

其耕宅地一萬九百二十三町餘步山林八千六百二十三町八段二畝二十一步原野百十九町五段九畝十九步戶一萬九百五十一口六萬二千七百五十五其三萬一千四百六男其三萬一千三百四十九女師範學校二其一女子師範學校小學校五十三町二村百二十七

且谷○谷當○下田○大井戶○下泉○上泉○中田○古泉（在島喚野）○富田○和泉○中野（本郡之東南隅面接上總山邊郡）○平川○五十土○野呂○高田○佐和○川井（在四作原）○高根○多部田○北谷津○金親○大草○小倉○坂月○加曾利○長峯○坂尾○平山○遍田○野田（以上數村千葉郡之東南面在六方野四作原小間子野等曠原中）○大金澤○小金澤○川戶○仁戶名○星久喜○矢作○千葉寺（有千葉寺）○宮崎○大森○小花輪○赤井○有吉○生實鄕（舊曰小弓曾森川氏之治所有小弓古城足利義明館址大巖寺）○北生實（有森川氏舊營及古壘）○南生實○谷津○苅田子○富岡○茂呂○中西○落井○駒崎○

古市場（跨于上總市原郡）○村田（在村田川爲兩總國界○以下六村連沿內海東岸便于漁艪）○濱野（有本行寺）○曾我野（戶田忠至舊封地有蘇我比咩神社）○今井（合併泉水）○寒川（有千葉縣廳及郡役所於此地便于漁船運漕）○登戶（東京轉漕之津）○千葉町（有裁判所師範學校病院等亦有千葉神社千葉氏古壘及墳墓）○貝塚○邊田○川野邊新田○原○高品○東寺山○殿臺○作草部（和名抄云三枝）○萩臺○西寺山○小深新田○長沼新田○犢橋○宮野木○畑○小中臺○園生○黑砂○稻毛○撿見川○馬加（有千葉氏古城址）○鷺沼武久々田○谷津（併名併地新田○黑砂至此七村連沿內海東北岸）○藤崎○大久保新田○武石○實籾○長作○天戶○花島○柏井○橫戶○勝田○萱田○萱田町○大和田○大和田新田（在習志野原）○高津新田○高津○三山（有二宮神社）○藥園臺新田（或曰正伯新田接習志野）○瀧臺新田○田喜野井○前原新田○上飯山滿○下飯山滿○大穴○坪井○古和釜○金堀○楠ヶ山○

神保新田○八木ヶ谷○大神保山車方○行々林○小室○小野田○小池○眞木野○神久保○佐山○平戶（有神崎）○島田○桑納○桑橋○吉橋○麥丸

道路（轉漕津梁）

東京路（在佐倉西驛五佐倉至臼井一里餘臼井至大和田二里大和田至船橋三里船橋經八幡至市川航江戶川六里達東京○船橋至行德二里行德航江戶川及中川四里而達東京或行德通漁船於江戶川直航東京○佐倉西南過千葉町至寒川五里餘寒川僦航漕上木程七里而達東京）

成田路香取路（在佐倉東佐倉至酒々井一里酒々井至成田二里餘成田歷寺臺吉岡伊能櫻田至佐原七里佐原東南經篠原三十町而達香取○成田過佛郞至滑川三里餘滑川歷高岡神崎大戶川五里而達佐原○佐原試津宮泛舟經加藤洲洲﨑三里至大船津又半里達鹿島宮中）

銚子路（佐倉歷成田滑川至佐原如香取路佐原至津宮一里津宮至小見川二里餘小見川歷須賀山石出東條本野尻高田五郷至松岸六里餘自此一里餘而達飯沼○滑川北有鑛山源太河岸從此通船下利根川達銚子○酒々井過木名上總加茂至多古四里餘多古至中村二里中村經松山八日市場太田成田過松岸十里餘而達飯沼謂之銚子別路）

閑宿路　在佐倉北佐倉至瀬戸一里半此間有土浮渡筑手七百歩瀬戸至荒野一里荒野至瀬一里半瀬至木下一里木下至布川二里此間有利根川布川一至小文間經取手守屋絶鬼怒川過内守屋岩井百戸瀬關宿自此西北四里至古河又七里達栃木〇關宿北七里餘而達結城〇關宿通汽船於江戸川航渡東京

上總路　在佐倉西南佐孫五佐倉至馬渡二里馬渡至千葉三里千葉至曾我野一里曾我野至濱野二十餘町濱野至八幡又二十餘町而入上總國八幡經五井姉ヶ崎奈良輪七里餘至木更津又四里達佐貫〇濱野經酒井戸長柄山長南十里而達大多喜〇千葉西北經檢見川馬加四里二十餘町至船橋又六里達東京

常陸路　佐倉至布川如閑宿路而布川至若芝三里餘若芝經牛久荒川中村五里達土浦土浦東北經中貫稲吉石岡竹原片倉小幡長岡十一里而達水戸〇土浦西北經北條五里半至筑波

下野路　佐倉至布川同前自布川西北至山王渡小貝川經水海道石下宗道至下妻過船玉十八里而至結城自此北九里達宇都宮西北九里達栃木

徑路　佐倉市鑄木佐六崎神門岩富砂六里通上總國東金〇佐倉過長熊勝田大四新田八街東市行六里亦通東金〇千葉東南過是久喜仁戸名東經野呂

和泉中野西通上總酒山田南經野田而通土氣〇酒々井東南過墨馬經五里通上總國芝山〇成田北經松崎龍角寺矢口亂利根川而達常陸云是古陸奥路也

轉漕　西風土記曰慶長中酒々井北開渠引印旛江而通舟於酒々井而今渠溜只存新畑名耳洞有二道一登戸達佐倉市三十里塞川並達而在海畔此浮津西南五十里達武江及爲港西一大堀濱達佐倉濱六里泛印旛江北十八里而至利根川而左泝之過木下歴四谷南折沿市川入海而達武江爲右從流而下者歴布川金江津神崎佐原小見川而至銚子入東海又右則過上總而通安房武藏〇今也利根瀬川之地有安食從此泛印旛湖上通佐倉田町

渡津　師戸渡横絶印旛湖上七百步市城臼井田町土浮渡北航瀬戸亦湖上七百步

橋梁　〇鹿島橋在佐倉田町舊城西北架東西〇佐瓦田橋在鏑木六崎間跨于南北〇武田橋同上〇寺崎橋南北架于鏑木寺崎間〇羽鳥橋在寺崎羽鳥間〇馬渡橋在馬渡架于坤艮〇小竹橋架于臼井上座際〇下勝田橋在下勝田上別所間架乾巽〇鹿島橋在大森鹿島間〇神崎橋在上座尾平戸間〇平戸橋架平戸神野間〇萩田橋在下市場益田間架東西〇大和橋在千葉町〇君待橋在寒川架南北傳治承中平常胤率兵迎源頼朝而待於此橋故名之云〇寺崎橋在寺崎村東〇新橋在押畑新井間〇飯岡橋架飯岡瑞田際

山川　原野　泉石

鹿島山　在舊城中今設陸軍營所於此舊有鹿島神社當設營所時移之于佗舊風土記曰鹿島神社在郭内未詳創建年時以上名鹿島下有此島橋觀之知其爲古蹟

將門山　在佐倉舊城東本佐倉北文久三年癸亥舊藩移士族於此稱新町〇舊風土記曰在佐倉城東六里有古壘址俗傳平將門館于此與其婦桔梗字故名山云八幡祉後有松古怪如蟠圓可二丈俗曰八國松又西北百步有古松巨魁無倫元祿中斬之其株上展錦席八傳桔梗之丘木也〇清宮氏曰米井村有稱平將門栗桔梗事者扶傀儡式戲更云內裏下總貫桔梗事而今舊飾桔梗上好者稱相馬後小觀家附會以爲將門妾名云〇此地桔梗今羅不著花〇古堂曰佐倉藩門山赤有此說不足信

花島山　在印旛郡平賀村東北印旛湖中俗歌謡島臺花一嶼相近故然山多櫻及躑躅故名之云〇舊風土記曰山路印旛江而臺一江之鄙焉昔有寺曰大日本寺弘法大師修護摩山上封土記其壇址山腹有鑄鉢水山有十六峯八谷云

稷山　在印旛郡公津臺方村

千座山　在印旛郡臺方村

鳥見丘　在印旛郡萩原村常陸風土記云印波郡鳥見丘乃是也〇清宮秀堅曰常陸風土記云大足日子天皇登坐下總國印波鳥見邱留蹕遙望四東日御即胥波沼陸是丹殷空陵國在其中今萩原村有島見祠刀水地勢高爽登眺行天空經過故址而人無知爲何址者

菊水山　在香取郡滑川村山間有泉曰菊水傳小田氏之古壘址

猪鼻山　在千葉郡千葉町南百許步距內海十町許千葉氏之古壘也北埴田畝間時出焦米堅硬如石蓋千葉氏時遺礎兵火餘燼云

印旛湖　瀦沒于印旛郡中天明及天保中閣幕府命諸侯圖之其跋涸神野平戶之間歴米本村上西通下市場萱田之間過勝田橫戶柏井經畑武石至船尾川以注于內海工皆不成〇舊風土記曰佐俗曰沼澤巧沼此赤富日印播沼又曰印掘湖此江也若尾四十餘里有舟楫之便多爲鰡之利而下引海湖宜言江而或沼或湖者鄉爲爾故今以江稱爲大江千里有派曰志毛比佐乃伊流乃字賀奈美多豆見之毛不奈比土佐和伐可爲香於須奈里共稱而者蓋亦尚矣其源出於神崎尼之西北受二小瀧一自師平戶之間一自戶神佐山之間被台于船尾下廣可一里而東南六七里至師戶台於鹿船橋下渡而廣可二里又東少北被七八里而至手賀自此北折衛坂大而瀧廣袤十餘里設於印播埴生二郡西北過安食分爲滾尾以入利根川其汎濫之患常在巽風而來必在西水爲蓋則根川東南朝海若潰爲風禁雨則自而口吹上面水迫行溢入于此爲耳江之爲湊不宜于平看藍茯爲望也宜于暨臨矣非登臨老平賀爲佳麗野次之炳收水澄一碧萬頃攬而之山如描如坐如走如駐取屏西陽者平賀之望也崔沼大江一作舊寂以爲長赤水外縣洲角飛鳥風知日而面富士峯于共千里表者飯野之晚也凡麗江村三十餘佐山也神也保品也背也先崎也臼井也江原也角来也佐倉也山崎也下根也飯野也土浮也萩山也飯田也大佐倉也柏木也下方也北羽賀也八代也大竹也酒臨也安食也供連印末而起於乾挟于兒師鹿以終于狀飯船尾也松崎也吉田也碳戶也師戶也殺刈也殺戶也山田也平賀也吉高也松虫也扶取也中根也笠神也笠神野原也卜掠也習延印西而起茂回殺效印東者爲古高東可二里江中有二穴一北一南相傳四五十步徑各可五十丈水色深玄底不可測旋渦甚恐舳艫鍬過村民所之佐入知穴佐久知鯔魚之小者時從于此穴下淵取之無數故名爲北須賀以北江上夏間陰之夜火出水中高水數尺非爲火非鬼火須臾分散或五六十或百數十若往若來或索或怒乍盛乍近又又低以爲數時而減亦江上一奇也〇清宮氏曰天明中官命墾印旛湖南高壁地中至深五丈許多出巨材土人割作臼或作砧局今現存焉〇續古堂有印旛湖記曰

下總印旛郡有湖曰印旛湖以北郡名之也發源于西南二處而北入于利根川徑七里廣二里其西源出于鮒尾之西北受二小流東過于神崎揺又東至于師戸入于淵其南源有二自野呂與一吉倉來謂之物井川一自文達與立澤來謂之高崎川二川至于佐倉城西南隅合爲一北過鹿島橋又北西至于飯野入于湖納二水淼淼無際南岸曰臼井臼井有城址千葉胤所築永祿中爲上杉謙信所攻天正十九年遷爲德川氏所滅陵空猶存其西北隅有大根老樹朽而湖西千葉氏所捕云今枯飯野有臨坐云昔有大蛇沼焉故名自龍崖師戸少北又東左台林田如泉水溶溶行乎其間至于中川北折而岸則牛馬如豆東則神津寄麻賀多社其神稚產靈會也社市存坐說曰鷲山千葉胤所據西川平賀丘址東北隅有嶋曰花嶋上多郡龍關亦亙之交流嶋昔花所以名也嶋北吉高亦有壘址曰鵜島千葉氏將吉高代介所據吉高對岸于北須賀自此以北益窪如洞沼々焉四方不復見村落一岳鑿西琉波北去北于水上飛潟之岡以探如空如走如陸並天明烟收則上下一切波紋如鏡布帆如遇風舟如聚鳥又似鳥若夫淵則險浪怒濤之門東岳天橋大穴極此不得不懼之湖也古或曰沼曰沼又曰江者皆不得其實古高之東湖中有大穴二隧谷三四間南北知距五十步水色深玄旋瀉甚急舟渡不可過土人常之佐入知穴佐入知者饒之小者夏時鷗聚于其中故名鈴鋼者一艘常得數百尺且聞每歲六七月陰雨之夜有火出水中非漁火非鬼火或聚或散如注如來乍滅乍近乍遠而滅不可吸云亦一奇也自佐久知穴東西歴松崎大竹松森下井至于妄食釜括面入利根川盡消多爪之利于環湖之民網以食生者不知幾百戸然互秋間一還東南風雨則利根川大水逆行溢于湖其所設錐數十里沙漫如海禾然所消亦不可如發千萬頃天明及天保中府所會沼氏堅之以注于內海工哲不能成其後屢有議疏會事者亦皆不果蓋海水高于湖云

手賀沼

沮洳於印旛郡之西瀉而跨南相馬郡之中央東西三里南北一里許其西南二源西出於十太夫新田西北經根戸呼塚新田之間流注南出于栗野側歷大井戸張之間流通又一源分於金山之北流溺東至木下布佐之間合流以入利根川最多鳧鷲之利

長沼

沮於下埴生郡北南北一里餘東西十餘町多便於漁獵又有魚釣利首南尾北尾爲兩流西過安西新田東經西大須賀俱入利根川

阿蘇沼

舊風土記曰在印旛郡村上保元中有平入道某者偶射鷲雙於此而獲其雄夜夢一婦人涕泣詠歌曰由布久禮波佐曾比之毛乃達阿曾沼乃末古毛可久禮能比等里寢毎曾宇禮明日又射其雌鷺聞抱雄首其羽爲建一寺曰鴛鴦寺云里人所傳如此而沙石集記之以爲下野國事

吉次沼

在印旛郡行傷新田堤內曾有丘墳是爲金寶吉次之墓寶永元年洪水決堤舊墓其跡方二百步許爲沼名曰吉次沼○舊風土記曰金寶吉次墓在印旛江畔傳昔時金寶吉次信高兄弟二人往來陸奧而取路于此莊原村有强盜神左近者殺越之貨寶墓爲水所壞土人猶記述云

鐘淵

在印旛郡六崎村○舊風土記曰傳高岡村民竊石川村長榮寺鐘而過此所懸迎還乘而去矣

朝日淵

在香取郡滑川村北今則變爲蕪草地一禿柳下僅存觀音古碑○舊風土記曰傳昔有小田宰相正治深信觀音一日有化女自言吾香河神者名朝日午不見只見小田川有異光而網出十一面觀音像長一寸二分正治建一寺安之還名其川曰朝日淵云

子也泉

在印旛郡吉岡村野○舊風土記曰昔有村翁日日出野必酩酊還其子惟之篤從於所遊無與飲者但杯飲野水而欣然醒醉耳其子就飲此水冷濃無異味因父以爲酒而子也以爲水之義名其泉焉

千葉水

在印旛郡大佐倉村勝胤寺堂前一古松掩之言千葉勝胤常賞此水

延命水

在勝胤寺東百步地藏堂前焉

井野清水

在印旛郡大和田與井野之間上○舊風土記曰大久保加賀守利常愛此水必駐駕故俗稱加賀殿清水近改今名焉

伊篠清水

在印旛郡伊篠村

權現水

在印旛郡臼井宗德寺佛殿後東南○舊風土記曰傳東照神君狩患於此汲此井水美之曰宛似京師柳水而遐所至無遠近必命供日陰寺水飲茶秀忠公亦嘗台駕憩之曰此所謂日陰寺水乎因賞甘美焉此後時寺在深林萬高鬱蒼常爲蔭涼故俗稱曰日陰寺

獨鈷水

在印旛郡平賀花島山○舊風土記曰傳弘法大師以獨鈷突山麓出泉云

御茶水

在千葉郡猪鼻山下○舊風土記曰亦神君嘗用之供茶水大巳清冷石畔覆之其壽濡之餘猶足於民用矣

明星水

舊風土記曰在埴生郡山口村妙見山下旱魃不渇時有靈異焉昔有湯泉曰日月瀧今亡爲井矣係俗官瀑泄爲瀧

濁江水

在印旛郡八代村外常濁如攪土故名之

菊水

在香取郡滑川村市菊水山院

酒井

在印旛郡酒々井村昔爲醴泉村亦因之名云○平野重久撰文國々井驛古松記曰酒々井驛距佐倉城一里而遙隔印旛湖亦一驛地也嘗有古井相傳古稱山酒泉是驛之所以得名也其事雖近誕然口碑所傳不可廢也而古井廢久矣其遺跡今在神宮寺中有殘碑文字磨滅不可讀可惜耳神宮寺之西百數十步有古松高可百尺其大八人圍之所謂可衰年者里人稱之八圍松蓋七八百年外物其下有砂見小祠傳以爲神樹古松所在稱記前鄉里側有叚亦稱記前叚記前者人名千葉氏之臣屬也按此地係千葉氏之族長祿年間千葉介輔胤自千葉移于臼門山居焉經九世至聖胤天正十八年與北條氏共亡焉今就其遺址想之千葉氏我鄉之名鎮當時之城郭必當門之闕然樓櫓層出氣象偉麗臣僚之邸宅環列及此等地瓦屋相望煙火稠密極一時之盛矣而今皆廢爲冷風化爲荒草誠使寒心矣田片瓦不存僅見古松保往來其間耳此松蓋當時之遺物而使然不敢面目爲大舍可謂稱世之珍也先是天保年間爲雷震所擊半而枯焉至去年巳己七月又爲大風所倒遂枯焉里老愛惜之餘相謀欲就其根側立石使名松遺跡不泯滅請文於余嗚乎草木之枯無情其生其枯亦有數而然者人無如之何也余嘗面西遊過猶康至曾觀菅公手栽之松寛政年時既枯里老架保衞其根幹蓋出於敬公之餘也高砂礪借老松天正之亂兵士伐以爲薪火據尾上觀遂理松亦三木之役爲兵士所斬伐亦何獨怪此松爲大風所倒而枯哉世間萬事須臾變滅皆不足道以千葉氏之名族其亡也忽諸今過其遺址徒使人懸想此松後千葉氏之亡者數百年其傳者亦多何惜之有巧今眼其頽末并及古井之事欲是予古松之名酒泉之事永不朽矣是里老之所希望也今明治三年歲次庚午十月甲午朔廿五日戊午識

七井　舊風土記曰在印旛郡神沚村麻賀多神社四方三百歩外曰初井曰花井曰北井曰南井曰御手洗井曰椿井共供神事

利根川　爲本邦第二之大川發源于上野國過下野武藏下總常陸之境朝于東海其支流從關宿南馳入于內海名之曰江戸川

物井川　在印旛郡二源皆出上總國一自千葉郡野呂來歷下田谷當北流二里許至坂戸一自吉倉來歷大谷流用草七曲岩富西北流二里許而至坂戸二水和合入馬渡橋下又西北流一里爲物井川出於小名木村流爲鹿渡長岡亦合于此而北流半里至羽鳥又與高崎川合爲一北流於舊城西過鹿島橋一里而入印旛湖

高崎川　二源一出於文違高松之間西流過下勝田橋下二里許歷高崎南一出高野北西流歷立澤中澤過飯領橋下坤流二里至高崎北二水合于高崎西又西流過高岡歷寺崎橋下流于舊城南合于物井川俱入印旛湖

中川　出自印旛郡尾上乾流一里餘過中川而入印旛湖

新妻川　在下埴生郡一水出畑田西西北流過寺臺橋下二里許而至下金山西一水出于取香堀內之間西北流一里餘至下金山西二水會於此乾一里許而入長沼

飯岡川　在下埴生郡出東泉東西流過飯岡橋下而入長沼

水掛川　在下埴生郡出大室東南二里乾流過水掛而入長沼

村田川　在千葉郡西南出于上總國市原郡金剛地板倉邊之高原出于古都奈其大成等會細流西北流歷草刈古市場注于村田海是爲二總國界

沙伽陀池　在下埴生郡龍角寺○舊風土記曰傳曰昔龍女建寺留此地以掩護焉中世池南防決常患汎濫後沉一女子而防始定矣其女爲龍女以兒偶持梅實堅地而生至結子半生半腐近歲樹猶存而今亡矣

貉池　在印旛郡竹袋村池頭又有貉坂

鳴澤　在印旛郡池村西○舊風土記曰傳水脈潛通村中此水盈則村井皆盈此水縮則村井亦皆縮云

小間子野原　自印旛郡之東南跨千葉郡及上總國武射山邊二郡曠原也傳北條氏康使千葉氏牧馬於此云德川幕府又置牧場以區別之其一曰小間子牧（縱七十五町橫四十町余）其二曰柳澤牧（縱九十町余橫七十町余）其三曰高野牧（縱六十五町余橫四十町余）其四曰內野牧（縱五十町橫三十町余）俱在印旛郡其五曰取香牧（縱五十町余橫三十五町余）在下埴生郡其六曰矢作牧（縱七十町余橫三十五町余）跨下埴生郡香取二郡以上六牧連于此原野坤艮而延亙上總國武射山邊二郡外有一曰油田牧（縱五十町橫十五町余）在香取郡稱之佐倉七牧明治政府廢之令原野多墾開於此七榮八街十倉十餘三之新村稱成　明治八年五月政府置開一大牧場於內野高野取香矢作四牧地爲綿羊牛馬豚畜養場同年九月設役管轄於一字用區別爲種畜牧羊之二場事要海內種畜之改良併試用泰西之農器具於開墾事業又分場內爲七區稱改三里塚兩國諸之頭鋤穴駒之頭五區是稱農商務省下總種畜場其業全成　乘輿數臨幸于此　明治十五年五月二日三日　聖上臨幸於中野八街近傍原野親觀近衞諸兵隊之對抗運動於此

草深野　在印旛湖之西北東西一里餘南北一里許而西通手倉野

六方野　在千葉印旛二郡之間乾連習志野而通小金原南接上總國大原總稱之千葉野○舊風土記曰千葉印旛二郡之間曠原四五十里通小金東金而接上總國者總稱之萬葉集歌曰千葉乃野乃古乃天可志波乃保保未禮也安也爾可奈之美於毀天多可毀奴

習志野原　在千葉郡之西北隔北亘葛飾郡小金原南接續六方野曠原而舊稱之大和田原誠正伯原屬小金下野牧場在此中　明治五年十月置陸軍操兵場于此六年四月　聖上親臨賜此名屬于陸軍省所轄十五年一月原中澤爲御遊獵場

熊野石　在印旛郡太田村今祀熊野神社○舊風土記曰傳言百五十年前村民某詣于紀伊國熊野社將歸石容鞋大可桃核從乘從者帷之取盛于袋日日發其長且重遂還家則終不可容遂神之祀爲熊野權現事未甚致而其長亦不已初祀屋後後移諸外爲其民經四世而石今三尺九分周圍一尺四寸狀如汲余其家言一塊所長必可米大按之四十年前既長六七寸也按西陽雜俎云利州臨江府有一寺寺前漁釣所嘗有漁人網得一石如拳因乞寺僧置于佛殿中石逐長不已經年重四十斤文苑英華引錄異記載洪州寶石于越王山下臨仙觀前長七八尺圍三丈餘而七日內稍小長三尺遂至今七八寸由是觀之則石有長者亦有消者蓋浩然之氣充塞天地者莫所不至而其稱長亦將有所極矣

魔三郎石　舊風土記曰在印旛郡鹿廐吉祥寺高可五尺廣可二尺厚七八寸傳昔家古魔三郎偶來于此鍬土成石云

土產

茶　無町村之別多產出近來製茶之多不讓于他州

酒　所々釀造之

燒酎　所々蒸餾之

醬油　所々造之

薪　千葉郡沿海諸村多輸出之于東京

炭　印旛千葉下埴生三郡俱接原野諸村皆出之其鐵斷者最良○舊風土記曰出于千葉埴生兩郡際其鐵斷者點茶爐之用殆似攝津池田產但闕香氣耳

葛粉　千葉郡千葉町以南之海畔五六箇村以甘蔗多製出之其精良者亞爲粉故稱之

栗　所々出之

柿　所々出之

三度栗　印旛下埴生兩郡之原野最多○舊風土記曰原野有之樹不高子亦小春生夏華秋實冬和落葉之蓋茅栗屬也出本草綱目

蕨　原野多出

蒟蒻　舊風土記曰市井作之硬質異他蒟蒻草名根如芋其魁似碎炙浸爲餅是本草綱目俗言根爲蒟蒻芋其塊俗者專曰蒟蒻

茯苓　所々在焉先以亘鋸掘取古松根認其所在從而掘取之

筍　所々出之而印旛郡最多

菌類　所々多出而千葉郡最多

甘藷　同上

青海苔　出寒川之

蓴菜　下埴生郡池中多出

松露　所々產出○舊風土記曰春二三月間松陰土壤生之狀如彈丸外褐色內白香脆味美氣如松蕈或曰陳仁玉菌譜所謂麥蕈者是也未詳是否

初蕈　所々產出○舊風土記曰色赭又紫又帶青甘脆尤佳按菌譜所謂紫蕈之屬近之

鳧　雁　印旛湖手賀沼長沼及水畔處多在焉手賀沼最多

鷺　鷗　水畔處々多在焉

雉　印旛下埴生二郡之原野多在焉

鮭　利根川出秋時得于安食村以西江川藏地之間爲佳絕

鯉　利根川印旛湖長沼物井川等皆出而物井川爲

及佳○舊風土記曰印旛江戸沼物井川皆出面物井者最爲魁美東鑑記千葉常凪沼馭三尺鯉蓋此產乎鮫印旛湖手賀沼長沼皆出面長沼爲最佳鯉手印賀湖
沼長沼等俱多出鯰○鰒赤魚○鰡○鯽皆多在印湖○舊風土記曰皆在擴江取之用網或一人掉小舟蹈叙搖之鯽蟲者
又之取之鰌所々多在焉海魚出寒川爲最佳自上總海邊來亦蛤蜊之屬寒川爲佳鼈印旛下埴生兩郡往々得之于水畔兎
○駒有家駒野駒○舊原野到處有官牧爲馬群明治改府廢之而牧場多就開墾其區有私牧耳明治八年政府命置牧場於印旛下埴生兩郡之際畜牧地案御外
好之種畜爲牛馬羊種畜場建設于官沂畜舍事錄畜產改其書羅粟既成出牛馬之其種於此○舊風土記曰野駒爲其家駒次之其野駒在埛市者自千粟野以東至根
水名北者酒々井以東至寺臺頭原櫻衛各三四十里風牧于所々官殆其北牲消息之數皆有屋然讓之六月迄來取之之北執之處置之込（字書無此字俗用此爲押
入之義有古來古无二此字古米之込凡七處曰内野曰高野曰柳澤曰取香（傳古之搭雖者出于此）曰小間古曰矢作曰油田是也每込三四十步四圍築防傍開二門
及時列卒呼噪牧士數騎驅逐之或百或數十以聚一所面納諸込乃官吏監臨命牧士簡擇毛物不可者驅出之可者留之一人字頭繫繩駒首又一人躍上駒脊急抱
其頸仆之執之蓋其込而止矣牧士數十人散居村々

神社

麻賀多神社　在佐倉宮小路町爲佐倉宮小路町新町本町中尾餘町上町並木町野狐臺町鏑木村之鎮守

愛宕神社暨五社　俱在佐倉田町南五社所祭天照大神八幡大神鹿島大神妙見客人宮凡五座舊在郡內從舊之時遷之于此

子安神社　在佐倉彌勒町南所祭木花開耶姫命

八幡神社　在佐倉野狐臺町彌勒町鎮守

神明社　在佐倉本町北舊秋九月二十日祭之街頭植高檣二人緣攀而上以爲戲庶俗謂之都久舞今則無

八幡神社　在將門山舊有圭田之地二十石八月十二日牽于酒々井走馬祭之

將門神社　在將門山傳將門山者承平之古壘面千葉氏祀將門神社及妙見祠于此以有祠名山平廣嵐據古址築城云將門神祠舊在奥社口社之二祠
奥神祠廢墩面今存口神祠曰寶曆二年壬申城主紀侯正亮經營口神祠于舊址肇祀記宗吾之靈於將門妙見兩來祠宇壞則隨修焉有石島居承應三年堀田侯正信
之因或謂口神祠者祀正信爲祭宗吾靈然無可證按鶴葉城錄曰（正信中亦曰郡邑建之將門山將門八幡之二社俱有舊爾祠亦不詳是宮年時以故里民說爲四郡從昌
之神跡有附會近世之事者八幡祠有朱島居將門祠有石島居者是爲木祠也○將門舊祠有平親王將門明神之頗新祠有將門山之頗釜造還時存舊祠以存疑耳○舊
風土記曰俗傳平將門居此其妾桔梗與藤原秀鄉謀殺之故此地不生桔梗草因記將門按將門都于相馬郡就戮于幸島也未聞居此面其死也平貞盛射斃之秀鄉
新其首鬪所聞桔梗事不載於將門記今昔物語等書鎮將門族裡至後徵在總之上下多就共處祭焉耳祀正信建石鳥居有銘刻曰奉寄進將門山大明神石鳥表（右柱）

承應三甲午天十一月日總州印旛郡佐倉城主從五位下堀田上野介紀朝臣正信（左柱）或謂此爲祭總吾靈者非也聞諸故老若正信主城時神津村若晨總吾有鄉被確
堅自究之爲祟不已建小祠於山下以鎮之其祠廢已久矣淸矣與神津之際嘻上有小石龕此其祉也○有口明神祠之碑文曰鬼神之爲靈其昭明乎面弗見其形弗聞
其聲敬之也如在兆敬則否矣亦嘗火之寄性於木也傳入眼煙以蓄其妙用敬吾畫佐倉者久野氏之墟也距城一里許有將門山蓋承平古壘云昔在千葉氏之守斯鄉
也壁造將門神祠豐妙見堂毀月然遠並就國廢寬永中泰祖玄性公（加賀守正盛）移封佐倉再經營之迨乎寮祖堯忠三公（上野介正信）封私有志顧崇矣己氏之靈建
祠于將門山爲山祭面祀之乃蓋承應三年冬十一月也士庶悲香崇敬甚篤爾曰口明神之邦俗謂山口故呼乃雨後有故陰除天和年間悲靜公（豐前守正休）新受封毛之
吉非專姓江之宮川代忠三公（俟于佐倉者凡四姓皆以民之心爲心祠字堯嫂隨修焉延享乙丑先公（相模守正亮）拜相越明年從羽之山形移封于此則私喜以朗
佐倉者秦藩封至忠三公（堀田）除而高祖不肯公（左少將正俊）延爲其弟吾以華勞之習再有斯士江之封邑亦歷々則忠三高公之靈登弗伸尉於天平敵盤縦入之志問公
之所以保達孝也吾之兆願尚遺忠三公之志矣實際壬申之秋乃命有司改作口神祠事詳于別志先是實殊院僧世司其記因給以既京後定春秋二仲爲我合期使有
司理明盛服以陛以祭之爾來春秋禮典亡關存人以妙々承其先以其禍就夜鬼風匝懈將恐其所以有民人保社稷者誠有遺淵而臨之手祖宗也是兆敢禱々神凡封
內神祠在祠典者大小莫不畢矣○中○口明神者忠三公鄉靈不先公之士庶士由崇敬神靈昭著則不得不殊事承焉問院僧○○者誦下立碑記于罪諸不朽乃繫焉陳其
來蒼以民之心爲心春秋祭祀永无廢興而神靈之所擁護佑封事誕世悠久則誠寡人之願也謂云祭如在惟敬可以事鬼神何必求見其形聞其聲而後家

其應驗故凡爾士庶識觀火之性用以察鬼神情狀則庶乎得其實矣寬政辛亥冬十一月佐倉侯紀正明立○此碑不知建之在何所蓋欲建之不能面止者歟○野州大
崎村有山士家左門氏者與予交久矣聞予撰佐倉風土記來告曰下野國西佐野有宿記存矣記中載佐倉將門山建祠之事聞抄錄以供參考其略曰天祿三年秀鄉
之第三子第四子和尊病死入皆以爲將門靈所祟於是合其老臣安部左衛門佐祭其行政七騎武者登於常國波呂御門將祠之曰將門擬現其在武州牛込村者將門
首塚也祭葉山之日然土明神其在北總岩非村崇祠之曰將門明神其在同國佐倉將門山者祭祠之三郎盛靈祠之日態五明神其在野國境崇祠之日娶明神此北
將門死亡之地云

八坂神社　在酒々井村舊曰牛頭天王社

御靈社　亦曰鎌倉稱五郎社

麻賀多社　舊社前有老杉可三丈

愛宕神社　俱在大蛇村之內

大蛇社　在大蛇村○舊風土記曰未詳所祭神在大蛇村傳千葉家臣原信讓時其主觀風攻將門山城面敗之觀風逃匿此社原探殺之上杉家臣虎討原滅之

天神社　在石川村

麻賀多神社　在公津臺方村後山上延喜式所載印旛郡一座麻賀多神社是也○舊風土記曰應神天皇御宇印播國造伊都許利命奏祭稚產靈
神鑑社本三十八座今存者五坐曰印波國追社曰幸靈神社曰馬來田郎女神社曰伎田彦神社曰天日津久神社曰司太田氏家藏貞治永正官幣祝文其祖家藏記許

焉有七井七釜併在社外四方三百步所謂初井花井北井南井御手洗井大井椿井乾有說數釜北有北野釜東有元松釜南有平松釜天神釜西有社司殿釜花檜釜神門左右百二十步有七家正月七日採七種菜於七家面獻之古有祭田七區七氏分守以供祭祀油免鷹布免掛免圖子免神酒免餅免釜免巫免是也今僅存其名耳任谷曰禪風爲免

船形神社 際根山內津社在船方村千座山〇舊風土記曰臣根山可二里亦伊都許利命齋祭稚日靈尊以爲瀬津宮攝社三座曰賀志波比賣神社曰阿

須波神社曰八代稻荷神社是也有二井御手洗井在北廻井在西焉

秡神社 舊風土記曰在船方神社內所祭神四座瀬織津姬神氣吹戶主神速開津姬神佐須良比咩神也

香取神社

健熊野神社 俱在船形神社之東

根山神社 在北須賀村祭牛頭天皇

八幡神社 在嚴宮村古壘地〇舊風土記曰慶長十四年北條氏族摸鑄鎌倉鶴岡之神像以祭之云

神門神社 在神門村舊曰牛頭天皇社

八幡神社 在臼井村古壘地之西北臼井興胤足利尊氏與菊池等戰於筑前國多々良濱祈于宇佐八幡宮及宰府天神而有驗焉後還主臼井城遂遷

祭于此又携宇佐宮神棒杖來插地祝曰若此杖活而生葉以爲神來格之驗後則爲樹繁及今在社傍稱棒園可三丈者是也又自此北數步在一大老楠圍五丈餘十余年前既枯今猶存舊柯樹側有山王之小祠

天神社 同上在古壘地內亦曰井與嵐蓋祭大宰府天神云

宗像神社 在瀬戶村蓋祭筑紫宗像神社焉

鳥見神社 在荻原村鳥見丘〇舊風土記曰所祭饒速日命相殿神御炊屋姬命味間見命也有永祿中之舊祭簡元祿中社司石井氏請吉田家敍卿事正一位焉

鷲宮神社 在先崎村〇舊風土記曰大將軍家光公被寄祭田七石地焉未詳祭何神正覺寺主〇掌社事承平七年七月七日慈惠僧正奉朱雀帝之勅來祭此神面闕伏平將門安行基所刻之釋迦像因其鷲峰名曰鷲宮應永中罹回祿失其記云延寶年間寺主定宥所記如此不審其是否疑祭天日鷲命乎亦未得其證焉武藏國太田莊有鷲宮而東鑑載建久四年十一月其神前血流事蓋亦同神也

七百餘所神社 在村上村不詳所祭〇以上在印旛郡

一宮神社 在矢口村傳延長二年九月十九日祭之

駒形神社 在安食村〇舊風土記曰社司木內晴風十五世木內三郎宗久正安二年九月記曰下總國埴生郡安食鄉駒形神社郡司大滿朝臣廣足所祭穀神也天永二年夏五月廿一日安食鄉大水同三年夏大旱仁平元年夏六月十五日又大水民大饑凡三年矣於是同年秋九月九日建社於駒形山上用祭五穀神焉其社號曰駒形神社同二年五穀大熟是年郡司令曰是則神之賜也自今以後民可得安於食也請改號其鄉曰安食鄉又置神田使木內晴風掌祭祀焉安食鄉舊名川崎鄉郡司大滿朝臣廣足崇神天皇七世孫御諸別王之苗裔也今社司木內氏藏之享保四年吉田兼敬卿書跋云

鷲神社 在安食村南岡阜上

三熊野神社 在南羽鳥村傳延長元年八月十五日祭之

服部神明社 在南羽鳥村

二宮神社 在松崎村不詳祭何神或云祭經津主命

三宮神社 在鄉部村不詳所祭

稻荷神社 在山口村〇舊風土記曰傳元弘中千葉貞胤臣山田周防勸請山城國稻荷四社祭焉慶長九年郡官天羽氏再造之有七圍松三十年前枯矣今有二松曰腰掛松曰御前松共可三四圍也

后田神社 在寺崎村不詳祭神焉〇以上在埴生郡

須賀神社 在名古屋村舊曰牛頭天王社以陰曆六月十九日例年祭之當日遠近賽客參集如堵

小御門神社 在名古屋村所祀贈大政大臣藤原文貞公也社後有公之遺墳明治十三年有志相議立公之祠於其名古屋村專稱小御門神社請之于官官允之且以特旨下賜金三百圓十五年祠宇建築竣功即以四月廿八日至三十日三日擧行上棟鎭坐之祭典宮內省納御劍千字棄賜令奉鎭面參向同七月大政官列之別格官幣社

八幡神社 在西大須賀村

羅宮神社 舊風土記曰在西大須賀村社後地有一孔稱之爲神在未詳其神及造建年時俗言鹿島神之國父也若由是稜威雄走神也歟正德五年社司飯塚氏請進正一位云以上在香取郡

時平神社 在大和田村北爲大和田笠田菱田町妻丸四村之鎭守

二宮神社 在三山村延喜式所載千葉郡寒川神社是也所祭神素盞男命稻田姬命舊稱三山明神有社地十石舊風土記以寒川村寒川社爲延喜式寒川神社者蓋傳聞之誤

淺間神社 在稻毛村祠在海畔岡阜眺望佳也

千葉神社 在千葉町所祭天御中主尊配以經津主命及日本武尊舊曰妙見社有宮寺妙見寺世司其祀明治維新後廢妙見寺改稱是爲縣社○舊風土記曰在千葉妙見寺傳言千葉氏祖平良文遣其家士粟飯原文次郎常時于上野國竊群馬郡花園七星山神像而祭之武藏國平井又移秩父後又移于相模國村岡而祀焉至七世常重移之千葉以良文忠頼忠常祠清龍權現稲荷山王天神石神等社二十八宿三十六禽祠擬祭之正月朔至三日千葉宗族無嫡庶皆齋戒祭之今元日二日千葉一郷齋戒者其遺俗也成胤弟胤忠欲奪嫡而夜負神像去行數百歩像甚重不可動之棄而去矣其地有光里人取之還之本社北地曰三角田妙見寺縁起詳焉其祭用秋七月十日奉神輿如行宮二十日如寒川関之御濱出二十二日造船二艘一自千葉出曰千葉船一自寒川出曰結城船返之陌上船上爲歳舉面還神輿于本社焉東照宮被附神田二百石○妙見寺者廢寺後明治六年六月假設千葉縣廳於此而七年二月燒失○舊風土記曰一條帝御宇覺算僧正奉勅修北辰供於此號北斗寺金剛授院至平常重城于千葉安置妙見像治承四年秋九月二十一日源頼朝至千葉參謁乃過寺寄馬二十疋廣光太刀矣慶長中東照神君寄二百石地令改妙見寺多千葉氏遺品焉

總體七社神社 在千葉町總葉概録曰祭平良文將門忠頼忠常粟飯原常時巫女二人爲是大日寺鎮守

春日神社 在千葉猪鼻山古城址

白旗神社 舊風土記曰在寒川村傳千葉常胤建源頼朝白旗於此以聚州兵因以祭之旗在千葉寺而燒失

寒川神社 在寒川村舊風土記所記誤曰延喜式所謂千葉郡寒川神社是也未詳祭神今俗稱寒川神明焉○清宮氏曰神名帳云相模國高座郡寒川神社（名神大）按寒川神社者相模一宮祭神素盞嗚尊奇稻田姫等也而香取私記佐倉風土記共云寒川神社在千葉郡寒川村蓋傳聞之誤歟寒川村天正以前稱之結城今猶以此地之原野稱結城野矣蓋田者向寒川是也此地有結城明神社

蘇我比咩神社 在曾我野村延喜式所謂千葉郡蘇我比咩神社是也不詳祭神舊有社地十石明治五年是爲郷社○以上在千葉郡

佛寺

海隣寺 在佐倉海隣寺町號千葉山傳平常胤治承三年七月二十六日卒子弟拜月時觀海上有異光乃網得金像阿彌陀佛文治二年建寺於焉加號海隣寺乃安其像稱海上月越如來初爲眞言道場貞胤時依一遍上人後時宗他阿上人異數和尚爲中興至平康胤而移寺於此云有平常胤及良胤之像

甚大寺 在佐倉新町舊城主堀田侯之香華所也有故城主紀正睦朝臣及妻母松平氏之墓

清光寺 在本佐倉町開山月峯上人天正中二世無算拐源廣忠公遺骨來葬于此封植厚朴樹天正十九年東照公狩于東金寄驛而宿于此召無算以枝蓄地寄二十石田寺後在武田万千代君館舍址

文殊寺 在大蛇村○舊風土記曰未詳創立年時佛龕中書曰天文十四年乙巳三月二十日原大藏丞胤安祖母妙孝定尼亦有木筆墨刻之曰天文十六年十月十六日大檀那平胤富作者司遠按胤富平常胤十世孫親胤子邦胤父也原胤安乃其從臣而天文蓋再興年時也傳鎌倉權五郎景政來此因祠之祠在寺前數十步林中傳曰五郎或曰御靈私按國鎌倉亦祀景政爲御靈則當稱御靈爲是焉寺前有櫻樹此景政插其鞭於此所生其樹既枯今櫻乃其蘖生云圍可一丈餘斜老枝叢扶疏于堅衡十三四步春時開花掉約燭燦掩暎一山寶爲壯觀而色交淡濃紺碧單披故曰五色櫻又曰五種櫻蓋謂其不一樣爾

吉祥寺 在本佐倉村字御廐○舊風土記曰傳昔有化人而建之以異木爲柱今存兩柱削之入火有香氣不知其名或曰阿如佐木而未詳創建時世堂前有石亦異人之所鍊土作云

東光寺 在酒々井村天文中俊譽法印開之云

大佛頂寺 在下岩橋村不詳創建年時傳弘法大師修大佛頂法之處也云

寶珠院 在大佐倉村不詳開基○舊風土記曰永德三年爲中興時而什物多遺其年號○以上五寺凡城中有新寺事和興修之所之佐倉五箇寺

勝胤寺 在大佐倉村山曰常護享祿元年平勝胤建之華嚴和尚爲開山焉○舊風土記曰附七十五貫地去稀種鉄劍在焉有勝胤及數世墓又有千葉石駒角磁碟雜器數品皆千葉氏所寄云山足有靈泉曰千葉水

妙胤寺 在本佐倉町○舊風土記曰鈴木紀伊入道道爲請平勝胤建之日敬上人爲開山初號光玉寺後改妙胤寺平胤富以印代胤後亦用胤字云

超林寺 在公津臺方村文明十三年平輔胤建之以常陸國杉室大雄院五世周香和尚爲開山焉

東永院 在船方村○舊風土記曰馬場胤信開基松巖和尚爲祖焉馬場乃千葉氏之族未詳其年時

藥師寺 在船方村安行基所刻藥師像不詳開基年時有鐘銘曰下總州印東莊八代郷船形藥師寺應長元年辛亥十一月日願主僧良圓敬白大工妙鎭銘性

淨泉寺 在伊篠村初曰因心院延德二年粟飯原豐後入道伊泉中興開基以周惠和尚爲開山天文中粟飯原隼人胤光所寄進安觀音朝像有古歌二通一明應四年十一月九日常輝所與粟飯原豐後入道一永正六年九月廿八日輪光所與粟飯原右衛門三郎其寄地因心院事皆有華押所謂常輝按千葉大系圖平孝胤法名而輪光又似法名不詳其爲誰矣

西福寺 在坂戸村○舊風土記曰應安中眞蔡上人開之始謂踊念佛而爲國俗謂之坂戸念佛也安惠心所畫阿彌陀佛

長福寺 在岩富文明二年彌富城主原叔廣建之有北條氏康寄田狀云按岩富舊作彌富也

寶金剛寺 在直彌村不詳開創年時多臺岩富城主北條氏勝手狀及寄田證書云

大隆寺 在山梨村不詳創建年時○舊風土記曰傳大永七年自南波佐間還于此賢室開芳和尚開山其五世祖龍和尚檀鉢無敝自生實慢顏色乍變爲長

聞怒堂子十二人乘雲鳴鼓止于寺南椎樹上呼言可速來龍和尚亦有欲往狀侍僧數人聚之二百大衆急轉讀般若經而龍和尚漸靜然亦大笑而去人見鳥鳶數千鳥
堂前古松火然于椎樹後無他異二樹今猶存實寛永九年孟冬結制時也

千手院
在井野村不詳開創年時○舊風土記曰傳源遷僧都爲法流祖至其四世澄秀僧都在臼井石神明德年中移此號金剛變形寺臼井城主平高胤寄附伊野崎地故名千手院而有狀記明德三年八月九日又有享保四年胤度寄大般若布施田之證狀焉

宗德寺
在臼井臺町應永年中原四郎胤高建之舊在千葉郡小弓柏崎以陸奧國膽澤郡永德寺二世巨海之法嗣志賢和尚爲開山天正三年原胤榮移之臼井原氏乃千葉長臣爲小弓臼井二城主堂上有原氏父子之木主弘岳太宗大居士岱山開基臼井城主從五位下原式部大輔平胤榮天正十八庚寅六月六日卒[illegible]嶽道號大居士胤榮子從五位下原刑部大輔胤義天正十八庚寅六月十八日卒東岳千學大居士胤榮次男三州岡崎城主從五位下原豐前守胤[illegible]慶長五庚子十月朔日卒舊風土記成田參詣記倶載有平胤榮墓在山寺域中事明治壬午之春予與同志友訪臼井舊跡先至宗德寺問以平胤榮墓住僧曰無之予悵然徒問原氏之靈位
牌而去又寺有甘泉曰權現水

圓應寺
在臼井田町臼井左近將監興胤創造之請鎌倉建長寺佛國禪師因佛興禪師爲開山焉

長福寺
在米本村舊風土記曰米本城主村上氏爲開基曰功山玄忠居士不記其名年世永祿中城主村上綱清自殺于寺其系及事故亦未之詳焉

鴨[illegible]寺
舊風土記曰在村上村傳稱和帝御宇有木佛首浮印旛江人漁而安保品村釋智證有夢之感此來見佛首與夢符合因欲刻下體全之有化翁助彫功畢自言退省渴樂天而去矣保元中平入道興因爲僧建寺以此像爲本尊天文五年平胤富再興焉

松虫寺
在松虫村天平中行基開之安置金像云○舊風土記曰傳昔有松虫姬者聖武帝第三皇女女病癩來之于此自哀祈愈邱佛而得愈逐留終焉今之謁多伊谷乃其所居云谷期爲謁多伊寺後有墳又有祠以祭焉寺門之二王擔麈所作舊有嘉元中所鑄鏡天和二年革造之云

結緣寺
在結緣寺村神龜年中行基開之安置自刻阿彌陀佛○舊風土記曰古曰證濟所六曰大仙曰安婆曰山中曰住持曰淨本曰埵佛又有二堂曰鎭曰政曰鶴見此所以守護政所而今皆廢焉寺有古鐘銘曰臨安三年戊戌二月九日勸進沙門法括桑泉以其破壞天和三年癸亥革鑄今銘云○寺距三町許有源顯敏墓傳稱治承四年顯敏死從臣下河邊藤三郎附恒負其首來葬于此建一宇剃髮而居此其說在後今所存塔者正保之頃井上筑後侯建之云

瀧水寺
在池村仁明帝承和年中建焉○舊風土記曰大同中建焉安其閼浮屠金藥師佛監門二王運慶所彫有木幕鉦傳金商銘曰次奈此而寄焉其鐘銘刻建武五戊寅八月八日按建武三年丙子改元延元丁丑南北朝分南用延元北用建武四年而戊寅八月二十八日改元歷應焉初元後醍醐帝復祚歸下總國足利尊氏故至此猶用其建武之號也歟又按下總國司原朝臣手狀曰不可隨武家等亦以下自南朝號因司焉然其狀記天寄三年乙未二月八日按大寶以來無有天寄號矣但吉野乙卯改文中爲天授未考授以登三通用耶否天授三年乃丁丑而巳未北五年也終號不有乙未焉若果天寄通天授則三當作五乙當作己耳未知古紙已蠹沒之所致乎

抑其狀之不眞乎

龍腹寺
在龍腹寺村舊風土記曰欽明帝御宇創焉舊名龍福寺釋命祈雨龍死墜腹之地故亦故龍腹云事詳于龍角寺下藥師佛爲本尊二王左拔覺大師作右丹墨作焉○亦松宗且曰文政元年七月罹火災時出銅作寶塔棟札一版闊主稱棄侯松其函使藏之函記曰下總國印旛郡龍腹寺實塔棟札一版以銅作之長一尺八寸闊八寸表背字上頭左邊破缺不全背面題字漫不可辨嘉吉二年壬戌等字猶可讀其詳不可考據天和元年僧智紹所撰勝光寺略緣起龍腹寺舊號慈寶山延命院大同二年九月因僧空海之奏詔其徒慈覺建七堂伽藍於下總國印旛郡賜號曰慈寶山勝光寺延命院自後世爲勅願所延喜十七年大旱奉詔祈雨驗有龍之異因改號曰天龍山龍腹寺嘉吉二年國司千葉氏修其堂宇建五重塔永正五年二月塔無故倒時主僧覺道賜千葉氏伐北條氏而自聚兵於寺將以拔之北條氏聞之八月遣兵夜襲寺燒滅之覺道死寺僧者五十餘年至天文十九年千葉氏復建諸堂以再興焉而比丘不及十之一云後二百五十餘年文政元年七月寺僧不滅火諸堂數災於灰燼中得斯棟札龍腹寺村以吾藩移封之後隸于關邑大森治郡奉行臣八木高之代官臣岑名復等恢古頗之湮沒恤主僧取棟札以進覺公歎其役湮不可讀面悅古物幸存一斑之餘乃新其函以還且使福之命主僧愼藏勿失使臣禘記其事於函臣禘謹案棟札蓋塔之上梁文也嘉吉二年壬戌距今年丙申三百九十五年平胤直高見王之裔千葉介常胤八世之孫滿胤之子爲兄兼胤所弑逆臣馬多數東氏圓城寺氏千木氏木村氏等爭權相分爲二携兵康正元年八月十五日自殺于土橋阿彌陀堂胤賢及圓城寺氏渡邊氏圓東氏即其同族成臣也天保七年丙申十二月丁卯儒官臣本多禘謹記

以上在印旛郡

龍角寺
在龍角寺村舊風土記曰傳和銅二年龍女化現來事金像堅師來建寺天平二年釋命上人再興諸堂三年天下旱魃釋命奉勅說法祈雨一夜雨長可八尺乞曰我小龍居池深俗上人法淨何惜一軀請以身換雨後必見我骸而穫之即是爲大龍所罰常也忽然而去雨從至焉後七日果有龍身分三段頭墜于此乃金字寫經併瘞堂下寺始曰龍閣於是改龍角腹墜于印西日福寺尾墜于匝瑳郡今龍尾寺是也貞觀元年慈覺大師住此說法天曆三年三月八日異僧來彫金剛神一體而忽失所在柱上留題曰此寺藥師乃西天竺祇園精舍療病院之像故爲彫金剛神面歸忽恐人不信故一題面止我是毘首羯磨也正曆中運慶摘刻右方金剛神化作即左方今其存焉永久二年上總介平常秀重修堂常秀千葉常重曾孫常胤平次兵衛也正應三年十一月鑄巨鐘文明中焚如而寶永三年故鑄焉文明永正再罹火災平
胤修造焉天正八年又有災平邦胤重建堂焉

圓融寺
在山作村舊風土記曰永觀中頼乘法印開基多藏諸佛像經卷又有平宗胤所納鐘焉

永福寺
在佐岡村舊風土記曰不詳開創有鐫刻元元年字彫鑄畫佛像善多又有大廻向村經大般若經佛名經等俗傳貞和中上總國高岡氏女夢所感三國傳記所謂佐岡律僧寺印是也○佐宮氏曰佐岡永福寺有十六羅漢圖相傳兆殿司所畫與吉岡慈恩寺所藏圖相伯仲慈恩寺所藏圖五代馬遠筆云

祥鳳院
在土室村永正中助崎城主大須賀信濃守建焉

圓通寺 在大室村舊風土記曰神護慶雲年間圓成大師巡拜東州諸神社愛山止此數日不出化堂供食山鬼鼓舞天華亦爾爲石宮經而歷爲所留鬼窟華嚴石經今猶記其地名里氏崇事師如市事聞朝廷遣詔賜山林方三十步建寺以新永祚大師留金像千手觀音而還攝津國勝尾寺大師乃光仁帝皇子元亨釋書有傳其後數歷兵燹島崎城主平常胤歸依長國一宇號爲中興開山後奧助綰氏同盛寶而至元和中寶鎗師興堅繼絕爲山有十二境曰佛塔曰神護社曰仙離閣曰鶴遊岡曰修竹林曰瑠泉曰三笑橋曰臥象巖曰鬼窟岡曰癸苔首曰石經冢曰雨華谷皆園一之所令云○以上在下埴生郡

迎接寺 在香取郡冬父村舊風土記曰未詳年歷佛像多寶永仁三年有觀音開慶夜叉等假面十餘枚言惠心所作焉

金光院 在金親村舊風土記曰正應二年二月貞成法印開基寶弘法所作愛染及惠心所造地藏有五郎金剛并弘法自書影天文中原胤貞乘禁闕入而寄文書焉元和元年九月東照神君狩于東金憩此寺寺主獻來錢而稱旨因賜黄金衣璽牛王今共在焉舊記失寛文中回祿云

大日寺 在千葉町○舊風土記曰仁生法師事孝謙帝之寵顧而開基天平寶字元年秋八月二十二日藤原朱卿建焉有平常兼至胤將十六世焉天正中

東照神君寄二十石田

來迎寺 在千葉町舊風土記曰未詳開創時世天正中山城國知恩院讃譽僧正再建之焉東照神君寄田矣

千葉寺 在千葉寺村○舊風土記曰和銅二年行基來此處還自刻阿彌陀十一面觀世音奏欽聖武帝建寺亦安居西明寺宗鑑大師所作觀音焉永曆元年雷火燬寺十一面像自移在櫻樹上樹距寺可一里也治承中源賴朝寄納其白旗建久三年令平常胤再造觀堂安運慶刻愛染弘法作不動二像亦寄錦帳一具云

東照神君寄百石地焉

榮福寺 在坂尻村不詳開創年時天正中原胤榮再興焉

大巖寺 在生實郷初曰玄忠院三緣山第九世道譽上人貞把和尚爲中興開山永祿三年庚申生實城主原式部大輔胤榮建之擇塋澤招請精舍於此名曰大巖寺傳云初天文中道譽上人來居此澤中有龍神樣爲會和尚之水浴座念有彌陀之故金光來授之一宗之玄旨龍神感是瑞出現龍女曰願授淨來之妙典和尚乃授之宗戒二法解曰龍澤誓女大悅且謝曰請委付澤沼於和尚以爲弘法供基之地逕辭而去既去又曰請深中存一小池香留殘驗于此以永遠守護之和尚許其請訣是至今猶存一小池平日艶水沾而不盈每至旱加行傳法靈水忽湧騰沸上三尺焉加行終則復如常曰是龍女之供水也天正十九年十一月東照公寄百石地焉

出羽寺 在北生實村號森川山重俊院舊領主森川氏創建也有森川氏歷代之墓

本行寺 在濱野村緣起曰當山開基大僧都日泰聖師以永享四年壬子生于洛陽白川劝面開本山妙壽寺十世日暹上人成長之後受敕命登鶴子關東年三十八至武州品川在住妙國寺又齊蔗化南總至下總濱野大開化導文明元年己丑莫立一字即如意山本行寺是也從是往復武總間專務法化之弘通一日從品川渡海將到濱野中流遇暴風雨之至波浪爲山舟既將覆聖曰嘉聚陽坐舟中默禱須臾風雨頓止舟中有一士人感法力之有驗且喜曰子姓名酒井定隆生遇

亂世常恨生民陷于塗炭將仕賢主立一功然而運逐歷災閥來志不遂今將死而徒葬于魚腹中而得因師之法力脫是難亦何因緣得是幸冥請聽今爲師弟之契幸爲予祈武功問運遂受日傳之法號而別其後定隆屬里見氏稱總中守食上總國十八万石於是遠近仰聖師之妙法不論播來改宗合掌禮拜成來歸于妙法新築寺宇三百有餘是俗所傳上總七里法華者矣使世以當山爲七里法華模本靈地安置日蓮聖師靈像使北條氏歸信當山附以寺領德川氏亦附之以十石三斗之朱印地

以上在千葉郡

辨天堂 在南相馬郡布施村曰松光院東海寺爲開東三辨天之一緣起云昔大同二年七月某夜里人夢有天女告曰予自但馬國朝來郡衍江鄉來覺而求之得佛像于窟中其長三寸餘乃於其所建小祠適有僧空海過此地里人告以故空海曰予嘗於衍江鄉所刻像並是也乃遺寺名山紅龍弘仁十四年寄附田園建立伽藍承平中遇平將門之兵火寢廢天慶三年二月將門伏誅之後源經基有感再興寺院曰松光院享保中法印秀岡造本堂今所存者是也寺寶有蟠龍石記爲字寶神

不動堂 在下埴生郡成田村曰明王院神護新勝寺以寬朝大僧正爲開山不動明王坐像弘法大師開眼而本爲山城國高雄神護寺護摩堂之本尊朱雀帝天慶中廣澤遍照寺僧正寬朝承詔奉此像來此結壇修降伏平將門之法將門巳誅有夢之感爲東國鎮護留之以建寺安焉丘林蒼鬱其中有高堂即不動堂也山門面于南方佛塔秀于林表堂宇之結搆莊嚴不多見其比資客常結踵于門前寺在山門之右側亦莊麗之巨刹也寺寶之中有神寶天國寶劍者傳云遍照寺僧正寬朝之修降伏平將門之法也朱雀帝之所賜未審是乎否傳生實大巖寺開山道譽自息賞餘請祈百日鬱香明王劍血流滿床然後驗辨遺人其法衣今猶有生實大巖寺面血寂郭然云

觀音堂 在香取郡滑川村號龍正院仁明帝承和七年庚申安定朝所造一丈二尺十一面觀世音○舊風土記曰小田將治擧長一寸二分觀音及地藏像於小田川朝日磯以觀音納本尊腹初將治感化女自稱朝日吉粉河寺來又老僧可八十網衣沒水而後得二像云

墳墓

伊都許利命墓 在船方村丘墳周圍一丁許高可二丈丘上祭金毘羅小祠有碑誌曰伊都許利命墓總之下州印波郡稷山之民三百弓盧宮之裔二十弓有巨墳爲伊都許利命墓安祠于上而配享二神已千有餘載也社挨命者神八井耳命之八世而仕應神帝爲印波國造賜子宿事本紀其祭祖產靈爲國社祭祖曰吾爲瀧宮乃見於社司從三位藤家清乾元中所記爲以德容功業爲名是上世之遺也伊都即五土之數許利即瀬金之賞併土金爲敬之義而至道存焉爲民建社以聖治敎則其他功亦可知也家清十八葉孫正六位居玄迎崇建碑請銘々曰

稷山之民 德懷何選

源宮之裔 五緯示敬

地當龍岡 百代執恩

宮魁遂還 與邦共長

繼神維安 山環海濱

萬葉時獻 爲銘爲守

元文二年冬十一月

山州淀府行軍使國邊昌言謹撰

賴源政墓 在結緣寺村○舊風土記曰傳治承之亂源賴政敗死山城宇治遺命於其家士唱從二人曰負吾頭奔馬向東國去吾欲止處皆當亟必瘞其地期以五旬過期而無驗則棄之二士來東行二十日而至此馬甚疲遂瘞封之植駒骨樹且建堂二士俱爲僧居此氏而焉勢埋之栽櫻號名馬墳又有雞塚在乘招寺此

亦賴政所畜來此而死云按所謂東去不見于平家物語盛衰記等但賴政首瘞于下總州古河在口碑而事似此所傳然不審孰是焉更有一說賴政弟琛栖三郎光重其子陵助賴重共居下總九郎義經少年來此依金賣吉次而往陸奧國事見于平家物語而協次所寄佛具在碑村淺水寺又近村中根滾印燔江處有蝸次兄弟墳而傳其爲盜所殺則賴重之居必在此邊今曰御所者蓋近之焉所謂墓及塚似於賴重之所建恐後人依是附會爲之說耳併記志見以俟重得明微矣○清宮秀堅曰古賀城中有源賴政墓碑題故賴政墓嘉元三年乙巳仲春云々十數字其地稱立崎又賴政郭蓋北隍石距賴政死後百餘年矣按永享記下河邊清恒納賴政首於笈佯爲山伏歸于下總瘞古河東南長崎然則所傳亦久矣山槐記盛衰記等並云下河邊濟恒獲賴政首於平等院床下平宗覆取之不記其所瘞尊卑分脈曰美濃山縣郡遠蓮寺有賴政墓常陸國誌曰在河內郡龍ヶ崎佐倉風土記曰在印旛郡結緣寺村今從碑文永享記斷爲古河立崎村長崎邦關邊又曰結緣寺則埋分骨或遺髑所爾結緣寺村可推而千葉常胤存子日胤之後稱圓城寺則以賴政之死爲倡義常胤厚誼可想結緣寺則爲賴政追福可知也佐倉地方有城村圓城寺在此蓋爲日胤建也又曰中戶地方稱深栖鄉蓋深栖賴重居址矣

平貞胤墓　在公津臺方村西風土記曰在神津麻野碑誌曰千葉貞胤當鄉諸人各敬白子時觀應二年辛卯天四月日北石今在超林寺庭際焉

神津八十墓　西風土記曰在神津村東北二三里原上多數故名之傳千葉氏世々之塋然不詳名誌焉

木內宗吾郎墓　在公津臺方村碑面曰德滿院涼風道閑居士右側道了道明左側道安道學碑以堂宇覆之近者又將改造之其成功蓋不終日矣同村東勝寺過去帳曰道閑信士俗名宗吾郎承應二癸巳年八月四日妙閑信女同人妻寬文九年酉九月十四日病死又堂上木牌背面記曰承應二癸巳秋八月四日父子五人爲國民損命寶曆二壬申年正當一百回忌而改涼風道閑居士又享和二壬戌執行一百五十回忌之法會寬政三辛亥追諡德濬院從立石塔替依領主之命今茲永壬子係二百遠忌由是建立廟堂及神像神版等若干物以營法事充追遠之禮鳴鐘山主照事拜誌

平勝胤墓　平昌胤墓　平利胤墓　平親胤墓　寓墓平胤

平邦胤墓　并在大佐倉村勝胤寺

源廣忠公齒骨墓　在本佐倉町清光寺寺之二世無算自參河奉之遷歷之後住于當寺埋封于此

故佐倉城主紀見山侯墓　在佐倉新町甚大寺有誌曰公諱正睦號見山紀姓堀田氏自性公諱正時之子而於諏其公諱正愛爲從祖父文政七年謙恭公疾病無子臨歿乞公爲嗣明年襲封佐倉十一万石敘從五位下十二年除奏者番加寺社奉行天保八年轉大阪城代敘從四位下未之任擢俗君加判列任侍從十二年還拜加判列任大政十四年遷溜詰格既適溜詰安政二年再爲加判列奉使京師再爲　天子賜御馬五年有旨罷職明年以病致仕元治元年三月二十一日薨于佐倉享年五十五公歷事文恭慎德溫恭三君憲廟臨殆賜賞尤多以故公亦深懼郁燹方其再執政也西洋諸番選使來聘貿易是時海內多事公慨然以天下爲己任要務尤深善當時頌以爲安矣公夙有志於治發封之初即廢新致除舊弊省冗費禁奢修大政學校以賜士習陸立演武場以課武事方今文教昭而武閣修士重禮節而俗貴質素者皆公所稱圖治之所致也其箭使任大政也蓋又欲以治其國者推以施於天下然而其居職皆不久不得以遂其志業識者惜焉公英明仁恕任賢使能々盡人言在位三十五年士民莫不仰其仁厚之德矣

北條氏勝墓　在飯倉村寶金剛寺氏勝常陸介氏繁子稱左衞門大夫爲岩富城主慶長十六年卒

太田圖書助墓　在臼井村上古壘地圖書助名資常或作資忠持資入道々灌弟也文明十一年己亥正月十八日太田道灌以二階堂七黨等一万人擁臼井城臼井俊胤能防平孝胤亦戰之至七月十五日假拂陣敗退資常忍殿健師付入城資常及士卒五十三人格鬪而死焉○在古壘二之丸址西傍草叢中面不見斷碑里人只能記其所而已又有疾疫則祈之無不應云

村上綱清墓　在米本村長福寺風土記曰綱清稱民部大輔天文弘治間爲米本城主永祿元年三月十三日自殺

圓城寺某墓　在小谷津村舊風土記曰某者根古屋城主爲兄原信濃某所襲而敗亡夫妻死此云蓋當天文年間

粟飯原大和守墓　在根古屋村大和者根古屋城主三河守子天正十八年千葉氏滅時敗而出城寓村民舍終焉○以上在印旛郡

小野忠明墓　在寺臺村永興寺忠明即神子上典膳[illegible]曰神子上典膳其先伊勢人也仕上總萬喜城主土岐賴定冠好刀術會伊豆人伊藤一刀齋景久到上總典膳遂從諸國後仕幕府慶長五年戰於信濃眞田有七枚之譽後以外祖氏稱小野二郎右衞門食三百石

海保三吉墓　在寺臺村上三吉海保丹波守子也天正十八年千葉氏滅東照公徙封于山東而役召千葉臣海保三吉押田庄吉原主水佐酒井金三郎等於麾下賜采地三吉後驕慢而遇誅○以上在下埴生郡

藤原文貞公墓　在名古屋村明治十三年有志相議請于官將公之祠於其丘前登稱小御門神社十五年稱字建設旋功特勅列別格官幣社○舊風土記曰公家塚在名古屋村共地言小御門至今不得祟敢傳畫有貴卿流卒于此未詳爲何人俗言朝廷貴爵人聞公家也挨元弘之亂笠置城陷北條高時執使醍醐帝近侍諸卿流之遠國尹大納言師賢配下總國寓千葉貞胤乃崇祭名宗眞終卒于下總貴元弘二年十月而市朝追諡文貞公事出公卿補任增鏡常樂記等初師賢詐稱主上登于叡山今以小御門名推之恐師賢墓歟○清宮氏曰名古屋村有藤原文貞公墓土人稱第六大元弘之役笠置城陷平高時執役醍醐帝近侍諸公卿流之遠國公配下總寓于千葉貞胤尊稱元弘二年十月也初公受命代帝登于叡山擧檄貨事不成而去○名古屋千葉庶族大須賀氏所據蓋貞胤實公於此面使大須賀氏看護己

藤原文貞公碑　太政大臣從一位勳一等三條實美題額

太政官大書記官從五位巖谷修書　明治十一年三月　內務卿大久保利通奉　上諭命　千葉縣令從五位柴原和撰文

千葉縣令柴原和建碑於故太政大臣藤原文貞公遺墳且撰之銘墳在縣內下總國香取郡名古屋村村民澤田總右衞門等香慨其久委榛莽就和上書請營祠墳上以列官幣社朝旗以記典有例格不允特勅長其墓所以有此命也臣和謹案舊史公發師覓冢稱花山院世列清華歷事花園後醍醐二帝至正二位大納言補後醍醐帝

圖誅北條高時事洩高時發兵把關公與中納言藤原藤房等謀使帝幸笠置山公服袞衣乘御輿佯稱天子幸延曆寺以欺賊既而奔從　帝於笠置笠置陷與藤房等扶帝遁路相失就虜及帝狩隱岐高時使千葉貞胤囚公于其邑居五月以病薨實元弘二年十月二十九日也後贈太政大臣謚曰文貞公少好學負氣節其在囚所每思及帝輒歔欷泣涕曰主辱臣死今日何等時也泣臨絕固臣分而已忠憤之致今尚存于歌辭其薨時年卅二葬于此地而歷年之久世莫之知土人相傳稱公塚墳云享保中總州書肆著佐倉風土記斷以爲公冢之地近世伊能穎則清宮秀堅等亦是其說並名古屋村當時稱助崎係大須賀胤時采地胤時貞胤之族故貞胤使北部公于此遺趾在墳外數十武之地此足以徵矣嗚呼公屈于一時而伸于百世之後上榮天子之廷下使村民敬墓不敢毀豈得非精忠大義之所致乎臣和既奉職于此土又承朝命乃敢記其事係以銘曰

天孫承天　神自天降　万世一系　日出之邦　欽崇皇統　徵敢失守　惟公忠誠
輔帝左右　和寇之列　迎武紀綱　服君賊國　妖氣一熄　簡鼠殘虎
身亡百世　政歸蘭府　皇帝赫怒　乃復舊政　百廢俱舉　四海無國　英魂所託
幸委荊棘　邵旨役迎　冤抑乃伸　刀水悠悠　總野遠洞　乾此豐碑　長表遺烈

兒塚　在西大須賀村回國雜記下總國兒之原歌云志羅奈美置字鞁郡於奈賀須知吳乃波羅古比自留須都留美斗毛鼓加婆也有兒小祠碑書風土記曰有永祿中僧來于此而詠歌曰知吳乃波羅能遐波志留毛乃奧茂阿頁自等古呂遲比斗都道志流之那部遠婆由退觀之文明中有碑而至永祿中碑已失乎今僅有小祠而俗謂之兒宮焉○以上在香取郡

平康胤墓　在馬加村康胤築馬加城主後承宗家卒而葬于此

青木昆陽墓　在馬加村清宮秀堅曰青木昆陽墓在馬加村相傳有故建此地碑面題甘藷先生之墓按西來之品在當時甘藷爲第一辛酉以來則以牛涎爲救生之法昆陽名敦書字厚甫武藏人初唱洋學洋學當時嚴禁而有傳公以其谷於世縱禁召爲於是關化盤水等輩出而今則旺焉嗚呼時也愼

平常兼至胤將十六世塋　在千葉大日寺總葉概錄所載曰常兼常重常胤胤政成胤胤綱時胤賴胤胤宗貞胤氏胤滿胤兼胤胤

直胤宣胤將十六世

平胤直墓　總葉概錄舊風土記俱曰在千葉妙見寺與來迎寺之間其地曰和應寺

平胤榮墓　在生實鄉大巖寺胤榮稱原式部大輔爲小弓臼井兩城主舊風土記爲上總介胤定子按千葉大系圖原氏出平滿胤次男胤高世爲千葉長臣胤榮卽胤定孫而式部太夫胤清子也胤榮建大巖寺同寺記曰胤榮法號大巖院殿前吏部侍郎弘岳太宗大居士天正十八年五月十八日抗西軍於千葉郡野田原戰死○以上在千葉郡

古蹟

將門山壘　在本佐倉村俗小臣距佐倉舊城東一里許平康胤自承宗家築城於此其子胤持卒輔胤闢自千葉移于此以下歷胤孝勝胤昌胤利胤親胤胤富至邦胤微弱尤苦屬長臣原氏振武威領小弓臼井二城後邦胤爲北條氏直而又爲其將以故相觀善氏直使邦胤築城于鹿島山而城未成以天正十三年五月七日卒其子二人曰重胤曰利胤利胤嗣家原氏之後十八年豐太閤之攻北條氏也重胤年十五卒家士一萬按北條氏渡和州沼木口既而北條氏滅千葉氏亦從而亡是年八月東照公封久野宗能于此慶長七年轉封於遠江國久野而封松平忠輝于此同八年遷于信濃國川中島十五年庚戌以土井利勝封于此使利勝改築城於鹿島山工成徙之

大堀館舍址　在本佐倉町市文祿元年壬辰東照公封武田萬千代信吉於此慶長七年壬寅十一月遷封於常州水戶源信吉建館舍居之處俗言萬君屋敷

岩富壘　在岩富町距佐倉南二里千葉族臣原左衞門尉胤貞其子九郎左衞門胤行其子若狹守和胤居之天正十八年與千葉氏共亡矣慶長八年東照公封北條左衞門大夫氏勝於此十六年氏勝卒十七年城除矣

高岡壘　在高岡村距佐倉東可一里千葉家臣木內藤駿守居之云

黑山壘　在公津臺方村上距佐倉東北二里平輔胤孝胤昌胤和胤退老于此天正中邦胤與胞之兄良胤居之與邦胤不相容出奔陸奧國而城廢焉

掛波山壘　在鮎方村天正中千葉氏族舩形越前守胤信居焉

師戶壘　在師戶村距佐倉西北一里半未詳何世誰所居焉

岩戶壘　在岩戶村距佐倉西北一里半舊風土記曰岩戶五郎胤安居之志津胤氏攻之家族皆死後頻有鬼哭燐火之怪曰非圓應寺僧誦經止之建寺今西福寺卽是而其堂前紅梅則記胤安父子及妻所自殺處云○清宮氏曰岩戶胤安千葉氏族也仕于臼井祐胤正和中祐胤卒嗣子竹若僅三歲志津胤氏利其幼弱有圖奪之心陰謀之胤安覺之竊負竹若至鎌倉託之建長寺胤氏怒攻岩戶城胤安苦戰死之竹若既長改名興胤誅胤氏爲胤安建寺修冥福今西福寺是也○姉阿辰者興胤安同謀被捕殺云其墓在臼井村北

米本壘　在米本村距佐倉西三里舊風土記曰村上氏世據之永祿元年三月十三日城主民部大輔綱清自殺城廢焉

臼井壘　在臼井村上距佐倉西北一里餘舊總葉概錄曰平常兼有六子其三曰臼井六郎常康爲臼井城主領印旛二郡百十餘村屬源賴朝有勳功其子常忠四世至祐胤與千葉氏同仕鎌倉正和三年秋八月七日祐胤二十五歲卒遺子竹若僅三歲遺命託之弟志津城主次郎胤氏胤氏有奪志欲將害之岩戶胤安竊負竹若奔于鎌倉依僧圓海而城乃爲胤氏之有竹若後稱行胤足利尊氏徵有戰功尊氏賞之叙從五位下任左近將監賜名興胤使千葉貞胤屏居胤氏於志津復歸于此興胤逐擊胤氏殺之貞治三年四月興胤卒其子尚胤嗣尚胤子包胤包胤子冬胤冬胤子之胤之胤子數胤數胤初無子嘗養千葉介孝胤次子持胤爲子其後生子曰俊胤數胤卒持胤嗣持胤有二子曰爲胤曰幸胤而不立讓家俊胤而退居文明十一年正月太田道灌二階堂七黨等其兵一萬餘騎渡市川來攻臼井

城図之六図月城堅不抜七月十五日大敗追溺敗退城兵襲其弟太田図書十八年後胤興家持胤子幸胤而退歴出入道玄光幸胤卒無子後胤入道復入為城主永正十一年後胤退長子孫胤而再退歴十四年五月卒弘治三年十月孫胤卒其子久胤臥病左近年甫十四孫胤臨終招其縁者小弓城主原上総介胤定属以後事従此胤定一旦牢在于臼井城専家政多施賄賂結諸士之心軽賞賦欲以得民心是以士民歸恵於胤定不敢久胤久胤窃居于城門外胤定遂為本城主久胤出奔結城依晴朝胤定急忿城獲獻馬於小田原自称小弓臼井両城主永禄四年正月里見義堯使其臣正木大膳攻臼井小弓両城取之五年胤定攻復小弓城七年正月十一日復臼井城七年三月上杉謙信之攻臼井城也晴明請為其先鋒欲以納久胤不克而退胤定遷城於子胤栄而退老上総小西城胤栄子胤義天正十八年和平並胤入小田原城同五月十八日東照公使酒井家次取之文禄二年酒井忠勝居之時城失火焚其穀倉故地猶有焦米焉

志津壘　在下志津村西距佐倉西二里許志津次郎胤氏居之暦應三年八月十四日為臼井興胤所滅

生谷砦　在生谷村距佐倉西一里許上杉謙信攻臼井城時作附城於此云俗謂之謙信一夜城

根古谷壘　在根古屋村始圓城寺氏居之後粟飯原参河守其子大和守二代居之天正十八年城陷

坂戸古壘　在坂戸村舊風土記曰原遠江守胤則居之蓋在天文年間焉○以上在印旛郡

寺崎古壘　在寺崎村千葉氏族臣馬場氏世居焉天正十八年城陷舊風土記曰城主伊勢守勝政死于土居村郷寺崎永興寺云

海保三吉遺址　在寺崎村舊風土記曰三吉海保丹波守子也大有膂力好為相挟必提碑亘竹以帯之誡夜踞成田不動忽有二人長可一丈挙大石向三吉播之仆於田間則二金剛像也東照神君賜采地居之神君狩伊様勝三吉在於殴府朋神君臨北来地忽出府城両日而来拝謁其健捷如此焉後負力索枚多出非法元和中神君命士民涂之三吉偶在山作圓殿寺門外閑之将帰酒々井人孫田於七持槍歴于寺崎揺下伺其過突面僵之今在岸畔松樹即其處也云

長沼古壘　在長沼村不詳誰居焉

東和泉古壘　在東泉村距佐倉東北四里許舊風土記曰大須賀加賀守居之蓋助崎城主之族未詳時世○以上在下埴生郡

菊水山壘　在滑川村距佐倉東北六里許舊風土記曰傳小田氏城之世居之扶小田之系出自粟田関白道兼而五世八田宗綱以源義朝子知家為國其七世正三位中将兼常陸介治久其七世左京大夫政治和韻氏常陸國其子政守氏治為佐竹氏所敗遁於和據國孫澤慶良六年終于越前國其城址在常陸國小田而筑波田土浦今泉田伏木田土浦深邊谷名北條片野柿岡真壁完戸行方海上藤澤戸崎矢田部江戸崎蛸鹿島足高牛久牛子生志筑山本水守小美川館夕崎上室近田沼崎坊間岩崎岩田掛馬八代皆其子城家臣之所居也疑小田所謂旭跡此壊而以菊水山説為別業或為退老之處無○又按長元年中小田荘司属下總國司麻原包邑討平忠常為又敗見於太平記者國東軍有小田常陸前司貞宗為小田氏郎大結業秋孫萬里小路康房後送卿于京為小田少將小田贈駄守小田中務大輔部在焉又北條記有小田宰相政治遁其臣菅谷歴駄守率兵屬氏康焉而滑川觀音縁起為永和年時有小田宰相將治者未之詳焉恐似傳聞之誤故姑傳疑聊辨之

助崎壘　在名古屋村距佐倉東北六里舊風土記曰千葉常胤六子胤信居大須賀稱大須賀四郎後退老於此而稱信濃守其子孫二十葉居之天正十八年真千葉氏滅城廢為墟有舊飯二址其舊處生偏括甚美盛人採之乃為祟近胤村僧探箇處老其夜戸外有聲日遠鶏括貫夜不止僧畏不寝夙偏還於其處云

名木古壘　在名木村距佐倉東北七里許舊風土記曰傳柴山彈正居之未詳其時世○東國取記所載名木彈正忠基平○以上在香取郡

馬加壘　在馬加村距佐倉西南七里許平胤永宗家之國而後未詳誰居焉濁胤次男康胤居之稱馬加殿康正中康

千葉壘　在千葉町南猪鼻山距佐倉西南五里長元年時下總權介平忠常居海上郡東大友城以據之源頼信攻出不顧忠常降之顧信以錢京遂而忠常死其子常將其孫常長承家居之初稱千葉介常長子常兼常兼子常重常重子常胤以至十六世孫輔胤奕奕據之輔胤移城於印旛郡佐倉郷將門山焉○總葉概錦日常寛之後十一世兼胤永享二年六月卒無子以弟胤直為嗣胤直爲民不納歎是以観疎顯必其長臣原胤房國城寺尚任等各爭擁家臣分兩黨之内相爭鬩康正元年八月十五日胤直自殺于土橋阿彌陀堂其子胤將亦胤而宣棄因二年戰死于兩總國界輝川其弟宣胤顯而卒於此族臣鎮以馬加城主康胤為嗣長録元年康胤築城于將門山從居之稱佐倉城○舊風土記千葉壘下曰今組厥故址則往々出焦米硬堅如石枝西陽鎌組乾陀國焦米清晨服之愈痢事未試此来果治瘧否耳

生實壘　在南北生實村之関生實舊曰小弓距佐倉西南六里許位下總州南隅千葉氏之支族世居之應永年中平兼胤弟内膳胤高據之族稱原氏胤高子甲斐守胤観訳居焉胤観次男胤後守胤房千葉家族臣為最老享德中真臣城守備任等讒胤宗族闘戰後胤房佐居小金城使從弟上總小西城主正前守胤繼居于此

胤繼子二郎友幸真上總國人真里谷三河守武田豐三居師城地千葉氏援友幸敵友幸每戰克武田徒依聽敵率足利左兵衛督義明以為豐主義明古河政氏次男真父兄不睦寓治睦真明廬中愚里見氏居上總八幡為人勇猛剛毅有度量二總唐三州國人貳古河不快肩杉者憑來歸于此威武稍振略遠境不顧者大永四年奮軍於二總攻小弓城遂滅友幸及高城越前守父子次年徙居于此稱小弓御所國官曰我廬古河面為八州管領己在還居掠略近郡天文七年八月義明與古河晴氏晴氏晴氏乞援於北條氏綱十月七日義明見義堯義弘父子率房總二州兵與氏綱大戰于鴻臺義明軍敗兵散還杖刃面死弟基胤亦從而戰死里見義堯父子大敗而退義明從士奉義明幼兒茨小弓城走房州二總諸豪咸皆屬北條氏里見氏與北係氏結兵運戰不解千葉昌胤專使上總小西城主原上總介胤定居于此弘治三年胤定徙居臼井城胤子式部太夫胤清居之永祿四年正月里見氏使老臣正木時綱攻取之同五年胤定復之尋胤定復居小西城胤清子胤榮圍傘稱式部太夫為小弓臼井關城主當是時千葉宗室衰微權臣執國命原氏為強族而城胤則井康治循井政辰鼻之胤則以小金康治以土氣政辰以東金勢皆張大是以山京偏醇寡下醇上舊曰千葉之原氏之高城南橋井云天正十八年庚寅五月城陷八月東原公封西鄉彈正左衛門家興子此康長二年八月家康卒子忠興襲封同六年五月卒弟康興國十八年六月卒使命錦正員國元和三年轉封於督房國東金等封莊川出羽守重後于此等鍵於北生實村之地寛永九年正月台德公薨實後殉死子伊賀川守重政國自是後森川氏歴出羽守豐信同後胤飛彈守重能内藤正使常同後令紀伊守後孝同後知伊賀守後一同後民兵部少輔後用出羽守後位同後備十二世至俊内膳正後方明治元年戊辰王政革新二年六月勤版籍奉還之請以舊守為知藩事罷從前所奪之官職改為藩族四年七月六郎廢判藩為縣罷知事以職同十一月廢生

賓縣併印旛縣置又用之于大藏省

曾我野藩址

在曾我野村距佐倉西南六里德川氏封戸田大和守忠至於此忠至明治二年五月致仕其子備後守忠綱因同六月版籍奉還詔為藩知事罷従前之官職為華族四年七月廢藩為曾我野縣罷藩知事職十一月又廢之為印旛縣之所管矣

○以上在千葉郡

新撰佐倉風土記終

明治十四年十月卅一日版權免許
同　十六年七月　出版

定價三十五錢

編輯人　千葉縣士族
續　簡
下總國佐倉宮小路町廿五番地

出版人　千葉縣平民
中井藤右衛門
下[illegible]國佐倉新町百五十七番地

發兌人　同
中井善三郎
百五十八番地

同　東京府平民
石川治兵衛
日本橋區馬喰町二丁目一番地

田邊希文　著

封内風土記

明治二十六年（一八九三）仙臺鉛排本

據明治二十六年（一八九三）

仙臺鉛排本影印

封内風土記叙

古昔王道之盛。六十餘州。各有二風土記一。而州之廣狹地之磽肥田圃戸口之數。山澤河海之産。其他王二神社寺院名區勝迹之類一。不レ蹈二其地一而知一焉。實治具之要典也。仁安之比。帝威不レ振武臣執二權柄一。建武以來。天下大亂兵燹不レ熄。舊典頗爲二烏有一。風土記今存者僅出雲二國而已。其餘一郡或存二一兩簡一。誠可レ惜哉。元和之後。國家大治。文華燦爛。列國之記不レ少。然其所レ記。不レ載二田圃戸口租稅庸貢之數一。則不レ可レ謂二之要典一也。寛文中。會津故羽林中郎將源公。撰二會津風土記一。其於レ治レ國可レ謂レ勤矣。寶曆癸未之夏。邦君命二臣希文。撰二封内風土記一。九經二春秋一。三易二其稿一而成。凡二十卷。謄寫分爲二二十五冊一。然郡邑古來所レ傳無二其證一者多不レ告也。臣今晚齡既踰二八旬一。衰憊不レ能下徧就二各郡一悉問中其事上。是以脫漏不レ少。不二亦遺憾一乎。欲レ使下家息希元。官暇經二歷諸郡一。審二問其事一。別爲中風土記拾遺上也。

若二夫官使庸貢故事等一。佐久間義和所レ著。觀迹聞老志。詳記レ之。故不二復贅一焉。枉撰之書。雖レ不レ足三以爲二要典一。其於二治具之一端一。未三必無二小補一云レ爾。明和壬辰正月之望。八十一叟田邊希文。操二觚于仙臺河内依竹窠。

封内風土記凡例

凡村字。避邦君之諱。以邑字易之。其不可易者用正字。

古昔之制。州有郡。郡有莊。莊有鄕。鄕有邑。今失其制。或有莊而無鄕。或有鄕而無莊。或有莊鄕共無之者。今無文獻之可徵。不能詳考之。姑以其所傳說者記之。後之君子質焉。

田圃戶口之數。記於各郡之首。而不記其總計於卷端者。撰者之微意也。

給主士。（當家譜士之外。別立蒸與。有不斷。給主。名懸等之名。）及步卒諸士之僕隸。居于民間者頗多。居于府下者亦許多。其居于民間者。及公族以下諸士。賜其邑其地者記之。其餘不悉記焉。

封内大小橋。不遑枚擧。故今記五間以上者。其餘略之。

府下之地。宮城郡南目。小泉。小田原。荒牧。名取郡根岸。凡五邑相接。城府在宮城郡荒牧邑。故神社。佛宇。寺院。等。在府下之本郡

者。直記其事實於府下。在他郡者。惟擧其名於其郡。而其事實載于府下之條下。

倭俗。以六十間爲一町。以三十六町爲一里。（勢州之地。以五十町爲一里。）本州國俗。以六町爲一里。今所記之里數從國俗。

倭俗。呼有市店及人家並列處。凡謂之町。或呼街衢。謂之小路。今所記者悉從和俗。

倭俗。呼陸田曰畑。或作畠。畑畠二字共字書無所見。或云村上帝朝所制和字。今從國俗。

和俗。訓樫字曰加志乃木。字書無所見。觀迹聞老志云。考之字書。樫音緊。木名堅剛之木也。俗以字體相似。誤緊字作堅乎。今所記從俗。

古來所傳之說。怪異妄誕。不足信者頗多。姑依其所傳而記之。其所傳或有異同。或有不可解者。各論諸其條下。

郡邑。所レ傳者無二其證一者、不レ告レ之者頗多。然於二事實一有二所レ漏者一乎。後
・之君子質焉。
所レ引觀迹聞老志。佐久間洞岩義和。奉二禰山君之命一所レ撰也。名跡
志。萱塲三郎右衛門高壽。爲二郡司一時。使二屬吏佐藤善左衛門信
要撰レ之。信要以二洞岩門人一與レ之相議。編集已成。將レ脫二其稿一。洞岩
沒。是以就二高橋與右衛門以敬一潤色焉。

封內風土記目錄

封內風土記巻之一

田邊希文 奉　君命撰

封域

奥州宮城。名取。柴田。苅田。伊具。宇多。凡三十一邑。九邑属封內二十二邑属相馬地。亘理。黒川。
[illegible]美。玉[illegible]。桃生。牡鹿。本吉。登米。志田。遠田。栗原。膽澤。磐井。氣仙。江
刺。凡廿十一郡。[illegible]田。色麻。新田。階上等之郡。今小田属牡鹿郡。階上属本新田属加美郡。各為邑。階上作波路上。色麻作四竈。
[illegible]郡。東[illegible]限海。西[illegible]羽州。南連本州相馬及伊達郡。山接本州南
部。西界北面白山。和[illegible]。倉山。各属名取郡。小新川山。大峠。風倉山。寒加勢
山。奥川子山。各属宮城郡。船峠。属加美郡。各北邑山郡東根界。閒森。荒神山。松森。南日長山。
北日長山。一晒山。雨入平。西前坂。半森。富繋山。大石澤山。大平山。
吹越山。各属加美郡。以上各長瀞界。東根長瀞共寨下官吏。宮村孫左衛門指揮處。翁峠。住吉山。遠兀山。風下山。
田代。西峠。各属加美郡。前森。木兎山。東遠鈴山。關澤。西遠鈴山。西長根。
各属玉造郡。大柴山。禿嶽。外禿。軍澤山。鉄砲平山。各属栗原郡。以上戸澤上總介正讜主。封地界。正讜主。最

上郡新莊城主也。水堺。菅根嶽。柴倉山。嵩岩原。四段坂。田代。長根。各属栗原郡。以上共佐竹
右京大夫義敦朝臣。封地界。義敦朝臣。秋田郡久保田城主也。南界大森。白旗山。犬轉山。老婆澤。鬼石山。
各属宇多郡。旗巻山。天明山。中ノ柴山。總兵長根。軀山。國見。大坪。手倉山。
石窪山。三段坂。白藤山。松ノ房川。玉ノ川。北鼻山。鍋潟。中居。塚山。所山。
二塚。伏靈。仙山。各属伊具郡。以上相馬彈正少弼尊胤主封地界。尊胤主宇多郡中村邑城主也。呼此地曰相馬。笠峠。熊ノ倉。各属伊具
郡。板倉內膳正勝承主。封地界。勝承主。信夫郡福島城主也。的倉。舟峠。清水。大峠。松坂峠。重倉。犬飼山。
一盃泉。赤羽山。牧嶺。雁木澤。石塚。柳窪、各属伊具郡。從是以南限海及阿武隈川。以上本州磐城郡平城主。
安藤對馬守信明主。封地界。號染川領。北界男岡山。大平山。森山。松坂山。石峠。經森。柳泉。
大竹山。不動坂。蒲峠。黒木峠。前森。五輪峠。各属江刺郡。國見巖。赤坂山。笹
森。蒲峠。長尾。根山。蕨峠。西山。高河原山。各属膽澤郡。以上本州岩手郡盛岡城主。南部大膳大夫利雄主。封
地界。土人呼此地曰南部。巽隅限海。坤隅接伊達郡及羽州。界赤兀山。西澤田山。
遠長柴山。東高丸山。高丸山。長嶺。各属伊具郡。黒岩山。湯ノ倉山。取揚山。八
題山。阿都加志山。石ノ大佛。桐窪。赤柴山。高貝弓山。湯ノ川山。今熊。刺

封内風土記　卷之一　封域

森。大峠。一盃森。大貝綿山。鞍懸山。弱檜森。笹岫。立小屋山。峠森。天狗岩山。寶澤。燒峯。座頭轉澤。大小屋澤。氷岩。龜石。盜澤。笹嶺。（各隣刈田郡。以上伊達郡界。蓋下宮吏川崎市之進指揮處。）十郎。鳥居山。仙翁澤。古道澤。峯。（各隣刈田郡。蓋下附記羽州置賜郡米澤城主。上杉大炊頭正定朝臣。之地界。）大谷地澤。森。猿鼻山。檜皮山。王澤山。番匠平山。二ツ森。瀧玉嶽。（各隣刈田郡羽州邑山郡上之山城主。松平山城守信將主。封地界。）熊ヶ嶽。田代山。阿彌陀ヶ原。草倉山。下蹈倉山。仙人山。（各隣柴田郡羽州邑山郡山形城主。秋元但馬守涼朝主。封地界。）外加布良山。（隣柴田郡。）泉峠。二本不那。龍ヶ嶽。小吾妻山。側角山。南面白山。（各隣名取郡。蓋下宮吏。宮村孫左衛門指揮處。漆山界。）乾隅逆羽州及南部界駒ヶ嶽。（隣栗原郡。）劍ノ山。白洲前。貴薄ヶ森。（各隣磐井郡。）薊兀山。桑原嶽。戸合山。旗鉾山。岩ノ目澤。横嶽。（各隣膽澤郡。佐竹義敦朝臣。封地界。）大森。天竺山。經塚。駒形嶽。大平山。浦峠。赤石ヶ鼻。（各隣膽澤郡。南部利雄主。封地界。）艮隅隣南部。半限海。界道祇神峠。有住峠。栗峠。愛染山。五葉ヶ嶽。七倉山。大角山。杉本山。鷲ノ巣峠。從是以東限海。（各隣氣仙郡。南部利雄主。封地界。）東西百九十七里強。（以六町爲一里。）南北三百四里強。絕長補短。方百八十八里強。

三

封侯

上古王道之隆。自崇神帝始命豐城命治東。以來世置鎭守府將軍。國司。按察使等之官。治奥羽兩州。帝威既衰。武家執權。始爲封建。侯伯爲留守探題管領等之職。（豐臣家執權之後。罷此職。）後鳥羽帝。文治中。賴朝卿。封伊澤左近將監家景。於宮城郡。爲奥州留守職。（其子孫。以留守爲稱號。）封葛西壹岐守（初稱三郎。）清重於氣仙。膽澤。磐井。牡鹿。江刺。五郡。管領平泉檢非違使之事。（此後武威強大。而併領本吉登米兩郡。土人呼之曰葛西七郡。）封武石左兵衛尉胤盛。於伊具。宇多。亘理。三郡。（武石千葉之分流。其子孫住亘理城。以亘理爲稱號。）封泉田。澁谷。上形。狩野。四人。（各名諱不傳。）於志田。遠田。玉造。加美。栗原。五郡。（光嚴帝。建武中。不從鎌倉管領之指揮。終襲其地。）封長江太郎義景。（鎌倉權五郎景政曾孫。）於桃生郡深谷莊。封熊谷平三直宗。（小次郎直家子。）於桃生。本吉。兩郡數邑。（其他封功臣於其處。其詳不傳。）其後大崎左京大夫直持。爲本州管領。封於志田。遠田。加美。玉造。栗原。五郡。（大崎足利家分流。土人呼之曰大崎五郡。）其餘。千葉五郎胤道。領宮城郡國分莊。（其子孫。今絕祀。）黒川某。（名諱不傳。）

四

（或云。最上右京大夫直家三男。氏直。始稱黑川。或云。鎌倉管領某氏庶末裔。不知二說孰是。）真山君時。有其子孫左馬頭晴氏入道月舟齋者。其子正三郎某。仕君。今其家絕祀。）領黑川郡。柴田某。（名諱不傳。）領柴田郡。（其他領處者頗多。今雖有其子孫。共不詳何時所封。）後陽成帝。天正十八年庚寅。太閤秀吉公。沒收大崎左衛門督義隆。葛西左京大夫晴信。領地十二郡。封木村伊勢守吉清。然吉清政事不正。大崎葛西諸浪士。起兵攻吉清而殆危。貞山君援之。吉清無恙歸京。同十九年辛卯。秀吉公封貞山君於葛西大崎舊領之地。併賜宮城。名取。黑川。亘理。宇多。伊具。桃生。等之地。（宮城以下之地。第九世儀山君以來漸屬麾下。）收當家舊領羽州置賜。本州伊達。信夫。等。五郡之地。同帝慶長五年。上杉景勝謀叛。使家臣甘糟備後虎氏守刈田郡白石城。貞山君受東照君之命。攻而取之。刈田郡屬麾下。凡領二十一郡。

風俗

風氣強勁。俗尚狡悍。習宇御馬。好弓銃。善游泳者頗多。氣仙郡雖偏僻之地。其人敦厚。其俗淳朴。無各郡比之者。

土產

金銀。（往昔。牡鹿郡金華山。氣仙。刈田兩郡多出。近年出者甚希。）銕。（所在出。）銅。（同上。）錫。鉛。（同上。）硫黃。（同上。）明礬。（同上。）焰硝。（同上。）螺鈿。（同上。採漆之浮沫而爲之。）漆。（同上。）紙。（同上。名取郡柳生邑。刈田郡白石邑。刈田郡諸邑。所出爲佳。磐井郡門崎邑。出檀紙。與越前州所出精好不讓。所謂陸奧紙是也。）芳草之制。（有五綵之色。）絹。（精粗有品。府內及西磐井郡山目邑出。）紬。（伊具郡金山邑出。以五綵之絲。或縱或橫織之。國俗曰之島紬。）綾羅錦繡綸子縐紗。以下諸織物。（東山帝寶永中。京師織工來居府下。教授之者不少。稱仙臺平。）紅花。（所在出。）蘭席。（同上。）綿。（同上。）紙衣。（刈田郡白石邑出。）白紙布。（同上。）氷餅。（同上。）葛粉。（同上。）溫麪。（同上。以刈田郡白石邑所出爲佳。）葛製之。稍。（府下出。他邦所無及之者。）禽。（所在出。及栗原郡。氣仙。牡鹿。兩郡。栗原郡鶯澤。磐井郡東山。所出雉最多。玉造郡所出山雉。味尤美。）獸。（所在出。陸奧尤多。栗原郡所出爲佳。）魚鱉。（所在出。氣仙。亘理。宮城郡。資波。所出牡蠣尤佳。牡鹿郡。海中出金。渡波牡鹿郡所出王餘魚。大而味美。）他邦無此物。（最名產也。本吉郡海中。所出年魚。尤佳。）海栗。（刈田郡小原川所出爲佳。）鯸子。籠。鹽曳。（所在出。）熊膽。（所在出。）硯石。（桃生郡雄勝濱。江刺郡黑石邑出。）革。（所在出。）筵席。（名取郡東山所出爲上品。栗原郡三迫所出爲中品。磐井郡東山所出爲下品。牡鹿郡眞野邑所出爲最下品。）三階。（馬具羈韉。國俗謂之三階。磐井郡東山千廐邑所出。以麻製之。）下緒。（繫刀絲。以麻製之。千廐邑出。）柄絲。（卷刀柄絲。同上。）

府城

仙臺城。傳云。古昔千葉上總介平常胤。第五男五郎胤道。領宮

城郡國分莊一。居二住于此城一。因以二國分一爲二稱號一。子孫相續。至二能登守
盛氏一無レ嗣而卒。家臣等相議。以二當家十五世晴宗君之第五男彥
九郞盛重一爲レ嗣。後盛重有レ故。奔二于羽州秋田一。後陽成帝。慶長五年
十二月。十七世貞山君。經二營此城一。以三城邊古來有二千體佛一。（今其遺趾。在二茂庭一。）
（水希元宅地。希元祖父筑後元明。製二千體佛一。安二置之一。）號二千體城一。其後改二字千代一。貞山君以二仙臺字一
易レ之。同七年。經營落成。同八月。歸國有二移徙（和俗訓二此二字一。曰二和多滿志一。）之賀式一。
明正帝。寬永十五年八月。十八世義山君。經二始二丸一。同十六年六
月。經營落成。有二移徙之賀式一。府內之地。宮城郡國分莊荒牧。小田
原。小泉。南目。名取郡根岸。五邑相接。而城地乃荒牧邑內也。東限二
少林。木下。原町。倉廩一。西限二葛岡山。文珠堂一。南限二長町橋。茂崎一。北限二
神明。北山。杉山一。（自二萬日堂前宮町一。至二清水小路。荒町橋頭田町。鹿子泉。龍口澤。本丸西林。沼底道。葛岡石山。龍寶寺山。北山。杉山。北鍛冶町東。堤邊。
同心町。東三番丁。新傳馬町北。東五番丁邊。米袋。川內。皆荒牧邑內也。自二萬日堂東宮町西一。至二旅宮傍路東。原町西。材木藏一。小田原邑內也。自二原町西。材木藏前一。至二旅日宮南傍一。
清水小路。南連坊小路。藥師堂。南目邑內也。自二藥師堂一限二清水小路一。至二荒町頭一。南限二長町橋一。東至二少林一。小泉邑內也。自二龍口澤一。仙臺川南至二茂崎一。根岸邑內也。）
或說

曰。仙臺城。人皇二十七代繼體帝。瑞政中。始築二此城一。號二千代一。三十
二代用明帝御宇。安二置千體佛于此府一。改二千代一號二千體一。其後島津
陸奧守某居レ之。島津移二住于西國一之後。結城七郞政光居レ之。正親
町帝永祿中。國分能登守宗政居レ之。（希文按。瑞政之號。無レ所レ見。且
吾朝年號。肇二于孝德帝大化一。繼體帝時無二年號一。妄說不レ足二信用一。島
津結城之事。亦無レ所レ考。）
神社凡七十八。八幡宮六。
其一龜岡八幡宮。當家大祖念西君。勸二請於高子城邊一。而號二龜
岡八幡宮一。其後後奈良帝。天文元年壬辰。第十四世直山君。遷二社
于西山城一。在二伊達郡梁川一。當家世所二崇敬一也。後陽成帝。天正中。貞
山君。自二伊達一移二于玉造郡岩手山一。爲二上杉景勝領地一。社司山田宮
太夫清重憂レ之。與二弟彌兵衛重之一相謀。同帝慶長六年。竊護二持神
體一到二伊具郡丸森一。而告二之於君一。同七年。有レ命造二假社一。（其地。今同心町澁澤明神社地也。）

賜二宮太夫給米三口一。後水尾帝寛永十七年。義山君。造二營宮社一。同年七月。遷宮稱二梁川今八幡一。同二十年四月。始行二神事一。寄二附祭奠廩米五石一。靈元帝。天和元年七月。肯山君。經始移二社於城坤河内之地一。大起二土木一。造二營宮社一。同三年八月。落成。十五日遷宮稱二龜岡八幡宮一。增二祭奠米一。爲二八石一。寄二附百石之地一。使下宮太夫。改二稱山田土佐守一爲中神主職上。賜二三十石之地一。公二收先世所レ賜給米一。附二屬社士十人。巫一人。洒掃人。一人一。有レ寺。號二龜岡山積寶寺千手院一。

其二大崎八幡宮。　舊在二遠田郡八幡邑一。土人傳云。後柏原帝。大永七年。自二膽澤郡八幡邑一。遷二座本邑一。今仙臺府下。大崎八幡宮是也。社僧龍寶寺傳曰。當家十七世黃門君。在二羽州米澤城一時。一日信夫郡瀬上驛亭長。携二一笣苴一來曰。昨夜有二行客一。次(ヤドリ)二我舍一云。我是奥州遠田郡八幡邑。八幡宮社司也。奉二神體一赴二洛陽一。然平明倉皇上レ道。遺二此笣苴一。知是八幡神體也。君乃命二侍臣一披二其緘一則。果然。君

拊レ掌曰。我今不レ圖得二此神體一。豈非二嘉瑞之先應者一乎。何幸加レ之。從其社司還來求レ之。必勿二敢還一焉。崇敬保護。有レ年二于茲一。其後君領二大崎之地一。居二玉造郡岩手山城一。造二小社於郭内一。安二置彼神體一。後陽成帝。慶長七年。遷二宮城郡仙臺城北一。同九年秋。使三木幡旨清眞山繼重。爲二締搆之幹事一。至二同十二年八月一竣レ工。以二其月十二日一。介二龍寶寺實濟。藏二神龕於殿内一。振古米澤成島龍寶寺。有二八幡宮一。君遷二岩手山之日。龍寶寺實範法印。奉二持之一到二岩手山一。當社造營之時。不レ設二別社一。同藏二之殿内一。稱レ之曰二成島八幡一。有二社士十二人一。流鏑馬射手四人一。寄二附祭田三十石餘之地一。觀迹聞老志名跡志共曰。在二城外河北山頭一。慶長中。黄門君。自二玉造郡岩手城一。遷レ之。介三富塚内藏允信綱。木幡木工介旨清。眞山式部繼重。等經二營之一。同七年。八月十一日落成。社東建レ寺曰二惠澤山龍寶寺一。寺中藏二龍珠一。仍爲二寺號一焉。此宮社也。綉闥雕甍。極二富麗結搆之盛一。山節藻梲。盡二丹青光彩之

美。其所莊嚴者。天下之妙工。甚五郎者雕刻。而妙術在左手。時人稱左手甚五郎。是以今所存之人物。禽獸。花草。蔬果之象。自然生意飛動之勢。如今現存焉。後世之庸工凡手非所及。實一國之奇觀也。爾後寬文中。後太守綱村君。下命以致修造加莊飾也。此時建石華表。令儒臣內藤閑齋作銘。虎岩道說書之。忝　文按。兩志記八幡造營。慶長七年八月十一日落成者誤也。龍寶寺所傳。與實錄所記相合矣。寬文之號。靈元帝之御宇也。虎岩道說致仕之後。號塞馬。善書。宮社背山君修造之後。忠山君。亦修補加莊飾。

其三。在佛眼寺中。不詳何時勸請。　其四。在日淨寺中。同上。

其五。在木下。同上。　其六。在天神社地。同上。傳云。古來之社。而躑躅岡之地主也。

神明宮六。　其一。在荒牧邑。屬府內。傳云。後水尾帝。元和七年。貞山君勸請造營。別當有寺。號祓山神宮寺。妙海法印開山。寺。山。

號共君所命也。中御門帝。正德六年。獅山君。寄附祭田二十石之地。　其二。在躑躅岡。不詳何時勸請。此社。舊在府內大町之末巷。東山帝。元祿初。神主。菊田讚岐守。有罪放逐。讚岐守門人等。移社于名取郡秋保邑。祭之。社地爲市店。其後讚岐守遇赦。有神職如舊之命。於是。中御門帝正德初。請社地于躑躅岡。而還祭于今地。　其三。在根岸邑越路鹿落坂上。屬府內。不詳何時勸請。

其四。在佛眼寺中。不詳何時勸請。　其五。在日淨寺中。同上。

其六。在木下。同上。今無社。勒神名于石碑。

愛宕神社七。　其一。在根岸邑。屬府內。傳云。舊在羽州米澤。不詳何時勸請。有寺。號愛宕山誓願寺。正親町帝。永祿中。當家十五世保山君。命誓願寺尊勝法印。始安置本地佛。故以尊勝爲中興開祖。尊勝嘗到紀州那智瀑布。千日修行。世人稱千日上人。後陽成帝。天正中。貞山君。自米澤移于玉造郡岩手山。是以社亦移之。

同帝。慶長中。君遷于仙臺城。遷社于國分荒牧邑。今天台宗滿願寺之地也。其後。又遷于今地。中御門帝。正德五年。獅山君。寄附祭田三十石之地。及勝軍地藏像。同脇像。自書額。　其二。在大聖寺中。不詳何時勸請。　其三。在彌勒院中。同上。　其四。在大德寺中。同上。　其五。在寂光寺中。同上。　其六。在城中。同上。　其七。在愚鈍院中。後陽成帝。慶長七年。吞茶和尙勸請。

熊野神社十。　其一。在宗禪寺中。不詳何時勸請。　其二。在誓願寺中。同上。　其三。在定禪寺中。同上。　其四。在願行寺中。同上。　其五。在阿彌陀寺中。同上。　其六。在藥本寺中。同上。　其七。在生因寺中。同上。　其八。在木下。同上。　其九。在玄光菴中。同上。傳云。此社舊在北七番丁。井上九郎兵衛宅地。而同處成田萬之丞宅中。有御手濯。往古有祝部巫女等。自何比。荒廢移社于今地乎。其不傳。　其十。在千手院中。二十世肯山

君。嘗勸請於城中。不詳其年月。東山帝。元祿十五年正月。移社于今地。

稻荷神社十三。　其一。在大橋邊。不詳何時勸請。　其二。在中瀨橋畔。稱武隈明神。同上。　其三。在瑞鳳寺靈廟下。同上。　其四。在仙岳院巽方。稱福澤稻荷。同上。　其五。在光禪寺中。同上。　其六。在林松院中。同上。　其七。在愚鈍院中。稱武隈明神。同上。　其八。在修驗常樂院宅中。同上。　其九。在木下。今無社。勸神名於石碑。　其十。在千手院中。同上。二十世肯山君。嘗勸請城中東山帝元祿十五年正月。遷之于今地。　其十一。

在圓德寺中。同上。傳云。舊在躑躅岡。創建釋迦堂時。移于孝勝寺內。其後。移于今地。　其十二。在成覺寺中。後陽成帝。慶長初。勸請。　其十三。在中島丁高橋秀花宅中。中御門帝。享保二年勸請。

鹽竈神社三。其一。在大年寺中。東山帝元祿八年。大年寺草創時。勸請。其二。在萬壽寺中。東山帝元祿十年。勸請。其三。在成覺寺中。後陽成帝慶長初勸請。

土倉明神社。在定禪寺中。不詳何時祭何神。

野中明神社。在北七番丁。小野總之助成房宅中。不詳何時祭何神。傳云。古來之社也。

瀧澤明神社。在舊寺小路光明院中。不詳何時祭何神。傳云。貞山君。自伊達移之。舊在龜岡社邊號瀧澤地。靈元帝天和中。造營龜岡宮社時。移于今地。寄附廩米三口。

白鳥明神社。在河内號深澤地。傳云。舊在本丸老婆杉下。而國城之地主古來河内之鎭守也。後陽成帝慶長中。貞山君。城地經營時。移于今地。爾來稱深澤白鳥神社。丹野故善右衛門。諱不詳傳。嘗崇信之。請君使修驗光明院。爲別當。寄附祭田。君亦寄附三十三

石之地。每歲九月九日。于今丹野家與祭事。社内藏地藏像。是乃古昔千體佛之其一也。

高良神社。在龜岡社地。末社而所祭。武内宿禰。靈元帝天和元年。八幡宮造營之時勸請。

山王權現社二。其一。在仙岳院中。後光明帝承應中勸請一山之鎭守也。其二。在木下。今無社。勸神名于石碑。

糺山神社。在仙岳院後北山。所祭糺明神。貴船明神也。不詳何時勸請。舊在高松萬壽寺丱創時移于今地。

秋葉權現社。在河内修驗大寶院宅中。不詳何時勸請。

羽黒權現社二。其一。在城北寂光寺中。不詳何時勸請。名跡志曰。淸和帝貞觀中。勸請。所祭倉稻魂神。伊達。米澤。三春。之鎭守也。貴門君。勸請于此地。其二。在北六番丁西性院中。不詳何時祭之。

山神社。　在城北國見山下。不詳何時祭何神。近年世人。以此社
爲疱瘡神。或說曰。葬博徒最上源藏之地。而建堂稱最上堂。以疱
神最上其訓相同。誤之。爲疱瘡神。
躑明神社。　在滿願寺中。後陽成帝。慶長之初。貞山君勸請。
疱瘡神社二。　其一。　在中島丁北後澤中。不詳何時祭何神。
其二。　在躑躅岡天神下。慈恩寺中。同上。
天神宮。　在城東躑躅岡。別當修驗光善院。傳云。神體延喜帝皇
子。空也上人所造。而往古鎭座于城州竹內沼崎山。圓融帝天延
二年。平將春。勸請于本州宇多郡八幡崎。其後。遷座于柴田郡川
內邑。當藤原基衡守護本州時。刈田郡白石城主。刈田太郎清光。
謀叛。基衡令佐藤左衛門尉治信。嫡子同小太郎。伐之。治信父子。
整兵於柴田郡川內邑。天滿宮神前。奉幣祈之。不日白石城陷。基
衡賞之。與治信以本郡國分莊。授小太郎以基字。乃稱莊司基春。

其後。基春感瑞夢。遷社于本郡國分莊小田原邑。號玉手崎地。（今東
照宮地是也。）別當有寺。天台宗而號威德山大松寺。後改號天照寺。爾來
龜山帝。文永元年。島津陸奧守。（諱不傳。）再造。國司吉家。及黑川家臣
山田大膳。（諱不傳。）國分能登守宗政。和繼造營。（不傳年月。）後奈良帝。天文
二十年。白石參河守宗明。再興。當家十七世貞山君。經營仙臺城
時。令伐杉槻大樹百餘株於天神林中。爲其報賽。後陽成帝。慶長
十六年。造營宮社。每歲祭日。寄附廩米三石。及祭田六石之地。明
正帝。寬永十七年。十八世義山君。再造。後光明帝。慶安三年。移社
於東林。（今曰之林天神。）而造營東照宮於其社地。後西帝寬文七年丁未
七月。二十世肯山君。卜社地於躑躅岡。新經營本社。及樓門。拜殿。
御供所。華表。寄附神器等。天照寺荒廢已久。往古社司。祝部。有二十
二人。今悉斷滅。稱其末葉者僅二人。於今執神務。今別當修驗光
善院永應。九世祖高橋筑前守吉定者。此社之神主也。國分家亡

滅之後。其曾孫吉門爲修驗者。再興天照寺廢院。號光善院。爲別
當。其子南光坊永心。始稱兵部。學小笠原家弓法。而門弟頗多。襲
其所傳之弦。世稱南光弦是也。其子光善院永順。其子能應。其子
怨應。其子永應。世稱光善院。自吉定。凡九世連綿爲別當職。樓門
西。有號夜星垂絲古櫻。自玉手崎舊地。移栽之。觀迹聞老志名跡
志。共曰。往時在宇多郡八幡崎。祖傳圓融帝天延二年甲戌。平持
村者勸請。龜山帝文永元年甲子。島津某者。移之于宮城郡國分
莊。小俵邑玉崎山中（玉坊。或作玉手崎。又稱玉田崎。古玉田也。）後奈良帝。天文十三年癸卯。
白石參河守宗明者。再興之。爾後。後陽成帝。慶長十六年辛亥。貴
門君。新致修造本院。寬永十七年庚辰。忠宗君。以四十二厄歲。復
新建立。後光明帝。慶安三年庚寅。偶會東照宮經營之事。仍移其
東林。至寬文七年丁未七月。少將綱宗君。遷之于榴岡。而新造。衆
文按。其所記。與別當所傳不合。且記人名亦異。而以青山君爲雄

山君姑記之。以備參考。白石參河者國分根白石邑壘主。而桃生
郡主首藤氏之苗裔也。
松尾大明神社。在天神社地。無社八幡宮內相殿祭之。
子之權現社。　川濯明神社。　以上兩社。在定禪寺內。土倉明神
社地。不詳何時祭何神。
鹿島香取神社。　在城北光明寺中。不詳何時勸請。
道祖神社。　在土倉明神社地。不詳何時勸請。
諏訪神社三。　其一。在城東毘沙門堂邊。不詳何時勸請。傳云。
此社。舊在米袋鷹房邊。東山帝元祿六七年之比。移于今地。　其
二。　在大崎八幡社地。不詳何時勸請。　其三。　在木下。今無社。
勒神名于石碑。傳云。往古。國分寺十八伽藍之其一也。
伊板大明神社。　在木下。石宮也。不詳何時祭何神。或稱馬場前
大明神。傳云古社也。三月三日白山神事。流鏑馬奔跳馳驅。雖不

可停。至此社前則莫不止焉。爲奇異之事。雷神社。在木下。不
詳何時勸請。三十三番神社。在法運寺中。同上。春日神社。
在北材木町。傳云。古來之社也。不詳何時勸請。
白山權現社。在城東木下。不詳何時勸請。傳云。往古大社。而國
分寺十八伽藍之其一也。後鳥羽帝。文治五年八月十二日。賴朝
卿東征時。罹兵燹。爲灰燼。其後。國分能登守造營之。每歲三月三
日。有神事。使家臣射流鏑馬。明正帝。寬永十七年。義山君再造之。
爾來歷世加修補。祭日令國分家舊臣如古例行流鏑馬之式寄
附祭田十八石之地。名跡志。闢老志。共曰。在善逝堂東。啓蒙云。白
山姫神社。在加賀國石川郡。一宮記云。伊弉並尊也。上社菊理姫。
改曆云。靈龜二年丙辰。顯形曰。我當山地主伊弉並垂跡也。又左
峯老翁現曰。吾白山輔佐也。稱小白山。又右峯老翁現曰。吾白山
彌也。即大巳貴垂跡也。按不詳自何代祭木下也。或曰。斯地往古。

祭志波彥。是乃當郡大社。雖有指岩切河北者。其地狹隘不足設
大社。且鄉人白山乃有爲志波彥說者矣。考之古書。源重之。奧州
刺史。須在多賀城。見其集。偶有三月依祭。而冒雪過小鶴之。詠想
夫刺史。當必預一國之大祭。然祭時迴雪于途中者乎。況言三月
之祭禮。則自多賀城取路于小鶴者。蓋彷彿赴于木下之祭禮者
矣。識者宜以此併考。此地每歲三月三日。行祭禮。浮屠奉之神人
從焉。先是二月廿五日。騎射裝會的司堀江氏宅。烹魚鳥饌。曰之
潔齋會。自是列騎之東溟濱。曰之水齋。各浴潮水。還直入馬塲本
坊舍。曰之齋舍。豫齋戒。三日午時。國分寺僧學頭。院主。別當。率二
十四坊。而讀經于白山拜殿。神人舞蹈于社前。然後有流鏑馬五
番。此祭禮也。自古領主國分氏之舊例。故家遺族臣勤之。國俗曰之士。
射騎體勢襯女衣。而表素袍。戴組榆笠。佩鹿皮行縢。携藤弓。而乘
駿馬。古所謂羽獵之舊制。曰符裝束者是也。設的以竹檜片弗之。於拜

殿以南。的司堀江氏立于此。射徒並馬于社東。撃大鼓而待其招。的司相親。揮揚金扇而麾之。於是急鼓聲而進馬。馬奔馳如飛。射徒放矢去。（二騎亦如先徒。）乃擧其的而投衆群稠人之中。名取宮城兩郡農夫。豫結黨分隊。而期輪竄焉。此時也。一直逞膂力。一味出心肝。而爭之南北矣。所以因勝負而驗其年租之豐歉者。自古之例也。此儀式畢。僧徒神人至于善逝長床。有太平樂。（僧徒著戎衣。取白刃而舞。）龍（一作陵。）王納蘇里。（神人被假面而起舞。）等舞蹈。自是其徒巡行堂上而闋之。此日也。州人爲群尤夥。堂下社邊商賈爲市。男女如堵。時暖靄融融。彩霞簇簇。樹間之白櫻。林中之辛夷。時可愛。野外拾翠。原上踏青者。殆踵相望。晩來家家扶得醉人歸。

牛頭天王社。　法領權現社。　貴船神社。　以上三社。共在城東木下。傳云。往古。國分寺十八伽藍之其一也。罹文治之兵燹。其後天王社再造之。貴船。法領。兩社荒廢。惟存神名於碑而已。

東照權現社。　後光明帝。慶安三年庚寅。十八世義山君。請建神君宮社於府内。大樹許之。是以擇其地於城北艮隅。而起土木事。至同帝承應三年甲午落成。令族臣石川大和宗弘。迎神輿於江府。最教院權僧正晃海法印。自江府。供奉神輿。到于本州。同年四月十六日夜遷宮。本社唐門。瑞籬。拜殿。本地堂。御供所。樓門。（左右有隨身。）神橋。神廐。石華表。（石自備前州運送之。）輪奐悉極莊麗。別建精舍。號眺海山康國寺仙岳院。附屬社士六人。以九月十七日爲祭日。三分府内十八處之市鄽。間歲各造屋臺。人物。花菓等。亘府内街衢。市人相競。共盡華美。此日也。通國群集。滿街奔走。簞食壺漿。觀者如堵。實一時之偉觀也。寄附神領三百六十石之地。

旅宮。　在宮町南。東照神輿。自江府始著與于此宮。後遷宮于本社。故曰之旅宮。

佛宇凡六十。

眞淨殿。　在東照宮傍。安置將軍家歷世靈牌。

釋迦堂二。其一。在蹴踘岡當廟東。東山帝。元祿八年乙亥。二十世肯山君。始開此地。建堂以安置尊像淨眼院殿。護持佛釋迦像。建碑記其事。官。且其南設調馬銃射之地。兩邊植之。以單。重。垂絲櫻各數百株。及青松。紅楓。千餘株。未聞他邦列樹鬪花如此之多。實風流之設也。聞老志名跡志。共曰。是乃所以尊像追孝之示遺愛也。廼古。所謂鞭栖城址是也。自岡上望。則木下之古林傲于春色。宮城野之曠野。富于秋爽。其木末則本荒鄉也。錦栽纈織于芳原。其極目則松浦島也。布帆ノ乀于遙瀛。千賀之綢繆。多賀之縹渺。皆入吟眸。玉田橫野。亘于北野。和泉東輿峻于西岳。實郊外之絕境也。其二。在法運寺中。不詳何時創建。

觀音堂三十。其一。在北目町。本尊得大勢至菩薩。毘首羯摩所造也。世人呼之。曰二十三夜堂。別當天台宗。號北目山滿福賢聖院。傳云。往古。在名取郡郡山邑北目。後三條帝延久元年巳酉。

三月廿日。慈覺大師。弟子貝性法師創建。其後荒廢。北目城主。藤原宗房。因祈願再造。後圓融帝。康曆二年庚申。四月廿三日。性圓法師中興。後陽成帝慶長中。移于今地。其二。在龜岡艮隅。傳云。本尊聖觀音。延慶作。國分能登守盛氏護持佛。而舊在靑葉崎。今城中之山也。慶長初城地經營之時。移于今地。仙臺順禮三十三處。第一番札處也。其三。在大崎八幡社下觀瀧菴中。傳云。本尊千手觀音。弘法大師作。不詳何時創建。仙臺順禮三十三處。第二番札處也。其四。在北山定光寺中。傳云。本尊正觀音。慈覺大師一說惠心。所造。而和泉三郎忠衡護持佛也。不詳何時創建。仙臺順禮三十三處。第三番札處也。其五。在北山永昌寺中。本尊千手觀音。定朝作。不詳何時創建。仙臺順禮三十三處。第四番札處也。其六。在北山昌繁寺。中。本尊聖觀音。聖德太子所作。而後陽成帝。慶長六年。開山岱岌和尚創建。仙臺順禮三十三處。第五番札

處也。其七。在二北山莊嚴寺中一。本尊十一面觀音。慈覺大師作。不レ詳二何時創建一。仙臺順禮三十三處。第六番札處也。其八。在二北六番丁藥本寺中一。本尊千手觀音。弘法大師作。仙臺順禮三十三處。第七番札處也。一說。北山大願寺中。正觀音。行基作。　其九。在二定禪寺內善性院中一。本尊正觀音。聖德太子作。不レ詳二何時創建一。仙臺順禮三十三處。第八番札處也。一說。舊寺小路光寶院中。正觀音。行基作。　其十。在二舊寺小路滿願寺中一。本尊正觀音。不レ詳二佛工及何時創建一。仙臺順禮三十三處。第九番札處也。第十番札處。在二府外南目邑原町一。故不レ載二于此一。　其十一。在二躑躅岡天神林一。本尊十一面觀音。行基作。靈元帝寬文七年。創建爲二天神本地佛一。傳云。和泉三郎忠衡女之護持佛。而其侍女小栽爲レ尼。建二堂於國分玉手崎一。今福澤明神社地是也。安二置之一。故世人呼レ之。曰二小栽觀音一。詳二于加美郡清水寺條下一。仙臺順禮三十三處。第十一番札處也。　其十二。在二天神下慈恩寺中一。本尊正觀音。慈覺作。後陽成帝。慶長中創建。仙臺順禮三十三

處。第十二番札處也。　其十三。在二天神下金勝寺中一。本尊正觀音。安彌陀作。不レ詳二何時創建一。仙臺順禮三十三處。第十三番札處也。　其十四。在二八塚大林寺中一。本尊千手觀音。慈覺作。不レ詳二何時創建一。仙臺順禮三十三處。第十四番札處也。　其十五。在二八塚阿彌陀寺中一。本尊正觀音。春日作。不レ詳二何時創建一。傳云。昔時此邊地卑。東海潮溢如レ湖。觀音浮二影於波上一。故今稱レ之。曰二影沼觀音一。仙臺順禮三十三處。第十五番札處也。一說。爲二第十七番一。　其十六。在二八塚成覺寺中一。本尊正觀音。行基作。不レ詳二何時創建一。傳云。此像舊在二豆州川津邑南禪寺一。仙臺府下大町市人。高屋彌七先祖。居二武州江戶一時。以二商買之事一。遣二弟六郎左衛門及家隷七右衛門者于豆州一。數日逗二留于川津邑一。其間與二南禪寺之僧一相識。齎來二于本州一安置之。仙臺順禮三十三處。第十六番札處也。　其十七。在二八塚恩鈍院中一。本尊正觀音。惠心作。不レ詳二何時創建一。仙臺順禮三十三

處。第十七番札處也。一說。爲第十五番。　其十八。　在八塚光雲院中。本尊正觀音。運慶作。不詳何時創建。仙臺順禮三十三處。第十八番札處也。　其十九。　在連坊小路保壽寺中。本尊正觀音。不詳佛工及何時創建。仙臺順禮三十三處。第十九番札處也。一說。爲第二十二番。　其二十。　在石名坂圓福寺中。本尊正觀音。聖德太子作。不詳何時創建。傳云。田村將軍利仁朝臣。侍妾堅玉護持佛也。仙臺順禮三十三處。第二十番札處也。　其廿一。　在荒町後鮫林寺門前。本尊千手觀音。聖德太子作。世人稱飛觀音。不詳何時創建。仙臺順禮三十三處。第廿一番札處也。一說。爲第十九番。　其廿二。　在連坊小路瑞雲寺中。本尊如意輪觀音。慈覺作。不詳何時創建。仙臺順禮三十三處。第廿二番札處也。一說。爲第二十一番。　其廿三。　在連坊小路遍照寺中。本尊如意輪觀音。不詳佛工及何時創建。仙臺順禮三十三處。第二十三番札處也。　其廿四。　在木下國分尼寺中。本尊正觀音。惠

心作。不詳何時創建。仙臺順禮三十三處。第二十四番札處也。　其廿五。　在木下國分尼寺中。本尊正觀音。不詳佛工及何時創建。仙臺順禮三十三處。第二十五番札處也。以下至三十二番。在府外名取郡中。故不載于此。　其廿六。　在名取郡根岸邑。越路大藏寺中。屬府內。本尊勢至觀音。慈覺作。不詳何時創建。仙臺順禮三十三處。第三十三番札處也。　其廿七。　在北山輪王寺中。不詳何時創建。　其廿八。　在北八番丁全玖院中。本尊魚籃觀音。泰澄作。同上。　其廿九。　在舊寺小路寶光院中。本尊聖觀音。行基作。同上。或爲仙臺順禮第八番札處。　其三十。　在北山光國寺中。櫻町帝元文三年。前住良和上人創建。

虛空藏堂。　在名取郡根岸邑愛宕山。屬府內。傳云。往古。在城中。後陽成帝慶長初。貞山君。經營城地時。移于經峯。後西帝。萬治二年。造營義山君靈廟時。再遷于今地。

聖天堂二。其一。在同心町大聖寺中。不詳何時創建。其二。
在土樋西光院中。同上。
地藏堂二。其一。在北二番丁光禪寺中。本尊慈覺作。傳云。青
葉崎千體佛之其一也。其二。在城北龍寶寺門前。貞山君實
錄云。後水尾帝元和冬。創建草堂一宇於龍寶寺門前。安置勝軍
地藏。攝州大坂陣中龍寶寺上京。修勝軍地藏之法。凱旋之後。奉
其本尊。歸國安置之云。有別當。號龍華菴。
辨財天堂五。其一。在八塚成覺寺中。後陽成帝慶長初創建。
其二。在北二番丁光禪寺中。不詳何時創建。其三。在荒
町後法圓寺中。同上。其四。在木下。傳云。往古國分寺十八伽
藍之其一也。今荒廢。惟存佛名于石碑。其五。在遍岡千手院
中。青山君嘗創建于城中。（年月不詳。）其東山帝元祿十五年正月。移于
今地。

鬼子母神堂。在連坊小路法運寺中。不詳何時創建。七面堂。
同上。准胝大士堂。在木下櫻町。帝延享二年三月。忠山君
以母君之命再興。
藥師堂。在木下。後陽成帝慶長十二年。貞山君再興。八月廿四
日。入佛。爲永代資用。寄附四萬錢。鬮老志名跡志共曰。在白山社
西。金光明四天王護國山國分寺緣起畧曰。聖武帝天平九載。詔
每州置國分寺。當院居其一焉。中罹清衡之兵燹。（希文按。國分寺所傳。爲文治五年八月。然
則非清衡之時。泰衡之時也。）爲烏有。近世國分彥九郎盛重。制刷舊跡。內殿置藥
師脇持菩薩。及十二神將。運慶作。本尊乃閻浮檀金。故藏帳秘而
不發。有二王門。其像亦前作。形質凜凜。生意如神。慶長九年甲辰。
黄門君。造替宮社堂宇。十二年丁未秋八月。落成。（希文）按。貞山君
實錄。記慶長十年有再造國分寺藥師之命。緣起爲九年者誤也。
阿彌陀堂。在木下。傳云。往古國分寺十八伽藍之其一也。今荒

殿。惟存二佛名于石碑一。

大元明王堂。　在二大崎八幡社地一。中御門帝。正德四年。獅山君創建。

文珠堂。　在二躑躅岡天神社地一。傳云。本尊天台座主。惠心院源信僧都作。舊在二本郡小田原玉手崎一。後西帝寛文七年。移二天神社于今地一時。此堂亦遷レ之。

萬日堂。　在二北六番丁東照宮近邊一。靈元帝寛文十一年。仙岳院第二世。天勇僧都。始開二融通常念佛於院内一。同帝。貞享三年。第三世良榮僧都。請レ地以創二建堂宇一。

變異金剛堂。　在二定禪寺内土倉社地一。不レ詳二何時創建一。

三寶荒神堂。　同レ上。

大日堂。　在二田町隆興院中一。不レ詳二何時創建一。

不動堂。　在二江岩寺中一。傳云。本尊脇立共陽德院殿所二寄附一。而後

水尾帝。元和四年之比創建。

毘沙門堂。　在二荒町市店後一。傳云。本尊運慶作。往古。藤原秀衡。建二堂于磐井郡平泉一。其後移二于同郡大原邑一。宮城郡松森館。名取郡北目。處處。後水尾帝。寛永四年。貞山君。移二于今地一。欲レ造二營堂宇一。而世事紛冗。遂不レ果。君之卒後。義山君。繼二其志一。同二十年。造二營之一。名跡志曰。有レ寺。曰二金光山滿福寺一。名取郡北目館主。粟野大膳大夫。護持之像也。天正四年。藤原宗國者。安二置之一。希文按。滿福寺所レ傳。與二名跡志所一レ記。不レ合。姑記レ之。備二參考一。

十王堂三。　其一。　在二同心町大聖寺中一。不レ詳二何時創建一。　其二。　在二同心町一。同レ上。　其三。　在二舊寺小路滿願寺中一。同レ上。

大佛堂。　在二同心町一。同レ上

封內風土記卷之一畢

封內風土記卷之二

田邊希文奉 君命撰

府城

寺凡百三十二。 傍院塔頭凡百二十一。

金光明四天王護國山醫王院國分寺。 眞言宗。城州醍醐報恩院末寺。寺僧傳云。舊天台宗也。而聖武帝。天平九年丁丑之春。勅願創建。行基大僧正開山。國分寺總名。而有學頭(後花園帝。寬正中。宥日法印中興。)別當院主(仁明帝。嘉祥中。慈覺大師中興。)三寺交執事務。往古有二十八伽藍。白山宮。八幡宮。天滿宮。(小田原。)二王。伽藍神。準胝。大士。牛頭天王。輿院正觀音(國分尼寺。以上六處。各有堂社。)山王權現。貴船明神。神明宮。諏訪大明神。熊野權現。稻荷大明神。辨財天。阿彌陀如來。法領權現。(小泉邑以上九處廢。今存其名于石。)寔曰二十八伽藍。共天平中創建也。(希文按。以天滿宮爲天平中創建者誤也。)有衆徒二十二坊。東大門坊。西大門坊。極樂坊。杉本坊。櫻岡坊。富岡坊。西中坊。泉岡坊。

梅木坊。井上坊。池上坊。東中坊。橋本坊。吉羅坊。大寶坊。泉崎坊。常樂坊。羅之坊。竹內坊。水上坊。善林坊。馬場本坊。各受學頭之指揮也。後鳥羽帝。文治五年之役。八月十二日。罹兵燹。一山堂塔伽藍。諸寺院。悉爲烏有。正親町帝。天正中。國分彥九郎盛重再造。後陽成帝。慶長十二年。貞山君造營藥師本堂。一山鎭守白山神社等。其餘學頭。別當。院主三院。及二十二之子院。中御門帝。享保中。獅山君令龍寶寺泰音實政作緣起。自書跋文以納之。間老志。名跡志共曰。國分寺建學頭。別當。院主三宇以備之。號金光明四天王護國山國分寺。三宇僧交勸寺務。其屬坊有二十四區。逐年巡行祭祀事。聖武帝。天平中。詔每州所建之一寺也。其後鎭守將軍藤原秀衡。甚好佛。建寺院僧房。頗極壯麗。設長堂廻廊。而及尼寺。後傾側荒廢。剩又其間及兵燹等之災。平。如今往昔古瓦遺礎猶有焉。好事者雕而爲硯。和漢合運日。天平九年。每州建國分寺。又十

一年日。始建毎州國分尼寺。續日本紀云。天平三年辛未。詔曰。毎
國造釋迦像一軀。挾持菩薩像二軀。兼寫大般若經一部。又天平
寶字五年六月。令天下諸國各於國分尼寺。奉造阿彌陀丈六像
一軀。脇持菩薩像二軀。希文按。天平寶字五年。廢帝御宇也。寄附
學頭。院主各二十四石。衆徒各十二石之地。
護國山國分尼寺。　曹洞宗。八塚龍川院末寺。傳云舊天台宗。而
聖武帝。天平中。毎州創建國分尼寺。令僧尼住焉。僧寺撰明德二
十人。掌祈禱。尼寺擇淨尼十人。掌滅罪。乃名法華滅罪之寺。此尼
寺亦其一也。帝之勅願處。而天平十一年。創建觀音大士之靈場。
國分寺奧院也。本尊觀音。亦天平所造。而歷年之久既朽損。今所
安者。惠心僧都所刻也。近古國分莊主。國分能州刺史世修營國
分寺。藥師堂。白山神社。尼寺。觀音堂等。正親町帝。元龜元年。遂以
尼寺。爲禪院。使明峯派下龍川院第二世明屋和尚開祖。擯內往

古方三百間。後水尾帝。寬永以來。有縱六十二間餘。橫五十間餘。
故往古觀音堂遺址在境外。而圃中築長八間。橫六間二尺之塚。
寺內有南部和賀郡舊主。右大將賴朝卿支子多田式部大輔忠
賴十七世孫。和賀主馬源忠親之墓。中御門帝。享保七年。獅山君
奉肯山君遺命。爲雄山君祈冥福。使寺僧讀誦普門品三十三萬
卷。三年而終功。（雖曹洞宗。以使讀誦于此。）
惠澤山寶珠院龍寶寺。　在城北。眞言宗。城州醍醐三寶院末寺。
舊在羽州米澤成島。不詳何時何人開山。傳云後花園帝。康正中。
澄海法印中興。本尊釋迦如來。竺工毘首羯摩所造也。寄附二百
七十石餘之地。傍院六區如左。　別當坊。賜十五石餘之地。　東
光院。賜十七石餘之地。　泉照院。賜十五石餘之地。　玉燈院。同
上。　遍乘院。同上。　龍城院。同上。以上六院開基年月。僧名。共不
傳。

南清山定禪寺。在舊寺小路。眞言宗。城州醍醐三寶院末寺。傳云後柏原帝。永正中。融濟法印開山。寄附六十六石之地。傍院三區如左。　善性院。不詳何時何人開基。　甘露院。同上。　大悲院。同上。以上三院。東山帝。元祿十年。各寄附十石之地。

龜岡山千手院。在河內。眞言宗。京都仁和寺末寺。傳云後花園帝。永享中。宥日法印開山。中古罹災。舊記燒失。其詳不傳。寄附七十石之地。傍院六區如左。　遍明院。　福藏院。　秀明院。　無量院。　慈眼院。　龍性院。以上六院開基。僧名。年月共不傳。各賜廩米五石四口。

惠日山遍照寺。在連坊小路。眞言宗。城州醍醐報恩院末寺。不詳何時何人開山。傳云當家古來祈願處。而先君居常州中邑。則寺在下野州芳賀郡山尾。居羽州米澤城。則寺在下長井莊號宮地。有六供門前市店。及末寺門徒許多。在米澤。則宥日法印開山

也。什物有高麗畫金胎兩部曼陀羅二幅。〔貞山君自高麗陣所寄附也。〕弘法大師奉桓武帝勅。延曆二十三年入唐。青龍寺惠果和尙密法傳授。所附伯諸具之鈴五鈷。〔後花園帝。永享八年。高野山宥遍法印。附屬宥日法印。〕高雄文覺上人護持佛。智證所造不動像。文覺上人所持錫杖等。舊高野山末寺也。靈元帝貞享元年。前住照長法印。相繼報恩院前大僧正有雅之法流。爾來爲報恩院末寺。寄附二十四石之地。

湯國山月山寺寶光院。　在舊寺小路。眞言宗。京都仁和寺御室御所末寺。傳云長海上人開山。不詳其年月。長海初住于羽州長井莊龜岡文珠堂側。性山君夫人保春院殿召之。有可祈生文武忠孝兼備之子。於湯殿山之命。四月二日。〔不詳其年。〕長海登山祈之。無幾夫人有孕。正親町帝永祿十年丁卯八月三日。生貞山君。長海乃爲假子。號梵天丸。爾來崇信湯殿山。每歲四月二日。使長海登山代拜。其後建寺。使之至今連綿登山代拜。寄附五十石之地。

摩尼山大聖寺。同レ上。京都智積院末寺。傳云初號二歡喜院一。後陽成帝。慶長中。定禪寺五世融擧法印退休。眞山君賜レ地建レ寺。經營時鑿レ地。獲二聖天像一。是以別造レ堂安二置之一。號レ寺曰二歡喜院一。眞山君有二聖天供修行之命一。寄二附三十六石餘之地一。故以二融擧法印一爲二開祖一。爲二定禪寺末寺一。東山帝。元祿七年。慶餘法印上京。相二續法流一。爲二智積院末寺一。改二號摩尼山大聖寺一。

慈眼山普門寺西光院。在二土樋一。眞言宗。京都智積院末寺。傳云名取郡富澤邑主山岸三河宗成。後陽成帝慶長七年二月二十九日歿。其子修理定康祈二亡父之冥福一。同十年。建レ寺。開山僧名不レ傳。西光院乃宗成法諡也。東山帝元祿二年。前住照養法印。續二智積院信盛僧正法流一。爾來爲二智積院末寺一。

寶珠山彌勒院。在二中島町北一。眞言宗。龍寶寺末寺。傳云古來之寺。而其先不レ詳二何時何人開山一。勝慶法印中興。爲二龍寶寺末寺一。其

年月不レ傳。後西帝。萬治元年八月。勝慶遷化。

瀧澤山光明院。在二舊寺小路一。眞言宗。龍寶寺末寺。不レ詳二何時何人開山一。瀧澤明神別當。而寄二附廩米三口一。中御門帝。享保中。祐春法印中興。

金光山滿福寺。在二荒町市店後一。眞言宗。京都智積院末寺。不レ詳二何時何人開山一。

青葉山寂光寺。在二城北一。眞言宗。京都仁和寺末寺。傳云信夫郡福島一里東北。羽黒權現別當。而慈覺大師開基也。後陽成帝。慶長五年十月。同郡宮代之役。現住（僧名不傳）。及中興開祖慶印上人。與二上杉諸將一戰而有レ功。是以慶長七年。護二持權現神體一。到二仙臺一。賜レ地移住焉。有二中興開祖慶印上人之墓一。今日二之行人塚一。

湯殿山熊本寺。在二北六番町一。眞言宗。龍寶寺末寺。傳云古來之寺也。不レ詳二何時何人開山一。尊雄法印中興。其年月不レ傳。後光明帝。

慶安元年七月。尊雄示寂。本尊湯殿山本地佛。弘法大師所造也。
貞山君再興造營初。寄附廩米五口。其後公收廩米。寄附五十石
之地。
両部山大日寺覺性院。　同上。京都醍醐報恩院末寺。傳云國分
彥九郎盛重之嫡男。玄性房實永法印中興開山。不詳其年月。實
永法印童名仁德丸。十三歲爲僧。其後住職于定禪寺。明正帝。寬
永十九年。義山君時請之日。古昔國分莊內有號覺性院寺。今荒
廢。冀再興之。是以賜地于小田原邑。建寺。其後以造營東照宮時
爲旅處。移于今地。寺內有明人王翼者之墓。又有號灘互橋石橋。
相傳上古往還之路也。
羽黑山西性院。　同上。眞言宗。龍寶寺末寺。傳云權大僧都弘賢
開山。不詳年月。後光明帝。承應三年八月。弘賢示寂。今所在寂光
寺中。羽黑權現社。貞山君自伊達郡移于此寺。其後遷于寂光寺。

故寺中今猶有其社。
寶龜山密乘院。　在舊寺小路。眞言宗。龍寶寺末寺。傳云本尊辨
財天。春日作。本州三春城主田村大膳大夫清顯朝臣之夫人讓
持佛也。田村家喪地之後。夫人寄食當家。招號快傚建寺。不詳
其年月。後水尾帝。元和九年正月廿一日。夫人掩化。號密乘院殿
玉室性金大姉。寄附廩米二口。
普門山蓮花院觀音寺。　在同心町。眞言宗。千手院末寺。舊號自
證庵。千手院之隙跡也。今上帝。明和中改號。
高福院。無山號。　在東六番町。眞言宗。龍寶寺門徒。不詳何時何人
開基。
常光寺。無山號。　在少林。眞言宗。龍寶寺門徒。傳云往時羅回祿。舊
記燒失。不詳何時何人開基。
觀瀧庵。無山號。　在大崎八幡市巷。眞言宗。龍寶寺門徒。不詳何時

何人開基。本尊千手觀音。弘法大師作。仙臺順禮三十三處。第二番之札處也。

龍華菴。（無山號） 同上。龍寶寺門徒。不詳何時何人開基。本尊地藏菩薩。傳云千躰佛之其一也。（希文）按。貞山君實錄。記龍寶寺前住攝州大坂之役。修勝軍地藏之法。歸國之後。安置其本尊。與其所傳不合。以實錄爲正說。

無爲山東昌寺。　在北山。臨濟宗。城州東福寺末寺。當家第四世政依君之牌寺也。舊在伊達郡。乃君所建。而後伏見帝。正安中。城州東福寺正覺菴佛智禪師惠雲和尚開山。寄附三百石之地。塔頭。六舍如左。　一風軒。　十四世直山君十三男。爲僧。諱康甫。號大有和尚。住持東昌寺。建一風軒。以爲退隱之處。寄附三十六石之地。　雲門庵。　東昌寺中興開祖詔陽和尚塔處。而後小松帝。明德四年十一月。詔陽示寂。寄附十二石餘之地。　護國院。

十三世香山君牌寺也。大有和尚開基。不詳年月。寄附十二石餘之地。　智松院。　直山君之牌寺。而大有和尚所建也。不詳年月。寄附三十石餘之地。　乾德院。　十五世保山君牌寺。而大有和尚所建也。不詳年月。寄附十八石餘之地。　正眼院。　義山君第一男虎千代君牌寺也。靈廟在東昌寺內。後水尾帝。寬永七年。好雪和尚開基。寄附廩米及金。

當午山滿勝寺。　同上。臨濟宗。城州東福寺末寺。當家大祖念西君之牌寺也。舊在伊達郡桑折驛邊。第四世政依君所建。而城州東福寺佛智禪師惠雲和尚開山。不詳其年月。後伏見帝。正安三年七月。佛智禪師示寂。今無寺。其地號滿勝寺邑。有靈廟。貞山君遷城之後。建寺于城北。寄附廩米五十俵及二十五石餘之地。寺庫藏賴朝卿靈牌。相傳大覺禪師筆跡。而念西君平常所拜也。塔頭一舍如左。　持國院。　第二世道西君牌寺也。寄附廩米五石。

松蔭山光明寺。　同上。臨濟宗。城州東福寺末寺。嘗家大祖念西君夫人牌寺也。舊在伊達郡。而第四世政依君所建也。今無寺。其地號光明寺邑。靈廟亦當有。而今失其處。貞山公遷城之後。建寺于城北。寄附百二十七石之地。初在伊達郡時。有塔頭五舍。一曰少林院。二曰碧福院。三曰大悲院。四曰龍雲院。五曰紹妙院。今存二舍。如左。　妙法軒。　中御門帝享保中。德雲和尚中興。　龍雲庵。　中御門帝享保中。天養和尚中興。

遠山覺範寺。　同上。臨濟宗。城州妙心寺末寺。舊在羽州置賜郡長井莊夏刈邑。號慈雲山資福寺。宋永嘉郡人佛源禪師開山。十六世性山君所再造。而正親町帝元龜三年壬申。自濃州請待虎哉和尚。爲中興開山。同年七月七日入院。後陽成帝天正十九年辛卯。貞山君移玉造郡岩出山城。寺亦扈從。假改與國山天王寺。（在玉造郡上宮邑。臨濟宗松島瑞巖寺末寺也。）號遠山覺範寺。安置性山君靈牌。同帝慶長五

年庚子。君移仙臺城。賜今之愛宕山哲願寺之地。而遷寺。其後移今地。是以以虎哉和尚爲覺範寺開山始祖。羽州資福寺舊址。有性山君靈廟。及殉死遠藤山城基信墳墓。寺內有性山君夫人保春院殿靈廟。其傍有高一丈三尺餘五輪塔。黑川郡吉岡天皇寺開基。貞山君第三男伊達河內宗清石碑。及殉死七人之五輪塔。（大和田佐渡成清。浦川宇兵衛。中山右兵衛。佐伯左門。今野采女。森右馬助。皆木彥右衛門。以上六人諱不傳。）是嘗仕宗清者。爲僧住塔頭醫國院。祈宗清冥福。私建之云。寄附二百四十五石之地。有塔頭三舍。如左。　醫國院。　性山君殉死遠藤山城基信牌寺也。　保福庵。　同上。須田伯耆（諱不傳）牌寺也。今荒廢。　擇月菴。　同上。內馬場右衛門（諱不傳）牌寺也。今荒廢。

慈雲山資福寺。　同上。臨濟宗。城州妙心寺末寺。舊在羽州置賜郡長井莊夏刈邑。而宋永嘉郡人佛源禪師開山。不詳其年月。入日本名藍之中也。正親町帝元龜三年壬申。性山君安置第三世

本明君所建之觀音三十三軀。並觀音寺殿。光福寺殿（本明君夫人）靈牌。請濃州虎哉和尚。爲中興開祖。（觀音像。其後罹火災。僅存中尊一軀。今在米澤城下福泉寺云。）後陽成帝。慶長五年。賜地於仙臺府下谷地小路。遷寺。其後移住于今地。安置觀音寺殿光福寺殿靈牌。寄附八十七石之地。

正宗山瑞鳳寺。　在名取郡根岸邑。屬府內臨濟宗。城州妙心寺末寺。傳云此山舊盧空藏堂之地。而絕頂有遺址也。往古有滿海上人者。一世之行人。而住此山。行法頗有靈驗。一世轉讀大般若。及末期。埋其經於瑞鳳殿下之地。故呼此山曰般若經塚。今在瑞鳳殿後石。所謂經之蓋石也。後水尾帝。寛永十三年。葬貞山君遺骸于此山。移盧空藏堂于愛宕山。建寺以保春院佛慈道光禪師清岳和尚爲開祖。有瑞鳳殿（貞山君）。感仙殿（義山君）。善應殿（雄山君）。三靈廟。寄附百二十石之地。及靈廟供廩米四十五石。傍院一區。塔頭六舍如左。

思敬菴。　中御門帝。正德二年。雄山君侍臣熊谷齋直清。爲僧號蓀叟。祈君之冥福。是以獅山君建菴於瑞鳳寺內。賜之其子宮六郎直道。請君分五十石之地。寄附之。傍院而非塔頭之列。

雄心院。　舊號妙音庵。開基僧名年月共不傳。中御門帝。享保七年。百川和尚安置獅山君第一男雄心院殿（千五郎村臣）靈牌。改號雄心院。以百川和尚爲中興開祖。寄附六石之地。

天柱院。　舊號慈眼菴。開基僧名年月共不傳。櫻町帝。延享五年。瑞鳳寺第九世大林和尚中與其荒敗。而安置忠山君第一男天柱院殿（久米之丞。幼稚未諱）靈牌。改號天柱院。故以大林和尚爲中興開祖。古來寄附十六石之地。且寄附首天柱院殿。令弟令妹供養料金三百兩。

龍興院。　海岸和尚開基。不詳其年月。寄附十六石之地。

般若院。　百川和尚開基。寄附十六石之地。

定光院。　開基僧名年月共不傳。寄附同上。

酬恩院。　開基僧名年月共不傳。寄附同上。

少林山保泰院。在少林。臨濟宗。城州妙心寺末寺。眞山君母公保泰院殿（羽州最上山形城主。最上修理大夫源義守朝臣之女。）牌寺也。後水尾帝。元和九年癸亥七月十七日逝。葬遺骸于覺範寺。別建寺。清岳和尙開山。寄附百八十石餘之地。塔頭一區如左。

寶傳菴。 清岳和尙開基。不詳年月。

惠照山定光寺。 在北山。臨濟宗。城州妙心寺末寺。靈元帝。寛文中。資福寺前住白堂和尙。請行義山君葬禮之地。以建寺。號惠日山東光寺。此寺山號舊在濃州。而覺範寺開祖佛海慈雲禪師虎哉和尙剃髮所住之地也。以白堂乃虎哉法孫。故。虎哉和尙爲開山始祖。東山帝。元祿中。肯山君枉駕于覺範寺。時問東光寺創建之事。實覺範寺休巖和尙詳答之。君曰。濃州東光寺。雖虎哉剃髮所住之地。至今既及荒廢。是故。准虎哉塔所而可也。況於東光寺之號。第九世先君之法諡。乎臨濟宗。則用寂光中之文字。當改號

惠照山定光寺。

金剛寶山輪王寺。 在城北。曹洞宗。越後州磐船郡小泉莊杜澤村耕雲寺末寺。傳云。當家十一世天海君。依其祖母閻庭明玉禪尼所願。後花園帝。嘉吉元年辛酉。建寺于伊達郡梁川。請大華和尙爲開山祖。號金剛寶山輪王寺。將軍普廣院義教公。以其外親。奏請之。賜宸筆額。（其額往古罹災燒亡。）其後從當家移居。而移轉于同郡西山。及羽州米澤。本州會津等處々之地。至後陽成帝。天正之季。移于玉造郡岩出山。同帝。慶長七年。遷于今地。邦君寄附百四十七石之地。梁川。西山。米澤等之地。各存其遺址。米澤今有號輪王寺精舍。而與當山同其祖牌。東山帝。元祿四年辛未七月廿日。値開基明玉禪尼二百五十年之遠忌。肯山君新造營佛殿。禪堂。客殿等。附益僧糧三十六石。以贈香積。且毀將軍家之台許。並受永平寺並關東三寺之公帖。擧自此冬。每歲兩期結制。金剛寶山與法幢。

固約未來際。
微笑山江岩寺。同上。曹洞宗。輪王寺末寺。後水尾帝。元和元年
三月十八日。貞山君第八男竹松丸七歲。而夭。於武州江府邸。葬
于輪王寺。法諡江岩惠春。其後建寺。號微笑山江岩寺。輪王寺十
世麟菴光全和尚開山。有靈牌及殉死二人（姓名不傳惟存法號）牌。寄附九石
餘之地。
通寶山永昌寺。同上。曹洞宗。輪王寺末寺。傳云古來之寺也。不
詳何時何人開山。後光明帝。承應中。輪王寺十三世角外麟恕和
尚中興。寺內有保春院殿葬禮之時燒棺灰塚。故安置靈牌。
龍澤山雲相寺。同上。曹洞宗。輪王寺末寺。承應中。角外麟恕和
尚開山。
喜傳山秀林寺。同上。曹洞宗。輪王寺末寺。承應三年甲午。角外
麟恕和尚開山。

寶珠山蔭德寺。同上。曹洞宗。松音寺末寺。正親町帝。天正中。松
音寺八世喜州全應和尚開山。舊在信夫郡佐原邑。行山君葬
禮於此寺。故建靈牌。貞山君遷封之後。住僧護靈牌。來于仙臺。建
寺。性山君葬禮之灰塚。于今在佐原邑蔭德寺云。
金鑒山龍雲院。在北八番丁。曹洞宗。輪王寺末寺。後陽成帝。慶
長十一年。輪王寺九世久山光天和尚開山。
流川山全玖院。同上。曹洞宗。輪王寺末寺。後水尾帝。元和中。輪
王寺十一世龜院曆鶴和尚開山。
松峯山高福寺。在北九番丁。曹洞宗。輪王寺末寺。承應三年。角
外麟恕和尚開山。
喜福山玄光菴。在新日形町。八塚龍川院末寺。傳云正親町帝
元龜三年。龍川院二世明屋和尚開山。同帝永祿八年。大檀越小
林伊豆道恭。寄進作佛釋迦本尊。系文。按。小林伊豆不知何人。蓋

國分家臣乎。
五峯山松音寺。　在連坊小路。曹洞宗。桃生郡深谷莊梅木邑統
禪寺末寺。傳云舊在伊達郡松倉。後花園帝。寛正中。越後州村上
耕雲寺四世瑚海忠珊和尚開山。後土御門帝。長享元年丁未九
月。葬十二世瓊岩君。其後遷寺于伊具郡丸森。後柏原帝。永正十
年。統禪寺四世全的岡乍和尚中興。寄附七十八石之地。後陽成
帝。慶長中。遷于今地。有貞山君第五男伊達攝津宗綱靈廟。及殉
死橋本三吉諱不傳墓。塔頭一區如左。成就院。公族茂庭石見延元。
嘗爲宗綱之傅。宗綱歿後不堪悲哀之情。登紀州高野山。爲僧號
了蓰。祈宗綱之冥福所建也。
福現山保壽寺。　同上。曹洞宗。國分莊七北田邑洞雲寺末寺。傳
云國分家十一世修理亮平盛行開基。而實底和尚開山。不詳其
年月。後土御門帝。應仁元年八月。實底示寂。同帝。明應二年十二

月。盛行卒。號保壽寺殿。其餘有能登守宗政及夫人。參河守盛重
及夫人之靈牌。
金秀山瑞雲寺。　同上。曹洞宗。羽州置賜郡屋代鄉朝川邑瑞雲
院末寺。傳云後花園帝。文安元年。闘應良玖和尚開山。舊在羽州
朝川邑。號瑞巖寺。貞山君移玉造郡岩手山城時。第八世虎山守
龍和尚扈從。其後賜地建寺。以與松島瑞巖寺同號。改號瑞雲寺。
角島山龍興院。　同上。曹洞宗。松音寺末寺。正親町帝。天正元年。
天岩正膳和尚開山。
天苗山皎林寺。　在荒町市店後。曹洞宗。名取郡吉田邑秀麓齋
末寺。傳云後水尾帝。慶長十八年。密州祖芳和尚開山。寺內有井。
古來呼之。曰弘法水。井中有長一尺許。濶五寸許石。號弘法石。雖
大旱。水不涸。揚其石。則水不滿。故常入井中。不揚之。
奕葉山昌傳菴。　同上。曹洞宗。初越前州遷浦大藝寺末寺也。大

蘇寺荒廢。故爲大蘇寺本山。羽州米澤瑞龍院末寺。傳云舊在米澤。而十三世香山君第三男久松丸牌寺也。後柏原帝。永正二年乙丑三月十六日。久松丸六歲而夭。翌年建寺。號昌傳菴。喜山高悅和尙開山。寄附二十七石之地。後陽成帝。天正季。移于玉造郡岩出山。同帝。慶長初。移于今地。其舊址今在米澤。而號昌傳菴。

三陽山泰心院。　在南鍛冶町市店後。曹洞宗。輪王寺末寺。當家十四世直山君夫人台心院殿（蘆名遠江守平盛高女。）之牌寺也。正親町帝永祿十年二月十一日。夫人逝。其後建寺。輪王寺五世佛頂直光禪師源菴和尙開山。不詳其年月。舊在米澤。後陽成帝。天正季。遷于玉造郡岩出山。罹回祿荒廢。殆十餘年。同帝。慶長七年。貞山君遷于仙臺城之後。同十二年。再造于今地。翌年之夏。枉駕。命曰台心字若誤連書。則爲怠字。甚不可也。嘗以泰字換之。爾來作泰心院。寄附八十四石之地。盤元帝。天和中。准加州大乘寺之法式。爲興

州最初叢林。

耕德山栽松院。　在八塚。曹洞宗。松音寺末寺。十五世保山君夫人栽松院殿（盤城左京大夫平重隆女。）牌寺也。保山君卒後。夫人移住于信夫郡杉目城。後陽成帝。天正季。貞山君移于玉造郡岩出山城。時移住于宮城郡國分莊根白石邑。同帝。文祿三年甲午六月九日逝。葬于根白石邑。建寺。號琥珀山寶積寺。其後別建寺於今地。因夫人葬送之導師。以松音寺五世台屋恕三和尙。爲開山祖。安置靈牌。寄附六十石之地。

圓通山龍川院。　同上。曹洞宗。根岸邑宮澤宗禪寺末寺。傳云宗禪寺五世融室閏祝和尙開山。不詳其年月。後柏原帝。大永三年九月十八日。融室示寂。此寺舊在河內二九大門下。後陽成帝。慶長初。遷于今地。松木番處之松樹乃丘木也。中御門帝。享保初。古來之松枯。今存者所新植也。

喜雲山光壽院。同レ上。曹洞宗。輪王寺末寺。舊在二信夫郡杉目一。而號二慶正院一。靈巖和尚開山。不レ詳二其年月一。保山君夫人栽松院殿所二創建一也。後陽成帝。天正季。貞山君移二于玉造郡岩出山城一時。第四世文綴和尚。移二住于名取郡增田邑一。貞山君放鷹時枉駕。問二寺院由來一。寄二附三石之地一。其後遷二寺于今地一。改二號光壽院一。

昌巖山林松院。同レ上。曹洞宗。松音寺末寺。傳云松音寺七世靈堂文徹和尚開山。不レ詳二其年月一。後水尾帝。元和五年五月朔日。文徹示寂。

森城山大林寺。同レ上。曹洞宗。輪王寺末寺。傳云舊在二羽州米澤舘貝邑一。後奈良帝。弘治中。輪王寺五世源茂守眞和尚開山。貞山君移二于玉造郡岩出山城一時。扈從移レ寺。開祖源茂和尚。爲二直山君夫人泰心院殿之導師一。故安二置其靈牌一。寺內有二古塚一。所レ謂八塚之其一也。寄二附十九石餘之地一。

稻荷山妙心院。同レ上。曹洞宗。松音寺末寺。正親町帝。天正中。松音寺七世靈堂文徹和尚開山。貞山君爲二乳母妙心院一建レ寺。寺內有二古塚一。所レ謂八塚之其一也。

浮柳山洞林寺。同レ上。曹洞宗。妙心院末寺。後光明帝。承應二年四月。生室長寅和尚開山。

清涼山西福寺。同レ上。曹洞宗。輪王寺末寺。輪王寺九世久山光天和尚開山。不レ詳二其年月一。後陽成帝。慶長十二年四月。久山示寂。

永福山東秀院。同レ上。曹洞宗。刈田郡平澤邑保昌寺末寺。傳云後水尾帝。寬永中。喜山悶悅和尚開山。舊在二谷地小路東一。號二車地藏一地上門前有二車地藏一。移二寺于今地一時。車地藏亦共移レ之。至レ今舊地稱二車地藏一。

繁盛山長泉寺。同レ上。曹洞宗。松音寺末寺。傳云松音寺第五世台屈怒三和尚開山。不レ詳二其年月一。後陽成帝。慶長五年正月。怒三

示寂。寺內有古塚。所謂八塚之其一也。
天總山林香院。　同上。曹洞宗。岩城富岡龍泰寺末寺。傳云後陽成帝。天正中。龍泰寺五世即翁長聲和尚開山。
五鼇山松山寺。　在天神下。曹洞宗。須賀川長錄寺末寺。後水尾帝。慶長十八年。文洲和尚開山。舊在越路鹿落坂上。櫻町帝。元文元年。公收舊地。換賜今地。
松風山金勝寺。　同上。曹洞宗。瑞雲寺末寺。傳云後柏原帝。永正元年五月。中岳泉波和尚開山。舊在南町。後遷于今地。寺內有北條氏直子北條善右衛門氏次入道安清墓。記曰。寬文十二壬子歲閏六月四日。八十八歲卒。
龍泰山大安寺。　在石名坂。曹洞宗。名取郡根岸邑瀧澤寺末寺。後水尾帝。寬永元年三月。瀧澤寺第六世融山寶祝和尚開山。今上帝。明和四年。現住牧山和尚。納金公府。賜廩米三口。

滿谷山圓福寺。　同上。曹洞宗。名取郡根岸邑瀧澤寺末寺。其先不詳何時何人開山。正親町帝。天正中。瀧澤寺五世章毅和尚中興。本尊聖觀音。傳云聖德太子所造。而田村將軍利仁朝臣侍妾璽玉護持之佛也。寺內有沼。相傳往古沈鹽釜之神釜于茲。名跡志曰。石名坂有寺。曰滿谷山圓滿寺。是田村麻呂東征之間。以宮城廳璽玉子。備側室。平日愛護觀音。後人建閣而藏之。丞文按。寺僧所傳。爲利仁朝臣。名跡志爲田村麻呂。二說不同。稗說曰。田村麻呂乃利仁朝臣之子。而璽玉之所生也。不知孰是。姑記異說備參考。寄附三石餘之地。
青龍山宗禪寺。　在名取郡根岸邑宮澤。屬府內曹洞宗。本郡七北田邑洞雲寺末寺。傳云後花園帝。文安四年。粟野遠江守諱不詳開基。而梅國評三和尚開山。
法輪山長德寺。　在名取郡根岸邑越路。屬府內曹洞宗。松山寺。

末寺。後水尾帝。寛永元年。文廓和尙開山。舊在瑞鳳寺下馬之地。造營貞山君靈廟時。換賜今地。後西帝。万治元年八月五日。爲義山君花見圓阿彌殉死於此寺。爾來以圓阿彌爲開基。有塚稱圓阿彌塚。其地崩壞。今無其塚。

經部山大藏寺。　同上。曹洞宗。昌傳菴末寺。傳云此地古來稱梅森。寺內有老梅樹。後陽成帝。慶長二年。昌傳菴十世嶽翁宗悅和尙開山。有觀音堂。本尊正觀音。慈覺所造。而稱滿海上人護持佛。仙臺順禮三十三處。第三十三番之札處也。舊在城林中號黑沼地。慶長五年。貞山君築城。是以移于瑞鳳殿之地。後水尾帝。寛永十三年。造營瑞鳳殿。故又移于感仙殿之地。後西帝。万治元年。造營感仙殿。是以又移于今地。中御門帝。正德中。肯山君祈雄山君之冥福。遣命讀誦普門品三十三萬卷。三年而終功。

廬空藏山大滿寺。　同上。曹洞宗。龍川院末寺。傳云往古廬空藏堂千躰佛。在城地中。古荒廢無住。而千躰佛亦散失。正親町帝。天正元年。龍川院三世量山和尙再造廬空藏堂。而中興大滿寺。後陽成帝。慶長初。貞山君經營城地時。遷堂及寺於經峯。（瑞鳳寺地。）造營本堂。拜殿。鐘樓。及寺寄附三十六石餘之地。後西帝。万治二年。感仙殿（義山君靈廟。）造營時。再遷于愛宕山西。造營如舊。

大藏山松源寺。　在米袋。曹洞宗。輪王寺末寺。傳云舊在本州白河郡。而白河家牌寺也。後柏原帝。永正十八年辛巳三月（此年改元大永。）輪王寺四世大光元可和尙開山。後陽成帝。天正季。大閤秀吉公。沒收白河家領地。是以白河七郎義親（後號說齋。）不寄食當家。而在仙臺。松源寺亦從來。賜地建寺。有義親子宮內大輔義綱之墓。

光明山孝勝寺。　在城東。日蓮宗。甲州身延山久遠寺末寺。伏見帝。正應中。日蓮上人法嗣一乘阿闍梨日門上人開山。有義山君夫人孝勝寺殿（大樹秀忠公養女。池田輝政朝臣女。）肯山君母公淨眼院殿（三澤權佐清長女。）肯山

君介妹秘密院殿〈立花彈正貞成室。離絕。〉常全院殿〈公族中村日向成義室。〉靈廟。寄附二百三十石之地。靈廟供廩米二十石。子院五區如左。　妙音院。　孝勝寺三世日正上人開基。不詳其年月。　法輪院。　孝勝寺中興日達上人開基。同上。　遊香院。　孝勝寺十六世日春上人開基。同上。　華香院。　孝勝寺十七世日玄上人開基。　經王院。　孝勝寺十八世日逗上人開基。同上。

法龍山佛眼寺。　在荒町市店後。日蓮宗。京都佛眼寺末寺。傳云日尊上人開山。不詳其年月。至常住二十六世也。舊在伊達郡貞山君移于玉造郡岩出山城時。扈從住于號蛭川地。其後遷于今地。寄附二十五石餘之地。

廣潤山法運寺〈運舊作誓。以義山君之命作運。〉　在通坊小路。日蓮宗。甲州天野本遠寺末寺。傳云日遠上人開山。不詳其年月。其後日悟上人中興。日悟者。青木仲五郎友重弟也。貞山君卒時。友重殉死。無嗣。義山君

命日悟繼其家。日悟固辭曰。當此時也。俗亦當爲僧之秋也。還俗繼其家者。非臣之志也。是以使他親族繼其家。賜日悟以百五十石地。日悟乃以其賦稅。再興精舍。其後請以三十石之地。永爲寺之寄附。公收其餘百二十石之地。如請寄附三十石之地。其餘公收之。日悟生涯別賜五十石之地。

上方山日淨寺。　在城北。日蓮宗。京都要法寺末寺。日行上人開山。不詳其年月。瀨上丹後〈名不詳。〉創建。舊佛眼寺末寺也。靈元帝。延寶中。爲要法寺末寺。

眺海山康國寺仙岳院。　在小田原。天台宗。日光御門主末寺。東照宮別當。後光明帝。承應三年。晃海僧正開山。寄附百八十石之地。八靈牌供廩米百二十石。傍院四區如左。　寶藏院。　承應三年。亮存法印開基。寄附三十五石之地。　成就院。　同年。文啓法印開基。寄附同上。　延壽院。　同年。眞達法印開基。寄附同上。

吉祥院。　旅宮守護。同年創建。開基僧名不傳。寄附廩米七石。

成就山滿願寺。　在舊寺小路。天台宗。東叡山末寺。傳云舊在本州白河關。聖武帝。天平中。爲東夷靜謐祈願建寺。安置光明皇后護持佛閻浮檀金聖觀音。行基菩薩開山也。當家先君世崇敬之。寄附神馬黃金等。白河家喪地之後。後陽成帝。天正季。前住慶重法印。護持本尊。到玉造郡岩出山。貞山君假設堂安置之。同帝。慶長初。移于仙臺城時。擇其地於州城之艮隅。創建開明神社及觀音堂。而移寺爲祈願處。寄附三十六石餘之地。傍院一區如左。

慈音院。　號惠往僧開基。與滿願寺同時建之。

地耀山延命院光圓寺。　同上。天台宗。東叡山末寺。寶永法印開山。不詳其年月。貞山君寄附智證大師所造不動二童子及短刀。有平日祈禱。且嘗每歲登湯殿山代拜之命。至今每歲登山代拜。然貧寺而不能登山。桃園帝。寬延三年。愁訴請之。忠山君寄附廩

米五口。

慶永山安樂寺。　同上。天台宗。東叡山末寺。東山帝。寶永中。仙臺府內兩度大火。寶記燒失。不詳何時何人開山。

日想山等覺院。　同上。天台宗。仙岳院末寺。東山帝。寶永之大火。寶記燒失。不詳何時何人開山。

愛宕山誓願寺。　在名取郡根岸邑。屬府內。天台宗。東叡山末寺。舊在羽州米澤。不詳何時何人開山。正親町帝。永祿中。尊勝法印中興。貞山君移于玉造郡岩出山城時從來。詳于愛宕社條下。寄附二十七石餘之地。

鏡池山本明院光禪寺。　在北二番町。天台宗。仙岳院末寺。傳云齋衡帝。天安中。慈覺大師留錫于宮城郡國分莊青葉山鏡池邊。自造千躰地藏尊。建一宇。號鏡池山本明院光禪寺。後讓弟子覺山。歷年之久。荒廢惟存其址。後陽成帝。慶長中。貞山君經營城地。

時。賜今地移住焉。東山帝。元祿中。前住督眞蒙大明院一品法親王嚴命。爲仙岳院末寺。

地慶山不動院圓德寺。　在中島町南五十人町。天台宗。光圓寺末寺。傳云舊在伊達郡。後小松帝。明德元年。惠親法師開山。當家旗下步卒所願處也。貞山君遷于玉造郡岩出山及仙臺城時。各扈從云。

眞護山宗海寺隆興院。　在田町市店。天台宗。光圓寺末寺。不詳何時何人開山。

照寶山圓妙院誓安寺。　在北六番町。天台宗。誓願寺末寺。誓願寺三世日歲法印開山。不詳其年月。

秡山神宮寺。　荒牧邑神明宮別當。属府內。天台宗。誓願寺末寺。貞山君之世。妙海法印開山。不詳其年月。

兩足山大年寺。　在名取郡根岸邑茂ヶ崎。属府內。臨濟黃檗宗。城州宇治万福寺末寺。東山帝。元祿八年十一月二十四日。肯山君手自把鍬（其始穿地處。今栽松爲證。）開地於城南茂崎山。而移本州宮城郡少林廢寺小遂山仙英寺遺址。建寺。改號兩足山大年寺。同十年孟春。請下總州牛島弘福寺普應禪師鐵牛和尚。以爲開山始祖。呼北日般若峯。號南日禪那嶺。有肯山君。獅山君。同夫人長松院殿（久我內府通誠公養女。久我中納言通名卿女。）忠山君。同夫人雲松院殿（公方有德院殿養女。伊大納言宗直卿女。）紀五靈廟。寄附二百石之地及禪堂僧粮廩米百斛。五靈廟供廩米七十五石。祠堂金若干。塔頭靈廟守護開山堂凡十七區。　大幻菴。　肯山君靈廟守護。中御門帝。享保四年巳亥創建。寺內塔頭巡寮僧輪番。寄附廩米五十石。　壽仙院。　忠山君。雲松院殿靈廟守護。櫻町帝。延享四年丁卯創建。大年寺前住僊巖和尚開基。寄附十五石之地。　少林院。　開山堂。　東山帝。元祿十六年癸未創建。有藥師佛。此本尊。舊少林小遂山仙英寺本尊。而安置于此。寄

附五十石之地一。心定院。櫻町帝。延享四年丁卯創建。大年寺
前住仙岩和尚開基。安二置獅山君第二女心定院殿靈牌一。寄二附二
十石之地及祠堂金若干一。松濤院。中御門帝。享保三年戊戌
九月創建。香國和尚開基。寄二附祠堂金若干一。大千院。享保四
年己亥五月創建。泰嶺和尚開基。寄二附三十石之地一。活龍院。
享保三年戊戌三月創建。慧林和尚開基。寄二附十五石之地一。四
天王院。享保九年甲辰三月創建。高泉和尚開基。寄附同レ上。
勝福院。東山帝。寶永四年七月創建。千呆和尚開基。寄附同レ上。
玉笛院。東山帝。元祿十七年甲申（此年改二元寶永一）正月創建。鳳山和
尚開基。寄附同レ上。頂王院。東山帝。寶永元年甲申二月創建。
月耕和尚開基。寄附同レ上。探月院。寶永元年甲申十二月創
建。鳳山和尚開基。寄附同レ上。西來院。中御門帝。正德元年庚
寅五月創建。泰宗和尚開基。寄附同レ上。曇華院。不レ詳二何時創

建一。石門和尚開基。寄附同レ上。德本院。東山帝。元祿十五年創
建。斷崖和尚開基。寄附同レ上。普門院。元祿十年創建。海音和
尚開基。寄附同レ上。天遊院。中御門帝。享保中創建。環宗和尚
開基。寄附同レ上。

開元山万壽寺。在二本郡小田原邑高松一。屬二府内一。臨濟黄檗宗。城
州宇治万福寺末寺。東山帝。元祿十年丁丑九月。移二加美郡黒澤
邑慶寺黒澤山安養寺遺址一。建レ寺。安二置安養寺本尊虚空藏像一。以二
月畔和尚一爲二開山一。有二肯山君夫人万壽寺殿（稻葉丹後守侍從越智正則朝臣女。）靈廟
及桂山君（肯山君第一男。）靈牌一。門前有二老松一。土人呼レ之。曰二高松一。和傳婦人之
墓松也。寄二附百石之地及靈廟供膳米十石一。塔頭凡十區。如レ左。
三昧院。開山月畔和尚塔處。函圭和尚開基。不レ詳二年月一。櫻町帝。
延享二年。寄二附貢田（使三人佃レ之。收二其貢一於公府一。以二其所レ餘爲二院資一。下同。）二十石之地一。靈松院。
泰嶺和尚開基。不レ詳二年月一。延享二年。寄二附貢田十石之地一。大

珠院。阿主和尚開基。不詳年月。寄附同上。　吟松院。　吟松和尚開基。不詳年月。寄附同上。　韶陽院。　無底和尚開基。不詳年月。寄附同上。　甘露院。　梅仙和尚開基。不詳年月。寄附同上。　慈照院。　泰猊和尚開基。不詳年月。寄附同上。　棲雲院。　瑛宗和尚開基。不詳年月。寄附同上。今荒廢。　大通院。　開基僧名。年月共不詳。寄附同上。　三毬院。　鷺店和尚開基。不詳年月。

得生山西蓮院善導寺。　在城東。淨土宗。磐城專稱寺末寺。傳云正親町帝。天正五年。當家十五世保山君卒後。侍臣橫塚縫殿助修。不者。爲僧號西蓮。回國修行。結菴于羽州米澤蓮池傍。號西蓮院。以祈保山君之冥福。後陽成帝。天正季。遷于玉造郡岩出山。慶長中。移于仙臺大町末。其後遷于今地。三世分波和尚。請寺號於本山。號善導寺。明正帝。寬永十九年二月。葬義山君側室。雄山君因母得生院殿。（櫛笥贈左大臣隆致公季女。）其後號得生山。本尊阿彌陀。保山

君護持佛。而貞山君所賜西蓮也。故以西蓮爲開山祖。有得生院殿靈廟。寄附七十石之地。靈元帝。寬文六年。有命剏建塔頭三舍。如左。　歡喜院。　寬文六年。故信和尚開基。今無住。　信安院。　同上。　芳樹軒。　同上。今荒廢。

十劫山大乘院成覺寺。　在八塚。淨土宗。磐城成德寺末寺。傳云舊在伊達郡。而成阿和尚開山。不詳其年月。後柏原帝。大永中。住阿和尚移住于羽州米澤。正親町帝。天正中。貞離正發和尚。後改名呑茶。（奥州岩城檜葉之產猪狩氏子。）智道兼備。一宗無雙之名僧。而中興之。從貞山君移于玉造郡岩出山。後陽成帝。慶長五年。賜今地。而建寺。以移住焉。仙臺府下大町市人只野利右衛門先祖。施主而造營之。利右衛門者。羽州米澤當家累世之市人也。古來寺內有曼陀羅堂。東山帝。寶永中。仙臺府下大火延燒。今存其遺址。此曼陀羅天下無二之靈寶。而淨土宗三曼陀羅之中第三聖圖也。一條帝。正

居中。和州南都超勝寺住僧清海法師。欲レ書二寫同州當麻寺之曼陀羅。志願已久。貧僧無レ福不レ果。欲レ乞二其資。赴二于城州。到二木幡山。過二一婦人。彼婦問曰。沙門何之。清海答以二其志願。婦曰。我幸畫工也。今夜之間。書二寫其曼陀羅。以使三和尚遂二其志願。當レ待二此松樹下。乃去。其夜過二五更。彼婦書二寫曼陀羅。來授二清海。曰。我實清水觀音也。忽失二其所在。彼世稱二清水觀音正筆之曼陀羅。爾來五百七十餘年。爲二超勝寺本尊。正親町帝天正中。井上若州亂二行于大和國。罹二兵燹。超勝寺堂宇。悉爲二灰燼。曼陀羅自二火中一飛去。入二南部一乘院門徒高天法眼諄貞之室。其後流二傳于京都二條高倉福祿善西家。後水尾帝寛永七年三月十五日夜。鹽釜大明神。化二老翁。來二于善西家。請レ納二彼曼陀羅於奥州仙臺八塚成覺寺。不レ能レ背二神命。遁齎來納レ之云。系文按。怪異妄誕之說。浮屠之徒所レ言。往々如レ此。不レ足レ信。用。姑記二寺僧之所レ傳也。

五劫山悟眞寺惣鈍院。 同レ上。淨土宗。岩城檜葉邑成德寺末寺。傳云。後陽成帝。慶長七年八月。良䏻上人呑茶和尙開山。呑茶和尙者。成覺寺中興開祖〔詳二于成覺寺條下一。〕而慶長六年。移二住于本山成德寺一。貞山君召レ之。同七年。歸二于仙臺。賜二方百間之地于八塚。建レ寺。貞山君爲二信之。恩遇尤渥。寺內有二古塚。所謂八塚之其一也。塔頭二舍如レ左。

常照院。 後水尾帝元和五年。呑茶和尙開基。

良經院。 靈元帝。延寶五年。惣鈍院三世寶殘和尙開基。今荒廢。

弘誓山龍宅院正雲寺。 同レ上。淨土宗。岩城專稱寺末寺。後陽成帝。慶長十五年。淨蓮社良輿上人傳佐和尙開山。而青山出雲勝定開基也。

眞成山報恩寺。 同レ上。淨土宗。下野州大澤邑圓通寺末寺。號二良進。僧開山。不レ詳二其年月。後西帝。万治二年。良進示寂。

光明山遍照寺。 同レ上。淨土宗。岩城專稱寺末寺。後水尾帝。寬永

中。良心和尚開山。
本願山生因寺。同上。淨土宗。愚鈍院末寺。後水尾帝。寬永十三年。厭蓮社良欣發雲和尚開山。
成就山莊嚴院大德寺。同上。淨土宗。岩城成德寺末寺。後陽成帝。慶長中。良果上人開山。
無量山壽經院圓德寺。同上。淨土宗。成覺寺末寺。後陽成帝。慶長中。良法上人開山。
慈光山觀照院慈恩寺。在天神下。淨土宗。愚鈍院末寺。後陽成帝。慶長中。良嚴上人開山。
正定山具足院願行寺。同上。淨土宗。正雲寺末寺。後陽成帝。慶長中。良故圓阿和尚開山。初號淨光寺。避青山君夫人之法諱。改號。第十世良乘和尚。開設常念佛。
正定山隨願院久近寺。同上。淨土宗。岩城專稱寺末寺。後陽成

帝。慶長中。良滿上人開山。
一向山常念寺。在荒町市店後。淨土宗。關東大澤圓通寺末寺。後水尾帝。寬永二年。久也和尚開山。靈元帝。延寶三年。良讃上人中興。開設常念佛。
無縁山法圓寺。同上。淨土宗。成覺寺末寺。後水尾帝。寬永中。三蓮社良縁和尚開山。
功德山仰信院。在石名坂。淨土宗。善導寺末寺。不詳何時何人開山。後水尾帝寬永初。善導寺第七世良譽上人中興。爲退隱之寺。初號崇源院。避將軍家法諱。改號。
若蓮山常林寺。在少林。淨土宗。莊嚴寺末寺。本譽上人開山。不詳其年月。
寶嶺山充國寺。在北山。淨土宗。成覺寺末寺。後水尾帝。寬永元年。到蓮社良清上人開山。

增上山大願寺。同レ上。淨土宗。岩城山崎專稱寺末寺。後陽成帝。慶長八年。實蓮社貞盛上人格外和尚開山。此地行二貞山君葬禮式一之地。而有下焚二靈柩一灰塚上。

深妙山入玄院。同レ上。淨土宗。大願寺末寺。後水尾帝。寛永十五年。觀蓮社貞經上人鉄山和尚開山。

井光山來迎院寶泉寺。同レ上。淨土宗。岩城山崎專稱寺末寺。後陽成帝。慶長八年。南蓮社貞哲上人開山。

大鶴山昌繁寺。同レ上。淨土宗。岩城專稱寺末寺。後陽成帝。慶長●六年。專蓮社貞傳上人袋岌和尚開山。

遍照山專光寺。同レ上。淨土宗。充國寺末寺。後光明帝。承應中。心蓮社恩譽上人袋山和尚開山。

功德山成就院莊嚴寺。同レ上。淨土宗。岩城楢葉成德寺末寺。存蓮社貞把上人開山。不レ詳二其年月一。後水尾帝。寛永十七年。貞把示

寂。

一念山稱安寺。同レ上。淨土宗。岩城山崎專稱寺末寺。後水尾帝。元和二年。定蓮社貞惠上人歷含和尚開山。

波佛山安樂寺。同レ上。淨土宗。岩城山崎專稱寺末寺。後水尾帝。●寛永十六年。定蓮社貞惠上人歷含和尚開山。

光明山實相院。同レ上。淨土宗。莊嚴寺末寺。櫻町帝。元文五年二月十五日。罹二回祿一。舊記實錄。悉爲二烏有一。不レ詳二何時何人開山一。

龜鏡山正圓寺。同レ上。淨土宗。岩城山崎專稱寺末寺。後水尾帝。寛永九年。專蓮社貞傳上人袋岌和尚開山。

無量山智經院。同レ上。淨土宗。大願寺末寺。後水尾帝。寛永十五年。三蓮社貞綠上人開山。

莊嚴山寶林寺。同レ上。淨土宗。大願寺末寺。後水尾帝。寛永十五年。寶蓮社林譽上人圓的和尚開山。

圓光山大法寺。同上。淨土宗。下野州大澤圓通寺末寺。後陽成帝。慶長十三年。圓通社良通上人開山。初在大町市店之末巷。罹回祿而荒廢。今其址爲市店。後西帝。万治三年。請行義山君葬禮式之地。再興之云。

紫雲山來迎寺。在城北五十人町。淨土宗。昌繁寺末寺。後水尾帝。寬永十七年。相蓮社頓譽圓隨和尙開山。

北原山正樂寺。在八塚。淨土眞宗。京都東本願寺末寺。傳云佐藤眞玄者。爲僧號眞源房。結庵于名取郡笠島邑而居之。故以眞源房爲開山祖。第二世福齋坊。住于玉造郡岩出山。第三世明慶法印。移住于名取郡日邊邑北原。此時貞山君爲封內一宗之宗寺。號正樂寺。寄附所在磐井郡平泉之鐘。削舊銘而記新銘。其後移寺于今地。塔頭四區如左。

寂靜寺。靈元帝。延寶七年。號林加僧開基。

西照寺。號教存僧開基。不詳其年月。

應瑞寺。

靈元帝。天和二年。號宗玄僧開基。

常玄坊。同帝。貞享元年。號惠應僧開基。

眞照山榮明寺。同上。淨土眞宗。京都東本願寺末寺。後水尾帝寬永二年。淨穩和尙開山。

佛光山見瑞寺。同上。淨土眞宗。京都東本願寺末寺。正親町帝。天正中。乘西和尙開山。舊在本郡松森邑。第三世念西移于今地。

勝光山德泉寺。同上。淨土眞宗。京都東本願寺末寺。後水尾帝。寬永中。號宗圓僧開山。

唱名山道仁寺。同上。淨土眞宗。京都東本願寺末寺。後陽成帝。慶長中。號淨稱僧開山。

佛法山東漸寺。在南鍛冶町。淨土眞宗。京都東本願寺末寺。後陽成帝。慶長季。本西法師開山。本西者。最上出羽守義光世臣。藤原秀鄕之後裔。那波將監氏經子。而稱三郎四郎重廣。慶長五年

九月。上杉景勝使其臣直江山城守兼續攻最上。此時氏經戰死于上山城。氏經死後。重廣爲僧。號本西。來居于宮城郡利府北方森鄕。後移住于同郡霞目邑。慶長季。貞山君賜地於同郡少林少森。（今爲市店。稱鍛冶町是也。）建寺。塔頭三區如左。　敬正寺。　靈元帝。貞享三年。號敬念。僧開基。　本蓉坊。　貞享四年。號淨林。僧開基。　圓乘坊。　同年。號宗玄。僧開基。

若林山淨澤寺。　在染師町。淨土眞宗。東漸寺末寺。號玄清。僧開山。不詳其年月。

法水山冷源寺。　在少林成田町。淨土眞宗。京都東本願寺末寺。傳云阿部左京（諱不傳。）者。爲僧。號圓意。後水尾帝。寬永八年開山。

橘昌山稱念寺。　在城北。淨土眞宗。京都西本願寺末寺。傳云順德帝。建保二年。法祖親鸞上人第十一法嗣無爲子開山。無爲子者。本州會津之產。橘姓。杉岡氏。始見親鸞上人於常州。而爲僧。其後建寺于會津而居焉。後陽成帝。天正季。貞山君移于玉造郡岩出山。時從之。同帝。慶長中。亦從君到仙臺。賜地建寺。塔頭一區如左。　超光寺。　後奈良帝。天文八年。號道珍。僧開山。道珍者。能州之產。爲稱念寺八世無爲明法嗣。開基。

稱揚山稱學寺。　同上。淨土眞宗。京都西本願寺末寺。傳云舊在米澤。正親町帝。天正八年。號圓知。僧開山。其後從貞山君。移住于處々。後陽成帝。慶長中。到仙臺。同居于稱念寺。義山君賜地建寺。

宿緣山恩慶寺。　同上。淨土眞宗。京都西本願寺末寺。後陽成帝。慶長十二年。號教順。僧開山。爾來處々移住。後西帝。寬文元年。移于今地。

遠慶山宿緣寺。　同上。淨土眞宗。東漸寺末寺。正親町帝。天正中開山。僧名不傳。後西帝。万治三年。賜行義山君葬禮式之地。教西法師中興建寺。

清涼山林宅寺。在北六番町。淨土眞宗。京都東本願寺末寺。後奈良帝。天文中。號妙圓。僧開基。而初剏地也。靈元帝。天和二年。六世圓智受本山之許命。號清涼山林宅寺。

法王山正覺院阿彌陀寺。在八塚。時宗。相州藤澤清淨光寺末寺。傳云後宇多帝。建治三年。遊行元祖一遍上人。到奥州。時當家第四世願西君。歸依上人。建寺。以上人爲開山祖。十七世貞山君。移住于玉造郡岩出山及仙臺。時屈從。寄附二十四石餘之地。本尊阿彌陀。趺下雕承久三年二月日僧宗實十字。安阿彌所造。而十四世直山君第六男四郎。爲公族桑折播磨守貞長嗣。而夭。君祈其冥福。納此像云。寺内有觀音堂。詳于佛宇條下。

廣澤山無量院眞福寺。在土樋。時宗。相州藤澤清淨光寺末寺。傳云後醍醐帝。嘉暦元年。清淨光寺五世安國上人。建寺於登米郡爲西家城下。號廣澤山無量院眞福寺。以安國上人爲開祖。爲

西家亡滅之後。寺亦荒廢。廿八世覺惠到玉造郡岩出山。愬訴之。是以貞山君賜地建寺。君遷于仙臺城時。賜今地以建寺。寄附百二十石之地。

慈雲山新泉坊良覺院。修驗。京都聖護院門主末寺。當家累世祈願處。而每歳登和州吉野山而修法。賜二百石之地。號其所居。曰良覺巷。傍院六區如左。　寶道院。　賜十石之地。　正輪院。　同上。　善行院。　同上。　圓教院。　同上。　福壽院。　同上。　月藏院。　同上。

市廛凡二十五。

大町。　宅地凡百四十九（各長二十五間。横六間。下皆同。）　市人凡二千四百四十一口。（男千五百八十五口。女八百五十六口。）　肴町。　宅地凡八十二。市人凡千二百八十五口。（男七百十一口。女五百七十四口。）　南町。（附車地殺街。）　宅地凡八十一。市人凡九百三十五口。（男五百七十九口。女三百七十六口。）　立町。（附中瀬橋東中坂。）　宅地凡九十

八。市人凡千二百十九口。(男六百三十四口。女五百八十五口。)柳町。宅地凡四十六。市人凡六百八十七口。(男四百八口。女二百七十九口。)荒町。宅地凡九十二。市人凡千百三十三口。(男六百十五口。女五百十八口。)國分町。宅地凡百十三。市人凡千六百七十二口。(男九百七十五口。女六百九十七口。)馬三十九疋。驛也。(北口町。北材木町。新傳馬町。分二一月一旬四。出驛馬。)舊材木町。宅地凡四十八。市人凡六百七十五口。(男三百九十四口。女二百八十一口。)北材木町。宅地凡八十二。市人凡千七口。(男六百十六口。女三百九十一口。)馬十三疋。驛也。北目町。宅地凡六十二。市人凡七百九十三口。(男四百七十口。女三百廿三口。)馬十四疋。驛也。二日町。宅地凡六十八。市人凡九百二十六口。(男五百四十九口。女三百七十七口。)兩染師町。宅地凡八十六。(南染師町五十三。北染師町三十三。)市人凡七百四口。(男四百口。女三百四口。)田町。宅地凡四十八。市人凡四百八十三口。(男二百六十一口。女二百二十二口。)新傳馬町。(或曰二日形町。)宅地凡五十三。市人凡七百九十六口。(男四百六十二口。女三百三十四口。)馬十疋。驛也。穀町。宅地凡三十二。市人凡二百八十七口。(男百五十六口。女百三十一口。)

南材木町。宅地凡六十四。市人凡五百七十八口。(男三百十三口。女二百六十五口。)馬三疋。河原町。宅地凡四十六。市人凡七百七口。(男三百九十六口。女三百十一口。)南鍛冶町。宅地凡六十五。市人凡六百十六口。(男三百五十二口。女二百六十四口。)北鍛冶町。宅地凡五十二。市人凡四百四十口。(男二百四十五口。女百九十五口。)宮町。宅地凡百十七。市人凡七百七十九口。(男四百四十三口。女三百三十六口。)龜岡町。宅地凡三十。市人凡百六十四口。(男九十三口。女七十一口。)大崎八幡町。宅地凡九十。市人凡千三百四十一口。(男八百六口。女五百三十五口。)支倉澱橋町。宅地凡二十六。市人凡三百七十口。(男百九十六口。女百七十四口。)馬七疋。處々士宅。廢地。市店。宅地凡八十九。市人凡四百四十一口。(男二百五十四口。女百八十七口。)處々寺院門前市店。宅地凡六百六十六。市人凡二千六百十九口。(男千五百五十七口。女千六十二口。)倉廩凡三處。

其一。在城中。收近邑之租米。其二。在小泉邑少林。同上。其三。在原町。舟送遠郡之租米於蒲生濱。又舟送之于苫竹。

倉廩。而以牛車運送。收於此倉廩。　孝子孝婦。凡十二人。　其一。
南町市人。富屋孫兵衛。事父母致孝。至歿後亦猶事生。東山帝。
寶永五年春二月。仙臺府内大火。孫兵衛四隣市店比屋猛火之
中。獨免其災。人皆以爲孝感之所致。是以獅山君命有司。探問其
事。一町之衆。稱告其平日致孝之狀。同年六月七日。擧爲番士。賜
廩米百俵。稱星孫兵衛元起。　其二。　荒町市人。渡邊屋長十郎
借居。三之助家貧。而能事養父。奉養盡心。櫻町帝。延享四年二月。
賜金賞之。　其三。　澱橋町市人。及川屋久助。事大老之父致孝。
歿後猶不怠。供爲子之職。延享五年二月。賜物賞之。　其四。　穀
町市人。高田屋六之丞。父母存時。孝養盡心。且惠救町内貧窮者。
桃園帝。寛延元年五月。賜金賞之。　其五。　旗本步卒與長加藤
源十郎妻。能事舅姑。孝養盡心。寛延三年十二月。賜物賞之。　其
六。　新傳馬町市人。村上屋三右衛門借居。善之丞。能事父母致

孝。櫻町帝。寛保三年三月。賜金賞之。　其七。　坂本左大夫業隆
部下不斷與士。小野一郎太母。事舅姑。執婦道。延享五年五月。生
涯賜廩米二口。　其八。　大番士岡崎虎之丞宿守。捌三郎女。事
老父母致孝。夫歿後家貧。而奉養盡心。雖其父母識再嫁。不肯。不
顧艱難辛苦。專孝養。桃園帝。寶曆五年六月。賜金賞之。　其九。
龍寶寺門前市店。柳屋勘右衛門。事父致孝。寶曆十一年七月。賜
金賞之。　其十。　步卒三之丞。事養父母致孝。寶曆十二年六月。
賜金賞之。　其十一。　大番士菊地嘉太夫定矩宿守。利助事老
母致孝。　今上帝。明和元年三月。賜金賞之。　其十二。　北材木
町市人。十三郎。事母致孝。明和四年十二月。賜金賞之。　忠僕凡
五人。　其一。　國分町市人。杉野屋伊三郎奴僕。勘助。長八。仕舊
主人伊三郎竭力。多年不怠。助其貧窶。以致忠勤。中御門帝。享保
十一年八月。賜金賞之。伊三郎亦以善遇兩人賜物。　其二。　北

鍛冶町市人。小松屋喜左衛門屋守。新兵衛奴隷市助。能仕主人。十五年間竭力致忠勤。且仕舊主人吉田屋正左衛門父子。十九年間。忠勤不怠。父子大病。療養盡心。親切扶病。父子共死。其家終滅。忌日齋食。夜中參拜不怠。桃園帝寶暦五年十月。賜金賞之。

其三。　國分町市人。星屋久之助借屋甚之助奴隷。長作數年事主人。親切勵忠勤。今上帝。明和五年四月。賜金賞之。

其四。　柳町市人。黒田屋八郎兵衛奴隷。松兵衛自主人八郎兵衛祖父以來三世。四十餘年綿々。親切奉事。忠勤如一日。桃園帝寛延元年八月。賜金賞之。

良民一人。　宮町市醫笠原元倫。事其師吾妻元水。盡心不厭其勞。愛元水ノ子四郎右衛門貧窮。爲報師恩。爲奴僕之態。竭心助之。且勵醫術。有招者。則雖遠方徒行。渾不貪病家之謝儀。治療用心。自病家贈謝儀。則不爲私用。爲四郎右衛門生業之資。事師之志最深。櫻町帝。延享元年四月。賜金賞之。

復讐一人。　松枝久左衛門時元。舊以中樂之事爲業。父曰半兵衛時重。其伯父岩井六左衛門重勝仲子。久次郎重元。從將軍家典樂橋宗悦門人野田宗伴學醫。冒外祖姓。稱井村宗順。爲宗伴門客木谷甚兵衛春光。山崎新六郎年數遭識。宗伴怒之。令兩士殺宗順於陪田川三叉舟中。時元憤之。與宗順兄岩井利兵衛重成（六左衛門重勝之嫡子。亦以中樂之事爲業）共欲復其讐。告其事於君。赴于江府。聞宗伴在相州鎌倉。到于鎌倉而嗣之。宗伴改名稱自休。嚴備戒之。是以不能容易復讐。或爲商賈或爲旅僧。來往于江府。徒送數月。扇谷邊有精舍。號分陽山與禪寺。本州松島瑞巖寺雲居不昧禪師之開山也。住持乃禪師之法嗣。而號居山和尚。舊嘗家士武澤九郎（諱不傳）者也。故時元重成依賴居山和尚。潜身於彼寺。且暮嗣仇家之狀。一日聞宗伴到龜井坂邊號愚門院草菴。不堪忻躍。待諸歸路。夜巳參半。覗宗伴歸。與之相鬪。時元雖被創。遂捕宗伴。刺殺之。時鹽

元帝。延寶五年五月二十九日也。乃使重成告其事江府之君邸。君令步卒將今村準人重成。步監伊藤邸內重定率步卒等七十餘人。迎時元於遺仙嶽。處有其仇。附托時元於古內造酒祐重直。禁其出行。三年于茲。同八年五月。時元除中樂之事業。衆爲番士。

學館。　在勾當儒醫教授諸士衆醫。　折獄所。　在城東河畔。俗呼之曰評定所。　囹圄。　在城東偏方町。　調馬場兩處。　其一。　在河內。俗呼之曰追廻。此處有廐及御者之宅。　其二。　在躑躅岡。兩邊栽櫻花若干樹。春來之偉觀也。　射場兩處。　其一。　在舊花壇擬城州大佛堂後之長庇。造三十三間之偏庇。習學遠矢。俗呼之曰折懸堂。形背山君時。以平塚籾右衛門重次善射。徵之賜廩米七十口。教射於諸士。重次無嗣。歿時請之以所賜之廩米。永充射術教授之資用。至今常撰番士及旗本步卒各十人。習學射術。　其二。　在躑躅岡。　廐屋。　在米屋毅。　名處

一。　躑躅岡。　或作山榴岡。又作榴岡。今從風土記殘編所記。風土記殘編曰。躑躅岡在府之西。（嘉文按。府乃古府也。）出紅躑躅。官以之摺衣。號都都莅摺。覩迹聞老志曰。東鑑稱國分糠楯古壘。蓋此地也。鄉人不詳其舊址。往古岡上多躑躅。且以其花而摺衣帛。雖物之一故事也。其制不傳。今不能覩之。寶可惜焉。躑躅花亦絕而亡。舊跡一。　芭蕉辻街。土人呼大町。國分町街曰芭蕉街。傳云古昔有芭蕉。故云爾。今問之于其處無知之者。　八塚。　在城東寺院處々之地。不詳其爲何塚。土人呼之爲地名。今僅存其三。而失其五所在。　七崎。（古來傳之曰府內七崎。）　鴉崎。　在荒牧邑文珠堂下。　茂崎。　在根岸邑。古壘也。名跡志曰。後小松帝。應永中。粟野大膳（諱不傳。）者。領名取郡北方三十三鄉。居此城。今去國府仙臺。已可五里。沮廣濶河流。而蒼翠萬株。森鬱溪澗頗多。岑巒蓊鬱。仍稱之茂崎。先君建寺。號兩足山大年寺。　藤崎。　在茂庭主水希元宅地前。　鹿

島崎。在城北光明寺中。有鹿島香取神社。　駒崎。在中島町長沼五郎助宅地。有古松兩株。故或號松崎。　田邸崎。在小田原邑東照宮万壽寺近邊。　青葉崎。在城後。　六道。在城東。泉街。東六番丁界有六巷。土人呼之曰六道。　五ッ橋。在泉街。往連坊町街衢。四方中央一處架五橋。石而小橋也。土人呼之曰五橋。　川一。　廣湍川。源出自本郡大倉邑巨舟山。詳于愛子川條下。　泉凡二。　鹿子泉。在城南米屋袋。不詳其所以名也。　柳泉。在立町市店後櫓町。河田一郎安良宅地。以上兩泉。古來稱名水。　渡口凡三。　宮澤渡口。在名取郡根岸邑宮澤。以舟渡廣湍川。屬府内。　角五郎渡口。在城北。古昔號角五郎者居于此。因爲地名。以舟渡廣湍川。隆冬盛寒之時。設假橋長二十間餘。或曰之牛越。後陽成帝慶長初。築仙臺城時。以牛車運送石。渡此處。故云爾。　米屋袋渡口。在瑞鳳殿下。今上帝。寶居中之

新渡也。以舟渡廣湍川。　橋凡十一。傳云貞山君時。自追廻馬場末。架百間餘之橋于花壇。義山君時。洪水漂流之後其橋亡。　其一。　大橋。板橋長六十四間。濶二丈五尺。　其二三。　中瀨橋。板土橋長三十五間。濶二間。土橋長十五間。濶二間。　其四。　澱橋。土橋長四十五間。濶二間。今設假橋長三十七間。濶一間半。　其五。　同上。土橋長六間五尺。濶二間。　其六。　評定所下。板土橋各長三十九間半。濶二間。　其七。　瑞鳳殿下。土橋長五間半。濶一間半。　其八。　同處。土橋長六間半。濶一間半。　其九。　花壇。土橋長五間。濶一間半。　其十。　南材木町。板橋長五間。濶二間半。　其十一。　少林材木倉傍。土橋長五間。濶二間。　道凡八。　其一。　往名取郡驛道。　其二。　歷河原町。往長町驛道。　其三。　歷河原町傍廣瀨川。往名取郡道。　其四。　歷原町驛。往黑川。桃生兩郡道。　其五。　歷東照社前。往黑川。桃生兩郡道。　其六。　歷城北號堤地。往奥郡及南部道。　其

七。歷小種當上谷刈邑。往黑川郡道。其八。歷大崎八幡社前市店。往羽州最上道。街衢凡百。自東一番丁至十番町。自南達北。八番町以下今爲廢宅。自北一番町至十番町。自東達西。七番町以下方今爲廢宅。偏方町。自支倉至田町。鹽藏町。東一番町北。往時有鹽藏。故云。百騎町。東二番町。淸水小路。東六番町南。立町通。自國分町至百騎町。舊檀町。立町北後。自舊柳町至百騎町。中檀町。自木町至國分町。定禪寺通。西曰材木町。自木町達同心町。革坊町。自國分町至勾當臺。勾當臺通。北一番町二日町東後。曰勾當臺。往時號花山勾當者居于此。今有祝火櫻處之地。有其墓。故云。附。自定禪寺通至北四番町。堤町。自北一番町至北山光明寺前。杉山通。自北一番町至北方杉山。外記町通。自花京院通角至北四番町。往時齋藤外記永門居于此處。故云。同心町通。自同心町至北四番町。中杉山通。或曰二本杉通。自花京院通至杉山。光禪寺通。自花京院通至北四番町。下杉山通。自花京院通至杉山。宮町西後町。自花京院通至北五番町。木町通。自北一番町至北山覺範寺前。支倉通。自支倉至北八番町。新坂通。自新坂至北山輪王寺前。土橋通。自切通土橋至北八番町。半甲町通。傳云。義山君時。半甲剃髮步卒。居于此。故云。附。自北八番町至山神堂下。舊柳町。北自偏方町。南至大町頭。舊荒町。北自大町南至柳町通。或曰之本荒鄉名非也。良覺町。修驗良覺院居于此。故云。附。大町南後。西自大町頭後。東至南町。狐小路。偏方町北後。北自良覺町。南至柳町通。

柳町通。北自偏方町。南至孝勝寺前。故或曰孝勝寺通。南町通。自東一番町達東十一番町。北目町通。其西曰八軒町。自偏方町至八塚。染師町通。其西曰七軒町。自偏方町至國分寺。十四坊。故或曰之連坊町。又曰五橋通。六軒町。偏方町末。入山町處。土樋通。自偏方町末南後。至石名坂通。猿曳町。田町南。石名坂通。自荒町至六鄉堤。小泉倉處前通。自荒町至河原町頭。舊寺小路。自東三番町至東地藏通東七番町。掃部町。自舊寺小路至花京院通。尖刀町。北一番町南後。自外記町達宮町。中島町。城北。自切通至八幡町。十二軒町。中島町北後。坊主町。八幡町北後。剃髮爲城中座上之使令者。呼之曰坊主。袋町。兩處。其一偏方町東後柳町通首。其二大崎八幡町東北後。琵琶首町。北自大橋東岸偏方町茂庭主水希元宅前坂下。南至舊花壇。其地形廣濶。川邊三方。似琵琶首。故云爾。花京院通。自外記町至東七番町。永町。花京院通北後。乾堀町。北一番町末南後。蜂宅。北一番町通末小田原。俗云義山君時養蜂取蜜處。今爲士宅數區。八塚寺町。谷地小路。東七番町。北一番丁南後町。自木町至國分町。俗呼曰後着町。細町。南自大町北至五番町。壘町。北鍛冶町末。六番町堀際。北大工町。六番町堀北至新日形町。新日形町。北八番町九番町間。米屋袋鍛冶屋通。以有鍛冶屋。故云爾。同鷹屋通。以有漆屋云爾。同廣町。同廣町西後町。同中坂通。同鹿子泉通。小田原車地藏通。南曰東七番町。又曰谷地小路。同廣町。同金剛院町。修驗金剛院居于此。

（故云爾。）同山本町。（山本三郎兵衛居于此故云爾。）同北一番町通。同永町通。同
宮町七町東。同宮町八町東。舊茶畠。同心町。（東三番町北定禪寺通東。）
大佛通。（自法寺小路逢外記丁。）鉄砲町。（自市地蔵通逢原町介前。）三百人町。（少林。）六十人
町。（少林。）五十人町兩處。（其一少林。其二城北。）成田町。（舊茶畠近處。）柴田町。（同上。）
大河原町。（同上。）三十人町。（河内。）根子町。（同上。）二十人町。（釋迦堂近處。）
大筒町。（中島町南。）山宅（亀岡近處。）靈廟下。路次町。（越路長徳寺前。）中ノ町。大工
町。（河内。）澱河原南後町。（同上。）此餘一町或二町許。而無其名者
多。略之。河内大橋通。中下馬澤上通。中ノ瀬通。亀岡通。
澱橋通。筋違橋通。千貫橋通。舊支倉橋通。三十人町通。
千手院通。

封内風土記巻之二畢

封內風土記卷之三

田邊希文奉　君命撰

郡邑 神社。佛宇。寺院。山川等附

宮城郡。東限海。西隣羽州。界小新川山。大峠。風倉山。塞(サフ)加瀨山。奧川子山。南連名取郡。北跨黑川。志田。桃生三郡。東西百二十里餘。南北二十七里餘。其田上中。五千三百十町五反六畝餘。其畠上中。三千四百二十一町五反七畝餘。其貢下下。其邑七十七。宮城三十二邑。國分莊三十二邑。城郷十三邑。分爲三區。高其戶四千百八十四。其口三萬千百四十一。以明和元年甲申之數記之。下皆倣之。其一萬七千三百九十六男。其一萬三千七百四十五女。馬三千六百三十四。牛十。今市步(アシ)卒(カル)百二口。男女凡九百三。馬六十五。福田步卒六十八口。男女凡五百四十六。公族天童備後賴根家僕居其邑者。男女凡下皆同。二百九十七口。馬二十七。同島中雅樂安亮家僕三十口。馬四。和田左太郎爲利家僕二百

七十七口。馬十九。大町平治賴泰家僕七十四口。木村藤馬信堅家僕六十二口。馬一。山本三郎兵衛資盛家僕百三口。馬十一。森田司馬清元家僕百八十九口。馬二十一。古內鉄右衛門眞永家僕三百六十八口。馬四十七。成田丹宮友房家僕五十六口。馬二。矢野善三郎定教家僕四十五口。總計二千九百五十口。馬百九十七。邑民之外也。神社凡二百六。佛宇凡七十八。寺凡百四十七。此中。僧院十二。菴十八。十神釜四。孝子凡九人。忠僕一人。別莊凡二。苑一。野始標(ヌ)觸(ツ)塲(ハ)凡十一。倉廩凡五處。山凡六。嶽凡二。川凡十四。橋凡八十。島凡八十三。浦凡十五。崎凡二十一。淵凡三。古壘凡四十三。道凡三十三。池凡三。泉凡四。沼凡十四。堰凡十四。堤凡十二。堀凡二。瀑布凡四。湊一。穴一。石凡六。坂凡三。名所凡十四。古碑凡二。古塚凡三。舊跡凡十八。森凡二。斥鹵(シホヤキバ)一。鮎簗塲一。

松凡二。
國分ノ莊。以下皆同。作並邑。　戸口凡二十六。有二市居一而驛也。山上有二奥
羽之界一。封人守レ之。　神社凡四。　稲荷神社。　不レ詳二何時勧請一。
葉山權現社。　同レ上。　日月社。　同レ上。　山神社。　同レ上。　佛宇
一。　岩谷堂藥師。不レ詳二何時創建一。　寺一。　檜倉山興源寺。曹洞
宗。仙臺府下八塚龍川院末寺。傳云正親町帝。天正三年。武山和
尚開山。　道凡二。　其一。　往二羽州最上一道。　其二。　往二名取郡一
道。　山一。　鎌倉山。古來之名也。不レ詳二其所二以然一也。　橋凡八。各
土橋。　其一。長十五間。濶一間半。驛頭。　其二。長十三間。濶一間
半。小坂。　其三。長十二間。濶一間半。長原。　其四。五。共長十一間。
濶一間半。湯渡戸。日向坂。　其六。長十間。濶一間半。湯川。　其七。長八間。
濶一間半。鍋毀。ナベコボシ　其八。長六間。濶一間半。大瀬澤。　瀑布一。　棒目ホウメ
木*瀑布。高七丈。濶五間。源出レ自二本邑及名取郡新川村一。而仙臺川

之源也。
熊ガ根邑。　戸口凡二十九。有二市居一而驛也。　神社凡三。　鹽流山
明神社。不レ詳二何時勧請一。傳云此神鹽釜明神之姉君也。故祭日。毎
歳七月十日。而與二鹽釜之祭一同レ日。且本邑民伊之助者。毎歳獻二鹽
釜祭日流鏑馬之的板一。　關所明神社。　在二號レ關地一。不レ詳二何時祭一
何神一。　熊野神社。　不レ詳二何時勧請一。傳云往古市居。諸邑人群集
爲レ市。故稱二之市神一。今無二其市一。　寺凡二。　秀岩山興禪寺。曹洞宗。
仙臺府下松音寺末寺。傳云後水尾帝。元和二年六月。松音寺八
世喜州全應和尚開山。　中澤山光西寺。曹洞宗。松音寺末寺。傳
云元和二年喜州全應和尚開山。　古壘一。傳云古昔國分家族
臣。號二六町ノ目一名諱不レ傳。者所レ居。與禪寺中有二六町ノ目氏之古五輪塔一。
道一。　往二羽州最上一道。　籠石。　本邑南後。名取郡長袋邑野川
有二祠窟一。土人呼レ之。曰二籠石一。

上下愛子邑。戸口凡九十九。有市店而驛也。有森田司馬潸元
示地。神社凡九。諏訪神社。不詳何時勸請。傳云住吉神。黒
鳩神。禰渡神一社。而祭四神。每歲正月十五日。養筒粥於神前。卜
其歲之豐凶。截竹四五寸許若干。各雕風雨旱霖五穀之名。入粥
中而煮之。以管中所入米粒多少而知之。曰之筒粥。有古來造營
梁上古牒十枚。其一。後花園帝。康正三年。國分下野守宗治造
營。其二。正親町帝。永祿三年。國分能登守諱不傳造營。其三。同
帝。元龜二年。國分能登守同丹後守。共諱不傳。其四。後陽成帝。慶長
三年。山岸修理助諱不傳造營。其五。後水尾帝。元和九年。貞山君
造營。其六。明正帝。寛永十二年。貞山君造營。其七。八。九。十。共
文字不分明。靈元帝。貞享二年。肯山君令造鳥居。其鳥居朽敗今
亡。別當相傳。寛永十一年十二月晦日。翌年正月元日。兩處相續。
別當宮之坊。夢中得和歌曰。世遠長久保津心者歐宗乃世界靜

仁住吉之松。告貞山君。乃命夢想拔。賜金。會于茂庭石見綱元入
道了雀宅。有其式。且命揭夢想大明神額。稱諏訪夢想大明神。新
造營宮社。拜殿。坂階。及別當祈禱處。居宅。系文按。康正三年改元
長祿。稻荷神社。田神社。共諏訪末社也。不詳何時勸請。
愛宕神社。不詳何時勸請。熊野神社二。共同上。其一。鄕
六樋左衛門歐友勸請。第六天神社。同上。神明社。同上。鄕六
歐友勸請。雲南神社。在下愛子邑。同上。青木明神社。同上。不
詳何時祭何神。佛宇凡五。毘沙門堂。在下愛子邑。傳云本尊
運慶作。正親町帝。元龜二年創建。子愛觀音堂。同上。不詳何時
創建。傳云本尊定澄作。前佛正觀音。不詳何人所作。記曰。文治三
年九月吉祥日後光之後。記子愛觀音。系文按。文治之號。後鳥羽
帝御宇也。彌勒堂。同上。傳云本尊運慶作。堂宇飛驒工匠造之。
堂邊有古木之桂。周圍三丈二尺許。又有古碑。高五尺餘。横三尺。

記曰。元亨四年甲子二月二十五日時正。希文按。元亨之號。後醍
醐常御宇。而四年改二元正中一。　鬼子母神堂。同レ上。不レ詳二何時創建一。
土人稱レ之曰二盜人神一。不レ知二其所一レ以然。　若松觀音堂。同レ上。不レ詳二何
時創建一。　寺凡八。　重如山慈修院瑞應寺。眞言宗。城州智積院
末寺。往古開山僧名。及年月不レ傳。後西帝。寬文五年。宥辨法印中
興開山。　地福山觀照院。在二下愛子邑一。眞言宗。仙臺府下國分寺
學頭末寺。往古開山僧名。及年月共不レ傳。正親町帝。元龜二年。權
律師宥識法印中興開山。　萬代山藥師寺。同レ上。眞言宗。國分寺
學頭末寺。開山僧名。及年月共不レ傳。　青雲山龍角寺。曹洞宗。仙
臺府下江岩寺末寺。傳云江岩寺三世心國光傳和尙開山。不レ詳二
其年月一。　南森山同慶寺。曹洞宗。仙臺府下輪王寺末寺。傳云輪
王寺七世靈巖宗鷲和尙開山。不レ詳二其年月一。初在二鄕六邑一。號二長福
寺一。鄕六總左衛門改友創建。天正中。遷二于本邑一。中御門帝。享保初。

改レ號。　岩松山補陀寺。在二下愛子邑一。曹洞宗。輪王寺末寺。傳云後
水尾帝。元和九年二月。輪王寺十一世鶴陰和尙開山。　泰盛山
安養寺。同レ上。曹洞宗。仙臺府下松音寺末寺。傳云寬文之比。靈堂
文徹和尙開山。　正覺山彌勒寺。同レ上。仙臺府下保壽寺末寺。傳
云保壽寺三世傳宅和尙開山。不レ詳二其年月一。　古壘凡三。　其一。
土人呼レ之曰二御殿山一。不レ詳二何人所一レ居。　其二。在二下愛子邑一。號二西館一。
傳云初茂庭石見綱元入道了菴居レ之。明正帝。寬永十三年。移二于
栗原郡文字邑一。此館新二造宮。貞山君第一女。越後少將兼上總介
忠輝朝臣室也。忠輝有レ故。謫二于飛州一。是以歸二于仙臺一。忠輝朝
臣歿後。落飾號二天麟院一。移二居于此館一。稱レ之曰二西館一。　其三。同レ上。號二
南館一。國分家臣萱場丹後（諱不レ傳。）所レ居。土人呼レ之。稱二萱場館一。　古塚
一。　在二下愛子邑一。上方二間。下方九間。松四株栽二于四方隅一。不レ詳二
何時所レ築。傳云行人號二想海一者之塚也。　烏銃遣町森。同レ上。傳云

肯山君時。令發鳥銃遠町處也。　山凡三。同上。　其一。號西盤山。傳云。早時。迯龍登山。雩則雨降。若爲霖霪則引下彼龍方山中。號太郎坊瀑布。則雨晴。　其二。號中盤山。高山也。或曰上鳥屋。　其三。　號東盤山。頂上。本郡與名取郡之界。而有雲居和尚影堂。以上三山。總有九十九谷云。　道凡六。　其一。二。共往羽州最上道。　其三。四。五。六。共往名取郡道。　川一。　愛子川。源出自本郡大倉邑巨[オホ]舟[フネ]山。而歷名取郡新川邑。本郡作並邑。與名取郡長袋邑野川會。末流乃仙臺川也。　橋凡二。各土橋。　其一。長三十三間。瀏二間半。中央九間板橋。(落合若瀏)　其二。長八間。瀏一間半。(栗生)

鄉六邑。　戶口凡十七。　神社凡三。　松尾權現社。在葛岡林中。不詳何時勸請何神。土人呼此山稱權現森。　道祖神社。不詳何時勸請。　宇[ウ]那[ナ]禰[子]明神社。不詳何時勸請何神。　古壘凡二。　其一。號鄉六古館。傳云。國分家臣鄉六大膳(諱不)所居。今爲圃。　其

二。號葛岡古館。不詳何人所居。今爲邑民宅地。　鄉六別莊。肯山君。經始此地。爲遊衍之處。忠山君。繼其志。再興之。倍地造閣。　堰一。　號四[ヨツ]谷[ヤ]堰。宮城國分八邑用水。　道一。　往羽州最上道。　川一。　鄉六川。乃愛子川末流也。有堰。曰砂[イサ]子[コ]堰。或四谷堰。　橋凡二。各土橋。　其一。長五十間。瀏一間半。　其二。長六間。瀏一間。

芋澤邑。　戶口凡七十五。有號吉成地。　神社一。　宇那禰大明神社。不詳何時勸請。有社造營棟上古牒三枚。其一云。藤原朝臣長沼伊勢守政繼。福德元年丙戌年建立。其二云。藤原朝臣長沼式部少輔宗治。天文五年丙申建立。其三云。藤原朝臣長沼鄉六大膳宗家。永祿五年壬戌建立。(希文按。福德之號。歷朝無所見。誤字決矣。天文之號。後奈良帝御宇。永祿之號。正親町帝御宇也。長沼者鄉六氏之本稱乎。鄉六氏國分家臣也。)　佛宇一。　辨財天堂。在臨濟院內。東溟和尚建立。不詳其年月。　寺凡五。　木藏山

正法寺。曹洞宗。仙臺府下松音寺末寺。傳云靈元帝。天和中。喜州全應和尚開山。　藥王山長泉寺。曹洞宗。仙臺府下江岩寺末寺。傳云後水尾帝。寛永八年。旦庵光眕和尚開山。　太子山常念寺。曹洞宗。本邑長泉寺末寺。傳云寛永十八年。峯岩高雪和尚開山。念澤山德源寺。淨土眞宗。京都西本願寺末寺。不レ詳ニ何時何人開山一。　河北山臨濟院。臨濟黄蘗宗。城州宇治萬福寺末寺。傳云東山帝。元祿中。鳳山和尚開山。寄ニ附百石之地一。塔頭十一舍如レ左。
慈峯院。冷堂和尚開基。不レ詳ニ其年月一。以下皆然。　興化院。蓋天和尚開基。　福源院。惠明和尚開基。　拈華潤松院。鐵漢和尚開基。　福壽院。東溟和尚開基。　勝雲院。雷翁和尚開基。　瑞雲院。覺麟和尚開基。　三聖院。活雲和尚開基。　金剛院。東溟和尚開基。　興雲院。祥天和尚開基。　瑞麟院。覺麟和尚開基。　古壘凡二。　其一。號ニ鄉六館一。傳云至ニ正親町帝。天正中一。國分家臣鄉六左

衛門傳。不レ詳。居レ之。今爲ニ邑民宅地一。　其二。號ニ馬場館一。傳云至ニ天正中一。國分家臣馬場治部傳。不レ詳。居レ之。今爲ニ邑民宅地一。　道一。　往ニ黒川郡一道。　橋凡三。各土橋。　其一長十二間。濶二間。大竹。　其二。三共長五間。濶一間半。白坂。鹽澤。
大倉邑。　戸口凡五十。　神社凡六。　神明宮。不レ詳ニ何時勸請一。熊野神社。同レ上。　愛宕神社。同レ上。　小倉明神社。不レ詳ニ何時勸ニ請何神一。　鞁懸明神社。同レ上。　鎧明神社。同レ上。　佛宇凡三。　藥師堂。不レ詳ニ何時創建一。　地藏堂。同レ上。　阿彌陀堂。同レ上。傳云小松內府重盛卿家臣筑後守貞吉者之護持佛也。　寺凡三。　大倉山青松寺。曹洞宗。仙臺府下名取郡根岸邑宗禪寺末寺。正親町帝。天正十九年十一月。宗禪寺八世嶽翁和尚開山。　奇妙山無量寺。淨土宗。仙臺府下安樂寺末寺。傳云後水尾帝。寛永二十年。炎蓮社良緣上人開山。　極樂山西方寺。淨土宗。安樂寺末寺。傳云

觀進社。艮念上人開山。不レ詳二其年月一。　古壘凡二。　其一。號二下大倉舘一。傳云國分家臣大倉藏人(諱不レ傳)。所レ居。今爲レ畠。　其二。號二大倉古舘一。傳云國分家臣作並宮内(諱不レ傳)。所レ居。今爲レ畠。　橋凡四。各土橋。　其一。號二天狗橋一。隘(カケハシ)也。長八間半。廣一間二尺。隘之左右。鑿レ岩爲レ阪。掛レ繩縋(スガリテ)レ之往來。　其二。所レ掛二瀧泓(サホ)一之橋也。古來呼レ之。曰二簾(スダレ)橋一。隘也。長六間。濶一間。　其三。長三十二間。濶一間半。土人呼レ之。曰二舘下大橋一。　其四。長八間半。濶一間。　瀧一。　在二大倉川上一。屆曲三級之瀧也。　川一。　大倉川。末流乃仙臺川也。　村木岩。長一丈五六尺。方六七寸。或八九寸。故土人又呼レ之。曰二角岩一。　鏃石。其形如レ鏃。在下號二矢(ヤ)込(コミ)宅(ヤシキ)一地上。

福岡邑。　戸口凡六十五。　神社一。　鷲倉權現社。在二屏風嶽一。傳云推古帝御宇所二勸請一也。不レ詳レ祭二何神一。　佛宇凡二。　川崎阿彌陀堂。傳云本尊安阿彌作。不レ詳二何時創建一。　和泉藥師堂。不レ詳二何

時創建一。　寺凡四。　獻德山永安寺。臨濟宗。城州花園妙心寺末寺。傳云後西帝。明曆中。圓滿國師雲居和尚開山。　松森山東泉寺。曹洞宗。仙臺府下保壽寺末寺。傳云後光明帝。正保中。與山忠林和尚開山。　竹林山寶藏寺。曹洞宗。本郡根白石邑滿興寺末寺。傳云後柏原帝。文龜三年。能菴和尚開山。　梅林山慶得庵。曹洞宗。本郡根白石邑滿興寺末寺。傳云後水尾帝。慶長十八年。嵩南和尚開山。　嶽凡二。　泉(カ)嶽。邑内高山也。名跡志云。山岳形勢跨二府城西北一。峻極與二刈田高岳一相低昂。巖巖甲二國府一。群山圍繞。曰二之萱(カヤノ)原(ダヒラ)嶽一。又曰二泉岳一。相傳往昔頼朝卿東征時。過二山下河邊一。有二白石一。倚レ此休焉。以賞二戰功一。土人呼二其地一。稱二判在家一。所三以與二感状印璽于此一也。自レ是後人呼二根白石一。往時之巨石今已亡。　屏風嶽。名跡志曰。山勢如二屏風一。壁立万仭。傍有二權現祠及別當一。曰二鷲倉山松林寺一。相傳推古帝。養老二年。經二營之一云。(希文)按。權現別當修驗。而號二

松岩寺。名跡志曰松林寺者。蓋疑誤也。 堰一。 本邑及根白石。田中。小角四邑用水。 道一。 往黑川郡道。 橋凡二。各土橋。其一。長十二間。濶一間半。 其二。長五間。濶一間。

朴澤村。 戶口凡五十。 神社一。 八幡宮。傳云推古帝御宇。一王子所勸請也。 寺一。 朴澤山興禪院。曹洞宗。本郡根白石邑滿興寺末寺。傳云後土御門帝。大永七年正月。莫傳和尙開山。古壘凡二。 其一。號古城。傳云國分家臣朴澤藏人(諱不傳。)居之。大番士朴澤九左衛門行廉先祖也。 其二。號新城。傳云朴澤藏人。自古城移居于此城。 瀑布凡二。 雄瀑布。高二丈五尺。濶二間許。 雌瀑布。高一丈五尺。濶三間許。

根白石邑。 戶口凡七十七。 神社凡八。 八幡宮。在古壘。傳云靈元帝。寬文中。古內造酒助重直所勸請也。 愛宕神社。傳云寬文中。古內造酒助勸請。 神明宮三。 其一。稱林崎神明宮。 其二。稱年川神明宮。 其三。稱花輪神明宮。其不詳何時勸請。 熊野神社二。 其不詳何時勸請。 第六天神社。同上。 寺凡五。大桂山滿興寺。曹洞宗。羽州莊內總光寺末寺。傳云後小松帝。嘉慶二年。梅雪和尙開山。寄附十二石餘之地。 年川山發興菴。曹洞宗。本邑滿興寺末寺。傳云後花園帝。寶德四年。禪廣和尙開山。希文按。寶德四年改元享德。 能化山大藏菴。曹洞寺。本邑滿興寺末寺。傳云正親町帝。永祿八年。桃存和尙開山。 補陀山松覺院。曹洞宗。本邑滿興寺末寺。傳云永祿八年。桃存和尙開山。 琥珀山寶積寺。曹洞宗。登米郡寺池邑養雲寺末寺。傳云後陽成帝。文祿三年。能山和尙開山。寄附八石九斗餘之地。 古壘凡二。其一。號白石城。傳云白石參河(諱不傳。)所居也。今爲八幡社地。及寶積寺地。名跡志曰。天正十九年。栽松院殿(當家十五世晴宗君夫人。岩城左京太夫平重隆朝臣女。)自信夫郡杉目移住于此。文祿三年甲午六月九日卒。遺言介居館

爲寺。號琥珀山寶積寺。以信夫郡杉目琥珀山寶積寺前住能山和尚爲開山。葬遺骸于此。墳墓今猶在焉。土人曰之淸水澤。其二。號福澤館。傳云古內主膳亞廣所居也。堰一。國分七邑用水。堤凡二。本邑及小角。寶澤三邑用水。道凡二。其往黑川郡道。川一。白石川。源出自本郡福澤。朴澤之山。塞末流乃今市川也。橋凡二。各土橋。其一長十八間。濶二間。其二長十五間。濶二間。

田中邑。戸口凡三十二。有號荏場地。神社凡十三。住吉神社。不詳何時勸請。八幡宮。同上。社內建石。不詳其所以然也。傳云自雲州鎭座。神明宮。不詳何時勸請。愛宕神社。同上。稻荷社三。共同上。山神社。同上。荒神社。同上。寶最權現社。同上。明神社三。其在住吉社北。不詳何時祭何神。佛宇一。觀音堂。在邑民次助者之宅地。傳云往古火化黑川三郞重康之遺

體地。建堂安置觀音。次助乃其家裔之末孫也。寺凡二。頭陀山見松寺。曹洞寺。本郡根白石邑滿興寺末寺。傳云後奈良帝。天文七年。桃存和尚開山。地藏山長全寺。曹洞宗。本郡小角邑大滿寺末寺。傳云正親町帝。永祿二年。大滿寺二世湯山和尚開山。古壘一。號杭城。傳云古昔山內須藤刑部少輔(諱不傳)居于本郡寶澤邑山已城。結城七郞(諱不傳)攻之。城遂陷。是以刑部少輔急建杭爲柵。而據于此地。故呼之曰杭城。今其地爲公林。堰凡二。其一。本邑及小角。寶澤三邑用水。其二。本邑及小角二邑用水。森一。小森也。在住吉社北。傳云此森地震不動搖。橋一。土橋。長五間半。濶一間。

小角邑。戸口凡二十六。神社凡八。貴船神社。不詳何時勸請。伊豆權現社。同上。白山權現社。同上。稻荷神社。同上。春日神社。同上。若宮八幡宮。同上。明神社。不詳何時祭何神。

　假石明神社。在二古内鐵右衛門員永別莊一。傳云古來稱二之石神一。
有下號二父母石一二塊上。子石追レ年生。今所レ有父母石其百二十八塊。
佛宇凡二。　觀音堂二。其不レ詳二何時創建一。　其一稱二白藤觀音一。
寺凡二。　虛空藏山大滿寺。曹洞宗。本郡七北田邑洞雲寺末寺。
傳云後花園帝。寬正元年。寶底禪秀和尚開山。寺附二十四石餘
之地。　千光山觀音寺。眞言宗。京都醍醐報恩院末寺。傳云後水
尾帝。元和中。隆尊法印開山。　堰一。　國分七邑用水。　古壘一。
傳云古内近江諱不レ傳所レ居。　橋一。　土橋。長十二間。濶二間。
寶澤邑。　戶口凡五十五。　神社凡十一。　新山權現社。不レ詳二何
時勸請一。　根渡權現社。同レ上。　熊野權現社。同レ上。　葉山權現社
同レ上。　牛頭天王社。同レ上。　春日神社。同レ上。　諏訪神社。同レ上。
山神社。同レ上。　幸神社。同レ上。　荒神社。同レ上。　明神社。不レ詳二何時
祭二何神一。　佛宇凡四。　地藏堂。不レ詳二何時創建一。　阿彌陀堂。同レ上。

　太子堂。同レ上。　十王堂。同レ上。　寺凡三。　補陀山林泉寺。曹洞
宗。本郡七北田邑洞雲寺末寺。傳云後土御門帝。文明中。祥印和
尚開山。　地藏山常必院。曹洞宗。本邑林泉寺末寺。傳云後水尾
帝。寬永中。寶悦和尚開山。　延命山泉秀院。曹洞宗。本邑林泉寺
末寺。傳云後陽成帝。慶長中。秀直和尚開山。　古壘凡二。　其一。
號二山村古館一。　其二。號二山村西館一。共不レ詳二何人所一レ居。希文按。田中
邑古壘條下云。須藤刑部少輔居レ之。與二本邑所一レ言不レ合。未レ審。　堰
一。　國分七邑用水。　川一。　根白石川。　橋凡二。各土橋。　其
長十二間。濶二間。
野邑。　戶口凡三十。　神社凡二。　牛頭天王社。不レ詳二何時勸請一。
　神明宮。同レ上。　堰一。　本邑及根白石。小角。寶澤。上谷刈。七北
田。市名坂。七邑用水。　道一。　往二黑川郡一道。　川一。　根白石川。
上谷刈邑。　戶口凡二十五。　神社凡四。　貴船神社。不レ詳二何時

勸請一。山神社。同レ上。熊野神社。同レ上。柳澤大明神社。不レ詳二
何時祭二何神一。佛宇一。阿彌陀堂。不レ詳二何時創建一。寺凡三。
小塩山柳澤寺。曹洞宗。仙臺城北輪王寺末寺。傳云良觀和尙開
山。不レ詳二其年月一。羽黑山高福院。眞言宗。仙臺城東國分寺學頭
末寺。開山僧名。年月共不レ傳。傳流山法昌寺。曹洞宗。仙臺城北
輪王寺末寺。傳云松巖和尙開山。不レ詳二其年月一。古壘一。號二長
命館一。傳云錦戸太郎國秀砦也。古塚凡二。傳云往古往二七北
田驛一道在二此處一。其里程之塚也。堰凡二。號二丸田澤堤一。國分十
八邑用水。道一。往二黑川郡一道。川一。根白石川。橋一。
土橋。長六間。濶二間。丸田澤。
古内邑。戸口凡六。古内内藏助眞常。古來之采地也。神社凡
三。加茂神社。傳云東山帝元祿九年。肯山君。造二營此社一。舊在二鹽
釜社地一。鹽釜造營時。移二于本邑一。土人稱レ之。曰二糺神社一。寄二附社領二

十石。禰宜領二十四石之地一。雲水明神社。不レ詳二何時勸二請何神一。
稻荷明神社。在二古内内藏助眞常別莊一。傳云先祖主殿重吉世
明正帝寛永十六年秋。行器一個自レ天降。中滿二赤飯一。蒸氣未レ絶。奇二
異之一。乃築レ壇封レ之。土人呼レ之。曰二行器壇一。壇上建レ社。勸二請稻荷明神一。
寺一。成德山慈眼寺。臨濟宗。京都妙心寺末寺。傳云後光明
帝。承應中。古内伊賀義重。經二始之一。大機圓應禪師洞水和尙開山。
寄二附二十石之地一。初號二護國寺一。東山帝。元祿十六年五月改レ號。
孝子二人。本邑及上谷刈邑々長久兵衛及妹與稱。其家歴世事二
父母一致レ孝。且久兵衛兄弟共盡二心力一。最供レ爲レ子之職。一鄕稱レ之。中
御門帝。享保十二年。賜レ金賞レ之。川一。根白石川。橋一。土
橋。長六間。濶二間。
荒卷邑。戸口凡十三。神社凡二。神明宮二。其一。在二城北一。
屬二府内一。傳云後水尾帝。元和七年。貞山君勸請造營。別當致山神

宮寺妙海法印開山。寺號。山號共。貞山君命之。中御門帝。正德六年。獅山君寄附社領二十石之地。　其二。在小谷萱地。不詳何時勸請。　佛宇一。　文殊堂。傳云本尊。嶺八兵衛（諱不傳）。護持佛。而後水尾帝。寬永三年三月。八兵衛所創建也。中御門帝。享保元年七月。獅山君造營堂宇。寄附修補料二十石之地。　堰一。　宮城國分用水。　道凡三。　其一。往諸郡道。　其二。往羽州最上道。　其三。往黑川郡道。　崎凡二。　其一。在文殊堂下。號鴉崎。所謂仙臺七崎之一也。　其二。田歌崎。在東照宮與万壽寺之間。是亦七崎之一也。　橋凡四。各土橋。　其一。長六間。濶三間。　其二。長五間半。濶二間半。　其三。四。共長五間。濶二間。或一間半。　年魚簗，場。　在號鵜長嶺地。嶺家采地別莊內也。

北根邑。　無邑民。仙臺府下者稽稼之。

七北田邑。　戶口凡八十五。有市店而驛也。有號大澤端邑。　神

社凡七。　熊野神社二。共不詳何時勸請。其一在大澤。　愛宕神社。同上。　雷神社。同上。　牛頭天王社。在大澤。同上。　仁和多利權現社。同上。　春日神社。在大澤。傳云後白河帝。保元中。邑民又兵衛者，先祖所勸請也。　佛宇凡五。　藥師堂。不詳何時創建。　阿彌陀堂二。其同上。其一在大澤。　念佛堂二。在斬刑場左右路傍。（北堂屬七北田邑。南堂屬上谷刈邑。）櫻町帝。延享元年。獅山君夫人長松院殿。爲刑人造之。　寺凡二。　歸命山淨滿寺。淨土眞宗。京都東本願寺末寺。傳云後陽成帝。慶長十一年。長營和尚開山。　龍門山洞雲寺。曹洞宗。加州金澤大乘寺末寺。傳云此地上古有夫婦之異人。男號大菅谷。婦號佐賀野。共紅顏美麗而不老。不知其經幾年。常語五六百年以前之事。其容貌如少年。文武帝。慶雲中。號定惠。僧。來止宿大菅谷家。熟視其所居境內。山高而谿深。泉甘而水潔。土地饒肥。草木繁茂。九十九峯圍地。九十九谿落南而爲川。其形恰如蓮葉。

知其靈地。欲請此地而建寺。一日語以其事。菅谷夫婦不可曰。吾
住此山久矣。不知飢寒之憂。今應其請。則恐至失其所。定惠以爲
其所答亦宜也。然如此靈場。徒爲恐夫婦之住處。亦非本懷焉。
再請曰。然則以予所携錫杖圍其地。借其所及之地。則結菴居之。
夫婦許諾曰。錫杖所及之地些少也。當如其請。定惠許之。與夫婦
相揖。以錫杖圍其地。奇哉其所居之境內。悉爲錫杖所及之地。夫
婦無辭平變其約。與其所居之地。去此地西二十里餘。乃去往本
郡根白石邑。居于山間之巖窟。後人呼其地。曰堂所。于今有偶見
異人矣。定惠乃建立堂塔。號遮那山圓通寺。安置觀音像。時人因
夫婦之名。稱地曰大菅谷保。呼寺曰佐賀野寺。坂上刈田麻呂東
征時。宿陣本郡利府鄉。愛號阿久玉女。有孕。刈田麻呂歸京之後。
生男兒。號千熊麻呂。稗說曰。光仁帝。寶龜中。學於佐賀野寺者。乃
此寺也。千熊常祈歸京於此寺之觀音。上京之後。官歷將軍。討諸

國之賊。耀武威於天下。稱坂上田村麻呂者是也。其祈願成就造
堂。以安置觀音像於諸國。（田村麻呂遺跡數處。在本郡利府鄉。）嵯峨帝。弘仁之比。慈覺
大師來中興此寺。自此而後稱山寺。慈覺所開凡稱山寺。南部圓
通寺。名取郡秋保釋迦堂。此寺。羽州最上立石寺。皆呼之曰山寺。
淳和帝。天長中。寺邊有富民。其名曰齒新太。土人稱之長者。其妻
曰普美子。容色踰人。寺有美童。曰竹阿。一日相見悅之。互通書寄
其情欵。遂不果。普美子恨之。投身瀧原淵。（在寺北。）忽化爲大蛇。瞋恚
之怨念爲火焰。長者諸宅悉爲灰燼。竹阿亦投身於寺中之池。化
爲毒蛇。（此池今曰見池。）當此時。迅風甚雨。山中震動。三日三夜。寺門之傍。
山崩路塞。遂爲大湖。彼雌雄大蛇。潜藏水中。食往來之人。是以人
跡絕而爲磁地。自天長中至光明帝曆應元年。殆五百年。曆應元
年正月。加州金澤椙樹林大乘寺三世明峯素哲禪師到東國。二
月三日。宿本州名取郡岩沼驛。翌四日初午。而竹駒明神祭日也。

国人各詣此社守夜祈之。禪師亦共詣社守夜。稠人中白髮老人。近在禪師之坐傍。夜既參半。老人問禪師曰。奚自。僕近邑之賤民。每歲初午。詣拜此社。今夜幸見禪師。願垂教示。禪師曰。殊勝哉此翁。摘裁華嚴經要文。終夜開示其經之功德廣大。老人不堪歡喜之涙。請曰。願留禪師於近邑。教化東鄙無智之愚民等。此邑北四十里餘有勝地。幸其處邑人。今夜來居此社。明旦使彼者見禪師。適心則建寺於彼勝地而居留焉。禪師曰。予固行脚之僧。留止於彼地而說法所予欲也。答話之際。漸及昧爽。社僧來修祈禱於神前。詣拜之男女群集。忽失夫老人所在。問人無知之者。禪師無所尋之。欲赴奥郡。名取川雪水漲來。不能渡之。躊躇河邊。時有一夫來曰。禪師不知此川之淺深。則不能濟。我扶之。乃負禪師濟之。禪師悅問曰。卿何處人。彼夫答曰。自是以西宮城郡國分莊市名坂邑佐藤藤左衛門者（今其子孫在七北田驛）也。昨夜詣竹駒明神社。今日歸邑。

禪師以爲昨夜老人所謂使我見之者。必此人乎。同行共話世事。日既傾。藤左衛門請禪師于其家。夫妻盡心饗之。禪師以爲昨夜老人所言者。無所疑此人也。老人亦固非人。是乃竹駒明神之示現也。掛錫於藤左衛門家而逗留焉。一日藤左衛門曰。自是以北有大蛇所蟄之大湖。語以竹阿昔美子之實事。禪師曰。吾欲見其湖。子其嚮導。藤左衛門曰。自古往其湖邊者。無生而歸者。不能嚮導。禪師曰。然則指示其方。是以藤左衛門伴禪師。向西往可三町。指良方澤中之松曰。彼松下乃大蛇所潛之湖也。禪師唯諾共歸。謂藤左衛門曰。我欲乾彼湖而建寺。數百年來。大蛇所蟄。則不能容易乾之。有其閒結庵可居之地乎。藤左衛門曰。邑南有清泉。及文殊堂。此地乃可。禪師往相其地。前有清泉。上有梅松古樹。前田。後高林。左川。右道。而四神相應之地也。乃結庵。號妙首山寶相寺。安禪于此。禪師一日欲見湖水。自藤左衛門宅地後山。獨行到湖

邊。時昔日所遭於竹駒明神社之老人。忽然來曰。禪師相此湖。則
我先導之。乃進先選湖邊。山高巖峙。大樹覆天。枯木倒地湖水湛
然如藍。無風而波。禪師掛手於湖邊之松。臨而窺之。（稱此松曰手掛松。又以藤左衞
門指此松示湖所在於禪師曰標松。又以此松三葉五葉相交。稱三五松。）雌雄兩蛇。怖禪師之法威。潛藏不出。
禪師乃一七日。坐禪于松下。滿七日早旦。臨湖一喝。投拄杖於水
中。疾風忽起。大波奔騰。山中大震動。雌雄大蛇頭出。曳尾逃去。彼
老人來曰。我是白狐。而住于此山。千有餘年。然爲兩蛇所妨。願歷
艱苦。幸見禪師。解脫畜生界。乾此湖。而建寺。別當爲守護神。乃化
白狐去。邑民等首藤左衞門。會集相語。不見禪師已七日。到湖邊。
則必爲毒蛇之食。其語未畢。禪師追蛇出山而歸。衆皆相悅。迎之
問其狀。禪師答以其事實。各爲奇異之懷。崇仰禪師。歸依其法者
多矣。其後禪師見領主國分刑部大輔盛胤。請曰。愚僧加州金澤
大乘寺住僧明峯也。今春偶到本州。留止于本郡市名坂邑寶相

寺。頃日以法力追大菅谷保大湖之毒蛇。冀賜彼大湖之地。則乾
水建寺。盛胤大悅許諾之。乃曆應元年十月。令邑民疏通其所塞。
三日之間。湖水盡涸。古昔之寺址顯然。禪師乃建寺。號山龍門。稱
寺洞雲寺。老人又來。三拜禪師曰。我幸見禪師。解脫畜生界。其渥
恩不堪報謝。數百年前。號定惠僧。始開此山。號遙藥山。安置觀音
像。曰寺圓通。其後兩蛇出。而爲湖水。故藏彼觀音像於岩窟。既經
五百餘年。今幸禪師再興之。是以授其像。禪師乃造堂於岩窟以
安置之。傍造白狐祠祭之。禪師其功已成。歸加州。其後無住僧。人
跡絕。復爲廢寺。梅國祥三和尚。無雙道人。而得天下之名望。後小
松帝。應永七年。東行到本州。聞此寺無住僧而荒廢。尋來視之。草
木繁茂。荊棘塞路。堂塔朽頽。狐狼交跡。聊無可居之處。傍有巖窟。
乃入坐禪累日。其齡可二十歲男女各有容色。來拜和尚。供菓花。
朝來暮歸。夕來晨歸。雖歷數日終不言。一日兩人不歸。頻催悲淚。

和尙見之問曰。汝等何人。男女答曰。男此寺初號圓通寺時之兒童。而女號新太者之妻也。互相思通書寄懷。遂不果。其情欲不能已。共投身于水中。瞋恚之思念。化爲大蛇。以寺所在爲湖。而盤之旣五百年。爲明巖禪師所放逐。不能居之。欲禪師久在此地。則見之蒙敎化。然禪師無幾歸國。徒送歲月。今幸見和尙。冀賜垂示。梅國曰。可憐可憐。我與慈航。乃示身假合心無性蛇生有何處之一句。授佛祖正傳菩薩戒之血脉。號雄蛇天心道高禪男。雌蛇海眼妙淸禪女。聞示華嚴經要文。兩蛇再拜和尙曰。自今身心得安樂。乃去。他日又來曰。以和尙之垂示。永得解脫蛇生之苦。不遑謝恩。獻雌雄肉牙各一枚。再拜和尙。乃升天去。梅國出山歸里。語以其狀。衆皆尊崇。遠方他邦聞之者。各來如市。悉歸依其法。和尙法子安樂寶底兩僧。各到本州陪侍焉。一日和尙見領主國分修理亮盛行。獻雌蛇牙一枚。請中興之事。盛行許之。大興土木。造營七

堂及二十四院。寄附百餘町之地。龍月。泉龍兩院。在本莊之左右。而安樂。寶底兩和尙居之。梅國德光日新月隆。四方僧俗如雲和集。安樂。寶底兩流。分爲三十餘寺。三十餘寺之末流。不遑枚擧。爲末流諸寺院轉衣出世之大道場也。後花園帝。文安四年丁卯四月二十一日。梅國告衆曰。我化緣將盡。古人爲法忘身。莫以身當法。乃書一喝曰。七十五年辨西來。如今不要白頭翁。無來無去衆無住。放下從來自性空。行年七十五歲。法臘六十一年而示寂。其後堂塔復漸荒廢。二十四院僅存龍月。泉龍。江北。江西。景雲。當陽六院。中御門帝。享保中。輪王寺前住鑁濟和尙。請爲退隱之地。造營堂宇。輪奐復新。寄附百十九石餘之地。寺內神社熊野權現。飯盛五社明神。秋葉權現。荒神。山神凡五社。其不詳何時勸請。有稱龍門十五境。寺僧傳曰十四境。今算之十五境也。一日。不露巖。本寺之主山。當于大方丈之後。青松蓊鬱。白雲曳帶。奇秀峻拔。爲九十九巖之最。二日。三

五松。在不露峯之東南。明峯和尚。初入此山時所標也。三葉五葉。枝枝相交。或云珊瑚松。枝枝如珊瑚珠枝之奇。今用其三五葉之實也。三曰。天狗樅。在三五松之西南。一株之大樅。天狗所居也。俗云天狗相撲場。四曰。不動瀑布。在不露峯之西。天狗樅之下。源深流長。引筧便用。梅國和尚。初入此山時。一老人來指要路。忽爾不見。只見一窟之不動明王而已。仍時人稱不動瀑布。五曰飛猿嶺。在大方丈之乾隅。傳言有老猿托枯木。若有吉事。則出告之。蓋今云飛猿嶺者。擬玄沙禪師蕭洒之所居而慕其德也。六曰。坐禪窟。在大方丈之南西。梅國和尚在此窟中。只管打坐時有兩蛇。化童男女。日夜來參。授戒安名。竟轉蛇身。七曰。二嫩桂。在山門之左。鎮守之前。一根二株。悠久昌昌。春初生葉。秋初落葉。葉粗黃時。其香如栴檀。古云。爽嶺桂分千古韻。信不誣也。此大桂樹。梅國和尚親手植云。八曰。金龍池。在坐禪窟之南。兩蛇曾化男女。親參梅國和

尚。問法受戒。女蛇忽現蛇身。獻肉牙二枚。報恩謝德。直投池中而脫去。至今池水不增不減。其牙齒猶在。横四寸五分。竪四寸八分。法名海眼妙清禪女。九曰。龍門巖。在金龍池之西。男蛇得戒之後。踏斷巖角。攪雲引雨而升天去。法名天心道高禪男。十曰。鷄頭坂。在龍門巖之左。兩蛇每夜盤旋于茲。聞鷄鳴共去。十一曰。觀音洞。在龍門巖之北。昔有白狐。含寸餘觀音像來。故時人曰白狐觀音。白狐今尚鎮山門。十二曰。龍牙谿。其水自不露峯之深壑來。自古至今。間或蛇牙從流而出。十三曰。山寺茶。在總門北之外園。古來傳云。山之寺茶者。與陽之第一珍味也。猶謂今之宇治茶。十四曰。三蘇木。在總門之外。曾將三枯而復三蘇。此大杉樹。梅國和尚親手植云。周圍一丈五尺。十五曰。龍伏橋。在三蘇木之西。此橋元架一株之大樹。其形如龍伏谿。此餘有號華嚴松。普賢松。文珠松。善財松。象鼻巖。北斗杉。彌勒杉。天狗杉。老姥杉。　堰一。　七邑用水。

道凡三。共往黒川郡道。川一。根白石川。橋凡二。各土
橋。其一。長三十八間。濶二間半。其二。長五間。濶二間。
市名坂邑。戸口凡六十一。神社凡二。仁和多利權現社。不
詳何時勸請。御鹽神社。傳云後水尾帝。元和五年。邑民備前者
勸請。或稱石留明神。不詳何神。佛宇一。文珠堂。在寶相寺中。
不詳何時創建。寺二。拈華山寶相寺。曹洞宗。本郡七北田邑
洞雲寺塔頭泉龍院末寺。傳云寺内有文珠堂。本尊慈覺大師所
造。而光明帝。曆應中。明峯和尚結菴。暫居于此。號妙首山寶相寺。
不知何時改號拈華山。後柏原帝。永正十七年。南庭和尚中興。
無量山善正寺。淨土眞宗。京都西本願寺末寺。傳云後水尾帝。寬
永三年。采光上人開山。倉廩。儲蓄雜穀。泉一。號萩清水。
道一。往黒川郡道。川一。根白石川。橋凡三。各土橋。
其一。長十一間。濶二間。其二。長六間。濶二間。其三。長五間。濶

一間半。
松森邑。戸口凡三十八。號安彥川原地產菜蔬。名產也。矢野善
三郎定教采邑。神社凡二。熊野神社。在清水寺中。不詳何時
勸請。鹿島神社。不詳何時勸請。佛宇凡二。阿彌陀堂。不詳
何時創建。藥師堂。同上。寺一。松森山清水寺。曹洞宗。仙臺
府下保壽寺末寺。傳云往古天台宗也。後光明帝。承應中。保壽寺
七世林中和尚中興開山。改宗曹洞。有後陽成帝。文祿三年二月
十七日。貞山君賜寄附之地書。而今無寄附之地。不詳何時以何
故公收耶否。古壘一。傳云國分彥九郎盛重所居。標幟塲凡五。
正月三日。野獵始。有野鷄追鳥。延標幟。列卒視之追野鷄。方言呼之曰鳥。陳森。毎歲正月三日。邦君使諸隊將
率諸部之列卒。入山林。逐雉。曰之野始逐鳥獵。頒用戰陣之式。獲
雉者。曰之扳鳥。獲自一番至三番。賜銀錢三文。其餘賜一文。擬單
中獲首級者。其式早晨。邦君到本郡燕澤邑。號案內地。而建標幟

踞床机。諸士各騎馬。過君前畢。旗本步卒百人前列。發迯砲二回。
吹七五三之螺三通。而邦君登本郡岩切邑諏訪森。而建標幟臨
視諸隊逐雉。曰之一番標幟場。諸隊總司。曰之山奉行。進幟吹螺。諸隊從
之。各守其所。驅馳入山林逐鳥。總司使使番兩騎指揮之。以紅白
旗爲標。凡如此十有一處。其次標幟場。同邑鳥居岫。曰之二番。其
次三番同邑花立。其次四番同邑高森。其次五番同邑入生田森。
其次六番同邑相馬坂。此處乃七番標幟場也。逐鳥既畢。邦君入
假營。垂帷幕。凡用陣營之式。炙所獲之雉。賜餉於諸隊將。吹凱陣之螺三通。歸
城。松木澤八番標幟場。蠶森九番標幟場。古館十番標幟場。脇澤
十一番標幟場。假營場。堀一。岩切。小鶴。燕澤三邑用水。堤
凡八。本邑及市名坂兩邑用水。道凡二。共往黒川郡道。
川一。根白石川。橋一。土橋。長六間半。濶一間半。
鶴谷邑。戸口凡二十七。神社一。志賀神社。不詳何時勸請。

堀一。本郡岩切。燕澤兩邑用水。橋一。土橋。長八間。濶一
間半。
小田原邑。戸口凡二十七。神社凡二。神明宮。不詳何時勸
請。青柳明神社。不詳何時祭何神。寺一。開元山万壽寺。詳
仙臺府條下。名所凡二。玉田横野。万壽寺以東至躑躅岡。曰
之横野。玉田今不詳何處。疑玉田泉其地乎。玉田清水。名跡志
曰。万壽寺中有幽泉。曰之玉田清水。今爲塔頭三味院地是也。其
下流與小田原溝水會。曰之玉田川。川一。梅田川。源出自玉
田清泉及本邑處々之澤。末流號藤川。會本郡苦竹邑平渡戸川。
橋一。土橋。長六間。濶一間半。
苦竹邑。戸口凡八十五。佛宇一。大日堂。本尊石碑。有大日
之梵字。記曰。元弘二年建之。堂宇不詳何時何人所造也。希文按。
元弘之號。花園帝御宇。而二年乃光嚴帝。正慶元年也。孝子一

人。邑民十右衞門。事親母致孝。今上帝寶曆十一年三月。賜金賞之。　倉廩。自本郡沿生濱。舟送諸郡之米。滿于此倉廩。以牛車運送國府。　川凡二。　平渡戸川。自國府六番町流來。會福田町川。　藤川。源出自本郡小田原邑。號梅田川。　橋凡二。各土橋。　其一。長十四間。濶二間半。　其二。長十間。濶二間。

南目邑。　戸口凡八十三。有號原町驛。　佛宇凡二。　觀音堂。本尊千手觀音。正觀音。勢至。毘首羯磨所造也。傳云後光明帝。慶安二年三月十七日夜。仙臺府下北八番町先驅步卒將。白根澤喜兵衞（諱不傳。）與次郎七者。（靈元帝。延寶八年。爲與長。稱加藤作左衞門。）夢中有此三尊在本郡七北田邑大澤山中之佛託。翌日入彼山中。探索而獲之以歸。安置于其家。終憚安置靈佛於俗家。附托其弟修驗清光院永證。後西帝。明曆元年。永證請之公廳。賜地。造營堂宇。安置之。永證爲別當。號慈眼山清光院。　釋迦堂。在榴岡。詳仙臺府條下。　寺一。

江國山陽雲寺。曹洞宗。仙臺府下尼寺末寺。傳云後陽成帝。慶長二年。尼寺第二世達永正信和尚開山。　忠僕一人。邑民和吉。奴隷容傳治。仕主人。盡心力致忠。今上帝。寶曆十一年十一月。賜金賞之。　古壘一。　號北目館。傳曰。古昔北目氏（名諱不傳。）所居。　倉廩。儲蓄雜穀。　名所凡二。　宮城野。或曰本荒郷。萩花。金鐘蟲名產也。名跡志曰。木下林北廣野。天下古今所稱者是也。平原渺々。草野芊々。原上錦萩。古今專其佳名。女郎花。我妻香。荻。藤袴。刈萱。桔梗。及無名野草。無數秋花。以百數焉。又雲雀。鶉鷯殊多。或巢或育。東則海水淼々。有千家鹽釜。松浦島。末松山。浮島。壺碑。野井等之名區。而襟帶于其中。南則有茂山。千賀松。笠島。武隈等之舊蹤。而縈回于其際。西則寺院精舍森々鬱々。其木末則不忘山。東奥嶽。白石大嶽羅列峭立。北則七疑峯巒多賀古城。利府邑落。盡入吟眸。此地乃古稱國分莊。東史所謂國分原是也。國分寺號亦皆所

以出于此莊號也。鄉人曰之生巣原。本荒鄉以宗久紀行考之。則盖尼寺以北其地也。或以仙臺府下本荒町為本荒鄉者非也。榴岡。詳仙臺府條下。　舊跡一。　宮千代塚。名跡志曰。去宮城野東二十五六間野田中有小塚。鄉人曰之兒墓。是亦其遺蹤也。往昔松島寺有少年。曰宮千代。容色豔冶。有才而貴重。後客死于此野。里人哀之。為一堆塚。芻子牧童。每過墓畔。聞塚底有人語。吟聲最哀。怪怖告之。人往窺之。則果誦和歌前聯。曰。月者露露者草葉耳宿假里天。吟畢而太息。復有嗟嘆之聲。聞者或恐怖。或墮涙。後松島寺僧徹翁者。往足下聯吊幽魂。曰。其古昔夫與宮城野乃原。自是鬼吟熄。行路無恙云。希文按。予嘗聞之。宮千代得和歌前聯於宮城野。而後聯未成。熟思之不已。終發病而死。遺言葬屍于宮城野。名跡志所記。與予所聞異。故併記于此。　植樹苑。此邑土肥。故播諸樹之實。而培養之。忠山君世。求肥前州所產之栗。曰于布勢栗。

植之。　道凡二。　其一。往桃生郡及諸郡道。　其二。往名取郡道。

小泉邑。　戶口凡百六十。　佛宇凡二。　地藏堂。傳云肯山君世年月不傳。有命勸化封內。造本尊及堂宇。自每歲五月朔日晴天七日。仙臺府下榴岡千手院護摩供修行。　正觀音堂。傳云舊在本郡七北田邑將監堤上。後水尾帝寬永中。別當修驗小泉山正善院先祖移之于本邑。仙臺順禮三十三處。三十番之札處也。　寺凡二。　護國山國分寺。詳仙臺府條下。　護國山尼寺。同上。　古壘凡二。　其一。稱古城。詳仙臺府條下。　其二。號結城館。今悉為畑。惟存其遺址。名跡志曰。結城七郎館。後奈良帝。天文中。國分能登守居之。　別莊一。義山君世經始。置火藥于此。回祿之後為廢地。忠山君世再興之。鑿湟補地。造營第宅。為遊衍之地。　塚凡二。其一。號遠候塚。傳云貞山君經始古城之地時。以遠眼鏡候眺四方處。土人稱之曰遠候塚。希文按。名跡志盲下盖古觀場乎。往時置

斥候而望レ敵者。聽說也。　其二。號二豊隆塚一。霹靂之地也。　古寺跡
一。安養寺遺跡。在二本郡燕澤。國分莊小田原兩邑之界一。而屬二本邑一。
古昔有レ寺。號二安養寺一。其山號今失レ之。不レ詳二何時荒廢一。今悉爲レ畑。今
此山稱二安養寺山一。往時號二大願一者。請レ之建レ堂。安二置五智如來一。寶曆
十一年。請二本郡小田原邑之地一移レ之。其後其遺趾爲レ畑。何時此地
他邑之地。而屬二本邑一乎。不レ知二其所二以然一也。　堰凡二。　其一。號二六
鄉堰一。本邑及名取郡八邑用水。　其二。號二七鄉堰一。宮城郡十二邑
用水。　道凡二。　其往二名取郡一道。　堤一。　號二與兵衛堤一。小泉。燕
澤。小鶴三邑用水。

霞ノ目邑。　戶口凡十六。　神社一。　稻荷神社。不レ詳二何時勸請一。
古壘一。　不レ詳二何人所一レ居。

長喜城邑。　戶口凡十。　神社一。　神明宮。不レ詳二何時勸請一。

蒲ノ町邑。　戶口凡十二。　神社一。　明神社。不レ詳二何時祭二何神一。

伊在邑。　戶口凡十三。

六町ノ目邑。　戶口凡二十九。　神社一。　稻荷明神社。不レ詳二何時
勸請一。　佛宇一。　聖德太子堂。不レ詳二何時創建一。　寺一。　虎溪山
龍香院。曹洞宗。仙臺府下保壽寺末寺。傳云後陽成帝。慶長三年。
勝山和尚開山。　古碑一。　左字記二六字名號一。傳云弘法大師筆
痕也。土人呼レ之曰二六字銘一。

荒井邑。　戶口凡七十七。山本三郎兵衛貢盛采地。　神社凡三。
稻荷神社。不レ詳二何時勸請一。　熊野神社二。其同レ上。　孝子一人。
邑長幸右衛門。事二父母一致レ孝。一鄉稱レ之。今上帝。明和三年三月。賜レ
金賞レ之。　沼凡六。　其一。赤沼。中分屬二本邑及岡田兩邑一。東西百
間許。南北五十間許。　其二。大沼。東西二百間許。南北六百間許。
荒濱。新濱。岡田三邑用水。　其三。丸沼。　其四。蘆沼。　其五。川戶
沼。　其六。五齋沼。其小沼也。

荒濱。戸口凡七十二。神社凡二。神明宮。不ㇾ詳二何時勸請一。
湊明神社。不ㇾ詳二何時勸請一。寺一。海繰山淨土寺。淨土宗岩城
矢ノ目如來寺末寺。傳云後陽成帝。慶長中。專蓮社良求善的和尚
開山。沼凡二。其一。境沼。東西五十間許。南北二百間許。中分
屬二本邑及名取郡井土兩濱一。其二。長沼。東西百五十間許。南北
八百間許。道凡三。其往二名取郡一道。

封內風土記卷之三　畢

封內風土記卷之四

田邊希文　奉　君命撰

郡邑

宮城郡鹽釜邑。　戶口凡四百三十一。此地燒藻鹽。有市店而驛
也。有號吉津地。邑民等盛服背山君恩惠之澤。每歲正月二十日。
六月二十日。獻造花於鹽竈。　神社凡十一。　鹽釜社。在多賀城
址十八町餘。所祭左宮武甕槌命。右宮經津主命。共南面。別宮岐
神西面。併三座而號奧州一宮。正一位鹽竈大明神。不詳何時祭
之。其神號出處古來所傳之說。紛々而難一定。先君肯山君。請之
神祇管領卜部兼連卿。尋其緣起。關白基熙公書之。其說始定矣。後
陽成帝。慶長十二年丁未。先君貞山君。令紀州亙匠鐵右衛門。修
造宮社。同年六月二十日。落成遷宮。肯山君之世。靈元帝貞享二
年乙丑十二月。有鹽竈邑中之年租。及金二百五十兩。可每歲計

邑中戶口。而須賜之旨且免許鹽竈市店之諸役。他邦自國之商船
材木運送之諸船。自今以來可來著于此浦之命。東山帝元祿八
年乙亥八月。經始宮社造營之事。至同帝寶永元年甲申九月落
成。同月十日。遷宮。當附祭田百七十石之地。社家二十九人。賜五
百五十二石餘之地。每歲七月十日。祭禮有流鏑馬。正月二十八
日。臨時祭禮。法蓮寺記云。末社有十四。某宮讚東宮明神。吉田讚
吉田明神。花淵濱鼻節明神。笠神邑柏木明神。同邑浮島明神。市
川邑菱社明神。南宮邑南宮明神。岩切邑冠川明神。澤乙邑小刀
明神。春日邑北宮明神。赤沼邑赤沼明神。吉津邑梅宮明神。桂島
松崎明神。松島明神 分其明說。不是。延寶六年。因肯山君之命。尋問諸
邑之古老以記之。一說。除菱社。赤沼松島松崎之四社。加花淵讚
大根明神。市川邑阿良波波岐明神。春日邑添日明神。鹽竈邑籬
島明神之四社。　神明宮二。　其一。在一宮社地。　其一。在號小

松崎一地上。傳云。往古在下號二上野一地上。中古移二于今地一。其不レ詳二何時勸請一。
八幡宮。在二一宮社地一。不レ詳二何時勸請一。　住吉神社。同レ上。　稻荷
社三。　其一。同レ上。　其二。稱二青木明神一。　其三。舊在下號二稻荷山一地上。
中御門帝。享保中。移二于今地一。其不レ詳二何時勸請一。　羅島明神社。在二
羅島一。不レ詳三何時祭二何神一。　愛宕神社。不レ詳二何時勸請一。　梅宮明神
社。同レ上。　御釜社。祭二一宮三神一。同レ上。　佛宇凡九。　觀音堂三。
其一。傳云。本尊行基所レ造。源頼光創建。　其二。三十三觀音。在二法
蓮寺中一。不レ詳二何時創建一。　其三。在二願成寺中一。傳云。後西帝。萬治中
創建。　辨財天堂。在二尾島一。不レ詳二何時創建一。　地藏堂二。　其一。在二
法蓮寺傍院地藏院中一。　其二。在二慈雲寺中一。其同レ上。　大日堂。在二
法蓮寺傍院相應院中一。同レ上。　藥師堂。在二東園寺中一。本尊行基作。
不レ詳二何時創建一。　五智如來堂。在二雲上寺中一。同レ上。　寺凡六。　傍
院凡十二。　金光明山法蓮寺。眞言宗。京都仁和寺末寺。一宮別

當。不レ詳二何時何人開山一。傳云。後奈良帝。天文中。富錢僧正中興。寄二
附百五十石之地一。傍院社僧十二院。賜二百六十三石餘之地一。　相
應院　法蓮寺傍院。眞言宗。以下至二和光院一。稱二故六供一。其不レ詳二何時
開基一。　建立院。同レ上。　護運院。同レ上。　送泰院。同レ上。　上壽院。同レ
上。　和光院。同レ上。　文殊院。同レ上。以下至二普門院一。稱二新六供一。東山
帝。寶永中開基。　豐持院。同レ上。　彌勒院。同レ上。　地藏院。同レ上。
能滿院。同レ上。　普門院。同レ上。　蓮性院。眞言宗。法蓮寺末寺。不レ詳二
何時何人開山一。　無量山願成寺。臨濟宗。本郡松島瑞巖寺末寺。
傳云。瑞巖寺七世靈岩和尚開山。不レ詳二何時一。　松巖山東園寺。臨
濟宗。瑞巖寺末寺。傳云。大林和尚開山。不レ詳二其年月一。　甘露山慈
雲寺。臨濟宗。東園寺末寺。傳云。瑞巖寺五世牧叟和尚開山。不レ詳二
何時一。　與鹽山雲上寺。淨土宗。仙臺府下。成覺寺末寺。傳云。天道
社良泰上人開山。不レ詳二其年月一。　孝子孝婦二人。市民與次兵衞。

事二織母一致レ孝。其妻亦尽レ心事レ姑。今上帝。明和五年九月。各賜レ金賞レ之。神釜四。有二神釜社一。傳云。神器也。石凡三。影向石。在二七曲坂下一。腰掛石。牛石。川一。祓川。坂一。七曲坂。淵凡二。其一。釜ヵ淵。在二海上三十町許一。傳云。往古沈二神釜一口一處。其二。千尋淵。傳云。御釜之傍小堀往古淵。而號二千尋淵一。名所凡三。野田玉川。自二母子澤堤一流來。末流入二八幡川一。緒絶橋。土橋。坪浦。或曰二温泉坪一。傳云。往古有二温泉一。舊跡凡三。釜田。在二野田玉川邊一。傳云。往古埋二神釜一口一處。鳥居原。岩ノ華表柱二本在二圖中一。傳云。往古有二岩華表一。而往來之街道也。權現山。傳云。古昔勸二請熊野神一地。礎石今猶存。古壘一。在下號二寺ヵ崎一地上。號二駒犬古城一。或曰。佐藤館。不レ詳二何人所一レ居。浦凡七。鷹巣浦。二派フタマタ浦。笹ノ入江浦。末ナ那板イタ浦。大木戸浦。藤倉浦。本吉浦。崎凡八。寺ヵ崎。祓ヵ崎。大黒崎。小黒崎。鷲ヵ崎。尾島崎。琵琶崎。

女郎崎。島凡八。籬島。三ノ小島。裸ハタカ島。引島。在城島。内裏島。后島。蛇島。倉處。儲二蓄雜穀及材木一。橋凡七。各土橋。其一。長十間半。濶二間。其二。長六間半。濶二間。其三。四。其長六間。濶二間。或一間一尺。其一曰二緒絶橋一。其五。六。七。共長五間。濶二間。或一間半。

湊濱。戸口凡二十四。神社一。熊野神社。不レ詳二何時勸請一。佛宇凡二。藥師堂。傳云本尊慈覺大師所レ造。而文徳帝。仁壽二年。大師草創也。辨財天堂。不レ詳二何時創建一。寺一。福壽山延命寺自在院。眞言宗。本郡鹽竈邑。法蓮寺末寺。不レ詳二何時何人開山一。沼凡三。古川。前川。細川。傳云以上三川。往古本郡市川邑市川之末流。而自二多賀城下一至二本邑一。商舶往來。其後。自二本郡蒲生湊口一。至二本郡國分莊苦竹邑一。新開二穀船通行之路一。自レ是以來。其地爲二野田或沼一。

松濱。　戶口凡八十五。傳云八九十年前。邑民仁兵衛者常取海底之鰒為産。一日為鰐嚙脚而死。其子權右衛門。哀之欲復其讐。多年盡心。探索其鰐。遂釣之而殺焉。其頭骨及所釣之針。傳于其家。其子市之丞。七十六歳。存于今云。　神社凡二。　神明宮。傳云。後水尾帝。元和中。邑民等所勸請也。　稻荷社。傳云。靈元帝。延寶中。邑民等所勸請也。　寺一。　松東山養松院。曹洞宗。仙臺府下八塚。大林寺末寺。傳云。後西帝。明曆元年。雪橋大積和尚開山。孝子一人。邑民六右衛門。事父竭心力而致孝。靈元帝。延寶六年三月二十三日。肯山君。召之於城上。伏謁賜黃金二枚。　島凡二。

松浦島。觀跡聞老志。名跡志共云。在青松濱。佳境絕景。不減松島。往古島上。有紫藤。而得佳名。今更無知之者。此濱民多以魚蝦為業。以苓箸為役。濱南斷岸千尺。長潟數仭。白浪濯石磯。碧波染沙汀。山頭有觀江臺。登此則北隅。南方。西圃。東濱。尽入吟眸其地。

七疑峯。和泉嶽。仙臺城。大白山。盤仭山。篠谷關山。不忘大塑。名取。亘理。伊具。宇多。相馬諸山等也。水濱以東阨沙塢遶漁家。巉岩相峙。長松相連。岩下有一島。上戴蒼鼠。是所謂松浦島也。東北有小島。號鷗鷺。分前後而為兩島。其西曰舞踏島。其東曰英雄島。在其北海中者。曰石纔明神。鹽竈末社也。青松濱西。曰菖蒲田。南西曰水門濱。有善逝堂。市川遶其南汀。傍有巨巖。曰之臥石。其南岩岨相連。其巖下有空洞。通行漁舟。鄉人曰之通船穴。　冑島。　崎凡四。　御殿崎。　黑崎。　鷲崎。　鴻崎。

菖蒲田濱。　戶口凡百二。　神社一。　諏訪神社。不詳何時勸請。寺一。　三島山長養寺。臨濟宗。本郡松島瑞巖寺末寺。傳云。瑞巖寺海晏和尚開山。不詳其年月。　沼一。　阿川沼。　島凡三。辨天島。　大黑島。　毘沙門島。

花淵濱。　戶口凡七十七。文字舊作鼻節。土人憚神名作花淵。産

見布。傳云。昔年洋中有漂流之大木。邑民等見之。出舟數艘引之。以揚于陸。邑長次左衛門。數世之祖。請之分割。以造長八間九尺四寸。横四間四尺五寸之家。至梁。棟。柱。桁之類。悉用彼樹。而不用他木。先君嘗覩之。命其不朽敗。是以。東山帝。正德三年。賜茅以修補之。從是以爲例。每補葺賜茅。是希世之一事也。故記之。觀迹聞老志曰。色羅島以東。阻海上二里餘。嶺上有神祠。鄉俗曰花淵神社。其山下曰花淵濱。嘗本社東南。樹木森々。祠西則有吉田東宮兩社。其鹽竈末社也。其下斷岩臨海地。曰明神崎。東則有三島。其一曰順風島。其二曰雀島。其三曰權現島。北濱曰代崎。皆以魚蝦爲業。南山曰新羅峯。山外海濱曰金色汀。其西南曰白沙洲。其西山中有湖水。曰阿河沼。傍有巨岩。曰立石。　神社凡四。　鼻節神社。傳云。所祭猿田彥神。鹽竈一宮末社也。不詳何時勸請。聞老志。名跡志共曰。鹽竈社家舊說云。岐神先天降于鼻節濱。延喜式所

謂。鼻節神社是也。猿田彥大神御形以鼻有節曰鼻節神社。而後遷座于鹽竈浦云。希文按。風土記殘編云。鼻節神社。圭田四十三束。所祭多力雄神也。舒明帝二年。始奉圭田行祭事。與邑人所傳不合。未審。後君子質之。　大根明神。傳云。不詳祭何神。隔百八十町許洋中有大石。稱之曰東宮西宮。有兩社之宮形。潮汐乾時見之。　稻荷社。在同性寺中。不詳何時勸請。　白山神社。同上。　寺一。　花淵山同性寺。臨濟宗。本郡松島瑞巖寺末寺。傳云。圓滿國師雲居和尚開山。不詳其年月。本尊正觀音。地藏。共慈覺大師所造也。正觀音堂。舊在下號富岡山地。荒廢之後。安置於此寺。本郡三十三處。巡禮二十二番之札處也。　島凡十一。　高島。　雀島。

榎島。　權現島。　鍋島。　二島。　東風島。　西風島。　間風島。

小黑島。　大黑島。

吉田濱。　戶口凡五十四。　神社一。　吉田明神社。傳云。所祭猿

田彥神。鹽竈一宮末社也。不詳何時勸請。　寺一。　竹林山金剛寺。臨濟宗。本郡松島瑞巖寺末寺。傳云。海山和尙開山。不詳其年月。本尊正觀音春日作。而觀音堂。舊在號君岡地。荒廢之後。安置於此寺。本郡三十三處。巡禮二十三番之札處也。　島凡八。　惠比壽島。　竹柄島。　舞島。　白當島。　水島。　百合島。　古志島。　無毛島。

代崎。　戸口凡四十一。屬鹽竈邑。　佛宇一。　毘沙門堂。傳云。後西帝。萬治中。邑民等創建。　寺一。　海水山葦航寺。臨濟宗。本郡松島瑞巖寺末寺。傳云。萬治中圓滿國師雲居和尙開山。　島凡九。　放馬島。名跡志。曰千尺之丹脛相峙。巖間之翠洞豁然。奇絕可驚。靈機可恐。相傳太古以神明所駕之良驥。而放于此地。故曰之放馬島。　葛籠島。　鞍島。　兎島。　大放火島。　小放火島。　帆立島。　惠比壽島。　達摩島。　泉一。　雖無其名。大旱未嘗涸

乾。

東宮濱。　戸口凡六十二。自湊濱至此濱。曰七濱。　神社凡二。　東宮明神社。傳云。所祭猿田彥神。鹽竈一宮末社也。不詳何時勸請。　神明宮。不詳何時勸請。　寺一。　東宮山鳳壽庵。曹洞宗。仙臺府下八塚。大林寺末寺。傳云。後西帝萬治二年。雪橋大積和尙開山。

桂島。　戸口凡二十二。觀迹聞老志。曰在納囊島南。青嶺翠松連。白沙素波急。其東濱曰石濱。細石錯落。疊波來去。島上有神祠。曰桂島明神。或曰。是乃松島明神也。希文按。邑民所傳有松崎明神社。而無松島明神社。崎島疑誤文字乎。未審。　神社一。　松崎明神社。傳云。鹽竈一宮末社也。不詳何時祭何神。　島凡九。　駒島。　手代島。　大言島。　小言島。　沖繒島。　汀繒島。　佐久島。　鐘島。　前ノ子島。

石濱。戶口凡二十。神社一。山ノ神社。傳云。後花園帝。文安中。邑民等所二勸請一。島一。三ツ島。

小鶴邑。戶口凡二十五。神社二。羽黑權現社。不レ詳二何時勸請一。後水尾帝。寬永二十一年。義山君。寄二附祭田二石之地一。希文按。寬永二十一年。改二元正保一。稻荷社。不レ詳二何時勸請一。古壘一。傳云。古昔逸見丹波不レ詳レ傳。者所レ居。池一。小鶴池。傳云。往古大湖也。今水涸爲二小池一。號二小鶴一。女。投レ身而死之處也。觀迹聞老志。曰往年有二大湖一。相傳。多賀城下有二富家一。極貪婪。有二一妾婦一。謂二小鶴子一。有二容色一。主家。待レ之甚刻迫。更無二慈愛之意一。一日使二小鶴立一レ苗。田畝頗大。負レ子耕レ種焉。不レ遑レ乳レ之。遂令二背後幼兒飢死一。其田畝。今在二利府以北春日社邊一。田中有二小丘一。乃埋二其死兒之地也。曰二之千刈田一。爾後。不レ堪二其訶責一。毋亦投二身于湖水一死。鄉人曰二之小鶴湖一。近年水涸而爲二野田一。寔可レ惜哉。惟遺二名于邑落一耳。橋一。

土橋。長六間。濶一間半。

燕澤邑。戶口凡三十。神社三。稻荷社二。其一。在二善應寺中一。其不レ詳二何時勸請一。熊野神社。在二善應寺中一。同レ上。佛宇一。牧島觀音堂。不レ詳二何時創建一。寺一。大雄山善應寺。臨濟宗。城州花園妙心寺末寺。傳云。東山帝。元祿中。移二廢寺本州江刺郡黑石邑。天台宗長谷寺之遺號一。通玄和尙開山。初號二甘棠山聖德寺一。中御門帝。正德中。爲二雄山君牌寺一。改レ號。天嶺和尙中興。橋一。土橋。長五間。濶一間半。松一株。周圍一丈九尺。一根生二五條一。偃蓋方七間餘。傳云。號二般若坊一。修驗者之丘木也。

岩切邑。戶口凡百十六。有下號二今市一。餘目ノ地上。今市步卒百二人。男女凡九百三人。馬六十五疋。神社凡九。羽黑權現社。傳云。往古伊澤左近將監家景所二勸請一。而不レ詳二其年月一。邦君寄二附祭田二石之地一。富士權現社。不レ詳二何時勸請一。若宮八幡社。同レ上。諏訪神社。同レ上。天神宮。同レ上。青麻權現社。本邑山中在下號二青芋一。

地上。往古此地抵二麻苧一。故以爲二地名一。有二岩窟一高一丈餘。古來相傳。祭二大日。不動。虛空藏一。邑民久作者。後改稱二所兵衞一。其性淳朴正直。久患二眼疾一。遂爲レ瞽。不レ能レ爲二稼穡之業一。貧窮日逼。殆將二飢渴一。盤元帝。天和二年壬戌四月朔日。老人來告曰。今夜丑刻。當二齋戒拜一レ天。吾感二汝性之淳朴一。且憐二其盲一而來。從二吾所一レ教。目疾不レ日而愈。言畢忽去。不レ知二其所一レ往。所兵衞信心徹レ骨。拜二老人之所一レ去。其夜齋戒沐浴。及二丑刻一拜レ天。少焉星光滿レ目。四邊艸木亦分明。彌凝二信心一。每夜拜レ天三十餘日。而眼疾全愈。其後彼老人復來。其相不レ凡。白髮朱顏。眼光衝レ人。問曰。汝目疾愈乎。所兵衞恐懼畏服。不レ能三仰見二之一。稽顙俯伏答曰。幸蒙二慈恩一。眼疾得レ愈。不レ知二其所一レ謝。願聞二尊翁姓名及居處一。老人曰。吾昔源廷尉之臣。常陸防海存也。今改二名清悅一。周二流四方一。姑隱二于下野州山中大日窟一。自レ今欲レ移二往于此窟一。此窟祭二何神一乎。所兵衞答曰。嘗祭二大日。不動。虛空藏一。老人曰。幸哉吾所レ念日月星

也。自レ今當レ稱二三光窟一。乃入レ窟。其窟高峻不レ易レ登。絓二鐵鎖一而上下。地僻去二邑民之居一五六里。人跡常稀。而來拜者少矣。近歲崇二信之一者多。設二階梯於岩窟一。造二營宮社及拜殿一。邑民設レ店供二酒食一。來拜者亦若干。奇怪之說雖レ不レ可レ信。姑記下其所二傳說一者上也。　牛頭天王社。在二餘目一。傳云。後鳥羽帝。文治中。所二勸請一也。邦君。寄二附祭田二石之地一。

志波彥神社。傳云。或稱二冠川神社一。鹽竈一宮末社。而同躰神也。不レ詳二何時勸請一。　祇園社。　不レ詳二何時勸請一。　佛宇一。　馬頭觀音堂。不レ詳二何時勸請一。　寺凡三。　醫王山東光寺。曹洞宗。本州岩瀬郡須賀川長錄寺末寺。傳云。古昔天台宗。而不レ詳二何時何人開山一也。長錄寺。普嶽文統和尙中興。改二宗曹洞一。古昔有二千躰佛一。後水尾帝。寬永中。罹二回祿一。灰燼之餘。埋二在土中一。邑人偶有レ鑿レ土得レ之者。

延壽山寶性院東福寺。在二今市一。天台宗。仙臺府下。光圓寺末寺。傳云。不レ詳二往古開山僧名及年月一。後西帝。明曆四年。滿海法印中

與。（希文按。明曆四年。改元萬治。）福地山耕田寺。曹洞宗。仙臺府
下北山。輪王寺末寺。傳云。後光明帝。承應三年。外鱗和尚開山。而
後水尾帝。寛永元年。本邑步卒伍長。兵藤大隅（諱不傳。）開基也。古
壘一。高森。傳云。伊澤左近將監家景所居。名跡志曰。此地乃文
治六年三月。賴朝令伊澤左近將監家景。補奥州留守。居宮城郡
高森。乃以留守為氏。通國稱之高森殿。以為奥州留守所。人皆稱
高森。曰高國府。古跡凡六。霧谷淵。途絶橋。邑民往來土橋。
而僅六七尺許。觀迹聞老志。名跡志共云。過今市川橋。入岩切農
家處有小圯。鄉俗曰之途絶橋。圯是古之所謂途絶橋也。土橋之短
狹者也。誤呼其名。十府池。名跡志曰。岩切農家高森館下有小
池。池中有垂柳。柳下菅草頗多。鄉人謂之十府菅。觀迹聞老志曰。
或曰今稱利府者乃古之十府地也。利與十訓相通。以上州利根
川訓之登禰川者其證也。後人誤其訓。而讀為便利之利。不知利

其器之利。利府。十府為兩區。按此說聊有據。而甚得其考索。今舉
古書論之。據郡名之說。（袖中抄。有以十府為郡名之說。）則非郡名者固然。利府近邑
有菅生邑。想夫往古以此地生好菅。而得地名乎。蓋鄉俗以此製
筵席。為產業。自是人稱之利府菅席。亦無妨其事實也。鎌倉右大
臣和歌云。（出夫木集。）文席緒仁成滿天耳戀佗奴。下朽奴良之十府乃
菅席。讀此和歌。始知十府菅席。或染卿或織紋。往時有名產之稱。
而多與古人之吟詠焉。據十編之說。（八雲御抄。有或為說名或以十編之附說。）則採生于此
池中者。而土人編席。以備庸貢者乎。故存兩說。以待識者。假妝
坂。鏡池。名跡志曰。岩切邑坂下有小池。相傳前件所謂小鶴子。
將投身于湖水。觀妝于此坂上。移貌于此水面。而整其容色之處
也。鄉俗曰之化粧坂鏡池。奥細道。觀迹聞老志曰。自古封內有
東奥通行者。於名取則在笠島邊。於宮城則在木下西。其道路有
與今相合者。有與昔異者。此地亦其地。而不分明焉。或說曰。岩切

橋北東光寺前道路是也。其下碧潭。曰二霧谷淵一。考二宗久記一。則與下今所二通行一者上相同。　野始追鳥猟標轍場凡六。（建二標轍一。邦君臨レ之。曰二之多津埓一。）　諏訪ノ森。　鳥屋ガ岫。　花立。　高森。　入生田森。　相馬坂。　以上六處。
其事實詳二于國分莊松森邑條下一。　川一。　冠川。　源出レ自二本郡國分莊福澤朴澤之山壑一。而河上曰二之根白石川一。至二本郡蒲生邑一入レ海。土人曰二之今市川一。引二此河水一以爲二諸邑用水六處一。號曰ガ澤堰。
田子堰。青津目堰。山王堰。中野堰。蒲生堰。　橋凡三。各土橋。　其一。長三十七間。濶二間。　其二。三。共長六間。濶二間。或一間半。
神谷澤邑。　戶口凡十七。　神社一。　熊野神社。不レ詳二何時勸請一。　寺一。　神谷山東雲院。曹洞宗。本郡岩切邑。東光寺末寺。傳云。正親町帝。天正四年。雪庵思積和尚開山。　橋凡二。各土橋。　其一。長六間。濶二間。　其二。長五間。濶二間。
菅谷邑。　戶口凡四十七。　寺一。　菅谷山道安寺。曹洞宗。仙臺

府下八塚。大林寺末寺。傳云。雪橋大積和尚開山。不レ詳二其年月一。
孝子二人。　其一。邑民總吉。事二父母一致レ孝。靈元帝。延寶六年三月二十三日。肯山君。召二之於城上一。伏謁賜二黃金二枚一。　其二。邑民半三郎。母。事レ姑致二婦道一。今上帝。明和二年十月。賜レ金賞レ之。　古壘一。
傳云古昔菅谷左近（諱不レ傳。）居レ之。
澤乙邑。　戶口凡三十七。　神社一。　小刀明神社。傳云。鹽竈一宮末社也。不レ詳二何時祭二何神一。　寺一。　圓明山心月寺。曹洞宗。本州膽澤郡水澤。大林寺末寺。傳云。後陽成帝。慶長四年。雲留和尚開山。　橋一。　土橋長八間。濶一間半。
飯土井邑。　戶口凡三。　神社一。　伊津薩姬神社。傳云。不レ詳二何時勸請一。古昔大社也。（希文按。）風土記殘編曰。伊豆佐賣神社。圭田二十八束三毛田。所レ祭溝咋比咩也。天武帝二年。奉二圭田一行二神禮一。有二神家一巫戶等。文德實錄云。仁壽二年七月辛未。陸奧國伊豆佐

浮神授二從五位下一乃是此社乎。
利府鄕加瀨邑。　戸口凡八十八。　佛宇一。　觀音堂。在二天祥寺中一。傳云。丹溪作。不レ詳二何時創建一。　寺凡二。　八幡山楊岐寺。臨濟宗。本郡松島瑞巖寺末寺。傳云。後西帝。明曆中。圓滿國師雲居和尚開山。　雄島山天祥寺。臨濟宗。松島瑞巖寺末寺。傳云。往古號二加瀨寺一。不レ詳二何時何人開山而何宗一也。後水尾帝。寬永中。雲居和尚中興。
利府本鄕。　戸口凡五十三。有二市店一而驛也。木村藤馬信堅采邑。
神社凡三。　八幡宮。傳云。源義家朝臣東征之時自二本郡加瀨邑一射二遠箭一。其箭之到處建レ社祭レ之。稱二箭著（ヤツキ）八幡一。　白金神社。傳云。古昔多賀城主有二祈願之事一而勸二請芳野藏王權現一。不レ詳二其年月一。
雷神社。不レ詳二何時祭一レ之。　寺二。　金剛山圓城寺。淨土宗。磐城專稱寺末寺。傳云。正親町帝。元龜二年。岌辨和尚開山。順陀和尚

中興。不レ詳二其年月一。邦君寄二附三十六石餘之地一。　光明山長龍寺。淨土宗。本邑圓城寺末寺。傳云。後水尾帝。元和中。順蓮社良本上人利白和尚開山。　古壘一。　傳云。元龜之頃。留守家所レ居。　橋一。　土橋長十二間。濶二間。
利府鄕森邑。　戸口凡六十一。有二市店一而驛也。　寺凡七。　靈岳山龍藏寺。黃蘗臨濟宗。城州宇治萬福寺末寺。傳云。東山帝。元祿九年。鳳山和尚開山。以二其師潮音和尚一爲二開祖一。邦君寄二附三十石之地及廩米十口一。　龍華院。無二山號一。龍藏寺塔頭鳳山和尚開基。
梅岩院。同レ上。第五世北宗和尚開基。　孝德庵。同レ上。鳳山和尚開基。　三玄庵。同レ上。鶴林師開基。　大林庵。同レ上。第三世琛宗和尚開基。　久唱庵。同レ上。第四世鷲店和尚開基。　橋一。　土橋長十間。濶二間。
春日邑。　戸口凡三十一。　神社凡三。　春日神社。傳云。此社舊

在下本郡鹽竈邑ノ本邑之界。號二一本松一地上。而聖武帝ノ神龜之頃。多賀
城主勸二請倭州春日大明神一。其後藤原秀衡ノ伊澤左近將監家景
以來高森城主。至二留守相模守顯宗入道雪齋一。累世造二營之一。爾來
漸就二荒敗一。靈元帝ノ寬文十一年。遷二宮于本邑一。後西帝ノ萬治三年五
月。邦君奮二附祭田二石餘之地一。北宮明神社。傳云。所レ祭大巳貴
命。鹽竈一宮末社也。不レ詳二何時勸請一。荒神社。傳云。龜山帝。文應
元年。鎭治國豐者所二勸請一。寺一。大明山春照寺。淨土宗。本郡
利府本鄉。圓城寺末寺。傳云。後奈良帝。天文二年。良求上人門的
和尙開山。泉一。塞風澤泉（サフサワシミツ）。傳云。春日明神之御手濯。而本邑
及近邑用水也
新田邑。戶口凡十七。神社一。稻荷社。不レ詳二何時勸請一。古
寺址。傳云。往古有レ寺。號二安樂寺一。今荒廢。惟存二遺址一。
高橋邑。戶口凡二十一。佛宇一。大日堂。傳云。後水尾帝。寬

永中邑。民等所二創建一也。
田中邑。戶口凡十五。神社一。三所明神社。不レ詳二何時勸請
何神一。佛宇一。千引勸音堂。不レ詳二何時創建一
福室邑。戶口凡四十七。神社凡四。住吉神社。不レ詳二何時勸
請一。稻荷社。同レ上。新山權現社。同レ上。熊野神社。同レ上。佛宇
一。勸音堂。傳云。本尊安阿彌作。不レ詳二何時創建一。寺一。風赤
山西光寺。臨濟宗。本郡松島瑞巖寺末寺。傳云。南朝後村上帝。正
平二年。北朝光明帝貞和三年。四月。靈光和尙開山。倉廩。諸郡租米以レ船
運送。姑納二于此一。而運二送于蒲生邑倉廩一。古碑一。在二西光寺中一。
傳云。正平親王之碑也。記曰。正平七年三月十八日立レ之。希文按。
正平親王未レ考。傳云。吉野帝皇子也。正平七年。北朝崇光帝。文和
元年也。
岡田邑。戶口凡四十八。神社一。川島明神社。傳云。所レ祭稻

荷大明神。不詳何時勸請。　寺一。　龍田山福壽院。曹洞宗。仙臺府下。松音寺末寺。傳云。後西帝明曆元年民國鱗泰和尚開山。
沼凡二。　赤沼。東西百間。南北五十間。接國分莊荒井邑。分半屬本邑。　前沼。方百間。　橋凡二。各土橋。　長五間。濶二間。

中野邑。　戸口凡八十。公族畠中雅樂大町平治賴泰采地。　神社凡五。　熊野神社二。　其一。在誓渡寺中。今已荒敗。　其二。在號神妻宅（カミツマヤシキ）地。傳云。此地往古有寺。號中源寺。其不詳何時勸請。　雷神社。本邑鎮守也。不詳何時祭之。　甚光明神社。不詳何時祭何神。　神明宮。不詳何時勸請。　佛宇凡二。　阿彌陀堂。不詳何時創建。　觀音堂。同上。　寺一。　中野山誓渡寺。臨濟宗。本郡松島。瑞巖寺末寺。傳云。海翁和尚開山。不詳其年月。

八幡邑。　戸口凡四十五。公族天童備後賴根采邑。　神社凡四。　稻荷社。不詳何時勸請。　八幡宮二。　其一。公族天童備後賴

其先祖所勸請。而不詳其年月。有靈元帝。寬文中。造替梁上之古牒。　其二。傳云不詳何時何人之勸請。往古此社在末松山邊。而稱末松山八幡宮。祭日有流鏑馬。今邑民宅地。傍有號馬場地。及末松山邊古昔社地。方四十間許之地。老杉一株。有古鐘。記曰。謹奉鑄鐘奧州末松山八幡宮。大檀那陸奧介平景綱。大工藤原弘光。大工加賀安吉。永仁七年二月日。又有梁上之古牒。記曰。大旦那日本國主大將軍大行事陸奧介藤原景宗同藤原宗景八幡太郎。長祿三年云云。以下略之。邑民傳云。宗景者留守殿也。宗景及鐘銘所謂景綱者。八幡兵庫（諱不傳。）者之先祖也。（系文）按。永仁七年。後伏見帝。正安元年也。長祿之號。後花園帝御宇也。景宗者。伊澤左近將監家景十六世之孫。而稱留守相摸守。實當家第十三世尚宗君之第二男也。考留守家譜。景宗繼家景十五世之孫藤王丸之家。藤王丸。後小松帝。明德中。十歲而歿。景宗。天文二十年

五月十六日卒。自天文二十年至長祿三年。九十三年。而至明德改元應永之年。遡考之則百六十年也。其年數之悠久。家譜所記。固可疑。粱上古牒。記陸奧介者。亦可疑。邑民所傳。以景綱爲八幡家之先祖。粱上之文。記八幡太郎藤原宗景。則八幡家亦藤氏。而非平氏。恐別人乎。　㝡太郎明神社。不詳何時祭何神。傳云。天童家先祖舊居羽州天童城時所勸請。而後陽成帝。慶長中。貞山君。賜本邑移之以祭之。　佛宇一。　櫻木觀音堂。不詳何時創建。

寺凡四。　松光山光德院。天台宗。仙臺府下。光圓寺末寺。傳云。後水尾帝。寬永十三年。傳重僧都開山。　小松山不麟寺。臨濟宗。本郡松島。瑞巖寺末寺。傳云。一鑒和尚開山。不詳其年月。　末松山寶國寺。臨濟宗。松島瑞巖寺末寺。傳云。鉄牛和尚開山。不詳其年月。　末松山般若寺。八幡宮別當。眞言宗。本郡鹽竈邑。法蓮寺末寺。不詳何時何人開山。　古壘一。　傳云。八幡兵庫（諱不傳。）者所居。

觀迹聞老志曰。伊澤四郎家景家臣。八幡兵庫居館也。　名跡凡四。　興井。觀迹聞老志。名跡志共曰。據小町和歌。則當作熾井字。八幡農家有小池。池中奇石磊磊。佳狀可愛。州人古來稱曰興石。奇絕如盆池。池中乾隅有水脉而出。是乃興井也。俗子以爲二條院讚岐沖石詠。則指此石者也。不知以潮水濕海石難乾。而比之愁人淚袖之霑也。　興井鄉（一作起居）觀迹聞老志。名跡志共曰。八雲御抄。有興井鄉。此邑落乃其地也。文字或作起居鄉。其義則愁人不眠之意。然夫木集。以起居之和歌。而混爲興井里之作。九月十三夜和歌下註曰。興之井之里。乃隧奥也。文字亦相通。和訓亦相通。意者同處。而異其字。同其訓者乎。惟撰松葉集者。分爲別處。未詳其是非焉。以同訓而姑擧之興井里下。但於呼其名也。興井則上下之間加之字。起居則去之字。其相別也如此。不可不辨焉。以夫木集所載和歌之意考之。則其是起居字。嘗其義。而曾無興字

義。矣。然則爲別處分明也。決當取起居之義也。與字亦據小町和
歌。而當作燒井矣。於興字曾無干涉也。十三夜下註。加之字者非。
　都島。名跡志曰。以小町和歌考之。則燒井。都島元同處。豈異其
地哉。燒井以八幡地爲是。池爲燒井。石爲都島。觀迹聞老志曰。未
詳其地。或曰。桃生郡宮戸島是也。島上景致絕勝。比之京師之華
麗。且宮戸。都音相近。故誤其稱呼。戸音許。俗人合訓音而呼宮戸。
直爲皇都。後人不察誤。所以訓美也。登者也。或曰。其說非也。其島
畔有稱皇都者。鄕人誇言。往古此佳島奉勅蒙美名者也。仍有皇
都島名。是亦不足取焉。以小町和歌考之則燒井。都島元一處。而
豈異其地哉。燒井以八幡地爲是。則此島奚隔數十程耶。且夫燒
井則宮城也。都島則桃生。而間海岸。不合古歌非實。豈夫然耶。然
則八幡名跡。池爲燒井。石爲都島。而似無障礙矣。識者辨之。〇末
松山。在寶國寺中。有名木松大小九株。名跡志。觀迹聞老志。共曰。

八幡邑中有寺曰末松山寶國寺。寺後有高岡。岡上有青松數十
株。是往昔舊地。去海濱十余里。遠望入波濤。其江濱乃笠神。花淵。
大六天。香島諸山。菖蒲田等。悉來于目前。古人所謂遠波江上之
佳境。得名于茲者。堪壯觀矣。能因法師歌枕。有本中末三松之說。
或曰。以岩切爲本松。以八幡爲末松。未詳中松之地。風土記曰。末
松山在八幡之南。其山三峯。而嶺上三松秀出。自島之地市川之
道見之。則嶺上之三峽。白波浩浩以爲奇觀。島之地不可曉。按今
據三松秀出之說。則本。中。末名非別處。乃就此地。而當分三株之
名。市川之於地名。亦考于此。則知由來之久也。　川一。　八幡川。
市川之末流。傳云。往古自湊濱相連。而大河也。今爲小川。　橋凡
三。各土橋。　其一。長十間。濶一間半。　其二。三。共長七間。濶一間
半。
新濱。　戸口凡三十二。　神社一。　稻荷社。不詳何時勸請。　寺

一。海見山照德寺。淨土宗。仙臺府下八塚成覺寺末寺。傳曰。敎蓮社欣譽淨念和尚開山。不詳其年月。後西帝。萬治四年十一月二十五日。淨念示寂。希文按。萬治四年改元寬文。　橋一。　土橋長五間。濶一間半。

蒲生邑。　戸口凡六十。有市店而驛也。和田左太郎爲利采邑。　神社一。　高砂神社。不詳何時祭何神。　寺凡二。　眞光山專能寺。淨土眞宗。京都西本願寺末寺。傳云。正親町帝。天正九年。淨香坊榮覺開山。　耳取山冷德寺。天台宗。仙臺府下。光圓寺末寺。不詳何時何人開山。　倉廩。　諸郡租米以船運送之。姑納于此。而運送于國分莊苦竹邑倉廩。　湊一。　蒲生湊。冠川末流。至此地入海。　橋一。　土橋長六間。濶一間半。

田子邑。　戸口凡五十三。産芋。其味甘美。而異他所産也。有號福田地。有市店。歩卒六十八人。男女凡五百四十六人。　神社凡三。

二本木明神社。不詳何時勸請何神。社地有白藤。古來稱之。　二渡明神社。同上。　鳥井明神社。同上。今荒廢。惟存遺址。　佛宇一。　四谷原觀音堂。傳云。本尊十一面觀音。弘法大師所造。不詳何時創建。　寺一。　見龍山雲洞院。曹洞宗。仙臺府下。昌傳菴末寺。傳云。後奈良帝。天文二十三年。梅菴東春和尚開山。　浦一。　多湖浦島。觀迹聞老志。名跡志。共曰。鄕俗作田子。今據藻鹽草。同名多。駿河爲田兒。越中爲多祜。共出萬葉集。福田以北俗曰田子邑。以産好芋。而一國稱之。蓋以地名而考之。則江浦島嶼之地乎。今惟見野田邑落而已。相濶賴朝東征之日。次軍于玆。東鑑。逐日記宿次。而不及其地。尤可疑。　川一。　田子川。冠川之末流也。　橋凡四。各土橋。　其一。長二十五間。濶二間。　其二。長十間。濶二間。　其三。長九間。濶二間。　其四。長八間。濶二間。

南宮邑。　戸口凡四十七。成田多宮友房采地。　神社凡二。　南

宮明神社。傳云。鹽竈一宮末社也。不㆑詳㆔何時祭㆓何神㆒。　諏訪神社。
不㆑詳㆓何時勸請㆒。　佛宇一。　觀音堂。傳云。本尊江州三井寺之觀
音也。不㆑詳㆓何時創建㆒。　寺一。　祝陽山慈雲寺。曹洞宗。仙臺府下
八塚。龍川院末寺。傳云。武山和尚開山。不㆑詳㆓其年月㆒。
山王邑。　戸口凡二十三。　神社一。　山王權現社。不㆑詳㆓何時勸
請㆒。
市川邑。　戸口凡三十七。　神社凡三。　奏社明神社。傳云。鹽竈
一宮末社也。不㆑詳㆔何時祭㆓何神㆒。　阿良波波岐明神社。不㆑詳㆓何時
勸請㆒。傳云。一宮末社也。今上帝。明和七年。寄㆓附神飯二十石之地㆒。
祈㆑之報賽者獻㆓脛巾㆒。（ハヽキ）未㆑知㆓其所㆒以然㆒也。　白山權現社。不㆑詳㆓何時
勸請㆒。　寺一。　松巖山玉泉寺。曹洞宗。仙臺府下。松音寺末寺。傳
云。後陽成帝。慶長五年。傳室閭達和尚開山。　古跡凡三。　多賀
城址。　名跡志曰。在㆓市川邑南㆒。壺碑曰。多賀城。此城神龜元年。歲

次㆓甲子㆒。按察使兼鎭守將軍從四位上勳四等大野朝臣東人之
所㆑置也。天平寶字六年。歲次㆓壬寅㆒。參議東海東山節度使從四位
上仁部省卿兼按察使鎭守將軍藤原惠美朝臣朝獦（アサカリ）修造也。有㆓
城壘古址遺礎㆒。古瓦往往有㆑之。好事者。採以爲㆓之硯㆒。足㆑用㆓文房具㆒
也。始稱㆓多賀柵㆒。（見㆓天平九年㆒。）後記㆓多賀城㆒。（見㆓寶龜十一年㆒。）至㆓東鑑㆒。呼㆓多賀國府㆒。（見㆓文
治五年㆒。）按。號㆓多賀古城㆒者。乃市川古碑在處。呼㆓多賀國府㆒者。乃岩切
河北也。觀迹聞老志曰。或曰。高森。多賀國府相同。且高。多賀訓同。
國府謂㆓其總名㆒。森指㆓其地㆒。實同地也。稱㆓多賀國府㆒地。今市以北。岩
切山陰古館是也。本號㆓高森㆒。後遷㆓市川多賀城于此㆒。爾來呼㆓高森㆒
曰㆓多賀城㆒。呼㆓利府㆒曰㆓多賀國府㆒。一說曰。文治六年三月十五日。賴
朝令㆘伊澤左近將監家景主㆗當國㆖。來居㆓宮城郡高森㆒。仍家景以㆓高
森㆒爲㆑氏。時俗又謂㆓之留守殿㆒者。居館雖㆑在㆓高森㆒。其任以㆑主㆓多賀城㆒
也。據㆓此說㆒。則文治中似㆑呼㆓高森㆒也。賴朝次軍之地。今市川多賀城

也。是乃往昔治府仍稱國府者。不可疑焉。舊文按。風土記殘編。載有多賀莊。今不詳何處之地。想夫謂多賀國府乎。　壺碑。在多賀城址。自碑首至石根。六尺五分。石圍九尺六寸八分。石基九尺三寸七分。碑後石形三稜石面平。而上題西字。濶二尺六寸四分。自上至下四尺五分。四方爲數。其中記曰。多賀城。去京一千五百里。去蝦夷國界四百廿里。去常陸國界四百十二里。去下野國界二百七十四里。去靺鞨國界三千里。此城神龜元年。歲次甲子。按察使兼鎭守將軍從四位上勳四等大野朝臣東人之所置也。天平寳字六年。歲次壬寅。參議東海。東山節度使從四位上仁部省卿兼按察使鎭守將軍藤原惠美朝臣朝獦修造也。天平寳字六年十二月一日。觀迹聞老志曰。按神龜元年甲子。迺丁聖武帝元年。天平寳字六年壬寅。丁廢帝四年。續日本記。大野東人。聖武帝。神龜元年。爲按察使陸奥守鎭守將軍。授從四位上勳四等。天平十一

年四月壬午。爲民部卿。兼柰宮大夫。藤原惠美朝臣朝獦。孝德帝。天平寳字四年正月癸未。爲陸奥國按察使兼鎭守將軍。授正五位下。同月丙寅。授從四位下。同五年十月癸酉。爲仁部卿。陸奥。出羽按察使如故。同六年十一月丁酉。爲東海。東山節度使。十二月已已。爲參議。又曰。歌枕作壼石文。或作碑。風土記殘編作坪碑。壼苦本切音悃。爾雅宮中衖。郭璞曰。衖閤間道。詩大雅其類維何。室家之壼。又居也。俗作壺碑非也。壺洪孤切音胡。酒器。坪蒲明切音平。地平處。按斯碑也。以往時在城中館底。而名壼碑者也。想夫或達境內反命于京師。告逆賊蜂起于隣國。或寡兵集徒之切。急遽倉卒之忙。預致其備。所以量遠近考多寡。定日子計來往。而擇綏急遲速之設也。風土記殘編曰。坪碑在鴻之池。爲故鎭守門碑。惠美朝獦立之。見雲眞人清書也。記異域東邦之行程。令旅人不爲迷惑。觀迹聞老志曰。壼碑在于我東奧也久。然累世無人識其神

妙一者上。空二無沒于古城草莽之中一者。幾千年。水戸黄門君。請二其文字
于吾大守綱村君一。令二儒臣田邊氏雙鉤一以還焉。未レ及二石刻一。尤可レ惜
矣。元祿十二年。與二江定守及亡子義方一。經二此地一。以二義方術一而打レ之
去。閱二其文字一。筆勢高古。字體寬閑。殆非二尋常書一。考二之中華一則蘇長
公。趙松雪之上。而陶弘景。顏魯公之亞也。未三嘗見二日本之字態一。於レ
是切怪我朝有二此鳥跡一。而未下嘗以レ此傳二其妙一。遺中其名于後世上矣。仍
告二之平信如一。是亦驚二其妙手一。時編二本朝書史一。乃收二之篇中一。予亦屢
示二好事之徒一說レ之。談二本朝希有之書一。爾後州人略知二其奇跡一也。正
德甲午春。営大守君命レ僕雙鉤以進レ之。貿二筆者姓名一。而得二其左證
于風土記殘編中一。始知二見雲眞人筆痕一。可レ謂下得二其時一而顯者上也。希
文按。水戸黄門君。乃水戸侯光圀卿也。田邊氏。乃僕父希賢也。江
定守。成田市十郎大江定守而善レ書。義方。佐久間洞巖ノ子也。平信
如。本鄕與兵衛平信如而善レ書。頗有二文才一。正德甲午。中御門帝。正

德四年也。　鴻ノ池。今崩壞無二其形一。淸泉僅存。有二偏葉蘆一。　川一。
土人呼レ之。曰二市川一。源出レ自二利府ノ鄕想關一。而末流會二八幡川一。　堤一。
土人曰二之市川大堤一。長十一町餘。橫二町餘。　橋一。　土橋長十
二間半。濶二間。
浮島邑。　戸口凡廿七。　神社凡二。　多賀神社。傳云。古昔多賀
城主。勸二請江州多賀神社一。希文按。風土記殘編曰。多賀神社所レ祭
伊弉諾尊也。雄略帝五年。奉二圭田一。加二神禮一。乃謂二此社一乎。觀迹聞老
志名跡志。共載二浮島神社一。曰。多賀城東。鹽竈西南。往昔海潮來二其
下一者。考二古人之所レ詠而可レ知焉。今變爲二野田一。田上有二一丘一。丘上有二
神祠一。是乃浮島明神也。不レ詳レ祭二何神一。指二此社一乎。　大臣社。傳云鹽
竈一宮末社。而所レ祭源融大臣也。　佛宇一。　觀音堂。不レ詳二何時
創建一。　寺一。　浮島山法性院。曹洞宗。仙臺府下八塚。龍川院末
寺。傳曰。武山和尚開山。不レ詳二其年月一。　古壘一。　傳云。古昔浮島

大夫者所レ居。

高崎邑。戸口凡二十一。神社凡三。神明宮。不レ詳二何時勸請一。二渡權現社。同レ上。熊野三所權現社。傳云。古昔多賀城主。祈二國家安全一而所二勸請一也。寺一。高崎山化度寺。曹洞宗。仙臺府下八塚。大林寺末寺。不レ詳二何時何人開山一。大林寺雪橋和尚中興。不レ傳二何時一。舊跡凡二。七堂伽藍遺址。傳云。古昔多賀城主。祈二國家安榮一。勸二請熊野神社一。造二營七堂伽藍一。一切經寶堂。太子堂。其遺礎今猶存。義經馬蹄石。在二多賀城址一。大石而有二馬蹄痕一。不レ詳三其所二以然一也。

留谷邑。戸口凡廿七。神社凡二。神明宮。不レ詳二何時勸請一。天神宮。同レ上。佛宇一。聖德太子堂。不レ詳二何時創建一。今荒廢。惟存二遺址一。寺一。留谷山向泉院。臨濟宗。本郡松島。瑞巖寺末寺。傳云。本尊正觀音行基作。而此寺亦其初行基開基也。中興爲二臨

濟宗一中興僧名。年月共不レ傳。古壘一。號二櫻井館一。不レ詳二何人所一レ居。名跡一。而和久橋。見二西行法師和歌一。古昔有二紅楓一。而其後紅楓已絕。且土人誤曰二阿部松橋一。肯山君世有レ命。植二楓樹五株於橋畔一。橋東小山亦多植レ之。名跡志曰。邑中有二一圯橋一是也。靈元帝。天和四年甲子春。肯山君命植二楓樹一。是以二西行和歌一也。仍鄉人橋曰二紅葉橋一。山曰二紅葉山一。觀迹聞老志曰。或云。而和久字本俗字。於二義理一亦不レ通焉。鄉老曾曰。是實吹面橋也。往昔橋畔有二紅楓林一。邑落秋晚。人行稍稀。唯所二經過一者。農夫野人。西風飄飄吹レ衣。紅葉紛紛飛レ面。蓋風吹來。則物已分。分者紛也。仍呼レ之曰二吹面橋一。

笠神邑。戸口凡廿六。神社凡四。神明宮。傳云。東山帝。元祿中勸請。祇園社。不レ傳二何時勸請一。二渡權現社。同レ上。柏木明神社。不レ傳三何時勸二請何神一。佛宇一。舟塚山觀音堂。不レ詳二何時創建一。寺一。黃龍山西園寺。臨濟宗。本郡松島。瑞巖寺末寺。傳

云。大林和尙開山。不レ詳二其年月一。橋一。土橋長六間。濶一間半。
大代(ヲホシロ)邑。戶口凡二十八。
下馬邑。戶口凡二。　希文按。風土記殘編。宮城郡中載レ有二磐城
莊。大村莊。多賀莊。赤瀨鄉。坪浦(在二松山之右一。出二溫谷一。)及淨光寺(鑑眞掛レ錫之地也。)妙德院。
(道源法師開基之地。)又源順和名抄曰。宮城郡邑有二赤瀨。磐城。大邑。多賀等數
邑一。今共不レ詳二其地一。惟有下號二多賀國府一地上。
高城本鄉。戶口凡百五十八。有二市店一而驛也。神社凡三。紫
明神社。傳云。往古稱レ之。曰二松島明神一。不レ詳三何時勸二請何神一。觀迹聞
老志云。在二高城驛西樹林中一。鄉黨曰二之紫明神一。未レ詳レ祭二何神一也。或
曰二松島明神一。以レ在二桂島一爲レ是。然以二方隅一取レ之。則豈阻二遙海一離二平陸一
者。爲二鎭護地主一哉。當下以二此神祠一爲中松島地主上也。諏訪神社。不レ詳二
何時勸請一。愛宕神社。同レ上。佛宇一。聖德太子堂。不レ詳二何時
創建一。寺凡三。松林山龍澤寺。曹洞宗。仙臺府下八塚。大林寺

末寺。傳云。後奈良帝。天文二十一年。家屋洞山和尙開山。仁由
山長慶寺。臨濟宗。本郡松島。瑞巖寺末寺。傳云。明極和尙開山。不レ
詳二其年月一。弘寶山歸命院。淨土宗。本郡利府。圓城寺末寺。傳云。
後陽成帝。慶長中。良鏡上人開山。倉廩。儲二蓄雜穀一。古壘一。
傳云。高城豐後直晴先祖所レ居。古寺址一。傳云。古昔有レ寺。
號二延命寺一。高城家牌寺。而高城家移二于桃生郡小舟越邑一時。延命
寺亦從移。今存二其遺址一。斥鹵(シホヤキバ)。傳云。舊在二本郡鹽竈邑一。靈元帝。
貞享元年。移二于本邑一。川一。浦川。源出レ自二志田郡品井沼一而至二
本邑一入レ海。傳云。東山帝。元祿七年。鑿レ之引二品井沼惡水一。橋凡二。
各土橋。其一。長四十五間。濶二間。(蛇ヶ崎。)其二。長十五間。濶二
間。愛宕下。
高城鄉磯崎邑。戶口凡四十二。神社凡二。神明宮。不レ詳二何
時勸請一。稻荷社。同レ上。寺凡二。東海山寶船寺。曹洞宗。本郡

高城。瀧澤寺末寺。傳云。正親町帝。永祿五年。桂巖和尚開山。弘誓山願立寺。淨土眞宗。仙臺府下。正樂寺末寺。傳云。後陽成帝。慶長十五年。了榮法師開山。　倉廩。　租米及羅穀鹽。　島一。　鷲島。

同郷松島邑。　戸口凡七十七。丹後州天橋立。藝州嚴島。本州松島。是稱天下三絶景之地。生石斛。垣衣。石長生。雨漏茸。名產也。神社凡二。　八幡宮。不詳何時勧請。類聚國史。畿外奉勅宮社部曰。舒明天皇三年七月。陸奥宮城郡松島八幡。奉勅使早良運惟保時疫。希文按。以是考之。則千二百年來之古社也。時疫二字不可曉。疑有脱字。　山王權現社。在瑞巖寺中。明正帝寛永十九年造。雲居和尚造營。　佛宇凡十。　五大尊堂。在島。架二短橋。傳云。本尊慈覺大師作佛。而堂宇亦大師創建也。後陽成帝慶長九年。黃門君。新造營本堂。寄附三十石之地。島中有八幡社。　明正帝。

寛永十七年。義山君建之。名跡志。觀迹聞老志共曰。大同二年坂上田村麻呂造營之。置五大尊。黃門君慶長五年。攻刈田白石城。得夢徴。仍九年十二月。使紀州良匠鶴右衛門等修造之。有兩短橋。其東面。則福浦。梅浦。戸倉。經島。般若。旭日。仙冠。翠柳。給島。笘島。白翁。九島諸島涵陰。其北。則實珠崎。通祠崎。蛇崎。磯崎曲隈映波。其間沙塲爽塏之地也。群鷺浴鴗二島並翠灣。其北。則高城驛也。希文按。貞山君實錄曰。慶長九年六月十日。有宮城郡松島五大尊像再造新始之式。同年十二月十五日。再造落成。有入佛之式。

千佛堂。　觀音堂。　經堂。　以上三宇。在瑞巖寺中。圓滿國師雲居和尚建之。不詳其年月。　藥師堂。　地藏堂。　以上二宇。亦在瑞巖寺中。中御門帝。正德中。前住夢栽和尚建之。　坐禪堂。骨堂。　以上二宇。在御島。圓滿國師所建也。不詳其年月。　藥師堂。　念佛堂。　以上二宇亦在御島。瑞巖寺前住天嶺和尚建之。

不詳其年月。寺凡六。菴凡十八。青龍山瑞巖圓福寺。臨濟宗。城州花園妙心寺末寺。傳云。淳和帝。天長五年。慈覺大師之草創。而號青龍山延福寺。其後鎌倉北條時頼入道最明寺。來于本州。宿于法身窟。與禪師約開宗。改天台爲禪林。以法身禪師爲開祖。改號圓福寺。爾來大覺。覺雄。智覺。覺滿。明極等唐僧諸禪師相繼而住持。至第九十一世義山和尚。爲鎌倉建長寺派。自第九十二世賓堂宗中和尚。爲城州妙心寺派。後陽成帝。慶長九年。黄門君。命造營之事。同十四年三月二十六日。有上梁之賀式。方丈庭前栽朝鮮紅白梅二株。五葉松一株。詠松島乃松之齡仁此寺乃。末菜邊南牟年波經留土毛之和歌。永爲伊達家之宗廟。同年六月八日。第九十五世海晏和尚新寺開堂。後水尾帝。寛永十三年。義山君。以黄門君之遺命。招待雲居和尚。八月二十一日入院。改號瑞巖圓福寺。以雲居和尚爲中興開祖。同十五年二月。寄附二

百五十石餘之地。及佛供米百石。方丈給米五十石。山林。海上諸島等。名跡志。觀迹聞老志共曰。松島寺。乃今瑞巖寺是也。相傳。仁明帝。承和五年戊午。始開台宗。而建此寺。或曰。其始祖乃法身也。法身其氏眞壁。其名平四郎者。爲浮屠。而入于宋。受法于徑山無準。而歸朝。所開地也。北條相模守時頼。修造之。號松島山圓福寺。（先是稱松島寺。）爾後稍荒廢。慶長十年乙巳。我黄門君造替寺院。新起土木。上梁。乃梅邑彦左衛門家次。紀州良匠刑部左衛門國次者掌之。是歲六月癸未落成。輪奐壯麗極其美焉。請僧海晏以住。改曰瑞巖圓福禪寺。僧房十餘宇。排之左右。左房龍月。護國。寶珠。圓同。大光。聯芳。法雲。其右萬松。江月。青松。傳曲。紹隆。得住。合十三區。青山環其後。蒼瀛湛其前。寺畔有岩洞。曰法身窟。始祖坐禪于此。左方曰陽德院。右方有天麟。圓通二院。寺門左右皆市店也。比屋倶設旅舍。搆高樓。望微茫于欄外。挹幽趣于坐上。水灣艤舟地。曰之

繫舟汀。右有觀瀾亭。大守遊觀之地也。左有五大尊堂。其東須盡浮群島。遊眺壯觀之美。豈夫靈隱而已哉。此亦樓觀滄海。日門聽浙江潮。未待駱賓王與焉。來遊之徒。歷覽之望。子細可見也。希文按。二書共曰。承和五年。始開台宗。且爲慶長十年新起土木。與寺僧所傳不合。貞山君實錄曰。慶長九年八月十五日。君到圓福寺。有方丈再造之經營。而手張繩。同十年六月三日有新始材木自紀州熊野山運送之云云。　陽德院。無山號。下同。臨濟宗。有當家十七世貞山君夫人陽德院殿靈廟。後光明帝。承應二年創建。以陽德院殿嘗歸依雲居和尚爲開山祖。寄附百五十石之地。　天麟院。臨濟宗。有貞山君第一女。川中島宰相兼上総介忠輝卿夫人天麟院殿靈廟。後西帝。寬文三年創建。三住妙心大機圓應禪師洞水和尚開山。寄附百三十石之地。　圓通院。臨濟宗。有當家十八世義山君第二男待從兼越前守光宗君靈廟。後光明帝。正保四

年創建。洞水和尚開山。寄附七十石之地。　福聚山海無量寺。在下號大澤地。臨濟宗。初號大澤山慈光院。雲居和尚開基。而寄附給米五口。其後鵬雲和尚經營之。爲退隱之設。當家二十世肯山君嘗來于此。命鵬雲和尚曰。雲居和尚所開之地所所多。此地當爲和尚開山。乃改號福聚山海無量寺。寄附五十石之地。是以移慈光院于梅ヶ浦。改號一華菴。　天童菴。臨濟宗。五大尊堂別當。傳云。慈覺大師開基。初本郡鹽竈邑。法蓮寺末寺也。瑞巖寺前住洞水和尚請法遠寺。告之公府。以改宗臨濟。後西帝。寬文元年。瑞巖寺前住鵬雲和尚再造之。以爲中興開祖。　法性院。在竹浦。臨濟宗。後光明帝。正保四年春。號藤菴壽瑋禪尼草創。而雲居和尚開山。壽瑋尼者。當家一家臣藤田但馬宗和女。而右兵衛宗嘉（實伊達相模宗直第二男。而宗和配女爲嗣。）妻也。宗嘉歿後爲尼。到于松島。義山君憐之。賜壽瑋生涯二百石之地及寺地於竹浦。壽瑋歿。公收二百石之地。靈元帝。

延寶七年。寄二附二十石之地一。　一華菴。在二梅浦一。臨濟宗。初在二大澤一。號二大澤山慈光院一。田中勘左衛門艮長入道會通所レ住。而雲居和尙開山。不レ詳二其年月一。會通歿後爲二牌寺一。後西帝萬治元年。寄二附給米五口一。東山帝元祿十年。移二于梅浦一。改二號一華菴一。　松吟菴。在二御島一。臨濟宗。瑞巖圓福寺第九十九世圓應禪師開山。不レ詳二其年月一。有二丈六藥師本尊一。古昔有二精舍一。號二妙覺菴一。見佛上人之舊跡也。後鳥羽帝。賜二佛具法器於上人一。賴朝卿夫人二位尼歸二依上人一。寄二贈佛舍利及自書公帖一。佛舍利。公帖今藏在二瑞巖寺寶庫一。　壽龍菴。在二福浦島一。圓應禪師開山。不レ詳二年月一。本尊不動。智證大師所レ造也。傳云。辨慶護持佛。　法輪菴。同レ上。瑞巖圓福寺前住智光禪師開山。不レ詳二其年月一。　法雲菴。瑞巖寺塔頭。下皆同。　瑞巖圓福寺第五世唐僧覺滿禪師開山。不レ詳二其年月一。菴前有レ石。傳云。古昔異域徑山寺有二火災一。覺滿禪師以二酒水之術一滅レ之。義山君寄二附給米三口一。

青松菴。瑞巖圓福寺第六十世鑑岩和尙開山。不レ詳二其年月一。舊在二桃生郡深谷莊上下堤邑一。不レ詳二何時移一レ之。今彼地有レ址。土人呼レ之曰二青松宅一。義山君寄二附給米三口一。　傳曲菴。瑞巖圓福寺第五十六世古澗鑑和尙開山。年月不レ傳。舊在二本郡赤沼邑一。不レ詳二何時移一レ之。義山君寄二附給米三口一。　紹隆菴。瑞巖圓福寺第九十四世陽巖和尙開山。不レ詳二其年月一。義山君寄二附給米三口一。　得往菴。瑞巖圓福寺第十一世海山和尙開山。年月不レ傳。舊在二月見崎觀瀾亭之地一。不レ詳二何時移一レ之。義山君寄二附給米三口一。　寶珠菴。覺滿禪師開山。不レ詳二其年月一。義山君寄二附給米三口一。　圓同菴。鑑巖和尙開山。不レ詳二其年月一。義山君寄二附給米三口一。　護國菴。瑞巖圓福寺第四十八世天翁和尙開山。不レ詳二其年月一。義山君寄二附給米三口一。　聯龍月菴。覺滿禪師開山。不レ詳二其年月一。義山君寄二附給米三口一。　萬松芳菴。詳月和尙開山。不レ詳二其年月一。義山君寄二附給米三口一。

菴。靈岩和尚開山。不詳其年月。義山君寄附給米三口。　江月菴。
瑞巖圓福寺第三十一世海翁和尚開山。年月不傳。舊在下號天神
坊崎地上。不詳何時移之。今彼地有址。土人呼之曰江月濱。義山君
寄附給米三口。　大光菴。瑞巖圓福寺第九世唐僧明極和尚開
山。年月不傳。後醍醐帝。元亨中。明極和尚來于本朝。此菴舊在寺
後林中。不詳何時移之。今彼地有址。土人呼之曰大光山。義山君
寄附給米三口。　島凡八。　御島。觀跡聞老志。名跡志共曰。名所
集作雄。歌枕作小。今從見佛傳。在竹浦東南。經水汀踏白沙而行
七八町。右旁嶺上松千樹。左邊屏風島落陰涵翠。過長橋而入幽
經。苔蘚露深。岩蹊路滑。上有坐禪堂。傍有一亭。號把不住軒。希膺
雲居名。　往昔棲遲之處。此地乃見佛上人之故蹤也。塔婆浮圖轟轟
而植。古墳荒塚累累而列。其北岸有宮千代遺跡。宮千代事。詳于郡邑南目條下。本自
是過細逕而有骨堂。向西南壙底徹泉。收死者之遺骨散髮等之

地也。其堂後有賴賢古碑。其地也老松五六株。海風吹淅瀝。斷岸
數千仭。江波來奔騰。其北渚也幽沈寂寞。沙汀來客稀。松杉塞鴉
集。殆非凡俗塵囂之地焉。登島上者。必發悽愴悲哀之情矣。觀迹
聞老志曰。師鍊依一山說。而述地名來由曰。千松島。鳥羽帝感見
佛苦鍊。有敕賜來。改號御島。今以重之歌始並稱松島御島者考。
則重之乃村上帝朝人。先見佛已百五十餘年。豈始于見佛哉。且
據和歌本記。則其名始于日本武尊而稱之者久矣。然則先是有
地名。而或書雄島。或書小島者。至見佛之時。蒙天子之賜。而以御
字易之耶。　古碑一。　高一丈。廣三尺六寸五分。厚七寸。僧賴賢
碑。而相州鎌倉建長寺寧一山碑文及銘併書。觀迹聞老志。名跡
志共曰。賴賢乃御島住僧。其碑在御島西南。是乃其門人匡心孤
逕者。請寧一山而記老師行實之碑也。碑首有奧州妙覺菴賴賢
菴主碑銘併序十三字。用楷法而書二行。其銘乃草書。一山者。以

書名于世。今碧蘚鎖石面。文字半消滅。尤可惜。　福浦島。有庵曰
海龍。圓應禪師開基。庵前有石。乃禪師坐禪石也。有熊野神社。古
昔最明寺時頼。廢天台宗。法身開禪之時。天台衆徒集于茲而闘。
伏時頼。爾來土人呼之。曰伏塲。　屛風島。　二子島。　德浦島。
旭日島。　翁島。　經島。　崎凡八。　蛇崎。　津崎。　法師崎。
月見崎。　有邦君之假館。號觀瀾亭。　洲崎。　糸崎。　象鼻崎。
小松崎。　浦凡七。　霞浦。　梅浦。　有庵曰一華。田中勘左衛門
亘長入道會通牌處也。寄附給米五口。詳于海無量寺條下。　竹
浦。　有寺曰法性院。詳于前條。觀迹聞老志。名跡志共曰。北畔水
汀。曰破浪瀉。荒笘汀。是所謂雄島笘屋不可荒河浪者。乃此地也。
皆相連而近乎雄島。經象鼻岩。菅春磯之笘徑而入御島。　胡桃
浦。　闇浦。　德浦。　潟浦。　雜島凡十九。　九島。　長拝島。　腕
崎。　江島。　青浮島。　毘沙門島。　布袋島。　大黒島。　恵比須

島。　千貫島。　般若島。　伊勢島。　雁島。　内裡島。　箕輪島。
鎧島。　鑿島。　小町島。　阿島。　山凡二。　落雁峯。　觀迹聞老志。
名跡志共曰。御島以西高峯秀于他山。兩峯相並而嶙峋嶙嶸。山
形嶺勢望之江間。則似飛鴻展其首而張兩翼。故曰之落雁峯。其
山勢之屈蟠于水汀處曰之鴻首磯。土人以其訓音之相近。誤曰
之腕崎。以爲其狀如人之曲肱而伸之其前也。誤其名于所取之
義者也。　朱鳥嶺。　聞老志名跡志共曰。相並落雁峯。相傳往古有
神仙。逍遙于山中。有朱鳥常相從。故曰之朱鳥山。是亦土人誤其
稱呼。曰姉取山。　坂一。　眺浪坂。聞老志名跡志共曰。入松島地
長坂也。其道路之間。江上之佳境。曲洲環浦。奇峯怪巖。隨行而盡
入于眺望。就中其壯觀者。複羅之蟠根。樹林森森落重陰。幽邃猗
猗蘸翠色。長洲之縹緲。白沙曳素練。遠汀界碧浪。其他波間之布
帆。木末之漁艇。奇絶種種如畫。風雅之徒稱眺浪坂。是亦誤呼長

老坂。取勞長坂之艱難。而壯年殆至疲老之義。　松一株。　退僧
松。聞老志。名跡志共日。在眺浪坂右旁。土人相傳。往年釋西行。爲
鳥羽帝北面。時私通宮女。屢謀密契。宮女恐其人言。戒之以阿漕
語。西行不解。退問人。未過識者。自是雲雨相隔煩悶。而入浮屠周
流。足跡幾遍于諸州。蓋欲得識者而解彼語意。東行臻茲。有一翁。
牧牛於松下。牛齕草而不飽。翁叱牛日。我牛奚阿漕也。西行勃然
而驚。愕然而喜。問之翁。翁曰。予爲誰。曰西行者也。翁曰。西行乃歌
林之秀。何不解之。仍引古歌而答曰。伊勢海阿漕浦耳引網毛。數
度波發顯乎爲。翁罵以不解此語之拙。西行無以對。自是乃恥退。
稱其松而呼西行退。其翁乃松島明神也。聞老志又日。此事極淺
近。殊西行禁園之侍臣。歌林之翹楚。何唔此一句乎。西行事跡載
歌書舊記。是亦一世之名衲也。其中紀總過東奧。而相見見佛于
松島之事爲荒唐。汲汲乎多方者。常人不爲。況達人乎。以翁爲松

島神者。淡阿古耶松故事而牽合爲之說者也。今姑從鄉說而擧
于茲。　橋一。　松島橋。亘玉集。載民部卿忠教倭歌曰。踏分不能
渡紫藤開掛松島橋。今不詳其處。聞老志日。五大堂御島外。無架
橋處。五大堂有二短橋。兩岸數仞。其橫梁一斷一續空其間。橋下
水碧深千尺。臨者眩目。渡者傷神。人或比之銷魂橋。岩畔多長松。
蓋往昔有藤蔓。而花陰夙橋上。歟御島亦有長短橋。而前後有松
林。但考之紀行。則宗久來過之時。纔扁舟而通于雄島地焉。蔭幽
徑之象。乃雄島尤近矣。松島之於藤花。忠教和歌外。雲葉集上東
門院兵衛和歌。可併考。且夫和歌者流。詠藤花者。必繫之以青松。
矧於萬松鬱鬱之地。豈無繫藤蔓者乎。故末松山。松浦島之作。多
帶藤花詠之。
同鄉赤沼邑。　戸口凡二十九。産藍草。　神社一。　藍草明神社。
不詳何時祭何神。土人傳云。往古神生時數藍草而生。故稱之日。

蘊草明神。此地多產蘊草。比他所產則甚佳。　橋一。　土橋長五
間。濶一間半。
同鄕櫻渡戶邑。　戶口凡十七。
同鄕根廻邑。　戶口凡十八。　神社凡二。　羽黑權現社。不詳何
時勸請。　山王權現社。同上。　佛宇一。　阿彌陀堂。不詳何時創
建。　穴一。　長千四百十八間。濶二間。高八尺。是乃引品井湖水
之穴。而自本郡畠谷邑號明神崎地至本邑山王權現社前。不詳
何時鑿之。
同鄕初原邑。　戶口凡十七。　神社凡二。　天神宮。不詳何時勸
請。　熊野權現社。同上。　泉一。　號岩泉。　川一。　櫻川。小川也。
源出自本郡赤沼邑。而至高城蛇崎入海。　橋凡二。各土橋。　其
一。長七間。濶二間。　其二。長六間。濶一間半。
同鄕畠谷邑。　戶口凡三十六。　神社凡二。　八幡宮。不詳何時

勸請。　加茂神社。同上。　佛宇一。　觀音堂。不詳何時創建。　寺
凡二。　幡谷山德藏寺。曹洞宗。仙臺府下。妙心院第二世生室長
寅和尙開山。不詳其年月。　小谷山西光院。曹洞宗。黑川郡大松
澤邑。長福寺末寺。傳云。心岩祖胖和尙開山。不詳其年月。
同鄕小泉邑。　戶口凡十九。　神社凡三。　和光殿。傳云。一社。而
勸請首日神。鹽釜大明神。八百萬神。不詳其年月。　愛宕神社。不
詳何時勸請。　瀧明神社。不詳何時祭何神。　佛宇一。　藥師堂。
不詳何時創建。　寺一。　翔鳳山瑞竹菴。臨濟宗。本郡富山。大仰
寺末寺。傳云。往古有寺。號安養寺。不詳何時何人開山。荒廢惟存
其名。洞水和尙中興。號瑞竹菴。徙町家牌寺也。
同鄕竹谷邑。　戶口凡四十六。有號新町地。　佛宇凡二。　彌勒
堂。在號繁見山地。不詳何時創建。　虛空藏堂。不詳何時創建。
同鄕手樽邑。　戶口凡三十四。　佛宇一。　觀音堂。傳云。本尊坂

上田村麻呂護持佛。而桓武帝。延暦中。奉レ勅征二伐東夷一。誅二賊首一。凱旋時所二創建一也。　寺一。　富山大仰寺。臨濟宗。本郡松島。瑞巖寺末寺。靈元帝。寛文中。圓應禪師洞水和尚開山。義山君寄二附五十四石餘之地一。名跡志曰。去二松島東北一十里餘。近境之高嶺也。上有二大悲閣一。平城帝。大同年中。田村麻呂建二三觀音堂一。牧山。箟嶽。玆地是也。斯地也。特鍾二東南之佳美于寺前一。盡二壯觀一也。南極二桂島一。北大塚。宮戶浮二于東瀛之微茫一。松島聳二于西翠之木末一。此間俯二洲之臥二波間一也。引二棐紈一而浩浩。群島之橫二海上一也。疊二碧螺一而點點。篆烟之縷[illegible]者。繞二藻鹽一也。急雪之崩騰者。遡二江風一也。漁舟之分二綠洋一。忽生二ノ乁之字勢。布帆之接二碧天一。貢竭二隱見之目力一。加之洲渚之勁レ石。鷗之集也。林梢之點レ星。鷺之棲也。無邊之幽致。凝二于吟眸一。其富有佳美甲二天下一。故名曰二富有嶺一。　島凡三。　月星島。　松島。　卯鳥島。」

同鄉朴島。　東西六里。南北三里餘。戶口凡二十三。產二牡蠣一。名產

也。　神社一。　神明宮。不レ詳二何時勸請一。

同鄉野之島。　東西七里。南北五里半。戶口凡三十八。　神社一。　熊野權現社。不レ詳二何時勸請一。　島一。土人呼レ之。曰二加波計多山一。」

同鄉寒風澤濱。　東西十二里許。南北十五里餘。戶口凡百十七。名跡志曰。其地雖二狹小一。亦商舶集會之地也。其前巨島曰二朴島一。產二牡蠣一。極巨大甘美。尤名產也。西方巨島曰二野之島一。蠶屋富家多。東北一島曰二鷺巢島一。山形殊崔嵬峻嶸。層巖疊レ石。如二一盆石一。逆浪選二斷岩一。潮聲鳴二曲磯一。皆絕勝也。　神社一。　神明宮。不レ詳二何時勸請一。　佛宇一。　觀音堂。不レ詳二何時創建一。　寺凡二。　松洞山寒澤寺。眞言宗。本郡鹽竈邑。法蓮寺末寺。傳云。寶圓法印開山。不レ詳二其年月一。　靈鷲山松林菴。臨濟宗。本郡松島。瑞巖寺末寺。傳云。寶洪和尚開山。不レ詳二其年月一。

封內風土記卷之四　畢

封内風土記巻之五

郡邑

田邊希文奉　君命撰

名取郡。東限海。西隣羽州。界大峠。和津倉山。北面白山。南面白山。側角山。小東山。清水峠。外鏑山。諸山。北連宮城郡。南接柴田。亘理兩郡。東西七十七里餘。南北二十七里餘。（希文按。奥州風土記殘編云。名取郡東限青葉川。西限岩沼川。南限松賀浦。北限若狹山。與今之郡界不合。青葉川今之廣瀨川。岩沼川。若狹山。共今不詳其何處。）其田上下。四百十五町七畝餘。其畠上下。三千五百六十八町七段七畝餘。其貢中下。其邑六十一。（三十邑曰南方。三十一邑曰北方。）其戸三千七十八。其口三萬千三百二十四。其一萬七千四百三十男。其一萬三千八百九十四女。馬千六百三十九。郡山邑歩卒五十六口。男女凡三百七十五。馬塲邑歩卒二十二口。男女凡百七十二。馬二十。公族秋保外記氏盛家僕居其邑者。下做之。男女凡六十七口。馬二。古内賴母廣充。附屬給主士

四十六口。男女凡三百三十六。家僕居其邑者男女凡千七十一口。馬廿五。茂庭敷之助秀將。家僕男女凡八十二口。總計二千百三口。馬二十二。（邑民之外也。）神社凡二百十三。佛宇凡七十九。寺凡百十八。菴一。孝子凡八人。忠僕一人。強弓手一人。倉廩三處。木倉一。社地一。古寺跡凡三。古壘凡二十。古塚凡六。古墳凡三。舊跡凡六。經塚一。塚凡十七。馬塚一。川凡二十。山一。温泉一。瀑布凡二。嶽凡三。崎凡二。濱凡四。洞窟堂遺跡一。島凡七。道凡十三。橋凡六十八。泉一。渡一。沼凡五。浦凡二。原凡二。堀凡三。壇一。石一。堰凡二。巖凡二。澤凡三。松凡九。

根岸邑。戸口凡七十四。北長町有市店而驛也。以下至新川邑。凡三十一邑曰之北方。神社凡三。神明宮。在越路鹿落坂上。以屬仙臺府内。詳府内之條下。愛宕神社。詳仙臺府内之條下。

鹽竈社。在大年寺裡。同上。佛宇凡二。觀音堂。在鹿落坂上。同上。虛空藏堂。同上。寺凡七。正宗山瑞鳳寺。臨濟宗。詳仙臺府內之條下。經部山大藏寺。曹洞宗。同上。法輪山長德寺。曹洞宗。同上。青龍山宗禪寺。曹洞宗。同上。兩足山大年寺。臨濟黃蘗宗。同上。普門山瀧澤寺。曹洞宗。仙臺府下。宗禪寺末寺。傳云。正親町帝。永祿八年。大白和尚開山。菊水山蓮明院普門寺。天台宗。仙臺府下。光圓寺末寺。傳云。慈覺大師開基。不詳其年月。後西帝。明曆二年。寶尊法印中興。道凡二。其一。江府道。其二。羽州最上道。倉廩一。雜穀。木倉一。

平岡邑。戶口凡六十四。南長町有市店。而驛也。神社一。新山權現社。不詳何時勸請。佛宇凡三。觀音堂。不詳何時創建。藥師堂二。共同上。寺一。南谷山福聚院。曹洞宗。仙臺府下宮澤。宗禪寺末寺。傳云。後柏原帝。永昌中。通屋和尚開山。孝

子一人。邑民半兵衞。事養父母。能供爲子之職。鄉人稱之。今上帝。明和元年九月。賜金賞之。塚一。號胃塚。不詳其所以然也。或云。小人塚。相傳。仙臺城經營時。小人結黨。殺監吏。故悉擊殺之。埋其屍。斎文按。貞山君實錄曰。慶長七年壬寅三月十六日。小人。步卒等各離役。夫。發遑築堤。金森隱岐。同勘平。不詳其傳。父子爲監吏。指揮之。遑中有小人一人。晝寢者。隱岐覗之。誤爲役夫。戒其慢。而縛之。其徒憤之。相集解其縛去。勘平怒欲執之。小人等以稍衞殺勘平。併殺被縛者。其黨六十餘人。相聚其屍遁。遠藤但馬。不詳其傳。馳來叱之曰。汝等自以不虞之事。陷逆罪。速殺其黨之張本。而謝罪。免其科。不聽。反吐惡言。退去。総司茂庭石見綱元。命諸士曰。逆徒退去城下。則悉擊殺之。他日有君之譴責。則其罪在吾一人。是以諸士追之。櫻田玄蕃元親。率從者二十餘人。追之。相戰於途中。擊殺八九人。從者六七人戰死。元親亦被創數處。逆徒等漸聚其黨

百餘人。終入二覺範寺庫裡一。(今哲頭地。)而據レ之。諸士圍レ之。急攻鏖二殺之一。其首百三十一級。(或曰百七十級。)岩崎太郎。丹野總內(共不レ傳レ諱)。戰死。其餘首二小田邊大學勝成。秋保攝津定重。六七人被レ創云云。(希文少年時問二之土人一曰。小人塚爾來已五十餘年。今土人失二其傳一。曰二之加布登塚一。蓋以二胡比登。加布登。其訓音相近一誤レ之乎。)　川一。　廣瀨川。中流根岸。平岡兩邑界。　橋凡七。各土橋。　其一。長三十八間。橫二間三尺。假橋也。　其二。長二十間。橫二間。同レ上。(舊橋長八十六間。橫三間半。洪水之後爲二假橋一。)其三。在二流木堀一。長六間。橫一間。　其四。同レ上。長五間。橫一間半。其五。同レ上。長五間。橫一間。　其六。同レ上。長六間半。橫二間。　其七。在二諏訪堀一。長六間。橫一間。

沖野邑。　戶口凡五十三。　神社一。　八幡宮。不レ詳二何時勸請一。寺一。　揚陸山清涼寺。曹洞宗。仙臺府下八塚龍川院末寺。傳云。後陽成帝。慶長三年。龍川院第二世明屋和尙開山。本尊勢至觀

音。慈覺大師作。仙臺順禮三十三處。第二十七番之札處也。　古寺遺址一。　傳云。古昔有レ寺。號二清水山當圓寺一。今荒廢。惟有二其遺址一。悉爲二田圃一。　古壘遺址一。　號二西館一。不レ詳二何人所一レ居。今悉爲二田圃一。

飯田邑。　戶口三十。外伊達駿河村儀。步卒四十口。凡戶口七十。神社一。　八幡宮。不レ詳二何時勸請一。　佛宇凡二。　千體佛堂。不レ詳二何時創建一。　藥師堂。同レ上。　寺凡二。　千手山滿藏寺。眞言宗。武州江戶彌勒寺末寺。傳云。靈元帝。延寶六年。寶鏡院圓鏡坊開山。　瑠璃山藥王寺。眞言宗。京都醍醐報恩院末寺。傳云。明正帝。寛永十九年。觀正院開山。

日邊邑。　戶口凡四十二。　神社凡二。　八幡宮二。　其一。稱二高田八幡一。　其二稱二日宮八幡一。傳云。邑名本レ之。共不レ詳二何時勸請一。佛宇一。　根(モトキ)木觀音堂。不レ詳二何時創建一。傳云。本尊慈覺大師所レ造。與二落合觀音一同木。而此像以下造二落合觀音一遺林上製レ之。故稱二根木觀

音。仙臺順禮三十三處。第二十六番之札處也。古昔有寺號本木
山觀音寺。修驗者兩全院。辭範中興。以來其子孫爲別當。大番士
茂木家傳云。此本尊茂木家先祖所安置。而稱之茂木觀音。後人
誤其訓音。附會而曰根木。今無其證。不知孰是。　寺一。　光明山
德照寺。淨土眞宗。仙臺府下八塚。正樂寺末寺。傳云。後水尾帝。寛
永中。圓壽上人開山。仙臺八塚正樂寺舊跡也。　松一。　土人曰
之門松。傳云。往古歲首立門松。其後爲稻苗之鳥除。以生其根。邑
民彌右衛門者之先祖。栽之而稱門松。爾來彌右衛門家。歲首直
以此松爲門松。別不立松云。　川凡二。　廣瀨川。其源出自宮城
郡國分莊大倉邑。仙臺川之末流也。　名取川。其源出自羽州界
清水峠。經秋保。赤石。人來田。中田。至本邑。與廣瀨川會。入閖上海。
今泉邑。　戸口凡四十九。　神社凡二。　熊野神社。不詳何時勧
請。　牛頭天王社。同上。　佛宇凡二。　觀音堂二。　其不詳何時

創建。　寺凡五。　如意山寶泉寺。曹洞宗。本郡宮澤宗禪寺末寺。
傳云。後柏原帝。大永三年。宗禪寺第四世海印舜巨和尚開山。
今泉山祐善寺。淨土眞宗。京都西本願寺末寺。傳云。後水尾帝御
宇。順西上人開山。不詳其年月。　觀音山地藏院圓乘寺。天台宗。
仙臺府下。光圓寺末寺。傳云。正親町帝。元龜二年三知法印開山。
慈眼山地福寺。曹洞宗。本郡根岸邑。瀧澤寺末寺。傳云。瀧澤寺
第五世章岳京文和尚開山。不詳其年月。　光澤山寂眞坊。淨土
眞宗。本邑祐善寺末寺。傳云。靈元帝。天和中。祐念上人開山。　古
壘一。　號玄蕃館。不詳何人所居。　川一。　號古川。長百二十間。
横十九間。末流細而至淘上濱。會廣瀨川。
種次邑。　戸口凡三十三。　神社一。　蛇體明神社。不詳何時祭
何神。　寺一。　藥王山東禪院。曹洞宗。本郡根岸邑瀧澤寺末寺。
傳云。章岳京文和尚開山。不詳其年月。

二木邑。　戸口凡六十八。有下號二三本塚一地上。　神社凡二。　山王權
現社。不レ詳二何時勸請一。　稻荷社。同レ上。　寺凡二。　水白山長稱寺。
淨土眞宗。仙臺府下八塚。正樂寺末寺。傳云。玄長上人開山。不レ詳二
其年月一。　茂葉山昌林寺。曹洞宗。仙臺府下。昌傳菴末寺。傳云。雲
室和尚開山。不レ詳二其年月一。　菴一。　明恩菴。號二無山一　天台宗。本郡今
泉邑。圓乘寺末寺。不レ詳二何時何人開山一。　古塚一。　號二龜塚一。古來
之塚也。不レ詳三其所二以然一。　橋凡二。各土橋。　在二三本塚一。　其一。長
八間。　其二。長六間。橫各一間。
井土濱。　戸口凡三十七。　沼一。　號二小牛沼一。長三町。徑二十五
間。　川一。　號二浦川一。長九町餘。橫十間餘。　橋一。　長十一間。橫
一丈。土橋也。
藤塚濱。　戸口凡卅五。　神社一。　五社明神社。天照太神。賀茂。
祇園。稻荷。春日。五神一社祭レ之。傳云。後冷泉帝。康平三年。源賴義

朝臣父子。奥州征伐之時。勸二請五神於常州邑松一。一社祀レ之。其後
後花園帝。永享七年。宍戸。佐竹。野口。永倉。合戰之時。罹二兵燹一。社家
等離散。是以新開二本邑之地一。遷座云。　寺一。　金龍山高福寺。眞
言宗。仙臺府下。瀧寶寺末寺。不レ詳二何時何人開山一。
淘上濱。ユリ（國俗作二閖上一）　戸口凡百五十四。有二市店一而驛也。　神社一。
湊明神社。所レ祭春日大明神。不レ詳二何時勸請一。　佛宇一。　辨財天
堂。不レ詳二何時創建一。　寺凡三。　淘上山觀音寺。眞言宗。仙臺府下。
龍寶寺末寺。不レ詳二何時何人開山一。寺中有二後醍醐帝重祚。延元中
所レ建之古碑一。然則延元以前古寺也。　龍石山持法院。眞言宗。仙
臺府下。龍寶寺末寺。傳云。後水尾帝。寬永中。權大僧都豎空法印
開山。　龍雲山東禪寺。曹洞宗。常州額田郡小場邑。常秀寺末寺。
正親町帝。元龜中。全應和尚開山。　橋凡三。各土橋。　其一。長八
間。橫七尺。與二小塚原邑一相接。　其二。長九間。橫一間。同レ上。　其三。

長十一間。橫七尺。同上。
小塚原邑。戶口凡四十六。神社凡二。熊野神社。不詳何時勸請。愛宕神社。同上。佛宇一。觀音堂。不詳何時創建。橋凡三。各土橋。其一。號足洗橋。長五間。橫一間。其二。在新堀。長五間。橫八尺。其三。在天王堀。長十間。橫七尺。與牛野邑相接。
牛野邑。戶口凡三十三。神社凡三。八幡宮。不詳何時勸請。牛頭天王社。同上。章德權現社。不詳何時祭何神。寺一。牛野山法性寺。曹洞宗。仙臺府下。石名坂大安寺末寺。傳云。後西帝。明曆元年。通岩浦天和尙開山。
大曲邑。戶口凡二十八。神社凡二。八幡宮。不詳何時勸請。傳云。古昔小野兵庫頭(諱不詳)居處之鎭守也。兵庫頭不詳何人。天神宮。同上。寺凡二。如來山法德寺。曹洞宗。仙臺府下。泰心院末寺。傳云。圭存和尙開山。不詳其年月。土人呼之。曰南法德寺。

如來山法德寺。眞言宗。本郡植松邑。弘誓寺末寺。不詳何時何人開山。土人呼之。曰北法德寺。孝子一人。邑長甚三郞。雙親年老。事之致孝。奉養竭力。且與鄉民親睦。能得衆心。一鄉嘆美之。櫻町帝。延享五年(此年改元寬延)四月。賜金賞之。川一。號廣浦川。源出自本郡川上笠島兩邑。而入海上湊。
高柳邑。戶口凡二十九。神社凡二。多賀神社。社家傳云。景行帝二十八年戊戌春二月。日本武尊。東夷征伐之時所勸請也。雄略帝始奉圭田。行神禮式祭。社之艮方。今猶有稱神明田五段八畝之地名跡。志曰。鄉人曰之少宮。古風土記殘編云。多賀神社。圭田五十八束二字田。所祭伊弉諾尊也。雄略帝二年。始奉圭田。行神禮式祭。神名秘書曰。多賀宮伊弉諾尊洗右眼目以出神。號日豐受忌魂。亦名伊吹多主神是也。神代卷曰。伊弉諾尊。搆幽宮于淡路州。寂然長隱。亦曰。伊弉諾尊。登天報命。仍留宅於日之少

宮。鄉說呼若宮八幡非也。常人却泥鎌倉。鶴岡。若宮。八幡神號。而
日之若宮。不辨與八幡之若宮。本來且文字亦異妄傳稱之者也。
希文按。是乃延喜式神名帳。所謂多賀神社。而本郡二座之其一
也。　白鳥神社。不詳何時勸請。　佛宇凡二。　藥師堂。在大聖寺
中。傳云。本尊慈覺大師作。不詳何時創建。　丈六堂。其所在土人
呼之。曰丈六堂原。不詳何時創建。　寺一。　高柳山大聖寺。臨濟
宗。京都妙心寺末寺。傳云。徹宗和尚開山。不詳其年月。　孝子一
人。　邑民六右衛門弟久之亟。事其父母能孝。一鄉稱之。櫻町帝。
延享三年十月。賜金賞之。　王壇原。傳云。日本武尊。東夷征伐之
時休憩之處。　地藏原。有古來之石佛地藏。
四郎丸邑。　戶口凡六十。　神社凡二。　神明宮二。　共不詳何
時勸請。　佛宇一。　落合觀音堂。本尊慈覺大師所造也。傳云。後
水尾帝。寬永四年。貞山君所創建。而賜廩米三口於別當修驗大

善院。號無長山落合寺。仙臺順禮三十三處之中。三十一番之札
處也。名取。廣瀨。兩川。會于茲。故曰落合。希文按。觀迹聞老志。名跡
志。共爲本叅雲慶作者誤也。聞老志。爲此堂在袋原邑者。亦未深
考焉。　寺凡三。　法明山成就院光西寺。眞言宗。本郡植松邑。弘
誓寺末寺。傳云。後水尾帝。元和二年。宥海法印開山。　曼陀羅山
安養院蓮迎寺。淨土宗。仙臺府下八塚。成覺寺末寺。傳云。元和三
年。經蓮社良壽上人開山。　妙體山善德寺。曹洞宗。本郡宮澤。宗
禪寺末寺。傳云。此寺舊天台宗。而慈覺大師開山。乃以大師之名
爲寺號。曰善應寺。中御門帝。享保四年。有命避雄山公法諱。改號
善德寺。有大師所造觀音。文殊。普賢像。且古碑記天台之梵字。其
後。後柏原帝。永正之比。宗禪寺第四世海印和尚中興開山。改宗
曹洞。有古櫻樹二株。號雲南櫻。一株在門前二町許坤方。一株在
門前南。　古塚凡二。　其一。號大宮塚。傳云。叢塚權現社地也。

其二。號庚申塚。　社地一。　傳云。蘆塚權現社地也。每歲六月十日。擔本郡吉田邑高舘。那智山權現神輿。到潮上濱。採此社地蘆葉。注潮水於神輿云。　橋一。　長五間半。橫一間四尺。與袋原邑相接。

袋原邑。　戶口凡六十一。　寺凡二。　袋室山德袋寺。眞言宗。本郡植松邑。弘誓寺末寺。不詳何時何人開山。東山帝。元祿中。有碧法印中興開山。　妙音山寶林寺。淨土眞宗。京都東本願寺末寺。傳云。後水尾帝。寬永中。道願上人開山。　古塚一。　古來之塚也。不詳其所以然也。

前田邑。　戶口凡百六十一。中田町有市店而驛也。本邑古來稱名取鄕。或作名虎鄕者。訓音誤也。　神社凡三。　伊豆權現社。傳云。花山帝御宇。中津川源義氏所祭之神也。有棟梁古牒記云。天文七年三月二十一日。柿沼七郎建立。希文按。天文之號。後奈良

帝御宇也。柿沼七郎者。乃忠義之孫也。名跡志曰。前田橋西有舘址。土人曰之前田舘。門前設調馬埒。北西有湟址。佐々木勘解由者舊舘也。郭西祀伊豆權現。古昔中津川義氏。遇讒配東國。置之石獄。其獄址今猶在。配流已三歲。遇赦歸。主人竭力好遇。感厚意。臨別。與氏號。剏實名。改柿沼忠義。後孫降民間。往昔之刺史。牧伯。等。世所與之印璽。花押。傳在家。今藏故文書五篇。按義氏事實出釋說。與鄕人所傳不同。其舘主文田四郎高綱者也。以實名考之。是亦佐々木餘流乎。其地今曰前田橋西宅。（ニシヤシキ）後裔雖降民間。保故舘址而不失舊墟。可謂厚矣。希文按。今邑民九兵衛。武次右衛門者。乃其後裔也。　熊野神社。在明川寺。不詳何時勸請。　愛宕神社。在寶泉寺中。後西帝。寬文七年八月。勸請。　佛宇凡三。　釋迦觀音堂。安置兩佛於一堂。後水尾帝。慶長三年創建。觀音十一面觀音。而本郡順禮三十三處。第一番之札處也。　觀音堂。在寶泉

寺中。後西帝。寛文七年八月創建。本郡順禮三十三番之札處也。　十王堂。在二寶泉寺中一。不レ詳二何時創建一。　寺凡二。
熊野山明川寺。曹洞宗。仙臺府下。大安寺末寺。傳云。初號二熊林寺一。後光明帝。正保中。玉祝和尙開山。靈元帝。天和三年。大安寺二世通岩和尙中興。改號二明川寺一。　圓福山寶泉寺。眞言宗。本郡熊野堂邑。新宮寺末寺。不レ詳二何時何人開山一。正親町帝。天正十九年。正識法印中興。　孝子兄弟二人。　中田驛。邑民傳三郎及弟六之助。兄弟相共自レ幼事二父母一致レ孝。父歿後奉二養老母一竭レ力。六之助爲二人之奴隷一。其暇日必來助レ兄。共愛二養之一。兄弟共與二親族一睦。與二鄕民一和。且勵二農業一。未レ輸二賦稅一則不二嘗聊私用一レ之。鄕黨稱レ之。今上帝。寶曆四年閏二月。各賜二金賞一レ之。　名取老女舊跡。　在二路東三町一。傳云。古昔老女夫婦所レ居也。　古塚。　小石塚也。傳云。老女祭レ烏處也。有下號二烏鵲宮宅一地上。邑民源右衛門者居レ之。是乃老女之裔孫也。名

跡志曰。老女叢祠在二新宮東一里餘一。今猶存。去レ此一町餘。往時建二神烏祠一祭レ之。曰二烏宮宅一。乃古之棲遲處。烏乃以二熊野之使令一也。者文接。熊野堂邑三社緣起。龍寶寺前住實政法印撰レ之曰。規二同郡前田邑老巫遺蹤一。新造二老巫祠一。土人呼爲二烏宮一。與二邑民所一レ傳不レ合。姑記レ之備二參考一。　川凡二。　上古川。本邑及大野田。柳生三邑相接。往古洪水。名取川所レ流壅塞爲レ潴。曰二之古川一。下同。　下古川。屬二本邑一。　前田堀。本邑內泉所二涌出一。大小十有六處。本邑及四郎丸。高柳。大曲。牛野。小塚原。淘上。下餘田八邑之用水也。　橋凡三。各土橋。　其一。長九十六間。橫三間。號二中田橋一。　其二。在二淸水堀一。長五間。橫三間。　其三。在二大曲堀一。長五間。橫一間。
柳生邑。　戶口凡六十九。產レ紙。　神社凡七。　天神宮。傳云。後水尾帝。寛永中勸請。　八幡宮。同レ上。　新山權現社。同レ上。　熊野神社。不レ詳二何時勸請一。　稻荷社。同レ上。　雷神社。同レ上。　伊豆權現社。

同上。社中併安置藥師佛。佛宇一。藥師堂。不詳何時創建。
寺一。藥茂山柳生寺。曹洞宗。本郡吉田邑。秀麓齋末寺。傳云。後
陽成帝。天正十五年。秀麓齋第三世實山和尚開山。古寺跡。傳
云。古昔有寺。號延命寺。失其山號。有古碑。凡記後宇多帝。弘安以
前之年號。四百餘年來之古寺也。今荒廢。惟存遺址。川一。名
取川。偏岸屬本邑。名跡志曰。水源有二。一乃出自同郡二道清泉
嶺。經邑落而東流。至淘上濱而入于海。一乃出自吾妻岳下行澤。
而合于野尻地。其河流過中田驛北。仍曰中田川。夏秋之交設魚
簗。入數罟以捕細鱗。漁鮭。又世稱埋木灰者。燒河流沈木用之。其
色紫赤。於歌林。亦自古特賞吟之者多。風土記殘編曰。名取川貢
鱒。鮭。鯉等。又出怪石。水材。奉宮家。今不出鯉。水材者。乃沈木也。
郡山邑。戶口凡六十七。步卒五十六口。男女凡三百七十五。土
人呼之。曰諏訪步卒。神社凡三。諏訪神社。不詳何時勸請。嘗

社往古之門前。有記花園帝。延慶三年所建古碑。以是考之。則延
慶以前之古社也。牛頭天王社。不詳何時勸請。春日神社。同
上。傳云。古昔在粟野大膳。傳不詳。所居之壘內。後花園帝。寬正二年
三月十九日。宥便法印中興造建。有神木老杉一樹。周匝二丈餘。
土人稱之北目大杉。古壘一。號北目城。名跡志曰。是亦粟野
大膳故館也。慶長中。黃門君在此城。川一。笊川。源出自本郡
富澤邑海老澤。而至本邑。會名取川。
大野田邑。戶口凡四十五。神社凡二。春日神社。不詳何時
勸請。寶鼠權現社。同上。佛宇一。觀音堂。本尊正觀音定朝
作。傳云。古昔有寺。天台宗。號大龍山名取寺。清和帝。貞觀中。圓仁
慈覺大師開基。其後荒廢已久。正親町帝。天正中。舜雅僧正中興。
後陽成帝。慶長中。本山派修驗善性院爲別當。至現住威德院元
快。凡五世也。東山帝。元祿十二年。以其古跡。背山君有可稱舊

號大龍山名取寺之命。有什物。弘法大師作地藏尊。自將軍家所
賜。武州淺草觀染之千手觀音。觀染之子當院法印納。行基菩薩眞蹟不動尊。
惠心僧都眞跡三尊來迎彌陀如來。東叡山一品公辨法親王眞
翰六字名號。唐僧柏岸和尙筆痕正觀音。歷元。高泉兩和尙讚。
古壇一。土人稱之曰王壇。不詳其所以然也。

富澤邑。戸口凡五十三。神社凡五。大鷹神社。不詳何時勸
請。伊豆權現社。同上。熊野權現社二。共同上。稚兒社。不
詳何時祭何神。佛宇凡二。藥師堂。不詳何時創建。觀音堂。
同上。寺一。石立山西光寺。眞言宗。本郡熊野堂邑新宮寺學
頭末寺。不詳何時何人開山。傳云。東山帝元祿中宥雅法印中興。
橋凡六。各土橋。在流木堀。長或六間或五間。橫各一間。

富田邑。戸口凡二十。神社凡五。天神宮。不詳何時勸請。
愛宕神社。同上。牛頭天王社。同上。雲南權現社。同上。山神

社。同上。寺凡二。富藏山金昌寺。曹洞宗。宇多郡駒峯邑金龍
寺末寺。傳云。通山闍達和尙開山。不詳其年月。希文按。寺僧云。通
山後陽成帝。慶長八年八月二十五日示寂。以是考之則同帝天
正。文祿之比乎。柏葉山成就院。曹洞宗。仙臺府下宮澤。宗禪寺
末寺。傳云。嶽翁和尙開山。不詳其年月。希文按。寺僧云。嶽翁後陽
成帝。天正十五年三月十五日示寂。以是考之則正親町帝元龜。
天正之初乎。

山田邑。戸口凡二十四。神社一。羽黑權現社。不詳何時勸
請。

釖取邑。戸口凡三十七。有市店而驛也。神社一。八幡宮。不
詳何時勸請。佛宇一。聖德太子堂。不詳何時創建。寺凡二。
寶相山耕田寺。曹洞宗。仙臺府下北山。輪王寺末寺。傳云。靈元
帝。天和元年三月。松岩和尙開山。醫王山釖取寺。曹洞宗。仙臺

府下北山。輪王寺末寺。傳云。仁明帝承和二年。西翁和尚開山。

橋一。　在下往二最上一路上。長六間半。橫二間。土橋也。

茂庭邑。　戶口凡百二十六。有下號二赤石一。人來田。梨野。綱木。折立一地上。茂庭。赤石。各有二市店一而驛也。茂庭數之助秀將采地。古來之采地也。　神社凡八。　八幡宮。在二生出森一。古昔有レ寺。號二大木山雲道寺一。茂庭數之助秀將家傳云。後鳥羽帝。文治中。源賴朝卿東征之時所二勸請一也。秀將元祖河村四郎秀淸。藤姓初千熊丸。阿津加志山先登之賞。賴朝卿賜二本州耶麼。名取兩郡內數邑一。住二于本邑一以爲二稱號一。此社乃城中鎭守也。後陽成帝文祿三年。秀將八世祖茂庭駿河定置初理兵衛秀國。弟尾張義秀再興。同帝天正十七年。定置戰二死于田村門澤城一。其子上總定元初理兵衛。幼稚。義秀爲二之陣代一。定元成長之後。分二與采地於義秀一爲二別家一。本邑茂庭家世所レ住。而寄二附祭田一。義山君之世易レ賜二采地一。定元遷二于栗原郡一迫八樟邑一。公下收茂庭家所二

寄附一之祭田上。於レ是別當光明院請レ之。青山君之世。寄二附祭田二石二斗之地一。同世易レ賜二舊領之地一。秀將祖父數馬秀興移二于本邑一。

白旗神社。在下生出森麓號二白旗一地上。茂庭家傳云。元祖河村四郎秀淸及母。二位官女京極局。爲レ報レ恩祭二賴朝卿神靈一。　武內宿禰。生出八幡宮末社。而初與二白旗社一兩社也。何時荒廢乎。今同社祭レ之。稱二白旗武內大明神一。　雲南權現社。不レ詳二何時勸請一。　十二社權現社。同レ上。　道祖神社。同レ上。　貴船神社。在二生出森一。不レ詳二何時勸請一。傳云。地主神也。　熊野權現社。同レ上。　新山權現社。同レ上。　佛宇一。　觀音堂。稱二峯岸觀音一。傳云。古昔有レ寺。號二峯岸寺一。正親町帝。永祿八年三月十八日。茂庭數之助秀將九世祖河村駿河啟秀。弟峯岸上野秀信所二造立一。而本郡三十三處。順禮第六番之札處也。　寺凡五。　寶童山金剛寺。曹洞宗。本郡根岸邑。瀧澤寺末寺。傳云。章岳京文和尚開山。不レ詳二其年月一。希文按。寺僧曰。後

奈良帝。慶長十一年十一月二十一日。章岳示寂。以是考之則同帝。天正。文祿之比乎。　藥師山東陽寺。曹洞宗。本邑。金剛寺末寺。傳云。備州長香和尚開山。不詳其年月。　道閑山東岳寺。曹洞宗。本郡根岸邑。瀧澤寺末寺。傳云。明實智鑑和尚開山。不詳其年月。希文按。寺僧云。正親町帝。天正元年三月十二日。智鑑示寂。以是考之則同帝。永祿之初乎。　阿彌陀山西福寺。眞言宗。本郡植松邑。弘誓寺末寺。傳云。靈元帝。天和中。權大僧都盛濟法印開山。

瑞雲靈龜山祥岩大梅寺。臨濟宗。京都妙心寺末寺。在號綱木地。傳云。後光明帝。慶安四年。大悲圓滿國師雲居希膺和尚開山。雲居和尚嘗隱於播州勝尾山中。貞山君嘗聞其名。明正帝。寛永十三年丙子春。招之。雲居固辭不來。其夏五月。君捐館。遺命招之。義山君喪中馳价請待之。是以雲居來住于宮城郡松島瑞巖寺。十有三年。慶安三年。告老。退院來于本邑綱木山白鹿堂之舊址。白鹿

堂。貞山君嘗聞此山中有白鹿。欲捉之獻將軍家。發列卒以追之。列卒誤傷白鹿。白鹿逸驚。君大怒欲罪其傷鹿者。左右謝之。使其者延堂以贖其罪。號之曰白鹿堂。雲居來于此處。丁延堂以來三十三年也。此說本邑老民宗元者。嘗語雲居。雲居法子大梅長老所記也。而結小菴居之。號瑞鹿堂。或名繫船亭。同四年。義山君爲營搆小院。改號瑞雲山祥岩寺。尋欲寄附寺領。雲居固辭不受。後西帝。明曆中。雲居自察其地。開墾新田五十石之地於宮城郡國分荒濱。請之以爲寺領。土人曰之雲居新田。東山帝。元祿中。肯山君登盤山。時增賜五十石之地。別寄附廩米五石于雲居塔所。加號稱瑞雲靈龜山祥岩大梅寺。此地有號中分水。兩郡橋。甘泉筧。甘泉筧者。山中出清泉。以筧引之。冬溫夏冷。其味甘美。故名之。兩郡橋中分水者。寺門前有小川。名取宮城兩郡界。而以川之中央爲其界。故曰其橋號兩郡橋。呼其川名中分水。

古壘凡四。

其一。號茂庭館。傳云。自茂庭家元祖河村四郎秀清至秀將八世祖駿河定直所居也。

其二。號大館。傳云。河村四郎所居。

其三。號鑒岩館。傳云。駿河定直父河村駿河啟

秀所レ築。而其弟上野秀信所レ居也。 其四。傳云。秀清之支城也。
山一。 號二盤山一。或作二番山一。舊作二萬三一。大梅寺後之山。而名取。宮城、
兩郡之堺。舊曰二綱木山一。崎嶇羊腸陟レ之十有八町。頂上有二雲居生
前坐禪堂一。而爲二沒後塔所一。號二常寂光塔一。傳云。古昔有下號二萬二郎萬
三郎一兄弟獵人上。萬二郎者。居二于羽州界號二二口一嶽上。萬三郎者居二于
本邑綱木山一。常獵二禽獸一爲レ業。以二萬三郎所一レ居。故稱二萬三嶽一。自二雲居
坐禪于此頂上一以來。祭二兄弟一爲二本山之鎭守一。稱二仁王護國大權現一。
故置二塔面一。有二仁王護國峯之額一。堂中中央安二置雲居像一。左右安二置
兄弟像一。〔著二蓑袍一持二弓矢一。〕其文字作二盤山一者。取下於韓愈送二李愿歸二盤谷一序上。所レ
謂盤谷之間泉甘而土肥之句上。 川一。 御所川。在二茂庭市店近
邊一。其源出レ自二本郡涌澤一。以二峯岸館下之堀會二此川一。故往古邑人呼レ
之。曰二御所川一。 橋一。 長七間。横二間。土橋也。
秋保鄉湯本邑。 戸口凡三十三。 神社一。 權現社。在二大倉山一。

不レ詳二何時勸請一。 佛宇一。 藥師堂。在二泉明寺中一。不レ詳二何時創建一。
傳云。本尊惠心僧都作。 寺一。 藥湯山泉明寺。眞言宗。本郡植
松邑。弘誓寺末寺。傳云。後水尾帝。寛永二年。祐賢法印開山。 温
泉一。自レ古稱二名取御湯一是也。治二諸瘡一。名跡志曰。在二名取川之上流
秋保地一。鄉黨呼二秋保温泉一。古昔勅封。故加二御字一以尊レ之。古詩亦有二
御湯搖蕩雙龍影句一。 洞窟堂遺址。 名跡志曰。在二名取温泉北一。
洞中記二文字一曰。平治二年。鄕說曰。往時釋慈覺開二精舍于此一。時刺
史不レ好レ佛。一日出漁二獵河畔一。得レ魚多。令下寺僧荷二鮭魚一運中細鱗上。寺主
大不レ樂。捨レ寺去之二羽州一。別開レ地。今曰二寒居山立石寺一是也。此地乃
其舊址。曰二洞窟堂一。 古壘一。 號二小屋館一。傳云。秋保盛津〔諱傳不〕所レ
居。 川一。 秋保川。源出レ自二羽州最上界清水峠一。而末流曰二名取
川一。 橋一。 臨潭橋。架二于秋保川一。長十五間。横一間。土橋也。名跡
志曰。入二御湯一板橋也。過客臨レ岸下。則下流澹澹水色如レ藍。殆駭レ矚

必倚レ欄。高興尤多。曰二臨潭橋一。橋下有二大石一。高六間。長八間。廣四間。土人曰二之八間石一。

同鄉境野邑。　戸口凡三十八。　神社凡七。　月山權現社。在二大倉山頂上一。不レ詳二何時勸請一。　奏神社。在二大倉山中央一。不レ詳二何時祭二何神一。、羽山權現社。在二大倉山麓名取川斷崖七八丈上之岩上一。名跡志曰。其下瀉二碧潭一。祭二八幡。熊野。稻荷一。有レ寺曰二醫王山藥師寺一。小松內大臣重盛公所レ建。不レ見二其寺跡一。今役徒居レ之。藏二古笈一。高設二三架一。表裡朱レ之。希文按。邑民傳云。藥師寺天台宗也。後宇多帝。建治二年六月二十九日。爲二修驗者一號二醫王山藥師寺光善院一。小松內大臣重盛公。四世之孫廣綱。假設二役徒之姿一下向。光善院始祖爲二先達一而同行。住二驗于藥師寺一。名跡志。所レ謂古笈。乃其所レ負也。八幡宮。在二同處一。不レ詳二何時勸請一。　稻荷社。同レ上。　熊野社。同レ上。山王權現社。今無二其社一。遺址在二岩間一。　寺一。　溪谷山保壽寺。曹

洞宗。相州小田原。海藏寺末寺。傳云。海藏寺第五世。照山永松和倘開山。不レ詳二其年月一。希文按。寺僧曰。開山以來歷二二百十餘年一。以レ是考レ之。則正親町帝。永祿之初乎。　道凡二。　其一。往二柴田郡笹谷一間道。　其二。往二宮城郡國分一道。　橋凡二。　其一。在下往二最上一路上。長六間半。横一間。　其二。在二關澤一。長五間半。横一間。

同鄉長袋邑。　戸口凡百三十七。有二市店一而驛也。公族秋保外記氏盛采邑。　神社凡八。　諏訪神社。傳云。後柏原帝。永正十年。平次太郎讃岐守彈正少弼盛房所二勸請一也。每歲七月二十七日。行二祭禮一。有二流鏑馬之式一。　熊野神社。地主神。而諏訪神社之末社也。傳云。伏見帝。正應三年庚寅勸請。　稻荷明神社。　雷神社。　奏神社。　以上三神一社祭レ之。不レ詳二何時勸請一。　神明宮。本郡總鎮守也。不レ詳二何時勸請一。傳云。此社往古在下號二並木一地上。　館明神社。本邑鎮守也。未レ詳二何時勸請何神一。　石神。本邑鎮守。而以二大石一爲レ神

體無社。石高二丈八尺。周圍六丈許。傳云。往古稱之曰名取石。近世祭之爲疱神。　寺凡二。　飯富山向泉寺。曹洞宗。本郡吉田邑。秀麓齋末寺。傳云。正親町帝。天正元年正月。安邦詮心和尚開山。　檜澤山大雲寺。曹洞宗。相州小田原。海藏寺末寺。傳云。天正十二年六月。大州梵守和尚開山。　古壘凡二。　其一。號長館。傳云。公族秋保外記氏盛。先祖平次太郎盛房所居。　其二。號楯山。傳云。古昔大曲某（名諱共不傳。）者所居。　古墳一。　靜子墳。傳云。源義經愛妾靜子之墓。呼其地曰清水窪。　川凡三。　秋保川。　野川。　源出自本郡新川邑。宮城郡國分莊作並邑。兩邑深山。而至國分莊愛子村。會大倉川。名取。宮城。兩郡之界。而偏岸屬本邑。　砂金川。源出自柴田郡本砂金邑。號三方倉地。而至本郡境野邑。會秋保川。河上名取。柴田兩郡之界。而下流屬本邑。　橋凡四。各土橋。　其一。架野川。長二十二間。橫二間。　其二。在前澤。長十一間半。橫

二間。　其三。在向泉寺前。長五間。橫一間半。　其四。在白澤。長五間半。橫二間。與宮城郡國分莊愛子邑相接。

同鄉馬場邑。　戶口凡七十一。有市店而驛也。號野尻。地亦驛也。此處有步卒二十二口。男女凡百七十二。　馬二十。　邑民之外也。有奧羽界番所。號二口。　神社一。　愛宕神社。在上館。不詳何時勸請。　寺一。　瀧本山西光寺。眞言宗。仙臺府下。龍寶寺末寺。不詳何時何人開山。　古壘凡二。　其一。號上館。傳云。平次太郎盛房。仲子賀澤左衛門（諱不傳。）所居。　其二。號豐後館。傳云。秋保攝津（諱不傳。）所居。名跡志曰。左衛門後孫曰秋保攝津。永祿中。居此館。秋保氏其先出平清盛。歷資元長基。至基盛。始來于奧州。住名取郡秋保邑。以爲氏。其十四世有彈正直盛者。乃攝津氏始也。天正十九年。深谷月鑑。欲下之最上而囑中義光上。攝津丞知留之此館。依貞山君命。令其子長門。善太夫兄弟刺之座上。殺從者數人于

浴室。君賜親翰以賞其功。　瀑布一。秋保大瀑布。秋保川之流。
而直下十二丈五尺餘。廣一丈五尺。名取川之源也。名跡志曰。在
林中岑巒之地。直下十餘丈。勢如曳練如紊絲。白玉碎石上。明珠
跳水底。山上繞青松。澗中交紅樹。斷岩絶壁殆非凡境。千尋錦瀧
轟蒼壁。萬丈銀河舞翠巒者。彷彿于茲。山中之奇觀也。　川一。
號深野川。乃秋保川流也。　嶽凡三。　吾妻嶽。名跡志曰。在新川
邑境。與龍駒嶽相接。秀群山甲一國。長天凝黛色。百里透青冥。西
疆之大嶽。州人盡仰屏顏。故名曰東奥嶽。　龍駒嶽。名跡志曰。與
吾妻嶽相並。山上無樹。唯生茆草。郷人曰。山中有龍駒。時出而食
草。往往有見之者。仍名之。　盤神山。是前文茂庭邑盤山條下。所
謂古昔獵人万二郎者。所居之山也。名跡志曰。在新川西南龍駒
山南。蒼崖相峙。翠屏相並。上有青松紅樹。下有屈曲潺湲。層々峨
々巖巒列亘。凡二十餘町。瀑雲常生於足下。宜霧長鎖於面前。空

洞幽邃擁斷岸。峭壁聳峯。遶長流。渾與人境大異也。霧時有山人。
不詳產何地焉。兄曰盤次郎。弟曰盤三郎。容貌魁岸。性好田獵。常
在山澤。疾走輕捷。跋涉峯巒谿澗。恰若飛仙羽客。郷俗以爲地仙
之儔焉。未詳其所終也。後人祀之爲山神。仍稱棲遲山岳。曰盤神
山。其山西曰陽盤神。其山東曰陰盤神。山頂曰欄形嶺。後來以其
遺像置于最上立石寺洞中。以祭之。郷談曰。天陰雨晦。四顧寥々。
或有坎坎伐木者。其聲已數百人。談笑響林木而止。明旦求之其
地。則聊無見之者矣。或偶然遇異客于幽邃之間。忽然失所在。而
不知其之處。如此奇怪往々有之。蓋魑魅罔兩之類。感寂寥而臻
茲乎。　橋凡三。各土橋。　其一。在往最上路越中澤。長六間。横二
間。　其二。在同上深野川。長二十一間。横二間半。　其三。在同上
彌五澤。長八間半。横一間半。
新川邑。　戸口凡三十二。　橋凡四。各土橋。　其一。在山田前渡

戶。長十間。横八尺。 共二。在鹿下渡戶。長七間。横一間。 共三。在細口澤渡戶。長五間。横一間。 其四。在野尻。長六間。横一間。

增田邑。 戶口凡二百八。有市店。而驛也。以下至寺島邑。凡三十邑。曰之南方。 神社凡十二。 大宮明神社。所祭大巳貴命。不詳何時勸請。 諏訪明神社。不詳何時勸請。 荒神社。同上。 蛇塚妙見八幡宮。同上。傳云。所祭天御中主尊。而本邑七處祭七代之天神。其第一神也。配祀應神帝。 大塚明神社。同上。所祭天國狹槌尊。而七處天神第二神也。傳云。往古大塚也。後光明帝。慶安三年。增田市店經營之時。穿之而取土之後爲圓。社亦小。而聊存其址已矣。 神明塚明神社。同上。所祭豐斟渟尊。而七處天神第三神也。往古有塚。是亦慶安之經營。爲市店。而惟存其名也已。 狐塚明神社。同上。所祭泥土煮尊沙土煮尊。而七處天神第四神也。往古有塚。今亡。其事同上。 天神塚明神社。同上。所祭大戶道尊。

大戶邊尊。而七處天神第五神也。 第六天神社。同上。所祭面足尊。惶根尊。而七處天神第六神也。傳云。當社南圃有塚。號馬塚。往古本郡小豆島邑。牛頭天王之神事。天王神輿經過當社前時。晴天忽晦冥雷震。而神馬斃。埋之築塚。號馬塚。祈牛馬之疾。有驗應云。 守宮塚神明社。同上。所祭伊弉諾尊。伊弉冊尊。而七處天神第七神也。其社今荒廢。惟有小塚。而存其名而已。 雷神社。 愛宕神社。共同上。 佛宇一。 觀音堂。不詳何時創建。本郡三十三處。順禮第五番之札處也。 寺凡三。 谷田山耕龍寺。曹洞宗。越後州村上。耕雲寺末寺。傳云。後土御門帝。應仁元年。天初藥源和尙開山。希文按。天初和尙者。當家第十一世大膳大夫持宗君第五男。而嘗爲輪王寺住持。此寺開山。持宗君卒前也。有持宗君考妣之靈廟及靈牌。 後島山東巖寺。曹洞宗。仙臺府下。輪王寺末寺。傳云。輪王寺第八世秀山禪益和尙開山。不詳其年月。 月輪

山日輪寺。眞言宗。仙臺府下。龍寶寺末寺。未レ詳二何時何人開山一。
修驗一人。妙見山大本寺廣積院。修驗者流。伊具郡金津東光
院末寺。傳云。後柏原帝大永中。智光先達之法流。豐州彥山靈山
寺南谷華藏院。客僧權小僧都阿吸房法印則傳先達之徒。慈心
坊祐慶開基。初號二金剛院一。賜二十石之地一。有下什物春日作觀音。慈覺
作勢至。弘法作地藏。定朝作彌陀。自二湯殿山一所レ出之不動。弘法所レ
描大威德明王。祐慶自書大般若經一卷。祐慶所レ持五鈷。金剛兵
衛盛高作陣太刀。二尺八寸 大般若經六百卷上。 忠僕一人。邑民平
兵衛奴隸勘七。悉仕竭レ力。能致二忠勤一。鄉民稱レ之。賜レ金賞レ之。不レ詳二年月一。 其
犢一。 土人曰二之一本木一。周圍二丈五尺許。傳云。三百年來之
老樹也。 川一。 增田川。本郡熊野堂邑六鄕大堰之分流而入二
本郡洵上濱海一。 橋凡三。各土橋。 其一。架二增田川一。長十間半。橫
二間半。 其二。號二舟橋一。長七間。橫八尺。 其三。號二水口橋一。長十間。

橫一間半。 道凡二。 其一。江府道。 其二。往二柴田郡一道。
下增田邑。 戶口凡百六十四。有下號二高野一地上。 神社凡五。 神明
宮。不レ詳二何時勸請一。 稻荷社。同レ上。 熊野神社。同レ上。 雷神社。傳
云。後水尾帝寬永三年勸請。 明神社。不レ詳二何時祭二何神一。 佛宇
凡五。 藥師堂。本尊慈覺大師作。不レ詳二何時創建一。 觀音堂。本尊
德一大師作。不レ詳二何時創建一。本郡三十三處。順禮第二十一番之
札處也。 地藏堂。不レ詳二何時創建一。 十王堂。同レ上。 聖德太子堂。
同レ上。 寺凡五。 藥師山東光寺。眞言宗。本郡植松邑。弘誓寺末
寺。不レ詳二何時何人開山一。 阿彌陀山延命寺。眞言宗。弘誓寺末寺。
不レ詳二何時何人開山一。 阿彌陀山高福寺。眞言宗。同レ上。 福聚山
慈眼寺。曹洞宗。仙臺府下。泰心院末寺。不レ詳二何時何人開山一。 光
明山觀音寺。眞言宗。本郡熊野堂邑。新宮寺末寺。不レ詳二何時何人
開山一。 孝婦一人。 邑民長兵衛養子正兵衛妻。能事二舅姑一致二婦

道一。鄉賞レ之。櫻町帝。寬保二年十二月。其生涯賜二廩米十五俵一賞レ
之。　川凡二。　廣浦川。偏岸屬二本邑一。　前川。古川也。周匝三百二
十間餘。國俗舊川流。而今爲レ湖者。凡日二古川一。　沼一。　鷲沼。周匝
二百間餘。　塚一。　經塚。　橋凡三。各土橋。　其一。號二城內橋一。長
七間半。横一間半。　其二。號二柚木橋一。長横同レ上。　其三。號二飯塚橋一
長横同レ上。
杉ガ袋邑。　戸口凡六十三。　神社一。　八幡宮。傳云。靈元帝。寬文
四年勸請。　佛宇一。　毘沙門堂。在二塚上一。塚高三丈五尺。周匝七
十五間。不レ詳二何時創建一。　寺凡二。　霞景山法雲寺。曹洞宗。仙臺
府下八塚。松音寺末寺。傳云。後水尾帝。寬永六年。民國麟泰和尙
開山。　椙袋山觀福寺。眞言宗。本郡植松邑。弘誓寺末寺。不レ詳二何
時何人開山一。　橋一。　號二懸之橋一。長十一間。横一丈。
下餘田邑。　戸口凡七十三。產二莞席花席等一。　神社凡十二。　鹿

島神社。傳云。正親町帝。天正中。大內因幡諱不レ傳。者。所二勸請一。而本邑
之鎭守也。　熊野三社。傳云。昔名取老女所二勸請一也。不レ詳二其年月一。
老女事實詳二于條下一。　白山權現社。不レ詳二何時勸請一。社地有二古碑一
記曰。貞和三年丁亥二月日。希文按。貞和之號。光明帝御宇也。
神明宮二。　共同レ上。　富士權現社。同レ上。　荒神社四。　共同レ上。
佛宇凡二。　觀音堂。不レ詳二何時創建一。　地藏堂。同レ上。　寺凡二。
歡喜山圓滿寺。曹洞宗。相州小田原。海藏寺末寺。傳云。後花園
帝。寬正元年。海藏寺第三世太州梵守和尙開山。　明正山眞福
寺。曹洞宗。本邑圓滿寺末寺。傳云。後西帝。萬治元年。圓滿寺第七
世一翁呑藝和尙開山。　古墳一。　名取老女墓。邑人傳云。七十
四代鳥羽帝御宇。本邑有二老女一。常信二崇熊野神一。屢到二于紀州一。老衰
羸憊。不レ能レ到二于紀州一。居宅傍建二小社一以拜レ之。偶有二修驗者一。尋二老女
所在一來宿。謂二老女一曰。我欲下到二本州一觀中松島之勝景上。以會二崇熊野神一。

先到紀州假殿社前。夢中有一老翁。整衣冠持梛葉告我曰。奧州名取郡有老女。汝到奧州。則當與此一葉於老女。夢覺而見之。則枕頭有一葉。採而見之。則梛葉上如蟲食而有一首和歌。曰。美知登遠之歲茂以津志加老仁計利。思比平古世與我毛忘禮志。是以感其神感之所致。尋來授彼一葉於老女。傳夢中之神託。老女拜讀不堪感淚。曰。我自少崇熊野神。到紀州有年。今老憊不能到彼地。故建小祠。日日拜之。乃伴彼修驗到小社。共拜神命之辱。修驗者亦甚驚嘆其奇異之神感。爾來老女命名無人不稱之者。烏羽帝。保安中。別造營三社於近邑。今熊野堂邑三社。是也。本邑三社。乃老女所建之叢祠也。香文按此鄉說與熊野堂邑三社緣起所記。大同而小異也。姑記之以備參考。緣起載于熊野堂邑三社係下。

上餘田邑。　戶口凡四十七。　神社凡二。　天神宮。不詳何時勸

請。　八王子權現社。同上。　寺一。　圓通山普門寺。曹洞宗。本郡根岸邑宮澤。宗禪寺末寺。傳云。後西帝。明曆二年。宗禪寺第十三世關翁和尚開山。　孝婦一人。　邑民二兵衛妻。櫻町帝。寬保三年八月四日。其舅遇狂猪而殆危。其婦乃與之相角。舅亦助之。以鎌殺之。救其急難。其翌月賜金賞之。　島凡七。　土人曰之七島。古來有之。長或五六間或七八間。橫各可一間半。其形如舟。其間各可七間。在田中。未詳其所以然也。　經塚一。　塚上有古碑。石面記經文且應永十三年十月二十日。香文按應永之號。後小松帝御宇也。

田高邑。　戶口凡二十八。　神社凡二。　神明宮。不詳何時勸請。　山神社。同上。　佛宇凡二。　十王堂。不詳何時創建。　阿彌陀堂。同上。　古寺址。　古昔有寺號唯道寺。失山號。　不知其宗及本寺。何時荒廢乎。惟存其遺址。爲邑民之地。　強弓手一。　御山君之世。

本邑有長之助者。膂力過人。常師信州處士。曾根六左衛門入道默岑。能射一寸二分強弓。君擧之賜祿。令教射強弓者。爾來國中多射強弓者。

吉田邑。　戶口凡百十九。有號三日町地。　神社凡六。　那智山權現社。熊野堂三社之其一也。傳云。元正帝。養老三年六月。自本郡閖上濱鎮坐于本邑。稱羽黑權現。名取老女勸請。後鳥羽帝。保安中。造營那智山權現社于當山。鳥居在三處。祭料每歲寄附庫米三石五斗。　山王權現社。那智之末社也。不詳何時勸請。　春日神社。同上。　神明宮。同上。　愛宕神社。同上。　一宮八幡宮。在修驗大光院宅中。傳云。養老以前所勸請也。　佛宇凡三。　觀音堂。傳云。三十二代用明帝御宇草創。有寺號那智山物響寺。初號羽黑山。那智權現勸請之後。改號那智山。往古有二十四坊。及三百石寄附之地。亂世之後衆坊荒廢。其地亦失之。往古七間四面

之堂也。後光明帝。慶安二年。罹回祿。今僅方二間之假堂也。　阿彌陀堂。傳云。本尊慈覺大師作也。今三間四面之假堂也。往古有寺。攝州天王寺末寺。而號清水山阿彌陀寺。慈覺大師之開基也。東山帝。元祿十三年以來無住。而羽黑派修驗明覺院爲監司。改換寺號爲修驗之院號。遂失寺號。　中御門帝。享保十四年。明覺院死後。眞言宗僧定元。請本寺江府靈雲寺。稱光照菴。後柏原帝。永正三年丙寅三月。當家第十三世。大膳大夫尚宗君寄附阿彌陀寺造替之材木。其書今傳藏于光照菴云。　不動堂。不詳何時創建。　寺凡五。　天苗山秀麓齋。曹洞宗。越後州耕雲寺末寺。傳云。安祁佺心和尚開山。不詳其年月。　峻石山紹樂寺。曹洞宗。羽州山形。安養寺末寺。傳云。月岑宗碩和尚開山。不詳其年月。　永谿山長性寺。眞言宗。本郡植松邑。弘誓寺末寺。不詳何時何人開山。　那智山物響寺。眞言宗。武州江戶。彌勒寺末寺。傳云。用明帝之

御宇嘗創。開山僧名不傳。豊前州宇佐宮慈現法印中興。不詳其年月。那智權現之別當也。永正中。當家十三世尚宗君。造營殿堂。是以安置十二世成宗君。尚宗君靈牌。二十世肯山君新尊考雄山君冥福。命讀誦普門品三十三萬卷。歷三年而終功。故雄山君靈牌亦安置焉。往古有二十四坊。今悉荒廢。惟存其名。有尚宗君所賜之書。及造營舊記等。無住時附託禰宜治兵衛者。肯山君世公收之。　清水山光照菴眞言宗。江府靈雲寺末寺。阿彌陀堂之別當也。傳云。其初號阿彌陀寺。慈覺大師開山也。其事實詳載于阿彌陀堂條下。　秀衡時。　古來有此名。不詳其所以然也。今爲邑民之地。鑿之。則偶有古瓦之類。

熊野堂邑。　戶口凡百十四。有號餘方地。　神社凡二十三。　熊野新宮證誠殿。本宮十二社權現。傳云。以上二社。及本郡吉田邑那智權現社。曰之三社。烏羽帝。保安四年癸卯勸請。有賴朝卿以

來諸家之古文書數通。賴朝卿奉納馬具流鏑馬綾藺笠。及三條小鍛治宗近作鴈股鏃。社領三十石。祭料廩米三石五斗。每歲九月九日祭禮。有流鏑馬。神主二人。社家七人。流鏑馬射手二人。名跡志曰。新宮。本宮。那智曰之三山。如今考之地理。則新宮。本宮兩社在此邑。那智則在吉田邑。此地新宮地。別證誠殿。爲新宮。西宮爲本宮。若宮殿爲那智。建三社。而祭之。側有老女宮。以學頭別當司新宮外社。司六人。巫女一人。騎射二人。圍之。以九月九日爲社日。本宮曰之總師堂。五郎右衛門者司之。以四月八日爲社日。祭之。那智曰之高舘權現。有觀音堂。別當曰物響寺。禰宜曰次右衛門。以六月十日爲社日。祭之。緣起說曰。昔年名取郡有巫女。信紀州熊野三山。參詣有年。老後不堪長途。烏羽帝保安四年。勸請三山神祠於名取河南。東稱若宮殿。中號證誠殿。西宮傍建宮。曰之老女祠。山頭祭高舘權現。又建著逝堂及寺院十六區。頻繁隨時。禮典無

息。爾後。崇德帝。保延中。有役徒欲赴奧州而遊松島平泉辭東行而臥于證誠殿。有少童告言。東奧有名取老女者。尊當社多年。老嵐不相見久矣。須憑汝傳語。且付此一品也。役徒醒來。枕上有椰葉。上有文字。乃和歌也。曰。美知登乎志土之茂伊豆支加於伊尼計里。於毛比乎古世與和連茂和須禮志。役徒東行。傳之老女。悲歎感動不覺涕淚之墮。乃引役徒示其地曰。斯地幸有三山之形勢。於是擬證誠殿。左右皆末社也。西北有原野。移飛鳥鄉。西南有瀑布。象那智飛龍。名取河流爲音無川。合其地理方角者。自然之奇遇也。役徒聞老女語。對地理狀。驚曰。是乃神感之所致也。按新古今神祇部。載熊野神詠。小同大異。上句不同。姑存以備參考。道遠之程茂遙仁隔里奴。思比於古世與我毛忘連之。　護法善神宮。不詳何時勸請。　老女社。同上。今荒廢。惟存遺址。　八社宮。同上。　愛宕神社。在社外。不詳何時勸請。　閼伽井明神社。同

上。　稻荷社。在衆從西光坊地。同上。　石尊權現社。在學頭坊寺中。同上。　神明宮。同上。　日月社。在邑民之地。同上。　飛鳥明神社。同上。　第六天神社。同上。　音無天神社。同上。傳云。神體菅丞相所自作也。　春日神社。同上。　住吉神社。同上。　佛宇凡六。辨財天堂。不詳何時創建。　文珠堂。傳云。聖武帝。天正中。行基菩薩之開基。而本尊同作之秘佛。勸願處也。往古自諸國。奉納書寫之一切經三千餘卷。歷年之久。蠹喰損失許多。今所有者二千卷許。稱德帝。天平神護以來。至光明帝貞和之間。奉納施主姓名歲月箇書今猶存。一切經中有記寶龜三年天台山主覺道律師上人經。希文按。寶龜之號。光仁帝。踐祚元年也。　金剛童子堂。在別當坊寺中。不詳何時創建。　太子堂。在邑民之地。同上。　地藏堂。在衆徒往生院地。同上。傳云。本尊行基菩薩作。　鐘樓。傳云。飛彈工匠所造也。鐘銘曰。大日本國奧州名取郡。於熊野新宮寺。奉鑄

鐘長四尺一寸。口二尺六寸。重二百貫目。自苑到來之聖蒙十方檀亦助成。天長地久。御願圓滿。爲只木殿大檀那源臣大膳大夫持宗。並總代官三河守朝時。同福田殿。櫻田殿。馬場殿。文安三年丙寅十月八日。此人工柱永。希文按。文安三年。後花園帝。十八年也。只木。櫻田等。各當家舊臣。其書大檀那。亦當家十一世之君也。然書源臣。未必無疑。蓋誤書歟。其文鼻拙。有不可解者。姑記之備參考。　寺凡二。　熊野山新宮寺。眞言宗。京都醍醐。報恩院末寺。不詳何時何人開山。新宮寺總名。而有學頭坊一院別當坊一院。而掌社務。往古有衆徒十七坊。辻之坊。東光坊。極樂坊。竹圓坊。馬場坊。往生院。福智坊。來迎坊以上八坊今猶存。西光坊。柳泉坊。梅澤坊。橋本坊。中之坊。北林坊。井上坊。寶光坊。山本坊以上九坊。今荒廢。惟有坊址而已。學頭坊。後水尾帝。寬永中。國分彥九郎盛重。息男玄性房舜濟法印中興。別當坊。後陽成帝。慶長中。宗雄法印

中興。　今成山圓生院。曹洞宗。仙臺府下松音寺末寺。傳云。松音寺十一世大然存覺和尙開山。　川一。　名取川。　橋一。　香爐橋。在社前。長二間餘。橫二間餘。古來之橋也。　堰凡二。　共一號六鄉堰。本郡南方二十四邑。北方八邑用水。　堀凡二。　號上堀。下堀。六鄉堰之分流。而本郡南方二十四邑用水。　共二號十二鄉堰。本郡南方二邑。北方十邑用水。

坪沼邑。　戶口凡九十五。有號赤石。板橋。地赤石有市店而驛也。

神社凡二。　八幡宮。傳云。元明帝。和銅四年勸請。　愛宕神社。不詳何時勸請。　佛宇一。　觀音堂。不詳何時創建。　寺凡二。金玉山寶善寺。淨土宗。仙臺府下八塚。善導寺末寺。傳云。深達社信譽源察和尙開山。不詳其年月。　佛光山善敬寺。淨土眞宗。京都西本願寺末寺。傳云。正親町帝。天正七年四月。了開和尙開山。古壁一。　不詳何人所居。　川一。　赤石川。偏岸屬本邑。其源

自北本郡秋保川。西柴田郡碁石川。東流入本郡閖上湊。名取川
之上流也。　沼凡二。　可方九尺。傳云。本邑名本此沼。　道一。
往柴田郡道。
川上邑。　戸口凡八十。有號箕輪。足水地。　神社凡三。　熊野神
社。在赤坂山。傳云。後陽成帝。慶長五年庚子勸請。貞山君命造營
其社。同年四月十七日辰初刻。熊野神依本郡前田邑民。藤兵衛
者家女而有神託。且彼女登本邑赤坂山。爲奇異之事。邑長民藤
左衛門到玉造郡岩出山。以其事告貞山君。乃令茂庭石見綱元
到本邑。質其事實。造立其社云。　同末社。六座子守宮。禪師宮。飛
行夜叉宮。若王子宮。兒宮。勸請土所宮。聖宮。一萬金剛童子宮。凡
八宮。爲六社。缺文　按。此末社多佛名。習合兩部者也。　愛宕神社。
不詳何時勸請。傳云。舊在東山之頂。後水尾帝。寛永十七年六月
二十四日。移祭于今之地。　佛宇凡二。　觀音堂。傳云。本尊慈覺

大師所作。不詳何時創建。　地藏堂。傳云。本尊惠心僧都所作。同
上。　寺凡二。　地愛山慶藏院。曹洞宗。仙臺府下。松音寺末寺。傳
云。靈元帝。延寶元年。大然存發和尚開山。　龍吏山金剛寺。　眞
言宗。本郡熊野堂邑。新宮寺末寺。不詳何時何人開山。　岩凡二。
在番士遠藤義三郎者之宅地。　其一。呼之曰隱里。岩高三丈
餘。周匝三十間餘。　其二。呼之曰錢神岩。高五丈餘。　古壘凡二。
其一。號大舘。傳云。阿部貞任砦也。　其二。號大形山舘。或稱桑
島舘。不詳何人所居。　橋一。　號小左治橋。小橋也。傳云。往古自
京師盧無僧號小佐治者。到此地臥病而死。葬之植松。有石碑。記
曰。永和二年五月晦日。名跡志曰。鄕人日之小左治橋。雄小元有
於訓。後人誤爲古之訓。永和中。有桑島宮内者。甚張威福而稱善
人。有一女。號幾世。有容色。鄕有山上雄幸者。男色動鄕黨。倶同門
巷。幾世他時見雄幸。思念日夜不息。私通艷書。而終有雲雨之會。

爾後履欲ニ交會ニ而不レ能焉。幾世不レ耐ニ眷戀思慕之切ニ。詠ニ一首之悲歌一。投レ身而死。死時年十有六。雄幸亦遂死ニ于情一。年二十有一也。郷人哀而立レ石。題曰ニ幾世墓一。永和三年三月十日歿。雄幸墳亦隔レ川爲ニ參商一。有ニ小橋一。往時雄幸微行之地。土人曰ニ之雄幸橋一。希文按。幾世石碑記ニ永和二年丙辰三月十日一。名跡志爲ニ三年一者誤也。永和之號。後圓融帝御宇也。　川一。　背熊川。小川也。其源出レ自ニ柴田郡界一。入ニ廣浦川一。　澤一。　號ニ足水澤一。本邑及大野田兩邑用水。

鹽手邑。　戸口凡五十一。　神社凡五。　佐具叡神社。是乃延喜式神名帳。所レ謂本郡二座之其一也。今其社荒廢。社地爲ニ邑民之地一。名跡志曰。其社廢。今其地曰ニ北野宅一。而無レ社。風土記殘編曰。佐具叡神社。圭田五十束三字田。又假案獻ニ半毛一。所レ祭高皇産靈尊也。孝德帝二年丙午三月。始來ニ圭田一行ニ神禮一。有ニ神家巫戸等一。　住吉神社。傳云。源義家朝臣東征之時祭レ之。　宇南權現社。不レ詳ニ何

時勸請一。　稻荷社。同レ上。古來稱レ之曰ニ山崎神社一。　娩神權現社。不レ詳ニ何時祭ニ何神一。　佛宇凡二。　地藏堂。傳云。本尊惠心僧都作。不レ詳ニ何時創建一。　藥師堂。不レ詳ニ何時創建一。土人曰ニ之鹽之藥師一。傳云。往古有ニ老僧一。汲ニ鹽出山下所レ湧之潮水一。煑レ鹽令ニ童子十二人與ニ之衆人一治レ病。於レ是祭レ之稱ニ鹽之藥師一。號ニ其鹽所レ出山一曰ニ鹽出山一。鹽釜所レ在曰ニ竈之前一。名ニ其邑一號ニ鹽出邑一。又有下號ニ鹽河原一地上。今書ニ鹽手一者誤矣。名跡志云。郷人曰ニ之鹽手邑一。笠島北邑埋ニ實方馬具之縹環一。縹者固結也。所ニ以繫ニ鞦鞅于鞍下之環一。而固ニ結馬具一者也。郷俗不レ解ニ文字一。書ニ鹽手一者。不レ當。皆誤也。仍改書ニ縹環邑一。希文按。此說與ニ邑人之所レ傳大異。姑記レ之備ニ參考一。　寺凡二。　青苗山鹽手院。曹洞宗。本郡根岸邑。宗禪寺末寺。傳云。後土御門帝。明應六年。海印舜巨和尚開山。　鹽福山永禪寺。曹洞宗。本郡根岸邑。宗禪寺末寺。傳云。明巖邦譽和尚開山。不レ詳ニ其年月一。　古壘一。　傳云。源義家

東征之時所營陣也矣。　中將實方朝臣之墓。傳云。實方朝臣者。
大納言定時卿之子也。一條帝。長德四年戊戌。有罪貶陸奧守。介
探今古倭歌之名地。過本郡笠島邑道祖神社前。不敬。乘馬驀騰
頓仆。實方忽落傷身。同年十一月十二日。遂卒于此地。葬之築塚。
每歲十一月十二日。邑民祭之。稱國司祭。中御門帝。享保七年十
一月四日。獅山君詣道祖神之時。命之修補焉。名跡志曰。在邑中
山頭。鄉人曰之北野宅。一條院御宇墜行成于殿上。仍貶奧州刺
史。註解今古和歌名地。因問阿古屋松。到羽州千歲山。歸路過笠
島社前。里人不知其神祭猿田彥。妄以道祖神淫女告之。實方不
敬。時乘馬龍鐙頓仆。實方忽落馬傷身去不幾歿。鄉黨以爲神之
所罰也。想自神明之至德言之。則夫然乎。偶馬驚而自取害而已。
里人不知其本源。不辨其實事。於是後人欺神明。誣鬼神。遺妄說
乎末代。尤可痛恨矣。然無實之以復正之人。實方非罪之證。見花

山帝敕作。及能宣。隆家。公任。數翠之和歌。和歌略之。行成叨誹實方于
帝前。故實方懊憤恨。亦宜哉。嗚呼一條帝一時之英君。不察其是
非。縱行成而惡實方。使千載之下寥寥乎。無曉喩糺明之者。空實
方陷不恭之罪。神明負非義之祟。然其實方非罪之誠不可掩。至
今里人村老慕實方。辨不辜。愛其人若父子之親。敬其人若君臣
之義。不斥言。而直來稱中將君之情。古今不變。其證見西行詠墳之詞。并宗久紀行中。其
實今猶古。其聲名不朽之證可視。是以一堆之古墳。千歲之下尙
貴之。樂天所謂龍門原上土。埋骨不埋名者。宜哉。是乃其遺址也。
馬塚。　在道祖神社。一町許北古道中。傳云。埋實方朝臣所乘
之馬處。　假屋處。　在社乾三町。傳云。實方朝臣落馬時。構假屋
于此。而療養處有掛其笠松一株。土人曰之笠掛松。　臥蓍山。
在馬塚邊。傳云。實方朝臣落馬時。作家蓍處。　肆戶崎。　在社西
北五町許。傳云。實方朝臣臨終遺言曰。吾得社罰而死。宜肆屍以

懲祓後人。邑民如其言。二三日而葬之。故號肆戶崎。　馬立處。傳云。源義家朝臣東征之時。陣營于本邑。作廐于此處。今號馬立宅。名跡志曰。社西北七町餘。寶方落馬停馬地也。鄉人曰馬立宅。　竈前。　傳云。往古設釜煑鹽處。名跡志曰。寶方火葬之地也。火化處。俗曰竈地。死者之於火化也。猶烹爛魚鱉於竈中。故曰竈地。希文按。馬立處。竈前。名跡志所記與邑人所傳大異。姑記之備參考。　野田崎。　傳云。古跡也。不詳其所以然也。　野田泉。　同上。鏡橋。　同上。

手倉田邑。　戶口凡四十七。　神社凡三。　諏訪神社。　不詳何時勸請。　道祖神社。同上。本郡笠島邑。道祖神祭日神輿之旅宮也。　水神社。稱玉島明神。同上。希文按。風土記殘編載玉島神社。疑此社乎。　佛宇一。　太子堂。不詳何時創建。　寺凡二。　勇瑞山吉祥寺。曹洞宗。仙臺府下松音寺末寺。傳云。舊號倉田寺。無本

寺。正親町帝。永祿元年。花翁和尚開山。後西帝。明曆元年。松音寺十世能岩文藝和尚中興開山。改號吉祥寺。　普門山自性菴。曹洞宗。本郡吉田邑。秀麓齋末寺。傳云。正親町帝。天正元年。香菴貞磯和尚開山。　十三塚。　在箱崎山。傳云。古昔京師聖僧十三人。到本邑而共死。其葬之處。　翠津松。　有二株。傳云。古昔號道孝者夫婦。自京師來。而共死于本邑。其葬之處。　橋一。　號高橋。土橋也。長九間半。橫一間五尺。

飯野坂邑。　戶口凡七十八。古道之西方山中。有羽黑權現大社。以其坂中出飯。邑名號飯野坂。　神社凡三。　羽黑權現社。不詳何時勸請。在路西。傳云。往古大社。而有末社。坊舍許多。中古荒廢。悉爲烏有。僅存本社。七八十年前有其礎石等。今皆爲圃。社地亦爲邑民之地。稱宮下。居其處者不能食禽獸。若有食者。則必有咎祟。有方四間許之古井。殆非人力之所致。故邑民不用之。登其社

地之坂號飯野坂。往古坂上出飯故云爾。邑名亦本之。今所存細逕。而爲農夫耕作之路。　鹿島神社。在號淡路山地。不詳何時勸請。　雲南權現社。傳云。春日所勸請也。不詳其年月。　佛宇凡二。　觀音堂。不詳何時創建。本郡三十三處。順禮第十八番之札處也。　藥師堂。傳云。惠心僧都甞製藥師佛於參州鳳來寺。負之巡行諸國。到本邑。建堂安置之。號羽黒山五色寺。歷年之久荒廢。正親町帝。天正中。號慶算修驗者中興。至今十一世相繼號光明院。什物有弘法大師作不動。及地藏。春日作地藏。天竺鑄佛。般若佛。聖德太子所書不動。妝溪和尚所書瀧見觀音。　寺一。　無量山明觀寺。淨土眞宗。京都西本願寺末寺。傳云。後花園帝。文安二年。祐密和尚開山。　桃花巷。自增田驛到岩沼驛之路也。傳云。此地甞多桃樹。花時背山君過此邑。甚賞花有命。家家門前列樹桃之。爾來樹枯則復植之以遺愛。名跡志曰。飯野坂邑。園圃門巷多

植桃樹。大守綱村君。一春南行路過此邑。斯日也桃花盡開。紅白交枝。滿邑之豔陽甚可愛。君停輿顧從臣賞嘆曰。此弊邑居民雖少。風光殊富。如疊錦。然稱之花區可矣。鄉人因大守語。家家栽培桃樹。認太守之遺愛於後世。以比之甘棠。且大守平日長詩歌。發雅情于此。是地亦可謂鄉隣之玄都觀矣。

植松邑。　戸口凡百三十九。　神社一。　石神。在號中之崎圃中。土人稱之行石。靈石也。櫻町帝。寬保二年五月。獅山君歸國時。有尋問而覽其石。搆其兩庇。同年冬。放鷹時再覽之賜金。　佛宇一。　觀音堂。傳云。弘法大師所製。而嵯峨帝。弘仁中。弘法大師創建。寄附二十石之地。　寺一。　金剛遊山觀音院弘誓寺。眞言宗。城州御室御所仁和寺末寺。傳云。嵯峨帝。弘仁中。弘法大師開基。而後堀川帝。寬喜之比。大師法嗣實惠附法弟子。慈猛房良賢上人中興。什物有天竺眞言五祖善無畏三藏眞筆。蓮絲織兩界曼荼

羅。弘法大師眞筆法華經。佐藤次信眞筆紺紙金泥阿彌陀經。弘法大師眞筆辨財天畫像。土佐筆不動畫像。宅磨筆愛染明王畫像。唐畫般若十六善神。附法弘法大師弟子實惠大德附屬佛舍利。弘法大師作勢至。及木像。十三佛。十王塑像。大日如來。同地藏。行基菩薩作藥師。智證大師作帝釋天。韋陀天。正親町帝綸旨。等。

倉廩一。 儲蓄雜穀。 孝子一人。 邑民喜吉。能事其父母。有孝。今上帝。寶曆九年六月。賜金賞之。 古壘一。 傳云。觀音堂所在。古來稱古舘。 植松之松。 在觀音堂山下道西。傳云。往古曰之花輪松。是此處地名號植松之標也。 津久毛塚。 在道西。或曰雉塚。古來有之。不詳其所以然也。

小豆島邑。 戸口凡六十四。 神社一。 牛頭天王社。所祭素戔嗚尊。少將井。稻田姬命。三神一社。傳云。清和帝。貞觀十二年。自播州明石浦廣峯。奉遷本邑祭之。 寺凡二。 醫王山光圓寺。眞言

宗。本郡植松邑。弘誓寺末寺。不詳何時何人開山。 水月山慶雲院。曹洞宗。仙臺府下。松音寺末寺。傳云。松音寺第九世民國麟泰和尚開山。

笠島邑。 戸口凡百四十六。 神社凡三。 道祖神社。所祭猿田彥大神。奧玉命。天鈿女命。相殿祭之。傳云。垂仁帝。御宇八津峯鎮座。雄略帝御宇造營宮社。後陽成帝。慶長中罹野火。宮社及額朝卿以來之古書舊記。悉燒亡。州人祈男女婚姻。造陰相掛之于社前。以爲報賽。至近年猶然。社家宍戸長門守禁之。今無掛之者。社南一町餘曰馬塲宅。有雙石礎。古昔鳥井之址也。今猶存名跡志曰。道祖神。是乃神代猿田彥命。天孫降臨之時。始啓行。仍爲道祖神。祖始也。道乃路也。因又稱岐神。岐字誤路岐也。乃道路之義。是亦猿田彥神號也。原道之至極。則生生不息之名。於是推爲男女婚姻神妙和合之祖。又稱幸神。人家可尊仰之天神也。古來鄉

里所傳之妄說曰。此神祭洛陽賀茂川西一條北。出雲路道祖神女。彼女生前私通商賈。故所謫流死于此地。州人立祠祀之。以上元夜爲社日。又九月十九日。令神輿舁于北釜。修禊而還。一州所神而有應。則作陰相褰之。蟠龍子曰。道祖神乃猿田彥太神也。上古迎瓊瓊杵尊降臨于天八達之衢。天鈿女命問之。答曰。吾名猿田彥。今雍州出雲路道祖神也。鹽竈記。亦曰之道辻神是也。神名異記曰。伊勢度邊郡大土公神社。猿田彥太神。新古今集淑望詠猿田彥和歌曰。久堅乃天能八重雲振別天降志君乎我曾迎邊之。其說如此。道祖神女通商人事。不見正史神籍。若俗說則邪神而淫祠也。今川了俊紀行。播州四竈鄉有出雲路社。造陰相掛之云。按古實方經過問其神。邑人因循苟且。不知猿田彥之垂跡。以出雲路淫奔之女而妄答。實方賤之無意崇敬。故不及下馬。不意馬仆人傷。後人不解。以爲神之祟而不疑。自是誣神誤理。夫神明

之於德。豈若愚婦怨女以祟報疾怒而急鷙實方乎。不幸此時偶然遭逸馬之難。習鄉里之小人不肖之妄說。世俗之雜話傳聞之謬誤耳。然實方之遺名因此地而聞。神名之社號因實方而傳。所其出之來由邪正。不可不兼載併記焉。此神非鄉說女神。猿田彥也。實方之死非神咎。不意之薄命也。　伊都岐島神社。土人曰之辨財天社。所祭市杵島姬命。不詳何時勸請。傳云。後陽成帝慶長七年罹野火。舊記緣起等悉爲烏有。　下幸神社。名跡志曰。去社南三町餘。手倉田。飯野坂兩邑之間。有小社。曰之下幸神。祭日本社之神輿憩于此地。　寺凡三。　長德山普福寺。眞言宗。本郡熊野堂邑。新宮寺末寺。不詳何時何人開山。　瑠璃光山安養寺。眞言宗。同上。　笠島山智福院。曹洞宗。仙臺府下。松音寺末寺。傳云。後花園帝。寶德元年十一月。能州總持寺前住。松音寺第十一世大然存覺和尙開山。　大塚一。　高可二十丈。周匝百間餘。不詳所

以其然。認ㇾ鐵杉。　古木今亡。後來栽ㇾ之以易ㇾ之。名跡志曰。在二道祖神社西川內澤一。秀衡往昔上京經二此地一。射二路傍老杉一。而賀二京師首途一。從者各進二鋒鏑一。後西帝。明曆中。古杉猶存。根圍一丈二尺。他日鄉人欲三伐ㇾ之爲二舶料一。坎坎仆ㇾ之。鳴動之聲滿二鄉隣一。剖ㇾ之遺鏃頗多。於ㇾ是人皆知二舊說傳話之不一ㇾ虛。然不ㇾ堪二貪利之情一。造功已畢。泛二諸滄溟一。其前宵有二妖聲一。未ㇾ幾而損壞。此時雖ㇾ悔而無ㇾ由。土人呼二之矢立杉一。　東奧道路。　名跡志曰。古杉下有二一細路一。是古昔東國通行之道。鄉人曰二之吾妻行路一。和俗呼二道路一。渾曰二海道一。白石先生賀二海邊之外一。可ㇾ改ㇾ之。然世俗不ㇾ用。仍從二方言一。希文按。白石先生者。文照院殿近侍儒。新井筑後守君美也。　澤一。　號二川內澤一。本邑及植松。下野鄉。三邑用水。　橋凡二。各土橋。　其一。號二舟橋一。長五間半。橫一丈。　其二。號二袖橋一。長五間。橫一丈。

北目邑。　戶口凡八十六。有ㇾ號二原地一。　神社凡三。　諏訪神社。不ㇾ

封內風土記　卷之五　郡邑

二百七十一

二百七十二

詳二何時勸請一。　八幡宮。同ㇾ上。　雷神社。同ㇾ上。　寺凡二。　開川山福壽院。曹洞宗。本州須賀川。長祿寺末寺。傳云。後柏原帝。永正五年四月開山。僧名不ㇾ傳。　益葉山松林寺。曹洞宗。本邑福壽院末寺。傳云。東山帝。元祿元年八月開ㇾ山。僧名不ㇾ傳。

志賀邑。　戶口凡八十三。名跡志曰。古昔所ㇾ謂指賀莊。乃今之志賀邑也。按亦鄉俗誤二文字一于今之地。風土記殘闕曰。公穀六百七十二束三毛田。假粟五百六十五束三字田。貢二駿馬。栗。梅。櫻一。　神社凡二。　神明宮。不ㇾ詳二何時勸請一。　八幡宮。同ㇾ上。　佛宇凡三。　藥師堂。傳云。淸和帝貞觀二年。慈覺大師所二創建一。而堂宇飛驒工匠造ㇾ之。　觀音堂。不ㇾ詳二何時創建一。傳云。本尊慈覺大師作。　不動堂。以ㇾ石造ㇾ之。在二不動瀑布一。　寺凡二。　岩松山洞林寺。曹洞宗。本郡北長谷邑。長谷寺末寺。傳云。安室領應和尙開山。不ㇾ詳二其年月一。正親町帝。天正五年六月五日。安室遷化。　岩窟山嚴藏寺總樹

慈院。天台宗。仙臺府下。仙岳院末寺。傳云。淸和帝。貞觀二年。慈覺大師開基。岩窟有㆘石匣及號㆓硯水㆒水㆖。名跡志曰。有ㇾ寺曰㆓岩窟山岩藏寺㆒。貞觀二年。慈覺所ㇾ開。善逝堂亦自作。脇持日光。月光。運慶作。有㆓丈六彌陀堂㆒。後有㆓經塚㆒。傍有㆓一山㆒。稱㆓山王森㆒。下有㆓不動瀑布㆒。爲文殊。名跡志爲㆔此寺在㆓北長谷邑㆒者誤也。　不動瀑布。　高可㆓二丈㆒。廣可㆓三尺㆒。　澤一。　號㆓志賀澤㆒。本邑及小川兩邑用水。

小川邑。　戶口凡四十九。　神社一。　貴布禰神社。不ㇾ詳㆓何時勸請㆒。　佛宇一。　觀音堂。不ㇾ詳㆓何時創建㆒。今荒廢無ㇾ堂。本尊安㆓置于岩沼鄉。竹駒寺末寺。不ㇾ詳㆓何時何人開山㆒。蓮花寺。惟存㆓遺址㆒。　寺一。　觀自山大悲院蓮花寺。眞言宗。本郡

長岡邑。　戶口凡三十五。傳云。往古稱㆓長岡鄉㆒。　神社凡三。　牛頭天王社。傳云。地主邑民八郎太夫者。每歲六月十五日掌㆓祭事㆒。朱雀帝。承平中。八郎太夫發祖。勸㆓請尾州津島之神㆒。八郎太夫所ㇾ

耕之田。有ㇾ號㆓六月田㆒。是古昔之祭田也。社地有㆓樫之大樹三株㆒。各周圍二丈餘。　神明宮。不ㇾ詳㆓何時勸請㆒。社地有㆓大樹之樫㆒。周圍一丈七尺餘。　熊野神社。不ㇾ詳㆓何時勸請㆒。邑人或傳。是亦爲㆓老女所㆒勸請㆒。　寺一。　巖谷山長德寺。曹洞宗。黑川郡宮床邑。龍岩寺末寺。傳云。虎應和尙開山。不ㇾ詳㆓其年月㆒。後西帝。万治元年七月朔日。虎應示寂。

三色吉邑。　戶口凡五十一。　神社凡三。　熊野神社。不ㇾ詳㆓何時勸請㆒。　雷神社。同ㇾ上。　水神社。同ㇾ上。　寺凡二。　平等山東安寺。曹洞宗。越後州耕雲寺末寺。傳云。後土御門帝。延德二年。玉應慶陰和尙開山。　大羅山高雲菴。曹洞宗。本邑東安寺末寺。傳云。後陽成帝。慶長四年。了堂文紹和尙開山。

北長谷邑。　戶口凡四十七。　神社凡二。　明神社。傳云。和銅二年所㆓勸請㆒也。明神不ㇾ詳㆔祭㆓何神㆒。　雷神社。同ㇾ上。　佛宇凡二。　大

日堂。不詳何時創建。　地藏堂。傳云。後西帝。萬治三年創建。寺
凡二。　巖屋山長谷寺。曹洞宗。羽州山形法祥寺末寺。傳云。後柏
原帝。大永二年。竹用和尙開山。　朝日山新東菴。曹洞宗。本邑長
谷寺末寺。傳云。東山帝。元祿元年。宗屋全超和尙開山。
南長谷邑。　戸口凡百五十九。有號玉崎地。　神社凡三。　新山
權現社。不詳何時勸請。　妙見社。不詳何時祭何神。　諏訪八幡
社。不詳何時勸請。　寺凡三。　龍谷山臨硯寺。曹洞宗。羽州山形。
法祥寺末寺。傳云。最初開山僧名年月共不傳。　後奈良帝。天文
二年。白圓和尙中興。名跡志曰。在千貫松嶺北武隈西。相傳。往時
爲由利若愛鷹綠丸所建也。有大悲像。曰長谷觀音。南北邑名出
于此。鄕說曰。由利若夫人。想海曲久文房具。締小硯于鷹翼而放
之。杳空不耐重。墮而死。後人葬山畔建寺是也。或說曰。邑名之出
非此寺焉。康平中。賴義建寺。摸長谷佛像。曰岩屋山長谷寺。南北

邑落以據此寺號云。希文按。康平之號後冷泉帝御宇也。　深谷
山眞珠院。眞言宗。本郡岩沼鄕。竹駒寺末寺。不詳何時何人開山。
深谷山延命寺。眞言宗。本邑眞珠院末寺。不詳何時何人開山。
古壘凡二。　傳云。古昔長谷紀伊守（傳不詳）者所居也。　千貫松。
名跡志曰。上有新山叢祠。山下有寺。曰深谷山眞珠院。嶺上青松
萬株。隨山勢之高低而相連數十町。有屈曲有平直。交翠排青。商
舶漁舟。汎于滄溟者。或有泛泛而失西東。則杳望此嶺松而得其
方隅。詳其邑落於是。有大安其意者。畏劣之心以爲縱價以千貫
而嘗之。亦未爲過多焉。故棹郎舟子貴重嶺松。而所爲標準相稱。
乃名以此鄙稱也。　東平王塚松。　名跡志曰。千貫松嶺以東山
下有古塚。栽青松十二株。相傳。異邦人東平王客死于茲。瘞戸於
山下。以眷戀鄕里之情切也。塚上草木枝葉靡然盡向于西。觀者
發追慕云。宗久紀行亦爲異邦人。按東平王者按察使之尊稱也。

續日本紀。大野東人。神龜元年。東國節度使。同三年。東海東山節度使。兼鎭守府將軍。國分式次第曰。東平王是也。或記曰。大野東人。惠美朝獦稱東平王。橘諸兄稱葛城王云云。因是考之。爲按察使之人死于此之墓也。鄕俗不知之而謂異邦人。宗久亦不知古書。踏襲鄕俗之說矣。經國集十四。賦伴成益奉試得東平樹詩。經國集。淳和帝。天長四年丁巳。令滋野貞主選自慶雲四年（四十二代文武帝十）一年丁未。至天長四年（五十三代淳和帝。四年丁未。）之詩文（凡九十七年）。新撰朗詠集懷舊部。載江以言松竹對策文之一句。然則此樹名入騷人墨客之吟也久矣。　緣丸石。　名跡志曰。千貫嶺深山祠西有二石。東面立。緣丸者。由利若所飼鷹名。戀其主而至諸居。傳昔于夫人死後化石。因言此地。古之元海島也。　玉崎莊。　郡邑不詳。名跡志曰。武隈以南。古昔所謂玉前（サキ）之地也。鄕俗誤文字稱之玉崎。風土記殘編曰。公穀三百五十二束。假粟二百八十六丸。貢紅花。粟。梨。楊梅等。

古內賴母寮館居其邑。者男女凡千七十一口。馬二十五。

稻藥渡。　阿武隈川渡口也。　八塵橋。　在號玉崎地之濱。傳云。自仁明帝承和九年。小野篁東行之時稱之。　阿武隈川。　其源出自本州石川郡。歷數郡。而至亘理郡荒濱湊入海。　橋凡四。各土橋。　其一。號岩下前橋。長五間半。橫一間半。　其二。號新田前橋。長五間半。橫一間半。　其三。號三反田橋。長五間半。橫一間半。

其四。號三本杉橋。長五間半。橫一間半。

岩沼鄕。　戶口凡三百二十一。屬邑未詳。有市店而驛也。傳云。往古稱此地曰武隈。不詳自何時稱岩沼。來蓋以城邊有號岩沼沼也。有號廉塘地。古內賴母廣充采邑。附屬給主士四十六口。男女凡三百三十六。　神社凡五。　雲南權現社。在城中。不詳何時勸請。　雷神社。同上。　八幡宮。在竹駒寺中。同上。　命婦社。同上。

竹駒神社。緣起略曰。仁明帝御宇。承和九年小野篁爲陸奧守赴任時。詣城州紀伊郡伊奈利山。恭請稻荷明神爲國府鎭護。神明

神二感其懇到之情一。假現二白狐形一。登乃函レ之。舁到二鎭守府一。登三途過二名取郡南長谷邑橋一。狐啼八聲。登怪レ之開レ函。則白狐奔走入二武隈茂林中一。不レ知二其所一レ往。登規二其地一。造二營神社一。附來稱二其橋一曰二八聲橋一。後世訛呼曰二彌五郎橋一。後冷泉帝御宇。能因法師。雖レ坐レ詠二鬼門關之和歌一。以レ不レ親二遊其境一。爲二遺憾一。永承年間。攜レ笈躡レ屐遊二歷奧州一。隨レ處尋二奠所レ立明神社一。漸到二武隈一。適遇三童子乘二竹馬一。法師問二明神鎭座地一。童子指二點西林一。無レ所二酬答一。猶策二竹馬一。走二入靈區一。法師因悟二神教一。不レ堪二忻嘆一。建二寺社頭一。相二羊於武隈一。二三年于茲。廼以レ騎二竹馬一號二竹駒寺一。其後漸就二荒廢一。無二治レ之者一。後奈良帝。天文六年。當家十四世植宗公傷レ之。周二覽古跡一。再二興神祠及寺一。且寄二附本郡小豆島邑一。此寄附之地。今無レ有焉。不レ詳何時公收及二其員數一。後光明帝。寬永二十一年。此年改二元正保一。十八世忠宗君謀曰。此社開創以來。甲乙相續。克底二于今一。不レ翅九百年之久一。一旦使二其壇壝墜一。我門之耻也。何不レ起二其廢一乎。越寄二附本郡押分。南長

谷。兩邑內四十八石之地一。以備二祭禮之費一。中御門帝。享保七年。二十一世吉村公。寄二附柴田郡圖墻邑內二十石之地一。永充二宮社修補料一。每歲二月初午日。有二祭奠式一。當初奧州國司源重之。俊房等。皆獻二神馬一。伯樂爲レ群。列レ市百日。其間貿易牧馬。是賑二初午祭禮一者也。名跡志曰。乃祀二稻荷明神一。其名相傳久矣。社邊有二八幡雷神。愛宕叢祠一。及大悲小堂。社後有下稱二寶窟一地上。而斷岸之半腹有二狐窟一。鄉俗以爲二此石窟乃稻荷之神室一也。其眞體乃封狐之精。如今現二棲於窟中一矣。大古變二小童一。騎二竹馬一來。故武隈文字易レ之以二竹駒一。且訓音相通。而幸取二能因所レ開之武隈之舊號一。爲二今之寺號一也。因岩沼隣鄉邑落廢二舊號一。而信二新名一。崇二野狐一。頗如レ神。每歲仲春午日爲二祭時一。行二祭禮一。具二盛饌及生雞于窟前一。則封狐出來食レ之而盡。人以益信レ之。按。稻荷者。考二神書一。則倉稻魂也。豈以二封狐一祭レ之耶。且以レ狐爲レ說。蓋別有レ說。妄不レ可レ信。豈直指二封狐妖獸一而嘗二其神一哉。然諸州不レ

辨其本實。爲老狐之精。因循來而無革者。於大成經亦遺其惑。繇茲浮屠役徒附會揚言。豈足取之耶。尤可痛恨之至也。如今原其作俑。想夫斯地大古建社。祀倉稻魂。來以年代之久。或廢其祭。或失社地。亦未可知焉。爾後有一般凡俗愚昧者。閑先時之舊說。而將復興之。然其人文盲無智。故不擇古傳。不問舊墟。設用俗間之說。眞信封狐之僞說。且幸有此狐窟。而以爲神迹之所垂焉。乃建神祠。以訓音彷彿地名之舊號。而號竹駒明神。易本號失舊名者臻茲。烏乎爲神道者。委浮屠雷同。無質其妄誕僞說。令神明遂蒙此淫號矣。且謳之擧竹駒之說迷後人。以卑俗之字。而易大古神號。鄕里之小人。豈信用竹馬而取長途哉。（希文按。用竹馬而取長途之戲。與緣起所言異。想夫一說歟。）是乃市童之玩好。幼冲之嬉戲。而以此卑說。永慢其神。誣其號。今博考之載籍歌書等之中。及此事實。擧此地名者。未嘗一言出于古人舊說焉。然後人凡庸。妄附會。強立言者。可知爲耳。自是推其

義。則可謂莫大之重科也。切怪神明不加罪。神官不能咎。故俾鬼神永歸淫號。妄陷于妖獸。汙辱穢褻之甚可擧嘆哉。寺院相傳。釋能因所開。稱武隈寺者。乃依其地名之美稱也。能因乃橘諸兄後裔。橘忠望孫肥後守元愷子。實名永愷。少而入學。稱肥後進士。任長門守。住古曾部。平日愛和歌。以藤長能思慕。未會其人。一日竊車而過長能宅前。値車仆轍損。令人召其車。幸其佇立彷徨謁長能告志。執師弟之禮。問其法。長能教示以山間楓葉灑雨作。自是益進其精微。一春之洛。宿大江公資五條洞院家。是爲愛南庭櫻花也。後薙髮。稱能因。於歌林亦鳴翹楚矣。從範因朝臣之伊豫國。時州內有旱魃之憂。刺史請能因奉禱雨和歌于一宮。忽有神感。而靈雨沛然。苗浡然立。後詠白河秋風絕唱。世人膾炙。竹田大夫國行者。取途于東奧。過此關山。於是新粧衣服。人怪問之。則言此關門有能因一章名歌。如何以故衣褻服歷此地。其所貴重也。如

此。能因遊二于東奥一。或著二八十島記一。或賞二名蹟一而建二精舍一。今之武隈寺是也。有二加久夜長帶刀節信者一。以二好事一而鳴二于世一。他時逢二能因一互悦。能因出二一握于懷中錦囊一。示曰。是乃往昔長柄橋柿也。節信欣然。彼亦囊中出二一奇物一。看レ之。則井手乾蝦蟆也。共催二高興一歎二風雅一去。然後世凡僧野衲之徒。妄改二稱號一易二地名一。而曰二寶窟山竹駒寺一。　佛宇凡七。　辨財天堂二。　其在二城中一。未レ詳二何時創建一。　藥師堂。同レ上。傳云。舊在二城中一。正親町帝。天正十三年。泉田安藝重光爲二城主一時。移二于今之地一。　弘法大師堂。在二竹駒寺中一。不レ詳二何時創建一。　觀音堂二。　其一。在下號二觀音崎一地上。稱二朝日觀音一。　其二。在二竹駒寺中一。其不レ詳二何時創建一。　寺凡六。　寶窟山竹駒寺寶珠院。眞言宗。城州醍醐。報恩院末寺。傳云。後冷泉帝。永承中。能因法師開山。事實詳載二于竹駒神社條下一。有下什物法華經一部。傳云。先帝女院寄附。記曰。嘉元第三暦仲冬初八日。平氏女敬白。希文按。嘉元之號。後二條帝御宇也。大般若經一部。涅槃像一幅。記云。美濃州神淵山

龍門寺永充供養。貞和三年丁亥六月十五日書。僧宗久模二張思恭筆一。希文按。貞和之號。光明帝御宇也。唐畫十六善神。弘法大師筆不動。智證大師筆不動。筆者不レ知不動。及八大童子。惠心僧都筆愛染明王。唐畫虎。縉紳家墨痕阿武隈川武隈松古歌手鑑。鄉山君眞筆和歌。同跋文花押之緣起。同神號旗。忠山君眞筆神號旗等上也。　寶珠院。號無山。眞言宗。竹駒寺傍院也。與二竹駒寺一同二其院號一。不レ詳下其所二以然一及何時何人開山上。　西光山岩沼院高福寺。眞言宗。本邑竹駒寺末寺。不レ詳二何時何人開山一。　鵜岩山天龍寺光明院。眞言宗。同レ上。　大乘山法常寺。曹洞宗。本州須賀川。長祿寺末寺。傳云。正親町帝。天正中。長祿寺六世大華和尙開山。貞山君寄二附八石之地一。義山君。加二增五石之地一。　普門山慈眼院。曹洞宗。本邑法常寺末寺。傳云。理山和尙開山。不レ詳二其年月一。　古壘一。號二鵜崎城一。又稱二武隈館一。傳云。往古源重之朝臣所レ築也。正親町帝。天正以前。不レ詳二何人居レ之。自二天正之初一。泉田安藝重光居レ之。其後

石田將監。大木不休。遠藤兵部。屋代勘解由。齋藤新藏人。安久津新右衞門。奧山出羽。同隼人。同大學。伊達兵部少輔。古内主膳。古内肥後。田村右京大夫。古内造酒助。相代居之。靈元帝。貞享四年以來。古内民部子孫相繼居之。　倉廩。　在下號藤塲地上。　雙根古松。　或曰。武隈松。名跡志曰。去社二町餘。阻岩沼驛西五町餘。今臨其地。一松交翠。馬鬣垂枝。怪其違舊時之傳說。土人曰。之武隈二木松。希文按。清輔奧儀抄云。此松非舊有。宮内卿藤原元善爲大守時。館前始栽之。後罹野火。源滿仲爲任時栽之。其後又失之。橘道貞之任栽之。其後孝義爲任。伐之以造橋。遂爲鳥有。世人以爲殺風景之人。袖中抄顯昭說亦然。今所存者。後人所繼栽。而自古其枯則復栽以存其名勝。今見元善朝臣。再任時所詠和歌序詞曰。以所舊有者枯故令栽以繼之。是乃與奧儀抄袖中抄所言異。書之以備參考。　鼻輪松。　名跡志曰。常館西五町餘。上小坂

入其地。雙松相並。枝葉繁茂。按。奧儀抄或稱二株松。或曰。鼻輪松。混爲一所同樹。皆傳聞想像之說也。唯源重之之歌意爲別樹。且夫志趣亦暗兩株之意。據歌林良材說。則又混兩地而爲一處。如今點檢其樹。實別樹也。於是始信焉。重之之實見不可誣矣。以此人而可爲正說也。觀迹聞老志曰。自古稱來曰武隈雙株松。一日臨其地。須有兩樹。而却存一株。與其名稱不相合也。以重之和歌考之。則稱鼻輪者一樹。而往昔名二木者。須兩株也。然則今所存松。實稱鼻輪者。而鄉俗失其舊地乎。此却稱二木松乎。又名寄裡書及歌人說曰。武隈二木松在館前也。於是歷世古松枯盡。則依舊繼新松者。亦見乎古書中。按。今所存松亦元有雙樹。而一株枯槁。唯餘一根歟。二木。鼻輪稱來久矣。然古書前人之說。異義紛紛。繁多蕪雜。落著不分曉。故今舉諸說而辨之。藻鹽草引奧儀抄。而始謂武隈鼻輪松。而末篇混二木而說。色葉集亦相同。歌林良材始

謂二二木一。而後混二鼻輪一。又未合爲二二木事一。袖中抄事謂二二木一事。而
能因。季通。深覺。之歌亦同二其旨一。唯源重之特誕然爲二別樹一。且於二歌
意一亦如レ詠二一松樹一。是乃身踏二其地一。而所二親見一之證。尤可レ貴也。二木
乃須レ取二袖中抄之義一。鼻輪乃須レ信二重之之說一也。　遠望浦。　名跡
志曰。非二地名一。岩沼以東。大洋之渺茫。極目已遠。故以二悠遠之狀一而
稱レ之。遠望浦自下入二橋爲仲之吟一來上。却似レ稱二地名一。其亦看二歌意一可レ知
也。　鼂塚。　不レ詳三其所二以然一。　阿武隈川。　偏岸屬二本邑一。　橋凡
四。各土橋。　其一。號二丸沼橋一。長八間。橫三間。　其二。號二外除ソトヤラヒ橋一。長
十間半。橫三間餘。　其三。號二古川橋一。長十間。橫一間。　其四。號二三
間橋一。長六間。橫二間。　道凡四。　其一。江府道。　其二。阿武隈川
渡航往二亘理郡一道。　其三。四。共往二柴田郡一道。
本鄕邑。　戶口凡九十八。有下號二六閒一地上。　神社凡三。　熊野神社。
不レ詳二何時勸請一。　八幡宮。同レ上。　雷神社。同レ上。　佛宇凡五。　觀

音堂。不レ詳二何時創建一。　阿彌陀堂。同レ上。　藥師堂。同レ上。　聖德太
子堂。同レ上。　辨財天堂。同レ上。　寺凡三。　南宿山眞福寺。眞言宗。
本郡植松邑。弘誓寺末寺。不レ詳二何時何人開山一。　熊野山八幡寺。
眞言宗。本郡植松邑。弘誓寺末寺。不レ詳二何時何人開山一。　深淵山
妙圓寺。天台宗。仙臺府下。仙岳院末寺。傳云。羽州羽黑派行人金
剛院祐全上人。弟子亮永開山。不レ詳二其年月一。此寺舊在二栗原郡宮
澤邑一。中御門帝。享保六年。移二住于本邑一。　橋一。　號二二間橋一。長七
間。橫二間半。
押分邑。　戶口凡百二十六。有下號二二倉一濱上。　神社凡六。　神明宮。
傳云。廢帝。天平寶字六年。惠美朝臣朝獦所二勸請一也。有二自レ古傳來
日月旗一。長七尺四寸。橫幅三尺八寸。日紅色徑三尺五寸。月白色
徑三尺五寸。古物而盡喰且破裂。　川口明神社。在二阿武隈川邊一。
石宮也。不レ詳三何時祭二何神一。　稻荷社。不レ詳二何時勸請一。　神明宮。在二

二倉濱。不レ詳二何時勧請一。 雷神社。同レ上。 明神社。同レ上。不レ詳レ祭二何神一。 佛宇凡二。 阿彌陀堂。不レ詳二何時創建一。 觀音堂。在二二倉濱一。傳云。平城帝。大同二年。田村麻呂所二創建一也。 寺凡二。 玉光山名取院圓立寺。淨土宗。本州相馬中邑。西光寺末寺。傳云。明正帝。寛永十九年開山。不レ詳二其僧名一。 江南山惠光寺。在二二倉濱一。臨濟宗。京都妙心寺末寺。傳云。周澤和尚開山。仙臺府下。覺範寺五世徹宗和尚中興。其不レ詳二其年月一。 川一。 阿武隈川。偪岸屬二本邑一。

濱一。 號二二倉濱一。

撮内邑。 戸口凡三十八。 神社凡六。 牛頭天王社。傳云。往古大織冠鎌足公之末裔。大友豊後守。諱不レ傳。貶二于本州一。住二于本邑一。勧二請本國鎭守牛頭天王。熅熕權現。兩社。不レ詳二其年月一。 熅熕權現社。同レ上。所レ祭春日大明神。 熊野神社。不レ詳二何時勧請一。傳云。所レ祭天地十二神。而往古大社也。 八幡宮。不レ詳二何時勧請一。 神明宮。

同レ上。 葉山權現社。同レ上。 佛宇一。 藥師堂。不レ詳二何時創建一。 寺凡二。 龜谷山禪龍寺。曹洞宗。本郡三色吉邑。東安寺末寺。傳云。正親町帝。永祿二年開山。僧名不レ傳。 虚空山高源寺。 眞言宗。本郡植松邑。弘誓寺末寺。傳云。明正帝。寛永十七年。珪意法印開山。

下野郷邑。 戸口凡二百。有下號二相之釜濱一矢目。藤曾根。地上矢目有二步卒百八十口。男女凡六百五十二。 馬十二。 附二屬十番部將一。一部各十八人。 神社凡五。 雷神社。不レ詳二何時勧請一。 愛宕神社。同レ上。 稲荷社。在二相之釜濱一。同レ上。 鹿島神社。同レ上。 熊野神社。在二矢目神前寺中一。同レ上。 佛宇凡三。 弘法大師堂。傳云。桓武帝。延暦中。安部仲麻呂末裔。號二安部萬龜一人。來下住于本邑。號二藤埣一地上。嵯峨帝。弘仁十三年。創二建大師堂一。至二當今大乘院三十四世一。子孫相繼。世爲二別當一。家系舊記藏二于其家一。至二二十七世一。住二于本邑藤

埣二十八世大泉坊。移居于本郡下増田邑云。　藥師堂。在矢目。
不詳何時創建。　觀音堂。同上。　寺凡三。　愛岩山岩蟄寺。眞言
宗。本郡植松邑。弘誓寺末寺。傳云。後西帝。萬治二年開山。僧名不
傳。　海青山法圓寺。在相之釜濱。曹洞宗。仙臺府下。松音寺末寺。
傳云。後水尾帝。寛永三年。能嚴和尚開山。　月光山神前寺。在矢
目。眞言宗。本郡岩沼鄉。竹駒寺末寺。不詳何時何人開山。　沼一。
號長沼。長六百間許。横百間許。　濱一。　號相之釜濱。　玉浦。
名跡志曰。岩沼以東曰之藤曾根。往時之玉浦也。併蒲崎地。而渾
是玉浦之邑也。鄉黨書魂浦。　橋凡三。各土橋。　其一。號木下橋。
長八間。横一間半。　其二。號矢目橋。長十六間。横二間。　其三。號
藤曾根橋。長八間。横九尺。

早股邑。　戶口凡百五十二。有號長谷釜濱。　神社凡四。　熊野
神社。傳云。靈元帝。延寶七年勸請。　日月社。不詳何時勸請。　稻

荷明神社。在長谷釜濱。後西帝。寛文九年勸請。　神明宮。同上。靈
元帝。貞享三年勸請。　佛宇一。　藥師堂。不詳何時創建。　寺一。
　東國山高林寺。曹洞宗。本郡北長谷邑。長谷寺末寺。後西帝。萬
治中。俊鶴和尚開山。　川凡二。　阿武隈川。偏岸屬本邑。　前川。
周匝千間餘。　濱一。　號長谷釜濱。

寺島邑。　戶口凡百二十二。有號蒲崎濱。　神社凡四。　日月社。
不詳何時勸請。　雷神社。同上。　神明宮。在蒲崎濱。同上。　明神
社。同上。不詳何時祭何神。　寺凡二。　日照山正福寺。眞言宗。本
郡岩沼鄉。竹駒寺末寺。不詳何時何人開山。　照曜山專光寺。在
蒲崎濱。淨土宗。岩城山崎邑。專稱寺末寺。不詳何時何人開山。
川一。　阿武隈川。偏岸屬本邑。　濱一。　號蒲崎濱。　道一。　阿
武隈渡航。往亘理郡道。風土記殘編所載。今失其處者如左。　玉
島川。風土記殘編曰。出鱒。鮭等。自阿武隈川入此水。名跡志曰。或

說云。增田驛南河流曰之玉川。去阿武隈西北六七里。水源出于笠島邑。鄉黨誤玉島川名。略之以呼玉河歟。且今問之鄉黨而無詳之者。　玉島神社。風土記殘編曰。圭田五十九束三字田。所祭下照比咩也。天武帝三年甲戌三月。始奉圭田行神禮。浴文拔手倉田邑。有稱玉島明神社。疑此社乎。　井上鄉。　風土記殘編曰。公穀二百六十七束。假聚二百二十五丸。貢杉。柏。栗。及鷴。鶴。鷗。鷺等。　九品寺。　風土記殘編曰。寄田四十八束三毛田。道眼和尚結夏之丈室也。　乘圓寺。　寄田二十五束三毛田。行基信宿地也。以上五區。周問邑人故老。不詳何處。

封內風土記卷之五 畢

日本漢文史籍叢刊

第五輯

地理

[General Information]
书名=14664125
SS号=14664125